

# 足立区施設白書



# 足立区施設白書 目次

---

## 第1章 施設白書について

1 施設白書作成の背景	1
2 作成基準	1
3 施設白書の構成	2
4 今後の進め方	3

## 第2章 足立区の人口・財政の状況

1 区の人口特性	
(1) 区全体の人口推移	4
(2) 地域別人口増減	5
(3) 地域別将来人口	6
2 人口構造の変化と公共施設の有効活用	7
3 財政の状況	
(1) 歳入	8
(2) 歳出	9
(3) 収支状況	10
(4) 特定目的基金の残高状況	10
(5) 投資的経費の推移	11

## 第3章 公共施設等の状況及びコスト試算

1 公共施設の状況	
(1) 建物の内訳	12
(2) 公共施設の築年別整備状況	13
2 今後の施設等の建替え・改修にかかるコスト試算	
(1) 公共施設の試算条件	14
(2) 公共施設の建替え・改修にかかるコスト試算	15
(3) 試算条件の比較<公共施設>	16
(4) インフラ施設の試算条件	17
(5) インフラ施設のコスト試算	18
(6) 試算条件の比較<インフラ施設>	19
(7) 公共施設とインフラ施設のコスト試算	20

## 第4章 公共施設の老朽化状況の把握

1 構造躯体の健全性の把握	
(1) 対象	21
(2) 評価方法	22
(3) 耐震診断時の躯体データを用いた評価結果	23

(4) 今後の詳細調査の必要性	-----	23
2 部位・設備等の劣化状況の把握		
(1) 経過年数と劣化状況の関係	-----	25
(2) これまでの維持管理状況	-----	27
(3) 用途別に見る設備等の劣化状況の現状	-----	28

## 第5章 施設用途別実態

### 1 構成・データの見方

(1) 対象施設	-----	30
(2) データの見方	-----	31

### 2 公共施設

#### (1) 文化系施設

ア 住区センター等	-----	34
イ 地域集会所	-----	52
ウ 生涯学習センター・地域学習センター	-----	59
エ 文化施設	-----	69
オ 悠々会館	-----	81
カ 愛恵まちづくり記念館	-----	86

#### (2) 社会教育施設

ア 図書館	-----	92
イ 博物館・生物園等	-----	106

#### (3) スポーツ・レクリエーション施設

ア スポーツ施設	-----	114
----------	-------	-----

#### (4) 学校教育施設

ア 区立小学校・中学校	-----	132
イ 校外施設	-----	142

#### (5) 子育て支援施設

ア 保育園・こども園	-----	148
イ 子育てサロン	-----	171
ウ こども支援センターげんき	-----	179
エ 学童保育室	-----	185

#### (6) 保健・福祉施設

ア 保健所・保健総合センター	-----	195
イ 高齢者福祉施設	-----	201
ウ 社会事業授産施設	-----	203
エ 障がい者福祉施設	-----	207
オ 竹の塚障がい福祉館	-----	216
カ ボランティアセンター	-----	219

#### (7) 産業系施設

ア 産業系施設	-----	222
---------	-------	-----

(8) 行政系施設	
ア 本庁舎	-----231
イ 区民事務所	-----235
ウ 福祉事務所	-----243
(9) 区営住宅	
ア 区営住宅	-----247
(10) その他	
ア 供給処理施設	-----253
イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所	-----262

### 3 インフラ施設

(1) 道路	-----275
(2) 橋りょう	-----280
(3) 公園	-----283

### 資料

#### 自治体間比較

(1) 23区別施設保有量	-----288
(2) 築年別整備状況と将来更新コスト	-----289
(3) 用途別保有状況	-----290



## 第1章 施設白書について



## 第1章 施設白書について

### 1 施設白書作成の背景

足立区では、区民の皆さまに身近な施設（保育園・小中学校など）や道路・橋りょうなどのインフラ施設を所有しています。

これらの公共施設は、昭和30年代後半からの人口増加に伴い、区民福祉の増進に努めるため、計画的に整備してきました。その結果、現在、全施設のうち約7割が築後30年を越えることとなり、一斉に大規模な改修や建替えの時期を迎えようとしています。

施設白書は、公共施設の築年数、規模、利用状況、運営費用などを「見える化」することで、区民の皆さまに、施設の実態や課題を横断的かつ総合的にご理解していただく、基礎資料として作成したものです。

### 2 作成基準

作成時の基準については、以下のとおりです。

- ・ 対象の基準：区が所有または借用し、区が直接維持管理または民間事業者等に維持管理委託をしている建物
- ・ 施設数：同一敷地に複数の建物がある場合、設置目的が同一であれば、施設数は特に記載のあるものを除き1件と数えます。また、複合施設の場合は、設置目的ごとに施設を1件と数えます。
- ・ 建築年度：新築や改築に伴い、その建物を利用し始めた年度。原則として施設の開設年度と一致します。なお、同一敷地に複数の建物がある場合には、原則として最も古い建築年度で記載しています。ただし、小中学校は建築年としています。
- ・ 面積：施設の面積は延床面積です。
- ・ 各施設の経費：平成26年度の決算ベースを基にしています。
- ・ その他：端数処理により、個々の数値の合計が一致しないことがあります。文章中の合計数値は、「億円」、「万円」で記載しているため、グラフ等の数値と一致しないことがあります。また、「約」を付けずに表記している場合があります。

## 第1章 施設白書について

### 3 施設白書の構成

本白書は、公共施設のあり方の見直しや検討のための基礎資料として、区を取り巻く環境と保有する施設の状況や、公共施設の課題等を明らかにしていくために、以下の構成としています。

#### 【第1章 施設白書について】

施設白書の背景
---------

#### 【第2章 足立区の人口・財政の状況】

人口の状況	財政状況
<ul style="list-style-type: none"><li>足立区の人口は戦後から昭和50年にかけて急増し、昭和50年代以降は横ばいで推移していましたが、平成11年以降、再び増加に転じました。</li><li>将来人口（中位推計）は、平成32年まで微増し、その後減少する見込みです。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>区の自主財源の根幹である特別区税は、納税義務者の増加により増加傾向にありますが、その割合となる自主財源率は16.6%と低い状態であり、財政調整交付金に依存せざるを得ない状況です。</li><li>支出が任意では削減できない義務的経費のうち、扶助費が平成26年度で歳出全体の約36%を占めています。</li><li>公共施設等の整備などに充てられる「投資的経費」は、平成24年度から増加傾向にあります。今後、公共施設の老朽化に伴う改修・建替え等で、多額の経費が必要になります。</li><li>法人住民税の一部国税化による影響で、平成28年度には約60億円の減収が試算されており、今後歳入規模の縮小が予測されます。</li></ul>

#### 【第3章 公共施設等の状況及びコスト試算】

公共施設の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>公共施設の延床面積は約121.2万㎡で、区民1人当たり約1.8㎡です。延床面積のうち、約60%を学校施設が占めています。</li><li>築30年以上を経過する施設が約67%を占めており、そのうち、学校施設が約74%を占めています。今後これらの施設に対する計画的な更新計画の策定が必要となります。</li></ul> <p style="text-align: right;">（平成25年施設白書ベース）</p>

#### 【第4章 公共施設の老朽化状況の把握】

老朽化状況の把握
<ul style="list-style-type: none"><li>公共施設の老朽化状況として、構造躯体の健全性の把握、部位・設備等の劣化状況を把握し、課題を明らかにすることで、維持管理・修繕・更新・長寿命化といった管理に関する考え方の検討、及び中長期的な維持・更新コストの算出につなげます。</li></ul>

#### 【第5章 施設用途別実態】

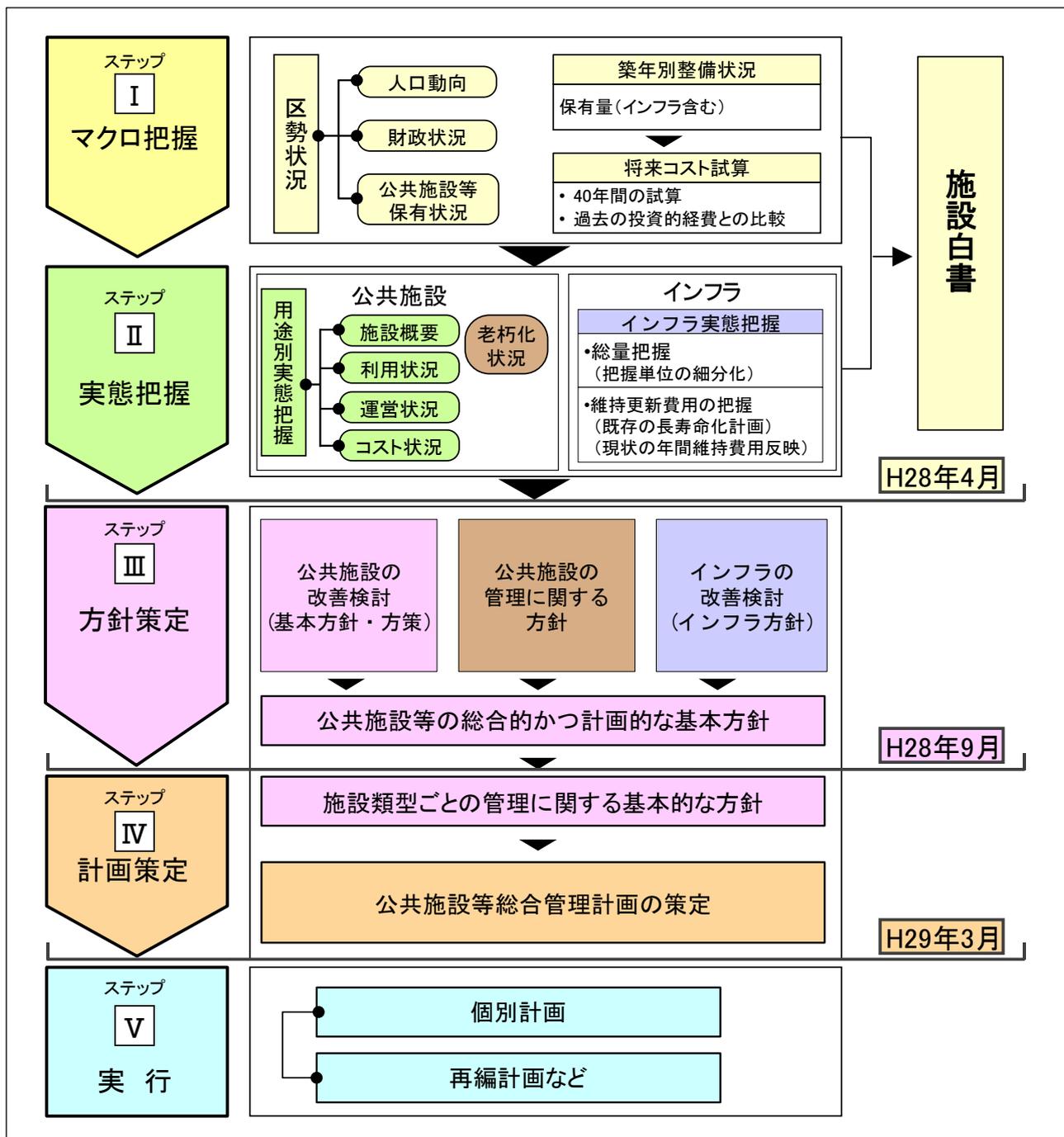
利用状況・コストの把握
<ul style="list-style-type: none"><li>公共施設を用途別（学校教育施設、文化系施設、スポーツ施設、庁舎等）に利用状況、コスト状況等を把握しています。</li><li>インフラ施設については、整備状況やコスト状況等を把握しています。</li></ul>

#### 4 今後の進め方

今後は、施設白書でとりまとめた実態データに基づき、利用状況やコスト状況、老朽化状況等から見える課題などを抽出し、改善の方向性を検討しながら、「公共施設等総合管理計画」としてとりまとめます。

計画では、地域特性等を踏まえ、将来のまちづくりの方向性を見据えながら、施設や機能の再配置へつなげていきます。

図1-1 公共施設等総合管理計画策定のフロー





## 第2章 足立区の人口・財政の状況



第2章 足立区の人口・財政の状況

1 区の人口特性

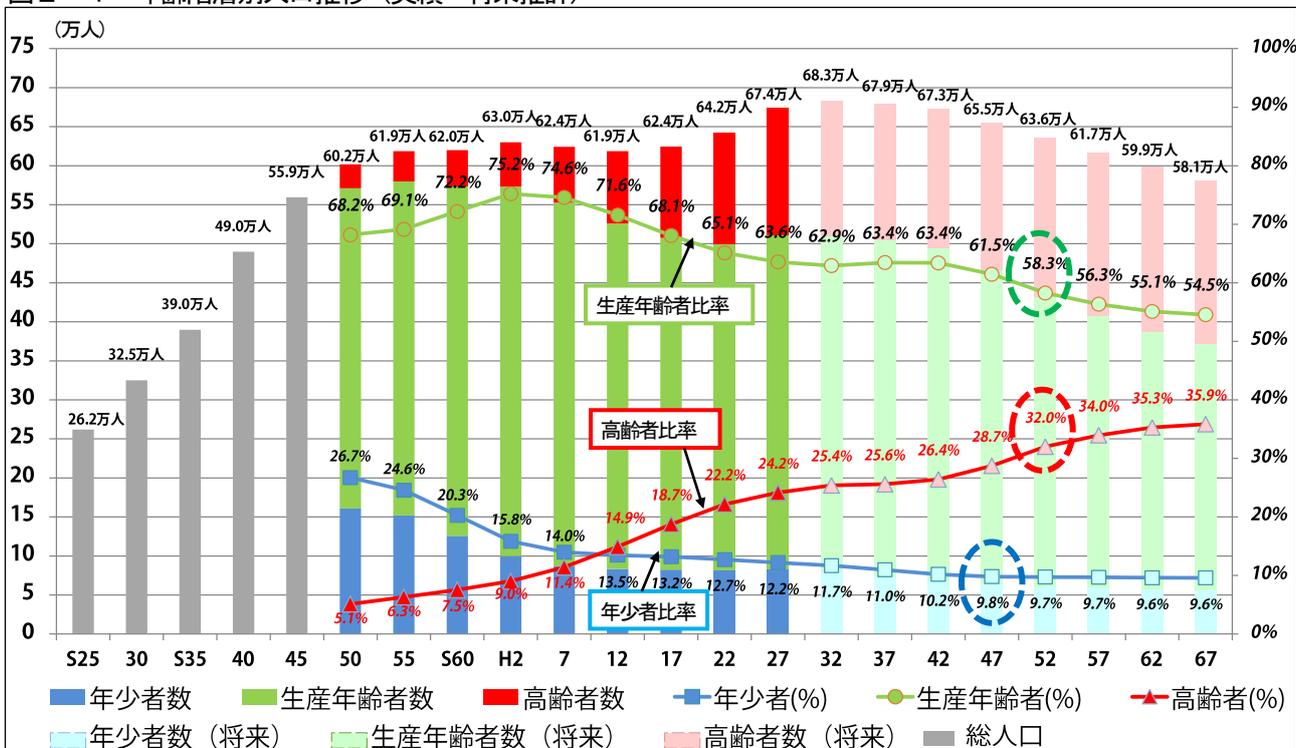
(1) 区全体の人口推移

足立区の人口は戦後から昭和50年にかけて急増し、その後横ばい傾向にありましたが、平成11年以降再び増加に転じました。これは、新規鉄道路線の開業や大規模工場跡地での住宅開発事業等による人口流入が要因として考えられます。平成27年1月1日現在、足立区の総人口は67.4万人で、東京23区内では世田谷区、練馬区、大田区、江戸川区に次いで5番目の人口規模となっています。

足立区の将来の人口推移（中位推計）では、今後5年間程度は微増が見込まれており、人口のピークは平成32年頃と推計されています（図2-1）。平成32年のピーク時の人口は68.3万人と平成27年から約1万人の増加が見込まれ、その後は緩やかに減少していき、平成47年には65.5万人とピーク時の人口から約4%減少する見込みです。足立区の生産年齢者比率は平成42年以降減少し、平成52年以降50%台となる見込みです。年少者比率は減少傾向をたどり、平成47年以降は10%台を割り込みます。一方、高齢者比率は平成52年以降30%台で推移していき、人口の3人に1人が高齢者になると見込まれます。

このように、足立区の人口構成は大きく変化し、それに伴う行政ニーズの変化に適切に対応していく必要があると考えています。

図2-1 年齢階層別人口推移（実績・将来推計）



平成32年頃に人口はピークを迎え、平成47年以降(20年後)、人口構成が大きく変化する見込み。

- ▶ 年少者比率（0歳～14歳）：平成47年以降10%台を割り込み、その後9%台で推移
- ▶ 生産年齢者比率（15歳～64歳）：平成42年以降減少に転じ、平成52年以降50%台で推移
- ▶ 高齢者比率（65歳以上）：平成42年以降急速に増加し、平成52年以降30%台で推移
- ▶ 平成52年以降、足立区の人口構成は3人に1人が高齢者になると見込まれます。

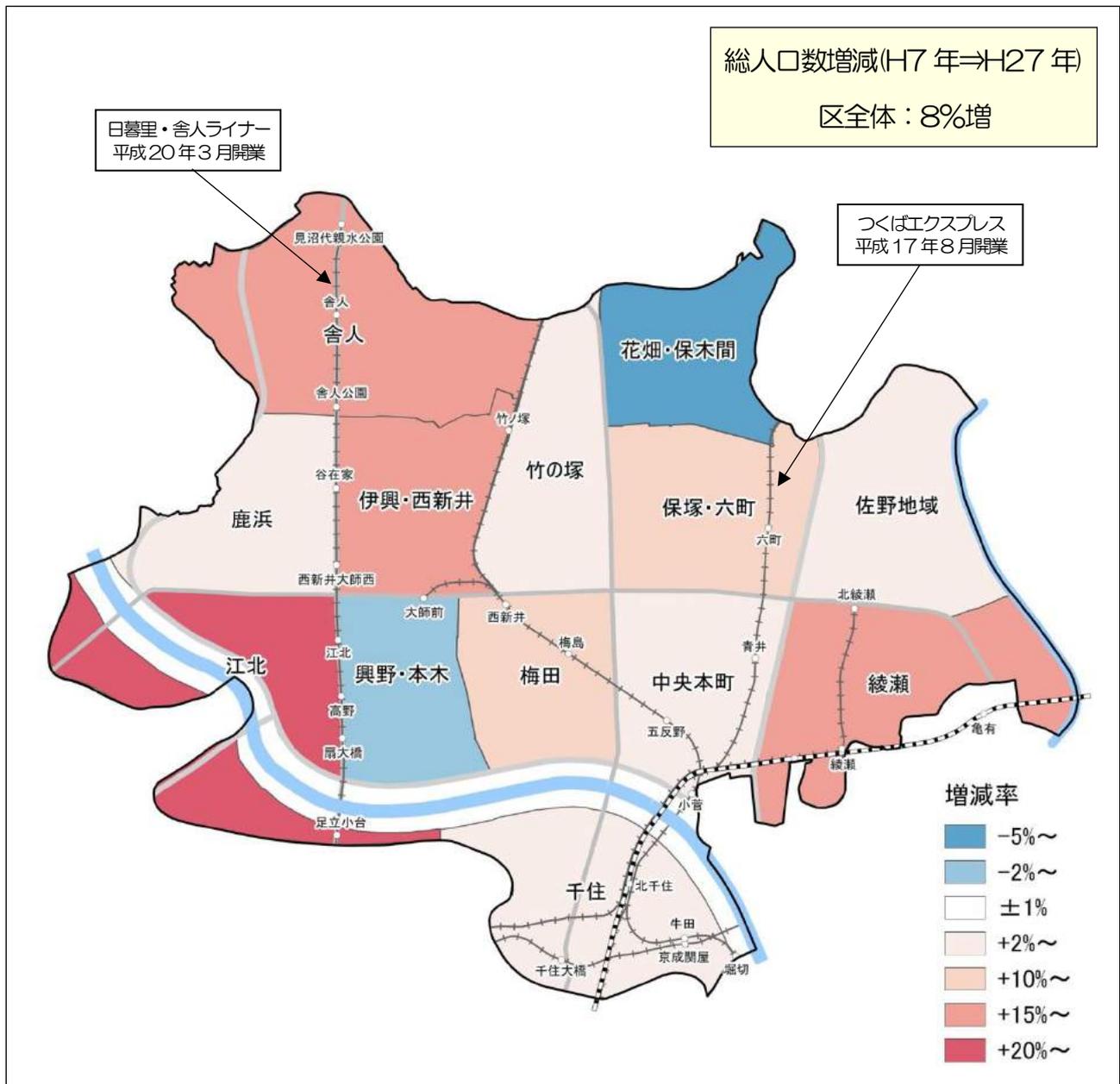
(出典：住民基本台帳、足立区人口推計)

(2) 地域別人口増減 (平成7年～平成27年)

過去20年間の人口増減を地域別に見ると(図2-2)、新規鉄道路線の開業に伴い交通の利便性が向上した地域や、大規模マンション等の住宅開発等により新規居住者が流入した地域においては人口増となりました。

一方、高度経済成長期に公営住宅の整備が進んだ花畑・保木間地域や、古くから市街化が形成されてきた興野・本木地域においては人口減となるなど、地域ごとに人口増減の状況の違いが見受けられます。

図2-2 地域別人口増減



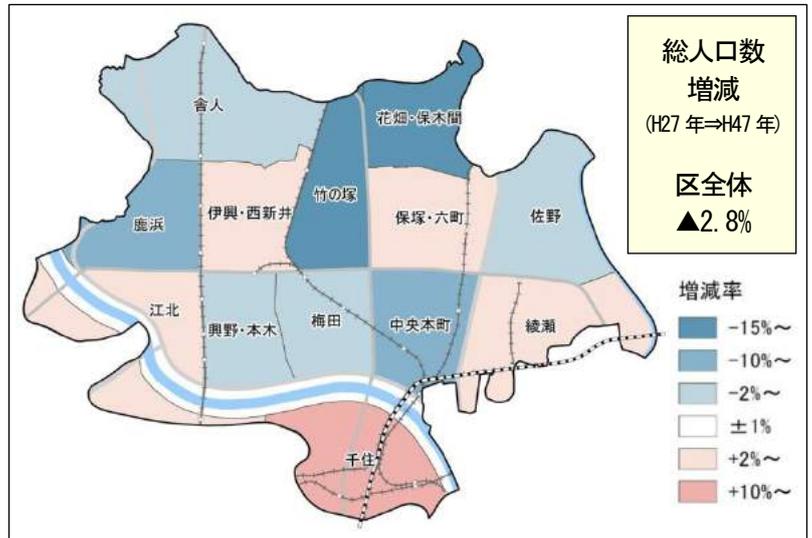
(出典：住民基本台帳、数字で見る足立)

(3) 地域別将来人口（平成27年～平成47年）

■ 総人口数

区全体の今後20年間の人口は約3%減少と推計されます。将来人口の増減を地域別で見ると(図2-3)、区北部では15%以上の人口減少が見込まれる地域があります。一方、千住地域では10%以上の増加が見込まれています。特に、現在進行中の千住大橋駅周辺の大規模住宅開発において、人口流入が見込まれています。

図2-3 将来人口増減（総人口数）

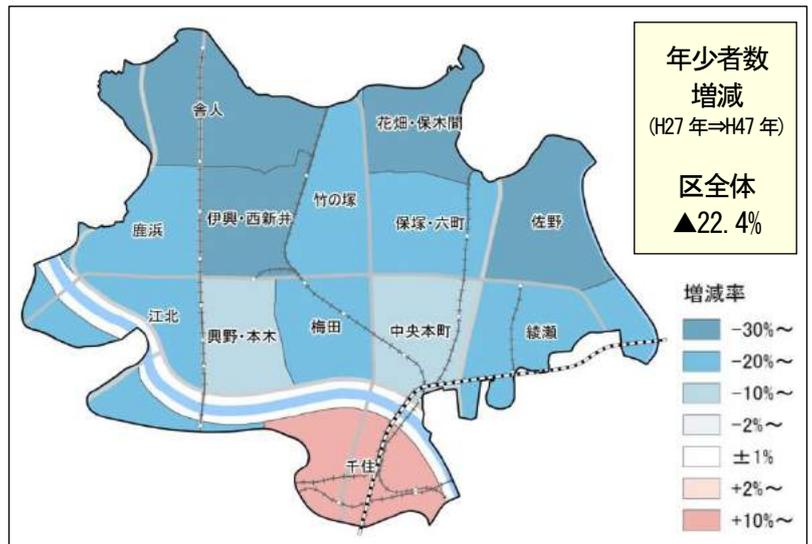


(出典：足立区人口推計)

■ 年少者数（14歳以下）

区全体の今後20年間の年少者数は約22%減少と推計されますが、区北部では30%以上の減少が推計される地域もあります(図2-4)。一方、千住地域においては人口増加に伴い、年少者数も10%以上の増加が見込まれています。

図2-4 将来人口増減（年少者数）

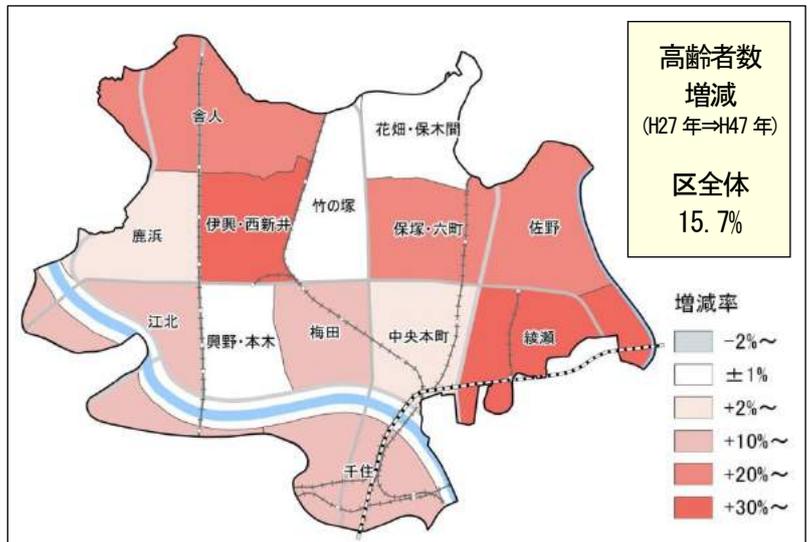


(出典：足立区人口推計)

■ 高齢者数（65歳以上）

区全体の今後20年間の高齢者数は約16%増加と推計されます。高齢者数の増減を地域別で見ると(図2-5)、既に高齢化が進行している地域においては横ばい傾向ですが、現在人口が増加している綾瀬地域や区北部の地域において、20%以上の増加が見込まれています。

図2-5 将来人口増減（高齢者数）



(出典：足立区人口推計)

2 人口構造の変化と公共施設の有効活用

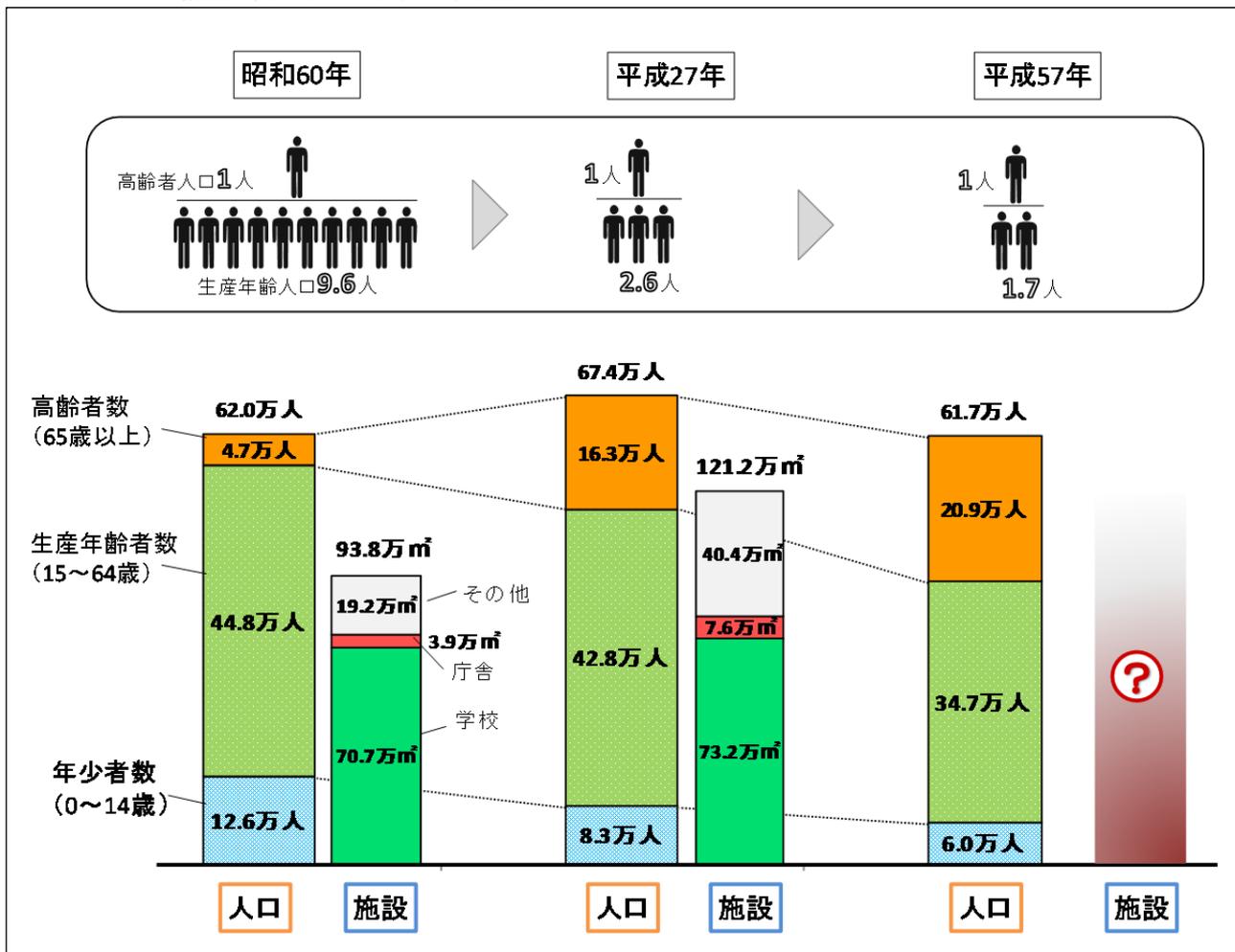
区の総人口は、昭和60年の約62.0万人から平成27年の67.4万人まで、30年間で約5.4万人増加しています。人口構造をみると年少者数は約4.3万人減少、生産年齢者数は約2万人減少、高齢者数は約11.6万人増加しています（図2-6）。

このような人口構造の変化を高齢者数と生産年齢者数の比率でみると、30年前の昭和60年は、高齢者数1人に対して生産年齢者数は約10人でしたが、平成27年の時点ですでに高齢者数1人に対して生産年齢者数が約3人と大きく減少しており、さらに30年後の平成57年には、高齢者数1人に対して生産年齢者数が約2人にまで減少する見込みです。

人口は、昭和60年から平成27年にかけて1.1倍の増加となっているのに対し、区の保有する公共施設面積は、1.3倍の増加になっています。

今後は、こうした人口構造の変化やそれに伴う区民ニーズの変化を見据えて、将来の公共施設のあり方について検討しながら、公共施設を有効活用していく必要があります。

図2-6 人口構造の変化と公共施設の有効活用



### 3 財政の状況

#### (1) 歳入

足立区の歳入は平成22年度から平成24年度までは2,400億円台で推移していましたが、平成25年度以降増加が続き、平成26年度は2,721億円となっています(図2-7)。

平成26年度の一般財源\*は1,600億円で、平成22年度から152億円の増加となりました。主な増加要因は財政調整交付金97億円、特別区税32億円等の増となっています。

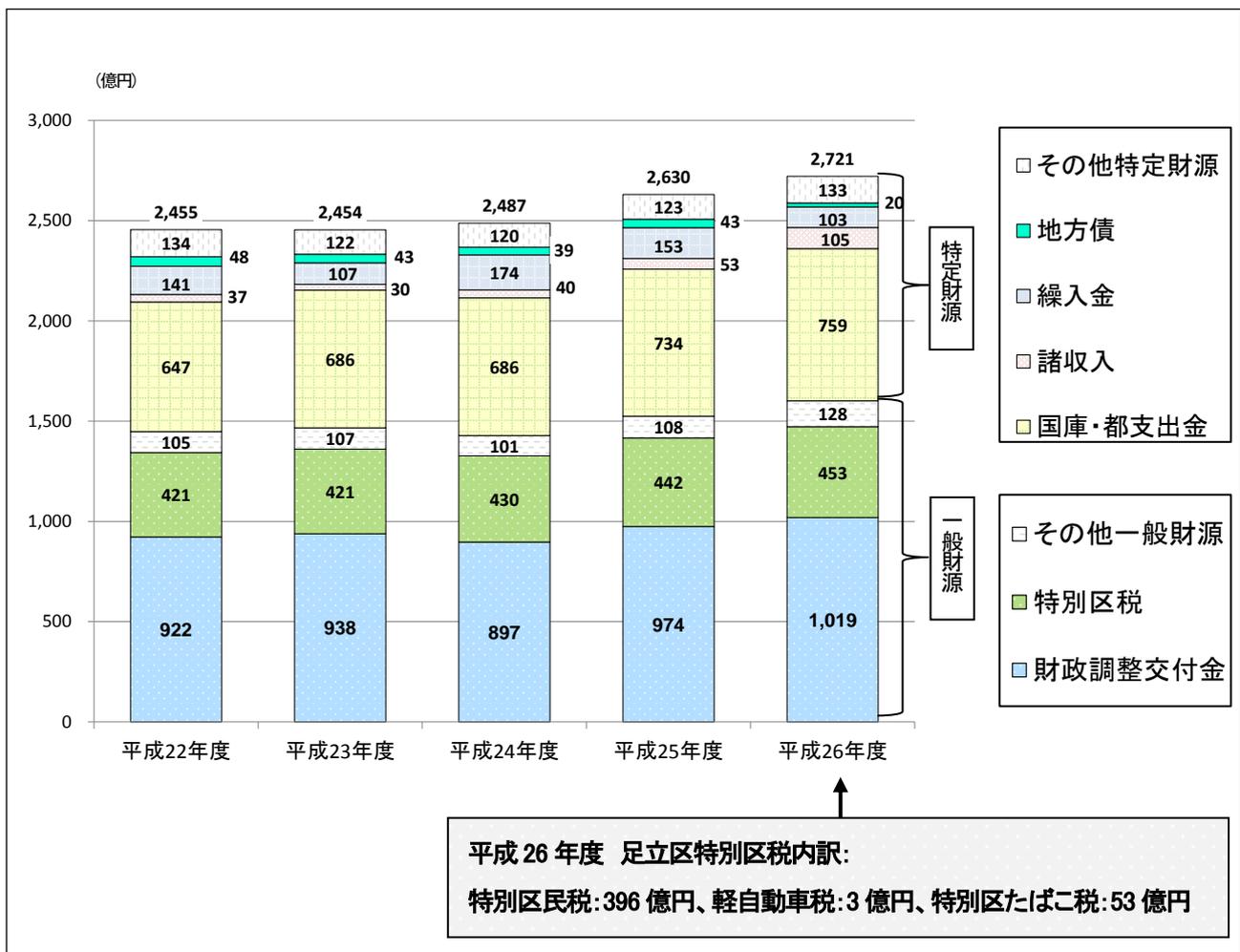
平成26年度の特定財源\*\*は1,120億円で、平成22年度から113億円の増加となりました。主な増加要因は、国庫・都支出金112億円、諸収入68億円等となっており、地方債については平成22年度から28億円減少となっています。

また、財政調整交付金の原資である法人住民税が平成26年度税制改正で一部国税化され、平成28年度からは減収の影響が平年度化されます。消費税10%になった段階では、さらに税制改革が予定され、財政調整交付金が大きな影響を受けることが見込まれます。

一般財源\*：使い方が特定されず、どのような経費にも使用できる財源

特定財源\*\*：使い方が特定され、特定の経費にのみ使用できる財源

図2-7 普通会計 決算額推移【歳入】



(出典：財務報告書、数字で見る足立)

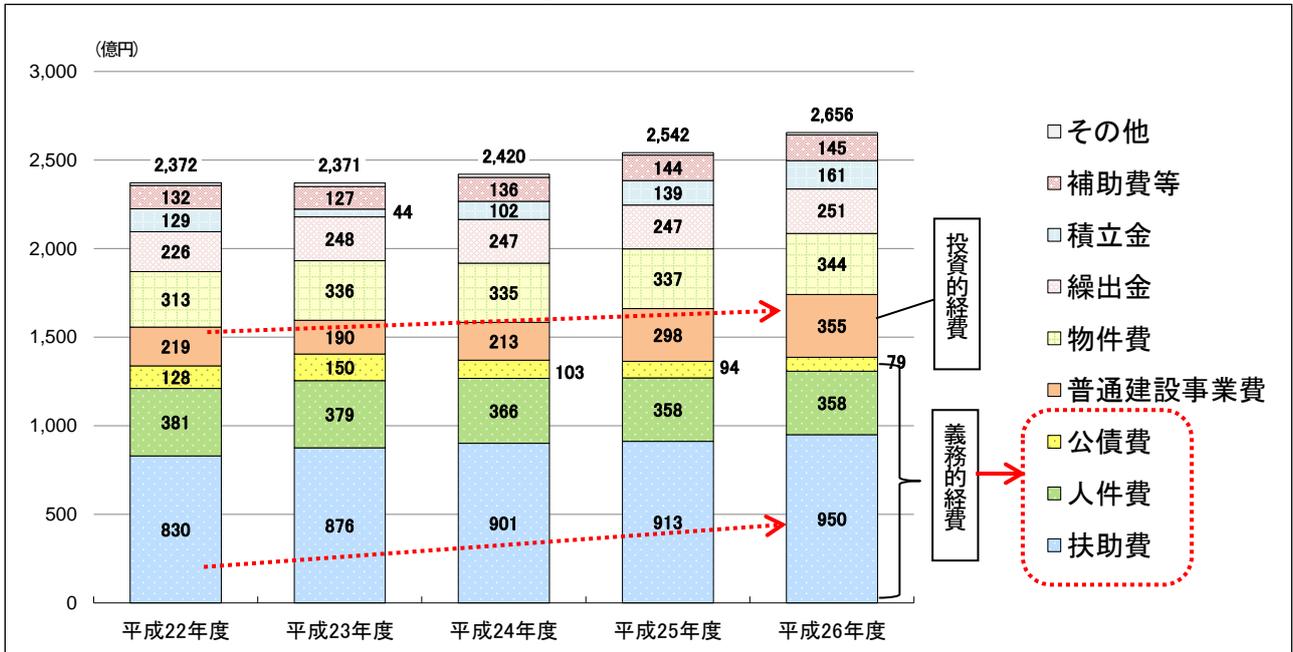
(2) 歳出

足立区の歳出規模は平成24年度以降増加傾向となり、平成26年度は平成22年度に比較して284億円増加し2,656億円となっています(図2-8)。

支出が任意では削減できない義務的経費\*のうち、公債費・人件費は抑制されていますが、扶助費は生活保護受給者の増加等に伴い(図2-9)、平成26年度は950億円と歳出全体の約36%を占めています。また、公共施設等の建設や用地購入など社会資本の形成に支出する投資的経費は平成22年度から136億円増加しており、今後、公共施設の老朽化に伴う改修・建替え等で、多額の経費が必要になります。

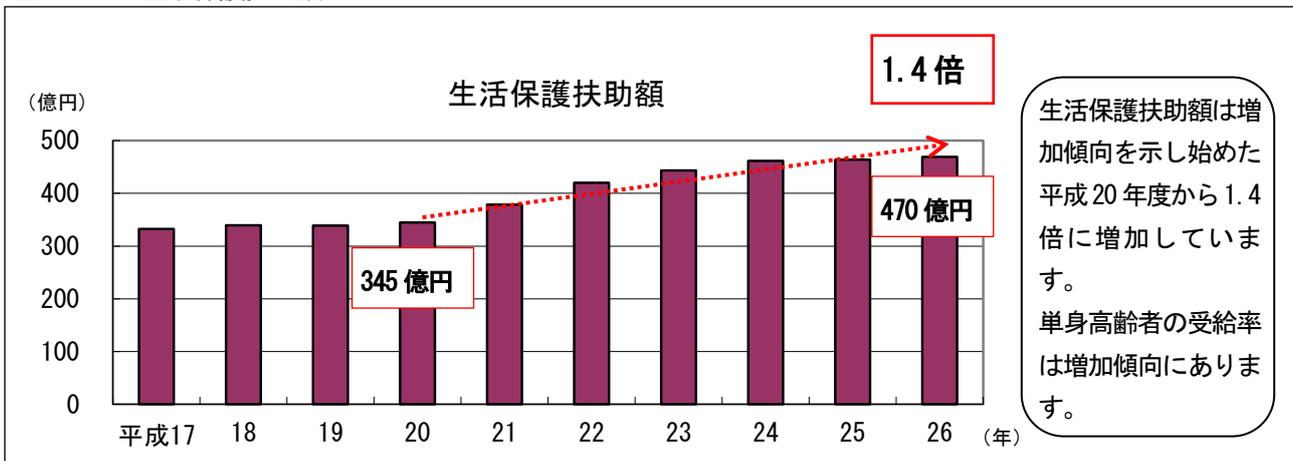
義務的経費\*：人件費(職員給与等)、扶助費(生活保護費等)、公債費(借金である特別区債の返済にあてる経費)で性質上容易に削減できない経費

図2-8 普通会計 決算額推移性質別【歳出】



(出典：財務報告書、数字で見る足立)

図2-9 生活保護扶助額



(出典：数字で見る足立)

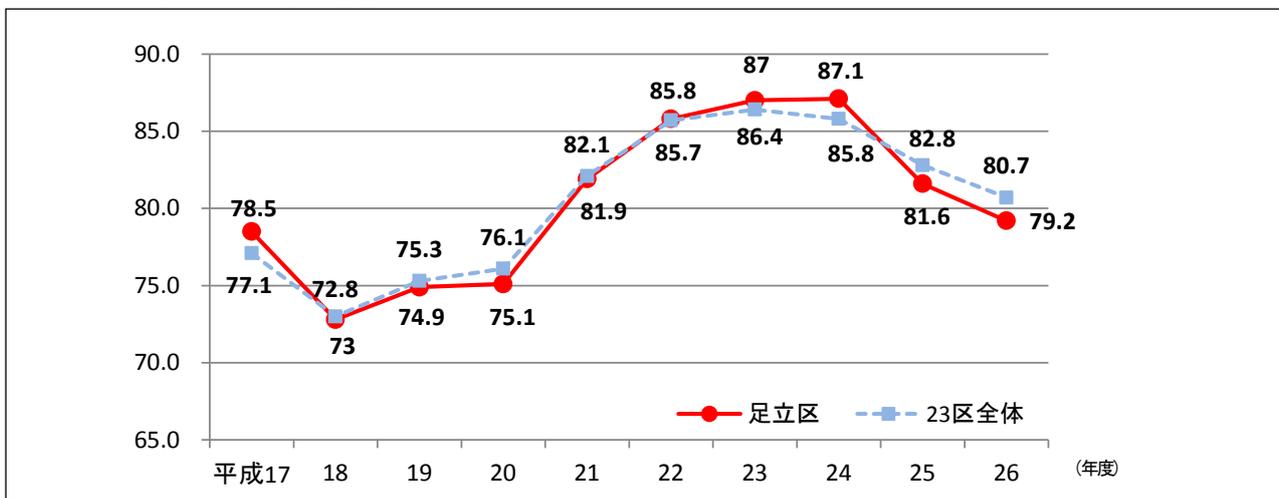
(3) 収支状況

平成26年度の歳入(収入)は2,721億円、歳出(支出)は2,656億円、歳入から歳出を単純に差引いた形式収支から、翌年度に繰り越す財源8億円を差引いた実質収支額は57億円の黒字となっています。

経常収支比率\*は平成19年度以降増加傾向にありましたが、平成26年度は79.2%と6年ぶりに80%を下回り、適正水準に回復しました(図2-10)。減少の主な要因は、財政調整交付金・地方消費税交付金・特別区税の増収や、公債費の減少等です。

経常収支比率\*：地方税、特別区税等を中心とする定期的に収入される一般財源のうち、生活保護費等の扶助費、人件費、公債費等のように必ず支払う経費に充当された経費の割合を示したものです。経常収支比率は70%~80%が適正水準とされ、都市部にあつては80%を超えると、財政構造の弾力性が失われつつあると考えられます。

図2-10 経常収支比率の推移



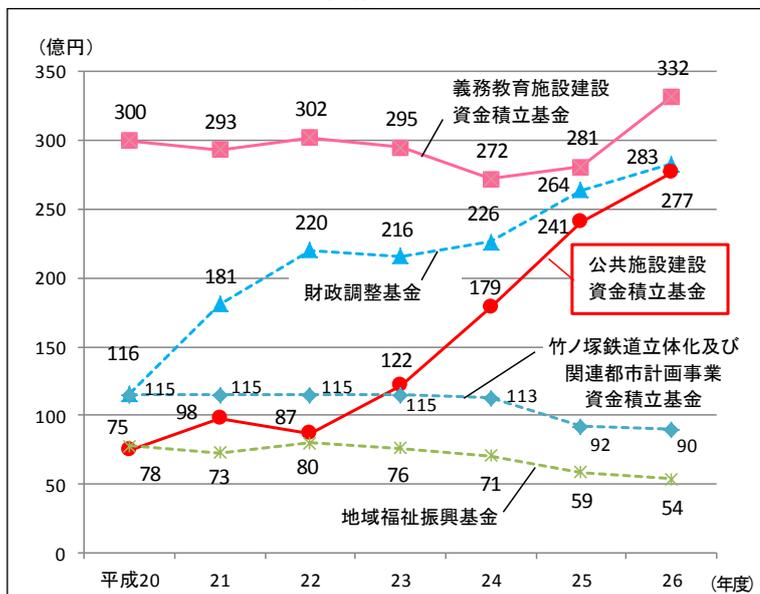
(出典：財務報告書(平成26年度))

(4) 特定目的基金の残高状況

足立区では将来の財政負担に備えて、様々な基金への積立を行っています。財源の不足が生じたときは、財政調整基金等を取り崩して対応しています。

平成26年度の主な基金の残高は(図2-11)財政調整基金283億円、公共施設建設資金積立基金277億円、義務教育施設建設資金積立基金332億円となっています。

図2-11 主な基金の残高推移



(出典：財務報告書)

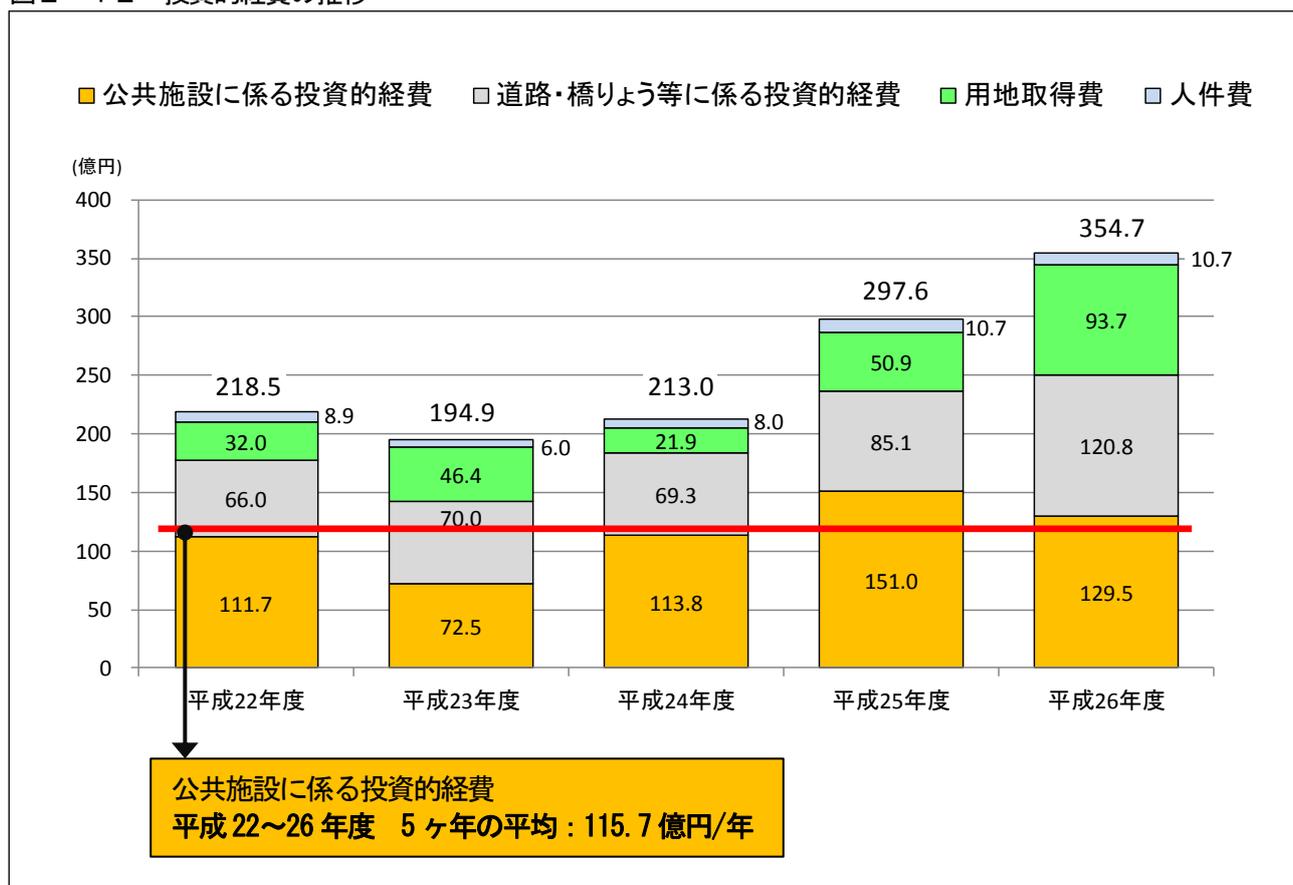
(5) 投資的経費の推移

公共施設やインフラ施設などの整備に充てられる投資的経費\*は、平成22年度から平成24年度は200億円前後の水準でしたが、その後増加に転じ、平成26年度は355億円となっています(図2-12)。投資的経費のうち、直近5年間(平成22年度~平成26年度)の公共施設に係る支出の平均は115.7億円程度となっています。また、道路や橋りょうなどのインフラ施設(土木費)の経費は66億円から121億円の間、平均82.2億円で推移しています。

今後、生産年齢者数の減少による歳入減少や高齢者数の増加による扶助費の増加などが予測され、厳しい財政状況になることが考えられます。財政面での制約が想定される中、高度成長期に建てられた学校を始めとする公共施設が老朽化し、改修・建替え等が迫っています。このような状況を背景に、中長期的な財政見通しを踏まえた、計画的な公共施設等のマネジメントが重要となってきます。

投資的経費\*：道路・学校・公共施設の建設や用地購入など社会資本の形成に投入する経費

図2-12 投資的経費の推移



(出典：決算統計資料)

### 第3章 公共施設等の状況及びコスト試算



第3章 公共施設等の状況及びコスト試算

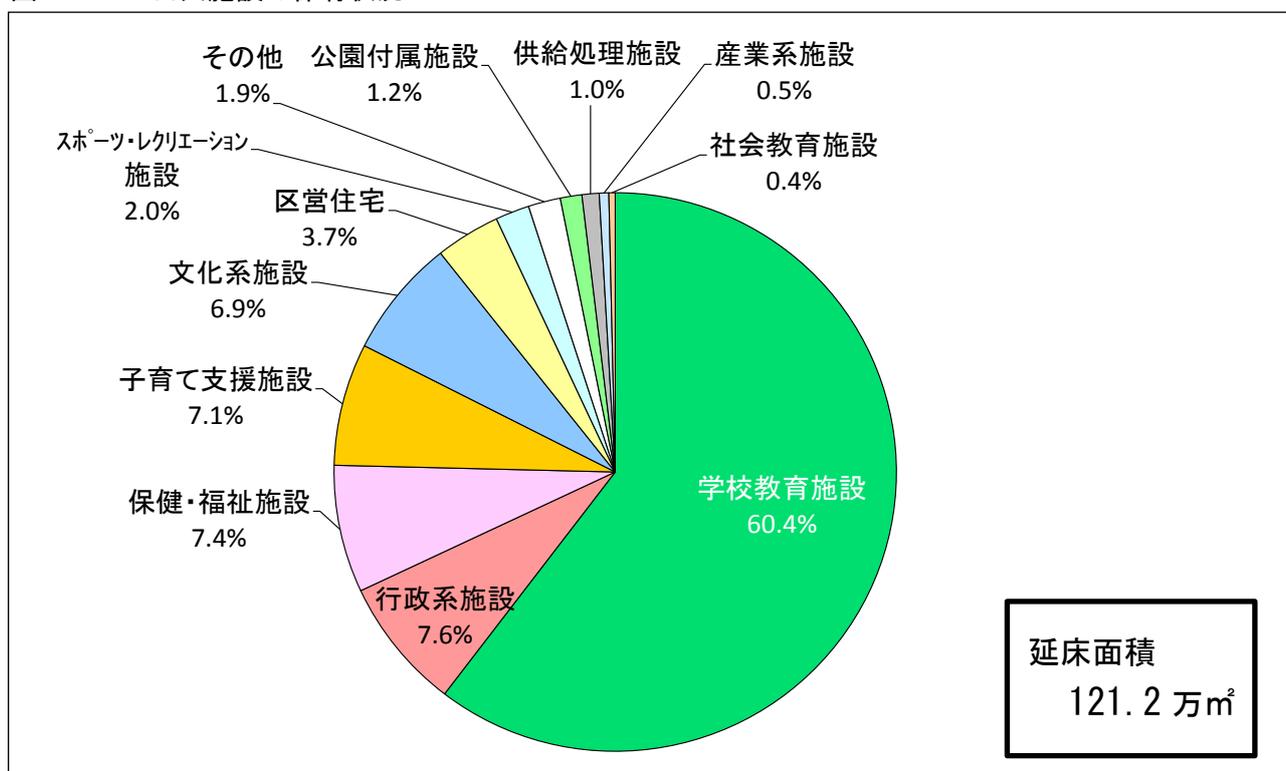
1 公共施設の状況

(1) 建物の内訳

足立区の公共施設の延床面積は、121.2 万㎡で人口1人当たり約 1.8 ㎡となっています。

学校教育施設は小学校 69 校、中学校 37 校等で、延床面積は全体の 60.4%を占めています。次いで、本庁舎（約7万㎡）を含む行政系施設が 7.6%、保健総合センター等の保健・福祉施設 7.4%となっています（図3-1）。

図3-1 公共施設の保有状況



用途名	延床面積	構成比	用途名	延床面積	構成比
学校教育施設 小学校、中学校等	731,683㎡	60.4%	スポーツ・レクリエーション施設 総合スポーツセンター、体育館等	23,686㎡	2.0%
行政系施設 庁舎、区民事務所等	92,457㎡	7.6%	公園附属施設 公園管理事務所等	15,040㎡	1.2%
保健・福祉施設 保健総合センター、福祉事務所等	89,349㎡	7.4%	供給処理施設 リサイクルセンター、排水場等	11,939㎡	1.0%
子育て支援施設 保育園、こども園、学童保育室等	85,823㎡	7.1%	産業系施設 あだち産業センター等	6,597㎡	0.5%
文化系施設 地域学習センター、住区センター等	83,124㎡	6.9%	社会教育施設 図書館、博物館等	4,400㎡	0.4%
区営住宅	45,218㎡	3.7%	その他 自転車駐車場等	22,452㎡	1.9%
			合計	1,211,768㎡	100.0%

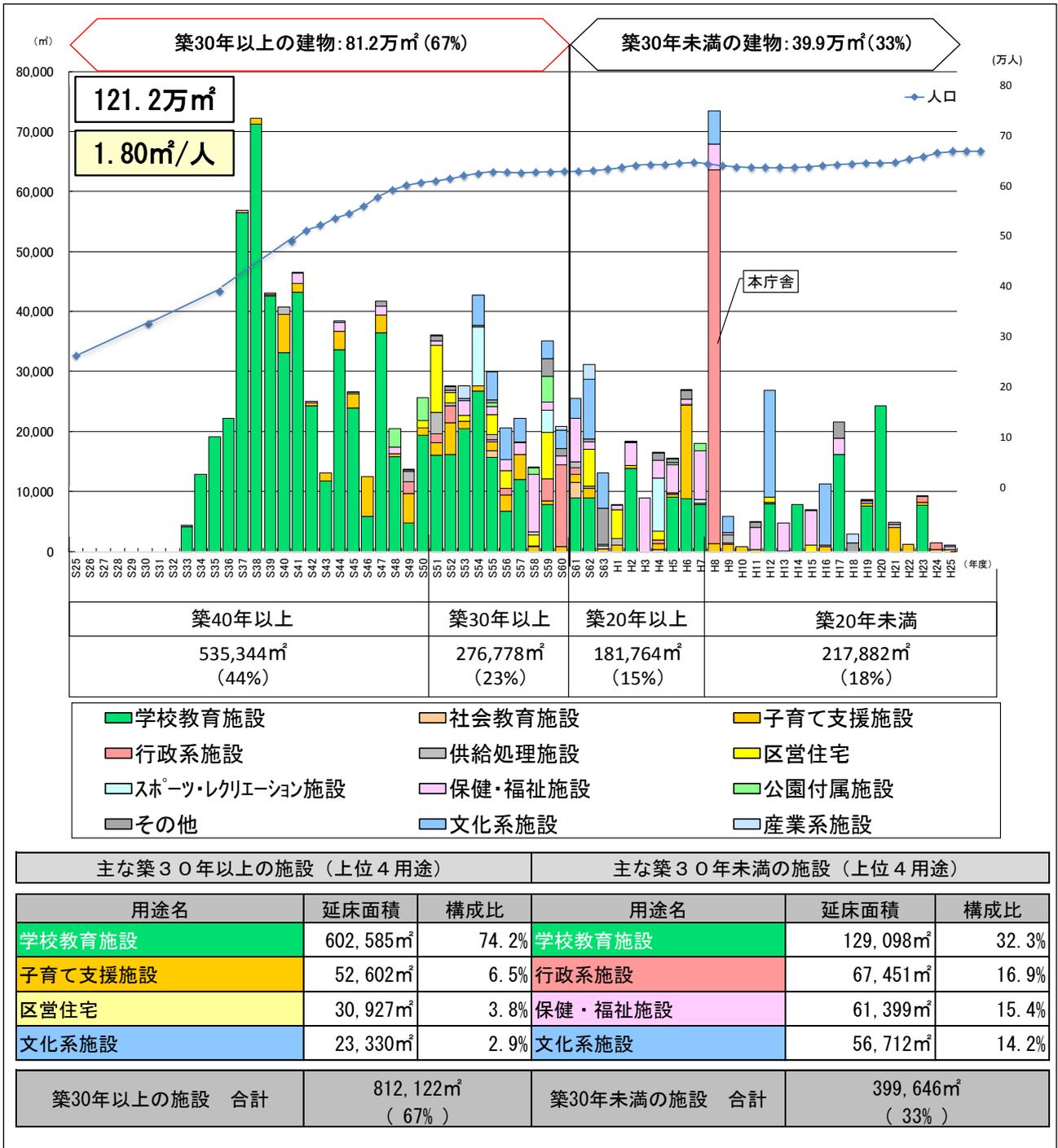
(出典：平成 25 年施設白書)

(2) 公共施設の築年別整備状況

公共施設の67%が築30年以上を経過し、学校を中心に、保育園等の子育て支援施設、区営住宅、文化系施設の老朽化が進んでいます(図3-2)。

学校教育施設については、昭和30年代から50年代にかけて整備が集中したことから、築30年以上の建物のうち、74.2%が学校教育施設となっており、現在、統合による新校の整備や、計画的な建替え等が始まっています。

図3-2 築年別整備状況



(出典：平成25年施設白書)

## 2 今後の施設等の建替え・改修にかかるコスト試算

### (1) 公共施設の試算条件

これまでの公共施設の維持管理は、施設の劣化状況に合わせて維持補修を行う「事後修繕」で行われてきました。しかし今後、限られた財源の中で、効率的に施設を維持管理していくためには、建築年度と法定点検・日常点検等に鑑み、全施設を見据えて、予防保全の視点から修繕・改修工事を計画的に行うことが必要です。

現在、公共施設の中期的な修繕・改修や改築工事に係る投資的経費は、「足立区中期財政計画（平成25年度から平成32年度）」において試算しています。しかし今後、長期的（40年間）な視点から公共施設等のコストを推計する必要があることから、総務省で公表している公共施設等更新費用の試算ソフトを活用し、公共施設の建替え・改修にかかるコストを試算しました。総務省のコスト試算の基本的な考え方は、以下のとおりです。

なお、区も今後、公共施設の修繕・改修工事の実施基準を策定し、予防保全を効果的かつ計画的に進めていく必要があります。

#### 【総務省の公共施設等更新費用の試算の基本的な考え方】

将来の公共施設等の更新費用を推計するにあたり、物価の変動、落札率、国庫補助金制度などの様々な変動要因がある中で、試算方法の複雑化を避け、簡便に推計でき、かつその試算方法が理解可能なもので、将来の財政運営の参考にできることを重視したものである。

##### ■公共施設(建築物)の試算条件

(1) 既存公共施設を今後同規模で維持し続けた場合

(2) 耐用年数の設定

目標耐用年数60年(日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」)

(3) 更新年数の設定

- 建築時より30年後に大規模改修を行い、60年間使用して建替え
- 現時点で、建設時より31年以上、50年未満の施設については、今後10年間で均等に大規模改修を行うと仮定
- 現時点で、建設時より51年以上経過しているものは、建替えの時期が近いので、大規模修繕は行わないと仮定

(4) 建替え、大規模改修時の単価設定(※建替えについては、解体費用含む。)

	建替え	大規模改修
市民文化系、社会教育系、行政系、産業系施設	40万円/㎡	25万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉施設	36万円/㎡	20万円/㎡
学校教育系、公園、供給処理施設	33万円/㎡	17万円/㎡
公営住宅	28万円/㎡	17万円/㎡

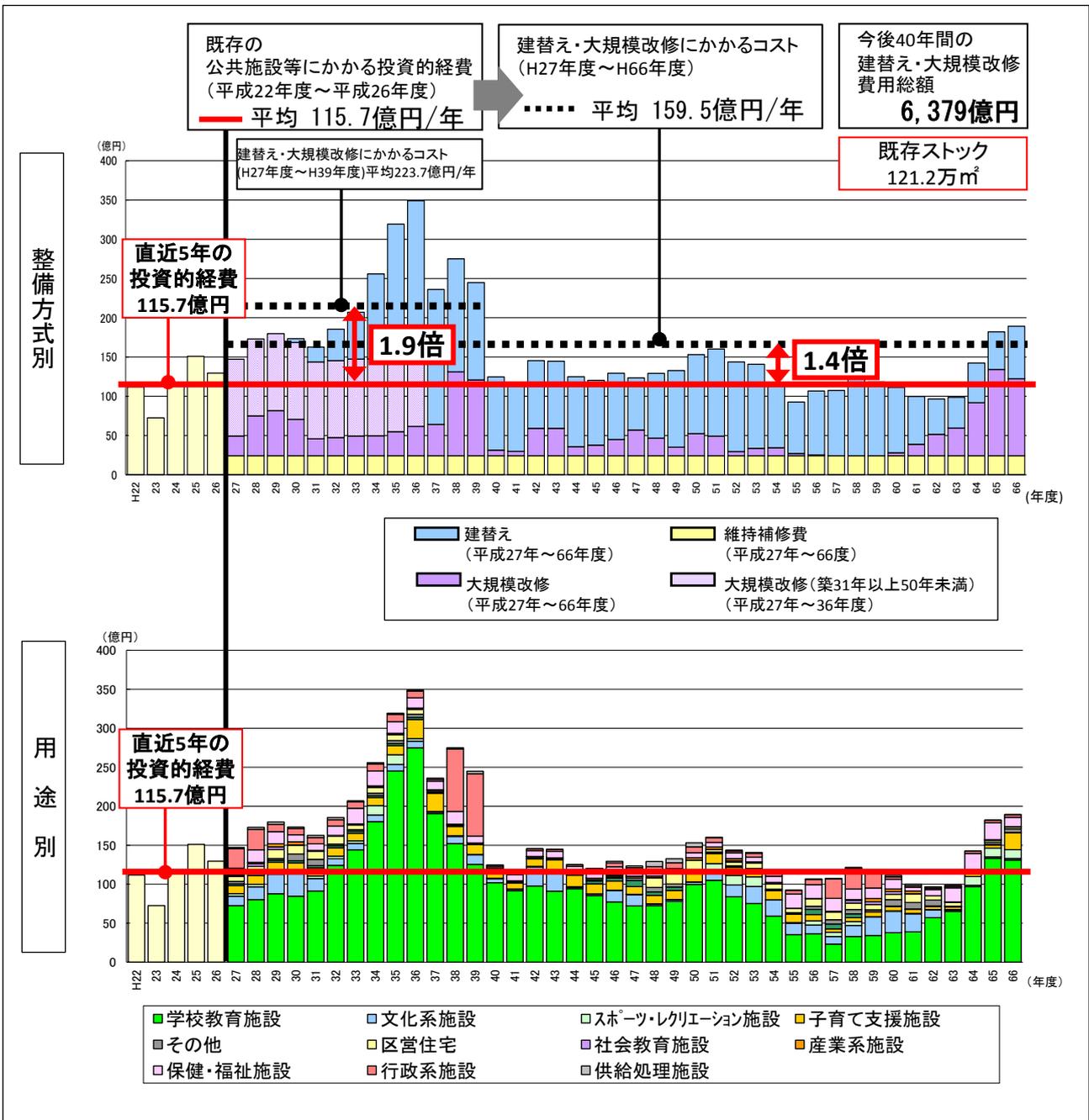
※単価は、先行して試算に取り組んでいる地方自治体の調査実績や設定単価等をもとに総務省が設定

(2) 公共施設の建替え・改修にかかるコスト試算

前記の総務省の試算ソフトで算出した結果、区の公共施設を今後も同規模で維持し続けた場合の40年間の将来更新コストは約6,379億円、年平均159.5億円となり、直近5年間の投資的経費の平均(115.7億円)の約1.4倍の費用が必要となることが明らかになりました(図3-3)。

また当区では、昭和30年代から50年代にかけて、学校教育施設の建設が集中しました。平成39年度までそれら学校教育施設の建替え費用が集中するため、平成27年度から39年度までの13年間の年平均コストは223.7億円となり、直近の投資的経費の約1.9倍の費用が必要となります。

図3-3 公共施設の建替え・改修にかかるコスト試算



(3) 試算条件の比較<公共施設>

前記のコスト試算で使用した総務省のコスト試算条件の単価と、区の建替え、大規模改修工事の実績（平成25年度から平成27年度）から算出した単価を比較すると、一部単価で乖離<sup>かいり</sup>が見られますが、概ね同様の単価となっています。

今後の公共施設等総合管理計画の策定に際しては、今回の試算結果をベースとして、長寿命化シミュレーション等を展開していきます。

<更新サイクル>

	総務省	足立区
耐用年数の設定	目標耐用年数60年(日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」)	目標耐用年数60年以上*1 (「足立区公共建築物長寿命化指針(平成25年3月)」)
更新年数の設定	建築時より30年後に大規模改修を行い、60年間使用して建替え	建築後30年前後に大規模改修を行う

<単価>

	総務省		足立区	
	建替え	大規模改修*2	建替え	大規模改修*7
市民文化系、社会教育系、行政系、産業系施設	40万円/㎡	25万円/㎡	40万円/㎡*3	19万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉施設	36万円/㎡	20万円/㎡	50万円/㎡*4	19万円/㎡
学校教育系、公園、供給処理施設	33万円/㎡	17万円/㎡	33万円/㎡*5	16万円/㎡
公営住宅	28万円/㎡	17万円/㎡	43万円/㎡*6	—*8

- ※1 ただし、長寿命化対象施設は未選定
- ※2 総務省は、大規模改修の単価を更新(建替え)の約6割で想定
- ※3 千住あずま住区センターの工事費を参考
- ※4 精神障がい者自立支援センター「ふれんどりい」の工事費を参考
- ※5 足立小学校、加平小学校、本木小学校の工事費の平均値
- ※6 区営中央本町四丁目アパートの工事費を参考、住区センター、福祉事務所との複合施設
- ※7 平成25年度から27年度までの改修工事費を参考
- ※8 区営住宅の大規模改修が行われていないため、データなし

#### (4) インフラ施設の試算条件

現在、インフラ施設（道路・橋りょう・公園）の改良などにかかる投資的経費についても、「足立区中期財政計画（平成25年度から平成32年度）」に計上しています。しかし今後、長期的（40年間）な視点から公共施設等のコストを推計する必要がありますが、インフラ施設については、総務省で公表している公共施設等更新費用の試算ソフトでは公園等が対象外となっていることもあり、より現実的な試算方法として、実際の投資額をもとに区独自の試算条件を設定して算出しました。今回の試算の基本的な考え方は、以下のとおりです。

##### 【インフラ施設の試算条件】

###### ■既存道路の試算条件

- 既存道路の将来維持更新費算定の単価設定は、平成22年～平成26年の道路維持更新費の実績額から、景観形成等を目的とした特殊維持更新費を除いた維持更新費より、単位面積当たりの更新費用を設定
- 新規道路整備については、道路完成後から、維持更新費を追加
- 道路維持更新の工種毎サイクルは、足立区の「足立区道路維持管理基準～ライフサイクルコストの実践～（平成14年3月）」により設定した更新サイクルで算定

###### ■橋りょうの試算条件

- 長寿命化計画が立案されている35橋については、「足立区橋梁長寿命化修繕計画（平成24年3月）」の年度別予算より算定
- その他の橋りょうについては、「総務省ソフト試算条件」に準拠し、法定耐用年数60年で架替えを行うものとして算定
- 撤去を予定している橋りょう、及び、架け替えを予定している（仮称）花畑人道橋（橋長32m）の架設費も計上

###### ■公園の試算条件

- バリアフリー化や施設の適正配置等の公園改修費用を過去の工事实績から320,000千円/年と設定
- 長尺フェンスやテニスコートなどの大型施設の更新費用は、初期建設費と補修工事費を合算したものを使用可能期間で除し、平均費用を270,000千円/年と設定

###### ■平成26年度維持管理実績額の設定内容

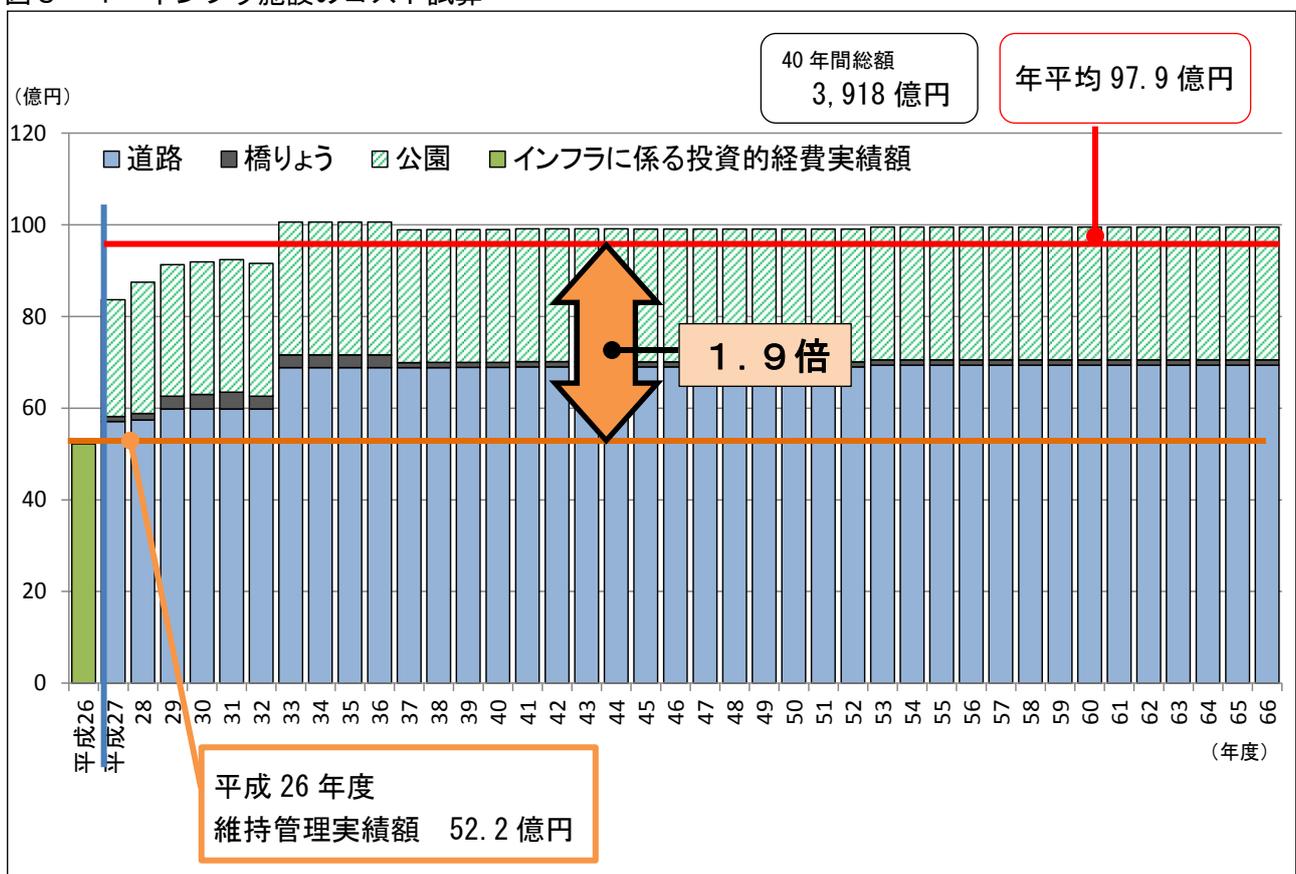
- 道路は、平成26年度実績値を採用
- 橋りょうは、「足立区橋梁長寿命化修繕計画（平成24年3月）」がすでに進行しているため、計画値を採用
- 公園は、平成26年度実績値を採用

(5) インフラ施設のコスト試算

前記の区独自の試算条件で算出した結果、今後インフラ施設（道路・橋りょう・公園）に必要なコストは、平成27～66年までの40年間総額で3,918億円、年平均97.9億円となっています（図3-4）。

このうち、道路が2,704億円、年平均67.6億円（約69%）、橋りょうが59億円、年平均1.5億円（約2%）、公園が1,155億円、年平均28.8億円（約29%）となっています。平成26年度の維持管理実績額約52.2億円と比較すると、約1.9倍の費用が必要となります。

図3-4 インフラ施設のコスト試算



(6) 試算条件の比較<インフラ施設>

インフラ施設についても、総務省で公開している「更新費用試算ソフト」でマクロ把握は可能ですが、区では、既に個別計画の策定が進んでおり、より区の現状に即したコスト把握が可能であったため、区の実績値に基づく条件設定により長期的（40年間）な視点からの試算を行いました。

今後の公共施設等総合管理計画の策定に際しては、公共施設と同様に今回の試算結果をベースとして、長寿命化シミュレーション等を展開していきます。

<試算ソフトの対象施設と区のインフラ対象施設>

	総務省の試算対象施設	足立区の対象施設
道路	○	○
橋りょう	○	○
公園	×	○
上水道	○	×
下水道	○	×

<道路の試算条件>

	総務省	足立区
耐用年数の設定	全面打替え 15年	幹線道路 20年 一般道路 30年 柵取替 50年
更新年数の設定	全整備面積を15年で割った面積の舗装部分を毎年度更新	幹線道路 20年、一般道路 30年、柵取替 50年で更新
更新単価 一般道路	4,700 円/㎡	13,800 円/㎡
更新単価 自転車歩行者道	2,700 円/㎡	13,800 円/㎡

○単価設定範囲

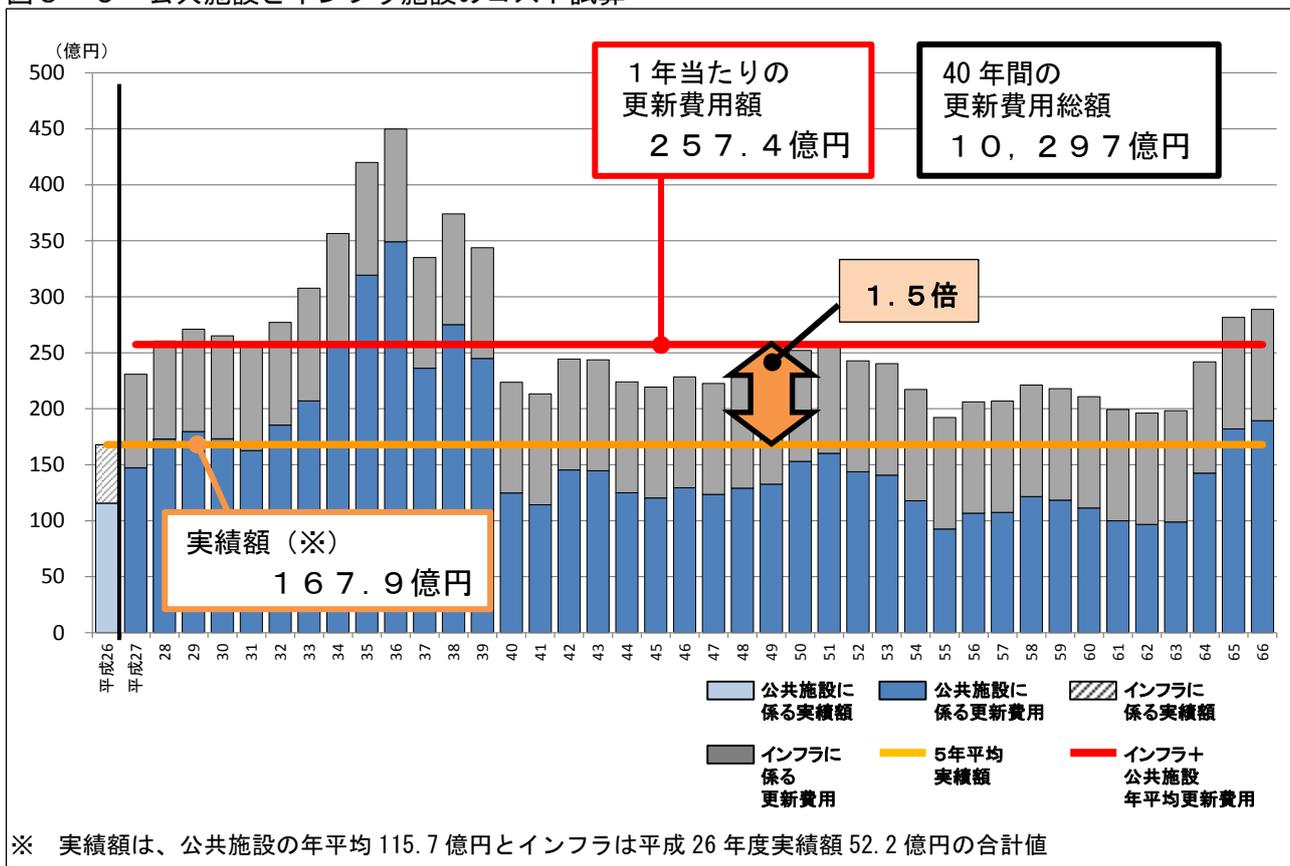
	総務省	足立区
舗装打替え	○	○
柵取替	×	○
街路等の整備、維持管理にかかる費用	×	○
河川、水路、排水場の維持にかかる費用	×	○
道路施設の保守点検、清掃、街路樹の剪定等にかかる費用	×	○
新規道路 (整備費、維持管理費)	×	○

(7) 公共施設とインフラ施設のコスト試算

公共施設とインフラ施設のコスト試算を合算した場合、今後40年間で10,297億円、年平均257.4億円の経費が必要となります。これは、実績額167.9億円の約1.5倍に相当します(図3-5)。

公共施設とインフラ施設をあわせて総合的に将来負担について検証すると、より厳しい状況が見込まれます。今後、策定予定の公共施設等総合管理計画に沿った基準を策定し、公共施設とインフラ施設の効率的な維持管理を推進するとともに、将来の財政見通しや人口構造の変化に伴う区民サービスのあり方を検証しながら、地域の状況に応じた配置の見直しや長寿命化、施設総量の抑制等、さまざまな方策を検討する必要があると考えられます。

図3-5 公共施設とインフラ施設のコスト試算





## 第4章 公共施設の老朽化状況の把握

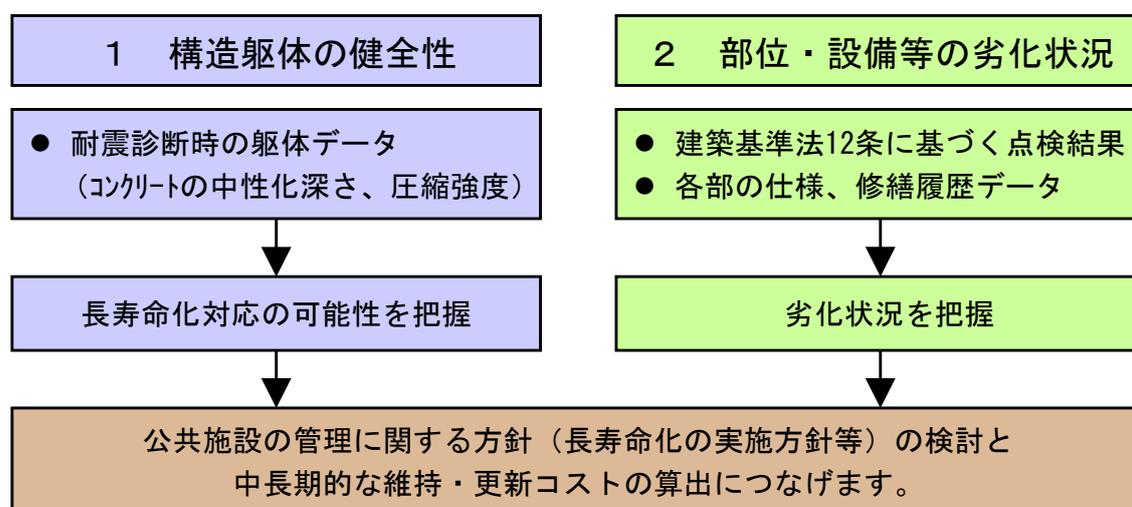


## 第4章 公共施設の老朽化状況の把握

本章では、公共施設の老朽化状況を把握し、課題を明らかにすることで、維持管理・修繕・更新・長寿命化といった管理に関する考え方の検討、及び中長期的な維持・更新コストの算出につなげることを目的とします。

建築物は、構造躯体が健全であってはいじめて、長寿命化が可能になります。一方で、構造躯体以外の部位・設備機器については、劣化状況を把握し、適切に改修することが必要です。

そこで、本章では、既存資料に基づいて「構造躯体の健全性」と「部位・設備等の劣化状況」に分けて分析しました。



### 1 構造躯体の健全性の把握

建築物は躯体の健全性が確保されてはじめて、長期間使用することができますが、施工時の状況やその後の使用状況及び立地環境によって使用できる年数が異なります。そのため、長寿命化の実施方針を立てる上では、施設ごとに構造躯体の健全性を評価する必要があります。

構造躯体の健全性の評価は、専門知識を有する技術者が現地調査や材料試験を行ったうえで行うものですが、効率的に把握するためには、過去の耐震診断時の調査結果を用いる等、既存のデータを活用することも有効です。

そこで、耐震診断実施済みの建物を対象に、次の方法で構造躯体の健全性を把握しました。

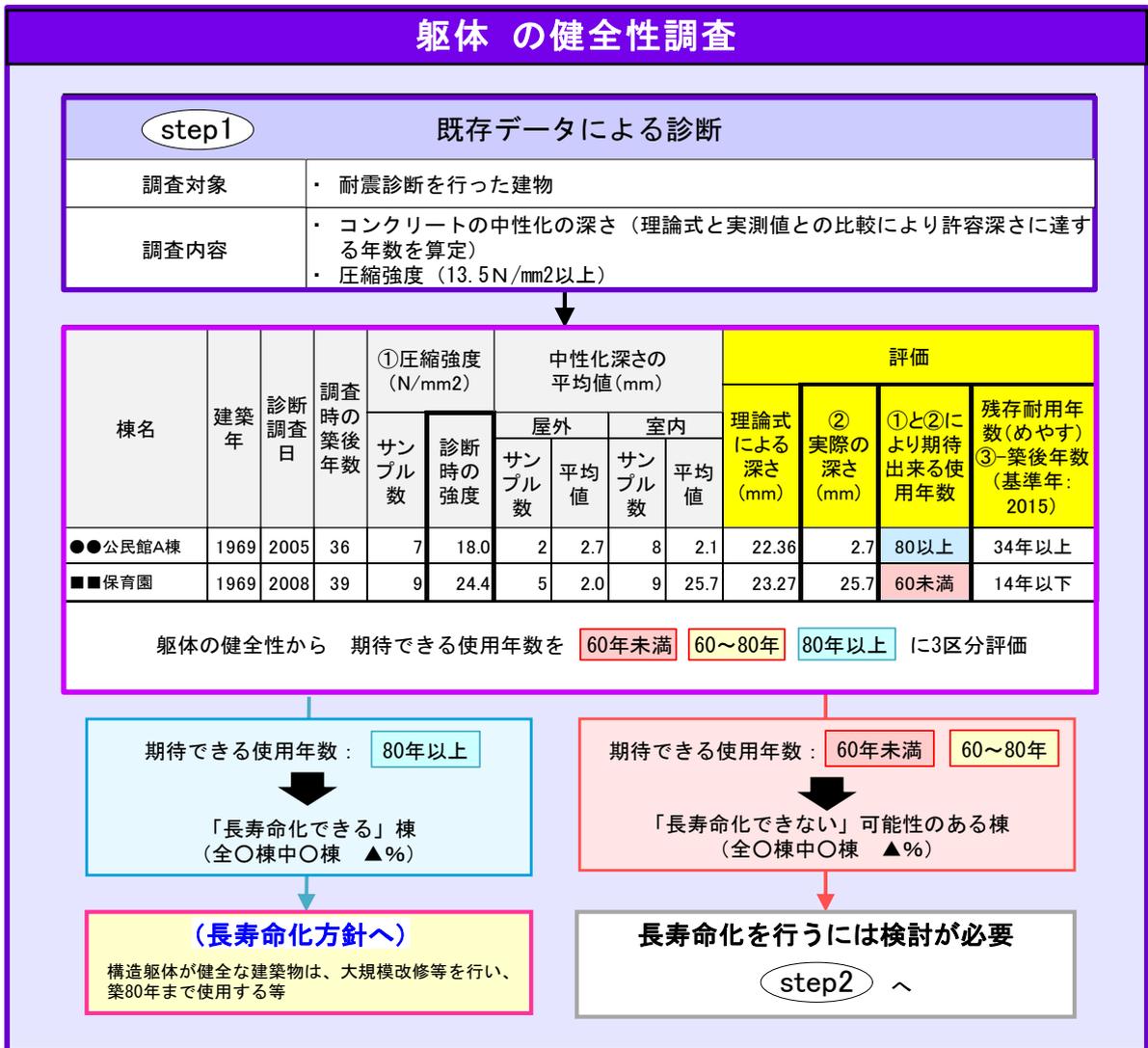
#### (1) 対象

旧耐震基準（昭和56年以前）の建築物のうち、耐震診断を行った建築物（小・中学校を除く）。

(2) 評価方法

耐震診断報告書における構造躯体データのうち、コンクリート中性化深さとコンクリート圧縮強度のデータを用いて評価します（図4-1）。

図4-1 耐震診断時の躯体データを用いた評価方法



なお、コンクリートの中性化の進行速度による評価によって、理論上は、構造躯体の残存耐用年数を求めることができますが、ここでは、過去の調査データを用いており、サンプル数も限られた中で、長寿命化方針を立てる根拠を求めることを目的としているため、評価結果は期待できる使用年数（築何年まで使用可能か）として（60年未満・60~80年・80年以上）で取りまとめることにします。

(3) 耐震診断時の躯体データを用いた評価結果

耐震診断報告書データに基づき今後期待できる使用年数を算定した結果、80年以上使用できる可能性のある建築物も多く存在する試算結果を得ました(表4-1)。

表4-1 評価結果

耐震診断データから 判定可能な施設数	期待できる使用年数		
	60年未満	60~80年	80年以上
39施設 41棟	4棟 10%	3棟 7%	34棟 83%

- ・耐震診断データから長寿命化の可否が判定可能な棟のうち、34棟(83%)が「長寿命化できる」という結果になりました。
- ・これらのデータの範囲内では、構造躯体の状態が良いものも多く、長寿命化に対応できるものが多いといえます。

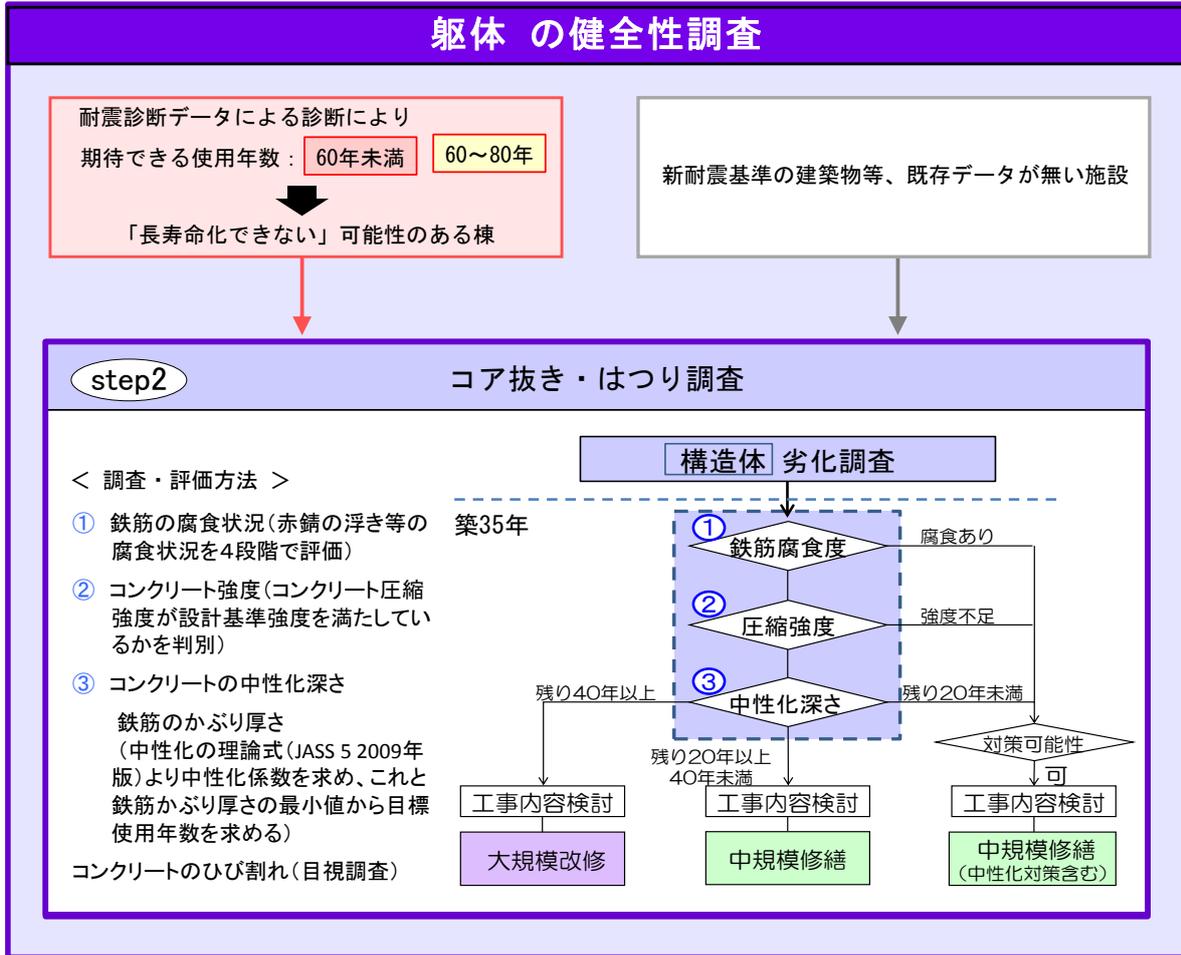
(4) 今後の詳細調査の必要性

コンクリート中性化とは、経年によりコンクリート内部のアルカリ成分が失われることで、中性化が進む速さは時間の平方根に比例します。コンクリート中性化が進行するとコンクリート内部の鉄筋が錆びやすい状態になり、ひび割れなどにつながります。ひび割れを放置しておきますと、酸素や水が容易に侵入しやすくなるため、鉄筋の腐食反応は加速度的に進行し、鉄筋コンクリートの耐久性の低下にまで至るようになります。

そこで、コンクリート中性化深さを構造躯体の健全性指標の一つとし、ここでは既存データに基づいた評価を行いました。

既存データは、古いものは10年以上前の調査結果であり、また、耐震診断が目的の調査であったことに留意し、今回の評価を参考に、個別施設の長寿命化の判定については、より詳細な調査実施が必要です(図4-2)。

図4-2 今後必要となる躯体の詳細調査



2 部位・設備等の劣化状況の把握

足立区では、建築基準法第12条に基づく点検（以下「12条点検」という。）のほか、12条点検対象外の施設のうち主要なものについては、12条点検に準じた点検を実施しています。また、建築物の主要な部位・設備等の仕様や修繕・改修工事の履歴を管理するため、保全マネジメントシステム（以下「BIMMS」という。）を導入しています。

ここでは、これらの既存資料を用いて、建築物の部位・設備等の劣化状況を把握します。

(1) 経過年数と劣化状況の関係

小・中学校と区営住宅を除く施設について、既存の点検結果を基に劣化度を算定し、築年数と比較します。

① 劣化度算定方法

劣化度は、項目に対して指摘があった場合に、その事象が建物に与える影響度を加味し、指摘有の場合には表4-2の点数をつけ、施設ごとに合計することで、劣化状況を総合的に表す指標とします。ただし、ここで使用する基礎点検は平成26年度に実施されたものであるため、現在の施設の状況とは約2年の誤差があります。

表4-2 劣化度算定方法

基礎点検表 指摘項目			評価 点数
【建築】	敷地	舗装・側溝・ます・誘導ブロック等の段差・はく離・浮き・損傷	4
		ます・側溝の清掃が不十分な箇所	2
	構造	基礎・コンクリートの柱・はりの損傷・傾斜・変形	8
		鉄骨造の柱・はり・階段等で腐食・錆び等による損傷	8
	屋根	通常の雨でも雨漏りする箇所	8
		屋根・トップライト・雨樋の変形・腐食・ぐらつき	6
外壁	外壁の仕上材（タイル・モルタル・金属パネル）の落下・浮き・ひび割れ・腐食	8	
外部	手摺・外柵・塀・外部階段等の腐食、ぐらつき	6	
【内部・設備機器】	内部	すぐに開放できない非常口の有無	評価対象としない
		防火シャッターの錆びや腐食箇所、作動不良箇所	
		開閉に障害がある防火扉や除去された防火扉	
	給水設備	法定点検による指摘	
		タンク・ポンプ・配管類の損傷や劣化	
	換気設備	換気扇等の損傷や劣化による換気不良箇所	
	消防設備等	法定点検による指摘	
	電気設備	自家用電気工作物（変電室・分電盤等）の法定点検による指摘	
		コンセント、照明器具、放送設備等の損傷や腐食	
		廊下や階段等の避難経路に設置されている非常用照明器具の損傷や不点灯の箇所	
TVアンテナや避雷針等の損傷や腐食			
エレベーター	法定点検による指摘		
小荷物専用昇降機	法定点検による指摘		

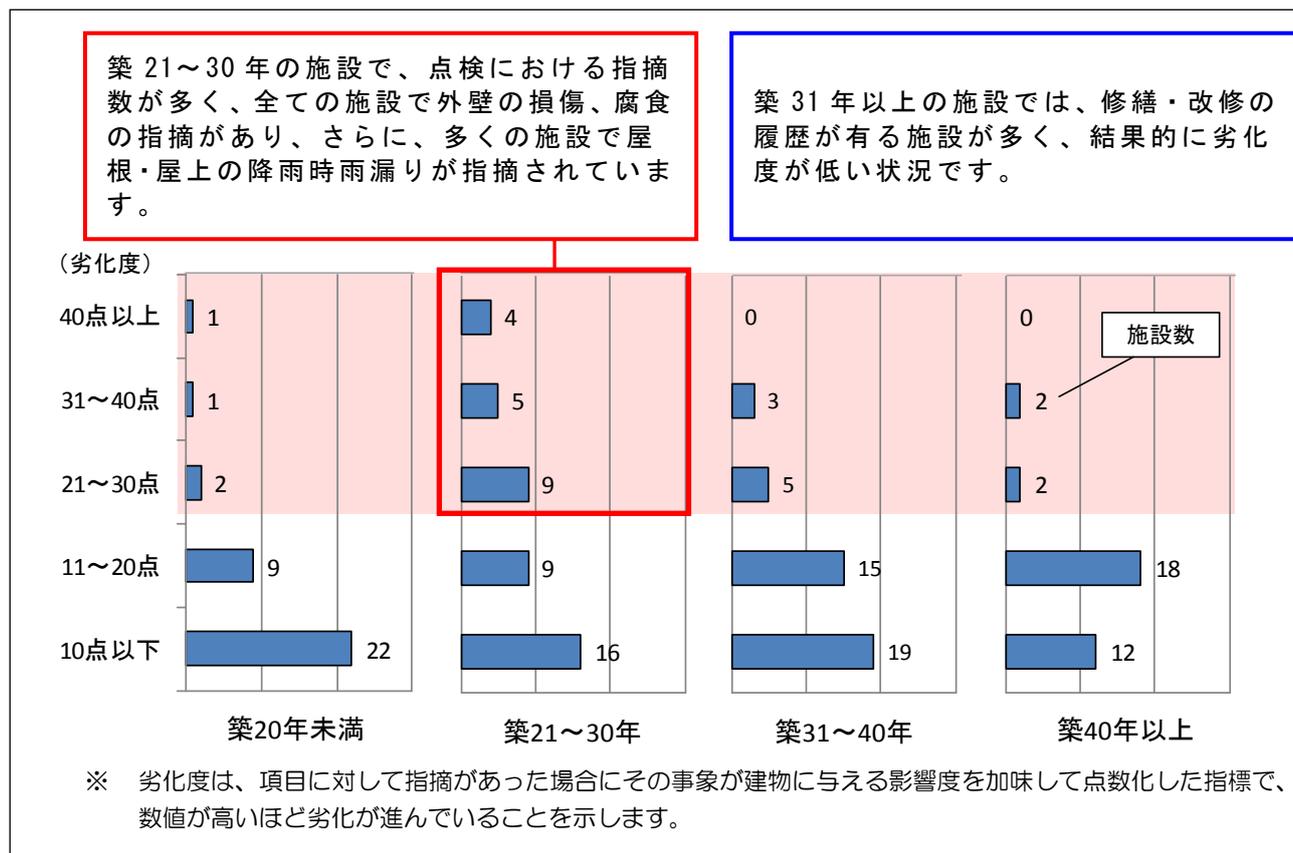
第4章 公共施設の老朽化状況の把握

② 評価結果（劣化度一覧）

点検結果より、雨漏りや外壁の損傷等の指摘が多く劣化度が高い施設は、築21年～30年の施設で見られ、これらの施設は大規模改修をしていない施設です。

一方、築31年以上の施設では、大規模改修の工事履歴があり、雨漏りや外壁の損傷等の指摘が少なくなっています。このことから、築20年を超えるあたりから屋上防水や外壁で不具合が発生し、その改修を実施することが有効であることが分かります。

図4-3 築年別の劣化度分布（小・中学校、区営住宅を除く）



## (2) これまでの維持管理状況

BIMMS に登録されている工事履歴（データ期間 27 年 昭和 63～平成 26（1988～2014）年）を用いて、用途別にこれまでの修繕・改修費用を集計します。使用年数と延床面積により、年あたり㎡あたりの工事費をみると、用途ごとにばらつきはあるものの平均で 2,516 円となります（表 4-3）。

表 4-3 工事履歴の集計（小・中学校、住宅を除く）

用途分類	建物数	①延床面積 (㎡)	工事費総額 (千円)	②年あたりの 工事費 (千円)	年あたり㎡あ たりの工事費 ②÷①(円/ 年・㎡)
住区センター	44	37,378	2,766,274	103,643	2,773
生涯学習センター・地域学習センター	15	68,276	3,367,346	127,882	1,873
地域集会所	4	1,498	111,802	4,141	2,764
社会教育施設・その他文化施設	18	41,286	3,125,362	130,459	3,160
スポーツ施設・レクリエーション施設	13	40,252	5,218,355	200,658	4,985
保健・福祉施設	28	54,596	3,149,088	159,523	2,922
子育て支援施設	63	50,235	4,827,086	180,957	3,602
行政系施設	7	95,010	2,564,342	155,192	1,633
区営住宅	37	41,098	194,781	7,370	179
その他施設等	53	53,538	1,735,872	67,735	1,265
合計	282	483,166	27,060,307	1,137,559	平均 2,516

※工事費は BIMMS 工事履歴の新築・新設・増築・解体・撤去及び工事名に複数の施設が記載されている工事を除く 2,765 件について、集計します。

※民営化保育園等は集計の対象から外しています。

※面積及び用途の該当施設数は BIMMS 登録データを使用しています。4 章の施設一覧とは一致しません。

※BIMMS のデータ期間開始年である昭和 63（1988）年より新しい施設については、その施設の築年数で年あたりの工事費を算出しています（基準年：平成 27（2015）年）

(3) 用途別に見る設備等の劣化状況の現状

施設は、用途ごとに、規模や構造、各部の仕様等に類似性があります。また、本庁舎や学校施設は計画的な修繕が行われていますが、その他の施設では所管課ごとの事後的な対応や短期的な計画に基づく対応が行われているなど、維持管理のあり方も異なっています。そのため、ここでは、第5章の用途別に老朽化状況を整理します。(表4-4)。

表4-4 現状まとめ

No.	大分類	現状まとめ
1	文化系施設	<p>(住区センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 住区センターは、延床面積が1,000㎡程度の施設で、多くは鉄筋コンクリート造2階建てです。築30年以上の施設が7割近くあります。</li> <li>➢ 現在、大規模改修を年に1施設程度実施しています。新築当初、中央機械室を持つセントラル空調方式だった施設の多くは、空調改修により個別パッケージ型の空調機に入れ替えており、メンテナンス性が向上しています。</li> <li>➢ 点検結果では、半数近くの施設で外壁の損傷、腐食の指摘があります。</li> </ul> <p>(地域学習センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 地域学習センターは、3,000～5,000㎡程度の大規模の施設で、多くは鉄筋コンクリート造の3～5階建てです。築30年以上が5施設あります。</li> <li>➢ 住区センターに比べ、外壁や設備の仕様グレードが高くなっています。</li> <li>➢ 7施設で雨漏り、13施設で外壁損傷があり、大規模改修の実施時期を迎えています。</li> </ul> <p>(上記以外の文化系施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 上記以外にも様々な目的の文化系施設があり、5,000㎡を超える大規模な施設もあります。</li> </ul>
2	社会教育施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 図書館の多くは、地域学習センターと同一建物です。</li> <li>➢ 郷土博物館は、空調改修を実施済みですが、点検結果より、外壁と屋上防水の改修時期を迎えています。</li> <li>➢ 生物園、都市農業公園は、近年改修を実施済みです。</li> </ul>
3	スポーツ・レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 体育館の多くは、地域学習センターと同一建物です。</li> <li>➢ 総合スポーツセンターは、昭和53年築の約14,000㎡の大規模な施設ですが、近年、空調機及び屋根防水、外壁の改修を行っており、劣化はみられません。</li> <li>➢ スイムスポーツセンターは、平成3年築であり、屋根や外壁の指摘も多く、大規模改修の実施時期を迎えています。</li> </ul>

No.	大分類	現状まとめ
4	学校教育施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 学校教育施設は、区有施設の約60%を占め、なかでも、築30年以上の建築物が約56万㎡以上と学校教育施設の80%を占めています。今後の更新等のコストに占める割合が非常に高いため、今後も計画的な保全を実施していきます。</li> <li>➤ 「足立区立小・中学校の施設更新計画（平成25年1月）」に従って、おおむね15～20年周期で屋上、外壁、設備等の保全工事（改修等）を実施しています。しかし、近年、耐震補強を優先して実施してきたため、その周期が崩れています。</li> </ul>
5	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 子育て支援施設の多くは、延床面積1,000㎡未満の施設です。築30年以上経過した施設が約80%です。</li> <li>➤ 過去に、屋上防水、外壁、空調の交換等の改修を実施しています。しかし、改修未実施の施設においては、雨漏り、外壁損傷等の指摘がある施設も多くなっています。</li> </ul>
6	保健・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保健・福祉施設は、保健センター、高齢者福祉施設などで、多くは延床面積3,000㎡程度の施設です。</li> <li>➤ 施設の特性から、空調や給湯などの設備を必要とし、多くの施設は中央機械室を持つセントラル方式です。</li> </ul>
7	産業系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 勤労福祉会館は、空調改修済みですが、雨漏りと外壁損傷等の指摘があります。</li> </ul>
8	行政系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本庁舎は、約76,000㎡と規模も大きく、行政サービスの中心拠点であるため、個別の長期修繕計画に従って、計画的に修繕・改修工事を実施しています。</li> <li>➤ その他の行政系施設は、1,000㎡程度の施設で、築30年以上のものは、空調改修等を実施済みです。</li> </ul>
9	区営住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「足立区区営住宅等長寿命化計画（平成22年3月）」に従って、屋上・外壁改修、エレベーター等の設置を進めています。</li> </ul>
10	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 供給処理施設等（排水施設、清掃事務所等）は、特殊な設備機器等も有するため、更新等に多くのコストがかかる見込みです。</li> </ul>



## 第5章 施設用途別実態



第5章 施設用途別実態

1 構成・データの見方

(1) 対象施設

本章では、行政サービスの種類等を基に、保有施設を以下の分類にまとめて実態を把握します。

《対象施設分類表》

用途大分類	用途中分類	施設数	該当施設例	ページ
(1)文化系施設	ア 住区センター等	54施設	住区センター、鹿浜いきいき館、東伊興生活館等	34
	イ 地域集会所	3施設	中央南地域集会所、中部地域会議室、宮城集会所	52
	ウ 生涯学習センター・地域学習センター	14施設	生涯学習センター・地域学習センター	59
	エ 文化施設	4施設	足立区文化芸術劇場(シアター1010)、庁舎ホール、西新井文化ホール・こども未来創造館(ギャラクシティ)	69
	オ 悠々会館	1施設	悠々会館	81
	カ 愛恵まちづくり記念館	1施設	愛恵まちづくり記念館	86
(2)社会教育施設	ア 図書館	15施設	図書館	92
	イ 博物館・生物園等	6施設	伊興遺跡公園展示館、桜花亭、郷土博物館、生物園、都市農業公園、ベルmont公園陳列館	106
(3)スポーツ・レクリエーション施設	ア スポーツ施設	23施設	総合スポーツセンター、体育館、プール、スポーツ公園、野球場、庭球場等	114
(4)学校教育施設	ア 小学校・中学校	69施設	小学校	132
		37施設	中学校	
	イ 校外施設	2施設	鋸南自然の家、日光林間学園	142
(5)子育て支援施設	ア 保育園・こども園	53施設	保育園・こども園	148
	イ 子育てサロン	11施設	子育てサロン	171
	ウ こども支援センターげんき	2施設	こども支援センターげんき	179
	エ 学童保育室	97施設	学童保育室	185
(6)保健・福祉系施設	ア 保健センター	5施設	足立保健所、保健総合センター、千住庁舎	195
	イ 高齢者福祉施設	10施設	特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター等	201
	ウ 社会事業授産施設	1施設	青井授産場	203
	エ 障がい者福祉施設	11施設	障がい福祉施設、作業所、障がい福祉センターあしすと等	207
	オ 障がい福祉館	1施設	竹の塚障がい福祉館	216
	カ ボランティアセンター	2施設	総合ボランティアセンター、西綾瀬ボランティアセンター	219
(7)産業系施設	ア 産業系施設	5施設	あだち産業センター、勤労福祉会館、千住仲町創業支援館はばたき、鹿浜小売市場、まちづくり工房館	222
(8)行政系施設	ア 本庁舎	1施設	本庁舎	231
	イ 区民事務所	16施設	区民事務所	235
	ウ 福祉事務所	5施設	西部福祉課、東部福祉課、北部福祉課、千住福祉課	243
(9)区営住宅	ア 区営住宅	17施設	区営住宅、コミュニティ住宅	247
(10)その他	ア 供給処理施設	19施設	リサイクルセンターあだち再生館、排水施設、清掃事務所等	253
	イ 駐車場・駐輪場・自転車移送場	63施設	駐車場・駐輪場・自転車移送場	262

第5章 施設用途別実態

(2) データの見方

施設分類ごとに、基本的に①概要シート②施設一覧③位置図④利用状況⑤コスト状況の5つの視点から実態把握を行います。

以下、各項目の見方を解説します。

《用途別データの見方》

※第5章では図表番号は入れていません。

① 概要シート				
施設概要	施設数	14 施設	管理形態	指定管理者 (14)
	主な室名	学習室・研究室、教養室、レクリエーションホール、料理室、工作室等		
	平均開館日数	345 日	総延床面積	68,275.93㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	849,216人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	3,684万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	0万円		
	③ 指定管理委託料	120,228万円		
	④ 減価償却相当額	44,176万円		
	⑤ 収入	14,922万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	168,089万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)	1,256円/人		
単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	24,619円/㎡			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者1人当たりのコストは、併設体育館の年間利用者数488,701人と生涯学習センター・地域学習センターの年間利用者数849,216人の合算値(1,337,917人)で算出している。</li> </ul>			

- 用途の概要を1枚にまとめています。
- 区全体での施設数や年間利用者数等の利用状況、年間トータルコスト等が把握できます。
- 施設の管理形態が把握できます。
  - ・ 直営…区が維持管理・運営を直接行う施設
  - ・ 委託…委託を受けた者が委託管理者として管理をしている施設
  - ・ 指定管理…区の指定を受けた者が指定管理者として管理を代行している施設
- 利用状況…年間利用者数
- 収支状況…施設別コスト計算書から転記する際、四捨五入

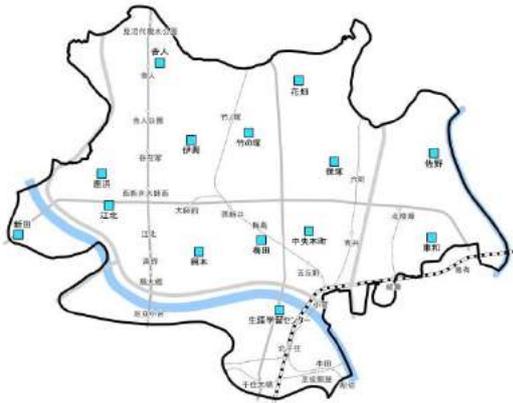
② 施設一覧									
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設				備考
					住居センター	区民センター	地域学習センター	複合施設	
1 青井住居センター	青井5丁目11-40-101	770.17	昭和55	SRC	●	●	●		
2 綾瀬住居センター	綾瀬3丁目17-9	779.56	昭和61	RC	●	●	●		
3 伊興住居センター	伊興5丁目22-13	795.20	昭和60	RC	●	●	●		
4 入谷住居センター	舎人6丁目12-4-101	1,234.51	昭和51	SRC	●	●	●		(都)
5 梅島住居センター	梅島2丁目14-5	1,015.28	昭和55	RC	●	●	●		
6 梅田住居センター	梅田6丁目26-1	777.94	昭和54	RC	●	●	●		
7 桜花住居センター	花畑6丁目4-16	997.63	平成25	S	●	●	●		
8 桜花住居センター分館	花畑8丁目2-6	154.86	平成12	軽S					
9 扇住居センター	扇1丁目47-38	797.41	昭和58	RC	●	●	●		
10 大谷田住居センター	大谷田1丁目1-2-101	1,090.78	昭和52	SRC	●	●	●		(UR)
11 大谷田谷中住居センター	大谷田4丁目16-6	911.12	平成1	S	●	●	●		
12 奥本住居センター	本木東町17-10	903.90	昭和63	RC	●	●	●		(区)
13 押原谷住居センター	鹿浜8丁目27-15	1,320.00	平成8	RC	●	●	●		
14 加賀住居センター	加賀2丁目31-6-101	760.64	昭和56	SRC	●	●	●		(都)
15 加平住居センター	加平1丁目10-6	792.00	昭和63	RC	●	●	●		
16 栗島住居センター	中央本町4丁目5	725.02	平成28	SRC	●	●	●		(区)現在建設中

- 該当施設の一覧表です。施設名称(五十音順)、所在地、延床面積、建築年度、構造と複合・併設施設の状況を整理しています。
  - ・ 名称：施設名称、「区立」などは省略
  - ・ 所在地：施設の所在地
  - ・ 延床面積：複数棟ある場合は全棟の合計延床面積、複合・併設施設の場合は当該施設分のみを記載
  - ・ 建築年度：複数棟ある場合は、主要棟の最も古い建築年度の構造を記載
  - ・ 構造種別：複数棟ある場合は、主要棟のもっとも古い建築年度の構造を記載

**建築年度：**  
赤字は築30年以上を示す

**構造種別：**  
SRC…鉄骨鉄筋コンクリート造  
RC…鉄筋コンクリート造  
S…鉄骨造  
軽S…軽量鉄骨造  
W…木造

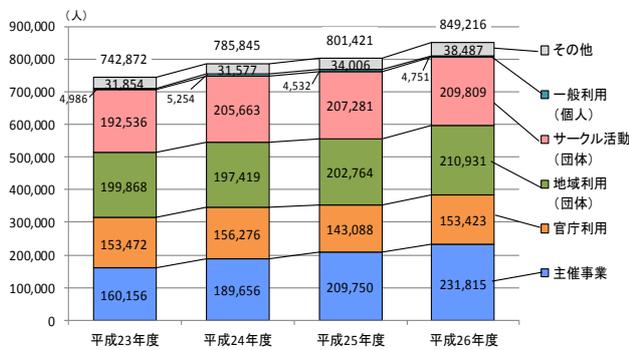
③ 位置図



- 該当施設の配置状況が分かるようになっています。

④ 利用状況

【参考：年間利用者数推移】



- 利用状況は用途によって把握項目が異なっています。
- 施設別の年間利用者数や目的別の利用状況等を把握します。
- 用途によっては稼働率も把握しています。
- 稼働率は、利用コマ数及び利用日数による把握を行っています。

⑤ 収支状況

- 収支状況では、施設にかかるコスト（人件費、修繕費、光熱水費、委託費等）と、運営・事業にかかるコスト（人件費、委託費、使用料及び賃借料等）、減価償却相当額の合計をトータルコストとして把握しています。
- 複合施設の光熱水費や指定管理委託料など、施設ごとに分割できない費用については、面積按分にて計上している場合と、主体となる施設に計上している場合があります。
- 人件費の算出にあたっては、原則として、当該施設の管理や運営に携わった人員に平成26年度平均給与額（一般職員 8,261 千円、再任用職員 3,648 千円）を乗じて算出しています（非常勤職員、臨時職員の人件費は実費を計上しています）。人件費には「退職給付費用」は含みません。
- 指定管理や委託の場合、指定管理委託料に人件費や光熱水費等のコストが含まれている場合があります。
- 減価償却相当額とは、建物の取得に要した経費を取得年度に一括で処理するのではなく、構造や種類に応じて定められた年数に応じて、年度ごとに費用化することを言い、施設の取得価格を耐用年数で均等配分した金額となっています。耐用年数が経過した施設は、減価償却相当額＝0円となります。
- 収入については、地域学習センターや集会施設等の利用者等からの使用料収入、自動販売機や電柱等の設置にともなう使用料収入、行政窓口の手数料収入、保育園・幼稚園等の保護者の負担金収入、コピー機や電話機等による諸収入を算入しています。
- 国や都からの補助金等は、区の財政負担の財源の一部とみなすため、収入には含んでいません。
- 施設白書では、施設の性質上、収益をあげることがもともと困難な施設についても同じ指標でトータルコストを把握しているため、「利用者1人当たりコスト」等の算出では、収入を加味せず、トータルコストより算出しています。
- ネットコストとは、トータルコストから収入を引いた収支差額のことです。

第5章 施設用途別実態

《個別施設のコスト把握における集計上の処理》

(1)ア 住区センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東伊興住区センターは、東伊興生活館のコストを含む</li> <li>● 住区センターコストは、併設施設（老人館・児童館・学童保育室）のコストを含む</li> </ul>
(1)ウ 生涯学習センター・地域学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定管理委託料は体育館のコストを含むが、図書館のコストは含まない</li> <li>● 指定管理委託料は複合施設全体の光熱水費及び設備維持管理経費が含まれる</li> </ul>
(1)エ 文化施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庁舎ホールの光熱水費は、面積案分による（3.0%）</li> <li>● 西新井文化ホールにかかる指定管理委託料の一部及び光熱水費は、こども未来創造館の指定管理委託料を含む</li> </ul>
(1)カ 愛恵まちづくり記念館	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 愛恵まちづくり記念館の指定管理委託料は、まちづくり工房館のコストを含む</li> </ul>
(2)ア 図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定管理委託料は併設する地域学習センターで図書館運営にかかる部分のみを計上（中央図書館、宮城コミュニティ図書館を除く）</li> <li>● 中央図書館の光熱水費等は、生涯学習センターで計上</li> <li>● 宮城コミュニティ図書館の光熱水費等は江南区民事務所で計上</li> <li>● 非常勤職員の人件費は、該当となる専門非常勤職員報酬の月額単価×勤務月数×人数で計上</li> <li>● 各図書館へ振り分けできない主催事業等のコストは、中央図書館にて計上</li> </ul>
(3)ア スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 竹の塚体育館のコストは、竹の塚温水プールにコスト計上</li> <li>● その他の体育館のコストは、地域学習センターにコスト計上</li> <li>● 千住温水プールの光熱水費は学校で負担しているため計上していない</li> <li>● 千住温水プールは、平成26年6月～平成27年2月まで大規模改修のため、休館</li> </ul>
(4)ア 学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般会計教育費の小学校費・中学校費より把握</li> </ul>
(5)ウ こども支援センターげんき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コストにはこども支援センターげんき東地区支援係を含む</li> </ul>
(5)エ 学童保育室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住区センターへ運営委託している学童保育室のコストは、住区センターのコストを含む</li> </ul>
(6)ア 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東和保健総合センターの光熱水費は、東和地域学習センターに計上</li> </ul>
(7)ア 産業系施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくり工房館の指定管理委託料は、愛恵まちづくり記念館にコスト計上</li> </ul>
(8)ア 本庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本庁舎の光熱水費は、庁舎ホールと面積按分</li> </ul>
(8)イ 区民事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域学習センターに併設の区民事務所の光熱水費は、地域学習センターに計上</li> <li>● 興本区民事務所の光熱水費は、興本住区センターに計上</li> </ul>
(10)イ 駐輪場・駐車場・自転車移送所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自転車管理委託料は、地区内駐輪場数/移送所数で按分</li> </ul>

## 2 公共施設

## (1) 文化系施設

## ア 住区センター等

区では、地域の方々が利用できる交流の場として、住区センター等（分室・分館・鹿浜いきき館・東伊興生活館を含む）54施設を設置しています。住区センターは、児童館（学童保育室含む）・悠々館（老人館）・集会室を併設し、幼児から高齢者まで利用することができます。

なお、地域学習センターの建物に併設されている施設が8施設あります。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	54 施設	管理形態	直営（1）・運営委託（53）	
	主な室名	集会室、図書室、遊戯室、工作室、音楽室、学童保育室 等			
	平均開館日数	282 日	総延床面積	44,730.54㎡	
利用状況				施設群合計	
	年間利用者数			3,014,014人	
		悠々館			741,782人
		児童館			954,874人
		学童保育室			513,602人
収支状況	① 施設にかかるコスト			13,696万円	
	② 運営・事業にかかるコスト			150,366万円	
	③ 指定管理委託料			—	
	④ 減価償却相当額			33,057万円	
	⑤ 収入			17,841万円	
	⑥ トータルコスト（⑥=①+②+③+④）			197,119万円	
	利用者1人当たりのコスト（⑥÷年間利用者数）			654円/人	
	単位床面積当たりのコスト（⑥÷総延床面積）			44,068円/㎡	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 併設施設である悠々館、児童館、学童保育室のコストを含む。</li> <li>● 収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上している。</li> <li>● 利用者1人当たりコストは、複合施設全体で算出している。</li> <li>● 単位床面積当たりコストは、分館面積も含む数値で算出している。</li> <li>● 平均開館日数は、一般利用（悠々館・児童館）の日数となっている。</li> </ul>				

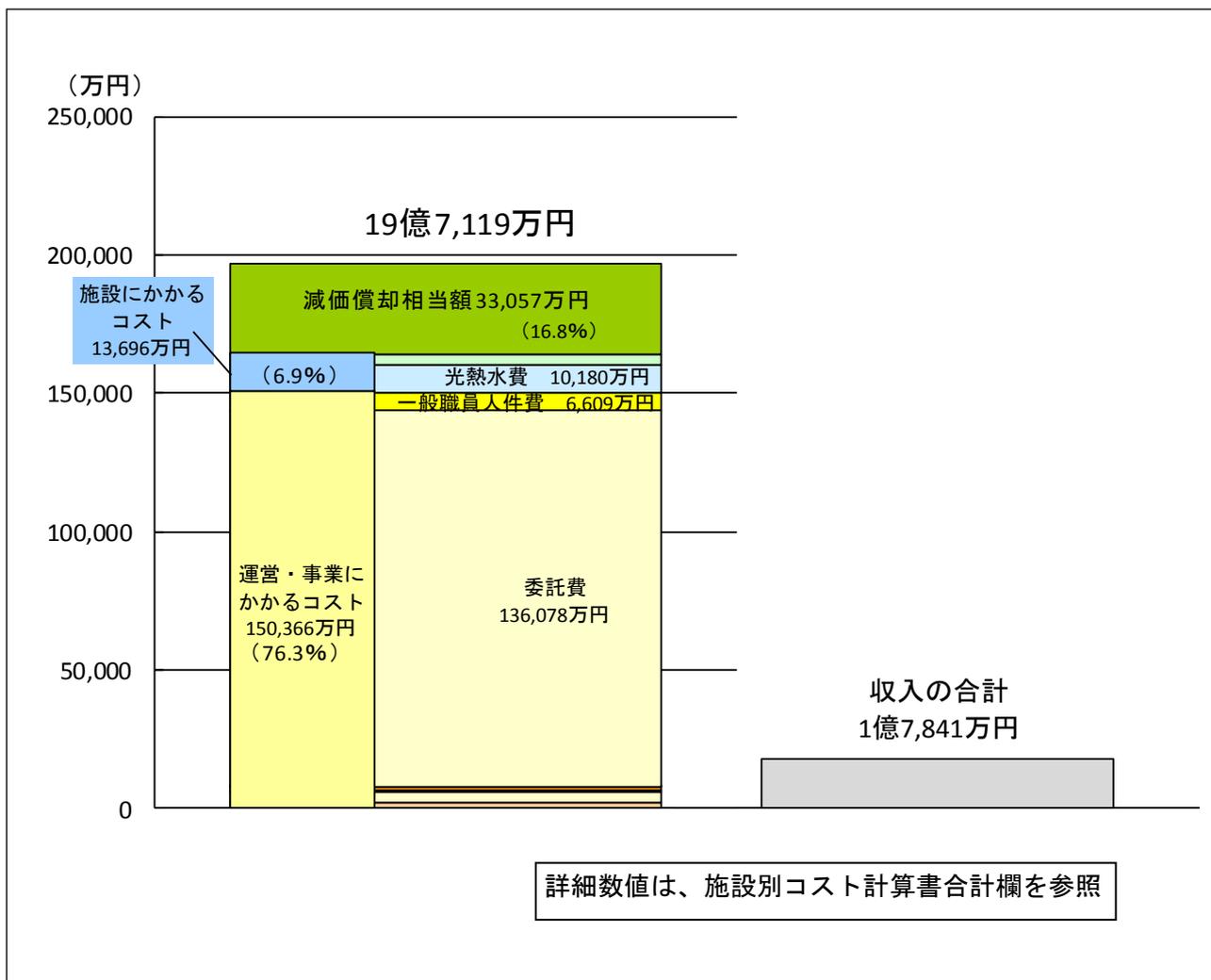
(1) ア 住区センター等

① コスト状況

住区センター54 施設の年間トータルコストは、197,119 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 13,696 万円（7%）、運営・事業にかかるコストは 150,366 万円（76%）、減価償却相当額が 33,057 万円（17%）となっています。

図 全施設収支状況



※桜花住区センター、千住あずま住区センター、長門住区センター及び淵江住区センターは分館・分室のコストを、東伊興住区センターは東伊興生活館のコストを含みます。  
 ※住区センターコストは、併設施設（老人館・児童館・学童保育）のコストを含みます。

《運営状況》

住区センターでは、町会・自治会をはじめとした地域住民により構成される管理運営委員会が区との運営委託に基づき運営を行っています。

ただし、鹿浜いきいき館は、基幹住区センターと位置付けられており、区の直営となっています。

## (1) ア 住区センター等

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	青井住区 センター	綾瀬住区 センター	伊興住区 センター	入谷住区 センター	梅島住区 センター	梅田住区 センター	桜花住区 センター	扇住区 センター	大谷田住区 センター
修繕費	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449
光熱水費	1,854,485	2,554,821	2,619,341	2,296,543	2,241,926	2,179,040	2,609,208	2,328,175	2,940,625
① 施設にかかるコスト	2,582,934	3,283,270	3,347,790	3,024,992	2,970,375	2,907,489	3,337,657	3,056,624	3,669,074
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	21,830,146	41,531,420	28,339,380	29,498,768	23,127,474	31,874,851	28,961,780	22,167,943	30,032,694
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両・備品購入費	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787
負担金補助及び交付金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
その他物件費	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155
運営費	22,877,088	42,578,362	29,386,322	30,545,710	24,174,416	32,921,793	30,008,722	23,214,885	31,079,636
委託費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
事業費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
② 運営・事業にかかるコスト	23,318,036	43,019,310	29,827,270	30,986,658	24,615,364	33,362,741	30,449,670	23,655,833	31,520,584
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②)	25,900,970	46,302,580	33,175,060	34,011,650	27,585,739	36,270,230	33,787,327	26,712,457	35,189,658
④ 減価償却相当額	6,161,360	8,205,895	6,361,600	9,876,080	8,122,240	6,223,520	12,566,168	6,379,280	8,726,240
【収入の部】									
⑤ 収入の合計 ※									
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	32,062,330	54,508,475	39,536,660	43,887,730	35,707,979	42,493,750	46,353,495	33,091,737	43,915,898
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	32,062,330	54,508,475	39,536,660	43,887,730	35,707,979	42,493,750	46,353,495	33,091,737	43,915,898

※収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

## (1) ア 住区センター等

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	大谷田谷中 住区センター	興本住区 センター	押血谷住区 センター	加賀住区 センター	加平住区 センター	栗島住区 センター	栗原北住区 センター	弘道住区 センター	江南住区 センター
修繕費	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449
光熱水費	3,439,026	3,560,211	0	2,055,249	2,287,568	0	2,614,495	2,447,125	2,029,742
① 施設にかかるコスト	4,167,475	4,288,660	728,449	2,783,698	3,016,017	728,449	3,342,944	3,175,574	2,758,191
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	29,319,509	29,459,439	22,509,186	23,165,572	23,546,620	17,174,157	28,477,495	31,295,927	22,300,886
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両・備品購入費	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787
負担金補助及び交付金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
その他物件費	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155
運営費	30,366,451	30,506,381	23,556,128	24,212,514	24,593,562	18,221,099	29,524,437	32,342,869	23,347,828
委託費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
事業費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
② 運営・事業にかかるコスト	30,807,399	30,947,329	23,997,076	24,653,462	25,034,510	18,662,047	29,965,385	32,783,817	23,788,776
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②)	34,974,874	35,235,989	24,725,525	27,437,160	28,050,527	19,390,496	33,308,329	35,959,391	26,546,967
④ 減価償却相当額	9,590,737	7,231,200	10,560,000	6,084,880	6,336,000	5,800,160	6,642,400	6,058,800	5,971,280
【収入の部】									
⑤ 収入の合計 ※									
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	44,565,611	42,467,189	35,285,525	33,522,040	34,386,527	25,190,656	39,950,729	42,018,191	32,518,247
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	44,565,611	42,467,189	35,285,525	33,522,040	34,386,527	25,190,656	39,950,729	42,018,191	32,518,247

※収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

## (1) ア 住区センター等

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	江北コミュニティセンター	五反野コミュニティセンター	佐野住区センター	鹿浜いきいき館	鹿浜住区センター	島根住区センター	新田住区センター	神明住区センター	千住あずま住区センター
修繕費	728,449	728,449	728,449	195,233	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449
光熱水費	2,368,215	2,337,546	0	3,168,821	0	2,419,241	0	3,536,767	2,868,342
① 施設にかかるコスト	3,096,664	3,065,995	728,449	3,364,054	728,449	3,147,690	728,449	4,265,216	3,596,791
一般職員人件費	0	0	0	66,088,000	0	0	0	0	0
委託費	21,090,491	31,079,628	24,163,307	600,000	23,565,734	22,679,045	28,146,637	31,724,575	36,293,119
使用料及び賃借料	0	0	0	194,400	0	0	0	0	0
車両・備品購入費	226,787	226,787	226,787	127,440	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787
負担金補助及び交付金	100,000	100,000	100,000	0	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
その他物件費	720,155	720,155	720,155	5,048,868	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155
運営費	22,137,433	32,126,570	25,210,249	72,058,708	24,612,676	23,725,987	29,193,579	32,771,517	37,340,061
委託費	440,948	440,948	440,948	0	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
事業費	440,948	440,948	440,948	0	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
② 運営・事業にかかるコスト	22,578,381	32,567,518	25,651,197	72,058,708	25,053,624	24,166,935	29,634,527	33,212,465	37,781,009
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②)	25,675,045	35,633,513	26,379,646	75,422,762	25,782,073	27,314,625	30,362,976	37,477,681	41,377,800
④ 減価償却相当額	5,920,160	7,995,360	0	14,710,842	0	6,367,600	7,072,000	8,825,789	7,797,040
【収入の部】									
⑤ 収入の合計 ※									
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	31,595,205	43,628,873	26,379,646	90,133,604	25,782,073	33,682,225	37,434,976	46,303,470	49,174,840
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	31,595,205	43,628,873	26,379,646	90,133,604	25,782,073	33,682,225	37,434,976	46,303,470	49,174,840

※収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

※佐野、鹿浜住区センターの減価償却費は、地域学習センターの減価償却費に含まれます。

## (1) ア 住区センター等

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	千住河原町 住区センター	千住本町 住区センター	千住柳町 住区センター	竹の塚六月 住区センター	中央本町 住区センター	東和住区 センター	舎人住区 センター	長門住区 センター	西新井住区 センター
修繕費	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449
光熱水費	3,873,703	2,583,841	2,282,043	2,226,983	0	671,250	342,168	1,887,980	1,925,880
① 施設にかかるコスト	4,602,152	3,312,290	3,010,492	2,955,432	728,449	1,399,699	1,070,617	2,616,429	2,654,329
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	41,623,947	23,515,482	23,590,227	31,844,999	29,886,773	39,562,504	31,184,254	27,994,805	22,178,779
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両・備品購入費	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787
負担金補助及び交付金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
その他物件費	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155
運営費	42,670,889	24,562,424	24,637,169	32,891,941	30,933,715	40,609,446	32,231,196	29,041,747	23,225,721
委託費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
事業費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
② 運営・事業にかかるコスト	43,111,837	25,003,372	25,078,117	33,332,889	31,374,663	41,050,394	32,672,144	29,482,695	23,666,669
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②)	47,713,989	28,315,662	28,088,609	36,288,321	32,103,112	42,450,093	33,742,761	32,099,124	26,320,998
④ 減価償却相当額	10,575,684	6,478,000	11,635,600	5,886,240	0	0	0	12,590,526	6,098,480
【収入の部】									
⑤ 収入の合計 ※									
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	58,289,673	34,793,662	39,724,209	42,174,561	32,103,112	42,450,093	33,742,761	44,689,650	32,419,478
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	58,289,673	34,793,662	39,724,209	42,174,561	32,103,112	42,450,093	33,742,761	44,689,650	32,419,478

※収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

※中央本町、東和、舎人住区センターの減価償却費は、地域学習センターの減価償却費に含まれます。

## (1) ア 住区センター等

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	西新井栄町 住区センター	西新井本町 住区センター	西伊興住区 センター	花畑住区 センター	花保住区 センター	東綾瀬住区 センター	東伊興住区 センター	平野住区 センター	淵江住区 センター
修繕費	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449	728,449
光熱水費	2,584,348	730,776	2,595,170	0	2,243,876	3,297,811	4,075,527	2,132,647	3,583,323
① 施設にかかるコスト	3,312,797	1,459,225	3,323,619	728,449	2,972,325	4,026,260	4,803,976	2,861,096	4,311,772
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	35,100,253	20,981,059	32,381,158	25,258,701	24,863,017	29,506,975	40,683,171	34,769,203	37,133,733
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両・備品購入費	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787	226,787
負担金補助及び交付金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
その他物件費	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155	720,155
運営費	36,147,195	22,028,001	33,428,100	26,305,643	25,909,959	30,553,917	41,730,113	35,816,145	38,180,675
委託費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
事業費	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948	440,948
② 運営・事業にかかるコスト	36,588,143	22,468,949	33,869,048	26,746,591	26,350,907	30,994,865	42,171,061	36,257,093	38,621,623
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②)	39,900,940	23,928,174	37,192,667	27,475,040	29,323,232	35,021,125	46,975,037	39,118,189	42,933,395
④ 減価償却相当額	6,688,400	6,447,600	9,209,474	0	6,237,600	11,134,947	8,786,842	8,613,474	5,886,240
【収入の部】									
⑤ 収入の合計 ※									
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	46,589,340	30,375,774	46,402,141	27,475,040	35,560,832	46,156,072	55,761,879	47,731,663	48,819,635
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	46,589,340	30,375,774	46,402,141	27,475,040	35,560,832	46,156,072	55,761,879	47,731,663	48,819,635

※収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

※花畑住区センターの減価償却費は、地域学習センターの減価償却費に含まれます。

(1) ア 住区センター等

表 施設別コスト計算書

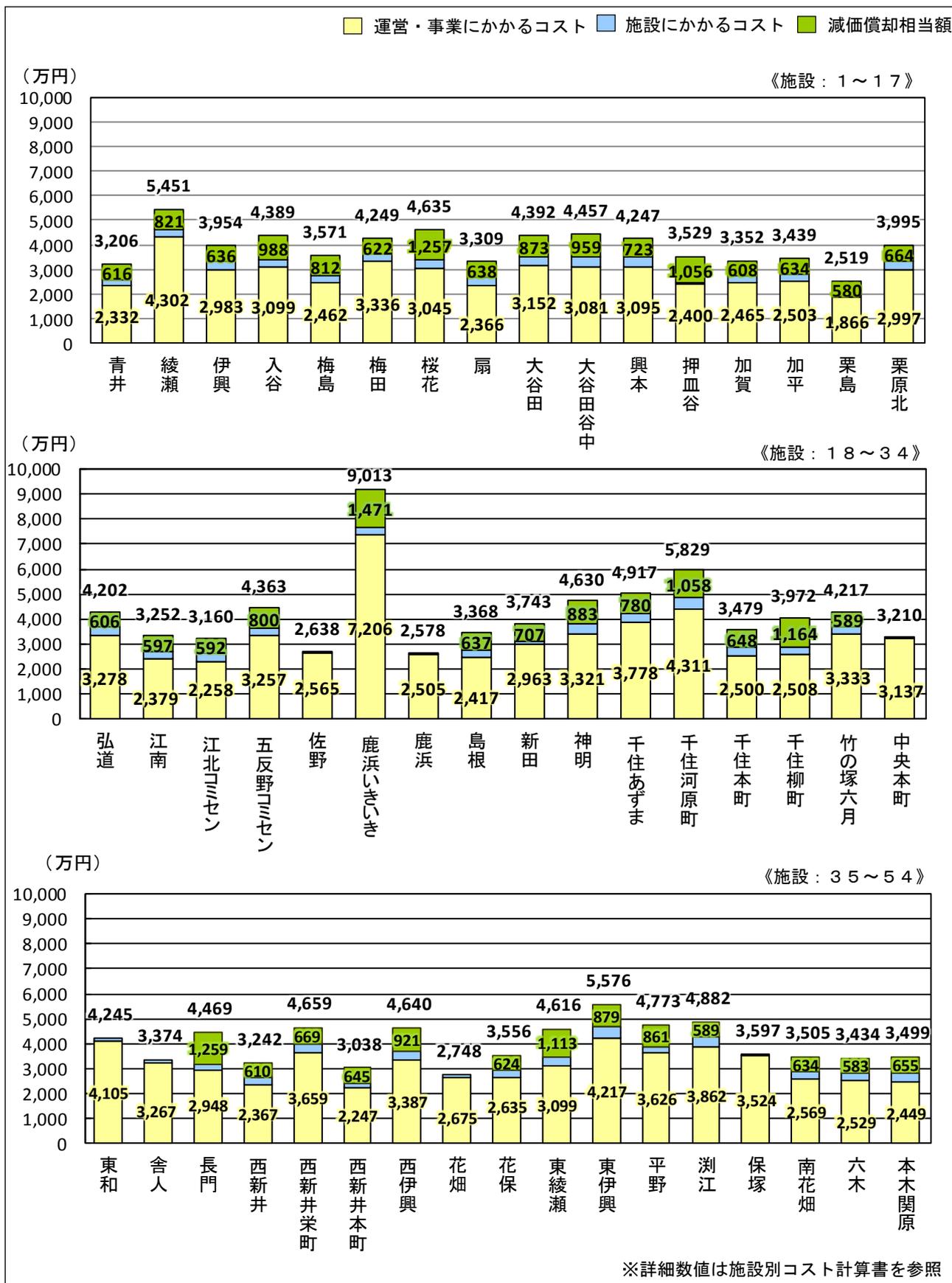
(円)

【費用の部】	保塚住区 センター	南花畑住区 センター	六木住区 センター	本木関原 住区センター	合計
修繕費	728,449	728,449	728,449	728,449	35,160,785
光熱水費	0	2,288,677	2,496,659	3,223,034	101,802,208
① 施設にかかるコスト	728,449	3,017,126	3,225,108	3,951,483	136,962,993
一般職員人件費	0	0	0	0	66,088,000
委託費	33,756,319	24,205,325	23,799,928	23,002,563	1,360,778,958
使用料及び賃借料	0	0	0	0	194,400
車両・備品購入費	226,787	226,787	226,787	226,787	11,013,216
負担金補助及び交付金	100,000	100,000	100,000	100,000	4,800,000
その他物件費	720,155	720,155	720,155	720,155	39,616,308
運営費	34,803,261	25,252,267	24,846,870	24,049,505	1,482,490,882
委託費	440,948	440,948	440,948	440,948	21,165,504
事業費	440,948	440,948	440,948	440,948	21,165,504
② 運営・事業にかかるコスト	35,244,209	25,693,215	25,287,818	24,490,453	1,503,656,386
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②)	35,972,658	28,710,341	28,512,926	28,441,936	1,640,619,379
④ 減価償却相当額	0	6,339,840	5,825,680	6,550,640	330,571,898
【収入の部】					
⑤ 収入の合計 ※					178,410,000
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	35,972,658	35,050,181	34,338,606	34,992,576	1,971,191,277
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	35,972,658	35,050,181	34,338,606	34,992,576	1,792,781,277

※収入は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

※保塚住区センターの減価償却費は、地域学習センターの減価償却費に含まれます。

図 施設別トータルコスト



※桜花住区センター、千住あずま住区センター、長門住区センター及び淵江住区センターは分館、分室のコストを、東伊興住区センターは東伊興生活館のコストを含みます。

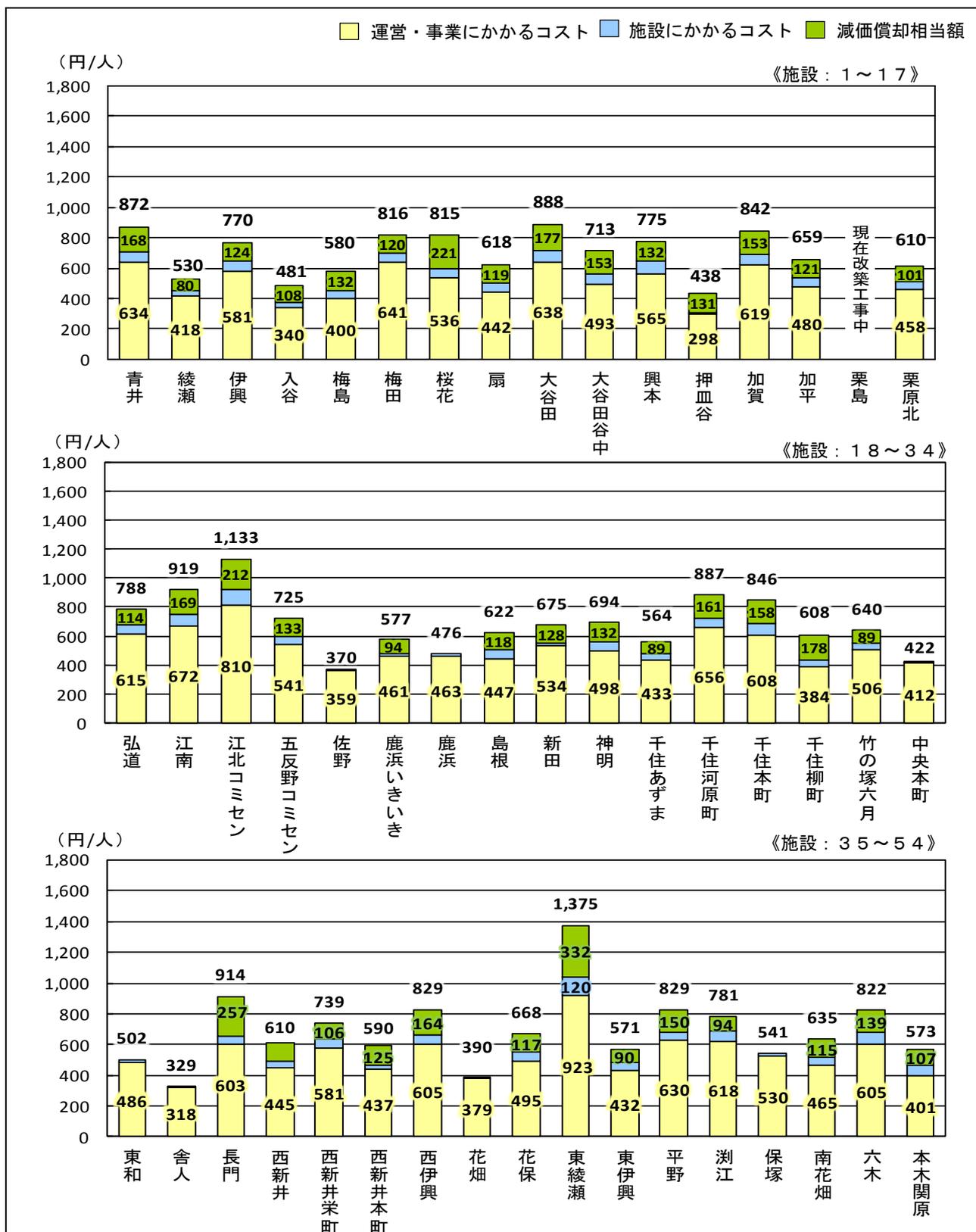
(1) ア 住区センター等

② 評価・分析

■ 利用者1人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は654円/人です。

図 利用者1人当たりにかかるコスト

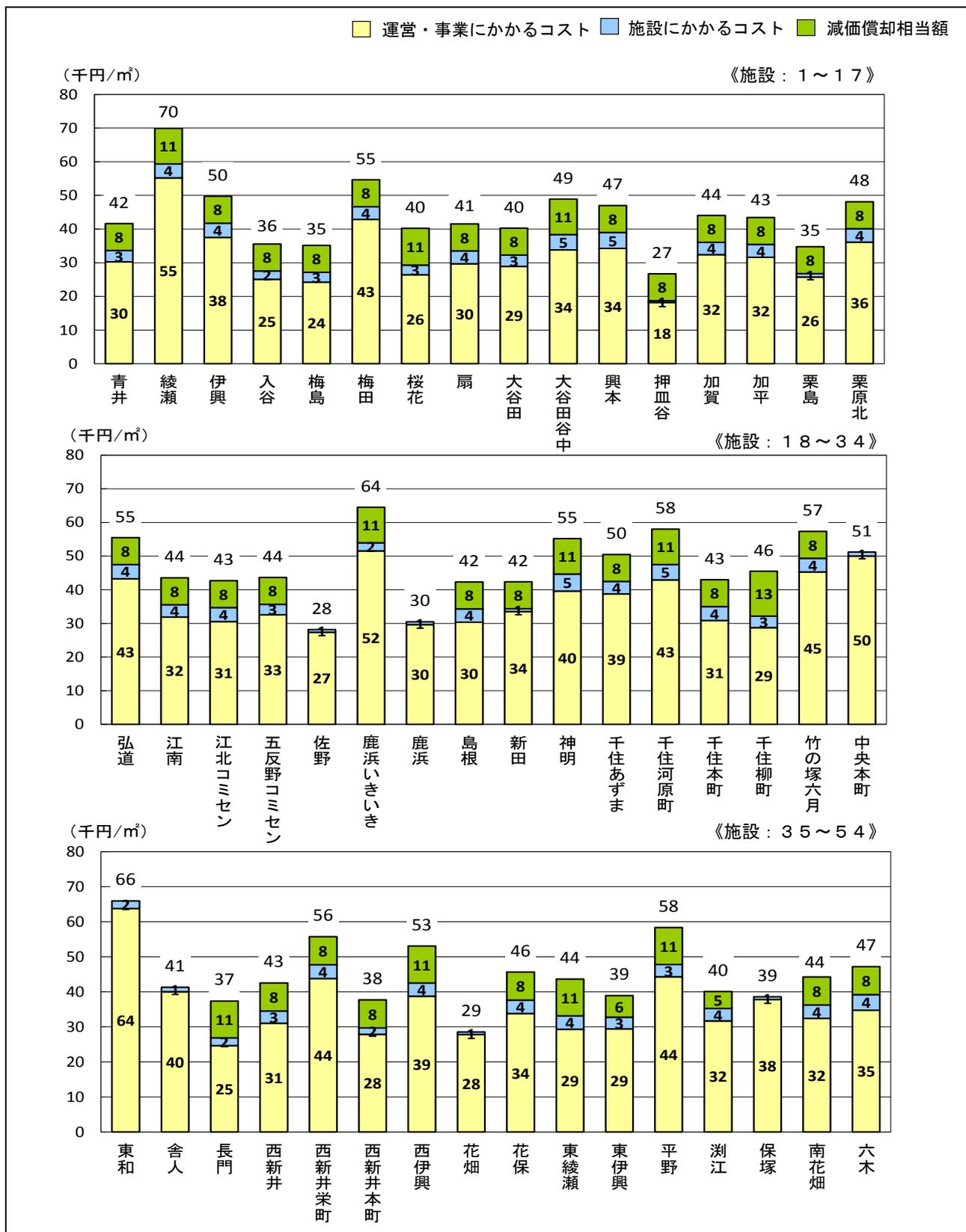


※梅田住区センター、栗島住区センター、栗原北住区センター、江北コミュニティセンター及び東綾瀬住区センターは、平成26年度中に休館を伴う改修工事があった施設です。

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストは 44,068円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト



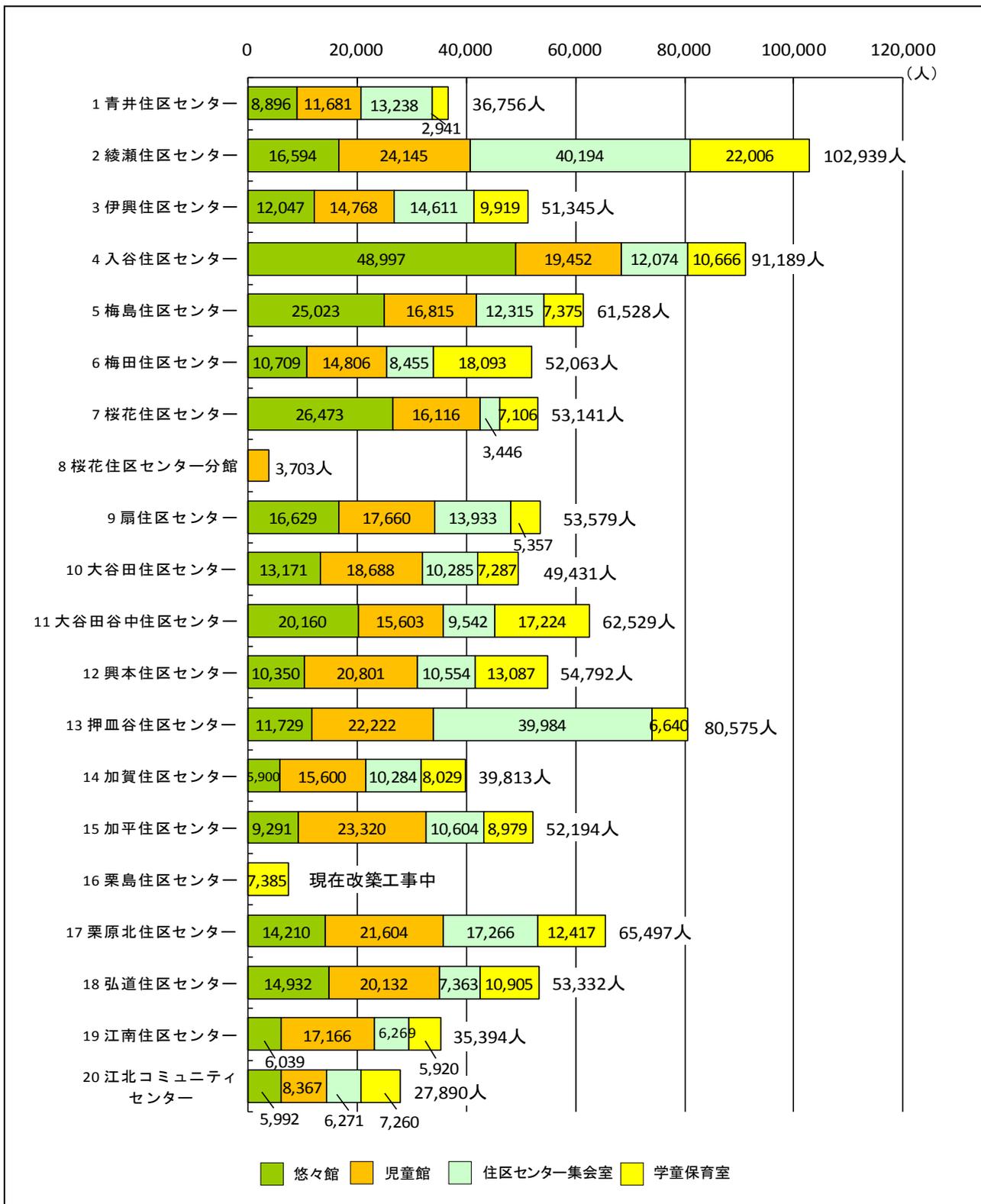
(1) ア 住区センター等

③ 利用状況

■ 年間利用者数

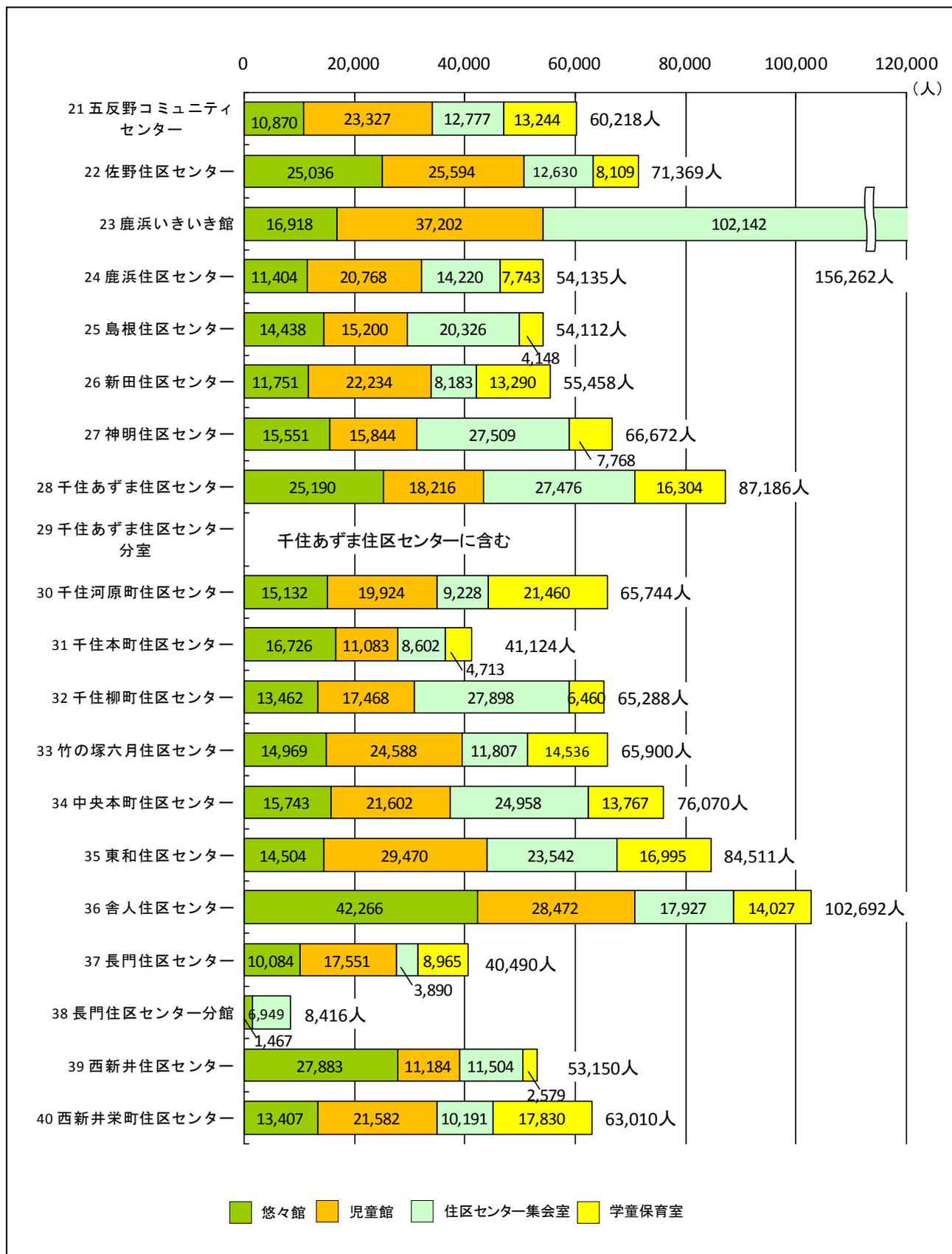
住区センターの施設別年間利用者数は以下のとおりです。

図 施設別年間利用者数（平成 26 年度）



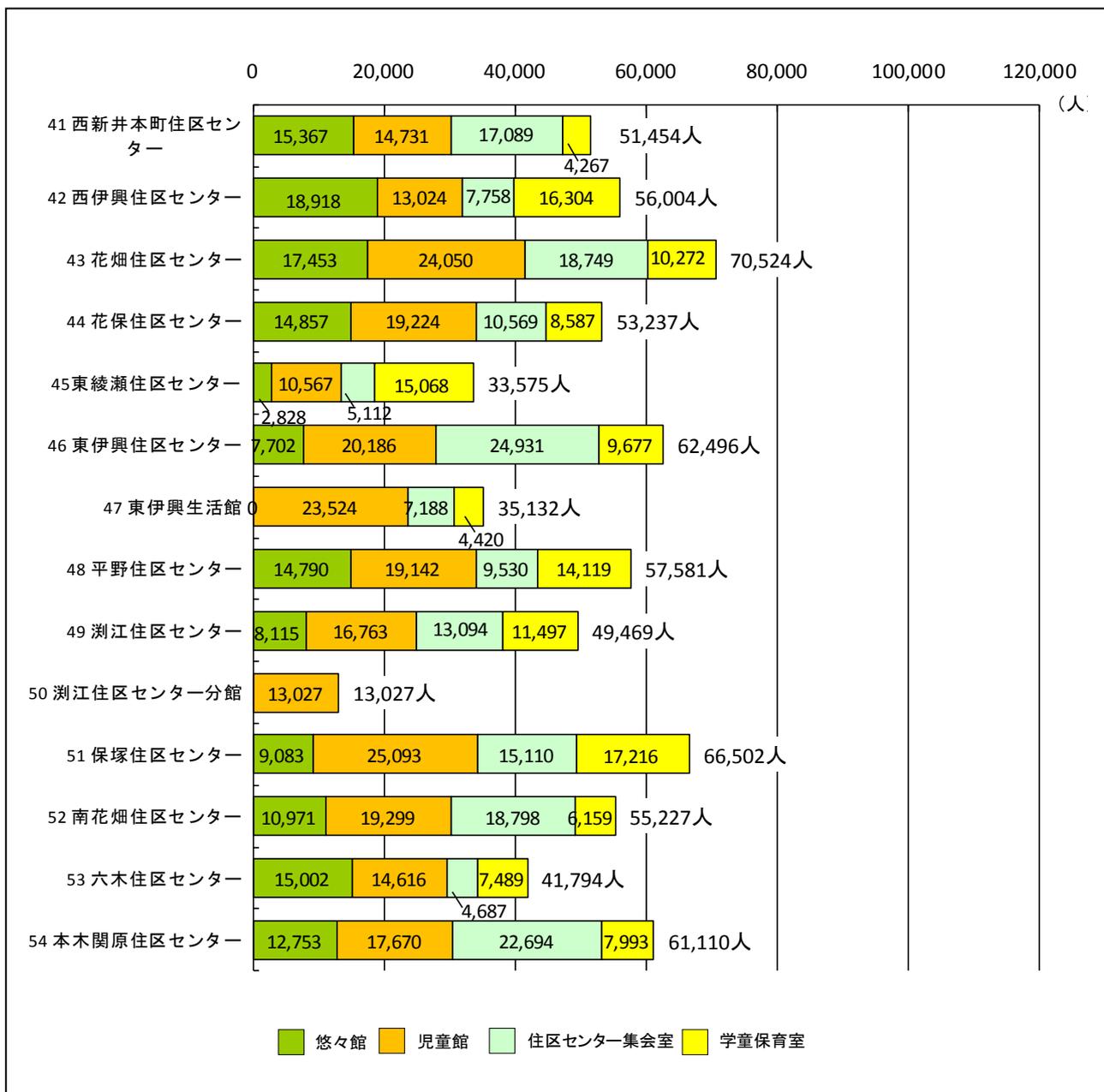
※ 梅田住区センター、栗原北住区センター、江北コミュニティセンターは、平成 26 年中に休館を伴う改修工事があったため運営日数が異なります。

図 施設別年間利用者数（平成 26 年度）



(1) ア 住区センター等

図 施設別年間利用者数（平成 26 年度）



※ 東綾瀬住区センターは、平成 26 年中に休館を伴う改修工事があったため運営日数が異なります。

④ 設置目的・事業内容

設置目的	事業内容
地域住民による自主的な運営を通して、住民自治の醸成を図るとともに、児童の健全育成並びに高齢者の生きがいがづくり並びに地域住民相互の交流及び学習活動の推進をするため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民相互の交流</li> <li>・ 学習活動の推進</li> </ul>

## ⑤ 開館時間

開館時間	休館日
午前 9 時から午後 9 時 30 分	年末年始 (12 月 29 日から 1 月 3 日)

## ⑥ 利用方法及び使用料

集会施設の利用は、地域の団体（原則として区内に在住し、又は在勤する者で構成する団体）が利用し、利用にあたっては申請が必要となります。料金は使用する部屋面積及び使用時間により異なります。

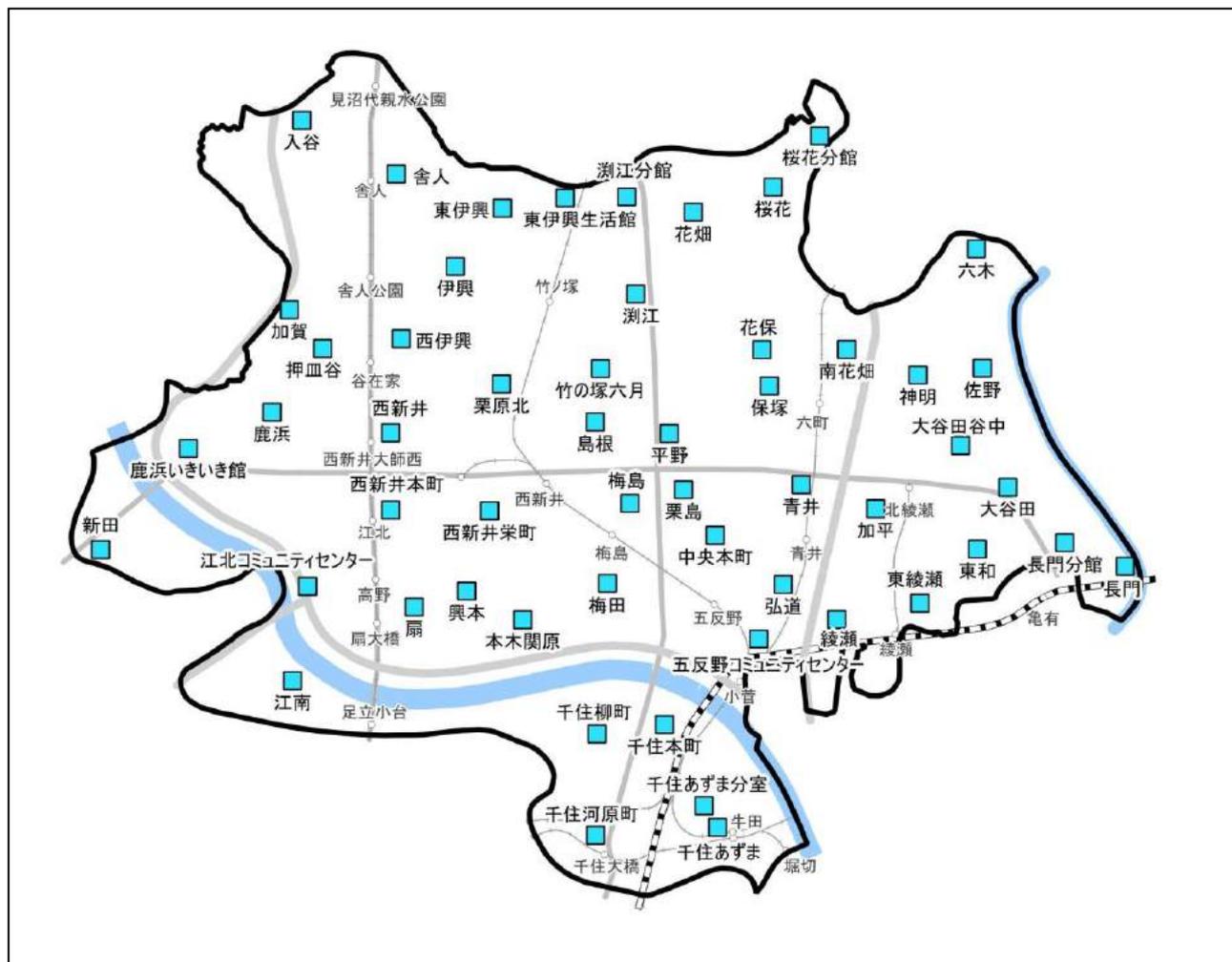
集会室・大広間・娛樂室・バンパーコーナー・児童広場

500 円～700 円（1 時間あたり）

※使用時間が 1 日 10 時間を超える場合の施設使用料については、1 時間あたり 500 円の施設にあつては 5,000 円、1 時間あたり 700 円の施設にあつては 7,000 円。

## ⑦ 配置状況

図 住区センター位置図



(1) ア 住区センター等

⑧ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る 建物)	複合・併設施設					備考	
						住区センター			区民 事務所	地域 学習 センター		その他
						悠々館 (老人 館)	児童館	学童 保育室				
1 青井住区センター	青井5丁目11-40-101	770.17	昭和55	35	SRC	●	●	●			児童館子育てサロ ン専用室 (公社)	
2 綾瀬住区センター	綾瀬3丁目17-9	779.56	昭和61	29	RC	●	●	●				
3 伊興住区センター	伊興5丁目22-13	795.20	昭和59	31	RC	●	●	●				
4 入谷住区センター	舎人6丁目12-4-101	1,234.51	昭和51	39	SRC	●	●	●			児童館子育てサロ ン専用室 (都)	
5 梅島住区センター	梅島2丁目14-5	1,015.28	昭和55	35	RC	●	●	●				
6 梅田住区センター	梅田6丁目26-1	777.94	昭和54	36	RC	●	●	●				
7 桜花住区センター	花畑6丁目4-16	997.63	平成25	2	S	●	●	●				
8 桜花住区センター 分館	花畑8丁目2-6	154.86	平成12	15	軽S							
9 扇住区センター	扇1丁目47-38	797.41	昭和58	32	RC	●	●	●				
10 大谷田住区センター	大谷田1丁目1-2-101	1,090.78	昭和52	38	SRC	●	●	●			(UR)	
11 大谷田谷中 住区センター	大谷田4丁目16-6	911.12	平成1	26	S	●	●	●				
12 興本住区センター	本木東町17-10	903.90	昭和62	28	RC	●	●	●	●		(区)	
13 押皿谷住区センター	鹿浜8丁目27-15	1,320.00	平成8	19	RC	●	●	●			足立福祉事務所西 部福祉課	
14 加賀住区センター	加賀2丁目31-6-101	760.61	昭和56	34	SRC	●	●	●			(都)	
15 加平住区センター	加平1丁目10-6	792.00	昭和61	29	RC	●	●	●				
16 栗島住区センター	中央本町4丁目5-1	725.02	平成28		SRC	●	●	●			足立福祉事務所 (区住) 現在建替え中	
17 栗原北住区センター	栗原4丁目19-15	830.30	昭和53	37	RC	●	●	●				
18 弘道住区センター	弘道2丁目16-1-101	757.35	昭和57	33	SRC	●	●	●			(都)	
19 江南住区センター	小台2丁目45-4	746.41	昭和53	37	RC	●	●	●				
20 江北コミュニティ センター	江北2丁目8-2	740.02	昭和55	35	RC	●	●	●				

※赤字は築30年以上の施設

(都) - 都営住宅内併設 (UR) - UR住宅内併設 (区) - 区施設内併設

(区住) - 区営住宅内併設 (公社) - 都住宅供給公社住宅内併設 無印 - 単独施設

## (1) ア 住区センター等

表 施設一覧 (50 音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る 建物)	複合・併設施設					備考	
						住区センター			区民 事務所	地域 学習 センター		その他
						悠々館 (老人 館)	児童館	学童 保育室				
21 五反野コミュニティ センター	西綾瀬2丁目1-13	999.42	昭和56	34	RC	●	●	●				
22 佐野住区センター	佐野2丁目43-5	937.10	昭和56	34	RC	●	●	●	●	●	(区)	
23 鹿浜いきいき館	鹿浜2丁目24-2	1,397.53	平成21	6	S	●	●				子育てサロン	
24 鹿浜住区センター	鹿浜6丁目8-1	845.90	昭和62	28	RC	●	●	●	●	●	(区)	
25 島根住区センター	島根4丁目19-1-101	795.95	昭和57	33	SRC	●	●	●			(都)	
26 新田住区センター	新田2丁目2-2	884.00	平成9	18	SRC	●	●	●	●	●	(都)	
27 神明住区センター	神明南2丁目6-19	838.45	平成2	25	S	●	●	●				
28 千住あずま 住区センター	千住東2丁目21-18	1,411.33	平成28		RC	●	●	●			児童館子育てサロ ン専用室	
29 千住あずま 住区センター分室	千住旭町9-16	192.00	昭和44	46	RC							
30 千住河原町 住区センター	千住河原町5-12	1,004.69	平成4	23	S	●	●	●				
31 千住本町 住区センター	千住5丁目6-2	809.75	昭和60	30	RC	●	●	●				
32 千住柳町 住区センター	千住柳町12-5	872.67	平成19	8	軽S	●	●				児童館子育てサロ ン専用室	
33 竹の塚六月 住区センター	六月2丁目26-3-101	735.78	昭和56	34	SRC	●	●	●			(都)	
34 中央本町 住区センター	中央本町3丁目15-1	627.10	昭和55	35	RC	●	●	●		●	(区)	
35 東和住区センター	東和3丁目12-9	643.80	昭和56	34	RC	●	●	●		●	(区) 現在改修工事中	
36 舎人住区センター	舎人1丁目3-17	816.80	昭和58	32	SRC	●	●	●	●	●	高齢者作業所 (区)	
37 長門住区センター	中川2丁目24-2-101	573.90	昭和54	36	RC、S	●	●	●			(都)	
38 長門住区センター 分館	中川4丁目43-4	622.20	平成22	5	S				●		(区)	
39 西新井住区センター	西新井7丁目19-6	762.31	昭和56	34	RC	●	●	●				
40 西新井栄町 住区センター	西新井栄町3丁目1-6- 101	836.05	平成11	16	RC	●	●	●				

※赤字は築30年以上の施設

(都) 一都営住宅内併設 (UR) UR住宅内併設 (区) 一区施設内併設

(区住) 一区営住宅内併設 (公社) 一都住宅供給公社住宅内併設 無印一単独施設

(1) ア 住区センター等

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設					備考	
						住区センター			区民 事務所	地域 学習 センター		その他
						悠々館 (老人 館)	児童館	学童 保育室				
41 西新井本町 住区センター	西新井本町2丁目30-37	805.95	昭和57	33	RC	●	●	●				
42 西伊興住区センター	西伊興1丁目12-12	874.90	平成 4	23	S	●	●	●				
43 花畑住区センター	花畑4丁目16-8	962.88	平成 8	19	RC	●	●	●	●	●	高齢者作業所 (区)	
44 花保住区センター	東保木間1丁目25-4- 101	779.70	昭和57	33	SRC	●	●	●			(都)	
45 東綾瀬住区センター	東綾瀬1丁目28-7	1,057.82	昭和63	27	S	●	●	●			子育てサロン、シル バー人材センター	
46 東伊興住区センター	東伊興1丁目5-22	834.75	平成 6	21	S	●	●	●			児童館子育てサロ ン専用室	
47 東伊興生活館	東伊興3丁目23-6	599.00	昭和51	39	RC		●	●				
48 平野住区センター	平野2丁目2-14	818.28	昭和62	28	S	●	●	●				
49 漕江住区センター	西保木間1丁目2-1-101	735.78	昭和56	34	SRC	●	●	●			児童館子育てサロ ン専用室 (都)	
50 漕江住区センター 分館	西保木間3丁目14-16- 101	482.16	昭和52	38	SRC		●	●			(都)	
51 保塚住区センター	保塚町7-16	933.00	昭和59	31	RC	●	●	●	●	●	シルバー人材セン ター (区)	
52 南花畑住区センター	南花畑3丁目14-7	792.48	昭和59	31	RC	●	●	●				
53 六木住区センター	六木3丁目39-5-101	728.21	昭和56	34	SRC	●	●	●			(都)	
54 本木関原 住区センター	関原1丁目21-11	818.83	平成 5	22	RC	●	●	●				
合計		44,730.54										

(都) 一都営住宅内併設 (UR) UR住宅内併設 (区) 一区施設内併設  
(区住) 一区営住宅内併設 (公社) 一都住宅供給公社住宅内併設 無印一単独施設

## イ 地域集会所

区では、集会施設として地域集会所を3施設設置しています。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	3 施設	管理形態	委託運営
	主な室名	集会室、和室 等		
	平均開館日数	308 日	総延床面積	697.94 m <sup>2</sup>
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	14,934人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	445万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	29万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	558万円		
	⑤ 収入	0万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	1,033万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)	692円/人		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	14,801円/m <sup>2</sup>		
備考				

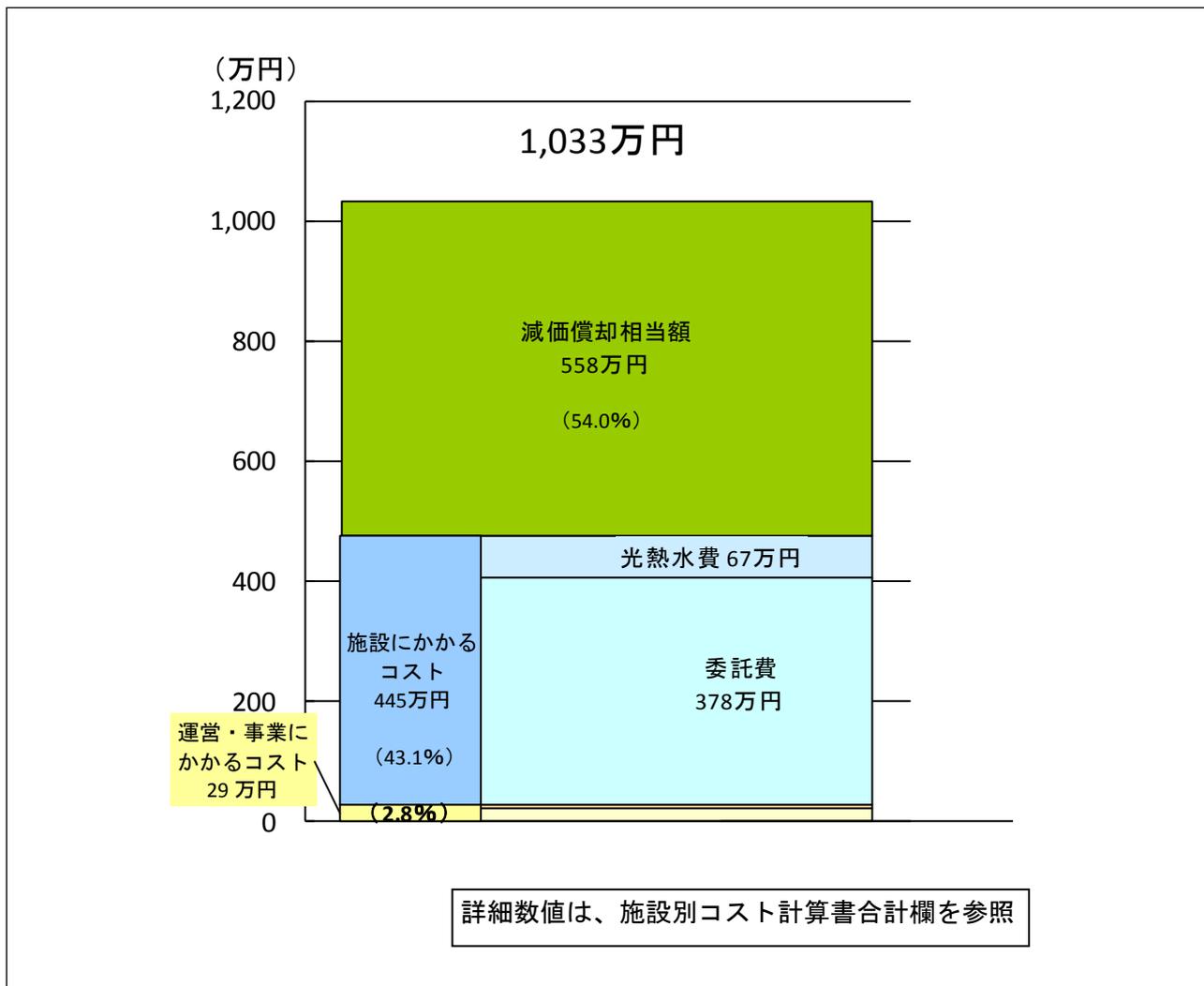
(1) イ 地域集会所

① コスト状況

地域集会施設全体の年間トータルコストは、1,033万円です。

年間トータルコストのうち、運営・事業にかかるコストは29万円（3%）、施設にかかるコストは445万円（43%）、減価償却相当額が558万円（54%）となっています。

図 全施設収支状況



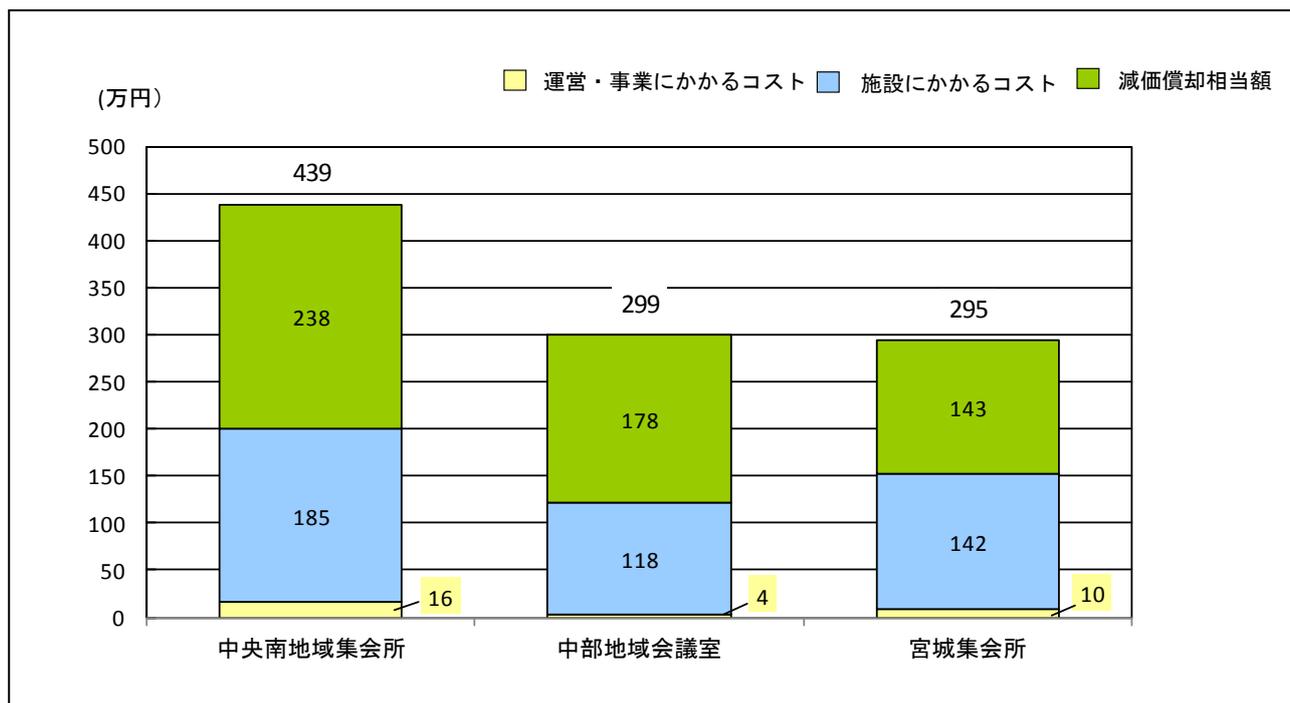
《運営状況》

地域集会施設の運営は、地域に受付のみ管理運営を委託しています。

表 施設別コスト計算書

		(円)			
【費用の部】		中央南 地域集会所	中部 地域会議室	宮城集会所	合計
① 施設にかかるコスト	光熱水費	426,194	0	245,501	671,695
	委託費	1,426,575	1,178,212	1,178,212	3,782,999
① 施設にかかるコスト		1,852,769	1,178,212	1,423,713	4,454,694
② 運営・事業にかかるコスト	使用料及び賃借料	0	0	59,778	59,778
	その他物件費	160,103	37,739	36,774	234,616
② 運営・事業にかかるコスト		160,103	37,739	96,552	294,394
③ 指定管理委託料		0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)		2,012,872	1,215,951	1,520,265	4,749,088
④ 減価償却相当額		2,375,360	1,777,200	1,430,960	5,583,520
【収入の部】					
⑤ 収入の合計		0	0	0	0
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		4,388,232	2,993,151	2,951,225	10,332,608
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		4,388,232	2,993,151	2,951,225	10,332,608

図 施設別トータルコスト



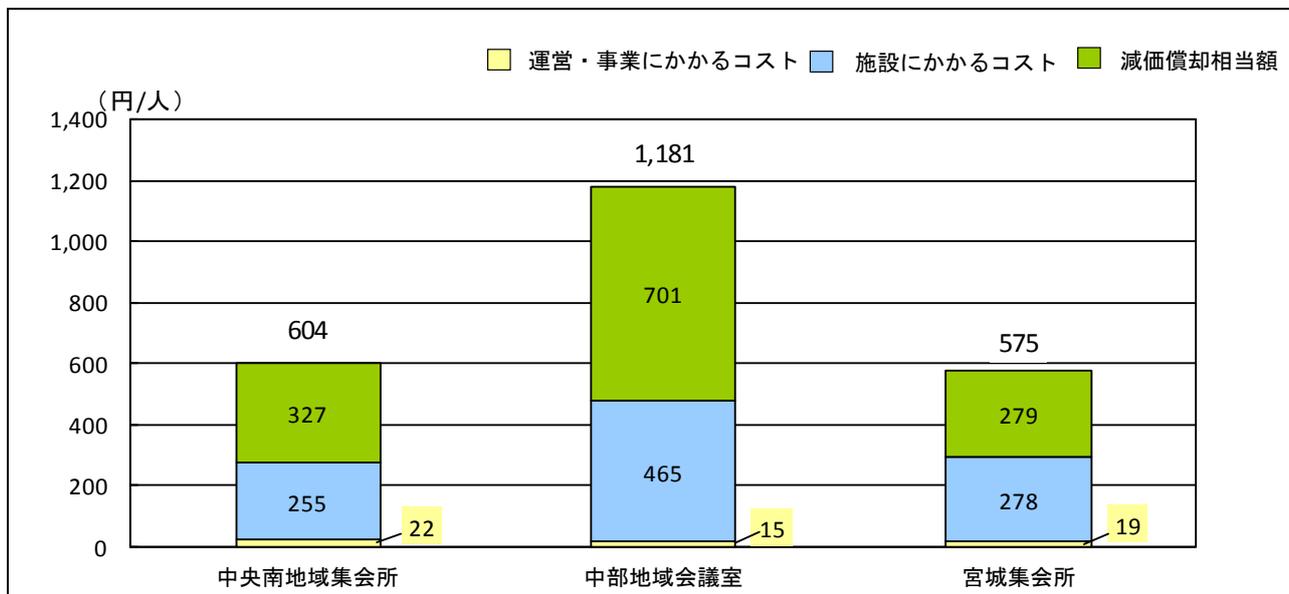
(1) イ 地域集会所

② 評価・分析

■ 利用者 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 692 円/人です。

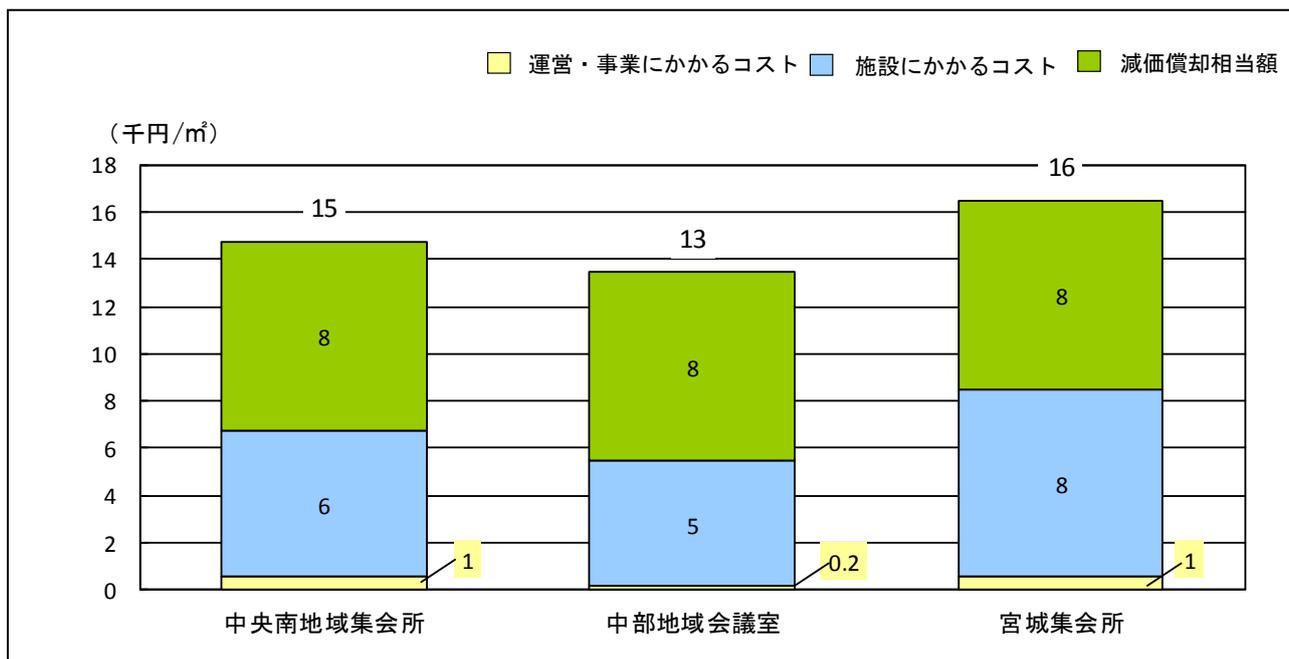
図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup> 当たりにかかるコストを算出すると、平均は 14,801 円/m<sup>2</sup> です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

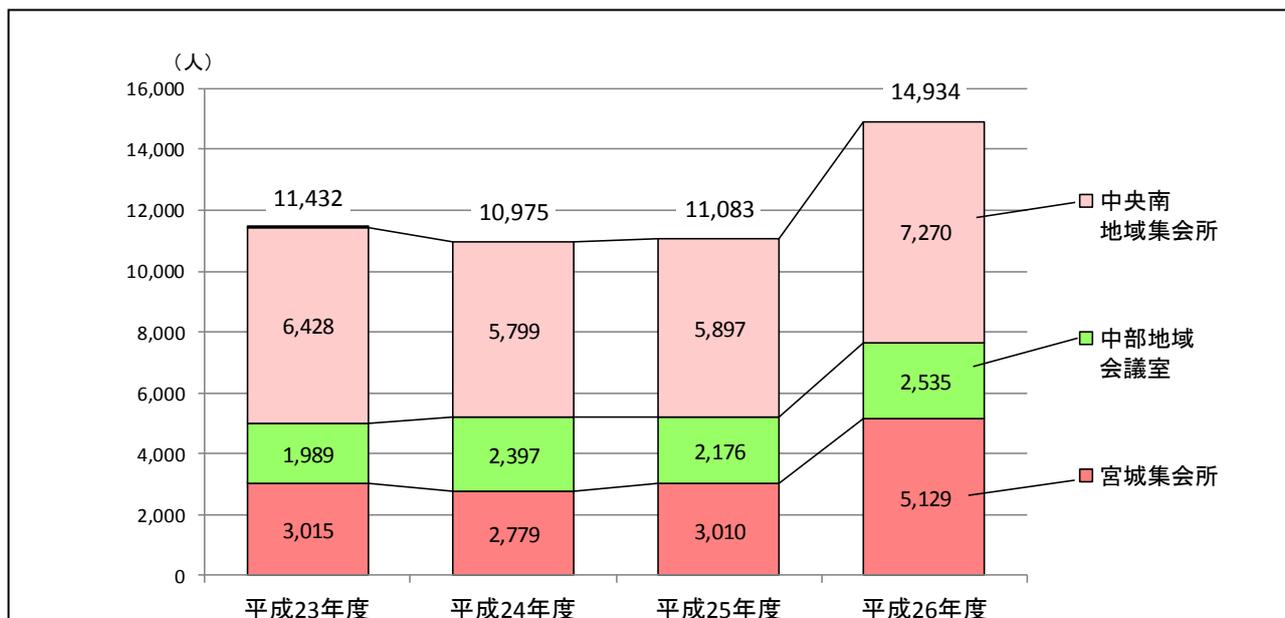


### ③ 利用状況

#### ■ 施設別 利用者数の推移

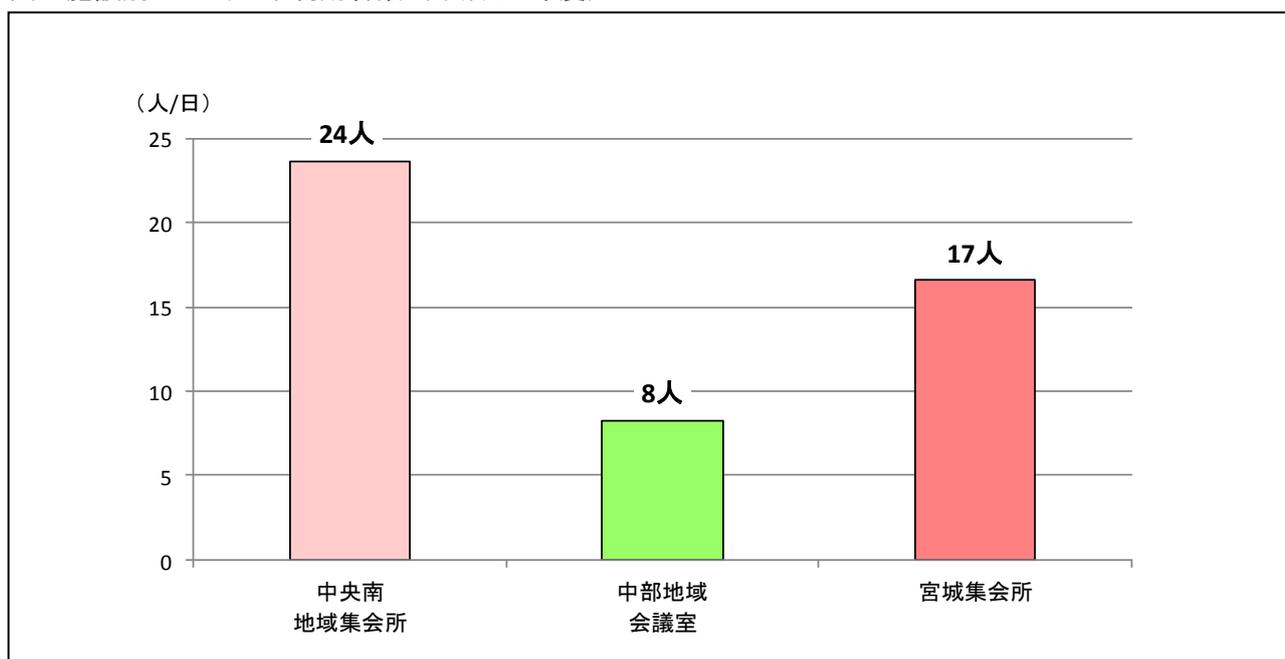
直近4年間の利用者数推移を見ると、平成25年度までは約11,000人前後で推移していましたが、平成26年度は中央南地域及び宮城集会所で利用者数が大幅増加となり、利用者数は約15,000人となりました。

図 年間利用者数の推移



平成26年度の1日当たりの利用者数は、中部地域会議室の8人から中央南地域集会所の24人です。

図 施設別1日当たり利用者数（平成26年度）



(1) イ 地域集会所

④ 設置目的・事業内容

施設名	設置目的	事業内容
中央南地域集会所 中部地域会議室 宮城集会所	地域住民の福祉の増進及びコミュニティの形成を図る。	・地域集会所の利用管理に関する事業

⑤ 開館時間

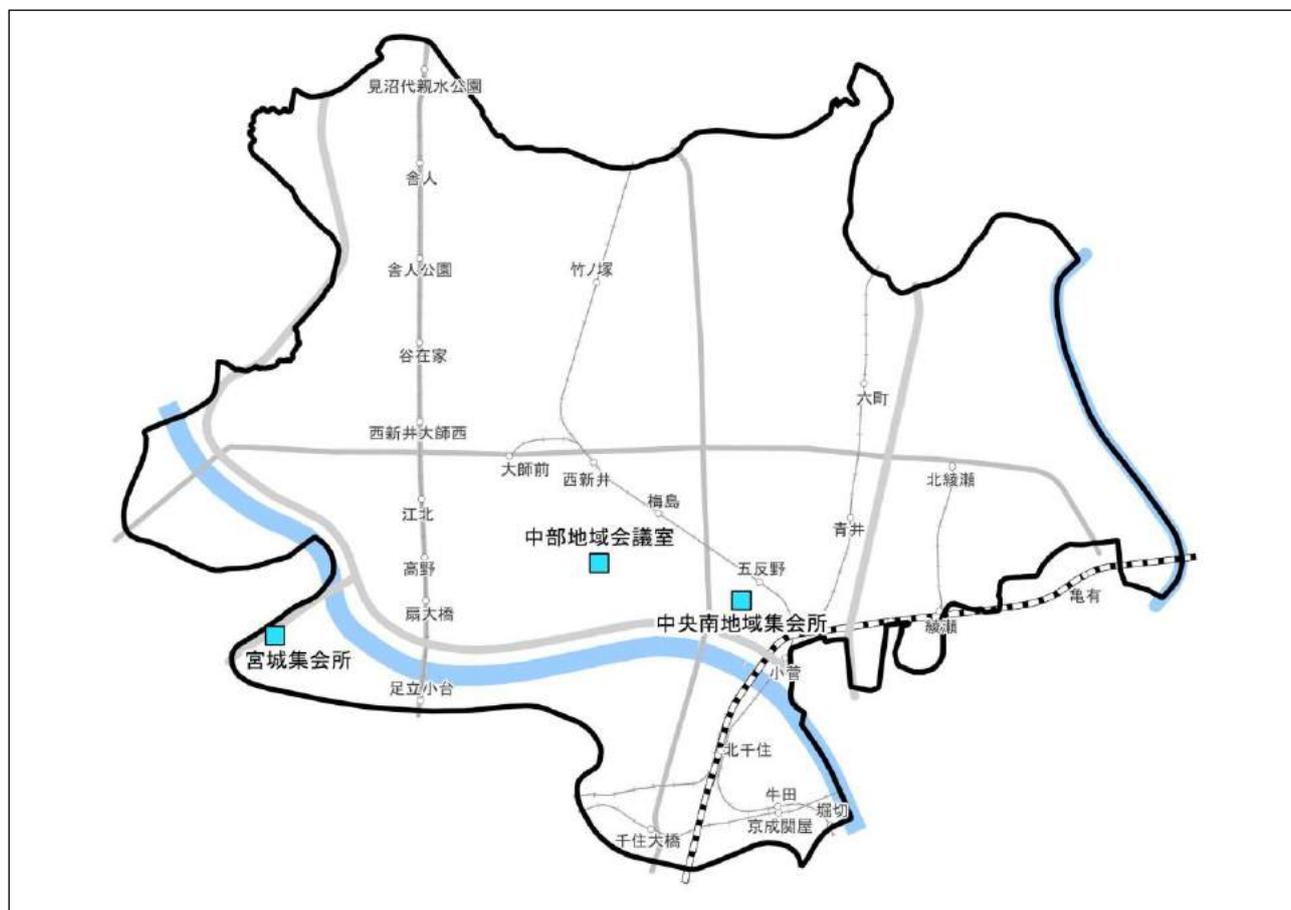
施設名	開館時間	休館日
中央南地域集会所	午前 10 時から午後 8 時	月曜日、年末年始 (12 月 29 日から 1 月 3 日)
中部地域会議室	平日 : 午後 1 時から午後 9 時 土祝日 : 午前 9 時から午後 9 時	日曜日、年末年始 (12 月 29 日から 1 月 3 日)
宮城集会所	午前 9 時から午後 9 時 30 分	月曜日、年末年始 (12 月 29 日から 1 月 3 日)

⑥ 利用方法及び使用料

地域集会所の使用料金は無料ですが、使用にあたっては申請が必要となります。

## ⑦ 配置状況

図 地域集会所位置図



## ⑧ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る 建物)	複合・併設施設				備考
						会議室	地域包 括支援 センター	子育て サロン	その他	
1 中央南地域集会所	足立1丁目17-5	296.92	昭和45	45	RC	●				
2 中部地域会議室	関原2丁目10-10	222.15	昭和41	49	RC	●	●	●		
3 宮城集会所	宮城2丁目2	178.87	平成15	12	RC	●				
合計		697.94								

※赤字は築30年以上の施設

(1) ウ 生涯学習センター・地域学習センター

ウ 生涯学習センター・地域学習センター

区では、生涯学習センターを1施設、地域学習センターを13施設設置し、区民の学習活動を支援しています。多くのセンターには図書館・体育館が併設されています。また、住区センターを併設している施設もあります。

《概要シート》

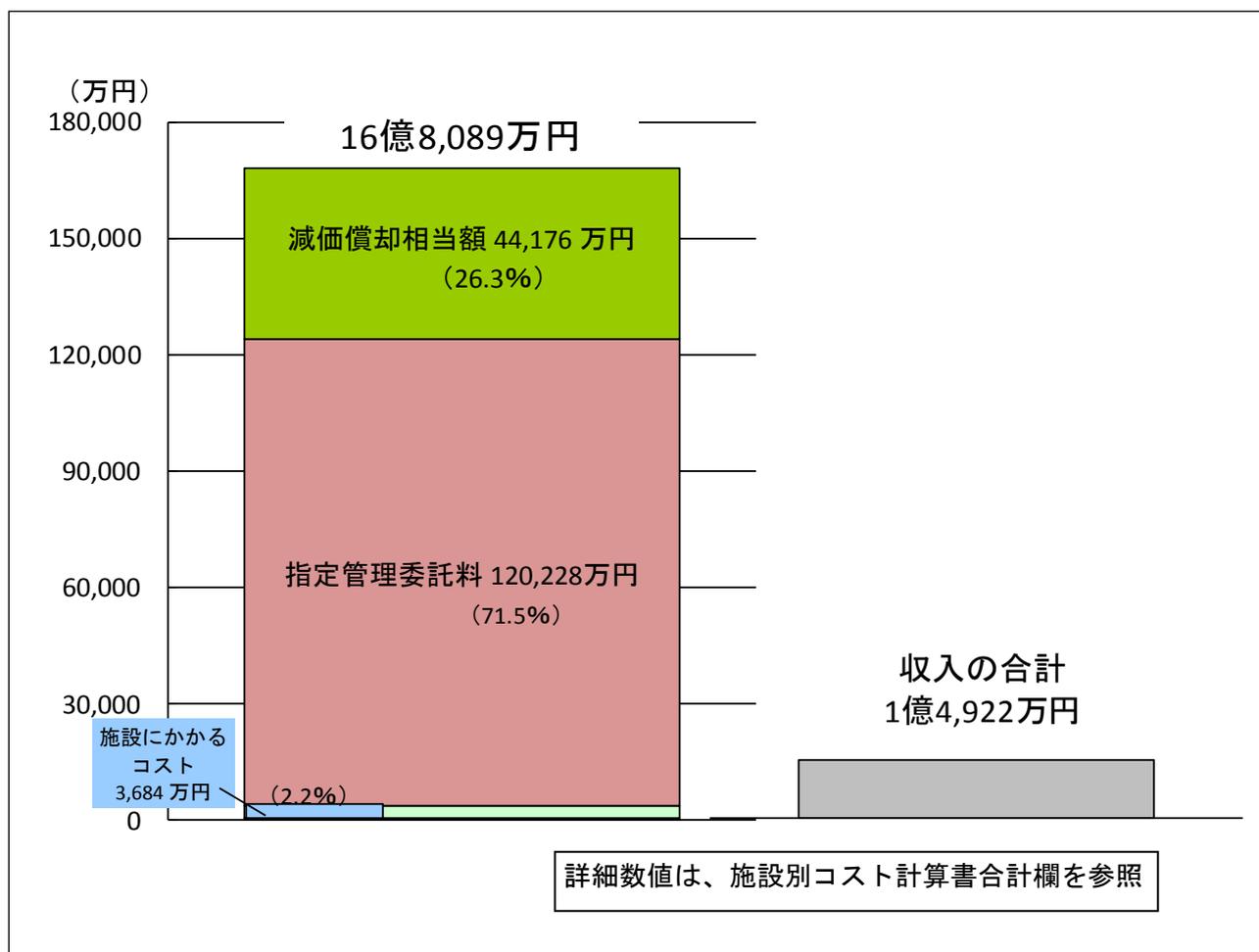
施設概要	施設数	14 施設	管理形態	指定管理者(14)
	主な室名	学習室・研究室、教養室、レクリエーションホール、料理室、工作室等		
	平均開館日数	345 日	総延床面積	68,275.93㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	849,216人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	3,684万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	0万円		
	③ 指定管理委託料	120,228万円		
	④ 減価償却相当額	44,176万円		
	⑤ 収入	14,922万円		
	⑥ トータルコスト(⑥=①+②+③+④)	168,089万円		
	利用者1人当たりのコスト(⑥÷年間利用者数)※	1,256円/人		
	単位床面積当たりのコスト(⑥÷総延床面積)	24,619円/㎡		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>※利用者1人当たりのコストは、併設体育館の年間利用者数488,701人と生涯学習センター・地域学習センターの年間利用者数849,216人の合計1,337,917人で算出している。</li> </ul>			

① コスト状況

生涯学習センター・地域学習センター14施設の年間トータルコストは、168,089万円です。うち、生涯学習センターのトータルコストは32,331万円（約19%）、地域学習センター13施設のトータルコストは135,758万円（約81%）です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費等）は3,684万円（2%）、指定管理委託料が120,228万円（72%）、減価償却相当額が44,176万円（26%）となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

生涯学習センター・地域学習センターの施設運営は、全て指定管理者制度を導入しています。

(1) ウ 生涯学習センター・地域学習センター

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		生涯学習センター	伊興	梅田	興本	江北	佐野	鹿浜
	修繕費	2,708,791	2,777,328	2,471,860	1,735,356	2,329,419	1,526,904	3,286,904
	委託費	874,800	496,800	0	187,920	529,200	615,600	0
① 施設にかかるコスト		3,583,591	3,274,128	2,471,860	1,923,276	2,858,619	2,142,504	3,286,904
② 運営・事業にかかるコスト		0	0	0	0	0	0	0
③ 指定管理委託料		282,722,064	54,176,908	134,961,898	52,593,905	56,694,442	63,500,506	49,709,248
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		286,305,655	57,451,036	137,433,758	54,517,181	59,553,061	65,643,010	52,996,152
④ 減価償却相当額		37,006,160	22,089,120	47,418,080	23,535,360	26,134,000	29,036,480	33,057,600
【収入の部】								
	使用料収入	46,108,997	4,825,170	16,152,279	3,613,460	4,053,398	3,125,452	3,219,830
	諸収入	29,874,813	97,246	679,506	141,590	83,105	78,488	51,219
⑤ 収入の合計		75,983,810	4,922,416	16,831,785	3,755,050	4,136,503	3,203,940	3,271,049
【総括】								
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		323,311,815	79,540,156	184,851,838	78,052,541	85,687,061	94,679,490	86,053,752
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		247,328,005	74,617,740	168,020,053	74,297,491	81,550,558	91,475,550	82,782,703

表 施設別コスト計算書

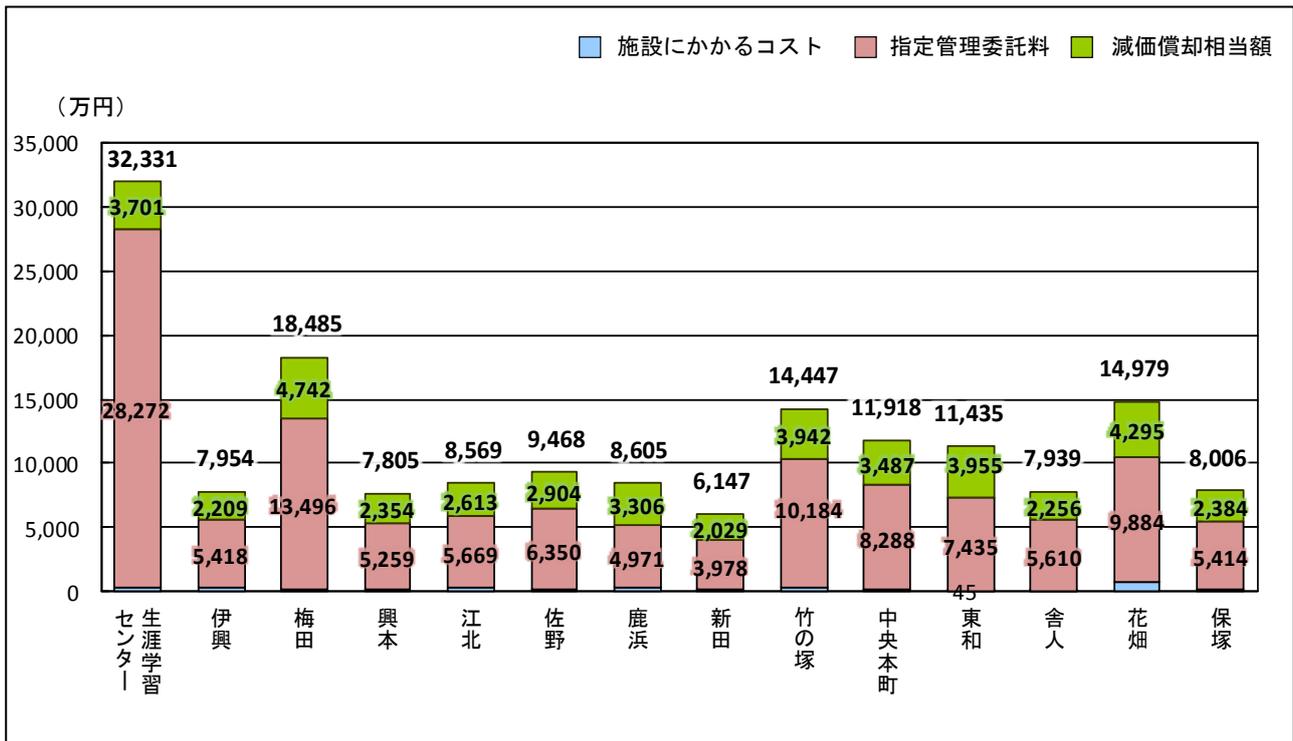
(円)

【費用の部】		新田	竹の塚	中央本町	東和	舎人	花畑	保塚	合計
	修繕費	895,806	2,944,512	1,436,400	448,200	734,400	7,671,969	1,605,744	32,573,593
	委託費	501,120	270,000	0	0	0	324,000	467,640	4,267,080
① 施設にかかるコスト		1,396,926	3,214,512	1,436,400	448,200	734,400	7,995,969	2,073,384	36,840,673
② 運営・事業にかかるコスト		0	0	0	0	0	0	0	0
③ 指定管理委託料		39,780,104	101,835,969	82,875,932	74,350,431	56,097,884	98,842,439	54,143,214	1,202,284,944
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		41,177,030	105,050,481	84,312,332	74,798,631	56,832,284	106,838,408	56,216,598	1,239,125,617
④ 減価償却相当額		20,294,880	39,420,080	34,868,400	39,548,240	22,562,080	42,950,720	23,842,400	441,763,600
【収入の部】									
	使用料収入	2,796,850	9,458,688	6,836,186	3,952,874	4,108,602	5,407,228	3,926,248	117,585,262
	諸収入	0	209,257	83,224	86,456	81,958	88,226	75,982	31,631,070
⑤ 収入の合計		2,796,850	9,667,945	6,919,410	4,039,330	4,190,560	5,495,454	4,002,230	149,216,332
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		61,471,910	144,470,561	119,180,732	114,346,871	79,394,364	149,789,128	80,058,998	1,680,889,217
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		58,675,060	134,802,616	112,261,322	110,307,541	75,203,804	144,293,674	76,056,768	1,531,672,885

※指定管理料は体育館コストを含みますが、図書館コストは含んでいません。

※指定管理料は複合施設全体の光熱水費及び設備維持管理経費が含まれています。

図 施設別トータルコスト

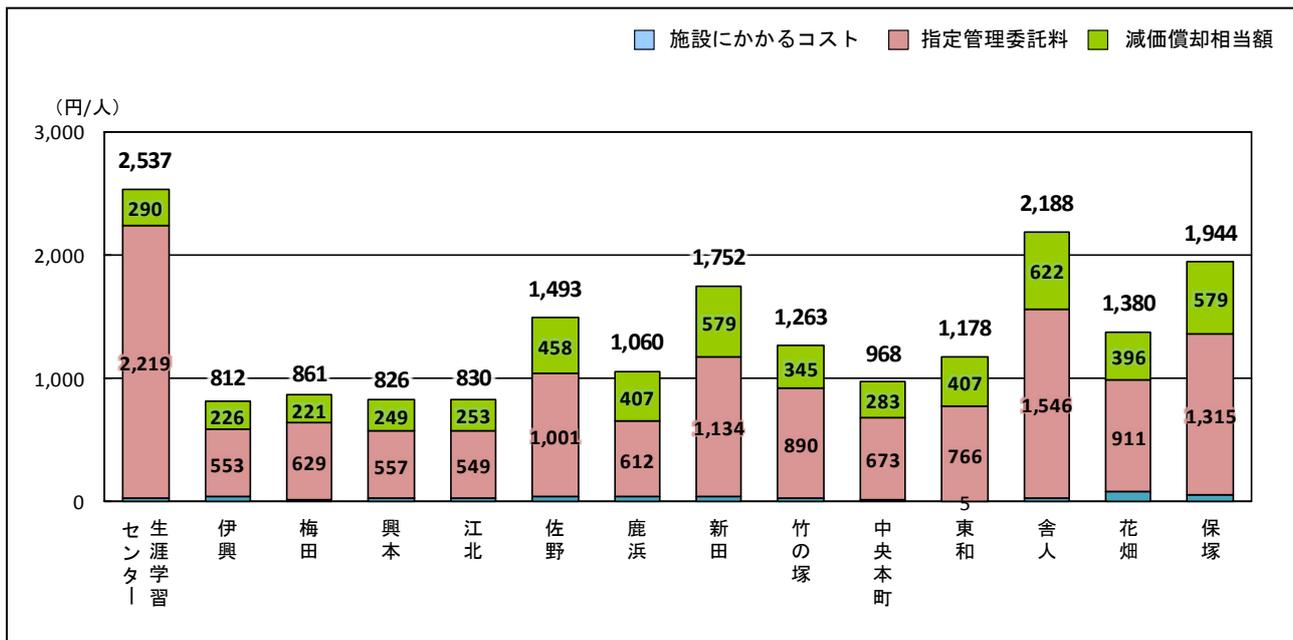


② 評価・分析

■ 利用者数 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 1,256 円/人です。

図 施設別 利用者 1 人当たりにかかるコスト



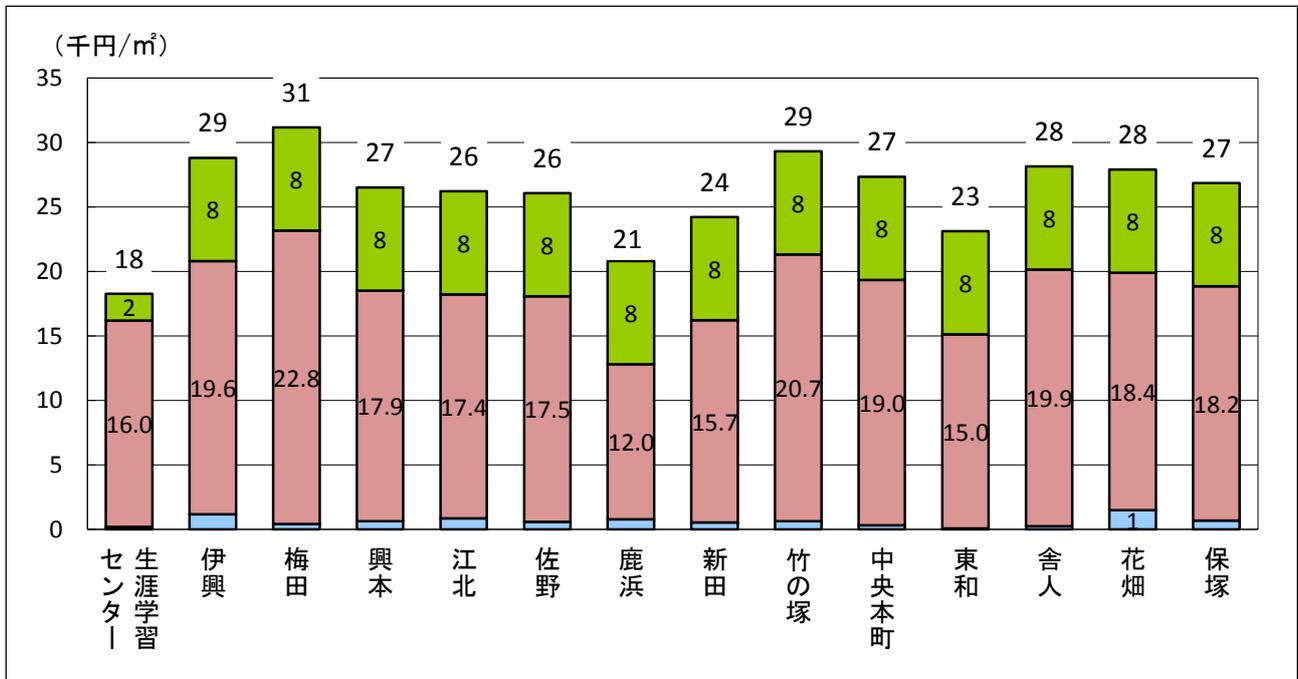
※伊興、梅田、興本、江北、佐野、鹿浜、中央本町、東和、花畑体育館の年間利用者数 488,701 人を含んだ数値で算出しています。

(1) ウ 生涯学習センター・地域学習センター

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 24,619 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

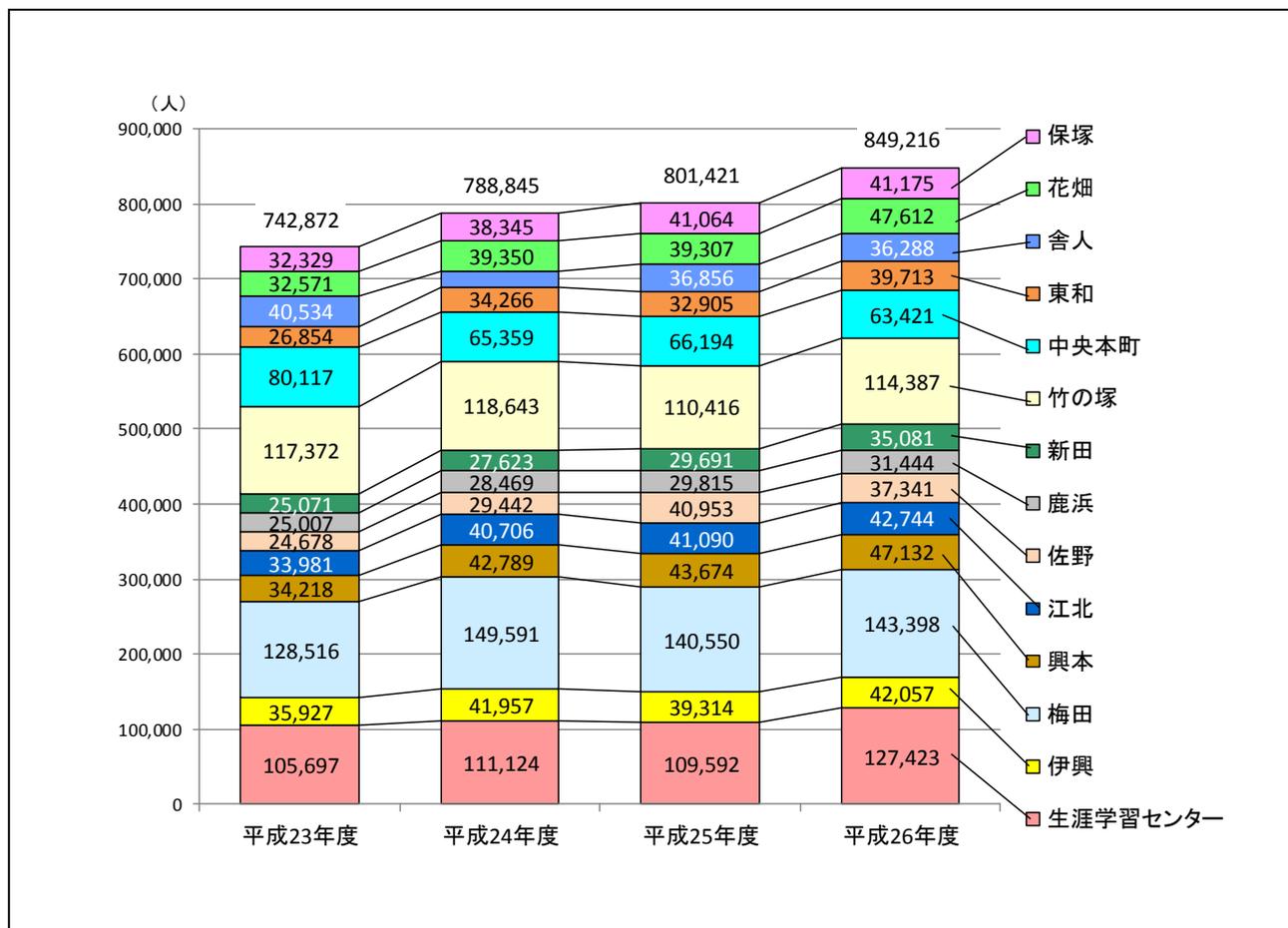


③ 利用状況

■ 施設別 年間利用者数推移

生涯学習センター・地域学習センターの年間利用者数は、平成23年度から平成26年度の4年間で約14%増と、全体的に増加傾向にあります。

図 施設別 年間利用者数推移

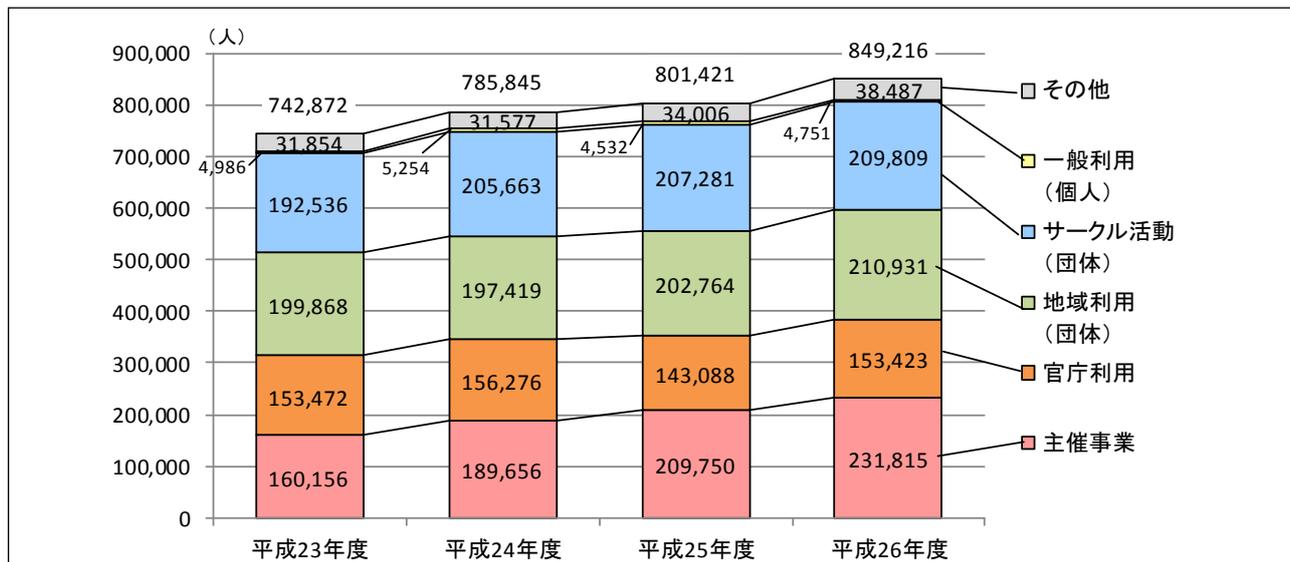


(1) ウ 生涯学習センター・地域学習センター

■ 目的別 年間利用者数推移

生涯・地域学習センターの利用者別内訳をみると、主催事業での利用が平成 23 年度から平成 26 年度にかけて約 1.4 倍と大幅に増加しています。地域利用（団体）についても増加傾向にあります。

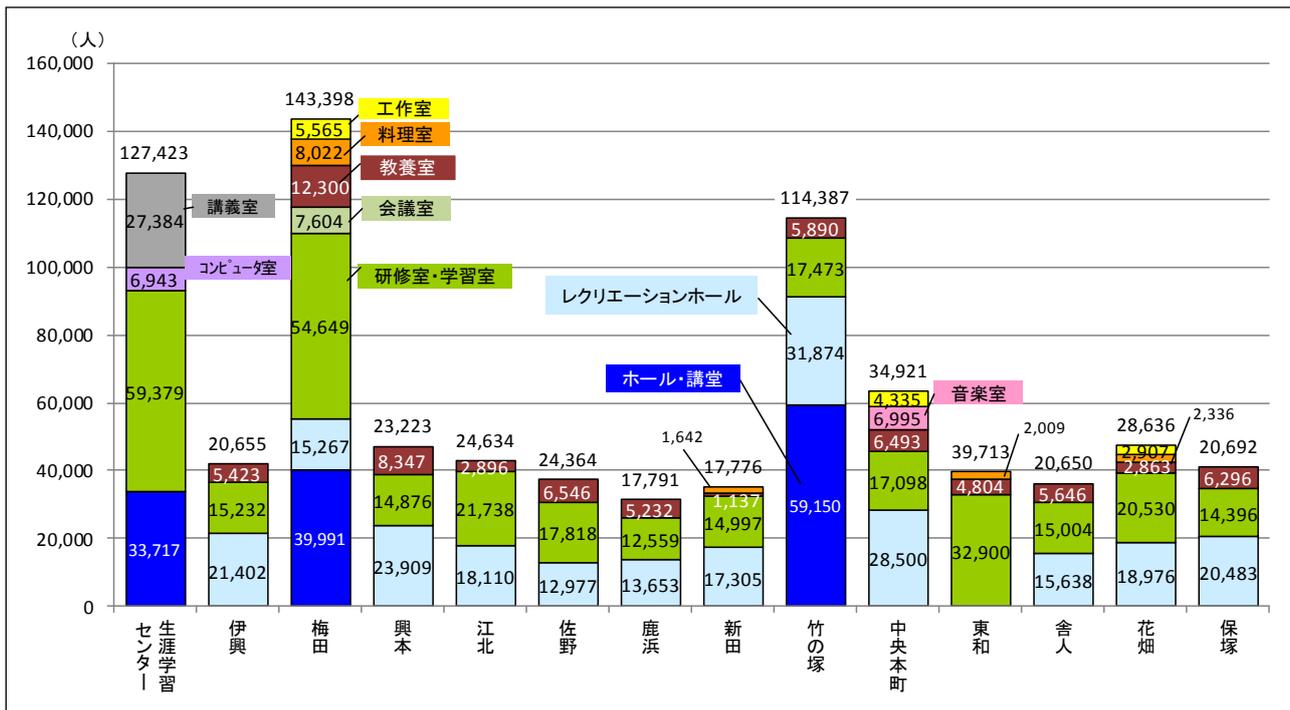
図 目的別 年間利用者数推移



■ 施設別 部屋別利用者数

施設毎の部屋別利用者数をみると、研修室・学習室の利用者数は生涯学習センターが最も多く約 5.9 万人となっており、次いで梅田地域学習センターが約 5.5 万人となっています。

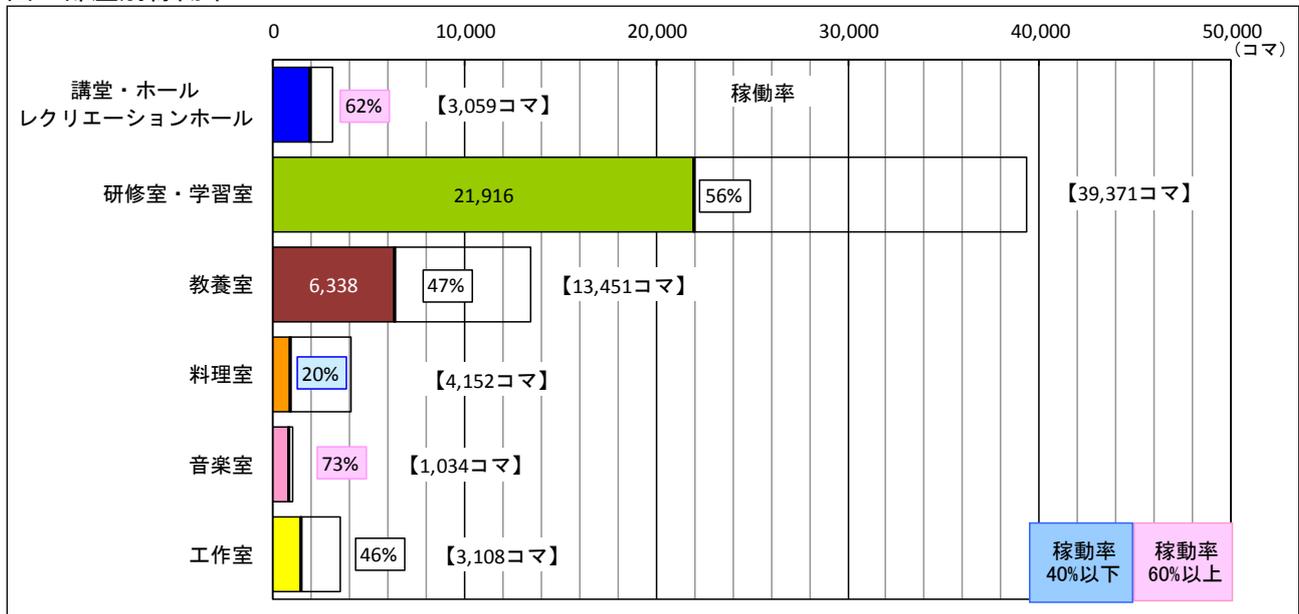
図 施設別部屋別利用数 (平成 26 年度)



■ 部屋別稼働率

部屋別の稼働率は音楽室の73%が最も高く、次いで講堂・ホール・レクリエーションホールの62%となっています。最も利用可能コマ数が多い研修室・学習室の稼働率は56%となっています。

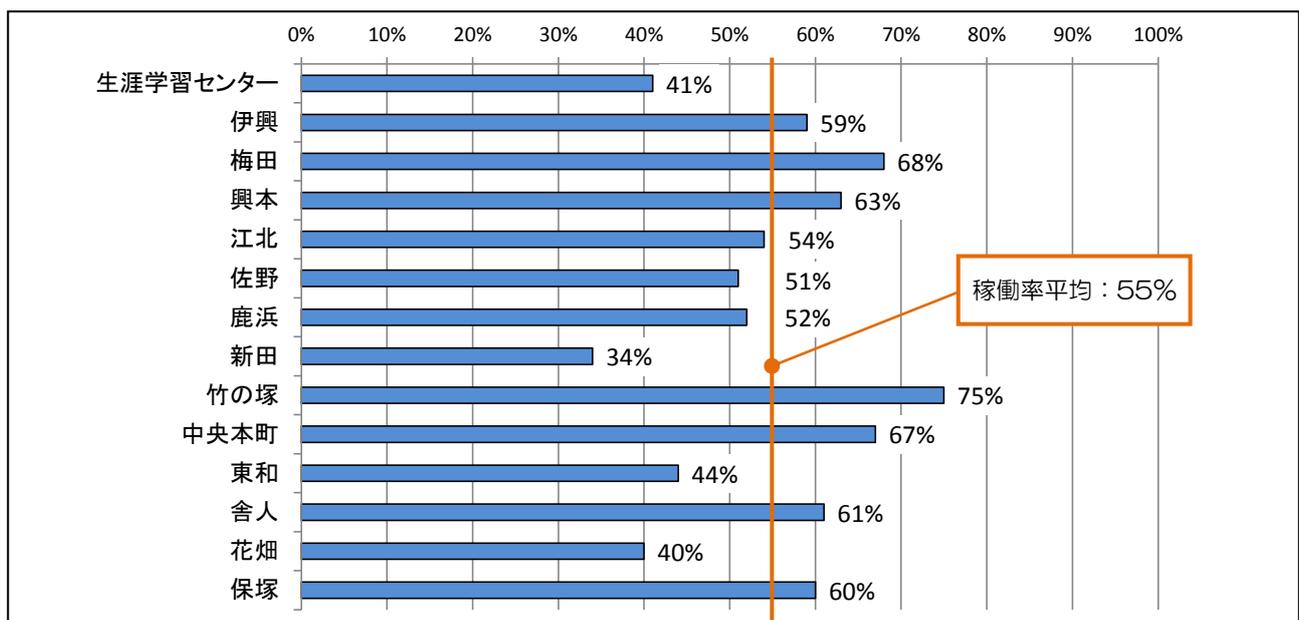
図 部屋別稼働率



■ 施設別稼働率

施設別の稼働率を見ると、梅田地域学習センター・竹の塚地域学習センター及び中央本町地域学習センターの稼働率が65%以上となっているのに対して、生涯学習センター・新田地域学習センター・東和地域学習センター・花畑地域学習センターの稼働率が30%から40%台となっています。

図 施設別稼働率



(出典：数字で見る足立)

(1) ウ 生涯学習センター・地域学習センター

④ 設置目的・事業内容

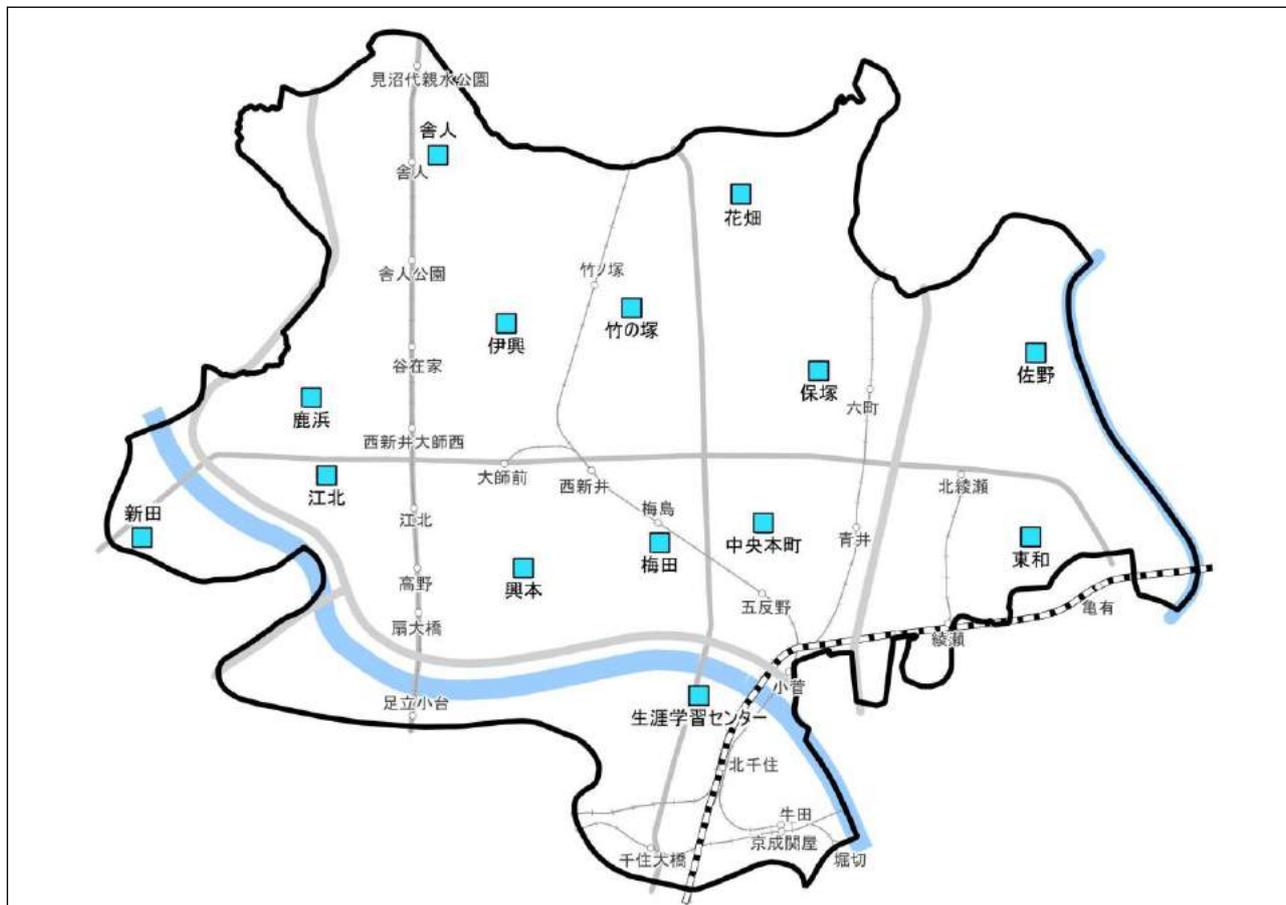
施設名	設置目的	事業内容
生涯学習センター	区民の自主的学習活動を促進するとともに教養文化の高揚を図り、生涯学習を促進することを目的とします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的学習活動のための施設提供</li> <li>・生涯学習振興のための学習機会の提供</li> <li>・生涯学習団体の支援、指導者等の研修</li> <li>・教育機関との連携による生涯学習の推進等</li> </ul>
地域学習センター	区民の教養文化の高揚を図るとともに自主的学習活動を支援し、生涯学習の振興に寄与します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習機会及び施設の提供</li> <li>・地域学習情報の収集及び提供</li> <li>・地域学習の相談</li> <li>・生涯学習ボランティアの活動支援等</li> </ul>

⑤ 開館時間等

施設名	開館時間	休館日
生涯学習センター 地域学習センター	午前9時から午後9時30分	館内環境整備日(原則第2又は第3月曜日、祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日から1月4日)

⑥ 配置状況

図 生涯学習センター・地域学習センター位置図



⑦ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設						備考		
						図書館	体育館	区民 事務所 (行政 窓口)	住区センター				その他	
									学童 保育室	児童館	悠々館			
1 生涯学習 センター	千住5丁目13-5	17,681.15	平成11	16	SRC	●						放送大学、 荒川ビジターセンター		
地域 学習 センター	2 伊興	伊興2丁目4-22	2,761.14	昭和62	28	RC	●	●						
	3 梅田	梅田7丁目33-1	5,927.26	昭和62	28	SRC		●	●				男女参画プラザ、 消費者センター	
	4 興本	興野1丁目18-38	2,941.92	昭和62	28	RC	●	●					シルバー人材センター	
	5 江北	江北3丁目39-4	3,266.75	昭和60	30	SRC	●	●	●					
	6 佐野	佐野2丁目43-5	3,629.56	昭和56	34	RC	●	●	●	●	●			
	7 鹿浜	鹿浜6丁目8-1	4,132.20	昭和62	28	SRC	●	●	●	●	●			
	8 新田	新田2丁目2-2	2,536.86	平成9	18	SRC	●		●	●	●			
	9 竹の塚	竹の塚2丁目25-17	4,927.61	昭和53	37	SRC	●		●	●			障がい福祉館、 北部福祉課	
	10 中央本町	中央本町3丁目15-1	4,358.55	昭和55	35	RC	●	●		●	●	●		
	11 東和	東和3丁目12-9	4,943.53	昭和56	34	RC	●	●		●	●	●		
	12 舎人	舎人1丁目3-26	2,820.26	昭和58	32	RC	●		●	●	●	●	高齢者作業所	
	13 花畑	花畑4丁目16-8	5,368.84	平成8	19	RC	●	●	●	●	●	●	高齢者作業所	
	14 保塚	保塚町7-16	2,980.30	昭和59	31	RC	●		●	●	●	●	シルバー人材センター	
	合計		68,275.93											

※赤字は築30年以上の施設

(1) エ 文化施設

エ 文化施設

区では、ホールとして足立区文化芸術劇場（シアター1010）、庁舎ホール及び西新井文化ホールを設置しています。また、こども未来創造館を設置し、様々な体験型プログラムの提供等を行っています。

足立区文化芸術劇場は北千住駅前に、庁舎ホールは足立区本庁舎内に、西新井文化ホール及びこども未来創造館は複合施設（ギャラクシティ）として西新井駅北側に設置しています。

《概要シート》

施設概要	施設数	4 施設	管理形態	委託運営、指定管理者運営
	主な室名	ホール・劇場、楽屋、講義室、ギャラリー、マルチ体験ドーム、音楽室 等		
	平均開館日数	349 日	総延床面積	27,633.98㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	1,998,219人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	10,687万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	3,512万円		
	③ 指定管理委託料	79,273万円		
	④ 減価償却相当額	20,300万円		
	⑤ 収入	7,775万円		
	⑥ トータルコスト（⑥=①+②+③+④）	113,773万円		
	利用者1人当たりのコスト（⑥÷年間利用者数）	569円/人		
	単位床面積当たりのコスト（⑥÷総延床面積）	41,171円/㎡		
備考				

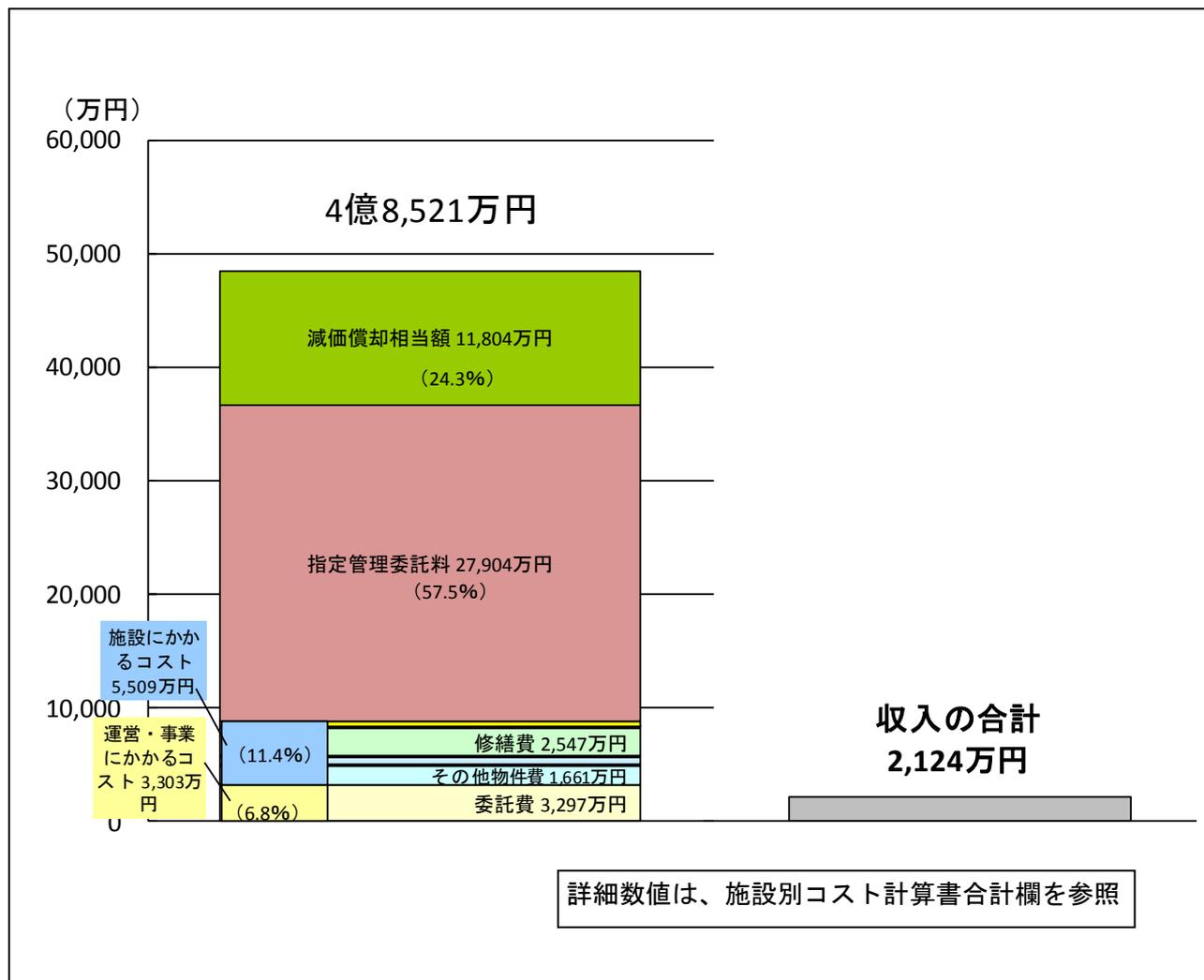
① コスト状況

【ホール】

ホール全体の年間トータルコストは 48,521 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 5,509 万円 (11%)、運営・事業にかかるコストは 3,303 万円 (7%)、指定管理委託料 27,904 万円 (58%)、減価償却相当額 11,804 万円 (24%) となっています。

図 ホール 収支状況



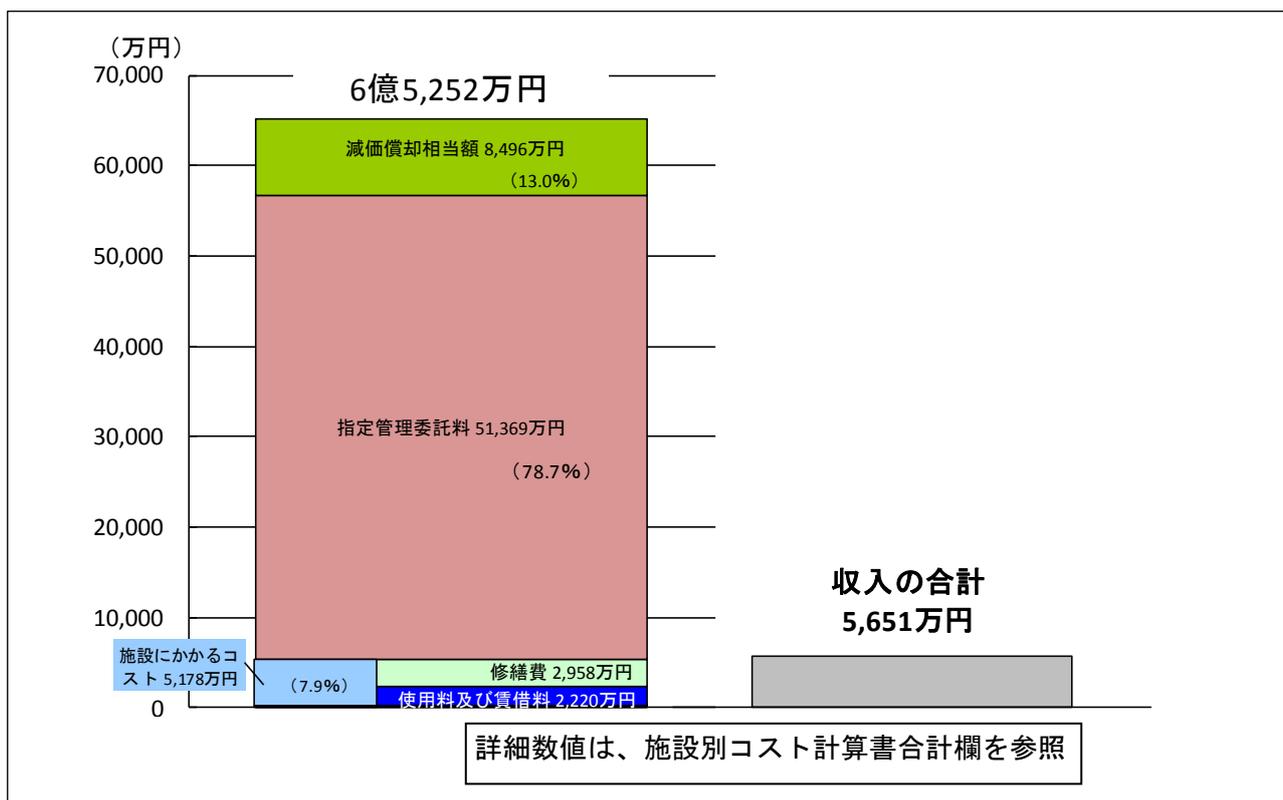
(1) エ 文化施設

【こども未来創造館】

こども未来創造館の年間トータルコストは 65,252 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 5,178 万円 (8%)、運営・事業にかかるコストは 209 万円 (0.3%)、指定管理委託料 51,369 万円 (79%)、減価償却相当額 8,496 万円 (13%) となっています。

図 こども未来創造館 収支状況



《運営状況》

【ホール】

庁舎ホールは、受付・設備操作等の業務を除き、直営で運営しています。足立区文化芸術劇場（シアター1010）及び西新井文化ホールは、指定管理者による運営を行っています。

表 運営人員

(人)

		足立区文化芸術劇場	庁舎ホール	西新井文化ホール
運営形態		指定管理者	直営	指定管理者
施設管理	一般職員	-	0.5	-
	再任用職員	-	0.2	-
	非常勤職員	-	0.3	-
	計	-	0.9	-

※庁舎ホールの人員は本庁舎と面積比率によるものです。

表 施設別コスト計算書&lt;ホール&gt;

(円)

【費用の部】	足立区文化芸術劇場	庁舎ホール	西新井文化ホール	合計
一般職員人件費	0	3,965,280	0	3,965,280
再任用職員人件費	0	656,640	0	656,640
非常勤職員人件費	0	651,240	0	651,240
修繕費	22,497,594	2,521,648	454,561	25,473,803
改修費	0	996,505	0	996,505
光熱水費	0	6,540,913	0	6,540,913
委託費	201,247	0	0	201,247
その他物件費	0	23,472	16,582,752	16,606,224
① 施設にかかるコスト	22,698,841	15,355,698	17,037,313	55,091,852
委託費	11,000,000	21,967,200	0	32,967,200
使用料及び賃借料	0	64,404	0	64,404
② 運営・事業にかかるコスト	11,000,000	22,031,604	0	33,031,604
③ 指定管理委託料	258,040,000	0	21,000,000	279,040,000
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	291,738,841	37,387,302	38,037,313	367,163,456

## Ⅱ. 現金収支を伴わないもの

④ 減価償却相当額	81,243,520	0	36,800,000	118,043,520
-----------	------------	---	------------	-------------

## 【収入の部】

使用料収入	0	3,002,325	14,187,760	17,190,085
諸収入	3,902,508	145,880	0	4,048,388
⑤ 収入の合計	3,902,508	3,148,205	14,187,760	21,238,473

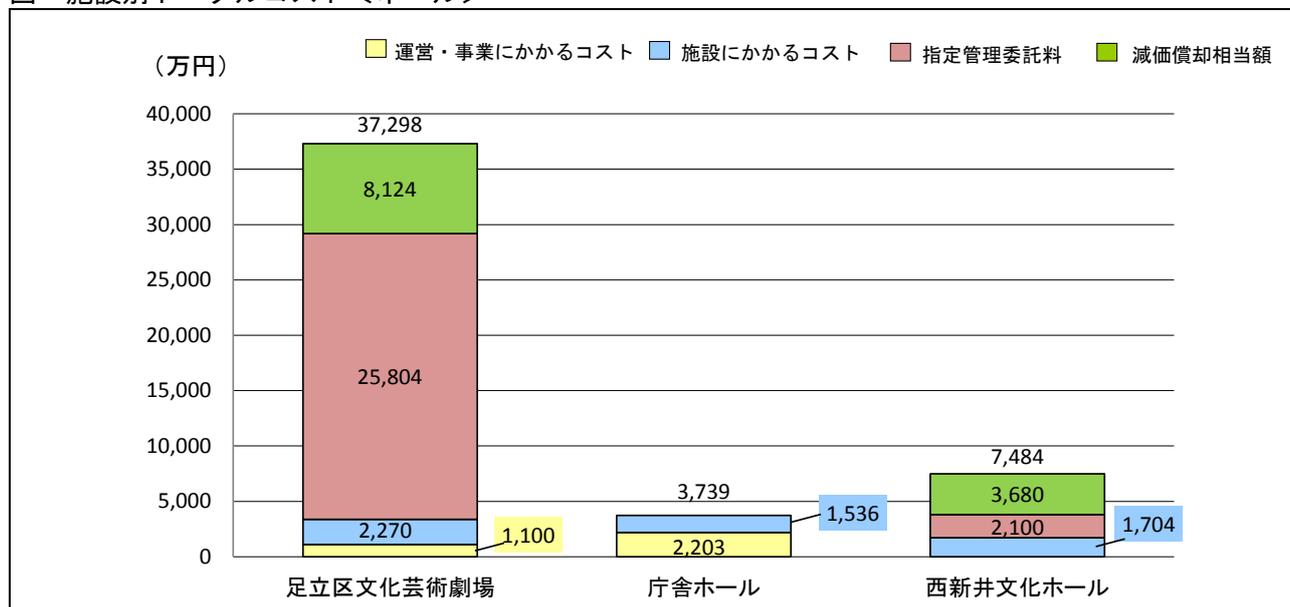
## 【総括】

⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	372,982,361	37,387,302	74,837,313	485,206,976
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	369,079,853	34,239,097	60,649,553	463,968,503

※庁舎ホールの減価償却費は本庁舎に含まれます。

※西新井文化ホールにかかる指定管理委託料の一部及び光熱水費は、こども未来創造館の指定管理委託料に含まれます。

図 施設別トータルコスト&lt;ホール&gt;



(1) エ 文化施設

表 施設別コスト計算書<こども未来創造館>

(円)

【費用の部】		こども未来創造館
	修繕費	29,583,144
	使用料及び賃借料	22,200,774
①	施設にかかるコスト	51,783,918
	委員報酬(給与費)	370,000
	修繕費	65,307
	委託費	879,660
	使用料及び賃借料	35,100
	その他物件費	735,422
②	運営・事業にかかるコスト	2,085,489
③	指定管理委託料	513,693,432
	現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	567,562,839
④	減価償却相当額	84,958,720
【収入の部】		
	使用料・財産収入	46,052,625
	諸収入	10,455,115
⑤	収入の合計	56,507,740
【総括】		
⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	652,521,559
	収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	596,013,819

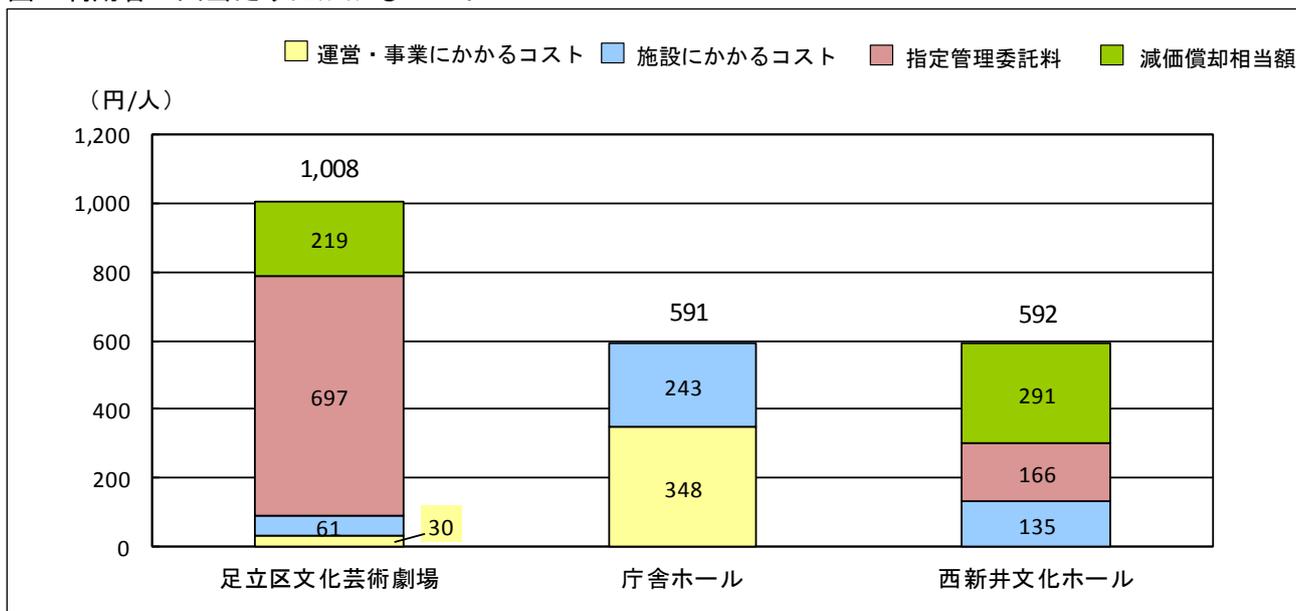
② 評価・分析

【ホール】

■ 利用者数 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、足立区文化芸術劇場（シアター1010）が 1,008 円/人、庁舎ホールが 591 円/人、西新井文化ホールで 592 円/人となっています。

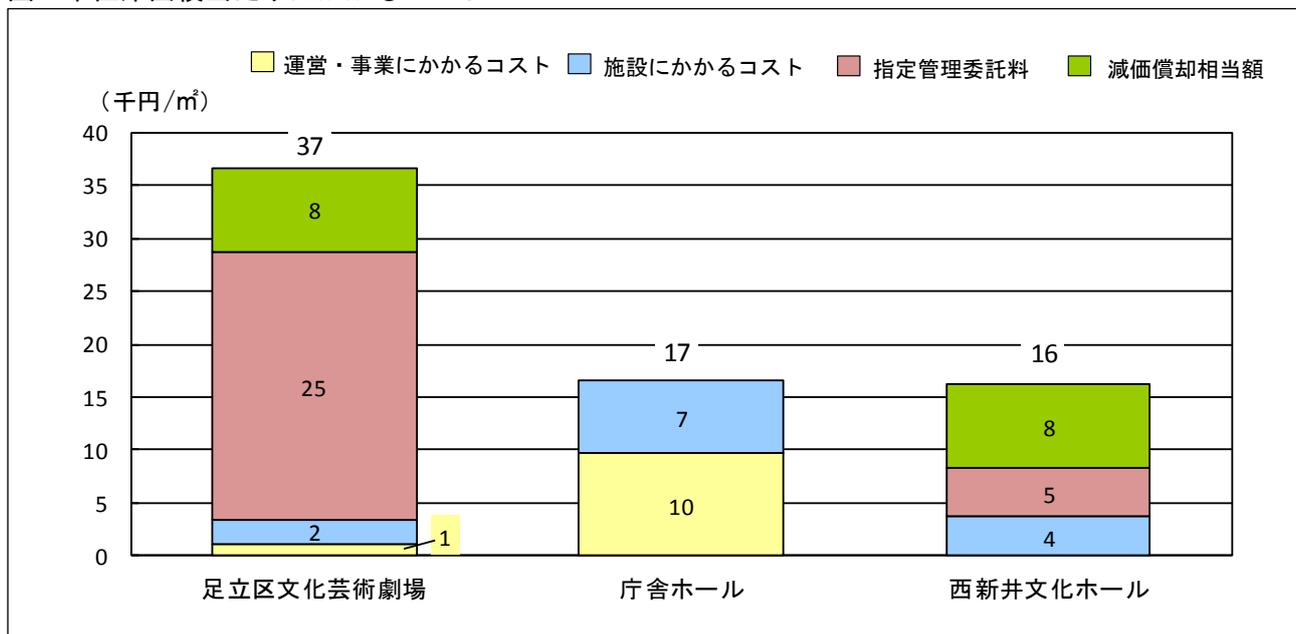
図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 28,518 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

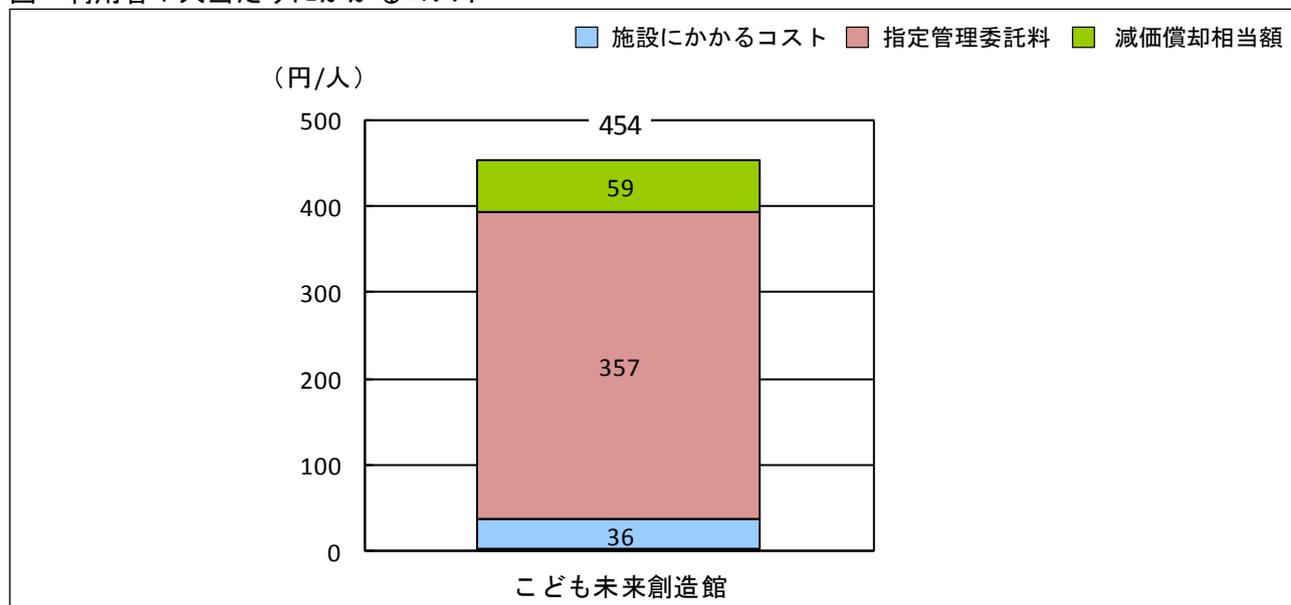


【こども未来創造館】

■ 利用者数 1 人あたりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人あたりにかかるコストを算出すると、454 円/人です。

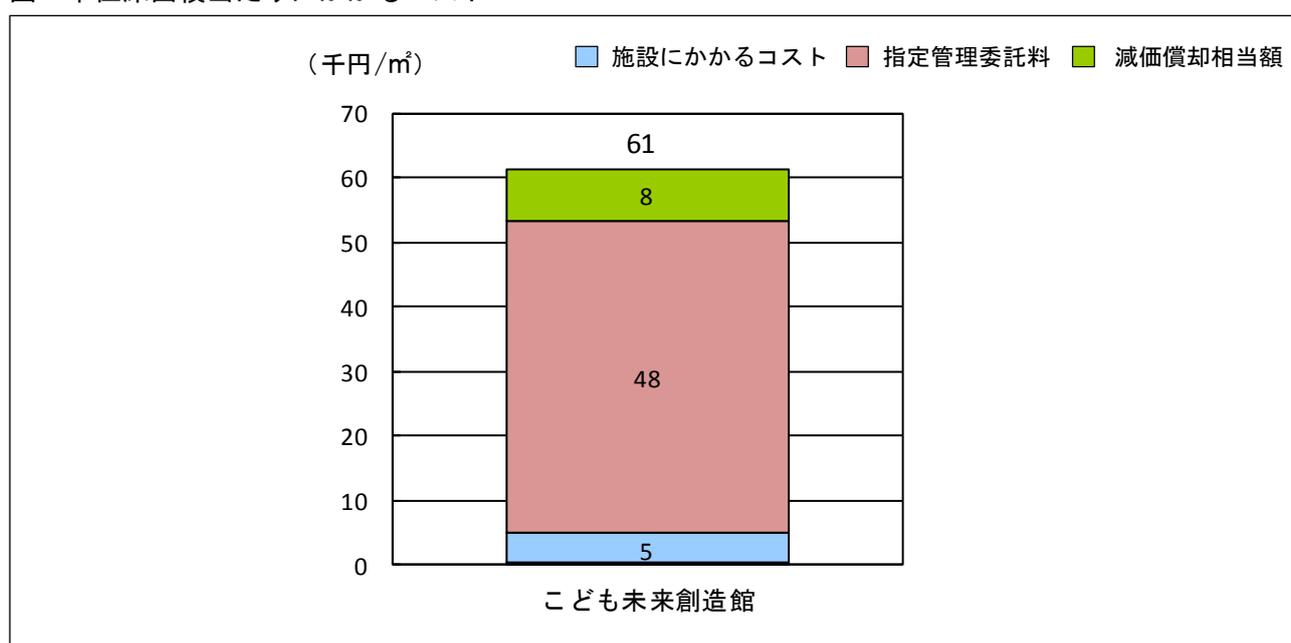
図 利用者 1 人あたりにかかるコスト



■ 単位床面積あたりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりにかかるコストを算出すると、平均は 61,444 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積あたりにかかるコスト



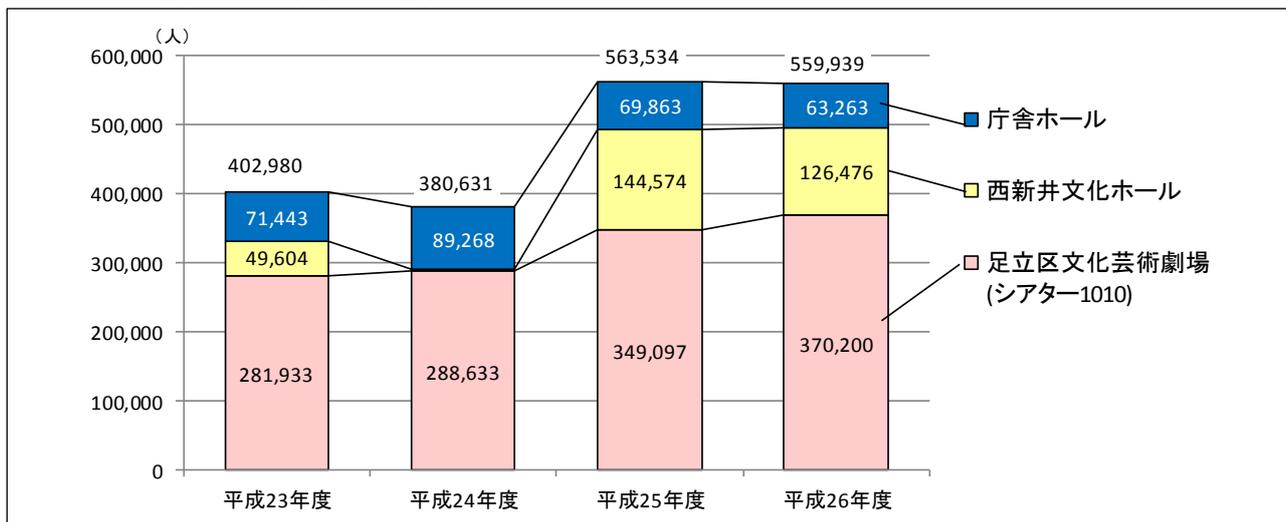
③ 利用状況

【ホール】

■ 施設別 年間利用者数推移

直近4年間の年間利用者数をみると、足立区文化芸術劇場（シアター1010）は増加傾向となっています。一方で、庁舎ホール、西新井文化ホールは、減少傾向となっています。

図 ホール施設 年間利用者数推移



※西新井文化ホールは改修工事のため、平成23年10月から平成25年3月31日まで利用中止。

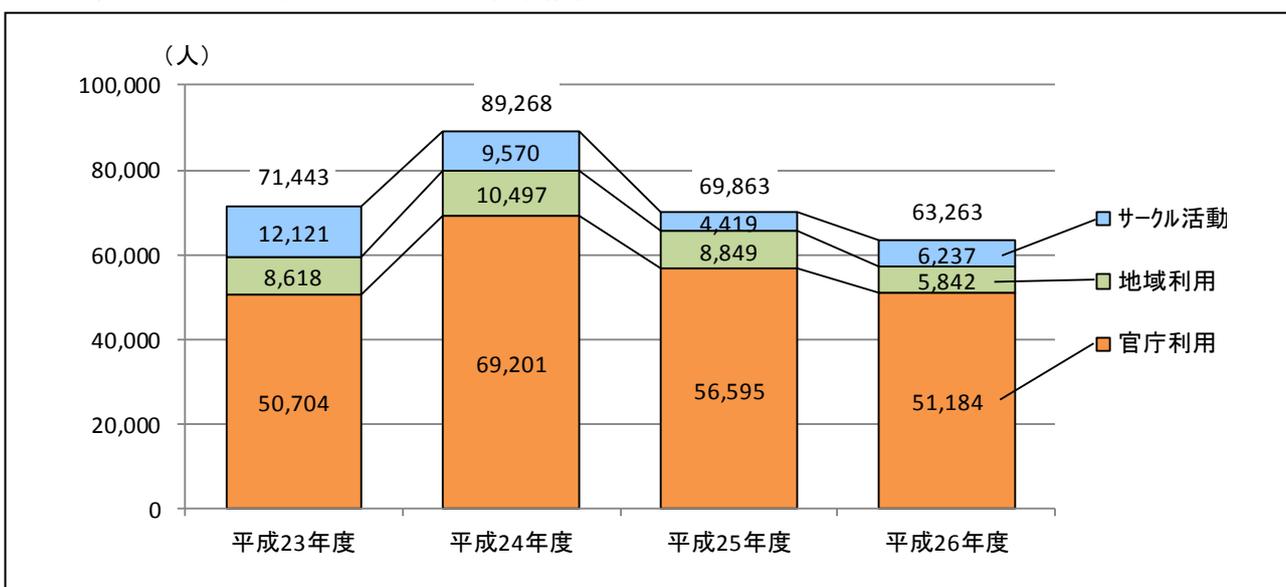
ただし、ギャラクシティリニューアルオープニングイベント（平成25年3月30日、3月31日）の2日間のみ利用。

（出典：数字で見る足立）

■ 庁舎ホール 年間利用者数推移<利用目的別>

庁舎ホールの利用目的別利用者数の推移をみると、各年度とも区主催及び区と民間団体共催のイベント利用が大半を占めていますが、平成26年度については、サークル活動利用が前年度に比べ増加しています。

図 庁舎ホール 利用目的別 年間利用者数推移

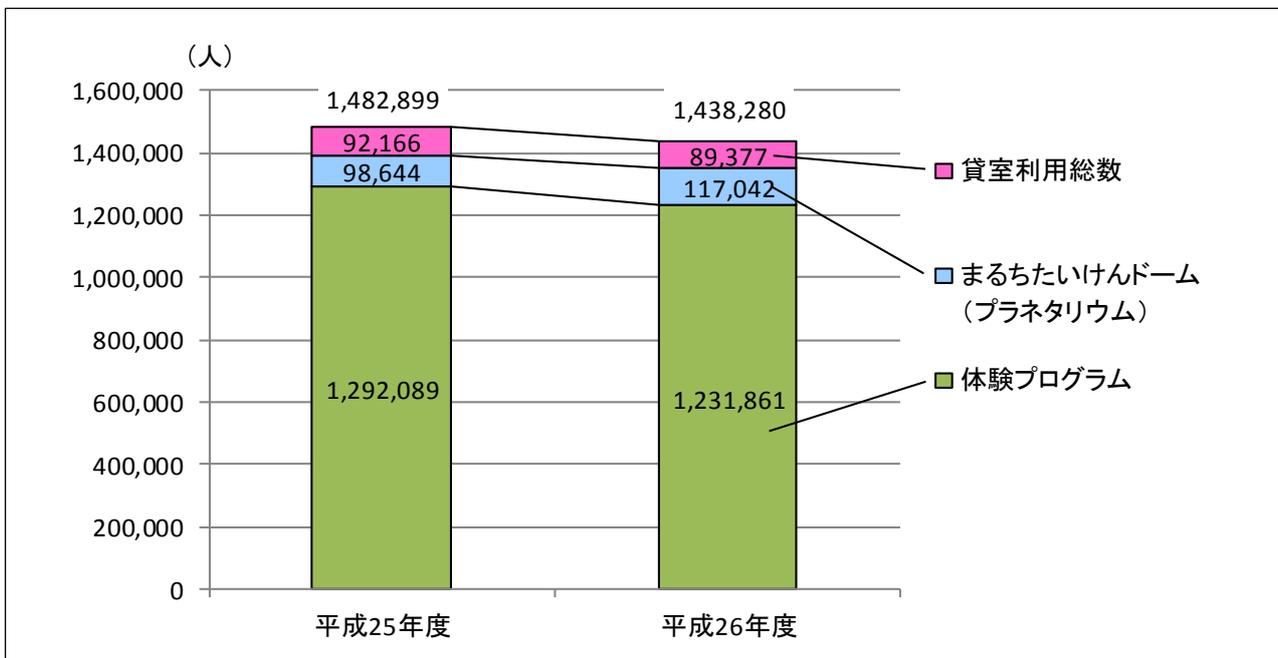


(1) エ 文化施設

【こども未来創造館】

年間利用者数は、平成 25 年度 1,482,899 人、平成 26 年度 1,438,280 人となっています。体験プログラムの利用者が 85%以上と大半を占めています。

図 こども未来創造館 年間利用者数



(出典：数字で見る足立)

## ④ 設置目的・事業内容

施設名	設置目的	事業内容
足立区文化芸術劇場 (シアター1010)	演劇をはじめとする文化芸術の鑑賞機会と自主的な文化芸術活動の場を提供するとともに、舞台芸術の創造及び人材の育成等を行い、地域文化の形成に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演劇等の公演その他の催し物に関すること</li> <li>・ 芸術劇場の施設及び付属設備の利用に関すること</li> <li>・ 芸術劇場の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
庁舎ホール	区民相互の交流の場を提供することにより、区民の福祉の増進を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の利用に関すること</li> </ul>
西新井文化ホール (ギャラクシティ)	区民の芸術、文化とのふれあいと創造的文化活動に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術及び文化の振興に関すること</li> <li>・ 区民の文化活動の支援に関すること</li> <li>・ 西新井文化ホールの施設の利用に関すること</li> </ul>
こども未来創造館 (ギャラクシティ)	多世代の参画、各種教育機関との連携と子ども達への体験機会の提供により、次世代育成の基本である、確かな学力の向上と変化する社会に対応していく生き抜く力を育むとともに、青少年の健全育成を推進することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創作活動、科学体験、運動系体験並びに幼児及び親子向け体験等の子ども向け体験等の事業</li> <li>・ 体験プログラム、デジタルコンテンツ、体験キット等の企画、開発及びアウトリーチ（館外活動）等</li> </ul>

## ⑤ 開館時間

施設名	開館時間	休館日	開館日数
足立区文化芸術劇場 (シアター1010)	午前9時から 午後10時	12月28日～1月4日 臨時に休館または開館することもある	357日
庁舎ホール	午前9時から 午後9時30分	12月29日～1月3日、設備点検全館休館日（土日のうち年10日）	349日
西新井文化ホール (ギャラクシティ)	午前9時から 午後9時30分	元日、毎月第2月曜日（祝日の場合は翌日、8月を除く）、1月・3月・9月に連続休館日あり	345日
こども未来創造館 (ギャラクシティ)	午前9時から 午後9時30分	元日、毎月第2月曜日（祝日の場合は翌日、8月を除く）、1月・3月・9月に連続休館日あり	345日

(1) エ 文化施設

⑥ 利用方法及び使用料

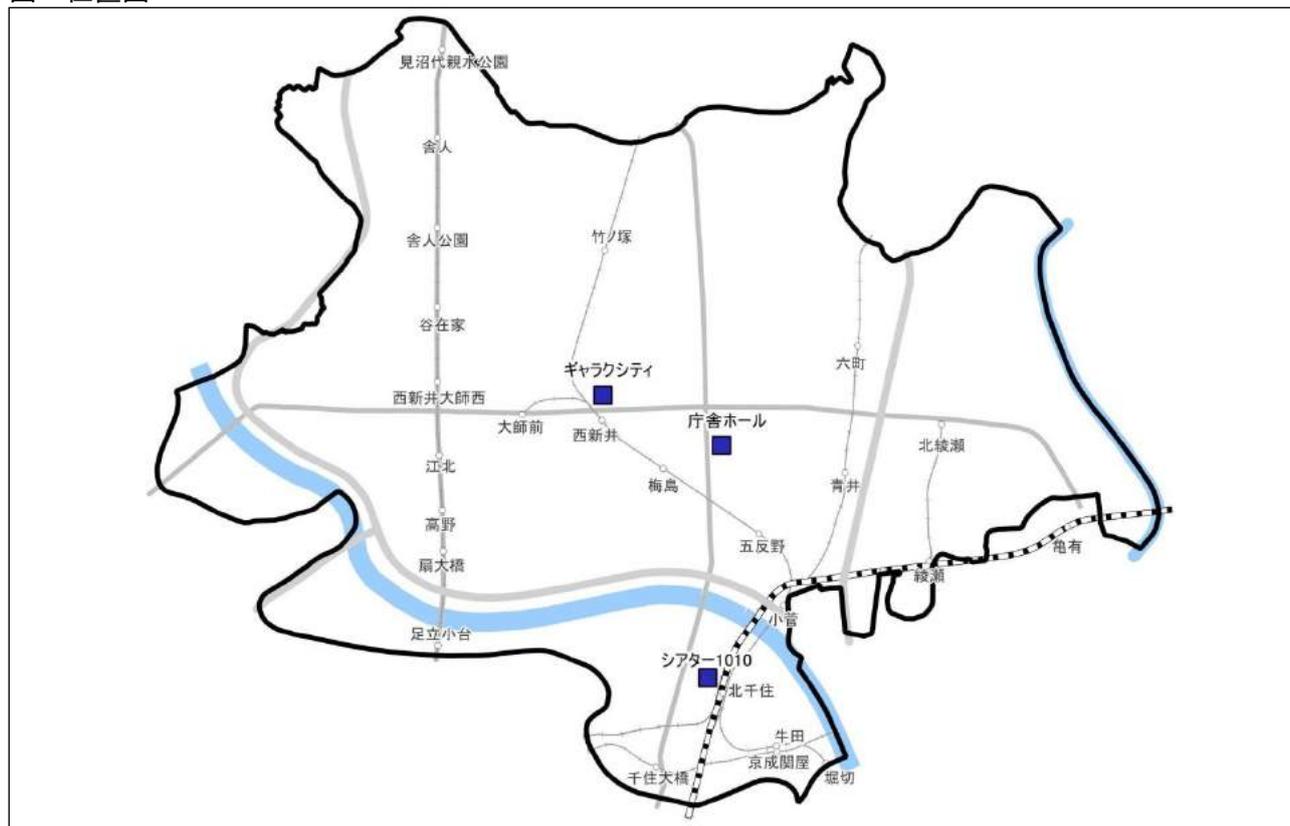
施設の利用にあたっては事前申請及び使用料が必要となります。

施設名	利用方法						
足立区文化芸術劇場 (シアター1010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 劇場・稽古場・ギャラリー 利用日の属する月の18月前の月の初日から利用日まで</li> <li>● 視聴覚室・アトリエ・講義室・音楽練習室 利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日まで</li> </ul>						
庁舎ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホール                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民及び区内事業所・団体： 使用日の属する6月前の月の初日から使用日の14日前まで</li> <li>・ その他：使用日の属する6月前の月の15日から使用日の14日前まで</li> </ul> </li> </ul>						
西新井文化ホール (ギャラクシティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホール                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民、区内の事業所及び区内在勤者： 使用日の属する月の12月前の月の初日から使用日の14日前まで</li> <li>・ その他： 使用日の属する月の12月前の月の15日から使用日の14日前まで</li> </ul> </li> <li>● リハーサル室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民、区内の事業所及び区内在勤者： 使用日の属する月の3月前の月の初日から使用日の3日前まで</li> <li>・ その他： 使用日の属する月の3月前の月の15日から使用日の3日前まで</li> </ul> </li> </ul> <p>ホールの使用に付随してリハーサル室を使用する場合はホールに準じる。</p>						
こども未来創造館 (ギャラクシティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多目的室・マルチ体験ドーム 使用日の属する月の6月前の初日から使用日の当日まで</li> <li>● キッキングスタジオ・レクリエーションホール・音楽室 使用日の属する月の2月前の初日から使用日の当日まで</li> </ul>						
施設名	使用料						
足立区文化芸術劇場 (シアター1010)	限度額（1日につき）						
	劇場	稽古場	ギャラリー	視聴覚室	アトリエ	講義室	音楽練習室
	500,000円	100,000円	300,000円	70,000円	70,000円	50,000円	30,000円
庁舎ホール			午前	午後	夜間	全日	
	ホール	平日	18,200円	26,400円	31,900円	69,200円	
		土・日・祝	25,500円	37,300円	44,600円	96,400円	
西新井文化ホール (ギャラクシティ)			午前	午後	夜間	全日	
	ホール	平日	25,300円	45,500円	56,600円	114,100円	
		土・日・祝	31,300円	56,600円	69,700円	141,400円	
	その他	リハーサル室	2,100円	3,200円	4,100円	9,100円	

施設名	使用料				
こども未来創造館 (ギャラクシティ)	1時間単位				
	多目的室	マルチ体験 ドーム	クッキング スタジオ	レクリエーション ホール	音楽室
	1,000円(半室) 2,000円(全室)	3,000円	800円	700円 (第1・第2) 850円(第3)	250円 (第1・第3) 400円(第2)

## ⑦ 配置状況

図 位置図



## ⑧ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

施設分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	座席数	複合・併設施設				備考	
								子育て サロン	区民 事務所	本庁舎	その他		
ホール	1 足立区文化芸術劇場 (シアター1010)	千住3丁目92	10,155.44	平成15	12	SRC	701		●		商業施設		
	2 庁舎ホール	中央本町1丁目17-1	2,258.70	平成8	19	SRC	483			●			
	3 西新井文化ホール (ギャラクシティ)	栗原1丁目3-1	4,600.00	平成5	22	SRC	902					こども未来 創造館	
その他	4 こども未来創造館 (ギャラクシティ)	栗原1丁目3-1	10,619.84	平成5	22	SRC	-	●				西新井文 化ホール	
合計			27,633.98										

(1) オ 悠々会館

オ 悠々会館

区では、区内在住の60歳以上の方が無料で利用できる施設として悠々会館を設置し、行事や趣味の教室、健康づくり等の活動を行っています。

《概要シート》

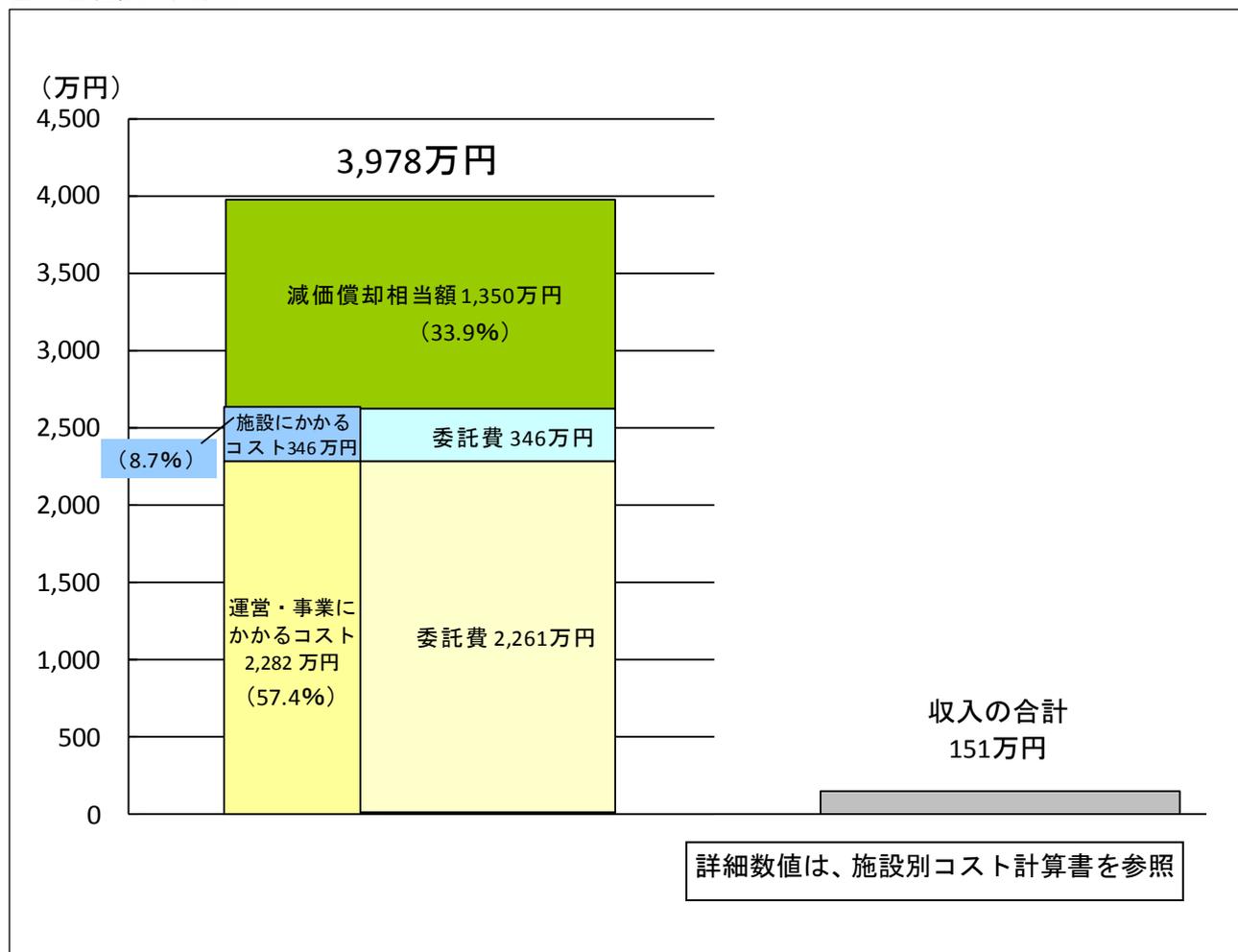
施設概要	施設数	1 施設	管理形態	シルバー人材センター 管理運営委託
	主な室名	会議室、大広間、娯楽室、バンパー室、浴室 等		
	平均開館日数	283 日	総延床面積	1,687.62㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	109,523人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	346万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	2,282万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	1,350万円		
	⑤ 収入	151万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	3,978万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)	363円/人		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	23,572円/㎡		
備考				

① コスト状況

悠々会館のトータルコストは3,978万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは346万円(9%)、運営・事業にかかるコストは2,282万円(57%)、減価償却相当額1,350万円(34%)となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

シルバー人材センターによる管理運営委託となっています。

(1) 才 悠々会館

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		悠々会館
	委託費	3,460,320
①	施設にかかるコスト	3,460,320
	委託費	22,608,840
	車両・備品購入費	65,448
	その他物件費	142,560
②	運営・事業にかかるコスト	22,816,848
③	指定管理委託料	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		26,277,168

④	減価償却相当額	13,500,960
---	---------	------------

【収入の部】

	使用料収入	1,509,848
⑤	収入の合計	1,509,848

【総括】

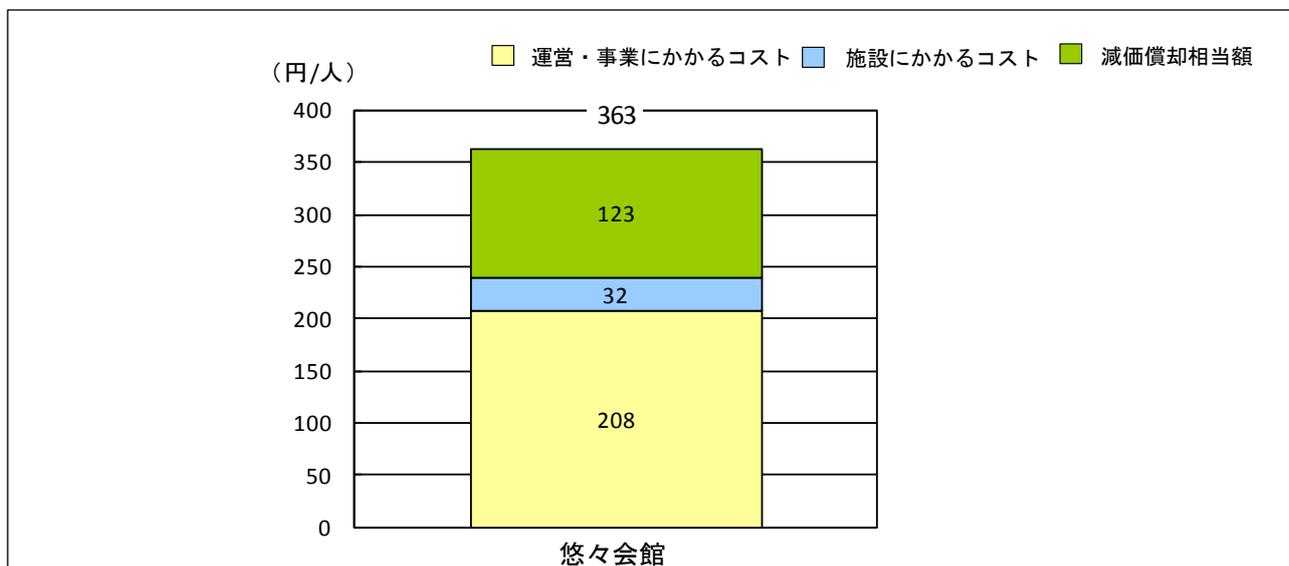
⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	39,778,128
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		38,268,280

② 評価・分析

■ 利用者 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、363 円/人です。

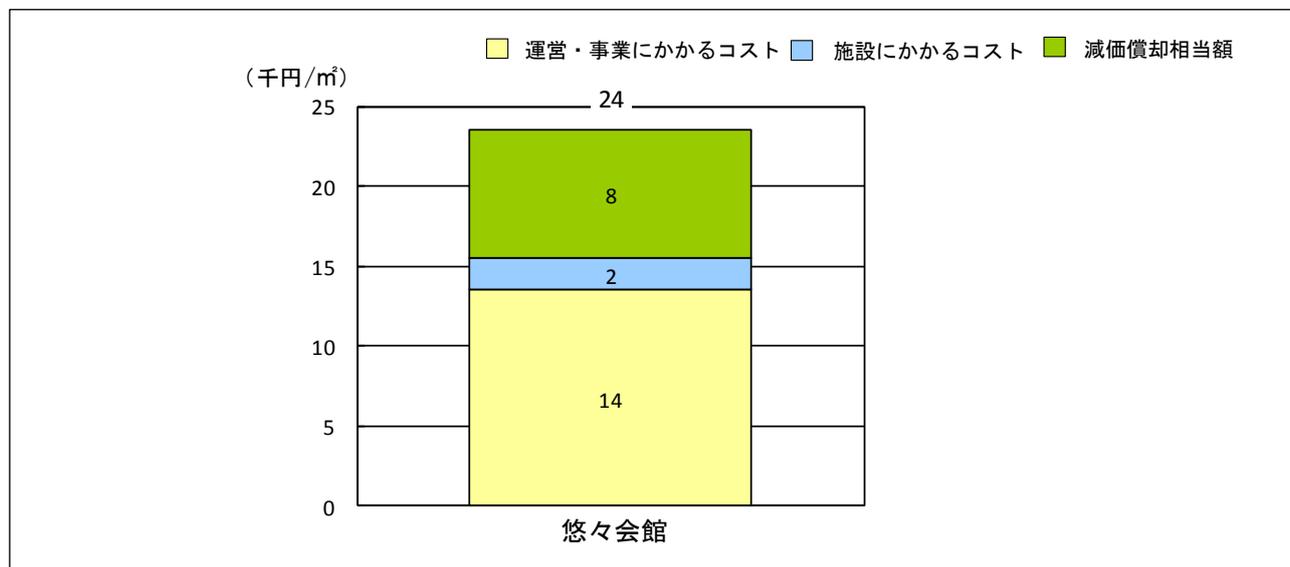
図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、23,572 円/m<sup>2</sup>です。

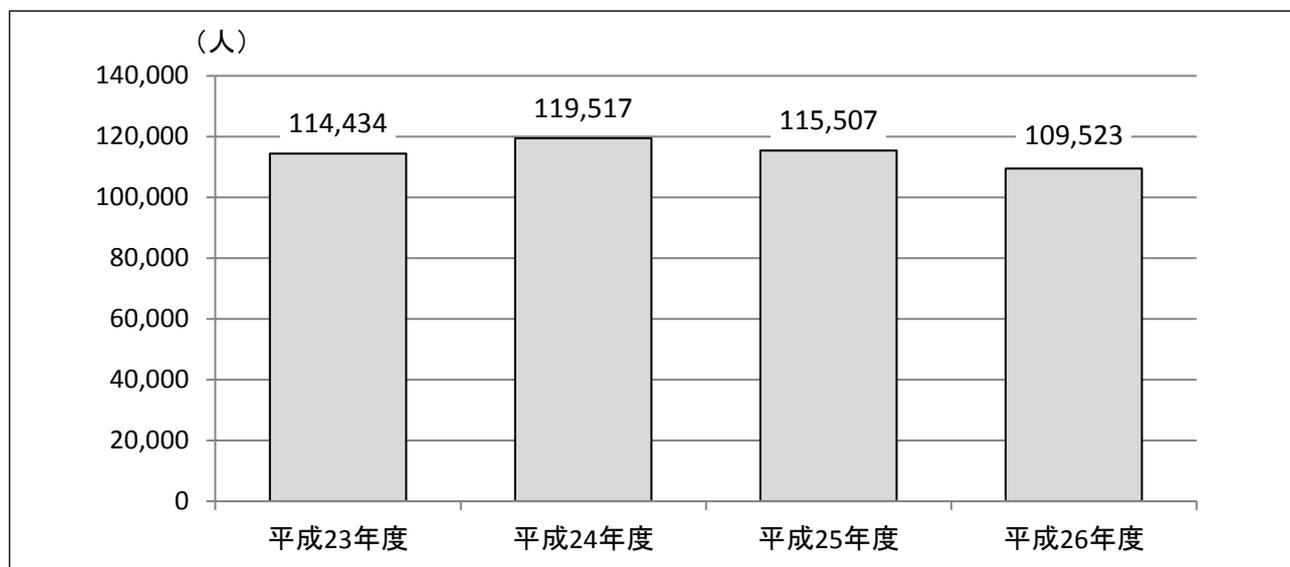
図 単位床面積当たりにかかるコスト



③ 利用状況

悠々会館の直近 4 年間の年間利用者数は約 11 万人から約 12 万人で推移しています。

図 悠々会館 年間利用者数推移



(1) 才 悠々会館

④ 設置目的・事業内容

設置目的	事業内容
老人の福祉の向上を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悠々会館の使用に関すること。</li> <li>・老人の健康の保持及び各種レクリエーションに関すること。</li> <li>・老人の福祉を増進することを目的とする施設及び組織等との連絡に関すること。</li> </ul>

⑤ 利用時間

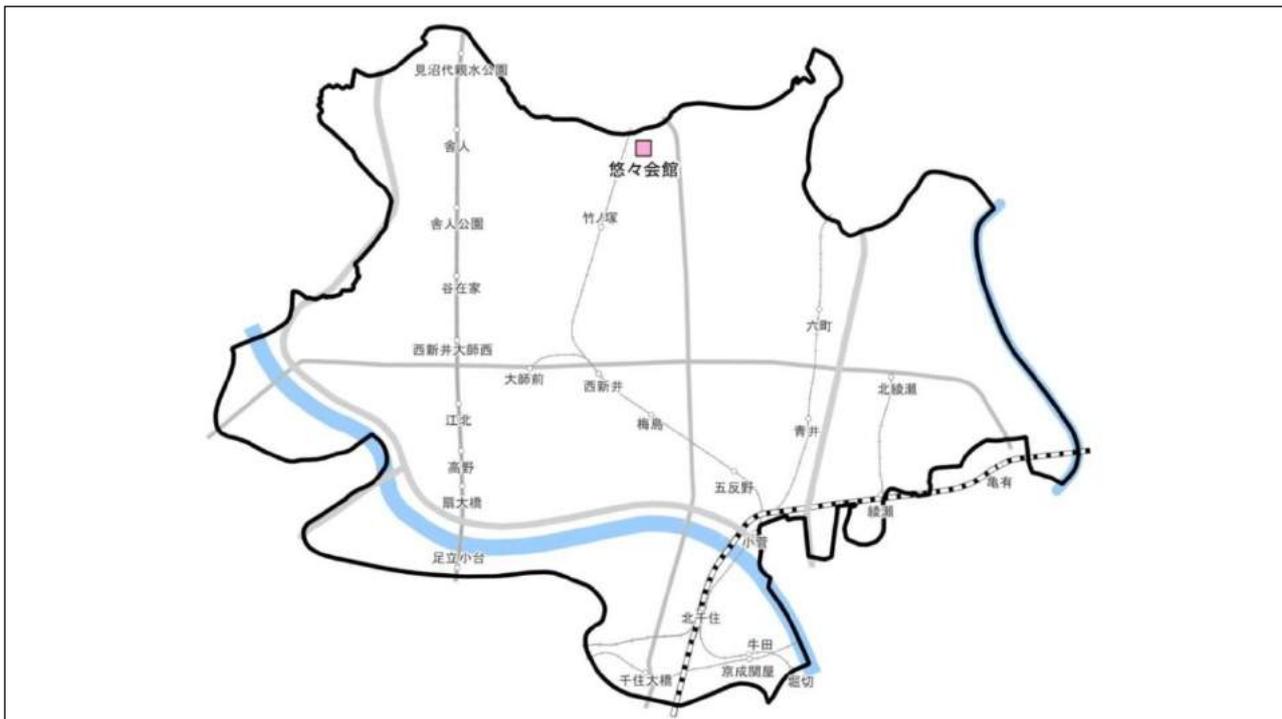
開館時間	休館日
午前 9 時から午後 5 時	月曜、第 3 日曜（祝日の場合は翌日も休館）、祝日（敬老の日は開館）、年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）

⑥ 利用料金

区内在住の 60 歳以上の方が、無料で利用できます。

⑦ 配置状況

図 悠々会館位置図



⑧ 施設一覧

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	備考
悠々会館	西保木間4丁目9-1	1,687.62	昭和53	37	RC	

※赤字は築 30 年以上の施設

## カ 愛恵まちづくり記念館

区では、区民のまちづくり活動の拠点及び区民相互の交流の場として、愛恵まちづくり記念館を設置しています。

## 《概要シート》

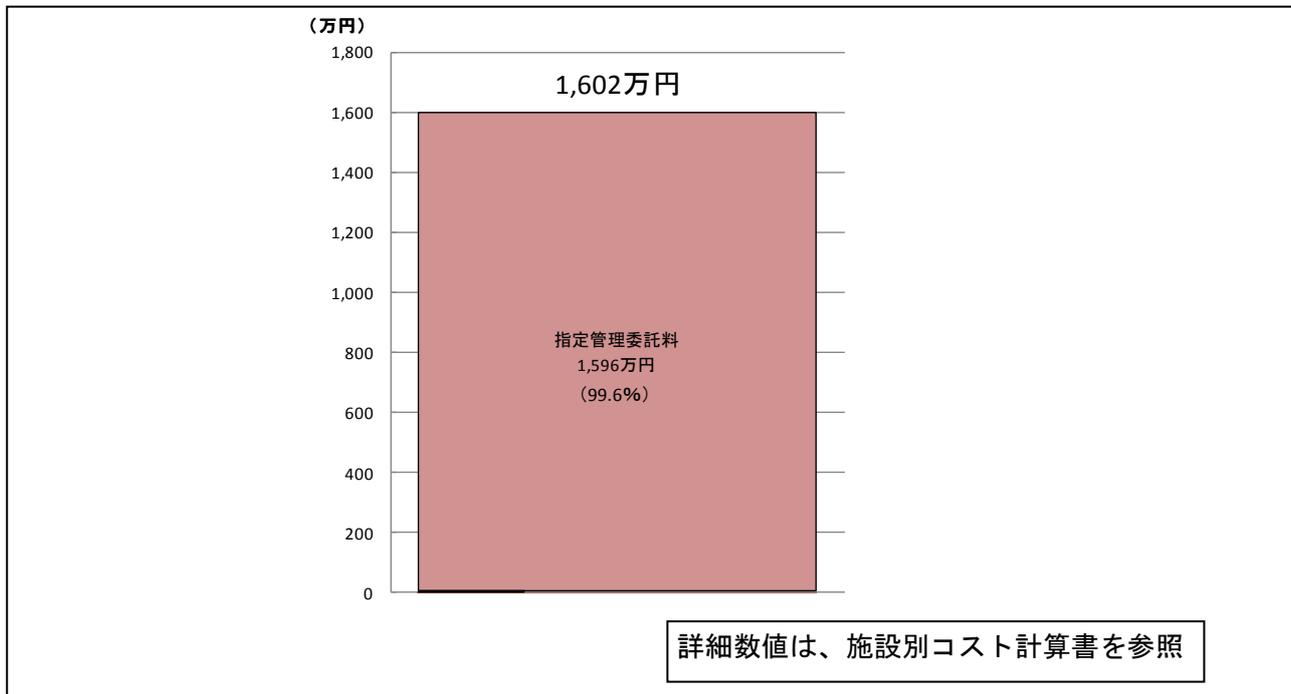
施設概要	施設数	1 施設	管理形態	管理運営委託
	主な室名	会議室、談話室等		
	平均開館日数	306 日	総延床面積	423.49㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	8,138人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	0万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	6万円		
	③ 指定管理委託料	1,596万円		
	④ 減価償却相当額	0万円		
	⑤ 収入	0万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	1,602万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数) ※1	1,482円/人		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積) ※2	11,333円/㎡		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 愛恵まちづくり記念館の指定管理委託料はまちづくり工房館のコストを含むため、利用者1人当たりコスト及び単位面積当たりのコストは、まちづくり工房館の数値を合算し算出している。</li> <li>※1 年間利用者数：まちづくり記念館8,138人+まちづくり工房館2,669人 =10,807人</li> <li>※2 総延床面積：まちづくり記念館423.49㎡+まちづくり工房館990.08㎡ =1,413.57㎡</li> </ul>			

(1) カ 愛恵まちづくり記念館

① コスト状況

愛恵まちづくり記念館の年間トータルコストは、指定管理委託料1,596万円(99.6%)を含む1,602万円です。

図 全施設収支状況



《運営状況》

愛恵まちづくり記念館は指定管理者による運営です。

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	愛恵まちづくり 記念館
① 施設にかかるコスト	0
謝礼金	57,000
② 運営・事業にかかるコスト	57,000
③ 指定管理委託料	15,959,671
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	16,016,671
④ 減価償却相当額	0
【収入の部】	
⑤ 収入の合計	0
【総括】	
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	16,016,671
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)	16,016,671

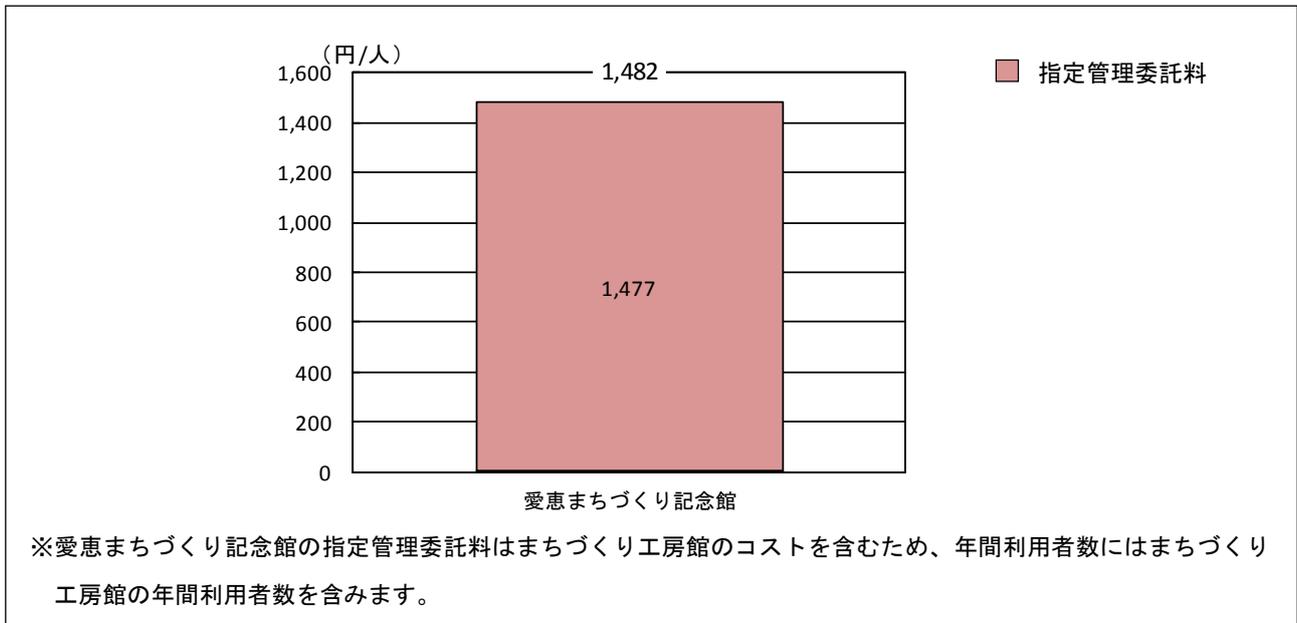
※愛恵まちづくり記念館の指定管理委託料はまちづくり  
工房館のコストを含みます。

② 評価・分析

■ 利用者 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、1,482 円/人です。

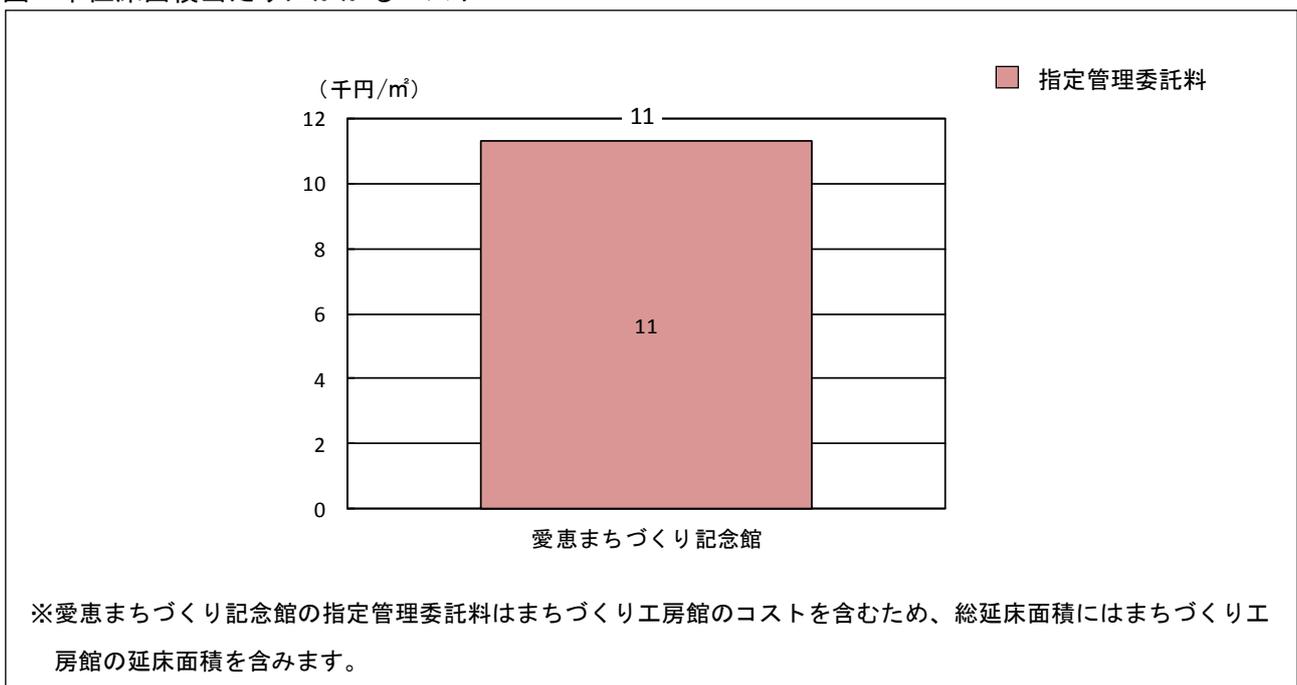
図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、11,333 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト



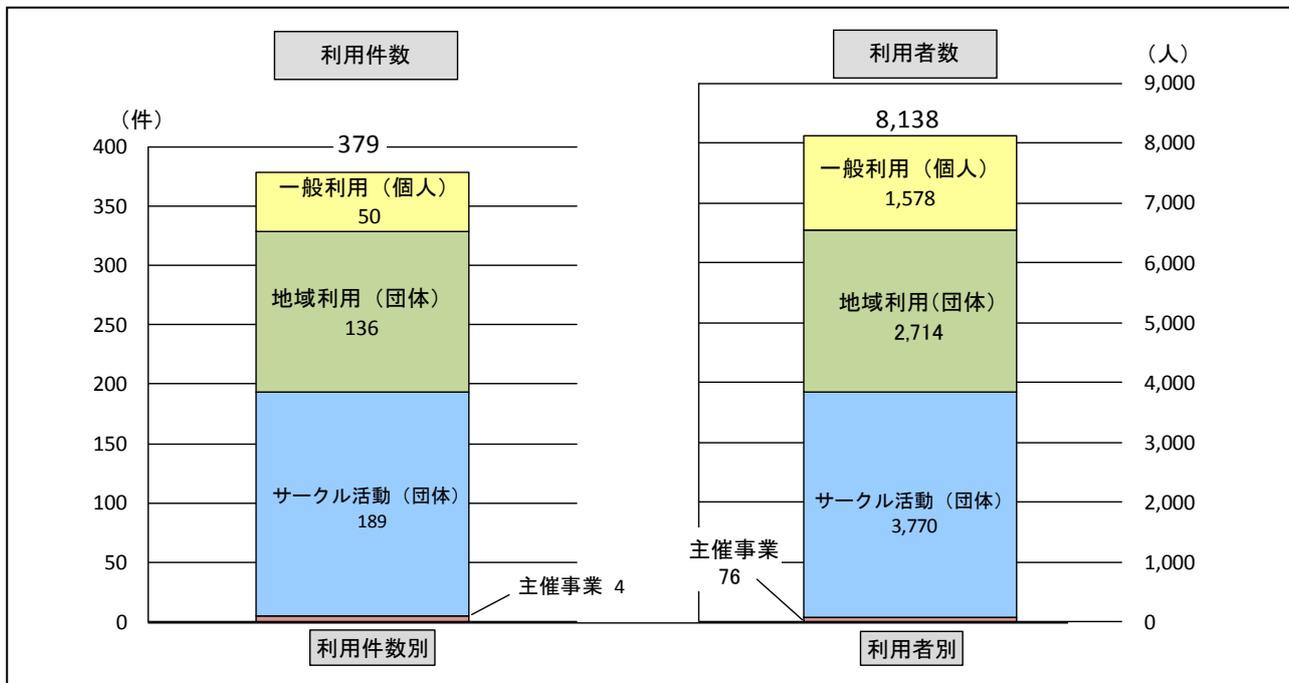
(1) カ 愛恵まちづくり記念館

③ 利用状況

■ 年間利用件数・利用者数

平成 26 年度の年間利用件数は 379 件、年間利用者数は 8,138 人です。

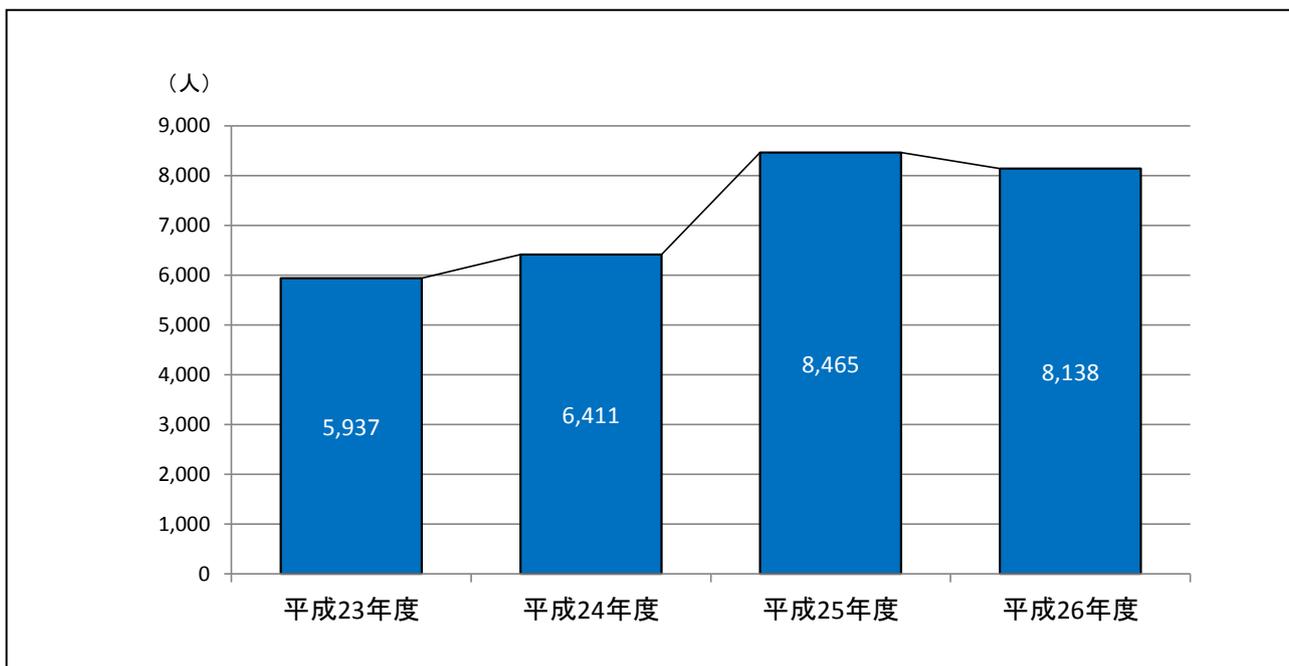
図 年間利用件数・年間利用者数（平成 26 年度）



■ 利用者数の推移

直近 4 年間の年間利用者数は約 6 千人から 8 千人で推移しており、平成 25 年度の利用者数は平成 24 年度から約 2 千人の増加となっています。

図 年間利用者数の推移



## ④ 設置目的・事業内容

設置目的	事業内容
区民のまちづくり活動の拠点及び区民相互の交流の場とし、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記念館の利用に関する事</li> <li>・ まちづくりに関する事</li> <li>・ 区民相互の交流に関する事</li> </ul>

## ⑤ 開館時間・休館日

開館時間	休館日
午前 9 時から午後 9 時 30 分	月曜日、年末年始（12 月 28 日から 1 月 4 日）

## ⑥ 利用方法及び使用料

愛恵まちづくり記念館の使用料金は使用時間により異なり、使用にあたっては事前申請が必要となります。

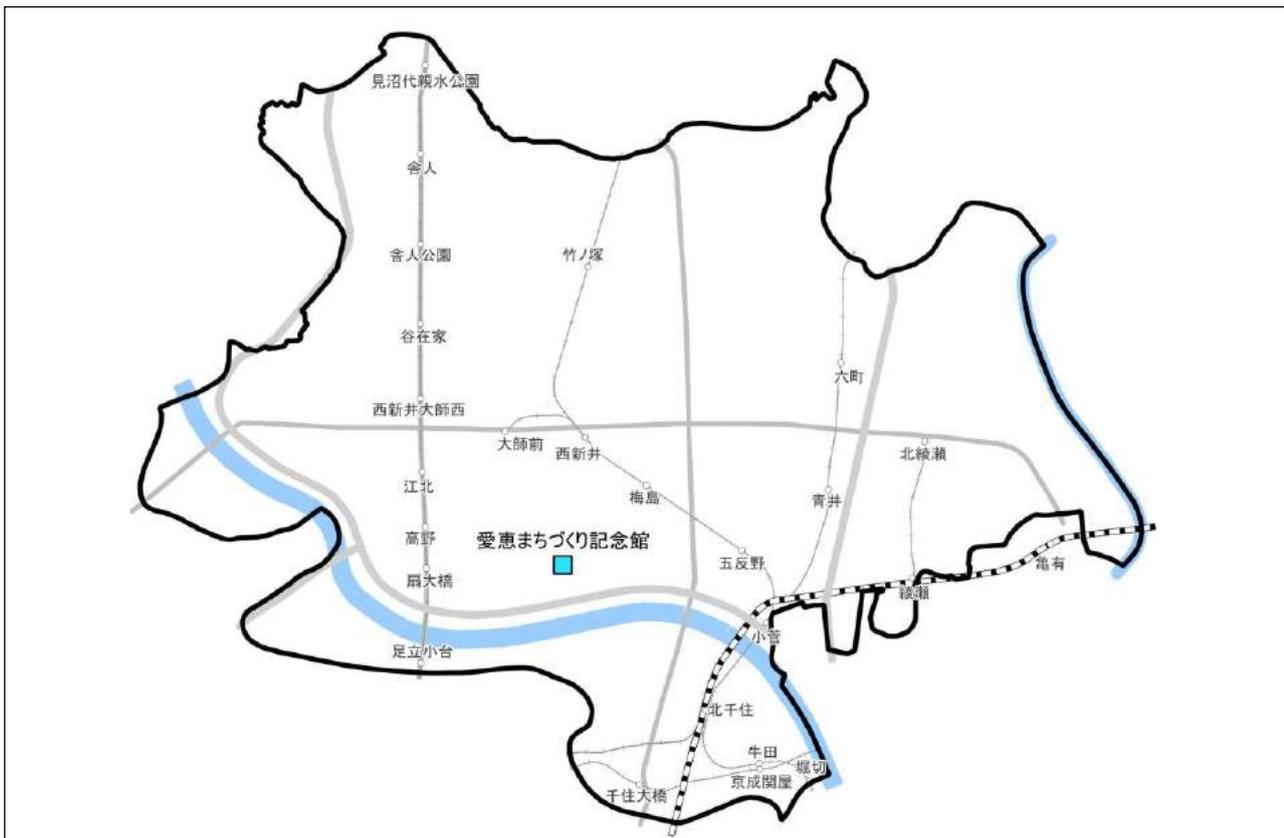
愛恵まちづくり記念館	昼間 午前 9 時から 午後 5 時 30 分	夜間 午後 5 時 30 分から 午後 9 時 30 分	全日 午前 9 時から 午後 9 時 30 分
会議室 1 会議室 2 談話室	1 時間までごとに 500 円	1 時間までごとに 1,000 円	7,000 円

※談話室は午後 5 時まで無料で公開されていますが、貸し切りで利用する場合のみ事前申請及び利用料金がかかります。

(1) カ 愛恵まちづくり記念館

⑦ 配置状況

図 位置図



⑧ 施設一覧

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設		備考
						会議室	その他	
愛恵まちづくり記念館	関原1丁目21-9	423.49	昭和5	85	W	●	●	談話室

※赤字は築30年以上の施設

## (2) 社会教育施設

## ア 図書館

区では、中央図書館を1施設、地域図書館を14施設、計15施設の図書館を設置しています。

## 《概要シート》

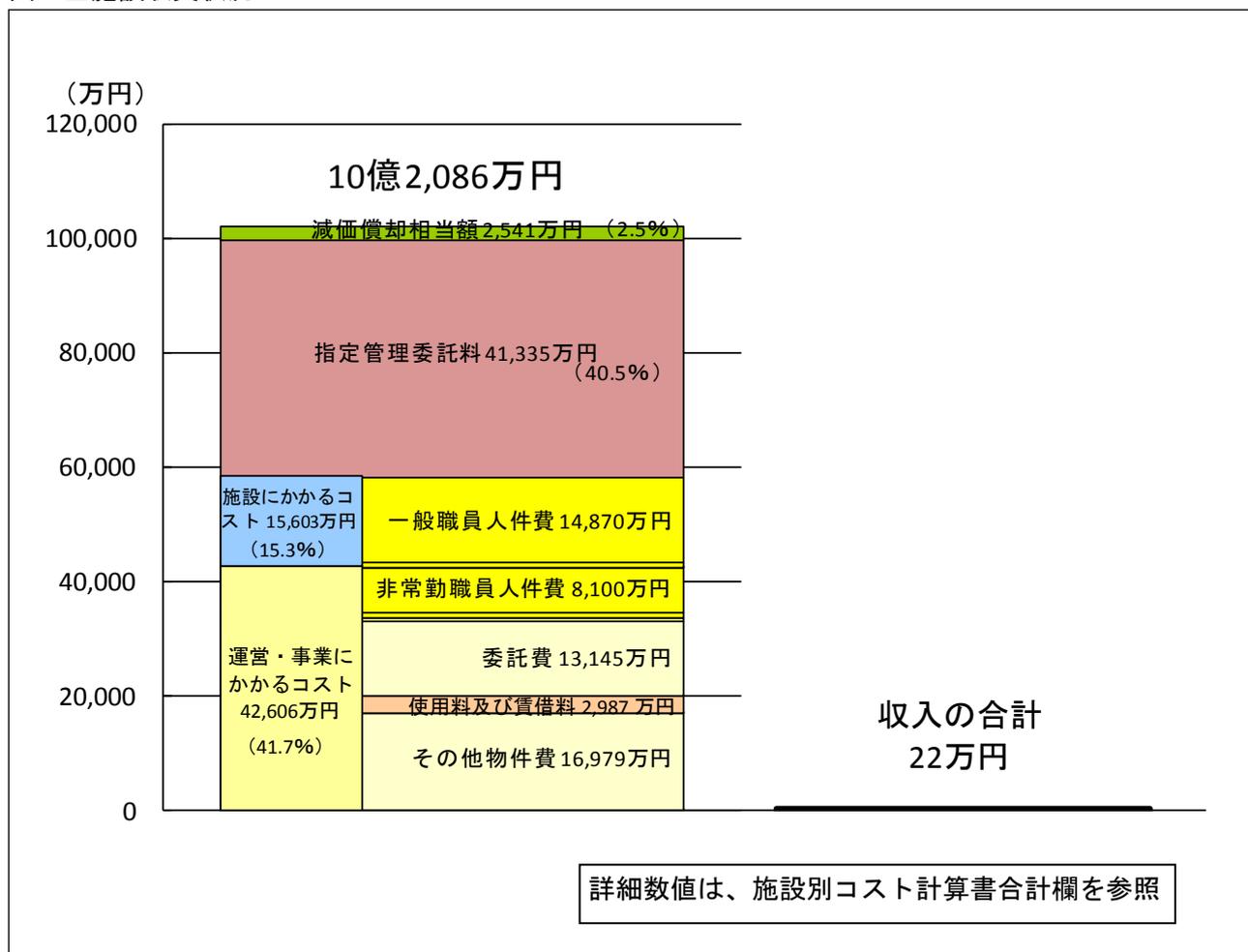
施設概要	施設数	15 施設	管理形態	直営、指定管理者運営
	主な室名	閲覧室、学習室 等		
	平均開館日数	326 日	総延床面積	19,078.82㎡
利用状況				施設群合計
	蔵書数	1,800,363点		
	年間貸出点数 (団体貸出数含む)	3,918,626点		
	年間来館者数	2,878,262人		
	年間貸出者数	993,548人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	15,603万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	42,606万円		
	③ 指定管理委託料 (中央図書館・宮城コミュニティ図書館除く)	41,335万円		
	④ 減価償却相当額	2,541万円		
	⑤ 収入	22万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	102,085万円		
	貸出1点当たりのコスト (⑥÷年間貸出点数)	261円/点		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	53,508円/㎡		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間貸出点数は団体貸出数を含むが、図書館以外のその他窓口は含まない。</li> </ul>			

(2) ア 図書館

① コスト状況

図書館 15 施設の年間トータルコストは、102,086 万円です。中央図書館は 47,170 万円（約 46%）、その他 14 施設は 1 施設当たり平均 3,923 万円です。

図 全施設収支状況



《運営状況》

図書館の運営人員は 52 人です。内訳は、一般職員が 18 人、再任用職員が 2 人、非常勤職員が 32 人となっています。

直営である中央図書館に 51 名、宮城コミュニティ図書館に 1 名配置され、その他の地域図書館は指定管理者により運営されています。なお、中央図書館では、窓口サービスを外部委託しています。

表 運営人員

(人)

		中央図書館	宮城コミュニティ図書館	合計
施設管理	一般職員	18.0	0.0	18.0
	再任用職員	2.0	0.0	2.0
	計	20.0	0.0	20.0
事業運営	非常勤職員	31.0	1.0	32.0
	計	31.0	1.0	32.0
合計		51.0	1.0	52.0

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	中央図書館	伊興図書館	梅田図書館	興本図書館	江北図書館	佐野図書館	鹿浜図書館	新田コミュニティ図書館
一般職員人件費	148,698,000	0	0	0	0	0	0	0
再任用職員人件費	7,296,000	0	0	0	0	0	0	0
その他物件費	40,785	0	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	156,034,785	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員人件費	78,000,000	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員人件費	8,184,000	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	2,171,858	0	1,534,701	0	391,176	106,920	0	509,760
委託費	115,232,284	0	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	29,456,586	0	0	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	145,160	0	0	0	0	0	0	0
その他物件費	82,176,706	6,807,940	7,888,363	6,784,701	6,359,322	5,308,400	6,158,791	5,039,026
運営費	315,366,594	6,807,940	9,423,064	6,784,701	6,750,498	5,415,320	6,158,791	5,548,786
委託費	300,000	0	0	0	0	0	0	0
事業費	300,000	0	0	0	0	0	0	0
② 運営・事業にかかるコスト	315,666,594	6,807,940	9,423,064	6,784,701	6,750,498	5,415,320	6,158,791	5,548,786
③ 指定管理委託料	0	30,248,077	42,936,623	28,246,168	31,283,433	29,631,295	32,992,239	25,260,414
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	471,701,379	37,056,017	52,359,687	35,030,869	38,033,931	35,046,615	39,151,030	30,809,200
④ 減価償却相当額	0	0	22,080,000	0	0	0	0	0
【収入の部】								
使用料収入	86,908	0	7,866	0	0	0	0	0
諸収入	42,656	0	58,311	0	0	0	0	0
⑤ 収入の合計	129,564	0	66,177	0	0	0	0	0
【総括】								
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	471,701,379	37,056,017	74,439,687	35,030,869	38,033,931	35,046,615	39,151,030	30,809,200
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	471,571,815	37,056,017	74,373,510	35,030,869	38,033,931	35,046,615	39,151,030	30,809,200

※指定管理料は併設する地域学習センターで図書館運営にかかる部分のみを計上

(中央図書館、宮城コミュニティ図書館を除く)

※中央図書館の光熱水費等は、生涯学習センターで計上

※宮城コミュニティ図書館の光熱水費等は江南区民事務所で計上

※非常勤職員の人件費は、該当となる専門非常勤職員報酬の月額単価×勤務月数×人数で計上

※各図書館へ振り分けできない主催事業等のコストは、中央図書館にて計上

※中央図書館の減価償却費は、生涯学習センターにて計上

※地域学習センター内併設施設の減価償却費は、地域学習センターにて計上

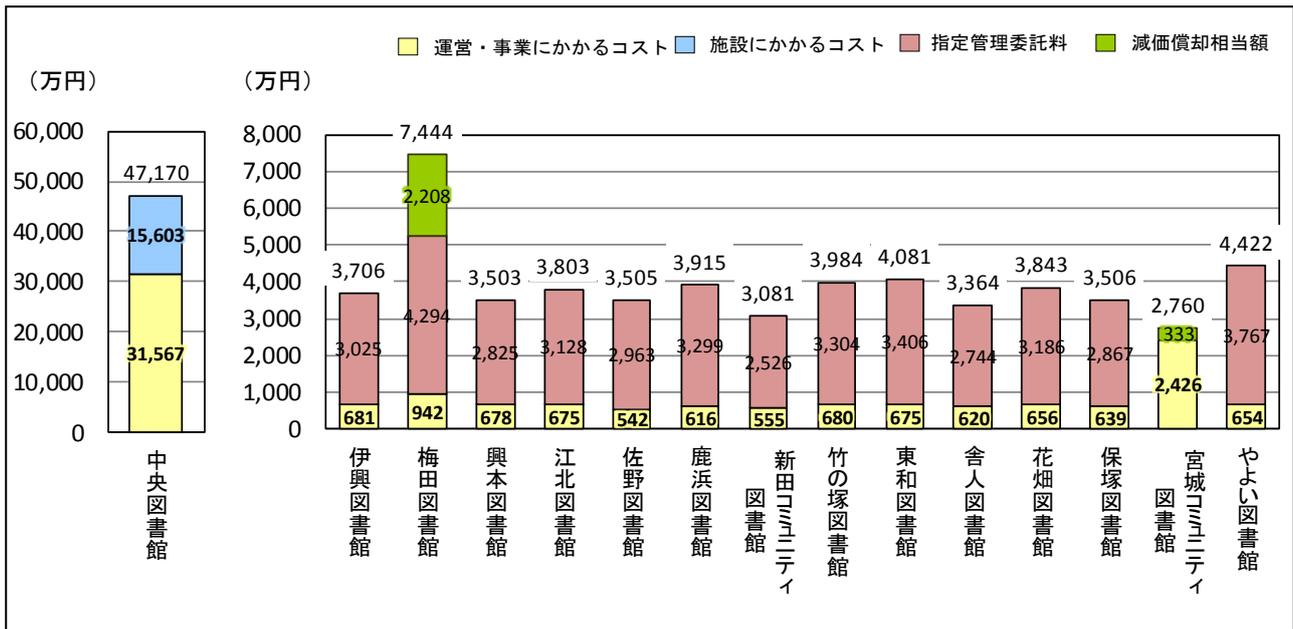
## (2) ア 図書館

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	竹の塚 図書館	東和図書館	舎人図書館	花畑図書館	保塚図書館	宮城コミュニティ図 書館	やよい 図書館	合計
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	148,698,000
再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	7,296,000
その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	40,785
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	0	0	156,034,785
非常勤職員人件費	0	0	0	0	0	3,000,000	0	81,000,000
臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	8,184,000
修繕費	12,960	29,052	25,920	191,160	0	316,440	25,920	5,315,867
委託費	0	0	0	0	0	16,218,950	0	131,451,234
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	416,534	0	29,873,120
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	145,160
その他物件費	6,789,362	6,716,323	6,170,341	6,371,830	6,390,277	4,309,155	6,517,035	169,787,572
運営費	6,802,322	6,745,375	6,196,261	6,562,990	6,390,277	24,261,079	6,542,955	425,756,953
委託費	0	0	0	0	0	0	0	300,000
事業費	0	0	0	0	0	0	0	300,000
② 運営・事業にかかるコスト	6,802,322	6,745,375	6,196,261	6,562,990	6,390,277	24,261,079	6,542,955	426,056,953
③ 指定管理委託料	33,037,863	34,063,406	27,443,161	31,862,281	28,674,025	0	37,672,251	413,351,236
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	39,840,185	40,808,781	33,639,422	38,425,271	35,064,302	24,261,079	44,215,206	995,442,974
④ 減価償却相当額	0	0	0	0	0	3,334,560	0	25,414,560
【収入の部】								
使用料収入	0	0	0	0	0	8,851	0	103,625
諸収入	0	0	0	0	0	18,634	0	119,601
⑤ 収入の合計	0	0	0	0	0	27,485	0	223,226
【総括】								
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	39,840,185	40,808,781	33,639,422	38,425,271	35,064,302	27,595,639	44,215,206	1,020,857,534
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	39,840,185	40,808,781	33,639,422	38,425,271	35,064,302	27,568,154	44,215,206	1,020,634,308

図 施設別トータルコスト

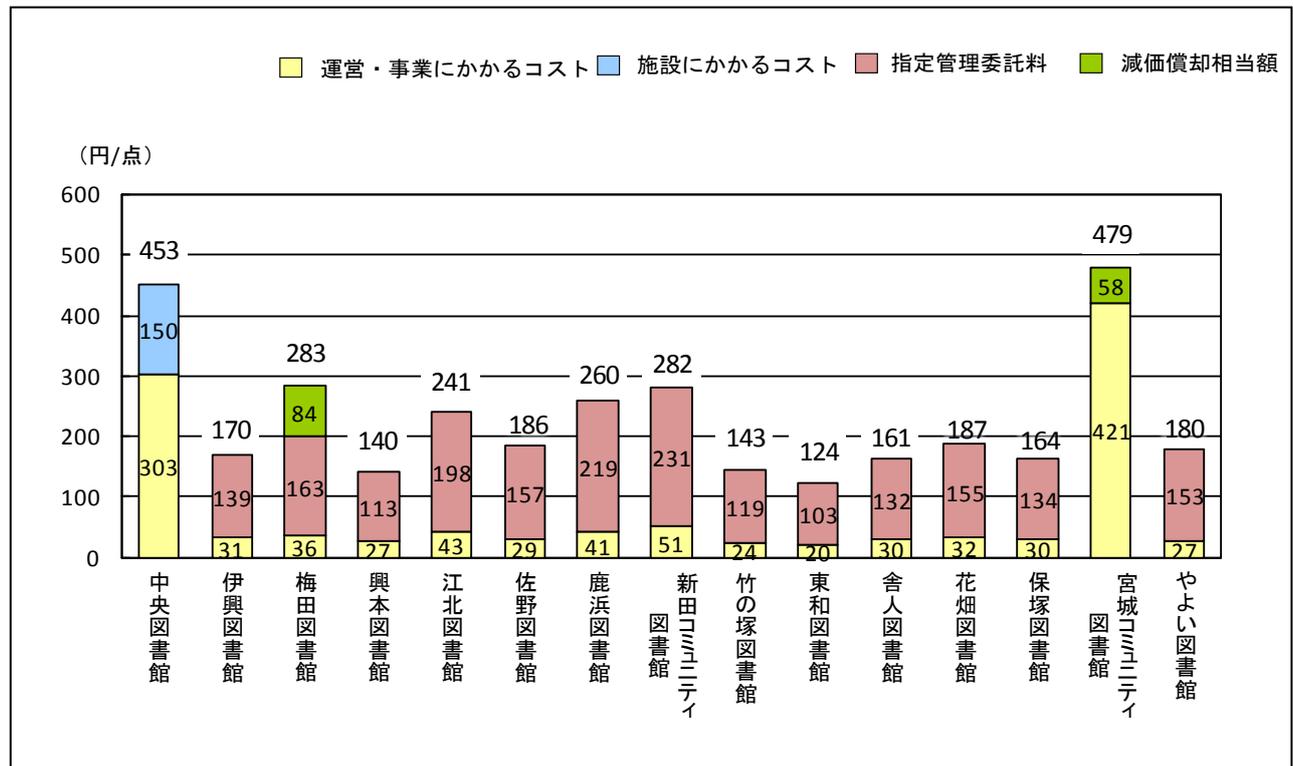


② 評価・分析

■ 貸出点数1点あたりにかかるコスト

年間貸出点数とトータルコストから貸出1点あたりにかかるコストを算出すると、平均は261円/点となっています。

図 貸出1点あたりにかかるコスト

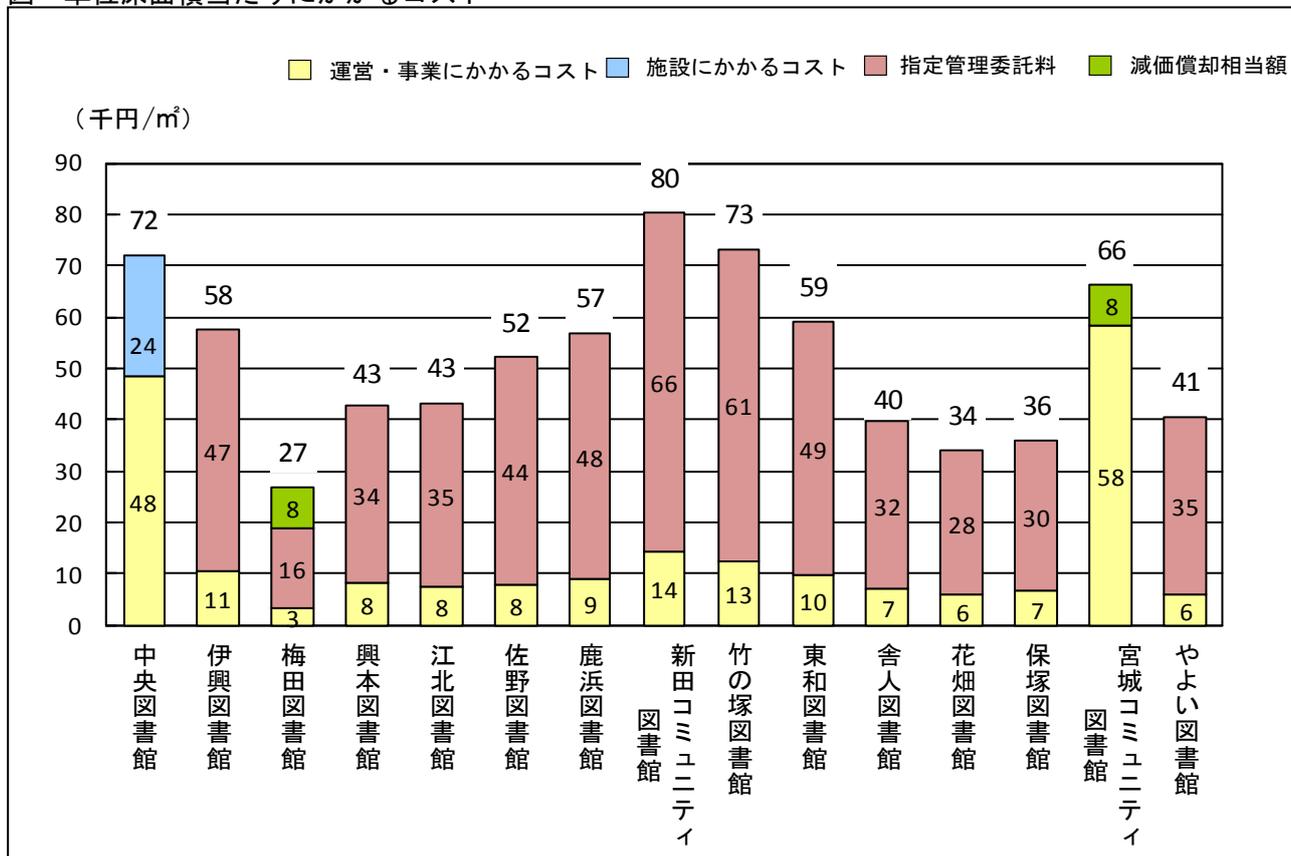


(2) ア 図書館

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 53,508 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト



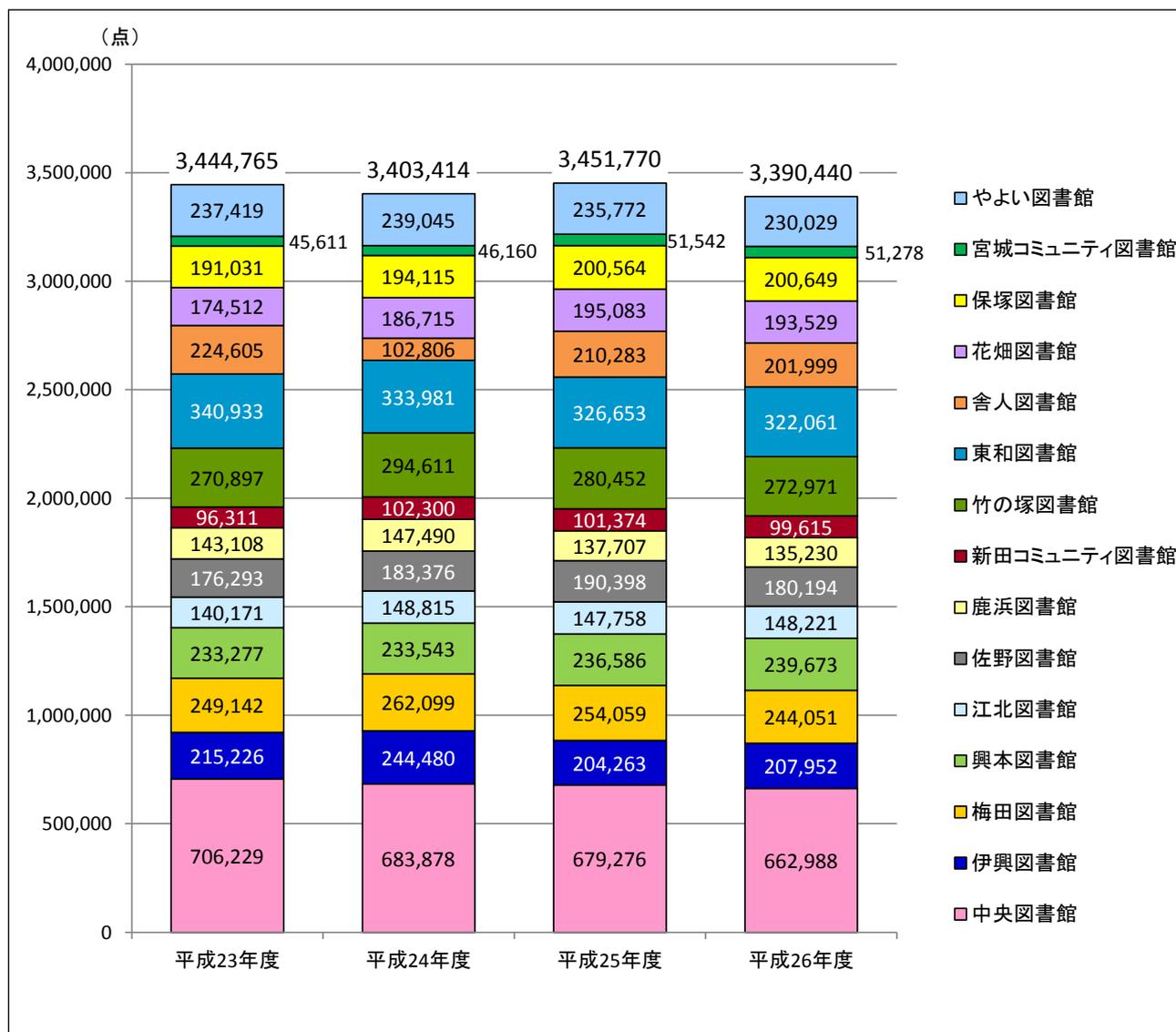
③ 利用状況

■ 年間貸出点数(個人貸出)

貸出点数の推移をみると、概ね年間約 340 万点で推移しています。

平成 26 年度の状況を施設別にみると、中央図書館の貸出点数は約 66.2 万点と区全体の約 20%を占めています。

図 年間貸出点数の推移



※常東コミュニティ図書館は平成 24 年度末に閉館となったため、平成 23・24 年度の貸出点数には常東コミュニティ図書館の貸出点数は含まれていません。

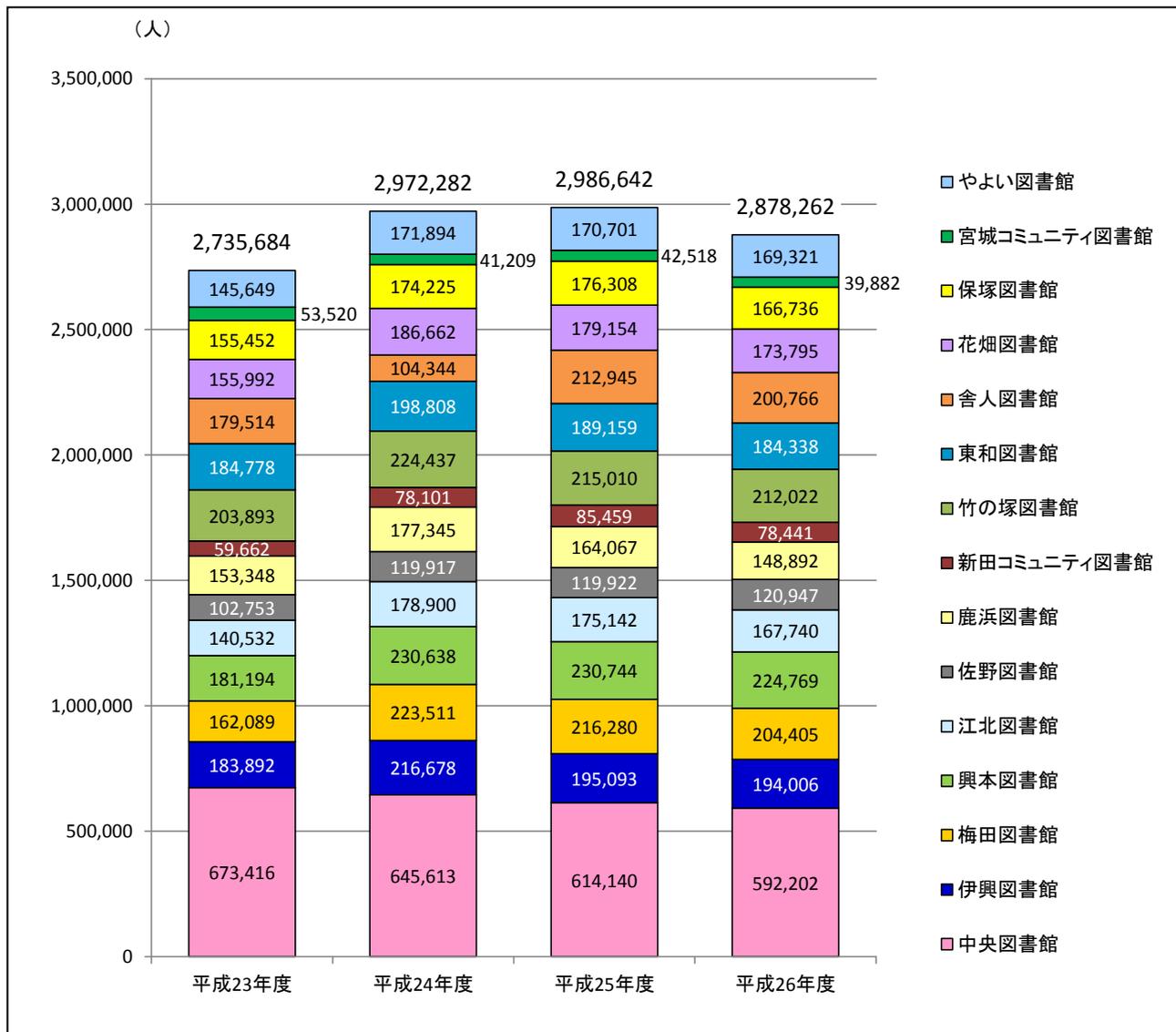
(2) ア 図書館

■ 年間来館者数

年間来館者数の推移をみると、平成 24・25 年度では約 300 万人となっています。

ただし、平成 26 年度の利用者数は、概ね全施設において来館者数が減少し、平成 25 年度から 3.6%減少となりました。

図 年間来館者数の推移



※常東コミュニティ図書館は平成 24 年度末に閉館となったため、平成 23・24 年度の来館者数には常東コミュニティ図書館の来館者数は含まれていません。

### ■ 施設別延貸出点数・年間延貸出者数

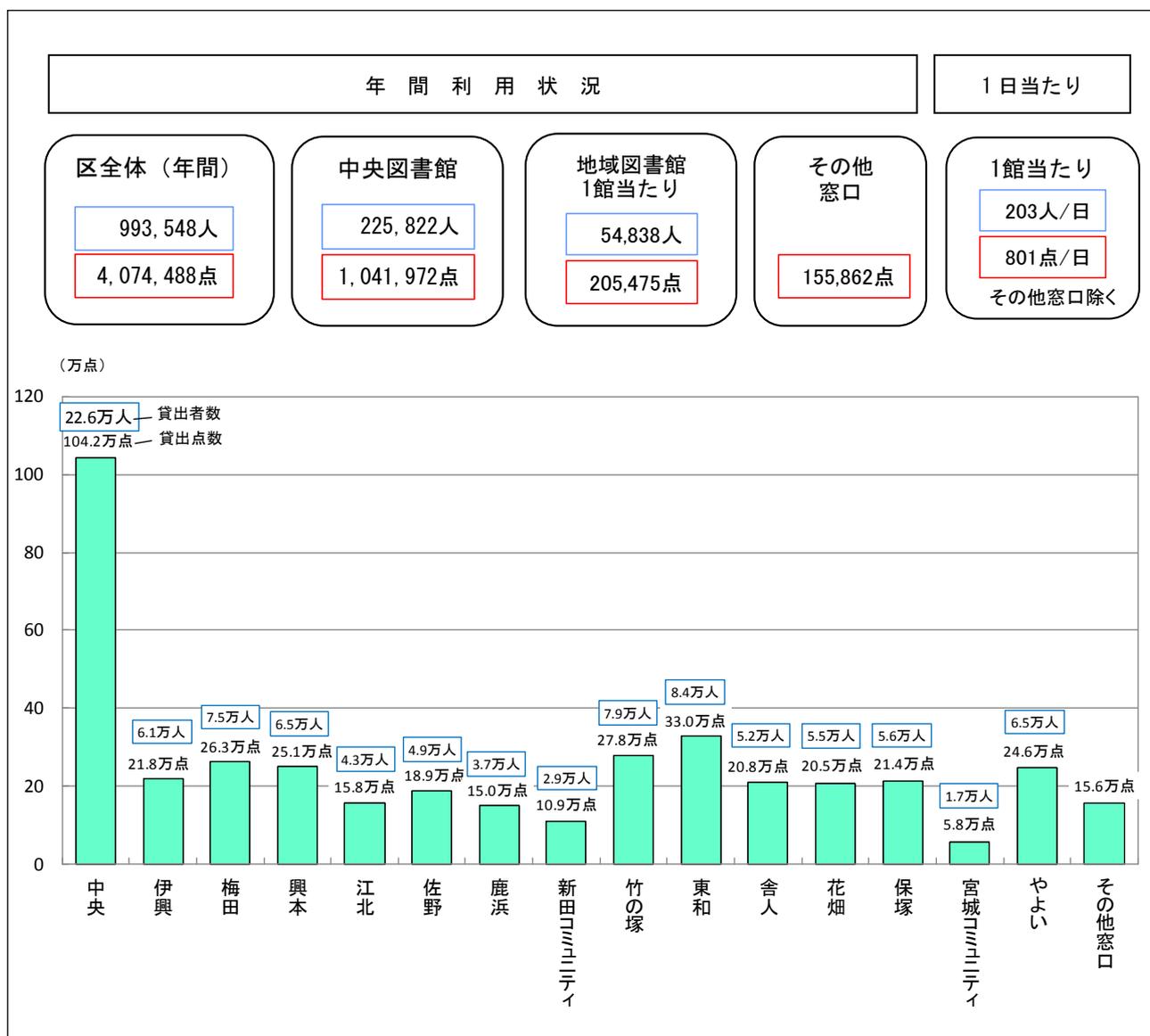
延貸出点数は年間約 407 万点、延貸出者数は約 99 万人です。

施設別にみると、中央図書館の貸出者数は約 23 万人と区全体の約 22.7%を占めており、貸出点数は約 104 万点となっています。地域図書館 1 館当たりでは、貸出者数は約 5.5 万人、貸出点数は約 21 万点です。

1 日当たりの利用状況は 1 館当たり 203 人/日、貸出点数は 801 点/日となっています。

なお、区ではその他窓口として図書館以外での図書受渡窓口を 7 カ所設置しており、貸出点数は年間約 16 万点となっています。

図 施設別貸出点数・貸出者数（平成 26 年度）



※その他窓口は消費者センター、男女参画プラザ、区政資料室、産業情報室、勤労福祉会館、こども未来創造館および東京電機大学の受渡窓口。

※貸出点数は団体貸出数を含む。

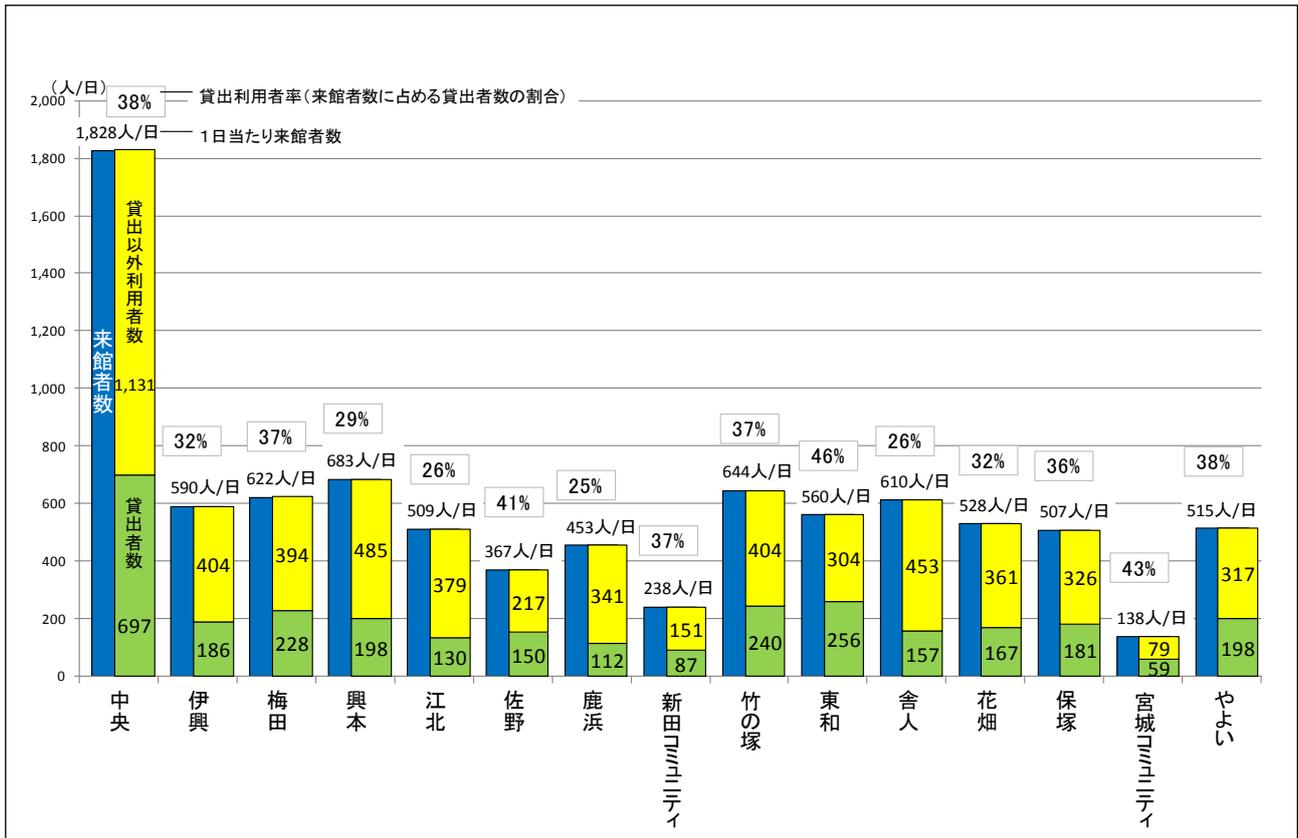
(2) ア 図書館

■ 来館者数

中央図書館は、1日平均1,828人が来館しています。そのうち、貸出者数は697人(約38%)となっています。

地域図書館は、1日平均138人(宮城コミュニティ図書館)から683人(興本図書館)が来館しています。そのうち、貸出者数の割合は、約25%から46%となっています。

図 施設別来館者数(平成26年度)



④ 設置目的・事業内容

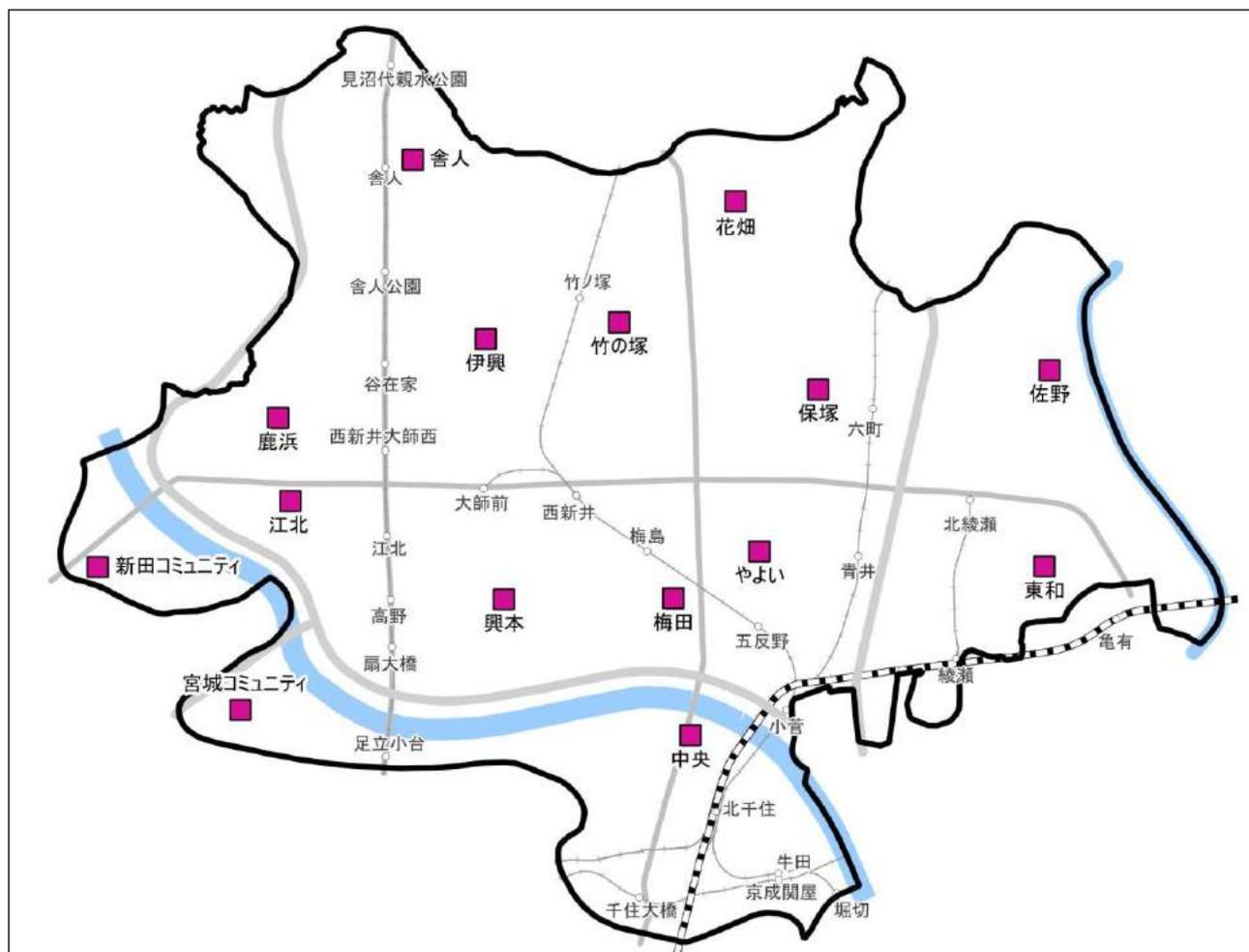
設置目的	事業内容
<p>図書、記録、音声、映像その他必要な資料を収集、整理、保存して、区民の利用に供し、その教養、調査、研究等に資することを目的とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館資料の収集・貸出</li> <li>・ 図書、雑誌、視聴覚資料等の収集、整理、保存及び利用に関する業務</li> <li>・ 目の不自由な方へのサービス提供             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 郵送貸出サービス</li> <li>2. 対面朗読サービス</li> <li>3. 録音再生機の貸出</li> </ol> </li> <li>・ 図書宅配サービス</li> <li>・ イベントの開催</li> </ul>

## ⑤ 開館時間等

施設名	開館時間	休館日	開館日数
中央図書館 地域図書館 (宮城コミュニティ 図書館除く)	午前9時から午後8時	月末館内整理日 (祝日の場合、直前の平日) 施設点検日 月1回 特別整理期間 年末年始(12月28日から1月4日)	324日～ 329日
宮城 コミュニティ図書館	午前10時から午後8時	月曜日 月末館内整理日 (祝日の場合、直前の平日) 施設点検日 月1回 特別整理期間 年末年始(12月28日から1月4日)	290日

## ⑥ 配置状況

図 図書館位置図



(2) ア 図書館

⑦ 図書館資料数

平成 26 年度現在の図書館資料数は 1,800,363 点です。内訳をみると、一般書が 1,196,590 点と全体の約 66%を占めています。次いで児童書が 498,717 点(約 28%)であり、一般書と児童書が全体の約 94%を占めています。その他に視聴覚資料、雑誌類があります。

施設別にみると、中央図書館が 810,087 点と区全体の図書館資料数の約 45%を占めています。

地域図書館の資料数は、梅田図書館が約 11 万点であるのを除くと、約 5~8 万点となっています。

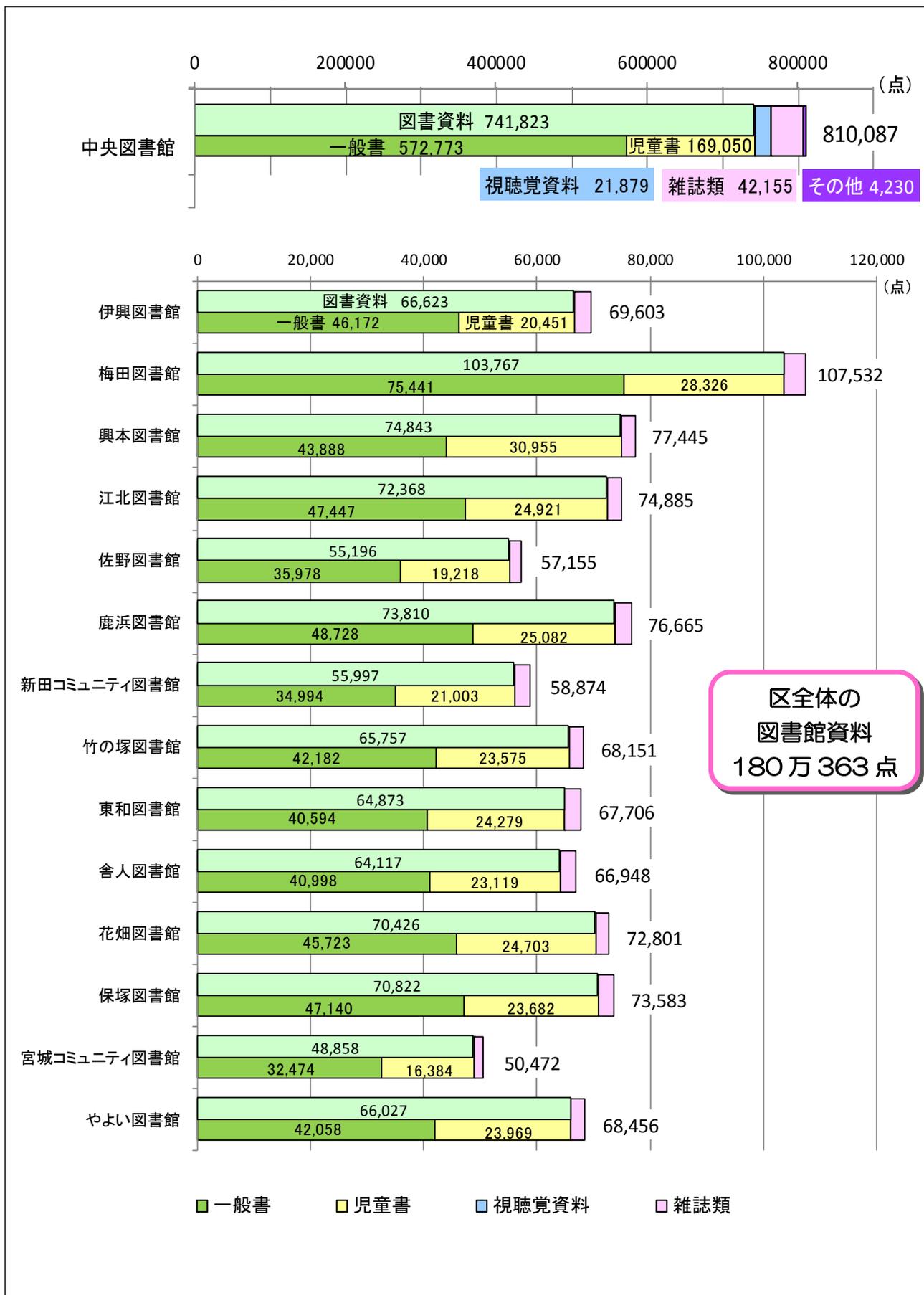
表 図書館資料数(平成 26 年度)

(点)

	一般書	児童書	視聴覚資料	雑誌類	その他	合計
中央図書館	572,773	169,050	21,879	42,155	4,230	810,087
伊興図書館	46,172	20,451	0	2,980	0	69,603
梅田図書館	75,441	28,326	0	3,765	0	107,532
興本図書館	43,888	30,955	0	2,602	0	77,445
江北図書館	47,447	24,921	0	2,517	0	74,885
佐野図書館	35,978	19,218	20	1,939	0	57,155
鹿浜図書館	48,728	25,082	16	2,839	0	76,665
新田コミュニティ 図書館	34,994	21,003	0	2,877	0	58,874
竹の塚図書館	42,182	23,575	0	2,394	0	68,151
東和図書館	40,594	24,279	14	2,819	0	67,706
舎人図書館	40,998	23,119	3	2,828	0	66,948
花畑図書館	45,723	24,703	0	2,375	0	72,801
保塚図書館	47,140	23,682	0	2,761	0	73,583
宮城コミュニティ 図書館	32,474	16,384	3	1,611	0	50,472
やよい図書館	42,058	23,969	0	2,429	0	68,456
合計	1,196,590	498,717	21,935	78,891	4,230	1,800,363

※一般書は外国語図書を含む

図 図書館資料数(平成26年度)



(2) ア 図書館

⑧ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設					備考		
						地域学 習 セン ター等	体育館	区民 事務所 (行政 窓口)	住区センター			その他	
									悠々館	児童館			学童 保育室
1 中央図書館	千住5丁目13-5	6,537.00	平成11	16	SRC	●					放送大学		
2 伊興図書館	伊興2丁目4-22	644.00	昭和62	28	RC	●	●						
3 梅田図書館	梅田7丁目13-1	2,760.00	昭和43	47	SRC							学童、NPO活動 支援センター	
4 興本図書館	興野1丁目18-38	822.00	昭和62	28	RC	●	●					シルバー人材セ ンター	
5 江北図書館	江北3丁目39-4	882.00	昭和60	30	RC	●	●	●					
6 佐野図書館	佐野2丁目43-5	672.00	昭和56	34	RC	●	●	●	●	●			
7 鹿浜図書館	鹿浜6丁目8-1	688.00	昭和62	28	SRC	●	●	●	●	●			
8 新田コミュニティ 図書館	新田2丁目2-2	384.00	平成9	18	SRC	●		●	●	●			
9 竹の塚図書館	竹の塚2丁目25-17	544.00	昭和53	37	SRC	●		●				障がい福祉館 北部福祉課	
10 東和図書館	東和3丁目12-9	691.00	昭和56	34	RC	●	●		●	●	●		
11 舎人図書館	舎人1丁目3-26	850.00	昭和58	32	RC	●		●	●	●		高齢者作業所	
12 花畑図書館	花畑4丁目16-8	1,129.00	平成8	19	RC	●	●	●	●	●		高齢者作業所	
13 保塚図書館	保塚町7-16	972.00	昭和59	31	RC	●		●	●	●		シルバー人材セ ンター	
14 宮城コミュニティ 図書館	宮城1丁目15-14	416.82	昭和55	35	RC			●					
15 やよい図書館	中央本町3丁目15- 1	1,087.00	昭和55	35	SRC	●	●		●	●	●		
合計		19,078.82											

※赤字は築30年以上の施設

## イ 博物館・生物園等

区では、区民及び見学者の文化・知識向上を図るため、博物館施設を6施設設置しています。展示室の他に茶室・工房・レストラン・古民家等を併設している施設もあります。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	6 施設	管理形態	直営(2)、 運営委託(1)、 指定管理者運営(3)	
	主な室名	展示室、集会所、収蔵庫、温室、工房室、レストラン 等			
	平均開館日数		総延床面積	11,319.77㎡	
利用状況				施設群合計	
	年間利用者数				663,124人
		伊興遺跡公園展示館			10,550人
		桜花亭			97,046人
		郷土博物館			25,937人
		生物園			197,134人
		都市農業公園			327,915人
ベルmont公園陳列館			4,542人		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コスト状況は、個別施設の施設別コスト計算書を参照</li> </ul>				

(2) イ 博物館・生物園等

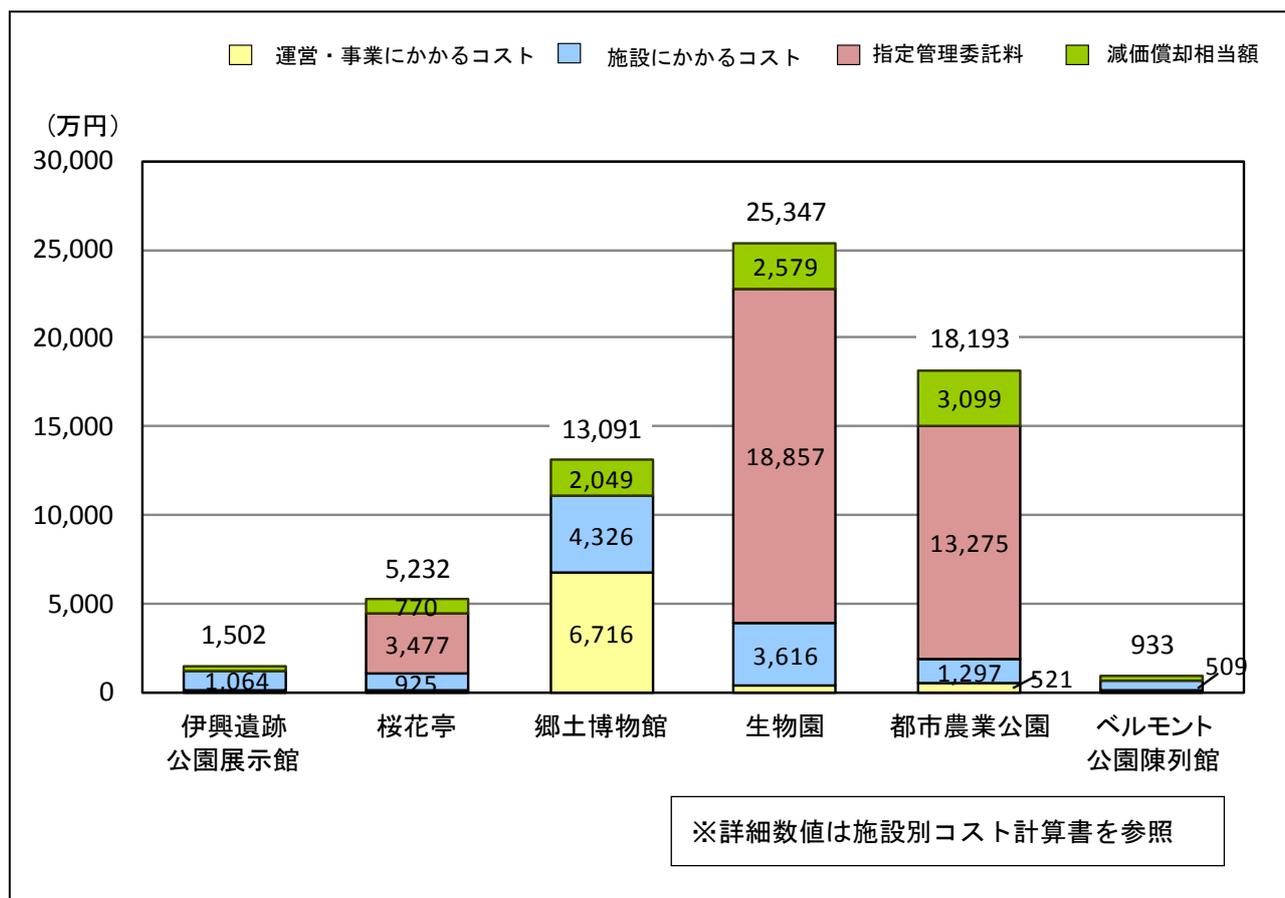
① コスト状況

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		伊興遺跡 公園展示館	桜花亭	郷土博物館	生物園	都市農業公園	ベルモント 公園陳列館	合計
一般職員人件費		3,304,400	0	16,522,000	0	0	0	19,826,400
再任用職員人件費		0	0	3,648,000	0	0	0	3,648,000
非常勤職員人件費		4,091,000	0	0	0	0	0	4,091,000
修繕費		0	4,104,000	2,348,244	4,307,040	1,749,600	1,925,532	14,434,416
光熱水費		1,173,623	5,144,715	8,130,845	31,849,231	11,220,620	3,163,157	60,682,191
委託費		2,068,947	0	12,610,032	0	0	0	14,678,979
① 施設にかかるコスト		10,637,970	9,248,715	43,259,121	36,156,271	12,970,220	5,088,689	117,360,986
一般職員人件費		0	0	5,782,700	0	0	0	5,782,700
再任用職員人件費		0	0	1,094,400	0	0	0	1,094,400
臨時職員人件費		0	0	145,080	0	0	0	145,080
修繕費		0	609,752	597,564	2,954,916	5,210,563	0	9,372,795
委託費		0	0	0	0	0	1,047,527	1,047,527
使用料及び賃借料		64,931	0	875,403	0	0	0	940,334
負担金補助及び交付金		0	0	59,600	0	0	0	59,600
その他物件費		1,041,167	0	9,222,992	0	0	109,935	10,374,094
運営費		1,106,098	609,752	17,777,739	2,954,916	5,210,563	1,157,462	28,816,530
一般職員人件費		0	0	33,044,000	0	0	0	33,044,000
再任用職員人件費		0	0	2,553,600	0	0	0	2,553,600
非常勤職員人件費		0	0	7,920,000	0	0	0	7,920,000
委託費		0	0	5,862,827	0	0	0	5,862,827
事業費		0	0	49,380,427	0	0	0	49,380,427
② 運営・事業にかかるコスト		1,106,098	609,752	67,158,166	2,954,916	5,210,563	1,157,462	78,196,957
③ 指定管理委託料		0	34,765,714	0	188,565,000	132,751,003	0	356,081,717
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		11,744,068	44,624,181	110,417,287	227,676,187	150,931,786	6,246,151	551,639,660
④ 減価償却相当額		3,278,421	7,696,160	20,494,960	25,793,920	30,994,320	3,087,200	91,344,981
【収入の部】								
使用料収入		0	680,400	1,125,800	1,367,280	6,872,200	0	10,045,680
諸収入		0	0	14,620	0	0	0	14,620
⑤ 収入の合計		0	680,400	1,140,420	1,367,280	6,872,200	0	10,060,300
【総括】								
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		15,022,489	52,320,341	130,912,247	253,470,107	181,926,106	9,333,351	642,984,641
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		15,022,489	51,639,941	129,771,827	252,102,827	175,053,906	9,333,351	632,924,341

図 施設別トータルコスト



《運営状況》

郷土博物館及び伊興遺跡公園展示館は区の直営で運営しています。生物園、都市農業公園、桜花亭は指定管理者制度を導入しており、ベルmont公園陳列館は委託運営となっています。

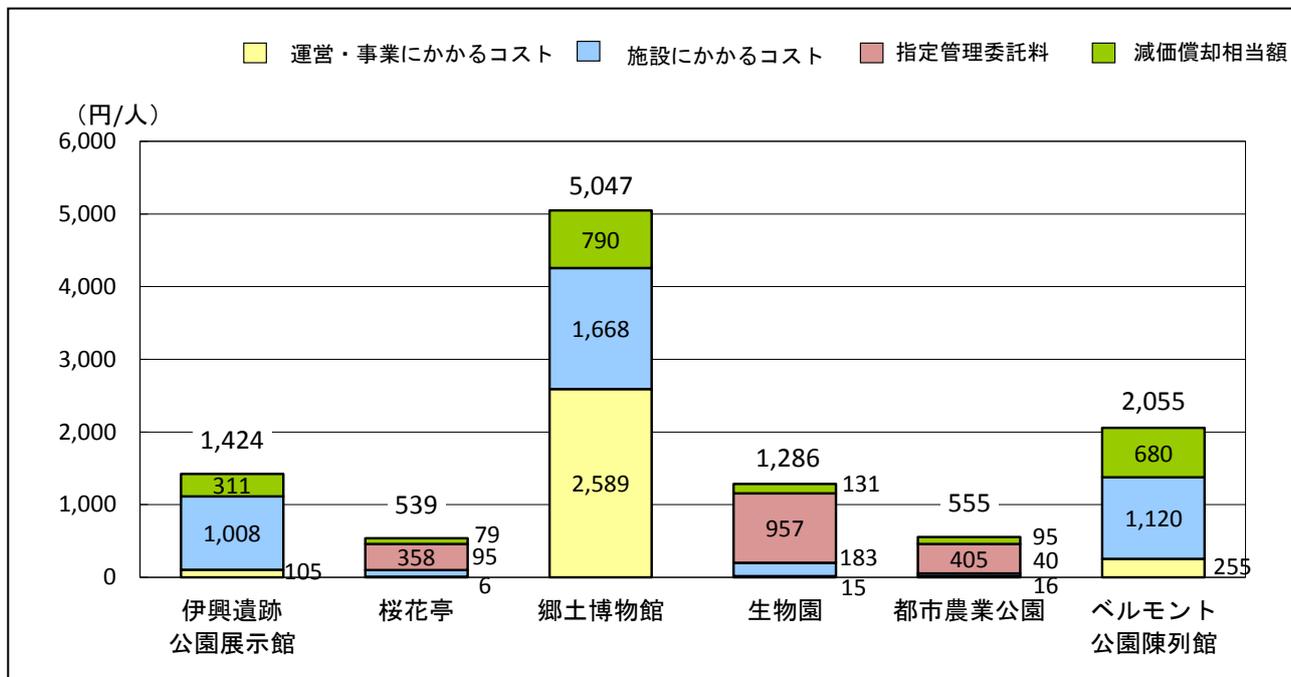
(2) イ 博物館・生物園等

② 評価・分析

■ 利用者数 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、以下のとおりです。

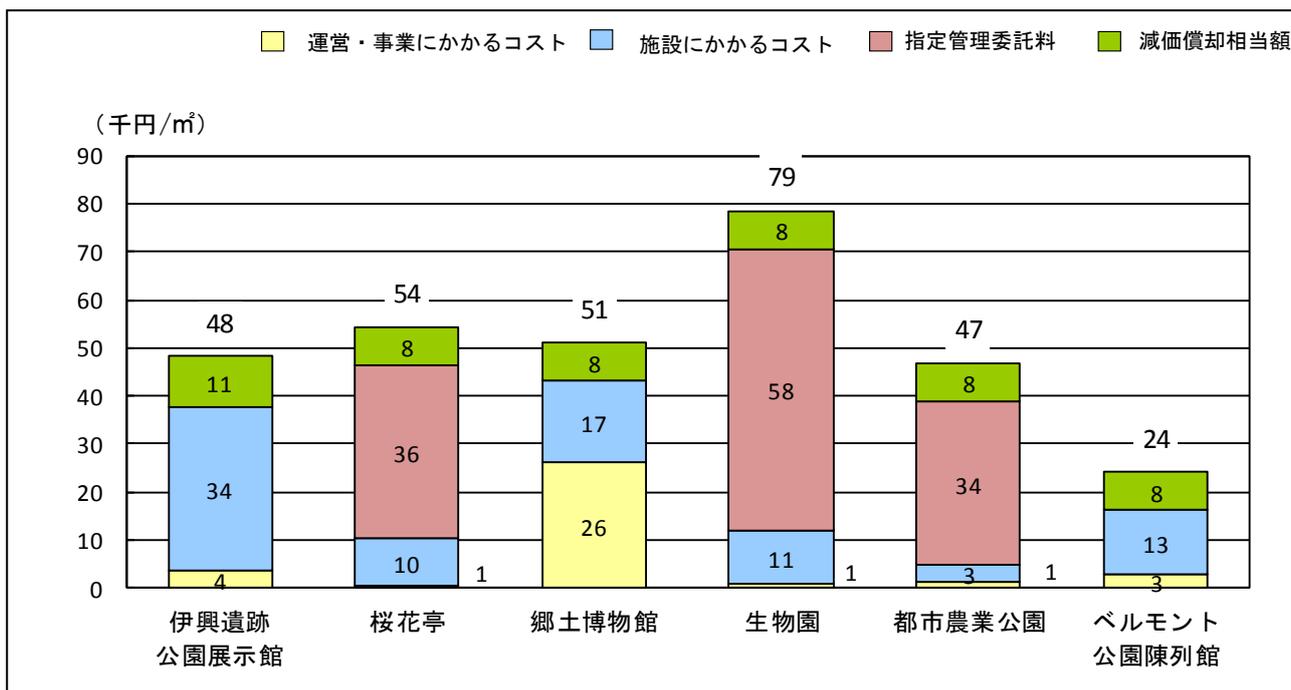
図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup> 当たりにかかるコストを算出すると、以下のとおりです。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

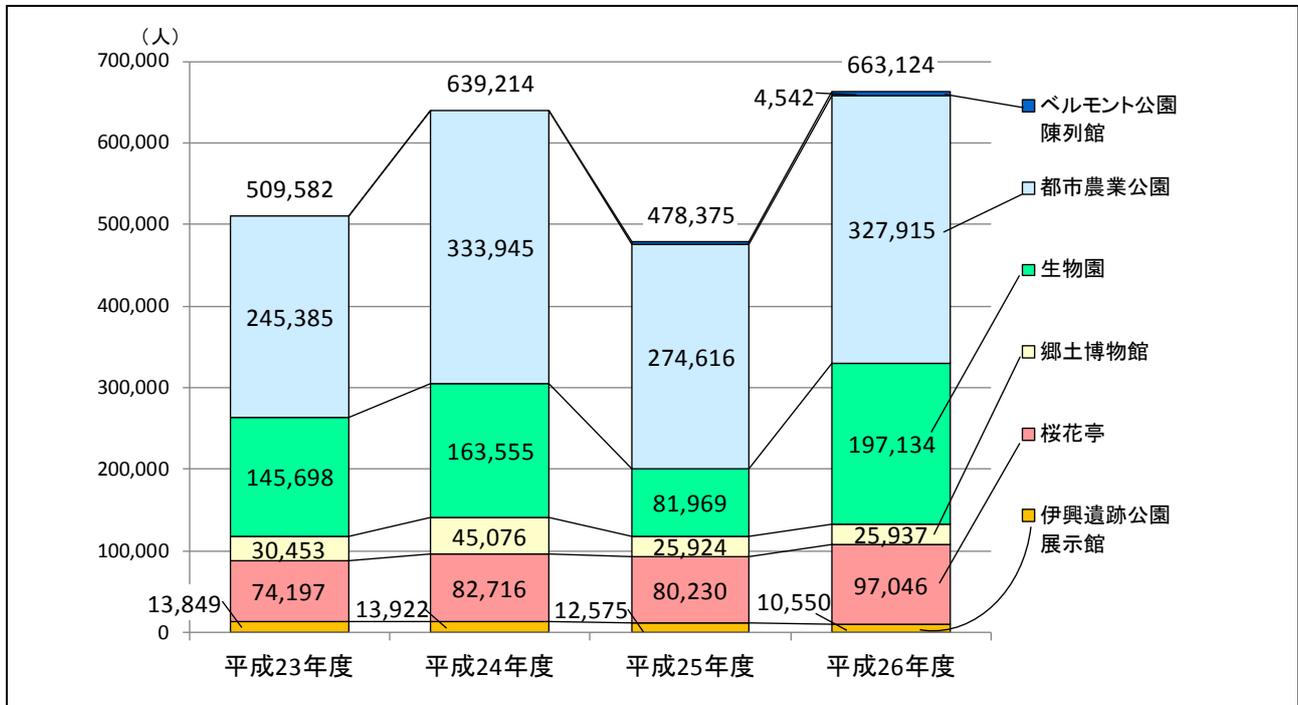


③ 利用状況

■ 施設別 年間利用者数推移

直近4年間の年間利用者数は約50万人から66万人前後で推移しています。

図 施設別 年間利用者数推移

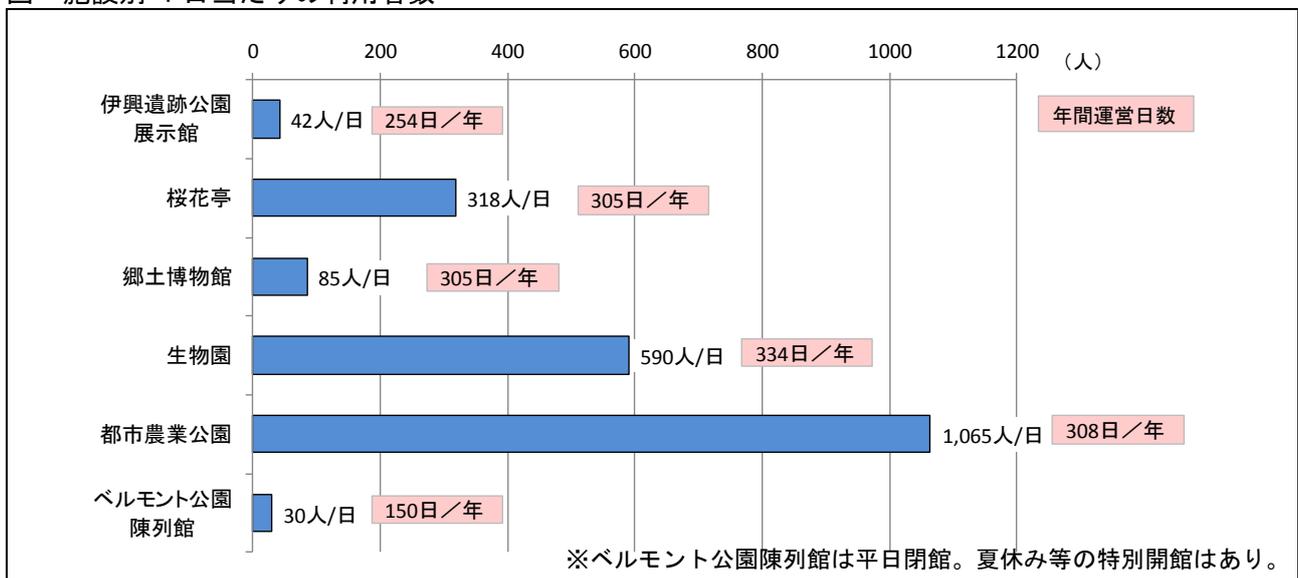


※生物園は平成25年度に大規模改修を行い休園期間があったため、利用者数が低くなっています。  
 ※ベルmont公園陳列館の平成24年度以前の利用者数は不明。  
 ※伊興遺跡公園展示館は平成26年度に施設改修を行い休館期間があったため、利用者数が低くなっています。

■ 施設別 1日当たりの利用者数

各施設の1日当たりの利用者数は、下図のとおりです。

図 施設別 1日当たりの利用者数



(2) イ 博物館・生物園等

④ 設置目的

施設名	設置目的
伊興遺跡公園展示館	区内遺跡発掘調査成果の展示をすることで、郷土の歴史のはじまりについて教育普及事業への理解につなげる。
桜花亭	区政 50 周年を記念して、足立区が日本文化に親しむ場を身近に実現させた施設。日本庭園（花畑記念庭園）内に設置された施設が「桜花亭」で、日本庭園を一望できる和室・茶室・洋室を配置しており、会議・宴会・披露宴・茶道・華道等、多目的に利用できる。
郷土博物館	足立区の歴史・民俗を展示し、区民文化の向上を図るとともに、歴史資料や伝統文化を後世に伝えるため、資料を収集・整理・保存している。
生物園	都市化により失われゆく自然の生き物たちとふれあい、生命の素晴らしさ・尊さ・そして自然環境の大切さ、自然との共生等をテーマとしている。
都市農業公園	失われつつある農村を都市部で再現し、「自然と遊ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる」をテーマにイベント等を通じ、親しみながら農業への理解を深めることを目的としている。
ベルmont公園陳列館	足立区と姉妹都市提携を結んだ、西オーストラリア州・ベルmont市との友好親善として、赤レンガの建物、オーストラリア工芸品・日用品等を展示している。

⑤ 施設の開館時間

施設名	開館時間	休館日	開館日数
伊興遺跡公園展示館	午前 10 時から午後 4 時	年末年始	254 日
桜花亭	午前 9 時から午後 9 時 30 分 (夜間利用がない場合は午後 5 時閉館) ※日本庭園は午前 9 時から午後 5 時	月曜、12/28~1/4	305 日
郷土博物館	午前 9 時から午後 5 時	月曜、年末年始	305 日
生物園	午前 9 時 30 分から午後 5 時 (11 月から 1 月は午後 4 時 30 分閉館)	月曜、12/29~1/1	334 日
都市農業公園	午前 9 時から午後 9 時 30 分 (夜間利用がない場合は午後 5 時閉館) ※公園は午前 9 時から午後 5 時 (5 月から 8 月は午後 6 時)	第 1・3 水曜日、 12/28~1/4	308 日
ベルmont公園陳列館	4~9 月：午前 10 時から午後 4 時 30 分 10~3 月：午前 10 時から午後 4 時	平日、12/28~1/4	150 日

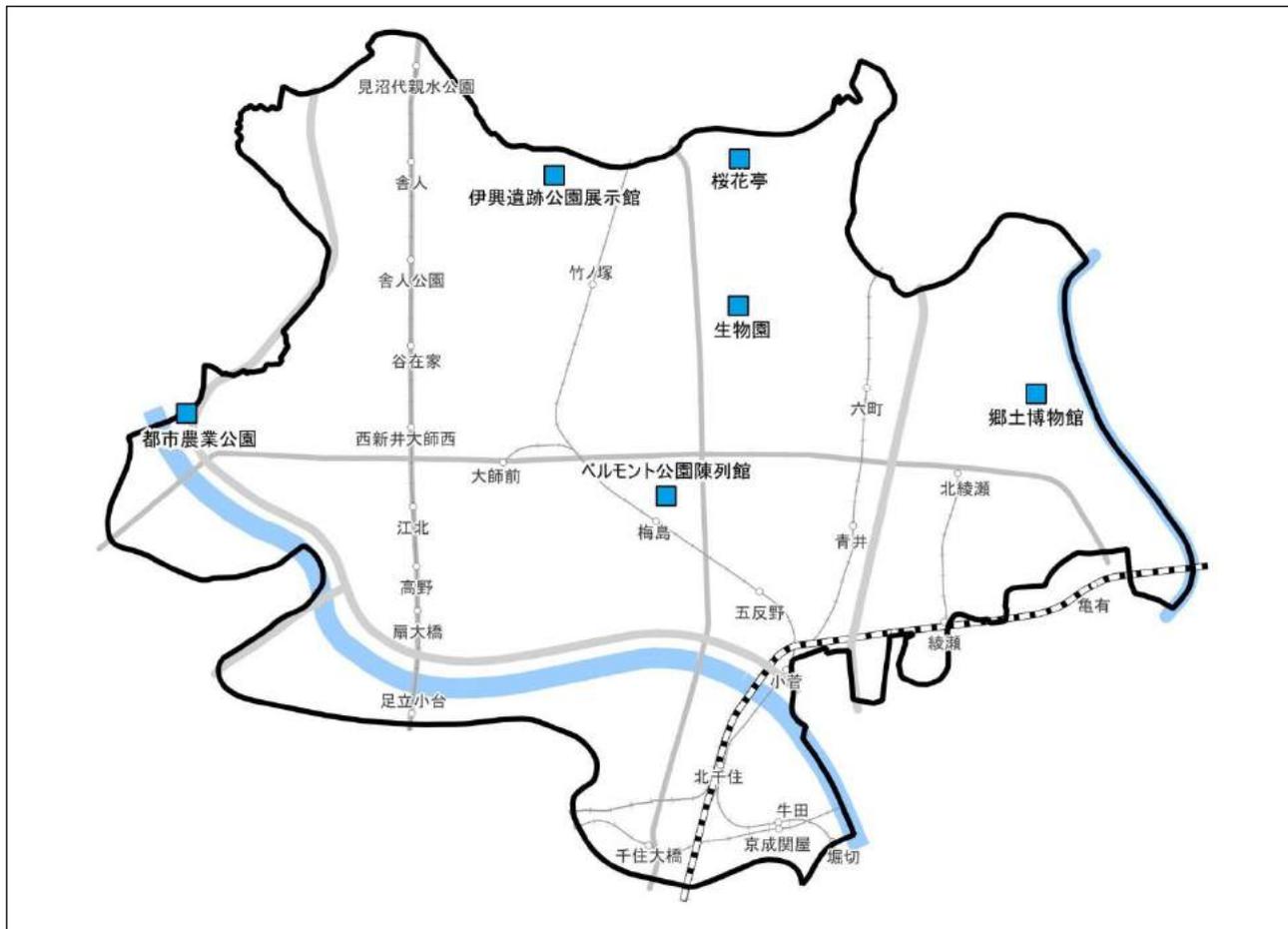
## ⑥ 利用方法及び使用料

施設名	入場料・使用料			利用方法・利用制限	
伊興遺跡公園展示館	無料			—	
桜花亭	庭園は入場無料			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用方法 【基本】利用日の属する月の2か月前の初日から利用日前日までに利用申請し承認を得る(夜間使用は使用日の3日前まで) ※その他、運営要綱に定めている</li> <li>● 利用制限 営利を目的とした宣伝、物品販売及び葬儀に使用することはできない。 ※その他、運営要綱に定めている</li> </ul>	
	洋室	午前	1,100円～7,400円		
		午後	1,500円～9,000円		
		夜間	1,700円～10,200円		
		全日	4,000円～24,400円		
	和室	午前	1,900円～3,300円		
		午後	2,100円～3,700円		
		夜間	3,000円～5,400円		
		全日	6,100円～11,100円		
	茶室	午前	1,000円～3,200円		
午後		1,100円～3,600円			
夜間		1,600円～4,800円			
全日		3,100円～10,300円			
郷土博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般(高校生以上)200円</li> <li>● 団体(20名以上)は半額</li> <li>● 70歳以上は無料</li> <li>● 障害者手帳保持者及びその介助者1名は無料</li> </ul>			—	
生物園		大人 (高校生以上)	子供 (小中学生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学生未満、70歳以上、障がいをお持ちの方は無料</li> <li>● 団体料金は有料入園者20名以上で適応</li> </ul>	
	個人	300円	150円		
	団体	200円	100円		
	年間 入園券	1,200円	600円		
都市農業公園	入園無料			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用方法 【基本】利用日の属する月の2か月前の初日から利用日前日までに利用申請し承認を得る(夜間使用は使用日の7日前まで) ※その他、運営要綱に定めている</li> <li>● 利用制限 政治的、宗教的活動はできないもっぱら営利を目的として事業を行い、施設内で金品の授受または販売促進、勧誘等を行う使用はできない ※その他、運営要綱に定めている</li> </ul>	
	会議室	午前	5,800円		
		午後	6,600円		
		夜間	7,400円		
		全日	17,900円		
ベルモント公園陳列館	無料			—	

(2) イ 博物館・生物園等

⑦ 配置状況

図 博物館・生物園等位置図



⑧ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設				備考
						展示 室	生物 園・温 室	集會 所	その他	
1 伊興遺跡公園展示館	東伊興4丁目9-1	311.45	平成4	23	S	●				
2 桜花亭	花畑4丁目40-1	962.02	昭和58	32	RC			●	●	茶室、和室等
3 郷土博物館	大谷田5丁目20-1	2,561.87	昭和60	30	RC	●			●	ホール、収蔵庫等
4 生物園	保木間2丁目17-1	3,224.24	平成5	22	RC		●		●	展示場、大温室等
5 都市農業公園	鹿浜2丁目44-1	3,874.29	昭和58	32	RC	●	●		●	工房、レストラン、 古民家等
6 ベルmont公園陳列館	梅島1丁目33	385.90	平成4	23	RC	●				
合計		11,319.77								

※赤字は築30年以上の施設

## (3) スポーツ・レクリエーション施設

## ア スポーツ施設

区では、区民のスポーツ振興・体力向上を目的として、スポーツ施設を設置しています。このうち、総合スポーツセンターは、体育館、屋外プール、多目的グラウンド等の施設を併設しており、区の生涯スポーツ振興の中核施設として位置づけられています。また、地域学習センター内に併設した体育館が9施設あり、地域密着型の施設として有効活用されています。

## 【屋内運動施設】

## 《概要シート》

施設概要	施設数	14 施設	管理形態	指定管理者運営
	主な室名	体育館、柔道場、剣道場、屋内プール、会議室 等		
	平均開館日数	339 日	総延床面積	26,277.98㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	1,347,553人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	13,238万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	0万円		
	③ 指定管理委託料	47,914万円		
	④ 減価償却相当額	13,054万円		
	⑤ 収入	12,253万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	74,206万円		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間利用者数は、14施設分の合計</li> <li>● コスト状況は、竹の塚体育館を除く体育館のコストは地域学習センターに含むため、総合スポーツセンター、千住温水プール、竹の塚温水プール、東綾瀬公園温水プールの4施設分で算出している。</li> <li>● 竹の塚体育館は竹の塚温水プールと複合施設のため、コストは竹の塚温水プールに計上。</li> </ul>			

(3) ア スポーツ施設

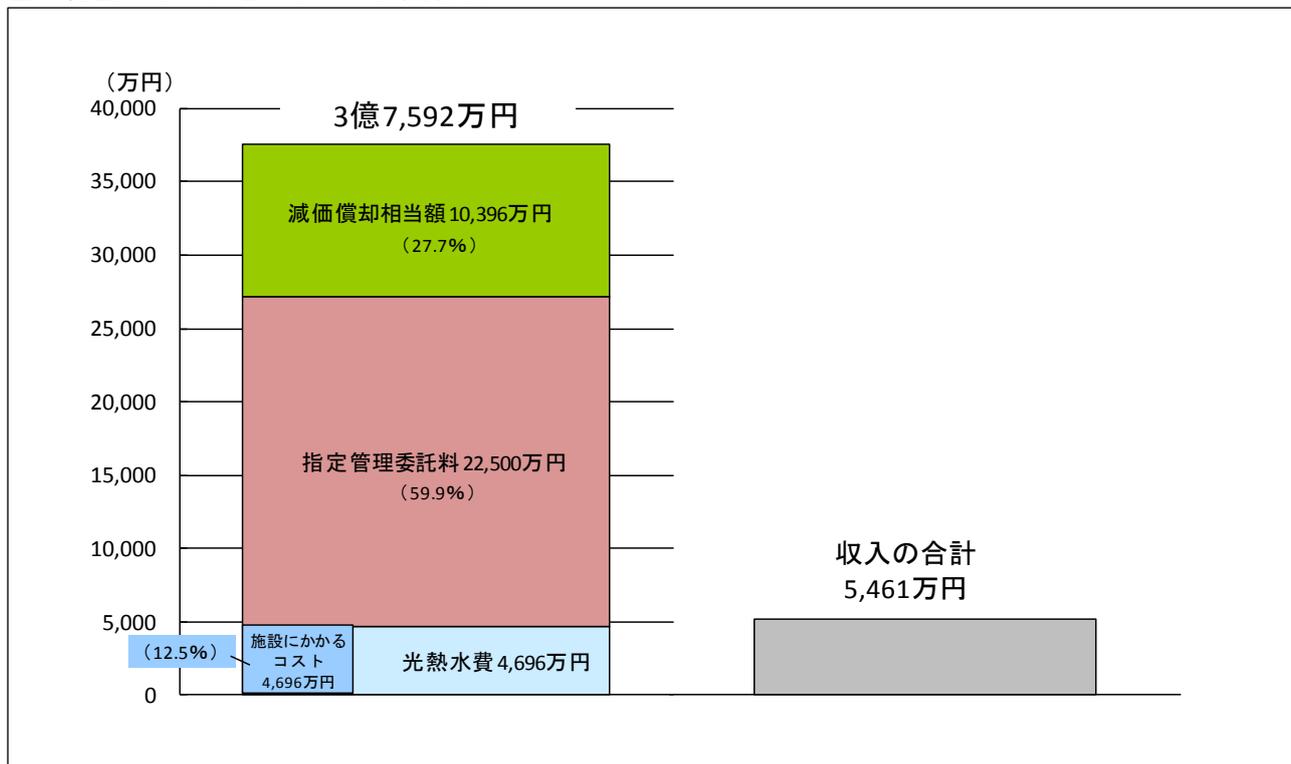
① コスト状況

【総合スポーツセンター】

総合スポーツセンターの年間トータルコストは 37,592 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 4,696 万円（13%）、指定管理委託料 22,500 万円（60%）、減価償却相当額 10,396 万円（28%）となっています。

図 総合スポーツセンター 収支状況



【体育館】

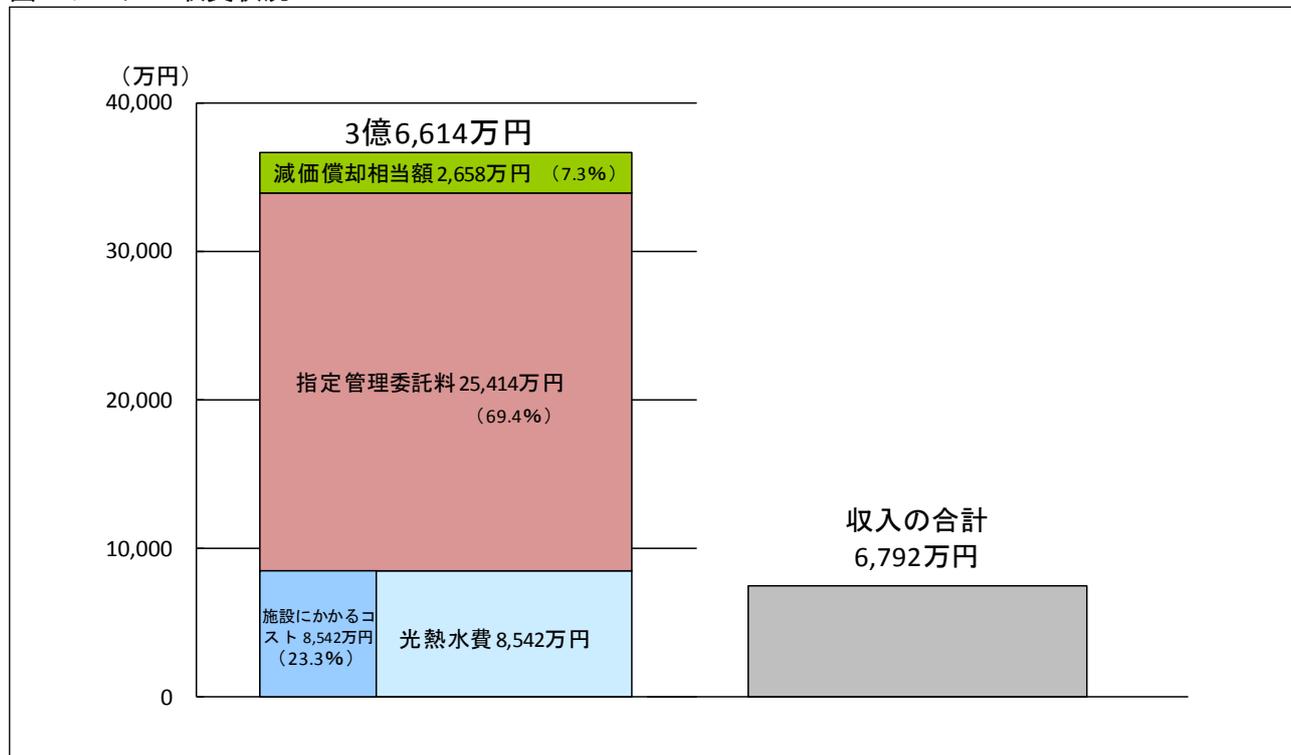
竹の塚体育館は竹の塚温水プールと複合施設で、コストは竹の塚温水プールに計上しています。その他の体育館は地域学習センターと複合施設で、コストは地域学習センターに計上しています。

【プール】

プールの年間トータルコストは 36,614 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストが 8,542 万円 (23%)、指定管理委託料 25,414 万円 (69%)、減価償却相当額 2,658 万円(7%)となっています。また、使用料等の収入が合計 6,792 万円となっています。

図 プール 収支状況



《運営状況》

総合スポーツセンターは指定管理者による運営となっています。

体育館の運営は指定管理者による運営となっています。

プールの運営は指定管理者による運営となっています。

(3) ア スポーツ施設

表 施設別コスト計算書<総合スポーツセンター>

(円)

【費用の部】		総合スポーツセンター
	光熱水費	46,958,577
①	施設にかかるコスト	46,958,577
②	運営・事業にかかるコスト	0
③	指定管理委託料	225,000,000
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		271,958,577

④	減価償却相当額	103,960,656
---	---------	-------------

【収入の部】

	使用料収入	54,611,485
	その他の科目6	0
⑤	収入の合計	54,611,485

【総括】

⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	375,919,233
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		321,307,748

表 施設別コスト計算書<プール>

(円)

【費用の部】		千住温水プール	竹の塚温水プール	東綾瀬公園温水プール	合計
	光熱水費	0	52,719,262	32,701,715	85,420,977
①	施設にかかるコスト	0	52,719,262	32,701,715	85,420,977
②	運営・事業にかかるコスト	0	0	0	0
③	指定管理委託料	35,383,240	144,375,000	74,386,000	254,144,240
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		35,383,240	197,094,262	107,087,715	339,565,217

II. 現金収支を伴わないもの

④	減価償却相当額	6,328,800	8,553,600	11,692,800	26,575,200
---	---------	-----------	-----------	------------	------------

【収入の部】

	使用料収入	3,411,350	43,197,081	21,309,990	67,918,421
⑤	収入の合計	3,411,350	43,197,081	21,309,990	67,918,421

【総括】

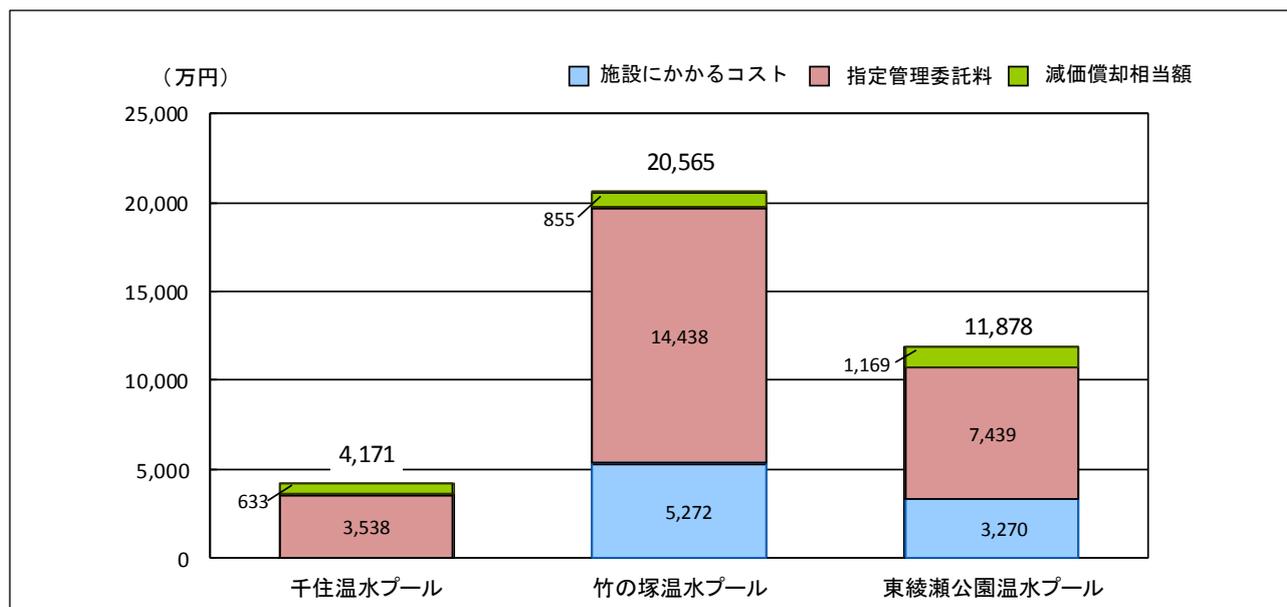
⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	41,712,040	205,647,862	118,780,515	366,140,417
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		38,300,690	162,450,781	97,470,525	298,221,996

※千住温水プールの光熱水費は学校で負担しているため計上していません。

※千住温水プールは、平成26年6月～平成27年2月まで大規模改修工事のため、休館しました。

※竹の塚温水プールは複合施設のため、竹の塚体育館のコストを含みます。

図 施設別トータルコスト<プール>



※千住温水プールの光熱水費は学校で負担しているため計上していません。  
 ※千住温水プールは、平成 26 年 6 月～平成 27 年 2 月まで大規模改修工事のため、休館しました。  
 ※竹の塚温水プールのコストは竹の塚体育館のコストを含みます

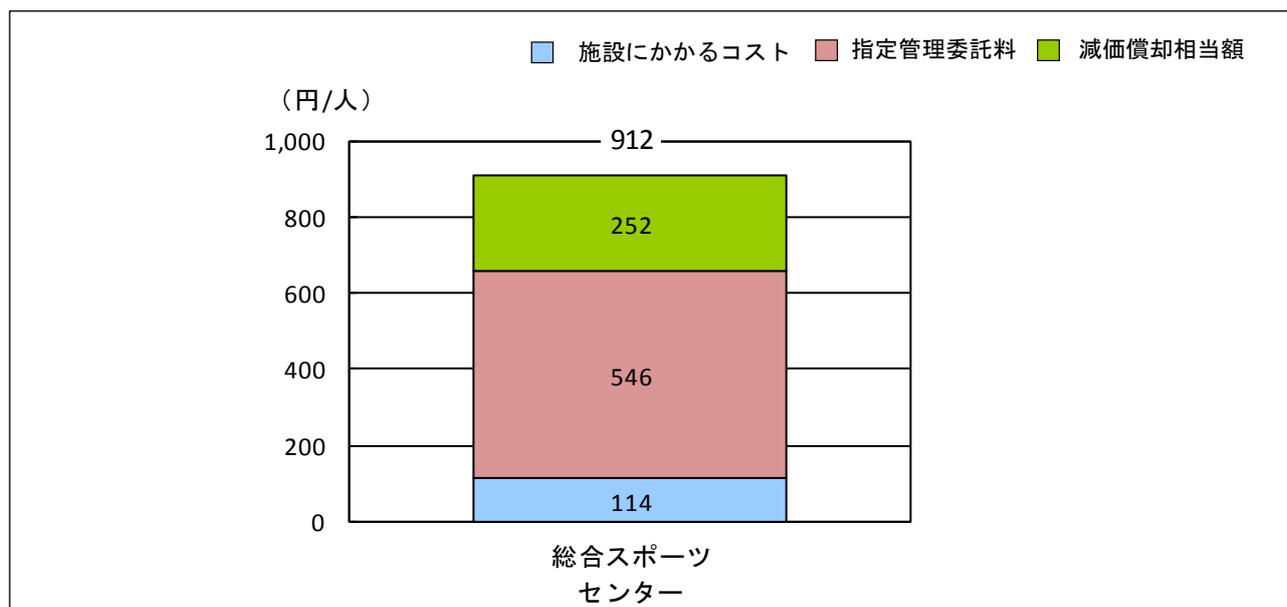
② 評価・分析

■ 利用者 1 人当たりにかかるコスト

【総合スポーツセンター】

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、912 円/人です。

図 利用者 1 人当たりにかかるコスト<総合スポーツセンター>

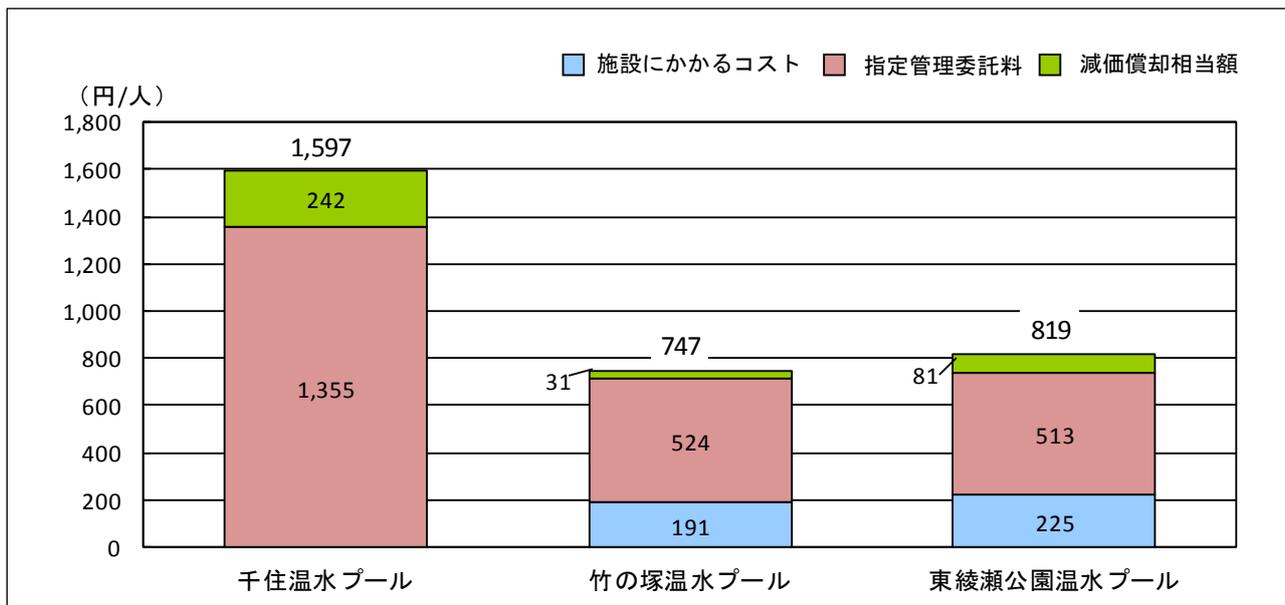


(3) ア スポーツ施設

【プール】

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、千住温水プールは1,597円/人、竹の塚温水プールは747円/人、東綾瀬公園温水プールは819円/人となっています。

図 利用者1人当たりにかかるコスト<プール>



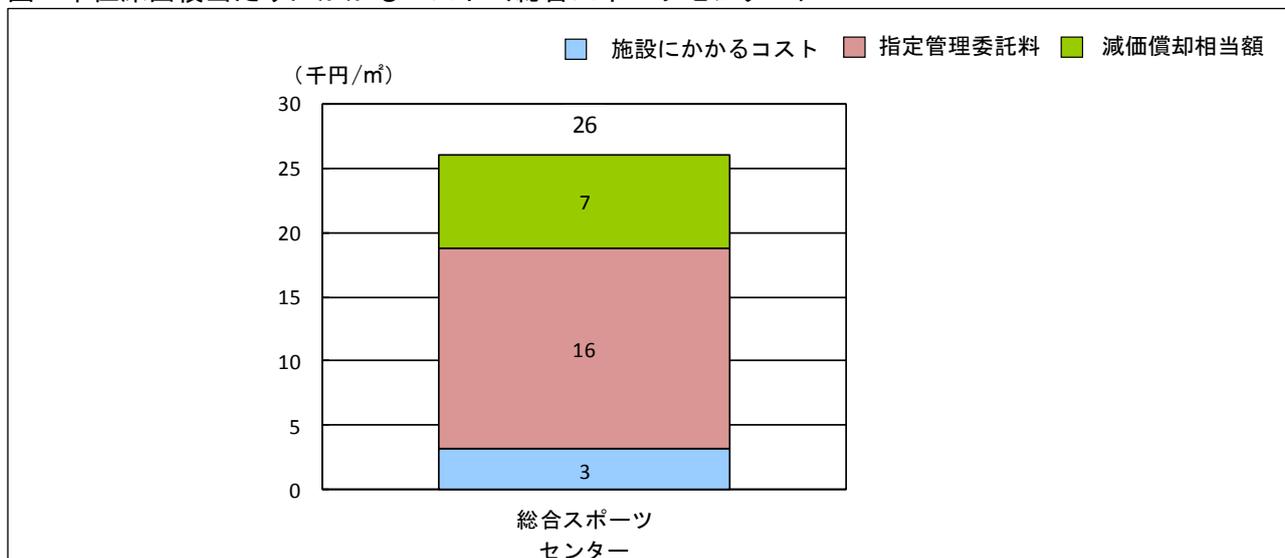
※平成26年度の千住温水プールは9ヵ月間閉館しています。

※竹の塚温水プールのコストは竹の塚体育館のコストを含むため、竹の塚体育館の年間利用者数104,260人を含んだ数値で算出しています。

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積1㎡当たりにかかるコストを算出すると26,035円/㎡です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト<総合スポーツセンター>



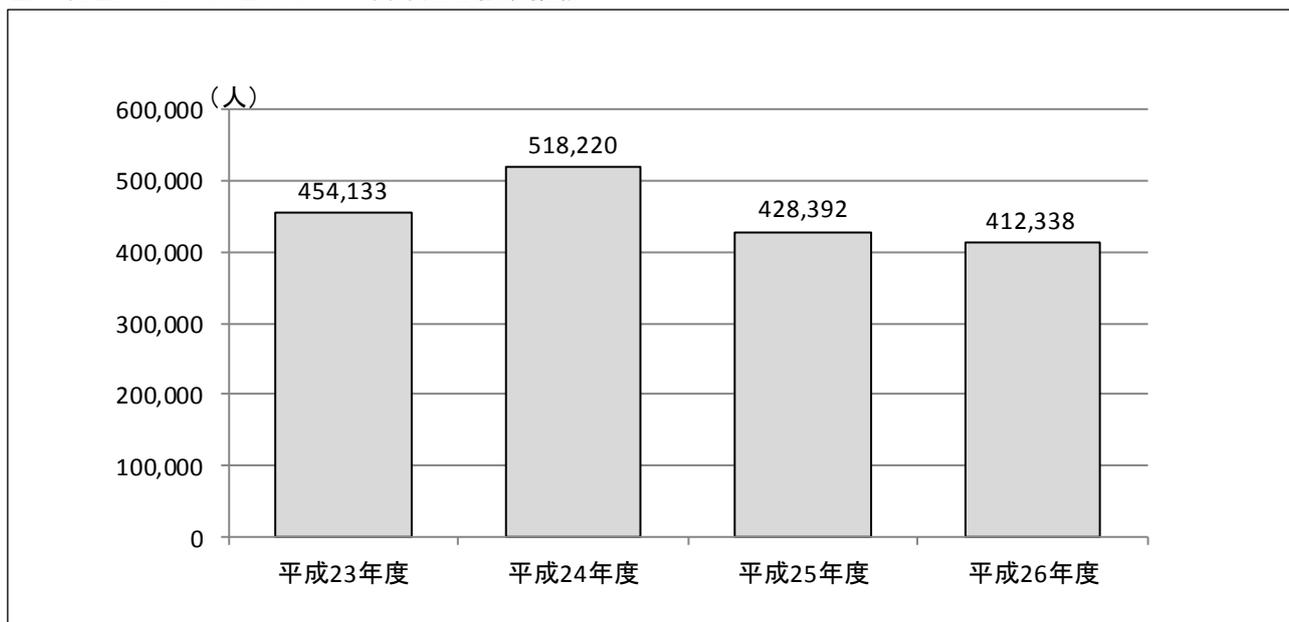
③ 利用状況

【総合スポーツセンター】

■ 年間利用者数推移

総合スポーツセンターの直近4年間の年間利用者数は約41万人から52万人の間で推移しており、直近4年間の平均利用者数は年間約45万人です。

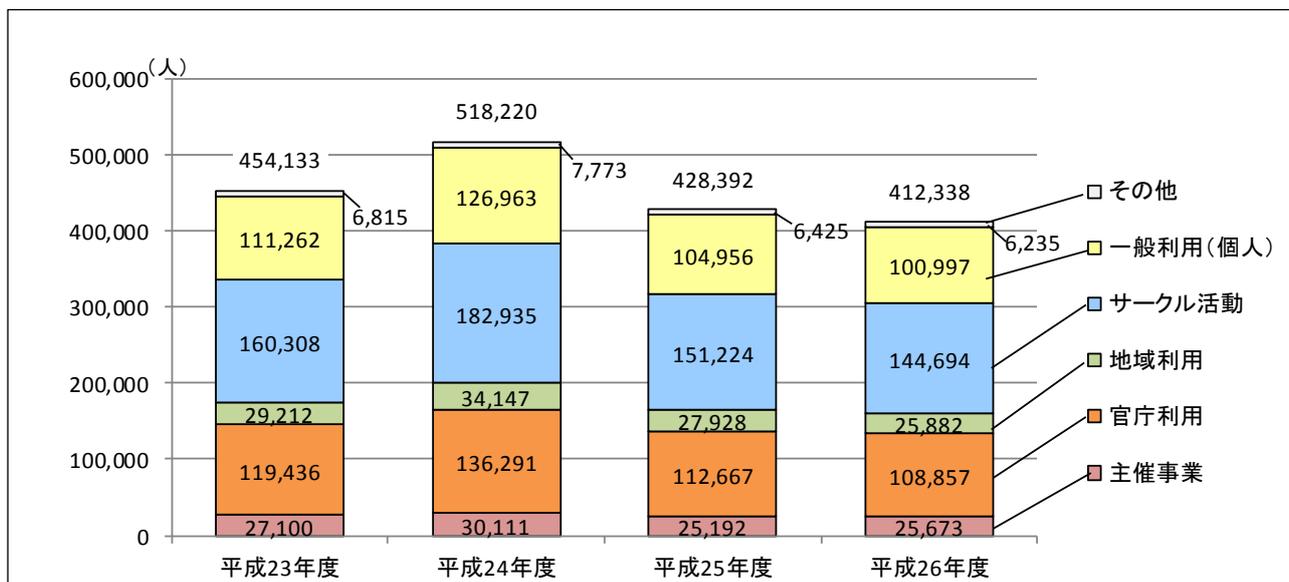
図 総合スポーツセンター 年間利用者数推移



■ 目的別年間利用者数推移

目的別利用者数をみると、サークル活動といった団体利用が最も多く、次いで官庁利用、一般(個人)利用となっています。

図 総合スポーツセンター 目的別年間利用者数推移

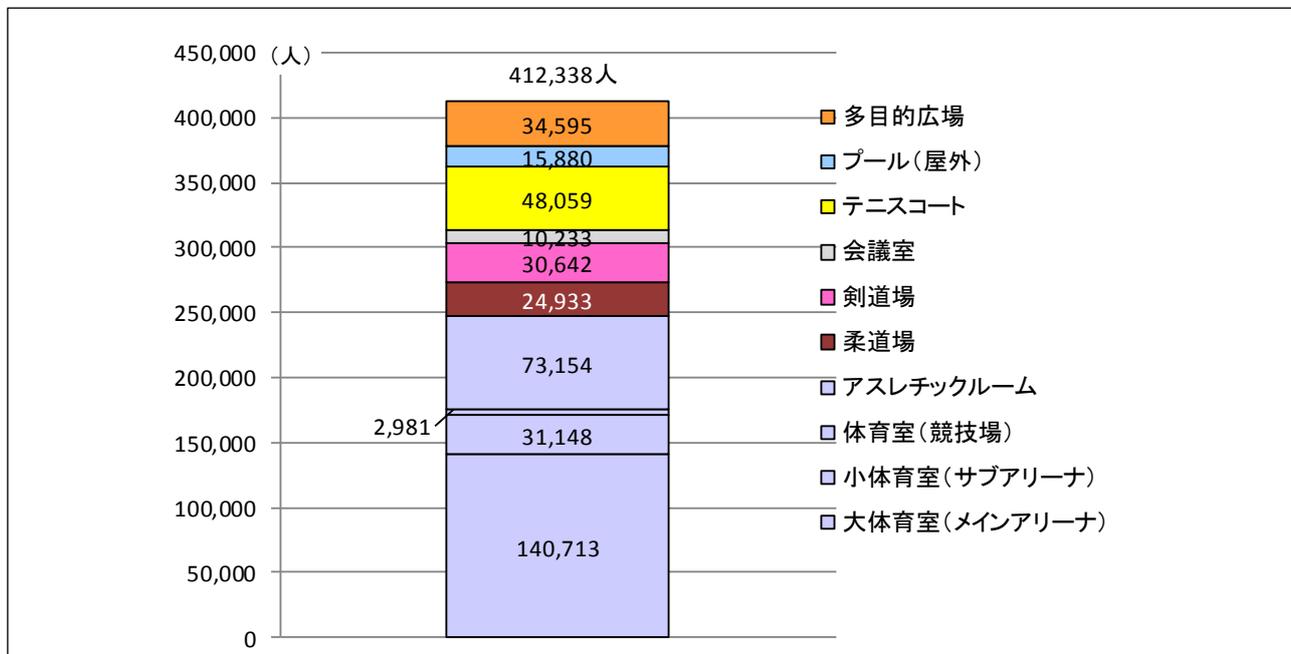


(3) ア スポーツ施設

■ 部屋別利用者数

平成 26 年度の部屋別利用者数をみると、メインアリーナの利用者が最も多く年間約 14 万人となっています。屋外プールの利用は夏季のみとなっています。

図 総合スポーツセンター 部屋別利用者数 (平成 26 年度)

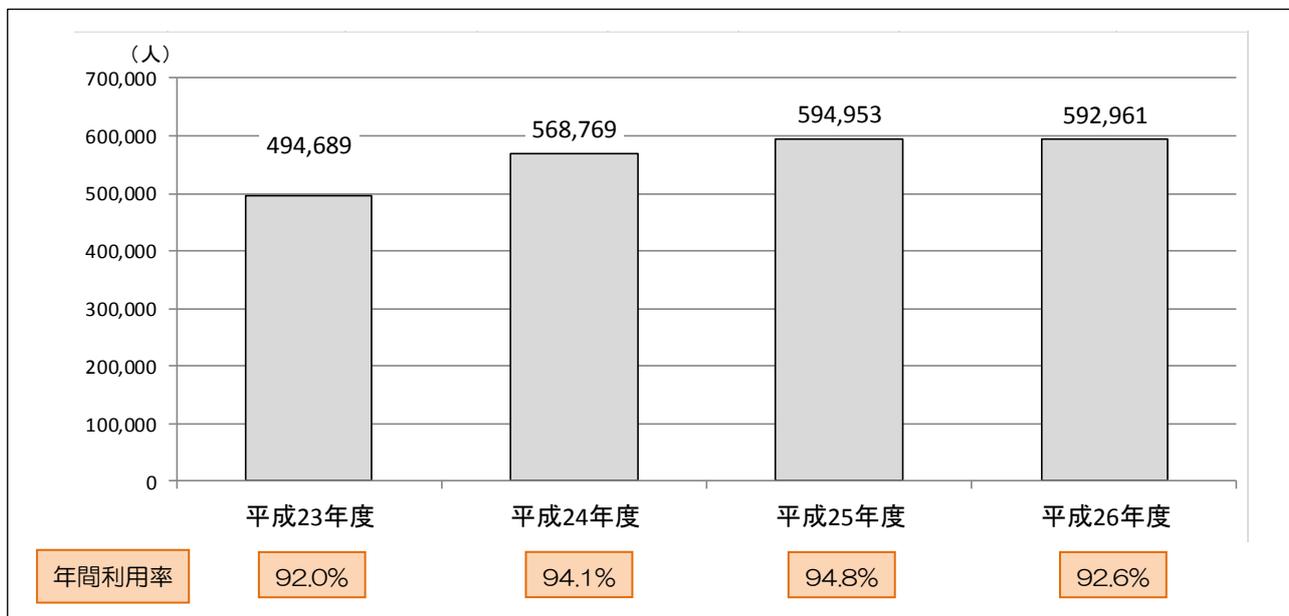


【体育館】

■ 年間利用者数推移

体育館の直近4年間の年間利用者数は約50万人から約59万人の間で推移しており、直近4年間の平均利用者数は年間約56万人です。

図 体育館 全体の年間利用者数推移

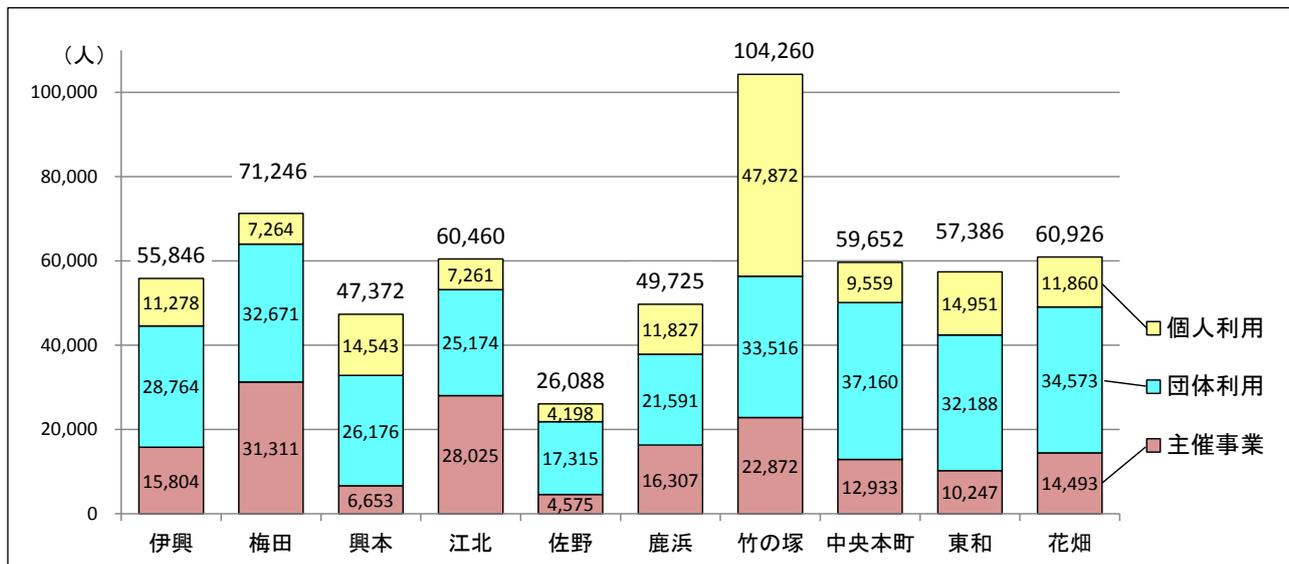


(出典：数字で見る足立)

■ 施設別・目的別年間利用者数

体育館の施設別利用者数は佐野体育館の約2.6万人から竹の塚体育館の約10万人となっています。目的別で見ると、竹の塚体育館は個人利用が多く、その他の体育館は団体・主催事業利用が多くなっています。

図 体育館 施設別・目的別年間利用者数 (平成26年度)



(出典：数字で見る足立)

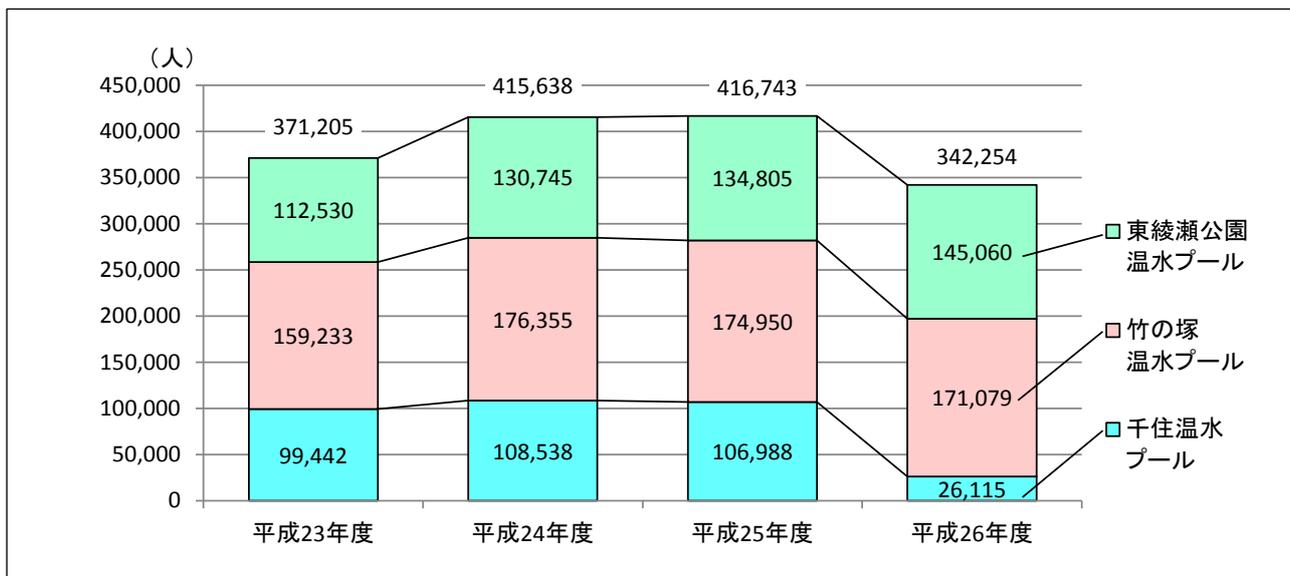
(3) ア スポーツ施設

【プール】

■ 年間利用者数推移

直近4年間のプールの年間利用者数は約40万人前後で横ばい推移でしたが、平成26年度の利用者数は前年度から約7.5万人減少しました。これは千住温水プールが9ヵ月間閉館していたことが影響しています。東綾瀬公園温水プールの平成26年度の利用者は、前年度より約1万人増加しました。

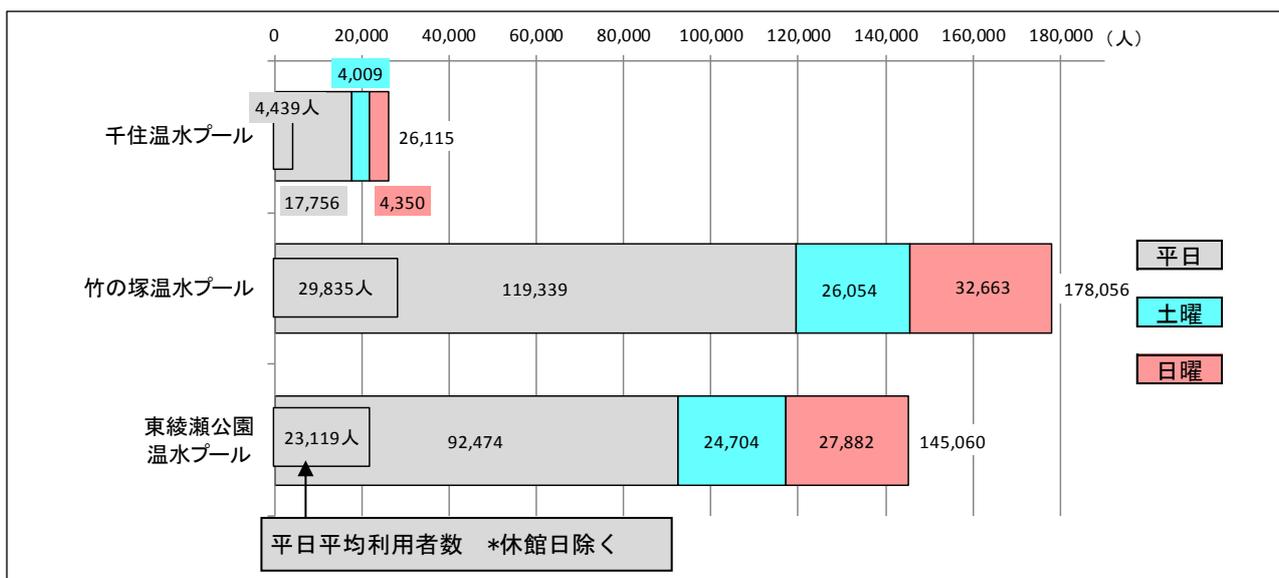
図 温水プール 年間利用者数推移



※平成26年度の千住温水プールは9ヵ月間閉館しています。

プールの利用者数を曜日別で見ると日曜日の利用が多くなっていますが、千住温水プールでは平日利用者数が土日の利用者数を上回っています。

図 プール 曜日別利用状況



## 【屋外運動施設】

## 《概要シート》

施設概要	施設数	9 施設	管理形態	指定管理者、シルバー人材センター管理委託、業者委託
	主な室名	テニスコート、野球場、サッカーグラウンド、弓道場、運動場、多目的広場 等		
	平均開館日数	318 日	総延床面積	1,877.68㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用回数（野球場・庭球場）			57,038回
収支状況	① 施設にかかるコスト			4,706万円
	② 運営・事業にかかるコスト			5,461万円
	③ 指定管理委託料			2,111万円
	④ 減価償却相当額			1,295万円
	⑤ 収入			4,105万円
	⑥ トータルコスト（⑥=①+②+③+④）			13,573万円
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間利用回数57,038回は野球場と庭球場の平成26年度年間利用回数です。</li> </ul>		

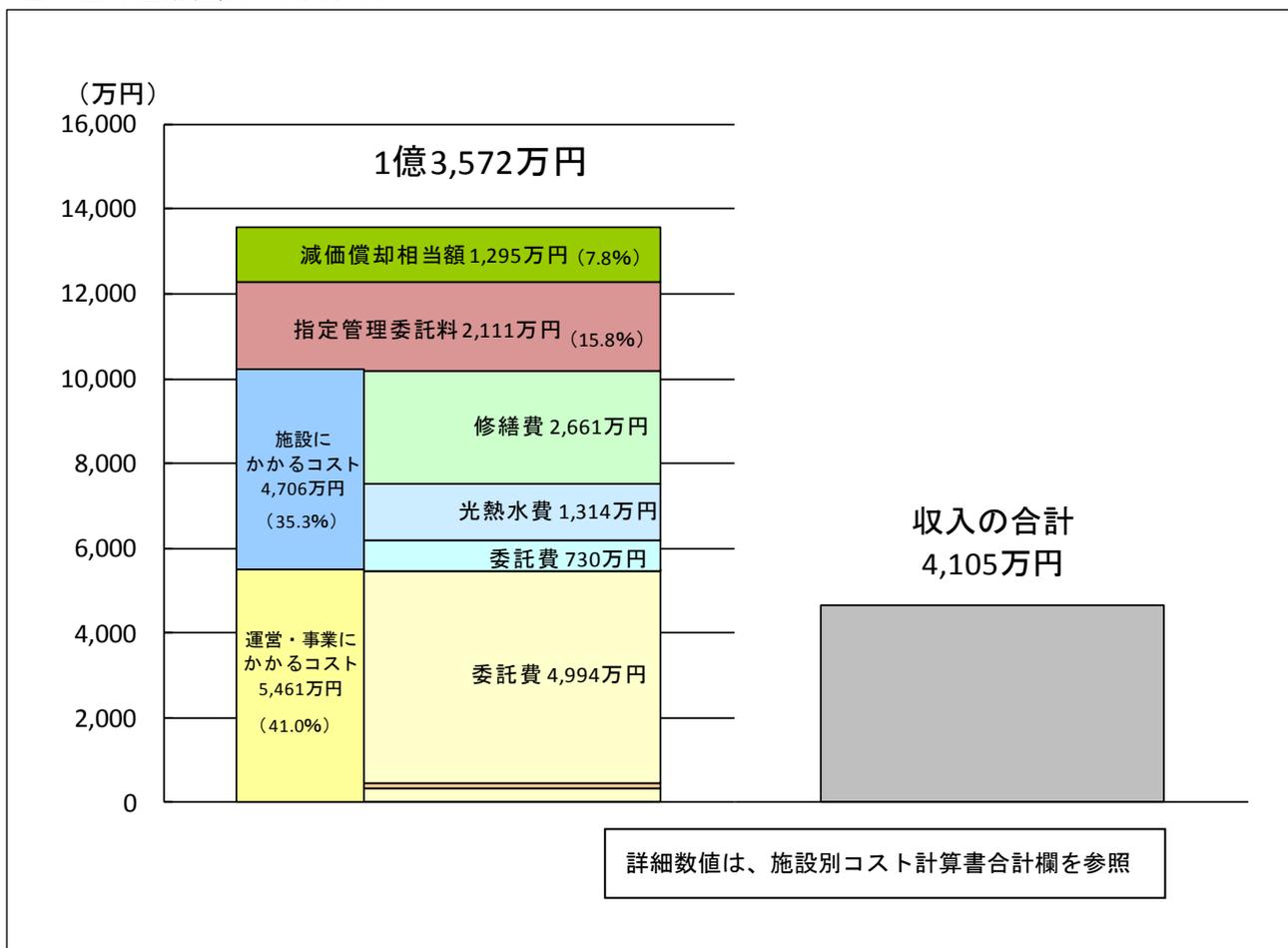
(3) ア スポーツ施設

① コスト状況

屋外運動施設の年間トータルコストは 13,572 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 4,706 万円 (35%)、運営・事業にかかるコストは 5,461 万円 (41%)、指定管理委託料 2,111 万円 (16%)、減価償却相当額 1,295 万円(8%)となっています。

図 屋外運動施設 収支状況



《運営状況》

平野運動場は指定管理者、千住スポーツ公園は業者委託、その他の施設はシルバー人材センターの管理委託による運営となっています。

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	上沼田東公園野球場・テニスコート	保木間公園野球場	谷中公園野球場	尾竹橋公園テニスコート	江北公園テニスコート
修繕費	3,705,506	0	489,677	2,635,588	1,272,439
光熱水費	3,740,565	143,637	519,740	1,558,137	1,244,839
委託費	1,797,285	1,513,048	356,400	10,800	137,048
① 施設にかかるコスト	9,243,356	1,656,685	1,365,817	4,204,525	2,654,326
修繕費	40,104	0	0	0	40,104
委託費	6,750,006	4,481,045	1,588,444	4,907,761	5,885,338
使用料及び賃借料	257,811	0	257,811	0	257,811
その他物件費	415,522	113,144	511,878	385,744	334,828
② 運営・事業にかかるコスト	7,463,443	4,594,189	2,358,133	5,293,505	6,518,081
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	16,706,799	6,250,874	3,723,950	9,498,030	9,172,407
④ 減価償却相当額	1,143,504	1,274,184	0	561,600	837,216
【収入の部】					
使用料収入	5,631,020	448,950	1,090,650	6,169,700	4,509,700
⑤ 収入の合計	5,631,020	448,950	1,090,650	6,169,700	4,509,700
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	17,850,303	7,525,058	3,723,950	10,059,630	10,009,623
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	12,219,283	7,076,108	2,633,300	3,889,930	5,499,923

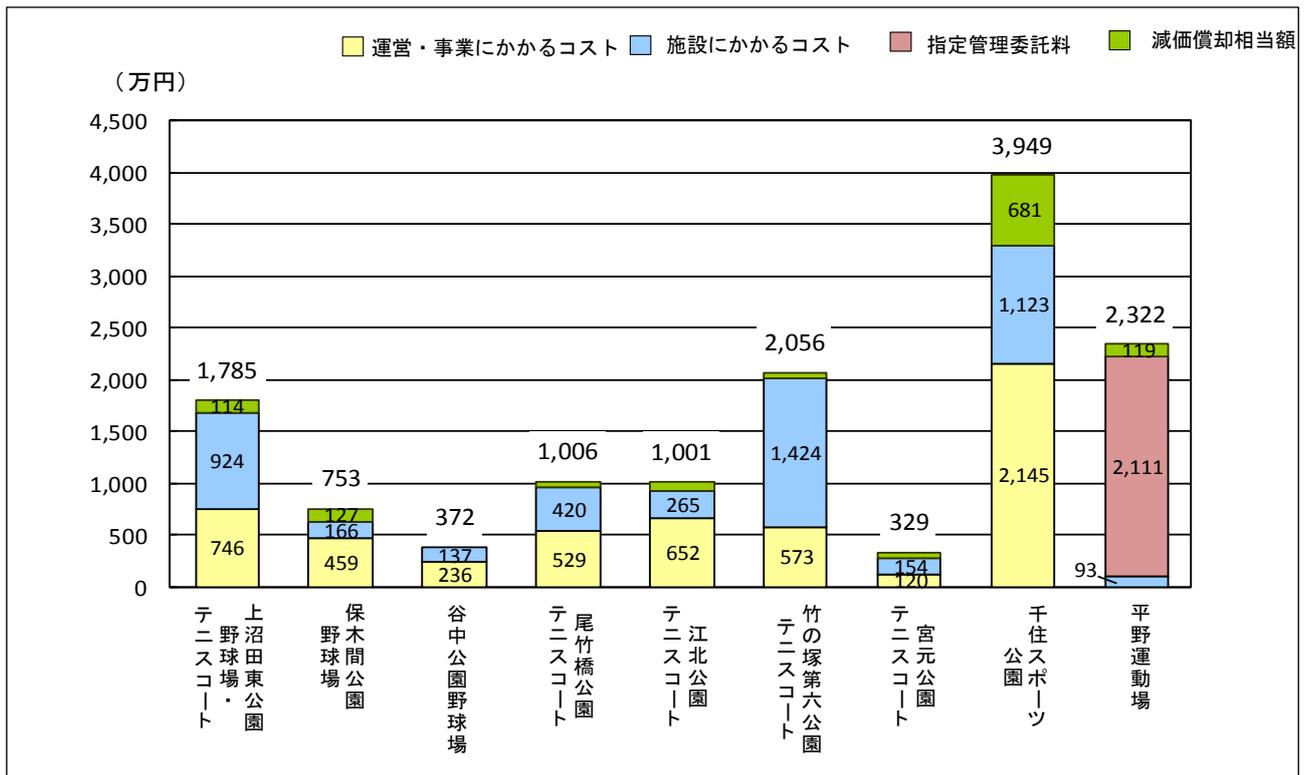
表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	竹の塚第六公園テニスコート	宮元公園テニスコート	千住スポーツ公園	平野運動場	合計
修繕費	12,733,581	1,209,600	4,566,218	0	26,612,609
光熱水費	1,173,971	326,903	3,511,306	925,426	13,144,524
委託費	336,289	0	3,151,284	0	7,302,154
① 施設にかかるコスト	14,243,841	1,536,503	11,228,808	925,426	47,059,287
修繕費	40,104	0	0	0	120,312
委託費	5,201,768	1,081,735	20,043,072	0	49,939,169
使用料及び賃借料	257,811	0	257,811	0	1,289,055
その他物件費	230,028	117,729	1,153,718	0	3,262,591
② 運営・事業にかかるコスト	5,729,711	1,199,464	21,454,601	0	54,611,127
③ 指定管理委託料	0	0	0	21,106,000	21,106,000
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	19,973,552	2,735,967	32,683,409	22,031,426	122,776,414
④ 減価償却相当額	581,904	551,448	6,807,816	1,189,944	12,947,616
【収入の部】					
使用料収入	4,399,900	3,597,300	9,616,170	5,583,747	41,047,137
⑤ 収入の合計	4,399,900	3,597,300	9,616,170	5,583,747	41,047,137
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	20,555,456	3,287,415	39,491,225	23,221,370	135,724,030
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	16,155,556	-309,885	29,875,055	17,637,623	94,676,893

(3) ア スポーツ施設

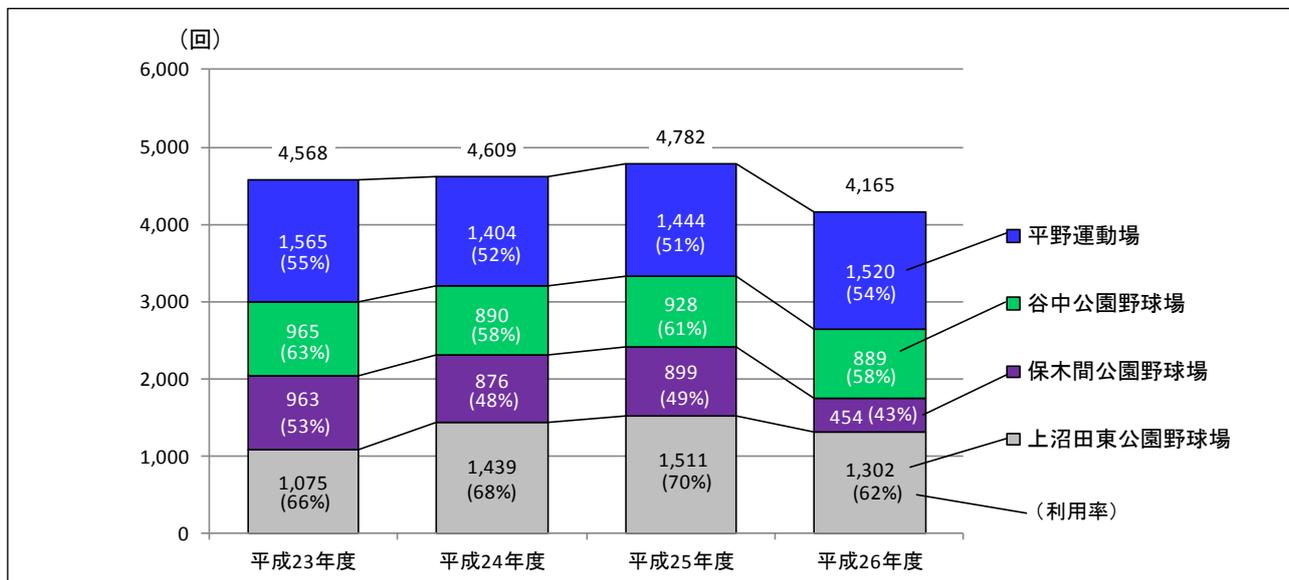
図 屋外運動施設 施設別トータルコスト



② 利用状況

屋外運動施設のうち野球場の年間利用数は直近4年間で約4,200回から約4,800回で推移しています。平野運動場及び千住スポーツ公園は複合型の運動施設です。

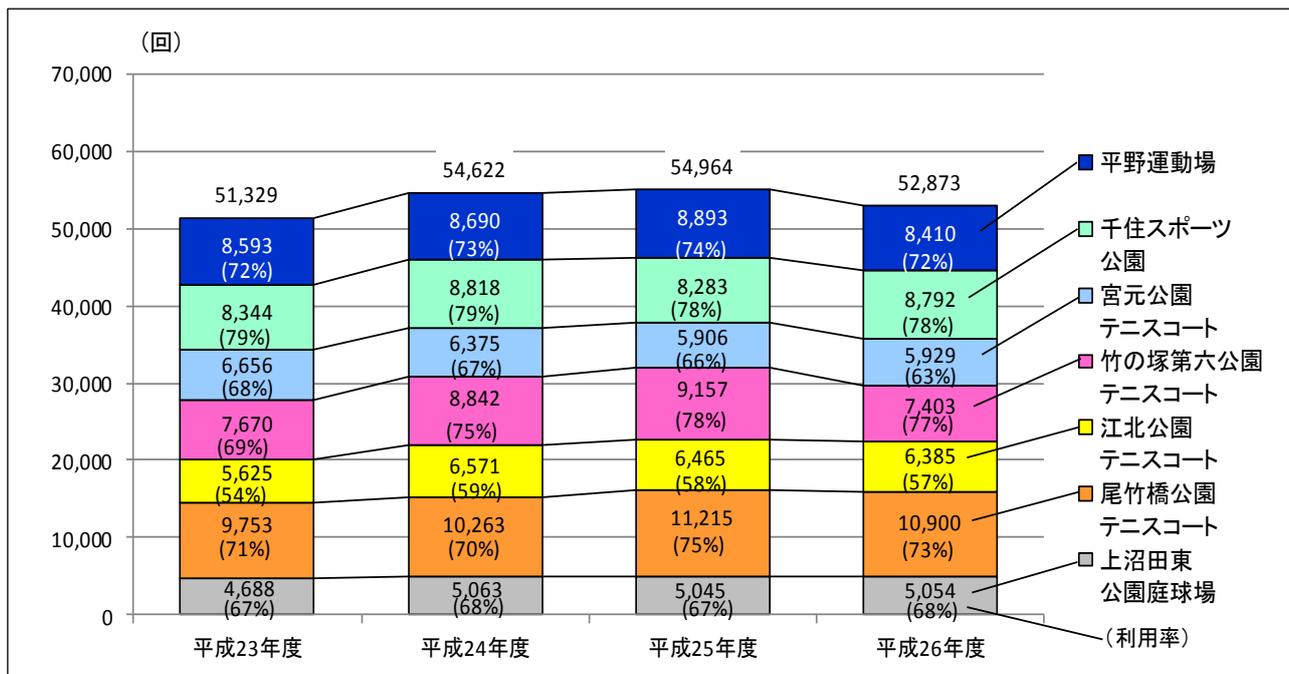
図 野球場 年間利用数推移



(出典：数字で見る足立)

庭球場の直近4年間の年間利用回数は約5.1万回から約5.5万回で推移しています。

図 庭球場 年間利用数推移



(出典：数字で見る足立)

(3) ア スポーツ施設

③ 設置目的・事業内容

施設名	設置目的	事業内容
総合スポーツセンター	区民の健康と体力の増進を図るとともに体育、スポーツの振興に寄与することを目的とします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の増進及び体力の向上に関すること。</li> <li>体育、スポーツの普及及び指導に関すること。</li> <li>施設の使用に関すること。</li> <li>総合スポーツセンターの目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
地域体育館	地域住民の健康と体力の増進を図るとともに体育及びスポーツの振興に寄与することを目的とします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の使用に関すること。</li> <li>体育及びスポーツの振興に関すること。</li> <li>地域体育館の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
温水プール	区民の健康と体力の増進を図り、もって社会体育の振興に資することを目的とします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の使用に関すること。</li> <li>社会体育の振興に関すること。</li> <li>温水プールの目的を達成するために必要な事業</li> </ul>
運動場	区民に開放し、その体位向上を図ることを目的とします。	

④ 運営時間

スポーツ施設の運営時間・休館日は下表のとおりです。

施設名	運営時間	休館日	運営日数
総合スポーツセンター	午前9時から午後9時	館内環境整備日 (原則第2又は第3月曜日、 祝日の場合は翌日) 年末年始 (12月28日～1月4日)	345日
伊興体育館、梅田体育館 興本体育館、江北体育館 佐野体育館、鹿浜体育館 中央本町体育館 東和体育館、花畑体育館			
竹の塚体育館 (スイムスポーツセンター)			
竹の塚温水プール (スイムスポーツセンター)	午前9時30分から 午後8時30分	館内環境整備日 (原則第2又は第3月曜日、 祝日の場合は翌日) 年末年始 (12月28日～1月4日)	329日
千住温水プール			334日
東綾瀬公園温水プール			345日

施設名	運営時間	休館日	運営日数
上沼田東公園野球場・テニスコート	午前6時から午後9時 ※	年末年始(12月28日～1月4日)	335日
保木間公園野球場	午前6時から午後6時 ※		300日
谷中公園野球場			255日
尾竹橋公園テニスコート	午前9時から午後9時 ※		335日
江北公園テニスコート			335日
竹の塚第六公園テニスコート			265日
宮元公園テニスコート	午前9時から午後7時 ※		335日
千住スポーツ公園	午前9時から午後9時 ※		347日
平野運動場	午前6時から午後7時 ※		357日

※時期により時間変更有

### ⑤ 配置状況

図 スポーツ施設等位置図



(3) ア スポーツ施設

⑥ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

施設分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	スポーツ施設					備考
							プール	体育館	テニスコート	野球場	その他	
	1 総合スポーツセンター	東保木間2丁目27-1	14,438.98	昭和53	37	SRC	●	●	●		●	多目的グラウンド、剣道場、柔道場等
体育館	2 伊興体育館	伊興2丁目4-22	847.00	昭和62	28	RC		●				地域学習センター内設置
	3 梅田体育館	梅田7丁目33-1	850.00	昭和62	28	SRC		●				地域学習センター内設置
	4 興本体育館	興野1丁目18-38	550.00	昭和62	28	RC		●				地域学習センター内設置
	5 江北体育館	江北3丁目39-4	887.00	昭和60	30	SRC		●				地域学習センター内設置
	6 佐野体育館	佐野2丁目43-5	513.00	昭和56	34	RC		●				地域学習センター内設置
	7 鹿浜体育館	鹿浜6丁目8-1	835.00	昭和62	28	SRC		●				地域学習センター内設置
	8 竹の塚体育館 (スイムスポーツセンター)	西保木間4丁目10-1	1,080.00	平成3	24	RC (一部S)		●				
	9 中央本町体育館	中央本町3丁目15-1	889.00	昭和55	35	RC		●				地域学習センター内設置
	10 東和体育館	東和3丁目12-9	880.00	昭和56	34	RC		●				地域学習センター内設置
	11 花畑体育館	花畑4丁目16-8	817.00	平成8	19	RC		●				地域学習センター内設置
	プール	12 千住温水プール	千住3丁目30	879.00	平成4	23	RC	●				
13 竹の塚温水プール (スイムスポーツセンター)		西保木間4丁目10-1	1,188.00	平成3	24	RC (一部S)	●					
14 東綾瀬公園温水プール		東綾瀬3丁目4-1	1,624.00	平成4	23	RC	●					
屋外運動施設	15 上沼田東公園野球場・テニスコート	江北6丁目10-1	158.82	平成2	25	RC			●	●		
	16 保木間公園野球場	竹の塚3丁目8-1	176.97	昭和57	33	RC				●		
	17 谷中公園野球場	谷中2丁目23-36	79.40	昭和47	43	S				●		
	18 尾竹橋公園テニスコート	千住桜木2丁目16-1	78.00	平成2	25	RC			●			
	19 江北公園テニスコート	鹿浜5丁目8-1	116.28	昭和63	27	RC			●			
	20 竹の塚第六公園テニスコート	竹の塚2丁目25-3	80.82	平成2	25	RC			●			
	21 宮元公園テニスコート	東和3丁目8-5	76.59	平成2	25	RC			●			
	22 千住スポーツ公園	千住緑町2丁目1-1	945.53	平成7	20	SRC			●		●	弓道場・運動場・相撲場兼ホール
	23 平野運動場	平野2丁目12-1	165.27	昭和44	46	RC			●	●	●	ゲートボール場
合計			28,155.66									

※赤字は築 30 年以上の施設

※延床面積について、地域学習センターと併設の体育館は体育館延床面積

(4) 学校教育施設

ア 区立小学校・中学校

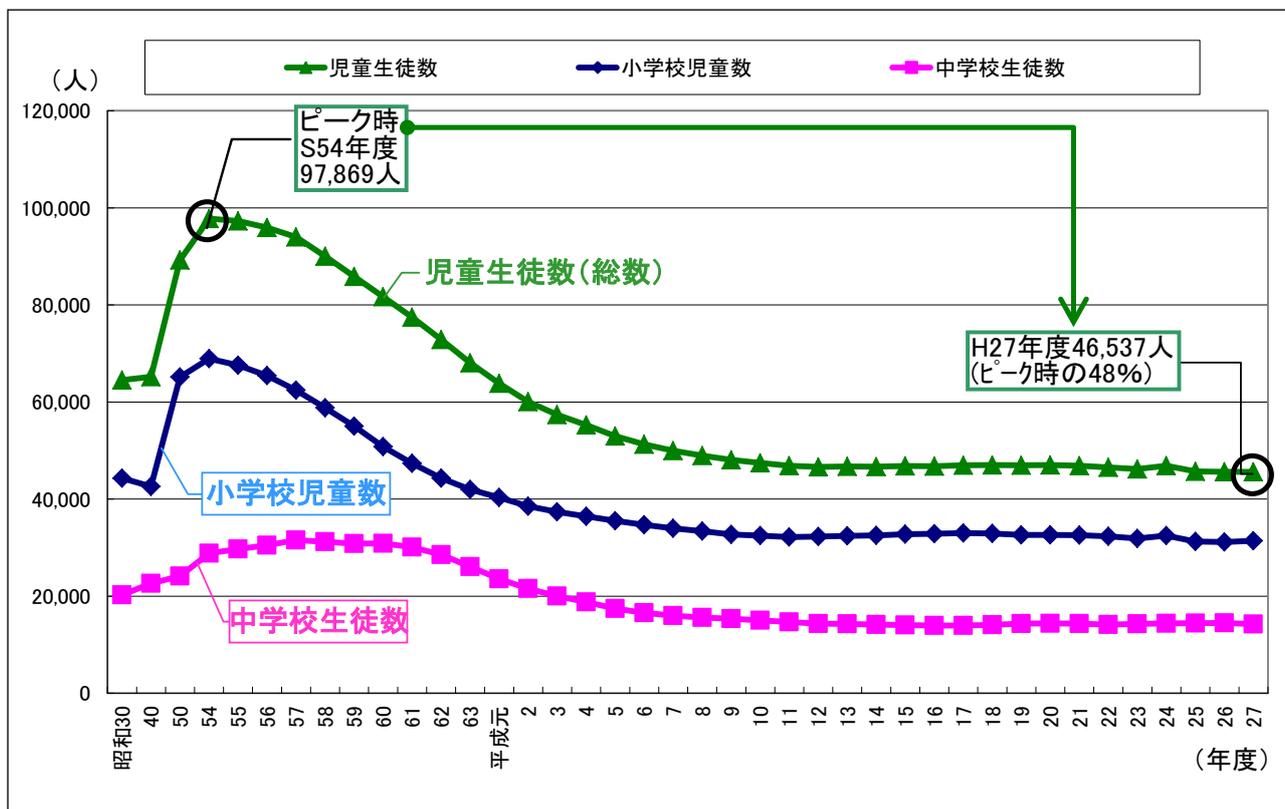
① 児童生徒数の状況

児童生徒数の状況を見ると、小中学校の児童生徒数は、昭和54年度の97,869人をピークに減少しており、平成27年5月1日時点では、46,537人とピーク時の約48%となっています。今後も、区全体の年少人口が減少予測であることを踏まえると、児童生徒数は減少が見込まれます。

小学校において小規模となっている学校は69校中21校存在し、全体の30.4%となっています。また、中学校の小規模化はさらに顕著であり、全体の59.5%にあたる37校中22校が小規模校※となっています。

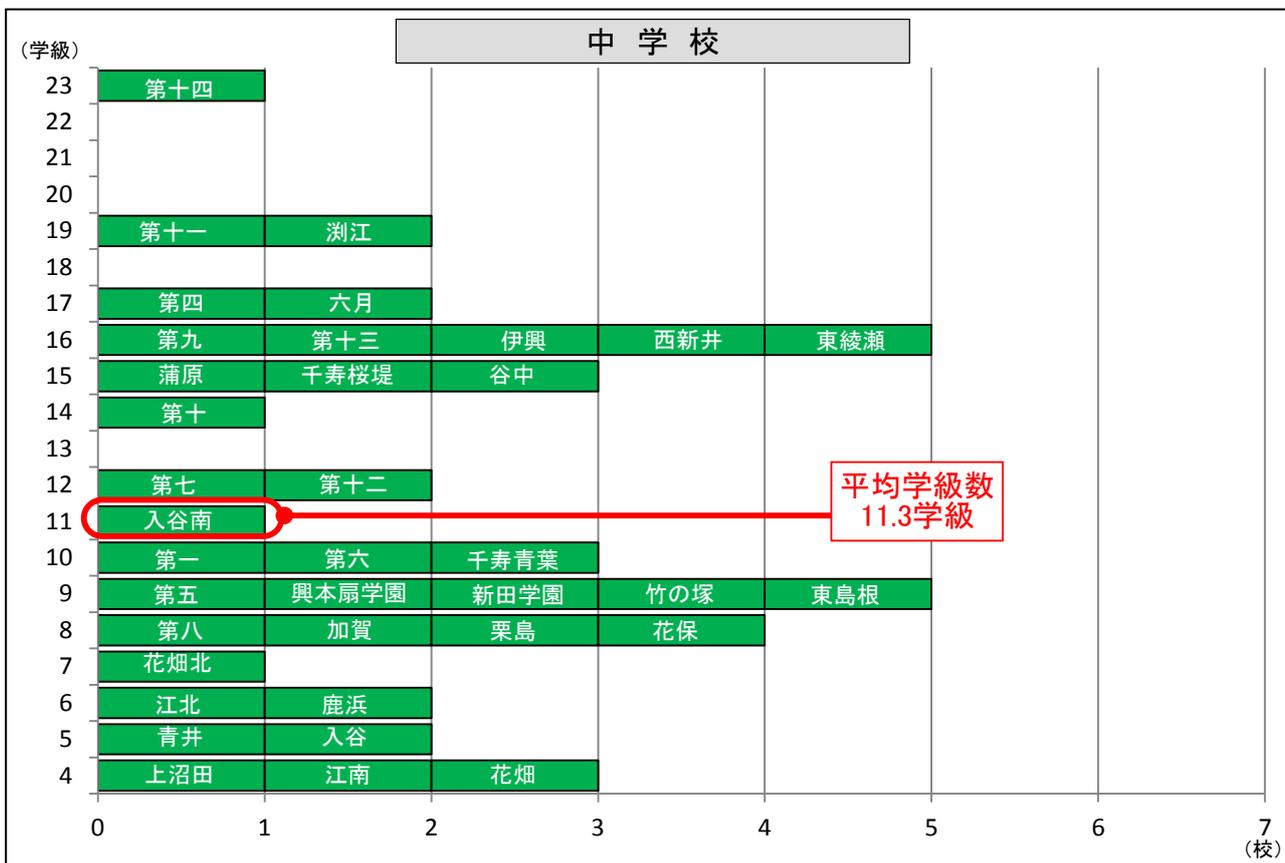
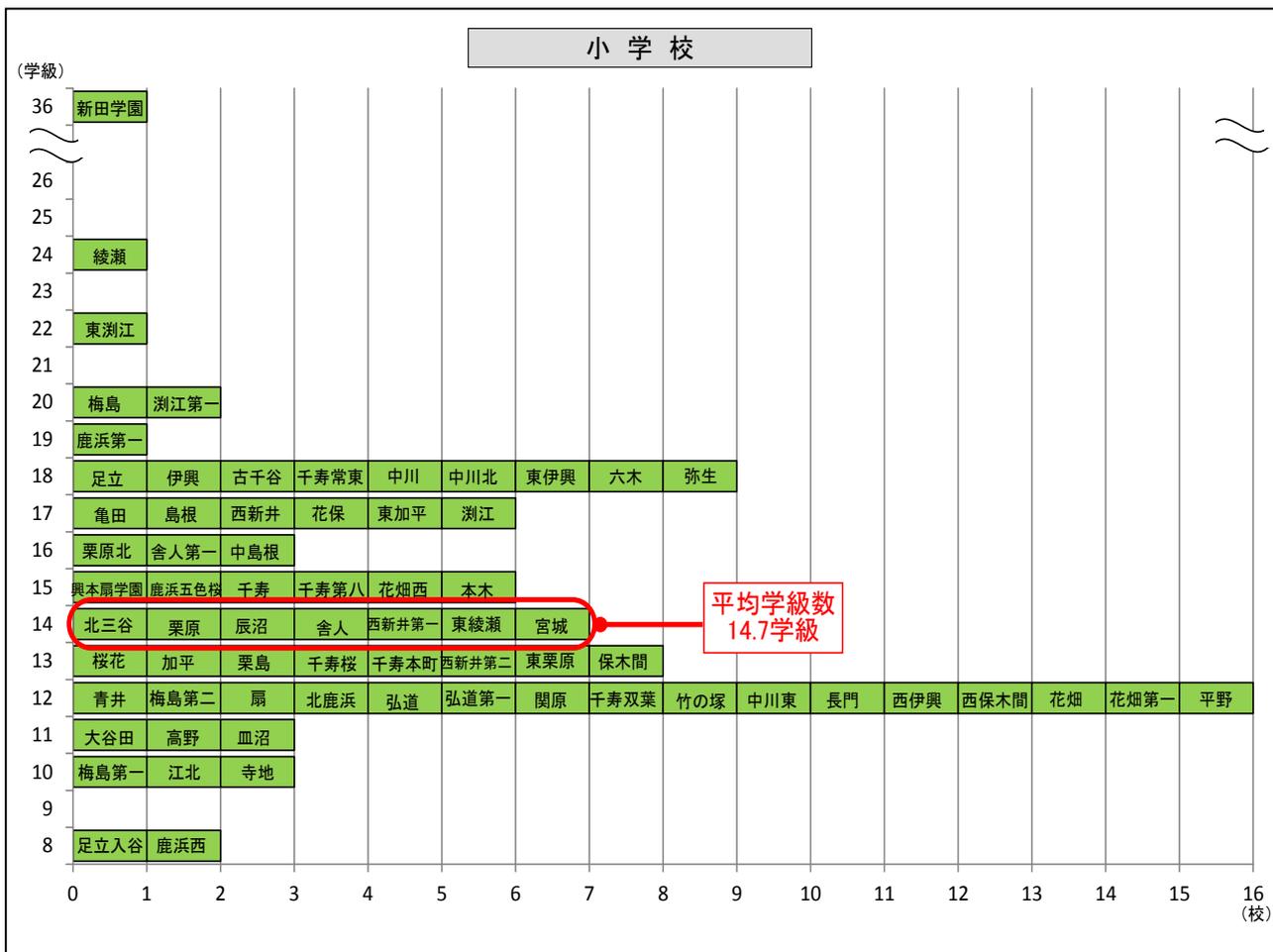
※小規模校：小学校、中学校ともに学級数が12を下回る規模の学校

図 児童生徒数の推移（各年5月1日）（特別支援学級は含まない）



(4) ア 小学校・中学校

図 学級数の状況 (平成27年5月1日)



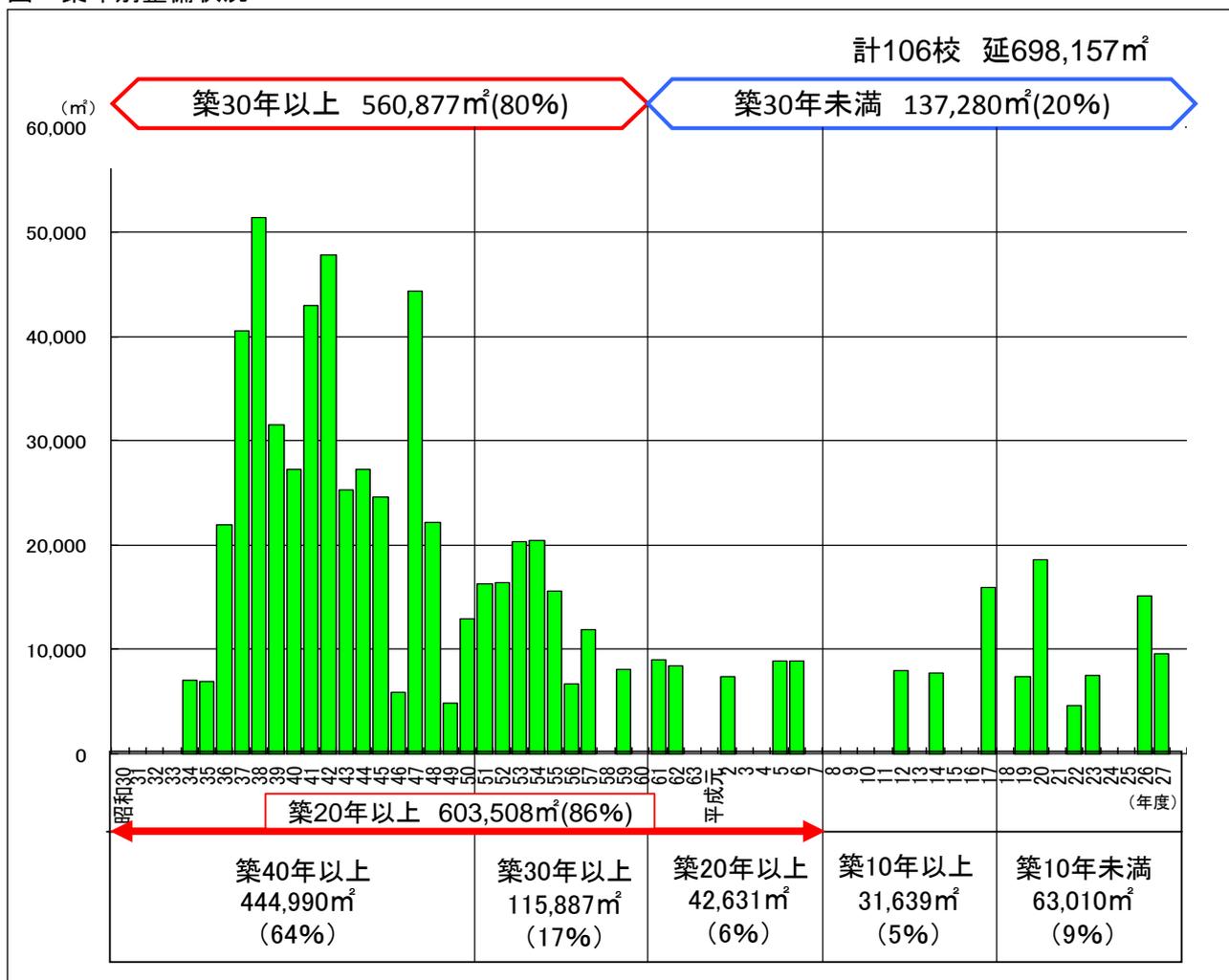
② 施設の整備状況

学校施設の整備状況は、築30年以上の建物が約56万㎡以上と全体の80%を占めており、公共施設全体（築30年以上の割合が67%）に比べ築年数が経過していますが、改修・改築等も計画的に進めています。

また、学校数が多いことが経費的にも計画保全の必要を生み、建設年次と校舎の状況等を勘案した計画に沿って、保全工事を進めています。内外装や給排水等の設備、給食場や便所など、建物の重要箇所について、毎年順次改修を行い、建物の長寿命化を図っています。耐震補強は、昭和62年度から独自財源で校舎と体育館の工事に着手しました。平成9年度の国の耐震基準変更に伴い、新たに国庫補助を導入して工事を実施し、26年度の梅島第二小学校を最後に、校舎及び体育館は全校ともI s値\*0.7以上の耐震基準を満たしています。

I s 値\*：構造耐震指標のことで、建物の耐震性能を表わす指標。地震力に対する建物の強度、地震力に対する建物のじん性（変形能力、粘り強さ）が大きいほどI s 値が大きくなり、耐震性能が高くなる。

図 築年別整備状況



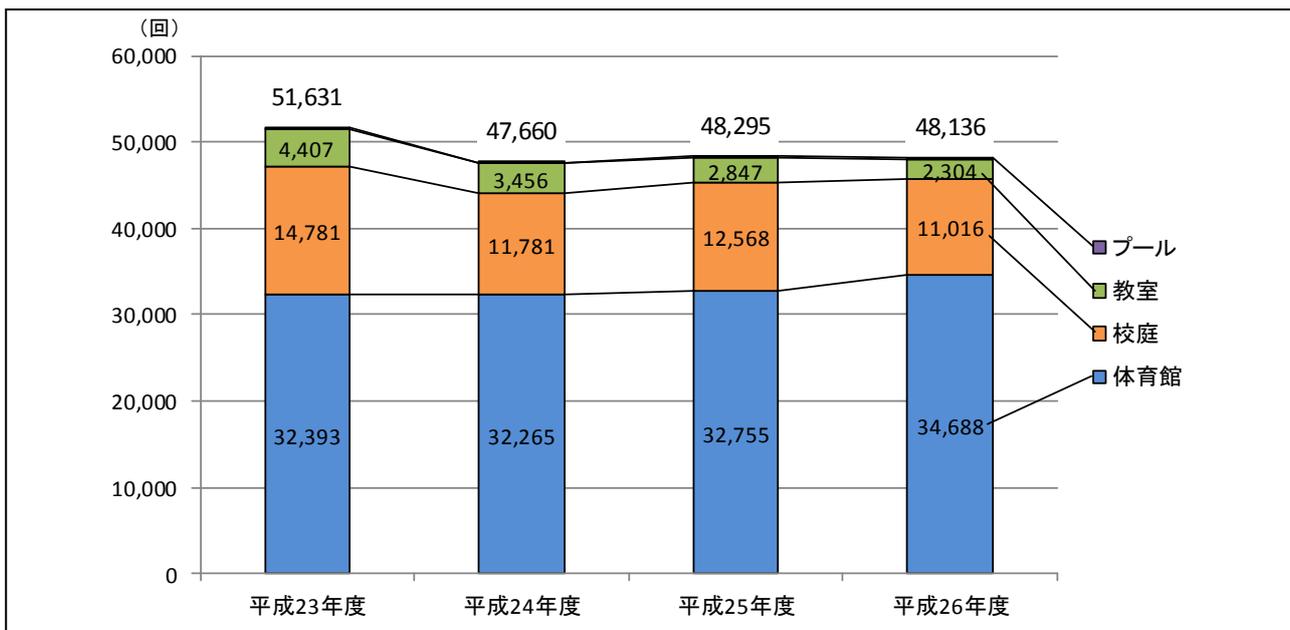
※①施設一覧のデータを基に作成しています。

(4) ア 小学校・中学校

③ 学校施設開放等の状況

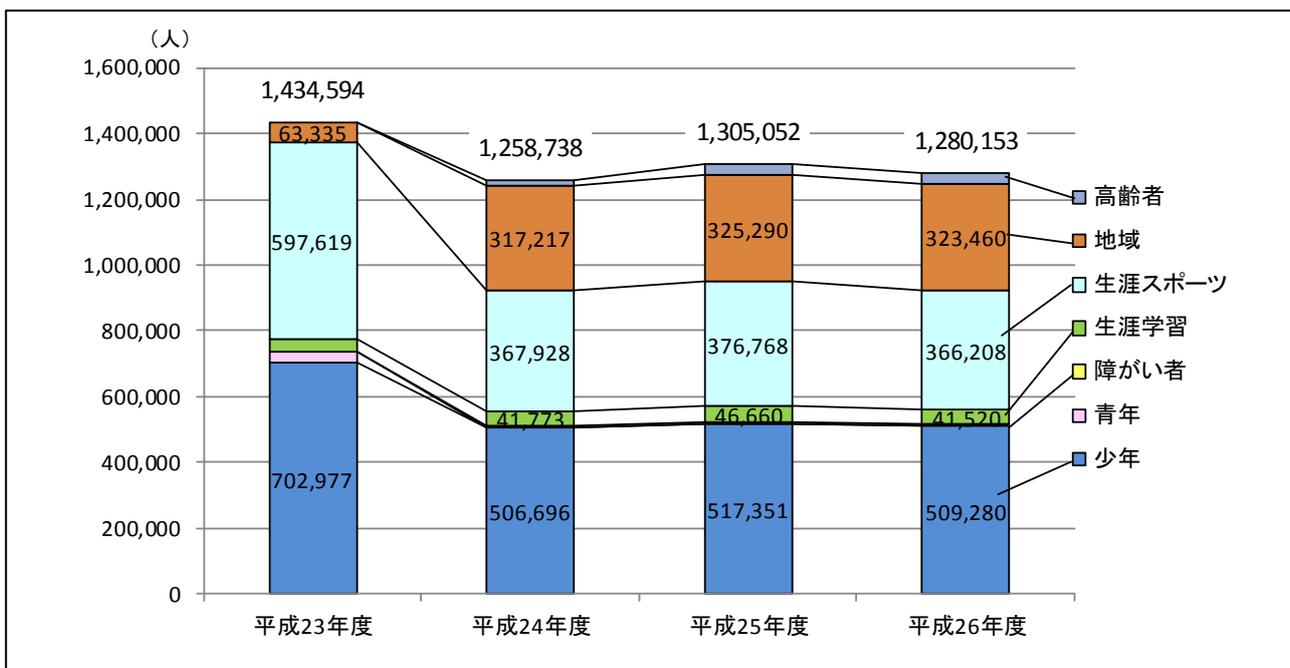
区では、学校施設開放事業として、小中学校の運動場と体育館・教室、プールを学校教育などに支障のない範囲で、空き時間を登録団体に開放しております。平成23～26年度の4年間においては利用回数、利用人数ともに減少傾向にあります。体育館と校庭の利用が主であり、利用の主体である少年と生涯スポーツが減少傾向であるのに対して、地域による利用は増加しています。

図 学校施設等開放状況の推移<回数>



(出典：数字で見る足立)

図 学校施設等開放状況の推移<利用者数>



(出典：数字で見る足立)

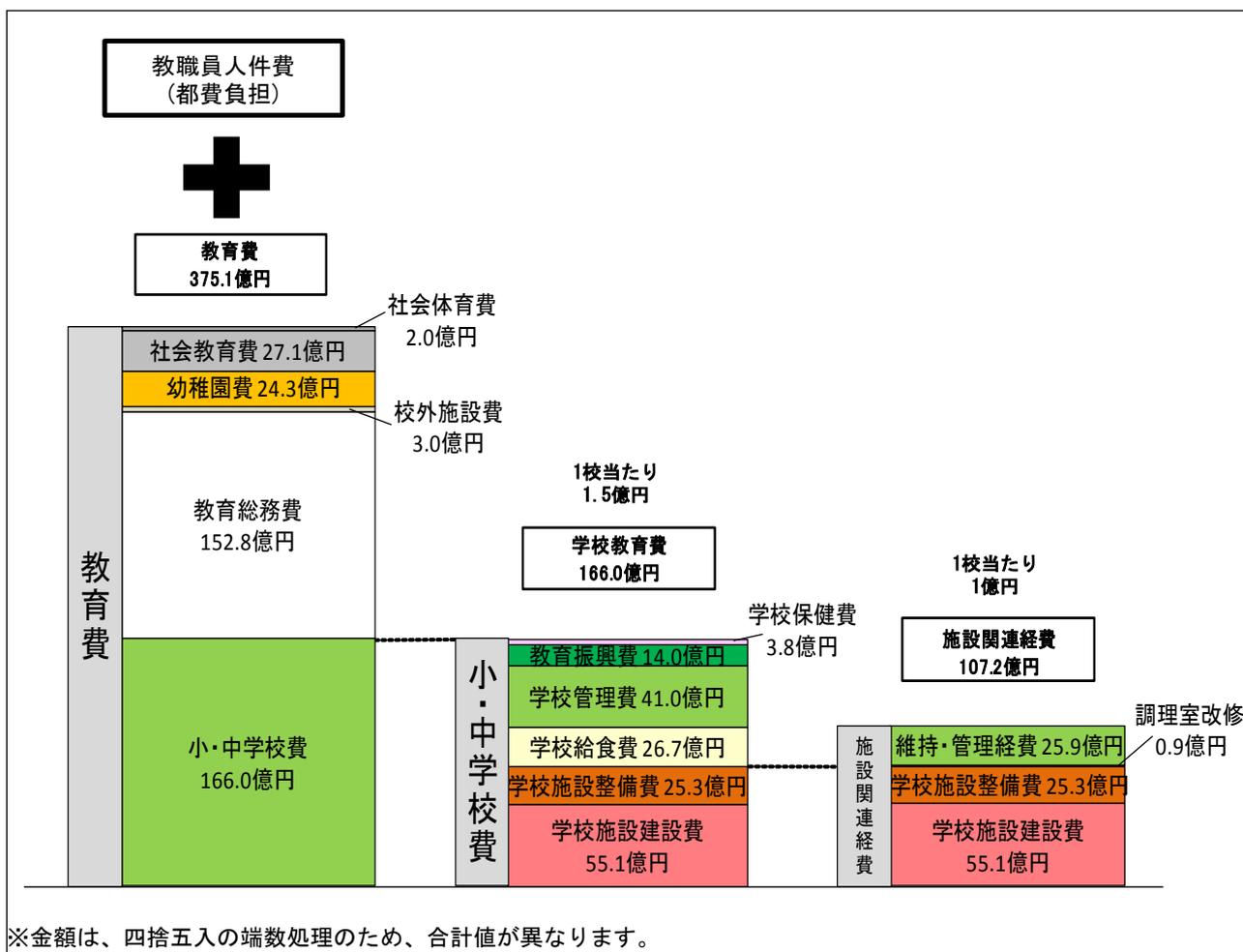
④ コスト状況

■ 教育費の状況

平成 26 年度決算による教育費は、約 375.1 億円（一般会計歳出の約 16%）です。内訳は、社会教育費約 27.1 億円、小・中学校費約 166 億円、教育総務費約 152.8 億円等となっています。小・中学校費のうち、光熱水費・修繕料・建物等管理委託料・学校建設費等の施設に関する「施設関連経費」は、約 107.2 億円（教育費の約 29%）で、1 校当たり約 1 億円となっています。

施設関連経費としては、学校施設建設費が約 55.1 億円、維持・管理経費が約 25.9 億円となっています。

図 教育費の状況（平成 26 年度）



※金額は、四捨五入の端数処理のため、合計値が異なります。

(出典：足立区各会計歳入歳出決算説明書)

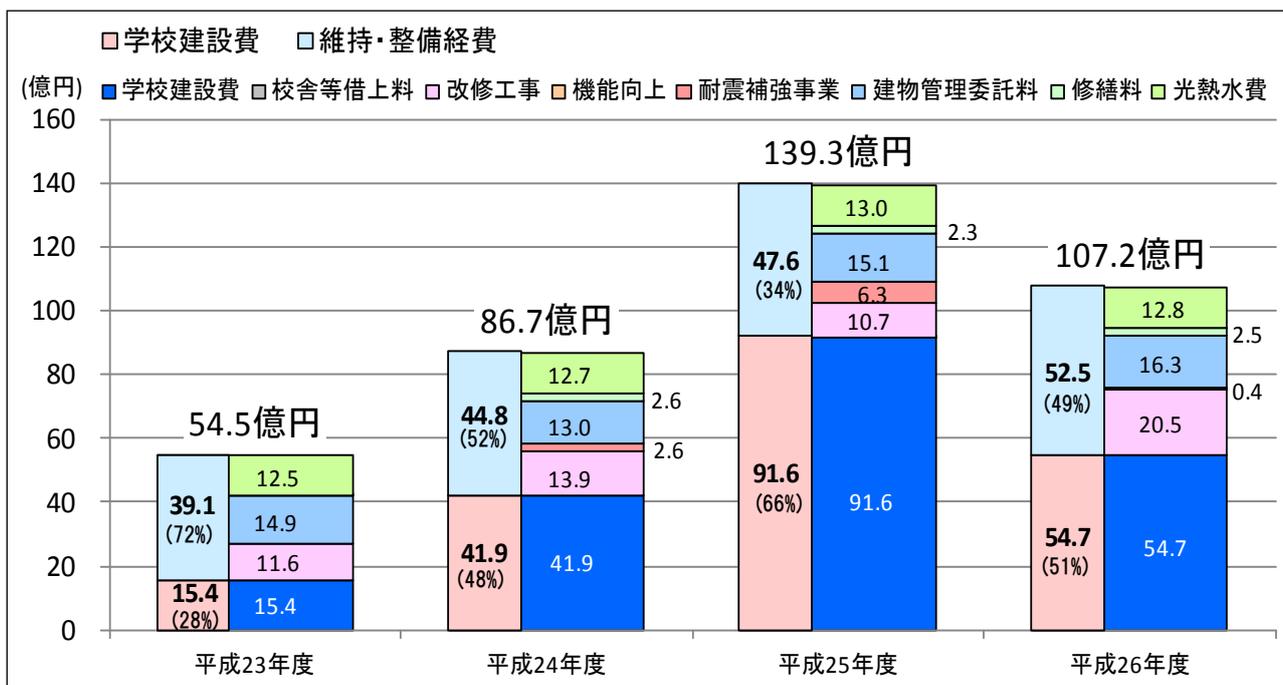
(4) ア 小学校・中学校

■ 施設関連経費の状況

平成26年度の施設関連経費約107.2億円のうち学校建設費54.7億円は、足立小学校及び関原小学校等の改築工事に用いられています。

平成23年度から平成26年度の推移をみると、校舎及び体育館の改修・改築工事を中心にしています。

図 施設関連経費の推移



(出典：足立区各会計歳入歳出決算説明書)

表 施設関連経費の推移

(円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
維持・整備経費	経常的経費				
	光熱水費	1,249,889,396	1,267,618,698	1,295,877,578	1,278,255,137
	修繕料	6,944,028	256,570,015	231,449,152	251,530,082
	建物管理委託料等	1,493,337,405	1,301,547,986	1,508,879,247	1,626,972,045
	小計	2,750,170,829	2,825,736,699	3,036,205,977	3,156,757,264
安全対策費	耐震補強事業	0	264,309,216	634,087,650	37,778,400
	改修工事	1,155,571,688	1,394,467,033	1,072,650,827	2,052,195,822
	校舎等借上料	0	0	19,949,988	0
学校建設費	校地購入	0	200,192,000	420,745,885	143,000,000
	改築・解体工事、仮設校舎賃借料等	1,540,785,600	3,985,542,186	8,742,353,003	5,331,577,524
合計		5,446,528,117	8,670,247,134	13,925,993,330	10,721,309,010

## ⑤ 施設一覧

区では、小学校 69 校、中学校 37 校の合計 106 校を設置しており、延床面積の合計は 698,157 m<sup>2</sup>となっています。施設別の規模をみると、小学校の延床面積は、鹿浜西小学校の 4,193 m<sup>2</sup>(8 学級)から足立小学校の 9,579 m<sup>2</sup>(18 学級)、中学校の延床面積は、上沼田中学校の 4,539 m<sup>2</sup>(4 学級)から渚江中学校の 8,692 m<sup>2</sup>(19 学級)となっています。※新田学園は小中一貫校のため除く。

表 施設一覧&lt;小学校&gt; (50 音順)

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

	名称	住所	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
						通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援
小学校	1 青井小学校	青井3-12-2	9,114	4,672	昭和48	354	13	12	2
	2 足立小学校	足立3-11-5	8,693	9,579	平成27	610	15	18	2
	3 足立入谷小学校	入谷3-8-1	10,665	5,604	昭和50	191		8	
	4 綾瀬小学校	綾瀬3-12-15	11,396	6,565	昭和38	810		24	
	5 伊興小学校	伊興4-16-1	10,890	5,211	昭和39	602		18	
	6 梅島小学校	梅田7-35-1	10,366	7,934	平成12	673		20	
	7 梅島第一小学校	梅島3-37-4	6,919	5,606	昭和40	250		10	
	8 梅島第二小学校	梅田3-27-4	8,198	5,478	昭和42	311	11	12	2
	9 桜花小学校	花畑6-4-6	11,826	5,933	昭和47	365	10	13	2
	10 扇小学校	扇2-30-1	8,059	5,040	昭和45	277		12	
	11 大谷田小学校	中川4-41-27	10,599	4,723	昭和41	261		11	
	12 興本扇学園/興本小学校	扇3-22-1	13,344	5,656	昭和37	461		15	
	13 加平小学校	六町3-3-11	10,762	7,450	平成26	380		13	
	14 亀田小学校	西新井栄町1-1-1	11,744	5,440	昭和40	522		17	
	15 北三谷小学校	東和1-17-12	7,916	5,685	昭和43	405		14	
	16 北鹿浜小学校	鹿浜5-27-1	10,275	5,694	昭和48	316		12	
	17 栗島小学校	青井6-13-10	9,405	5,260	昭和42	434		13	
	18 栗原小学校	西新井栄町2-10-18	6,105	4,542	昭和42	430		14	
	19 栗原北小学校	栗原4-25-9	9,426	5,831	昭和52	501		16	
	20 弘道小学校	西綾瀬4-7-27	10,734	5,657	昭和42	313		12	
	21 弘道第一小学校	弘道1-20-8	11,056	5,911	昭和40	353		12	
	22 江北小学校	江北3-50-1	8,115	5,701	昭和41	261		10	
	23 高野小学校	江北5-4-1	12,964	6,121	昭和37	293	17	11	3
	24 古千谷小学校	古千谷本町4-12-16	9,198	5,048	昭和51	565	18	18	3
	25 皿沼小学校	皿沼1-19-1	12,735	6,135	昭和57	313		11	
	26 鹿浜五色桜小学校	江北6-10-2	9,042	6,194	昭和47	460		15	
	27 鹿浜第一小学校	谷在家2-24-1	12,636	6,021	昭和40	628	13	19	2
	28 鹿浜西小学校	鹿浜2-24-1	10,153	4,193	昭和44	232		8	
	29 島根小学校	島根3-28-11	9,240	7,732	平成14	525		17	
	30 新田学園/新田小学校	新田3-34-2、新田3-30-16	7,194	18,621	平成22	1,208	7	36	1
	31 関原小学校	本木1-14-15	6,725	4,903	昭和38	380	12	12	2
	32 千寿小学校	千住宮元町6-1	7,681	5,623	昭和44	489		15	
	33 千寿桜小学校	千住桜木1-8-15	8,175	8,871	平成6	383	5	13	1
	34 千寿常東小学校	千住旭町10-31	9,563	6,485	昭和38	552	14	18	2

※「建築年度」は、校舎棟(又は特別教室棟など主要棟)で最も古い建築年度を記入(100 m<sup>2</sup>以上)

※赤字は築 30 年以上の施設

(出典：児童生徒数、学級数は学校基本調査)

## (4) ア 小学校・中学校

表 施設一覧&lt;小学校&gt; (50音順)

	名称	住所	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
						通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援
小 学 校	35	千寿第八小学校	千住関屋町16-1	9,439	6,532	昭和41	468		15
	36	千寿双葉小学校	千住大川町17-1	7,949	7,441	平成19	413		12
	37	千寿本町小学校	千住3-30	6,252	8,889	平成5	420		13
	38	竹の塚小学校	竹の塚1-8-1	11,593	6,131	昭和43	364		12
	39	辰沼小学校	谷中5-12-1	14,807	6,027	昭和53	447		14
	40	寺地小学校	扇1-7-1	9,637	6,228	昭和43	267		10
	41	舎人小学校	舎人1-25-32	10,685	6,249	昭和44	453		14
	42	舎人第一小学校	舎人6-4-1	9,471	9,065	昭和61	490		16
	43	中川小学校	大谷田3-17-20	12,861	5,942	昭和37	550		18
	44	中川北小学校	六木1-6-10	11,445	6,375	昭和47	531		18
	45	中川東小学校	大谷田2-1-10	13,787	7,539	昭和55	307		12
	46	中島根小学校	島根2-9-22	11,522	4,874	昭和49	493		16
	47	長門小学校	中川1-19-32	9,329	4,326	昭和40	341		12
	48	西新井小学校	西新井本町4-9-27	9,023	7,575	平成23	521		17
	49	西新井第一小学校	西新井6-21-3	10,904	6,189	昭和41	461		14
	50	西新井第二小学校	西新井4-34-1	9,953	5,655	昭和39	393		13
	51	西伊興小学校	伊興2-6-1	11,383	5,318	昭和47	344	19	12 3
	52	西保木間小学校	西保木間4-2-1	9,945	5,538	昭和44	302		12
	53	花畑小学校	南花畑3-22-1	10,867	6,056	昭和38	381	10	12 2
	54	花畑第一小学校	花畑1-29-1	10,480	6,122	昭和38	336		12
	55	花畑西小学校	花畑4-21-1	10,537	6,424	昭和45	453		15
	56	花保小学校	南花畑2-19-1	9,718	5,635	昭和47	527		17
	57	東綾瀬小学校	東綾瀬2-15-15	7,073	4,881	昭和51	436		14
	58	東伊興小学校	東伊興1-4-15	10,350	5,881	昭和46	587		18
	59	東加平小学校	加平1-12-12	10,110	5,620	昭和44	521		17
	60	東栗原小学校	一ツ家3-20-1	10,963	5,736	昭和45	441		13
	61	東湊江小学校	東和3-20-11	9,134	6,630	昭和38	769	21	22 3
	62	平野小学校	平野3-6-3	8,384	6,004	昭和52	406	23	12 3
	63	湊江小学校	西保木間1-10-3	9,729	6,379	昭和41	492	17	17 3
	64	湊江第一小学校	保木間3-27-1	12,989	6,211	昭和42	651		20
	65	保木間小学校	竹の塚3-6-3	13,277	6,321	昭和48	417		13
	66	宮城小学校	宮城1-27-25	8,496	6,289	昭和39	428	9	14 2
	67	六木小学校	六木3-21-11	11,581	6,064	昭和54	499	20	18 3
	68	本木小学校	本木北町7-1	6,527	7,715	平成26	459	14	15 2
	69	弥生小学校	中央本町2-5-1	12,865	6,554	昭和41	578		18
小学校計			693,978	435,534		31,054	268	1016	43

※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記入(100㎡以上)

※赤字は築30年以上の施設

(出典：児童生徒数、学級数は学校基本調査)

表 施設一覧&lt;中学校&gt; (50音順)

	名称	住所	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
						通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援	
中 学 校	1	第一中学校	千住河原町4-7	9,270	7,853	平成17	318	21	10	3
	2	第四中学校	梅島1-2-33	13,863	7,614	昭和36	619		17	
	3	第五中学校	西新井本町2-3-1	11,803	7,296	昭和43	302		9	
	4	第六中学校	本木西町16-1	10,609	7,301	昭和47	280	21	10	3
	5	第七中学校	関原3-32-14	10,955	6,238	昭和39	383	24	12	3
	6	第八中学校	江北7-17-11	12,662	7,210	昭和42	272	19	8	3
	7	第九中学校	梅田6-32-1	13,970	7,178	昭和36	548		16	
	8	第十中学校	梅島3-23-3	11,212	7,900	昭和37	477		14	
	9	第十一中学校	弘道1-38-15	13,227	8,125	昭和55	654		19	
	10	第十二中学校	大谷田1-37-1	13,835	7,005	昭和35	444		12	
	11	第十三中学校	神明南1-16-1	11,840	8,111	昭和42	552	30	16	4
	12	第十四中学校	西竹の塚1-8-1	14,828	8,095	昭和39	850		23	
	13	青井中学校	青井4-19-1	15,701	5,454	昭和48	150		5	
	14	伊興中学校	伊興5-17-1	13,640	6,939	昭和53	576	24	16	3
	15	入谷中学校	入谷3-6-1	14,686	6,397	昭和51	141		5	
	16	入谷南中学校	入谷1-24-1	14,249	7,373	平成2	343		11	
	17	興本扇学園/扇中学校	扇3-18-14	15,852	5,754	昭和57	277		9	
	18	加賀中学校	加賀2-25-22	11,459	8,098	昭和59	253		8	
	19	蒲原中学校	東和3-17-15	15,133	7,574	昭和47	567		15	
	20	上沼田中学校	江北5-14-1	7,666	4,539	昭和52	112		4	
	21	栗島中学校	中央本町5-23-1	11,859	6,759	昭和56	232	21	8	3
	22	江南中学校	宮城1-8-4	9,243	5,390	昭和42	127		4	
	23	江北中学校	江北1-17-1	12,184	7,185	昭和36	204		6	
	24	鹿浜中学校	鹿浜5-18-1	11,647	6,929	昭和41	215		6	
	25	新田学園/新田中学校	新田3-34-2	16,000	4,629	平成22	276		9	
	26	千寿青葉中学校	千住宮元町27-6	10,390	6,265	昭和37	345		10	
	27	千寿桜堤中学校	柳原2-49-1	7,756	8,120	平成17	520		15	
	28	竹の塚中学校	西保木間4-12-13	11,120	7,397	昭和45	245		9	
	29	西新井中学校	西新井7-22-1	10,830	7,324	昭和50	566		16	
	30	花畑中学校	花畑1-31-1	14,122	6,768	昭和38	97		4	
	31	花畑北中学校	花畑6-12-35	13,223	7,385	昭和53	224		7	
	32	花保中学校	南花畑2-41-1	12,451	7,405	昭和54	227		8	
	33	東綾瀬中学校	綾瀬3-23-14	12,658	7,912	昭和38	563	22	16	3
	34	東島根中学校	平野1-27-2	12,387	7,019	昭和34	293		9	
	35	溯江中学校	保木間3-6-6	12,814	8,692	昭和37	703		19	
	36	谷中学校	谷中3-14-1	13,195	6,957	昭和54	498		15	
	37	六月中学校	六月1-30-1	16,084	8,433	昭和62	597		17	
中学校計			464,423	262,623		14,050	182	417	25	
学校施設合計			1,158,401	698,157		45,104	450	1,433	68	

※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記入(100㎡以上)

※赤字は築30年以上の施設

(出典：児童生徒数、学級数は学校基本調査)



## イ 校外施設

区では、校外施設として千葉県鋸南町に自然の家を、栃木県日光市に林間学園を設置しています。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	2 施設	管理形態	指定管理者運営
	主な室名	客室、食堂、浴場、洗面所、レクリエーションホール、屋外ステージ場 等		
	平均開館日数	349 日	総延床面積	14,279.63㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	20,522人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	582万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	242万円		
	③ 指定管理委託料	18,299万円		
	④ 減価償却相当額	10,281万円		
	⑤ 収入	1,324万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	29,404万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)	14,328円/人		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	20,592円/㎡		
備考				

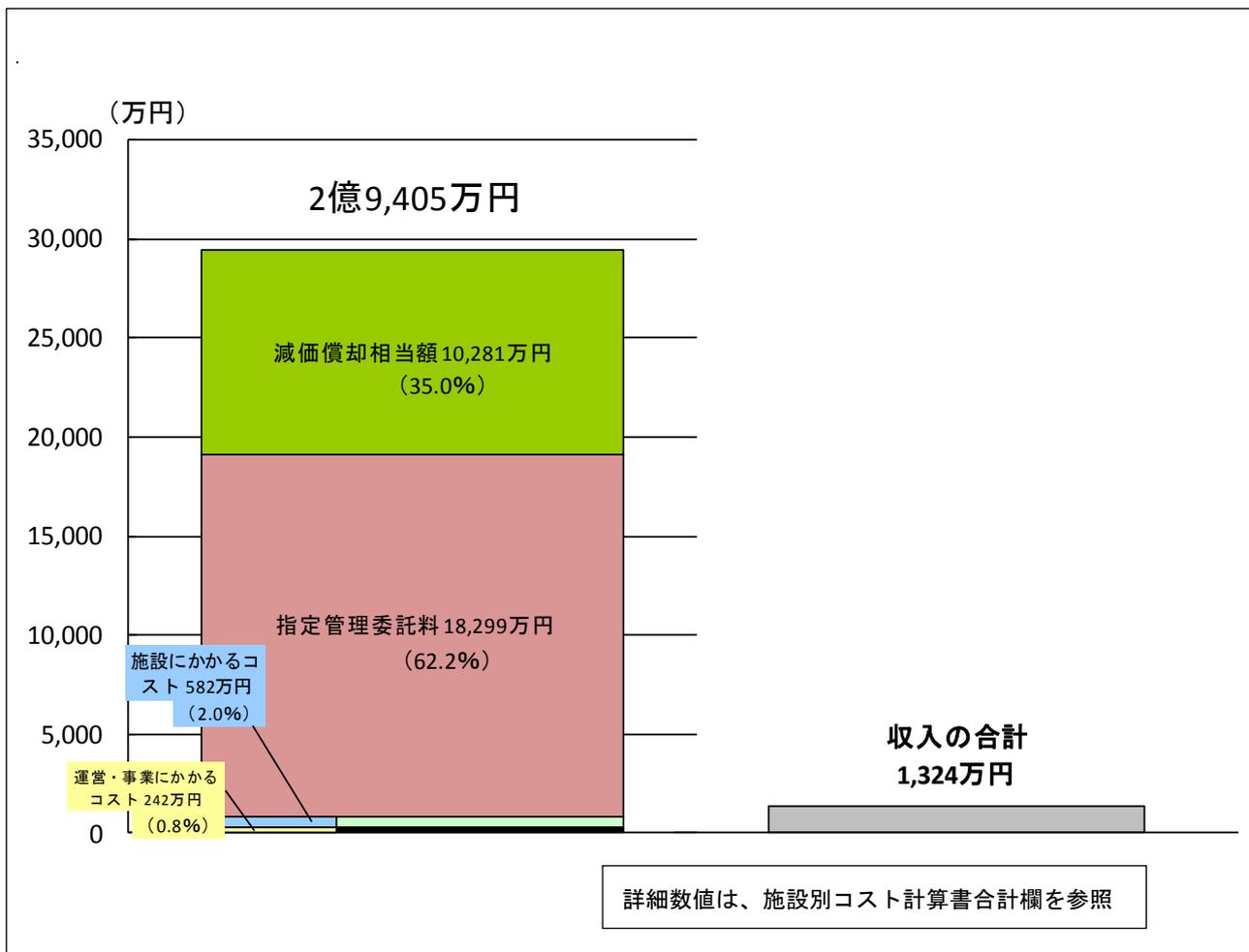
(4) イ 校外施設

① コスト状況

校外施設の年間トータルコストは 29,405 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 582 万円 (2%)、運営・事業にかかるコストは 242 万円 (0.8%)、指定管理委託料が 18,299 万円 (62%)、減価償却相当額は 10,281 万円 (35%) となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

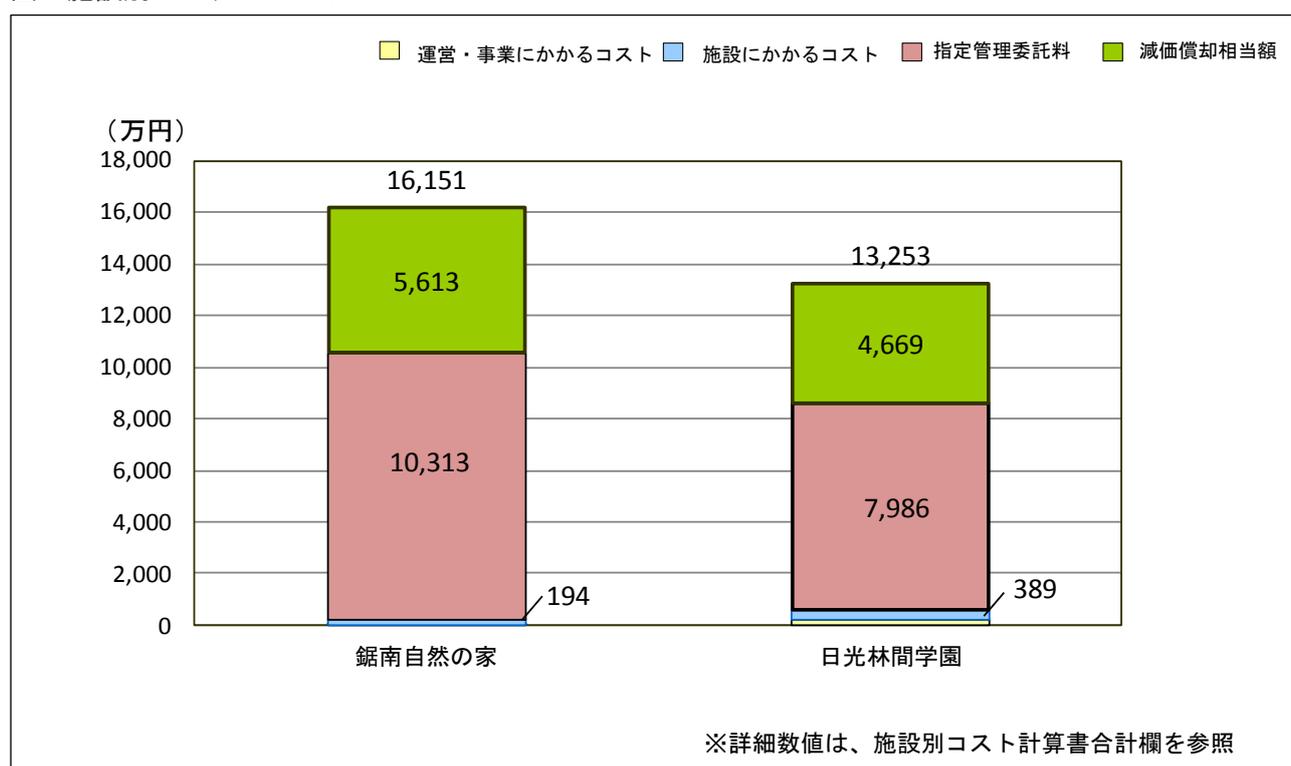
校外施設は指定管理者による運営となっています。

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	鋸南自然の家	日光林間学園	合計
修繕費	1,434,132	3,512,214	4,946,346
委託費	502,200	376,272	878,472
① 施設にかかるコスト	1,936,332	3,888,486	5,824,818
車両・備品購入費	0	1,603,800	1,603,800
その他物件費	323,628	488,903	812,531
② 運営・事業にかかるコスト	323,628	2,092,703	2,416,331
③ 指定管理委託料	103,127,381	79,864,052	182,991,433
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	105,387,341	85,845,241	191,232,582
④ 減価償却相当額	56,126,304	46,687,032	102,813,336
【収入の部】			
使用料収入	5,543,200	7,694,316	13,237,516
⑤ 収入の合計	5,543,200	7,694,316	13,237,516
【総括】			
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	161,513,645	132,532,273	294,045,918
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	155,970,445	124,837,957	280,808,402

図 施設別トータルコスト



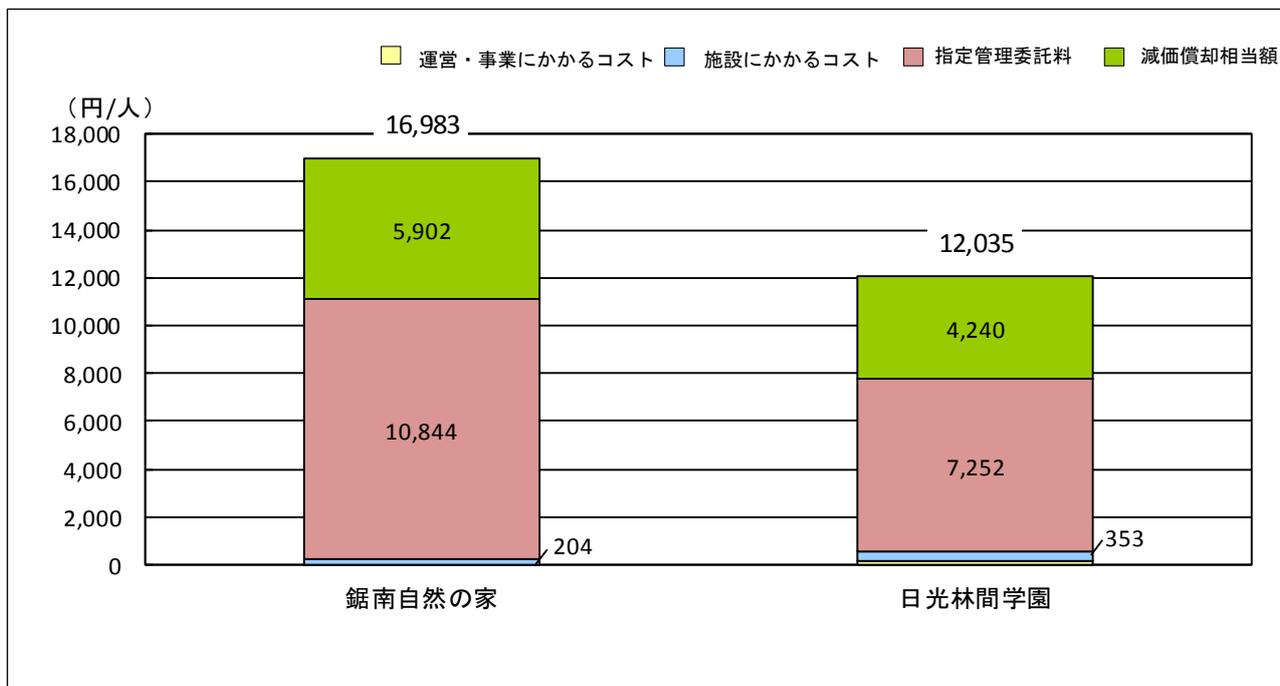
(4) イ 校外施設

② 評価・分析

■ 利用者 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平均は 14,328 円/人です。

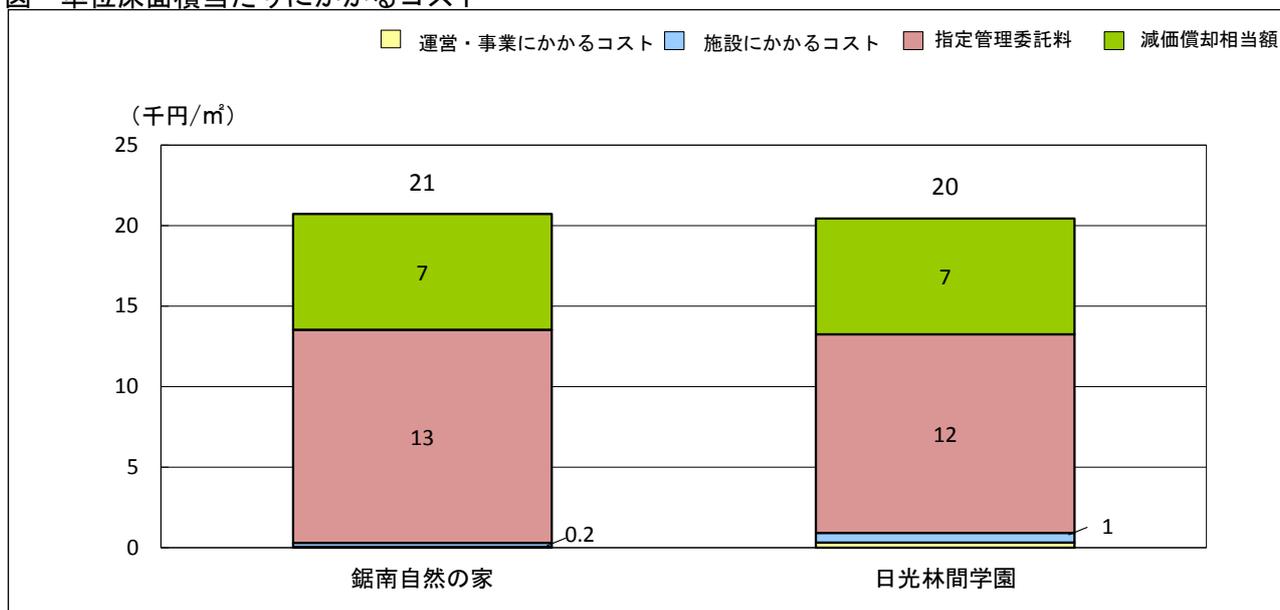
図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、約 20,592 円/m<sup>2</sup>です。

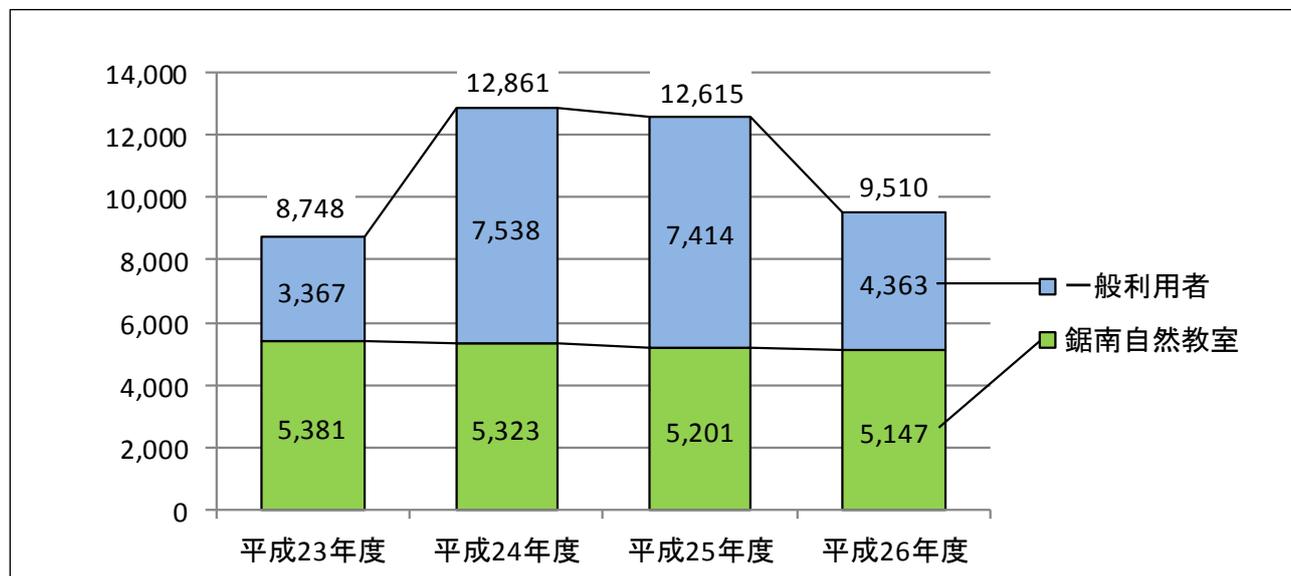
図 単位床面積当たりにかかるコスト



③ 利用状況

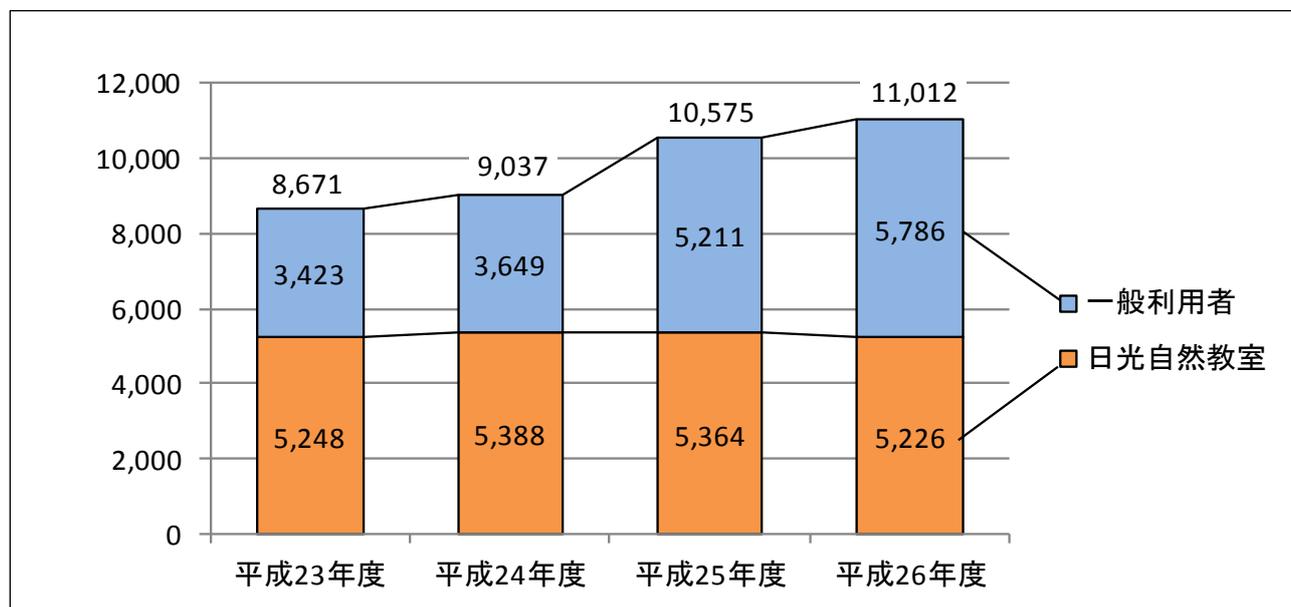
区立小学校の自然教室利用者数は、2施設あわせて年間1万人程度となっています。

図 鋸南自然の家 年間利用者数推移



(出典：数字で見る足立)

図 日光林間学園 年間利用者数推移



(出典：数字で見る足立)

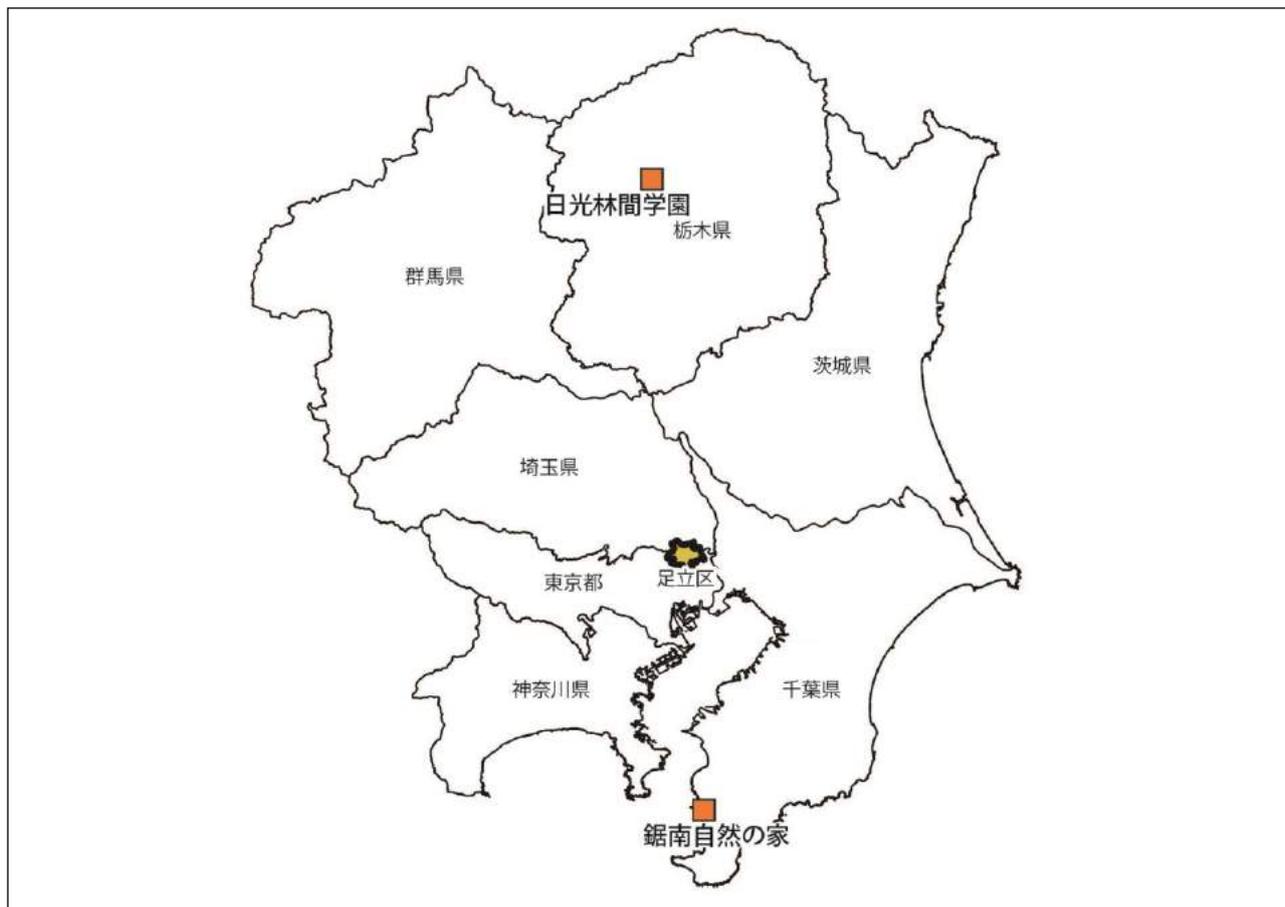
(4) イ 校外施設

④ 設置目的・事業内容

設置目的	事業内容
足立区立学校児童及び生徒の健康増進、学習活動の充実及び健全な集団生活の体得を図り、併せて区民の社会教育活動及び健康増進に寄与することを目的とする。	・ 区立学校児童及び生徒の校外授業及び夏季臨海・林間学園に使用

⑤ 配置状況

図 校外施設位置図



⑥ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	保有施設			備考
						宿泊施設	レクリエーションホール	その他	
1 鋸南自然の家	千葉県安房郡鋸南町大帷子478	7,795.32	平成7	20	RC	●	●	●	屋外ステージ
2 日光林間学園	栃木県日光市所野1543-2	6,484.31	平成2	25	RC	●	●		
合計		14,279.63							

## (5) 子育て支援施設

## ア 保育園・こども園

区立及び公設民営の保育園を計 50 施設（区立保育園 36 施設、公設民営保育園 14 施設）設置しており、延床面積の合計は 3 万 6,326 ㎡となっています。施設別の延床面積は、青井おひさま保育園（公設民営）の 227 ㎡から本木東保育園の 1,244 ㎡（区立）となっています。

保育園全体の認可定員数は 5,033 人で、平成 27 年 4 月 1 日の園児数は 4,935 人、入園率は 97%となっています。また、公営住宅内に併設されている保育園が 35 施設あります。

また、区では、幼稚園と保育園の機能を一体化したこども園を平成 24 年 4 月に 3 園開設しました。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	53 施設	管理形態	直営(39)、 指定管理者運営(14)
	主な室名	保育室、乳児室、遊戯室、調理室 等		
	平均開館日数	294 日	総延床面積	40,144.44 ㎡
利用状況				施設群合計
	入所園児数	5,282 人		
	認可定員数	5,434 人		
	入園率	97.2%		
収支状況	① 施設にかかるコスト	46,130 万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	724,589 万円		
	③ 指定管理委託料	209,010 万円		
	④ 減価償却相当額	26,674 万円		
	⑤ 収入	113,406 万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	1,006,403 万円		
備考				

(5) ア 保育園・こども園

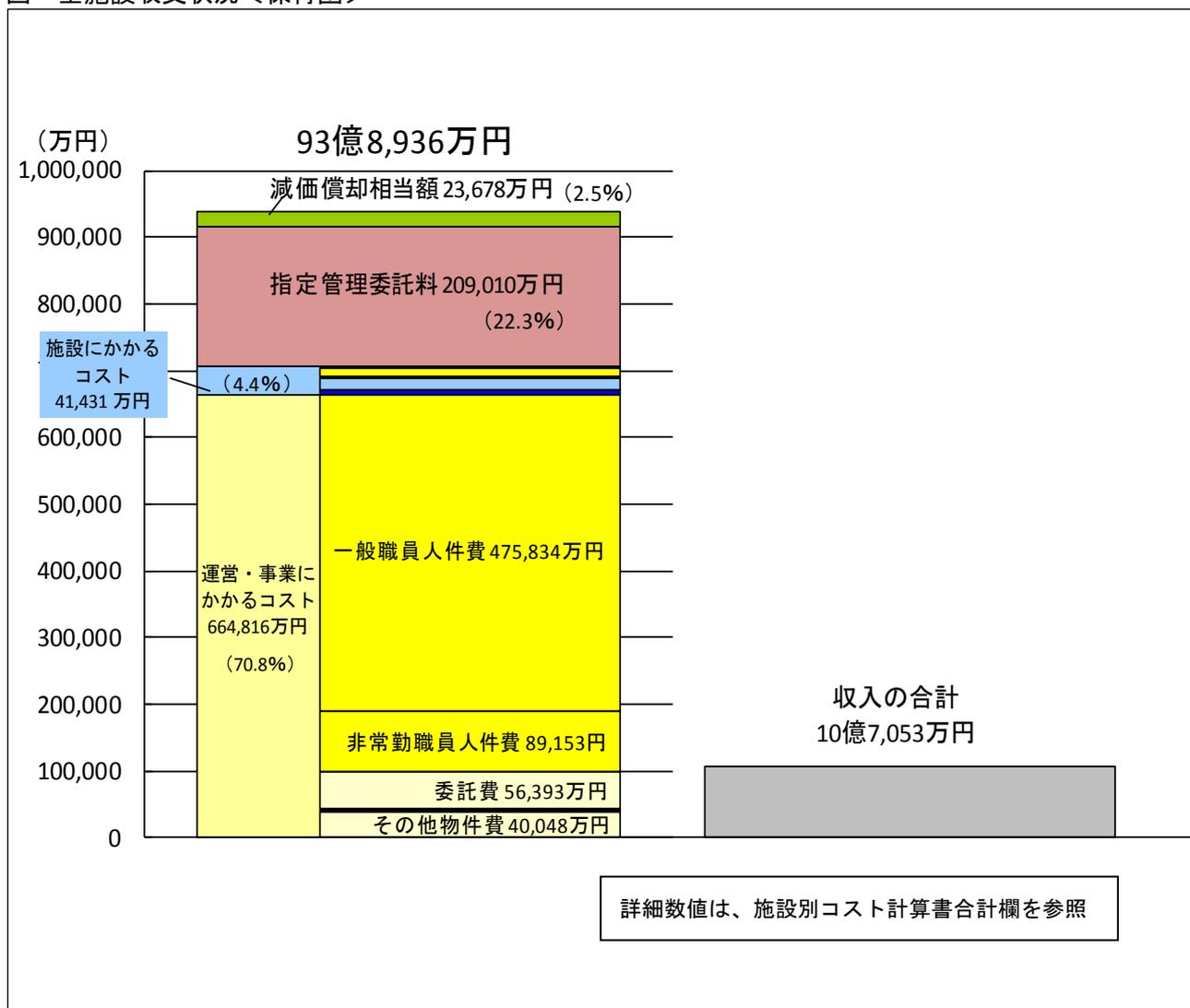
① コスト状況

【保育園】

保育園 50 園の年間トータルコストは、938,936 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 41,431 万円（4%）、運営・事業にかかるコストは 664,816 万円（71%）、指定管理委託料は 209,010 万円（22%）、減価償却相当額が 23,678 万円（3%）となっています。

図 全施設収支状況<保育園>

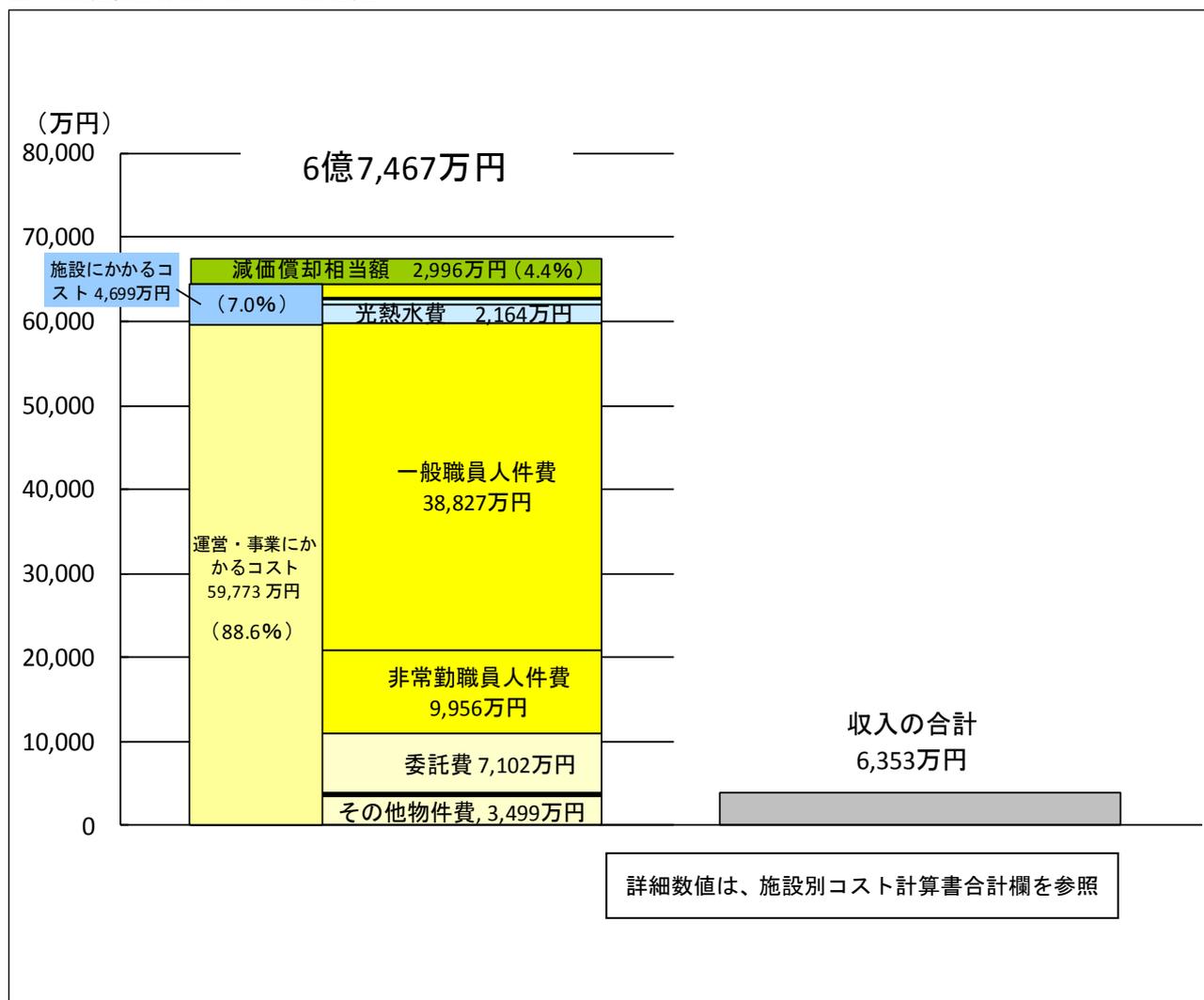


## 【こども園】

こども園 3 施設の年間トータルコストは、67,467 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 4,699 万円（7%）、運営・事業にかかるコストは 59,773 万円（89%）、減価償却相当額が 2,996 万円（4%）となっています。

図 全施設収支状況&lt;こども園&gt;



## 《運営状況》

区立保育園は直営 36 園、指定管理者による運営が 14 園となっています。直営の区立保育園の運営人員は延 1,160 人です。内訳は一般職員が 578 人、非常勤職員が 582 人となっています。

こども園は区直営の運営となっており、運営人員は延 114 人です。内訳は一般職員が 47 人、非常勤職員が 67 人となっています。

## (5) ア 保育園・こども園

表 施設別コスト計算書&lt;保育園&gt;

(円)

【費用の部】	青井保育園	青井おひさま保育園	あやせ保育園	伊興保育園	伊興大境保育園	いりや第一保育園	いりや第二保育園	梅田保育園	大谷田第一保育園
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員人件費	0	0	3,408,000	3,408,000	0	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000
修繕費	0	0	567,401	373,032	0	511,207	1,476,662	74,736	508,377
改修費	0	0	0	0	0	96,444	201,960	455,760	403,920
光熱水費	0	0	5,663,994	5,015,145	0	4,021,476	3,869,957	3,950,218	5,186,964
委託費	0	0	486,538	510,028	0	394,674	394,674	450,834	394,674
使用料及び賃借料	0	30,314,112	0	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	0	30,314,112	10,125,933	9,306,205	0	8,431,801	9,351,253	8,339,548	9,901,935
一般職員人件費	0	0	173,481,000	132,176,000	0	90,871,000	90,871,000	115,654,000	148,698,000
非常勤職員人件費	0	0	54,768,000	22,620,000	0	14,160,000	19,236,000	22,620,000	29,388,000
修繕費	0	0	407,084	16,264	0	192,838	51,300	60,320	86,616
委託費	0	0	18,155,823	16,751,823	0	15,007,417	14,229,817	15,882,217	17,599,417
使用料及び賃借料	0	0	140,628	140,628	0	140,628	140,628	140,628	140,628
車両・備品購入費	0	0	54,432	314,607	0	934,101	899,812	1,949,571	158,544
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	107,520
その他物件費	0	0	13,787,901	11,272,867	0	8,869,947	8,833,523	10,696,159	12,950,839
② 運営・事業にかかるコスト	0	0	260,794,868	183,292,189	0	130,175,931	134,262,080	167,002,895	209,129,564
③ 指定管理委託料	193,464,256	95,439,213	0	0	174,508,177	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	193,464,256	125,753,325	270,920,801	192,598,394	174,508,177	138,607,732	143,613,333	175,342,443	219,031,499
④ 減価償却相当額	4,488,792	2,502,390	3,373,458	7,528,356	4,437,906	3,300,000	3,300,000	4,766,190	4,937,460
【収入の部】									
分担金及び負担金(収入)	7,350,324	4,695,459	30,521,460	27,469,314	7,638,572	20,347,640	20,347,640	27,214,968	32,047,533
⑤ 収入の合計	7,350,324	4,695,459	30,521,460	27,469,314	7,638,572	20,347,640	20,347,640	27,214,968	32,047,533
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	197,953,048	128,255,715	274,294,259	200,126,750	178,946,083	141,907,732	146,913,333	180,108,633	223,968,959
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	190,602,724	123,560,256	243,772,799	172,657,436	171,307,511	121,560,092	126,565,693	152,893,665	191,921,426

## (5) ア 保育園・こども園

表 施設別コスト計算書&lt;保育園&gt;

(円)

【費用の部】	大谷田第二 保育園	興本保育園	加賀保育園	上沼田保育園	北保木間 保育園	弘道保育園	五反野保育園	さつき保育園	新田おひさま保 育園
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員人件費	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000	0	0
修繕費	954,573	205,416	1,099,368	71,280	1,260,900	1,314,305	894,888	0	0
改修費	521,100	0	0	297,000	0	0	0	0	0
光熱水費	4,817,310	3,355,968	4,121,431	7,406,067	3,130,298	5,122,117	4,100,669	4,609,879	0
委託費	447,594	394,674	394,674	371,184	394,674	394,944	512,394	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	18,585,000
① 施設にかかるコスト	10,148,577	7,364,058	9,023,473	11,553,531	8,193,872	10,239,366	8,915,951	4,609,879	18,585,000
一般職員人件費	148,698,000	90,871,000	140,437,000	181,742,000	82,610,000	165,220,000	165,220,000	0	0
非常勤職員人件費	24,312,000	14,160,000	24,312,000	27,696,000	15,852,000	29,388,000	31,080,000	0	0
修繕費	82,953	132,462	74,142	69,336	40,500	58,993	476,578	0	0
委託費	16,929,817	13,387,417	15,925,417	18,787,330	14,229,817	18,765,817	18,787,417	0	0
使用料及び賃借料	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	0	0
車両・備品購入費	562,841	65,361	435,110	124,416	771,551	248,227	338,580	0	0
負担金補助及び交付金	107,520	21,600	0	0	0	0	0	0	0
その他物件費	11,783,719	8,188,461	10,807,355	12,220,301	8,963,088	14,056,883	13,424,148	0	0
② 運営・事業にかかるコスト	202,617,478	126,966,929	192,131,652	240,780,011	122,607,584	227,878,548	229,467,351	0	0
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	204,783,221	103,661,183
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	212,766,055	134,330,987	201,155,125	252,333,542	130,801,456	238,117,914	238,383,302	209,393,100	122,246,183
④ 減価償却相当額	4,789,026	5,349,366	4,403,652	7,844,628	2,686,200	8,008,044	7,331,478	5,436,420	5,039,210
【収入の部】									
分担金及び負担金(収入)	29,504,078	17,804,185	25,943,241	33,319,260	19,075,912	36,117,061	34,336,642	7,206,200	10,229,392
⑤ 収入の合計	29,504,078	17,804,185	25,943,241	33,319,260	19,075,912	36,117,061	34,336,642	7,206,200	10,229,392
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	217,555,081	139,680,353	205,558,777	260,178,170	133,487,656	246,125,958	245,714,780	214,829,520	127,285,393
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	188,051,003	121,876,168	179,615,536	226,858,910	114,411,744	210,008,897	211,378,138	207,623,320	117,056,001

## (5) ア 保育園・こども園

表 施設別コスト計算書&lt;保育園&gt;

(円)

【費用の部】	新田さくら 保育園	新田わかば 保育園	水神橋保育園	せきや保育園	千住保育園	千住あずま 保育園	第三上沼田 保育園	第二日ノ出町 保育園	竹の塚保育園
一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員人件費	0	3,408,000	0	0	0	3,408,000	3,408,000	3,408,000	0
修繕費	0	141,516	0	0	0	1,690,416	157,896	468,302	0
改修費	0	94,824	0	0	0	78,840	0	1,425,600	0
光熱水費	0	3,664,770	0	0	0	5,771,853	2,803,829	5,657,042	0
委託費	0	342,011	0	0	0	494,304	371,184	418,434	0
使用料及び賃借料	1,482,216	0	0	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	1,482,216	7,651,121	0	0	0	11,443,413	6,740,909	11,377,378	0
一般職員人件費	0	123,915,000	0	0	0	206,525,000	90,871,000	165,220,000	0
非常勤職員人件費	0	26,004,000	0	0	0	46,308,000	22,620,000	27,696,000	0
修繕費	0	0	0	0	0	19,980	0	68,162	0
委託費	0	14,035,417	0	0	0	18,787,417	13,815,097	18,463,417	0
使用料及び賃借料	0	140,628	0	0	0	140,628	140,628	140,628	0
車両・備品購入費	0	770,839	0	0	0	3,395,677	278,424	1,250,066	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	32,000	0	0
その他物件費	0	9,286,029	0	0	0	13,829,303	9,892,878	12,362,779	0
② 運営・事業にかかるコスト	0	174,151,913	0	0	0	289,006,005	137,650,027	225,201,052	0
③ 指定管理委託料	118,933,787	0	175,391,395	121,680,890	178,665,113	0	0	0	158,974,052
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	120,416,003	181,803,034	175,391,395	121,680,890	178,665,113	300,449,418	144,390,936	236,578,430	158,974,052
④ 減価償却相当額	2,686,200	2,953,500	4,280,100	5,692,170	8,701,770	11,449,482	2,877,072	4,935,810	4,249,146
【収入の部】									
分担金及び負担金(収入)	4,828,154	22,128,058	7,278,262	5,404,650	9,007,750	37,134,443	22,891,095	31,030,151	9,368,060
⑤ 収入の合計	4,828,154	22,128,058	7,278,262	5,404,650	9,007,750	37,134,443	22,891,095	31,030,151	9,368,060
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	123,102,203	184,756,534	179,671,495	127,373,060	187,366,883	311,898,900	147,268,008	241,514,240	163,223,198
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	118,274,049	162,628,476	172,393,233	121,968,410	178,359,133	274,764,457	124,376,913	210,484,089	153,855,138

## (5) ア 保育園・こども園

表 施設別コスト計算書&lt;保育園&gt;

(円)

【費用の部】	竹の塚北 保育園	辰沼保育園	中央本町 保育園	中島根保育園	西新井保育園	西保木間 保育園	沼田保育園	花畑保育園	花畑桑袋 保育園
一般職員人件費	0	0	0	0	0	8,261,000	0	0	0
非常勤職員人件費	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000	3,408,000	0	3,408,000	3,408,000	3,408,000
修繕費	299,808	997,380	517,013	654,588	1,382,129	194,410	504,036	15,401	426,210
改修費	0	0	215,460	648,000	0	0	97,200	142,992	0
光熱水費	3,680,369	3,515,962	4,367,546	5,565,425	4,795,205	3,955,769	5,567,597	5,630,279	3,355,780
委託費	294,761	394,674	418,434	418,434	418,434	394,674	517,794	394,674	394,674
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	601,200	0	0
① 施設にかかるコスト	7,682,938	8,316,016	8,926,453	10,694,447	10,003,768	12,805,853	10,695,827	9,591,346	7,584,664
一般職員人件費	90,871,000	123,915,000	140,437,000	165,220,000	140,437,000	107,393,000	156,959,000	181,742,000	74,349,000
非常勤職員人件費	17,544,000	22,620,000	37,848,000	27,696,000	24,312,000	19,236,000	27,696,000	27,696,000	14,160,000
修繕費	34,020	14,796	103,680	141,458	103,657	160,999	235,310	0	56,160
委託費	13,841,017	14,316,217	16,843,417	18,713,977	16,497,817	13,841,017	17,340,217	19,673,017	12,383,017
使用料及び賃借料	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628
車両・備品購入費	278,683	733,320	1,713,665	1,366,485	545,798	440,208	88,128	134,946	306,892
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	60,000	64,800	0
その他物件費	8,642,937	10,791,000	12,194,377	14,265,938	13,235,426	9,168,600	13,161,267	14,854,495	8,002,304
② 運営・事業にかかるコスト	131,352,285	172,530,961	209,280,767	227,544,486	195,272,326	150,380,452	215,680,550	244,305,886	109,398,001
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	139,035,223	180,846,977	218,207,220	238,238,933	205,276,094	163,186,305	226,376,377	253,897,232	116,982,665
④ 減価償却相当額	6,323,856	2,876,940	3,684,384	9,178,818	0	3,281,850	9,614,682	5,339,268	3,281,850
【収入の部】									
分担金及び負担金(収入)	21,365,022	27,214,968	29,504,078	35,862,715	34,845,333	21,365,022	33,573,606	35,608,370	16,786,803
⑤ 収入の合計	21,365,022	27,214,968	29,504,078	35,862,715	34,845,333	21,365,022	33,573,606	35,608,370	16,786,803
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	145,359,079	183,723,917	221,891,604	247,417,751	205,276,094	166,468,155	235,991,059	259,236,500	120,264,515
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	123,994,057	156,508,949	192,387,526	211,555,036	170,430,761	145,103,133	202,417,453	223,628,130	103,477,712

## (5) ア 保育園・こども園

表 施設別コスト計算書&lt;保育園&gt;

(円)

【費用の部】	東綾瀬保育園	東花畑保育園	東保木間 保育園	平野保育園	保木間保育園	緑町保育園	南保木間 保育園	宮城保育園	六木保育園
一般職員人件費	0	0	0	0	0	8,261,000	0	0	0
非常勤職員人件費	3,408,000	3,408,000	0	3,408,000	3,408,000	0	3,408,000	3,408,000	3,408,000
修繕費	140,400	66,039	0	69,517	281,215	643,032	48,600	1,453,665	290,833
改修費	298,080	0	0	0	1,493,559	0	318,600	975,240	0
光熱水費	6,042,671	3,941,463	0	4,044,497	5,385,213	2,792,982	3,190,678	3,179,175	4,022,426
委託費	318,251	394,674	0	470,544	394,674	386,291	371,184	494,034	394,674
使用料及び賃借料	4,536,000	0	0	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	14,743,402	7,810,176	0	7,992,558	10,962,661	12,083,305	7,337,062	9,510,114	8,115,933
一般職員人件費	173,481,000	107,393,000	0	99,132,000	156,959,000	123,915,000	90,871,000	90,871,000	107,393,000
非常勤職員人件費	34,464,000	19,236,000	0	20,928,000	32,772,000	16,920,000	15,852,000	12,468,000	20,928,000
修繕費	140,184	168,163	0	91,584	76,680	23,144	0	17,818	398,952
委託費	18,441,817	14,575,417	0	14,301,097	18,247,417	103,417	13,296,697	13,171,417	14,748,217
使用料及び賃借料	140,628	140,628	0	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628	140,628
車両・備品購入費	338,947	603,131	0	153,324	1,229,774	166,968	847,482	67,564	58,017
負担金補助及び交付金	105,600	0	0	0	0	0	0	0	0
その他物件費	13,736,487	10,307,019	0	9,788,561	15,371,678	8,391,304	8,564,253	6,526,834	10,204,503
② 運営・事業にかかるコスト	240,848,663	152,423,358	0	144,535,194	224,797,177	149,660,461	129,572,060	123,263,261	153,871,317
③ 指定管理委託料	0	0	170,374,315	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	255,592,065	160,233,534	170,374,315	152,527,752	235,759,838	161,743,766	136,909,122	132,773,375	161,987,250
④ 減価償却相当額	4,210,008	2,877,072	4,403,718	3,281,850	9,223,434	0	2,686,200	2,904,330	2,857,272
【収入の部】									
分担金及び負担金(収入)	33,827,951	21,619,367	7,350,324	23,145,440	35,862,715	17,295,494	20,347,640	12,717,275	25,943,241
⑤ 収入の合計	33,827,951	21,619,367	7,350,324	23,145,440	35,862,715	17,295,494	20,347,640	12,717,275	25,943,241
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	259,802,073	163,110,606	174,778,033	155,809,602	244,983,272	161,743,766	139,595,322	135,677,705	164,844,522
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	225,974,122	141,491,239	167,427,709	132,664,162	209,120,557	144,448,272	119,247,682	122,960,430	138,901,281

表 施設別コスト計算書&lt;保育園&gt;

(円)

【費用の部】	本木保育園	本木東保育園	谷在家保育園	やよい保育園	新田三丁目 なかよし保育園	合計
一般職員人件費	0	0	0	0	0	16,522,000
非常勤職員人件費	3,408,000	3,408,000	0	0	0	115,872,000
修繕費	449,625	1,411,776	0	0	0	21,615,952
改修費	1,500,120	745,200	0	0	0	10,009,899
光熱水費	4,631,391	5,934,298	0	4,255,856	0	170,123,569
委託費	418,434	494,034	0	0	0	14,950,840
使用料及び賃借料	0	0	0	0	9,702,000	65,220,528
① 施設にかかるコスト	10,407,570	11,993,308	0	4,255,856	9,702,000	414,314,788
一般職員人件費	173,481,000	140,437,000	0	0	0	4,758,336,000
非常勤職員人件費	26,004,000	20,928,000	0	0	0	891,528,000
修繕費	191,660	0	0	0	0	3,795,793
委託費	17,351,017	16,701,937	0	0	0	563,929,057
使用料及び賃借料	140,628	140,628	0	0	0	5,062,608
車両・備品購入費	1,261,297	1,648,857	0	0	0	24,535,645
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	499,040
その他物件費	11,561,159	10,482,430	0	0	0	400,476,752
② 運営・事業にかかるコスト	229,990,761	190,338,852	0	0	0	6,648,162,895
③ 指定管理委託料	0	0	145,739,228	182,533,839	65,951,132	2,090,099,801
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	240,398,331	202,332,160	145,739,228	186,789,695	75,653,132	9,152,577,484
④ 減価償却相当額	4,663,560	8,209,674	2,877,072	4,824,204	2,833,658	236,781,526
【収入の部】						
分担金及び負担金(収入)	27,214,968	29,758,423	6,845,890	7,206,200	5,030,849	1,070,531,198
⑤ 収入の合計	27,214,968	29,758,423	6,845,890	7,206,200	5,030,849	1,070,531,198
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	245,061,891	210,541,834	148,616,300	191,613,899	78,486,790	9,389,359,010
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	217,846,923	180,783,411	141,770,410	184,407,699	73,455,941	8,318,827,812

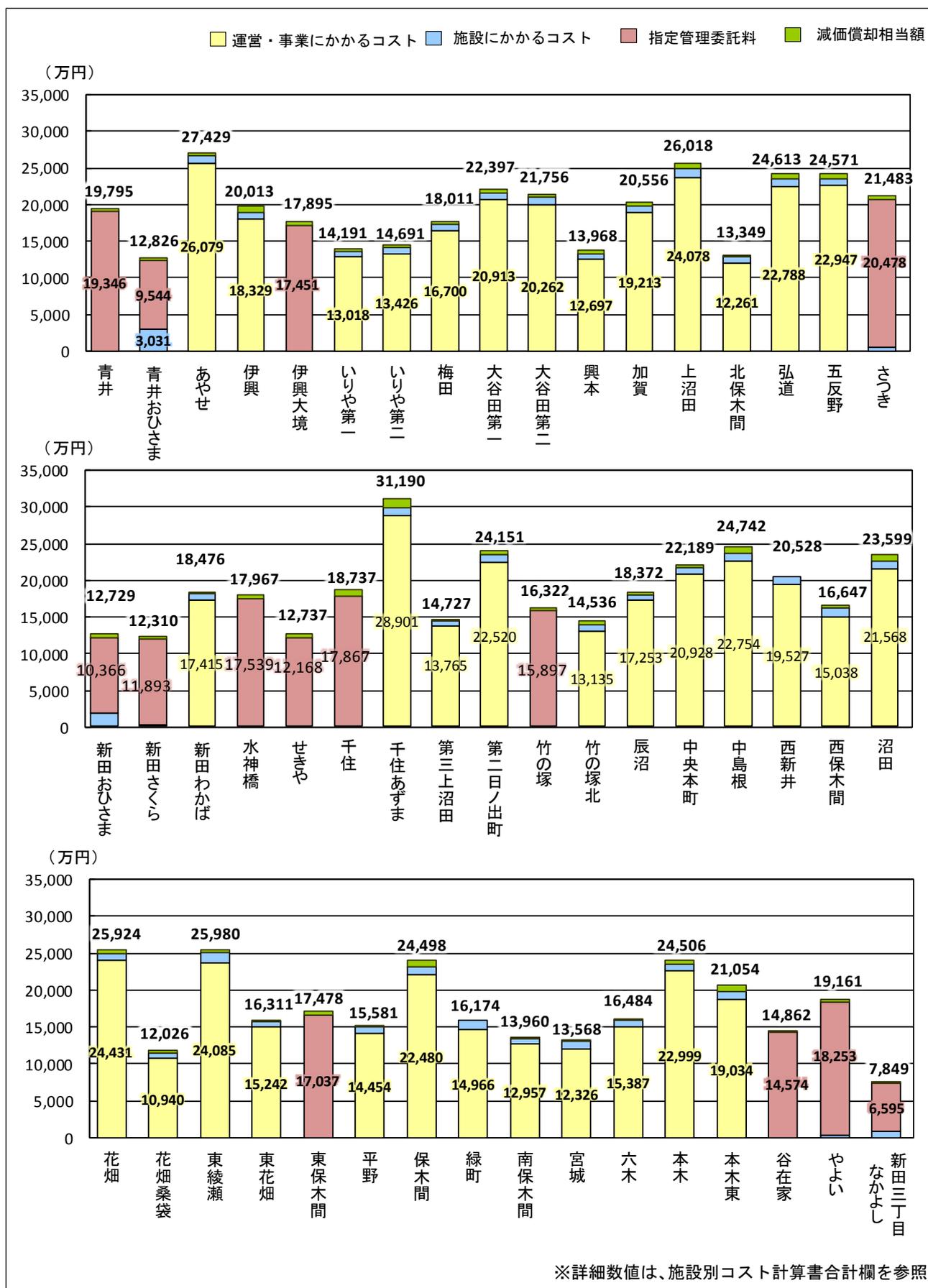
## (5) ア 保育園・こども園

表 施設別コスト計算書&lt;こども園&gt;

(円)

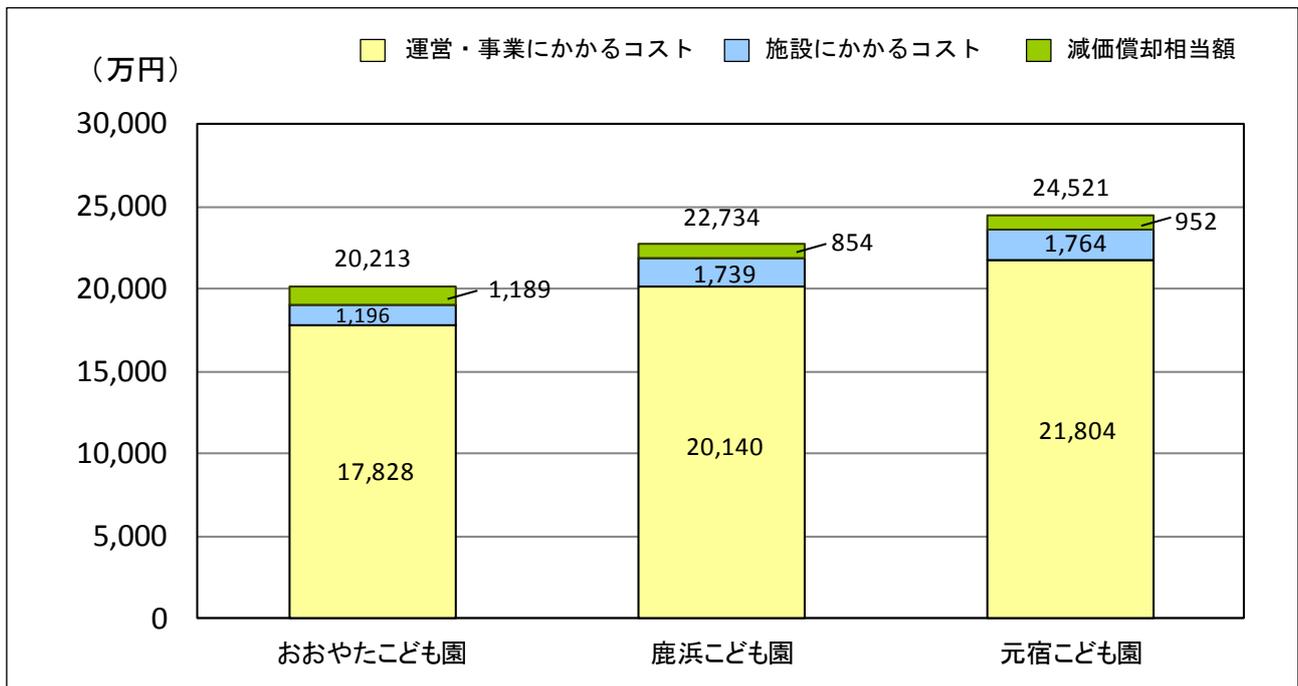
【費用の部】		おおやたこども園	鹿浜こども園	元宿こども園	合計
① 施設にかかるコスト	非常勤職員人件費	3,408,000	6,816,000	6,816,000	17,040,000
	修繕費	192,466	1,400,328	439,009	2,031,803
	改修費	2,412,288	683,640	2,100,265	5,196,193
	光熱水費	5,643,253	8,102,245	7,891,554	21,637,052
	委託費	305,298	390,305	390,365	1,085,968
① 施設にかかるコスト		11,961,305	17,392,518	17,637,193	46,991,016
② 運営・事業にかかるコスト	一般職員人件費	123,915,000	123,915,000	140,437,000	388,267,000
	非常勤職員人件費	27,696,000	36,780,000	35,088,000	99,564,000
	修繕費	70,092	112,302	299,764	482,158
	委託費	15,133,428	27,661,428	28,220,688	71,015,544
	使用料及び賃借料	190,080	190,080	190,080	570,240
	車両・備品購入費	1,474,200	486,000	839,293	2,799,493
	負担金補助及び交付金	0	0	39,600	39,600
	その他物件費	9,801,179	12,258,815	12,929,159	34,989,153
② 運営・事業にかかるコスト		178,279,979	201,403,625	218,043,584	597,727,188
③ 指定管理委託料		0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		190,241,284	218,796,143	235,680,777	644,718,204
II. 現金収支を伴わないもの					
④ 減価償却相当額		11,891,000	8,540,532	9,524,658	29,956,190
【収入の部】					
⑤ 収入の合計	分担金及び負担金(収入)	16,950,561	23,128,803	23,445,636	63,525,000
⑤ 収入の合計		16,950,561	23,128,803	23,445,636	63,525,000
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		202,132,284	227,336,675	245,205,435	674,674,394
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		185,181,723	204,207,872	221,759,799	611,149,394

図 施設別トータルコスト<保育園>



(5) ア 保育園・こども園

図 施設別トータルコスト<こども園>

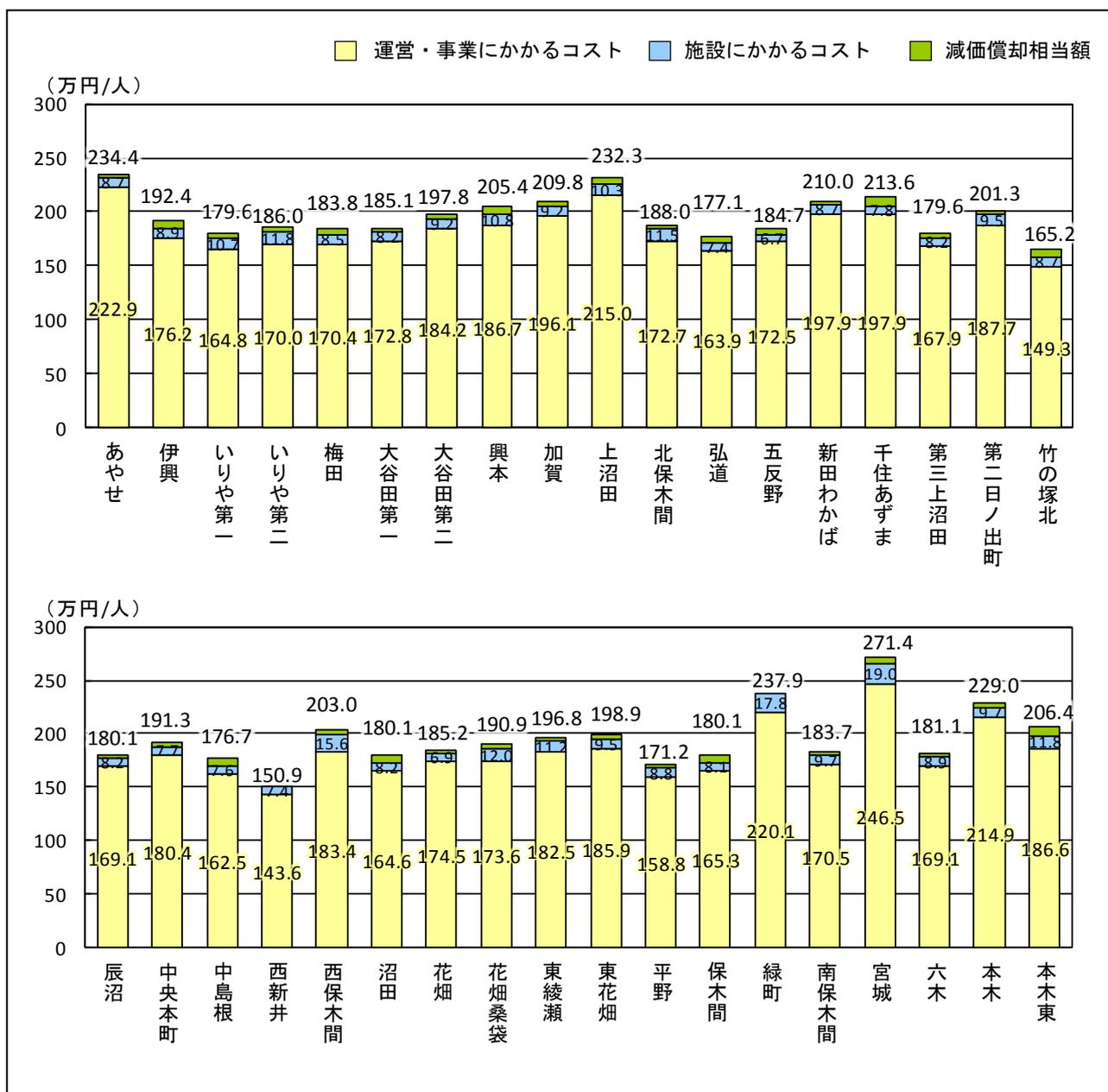


② 評価・分析

■ 園児1人当たりにかかるコスト（区直営保育園）

区直営保育園の園児数とトータルコストから園児1人当たりにかかるコストを算出すると、西新井保育園の150.9万円/人から宮城保育園271.4万円/人となっています。

図 直営保育園 園児1人当たりにかかるコスト



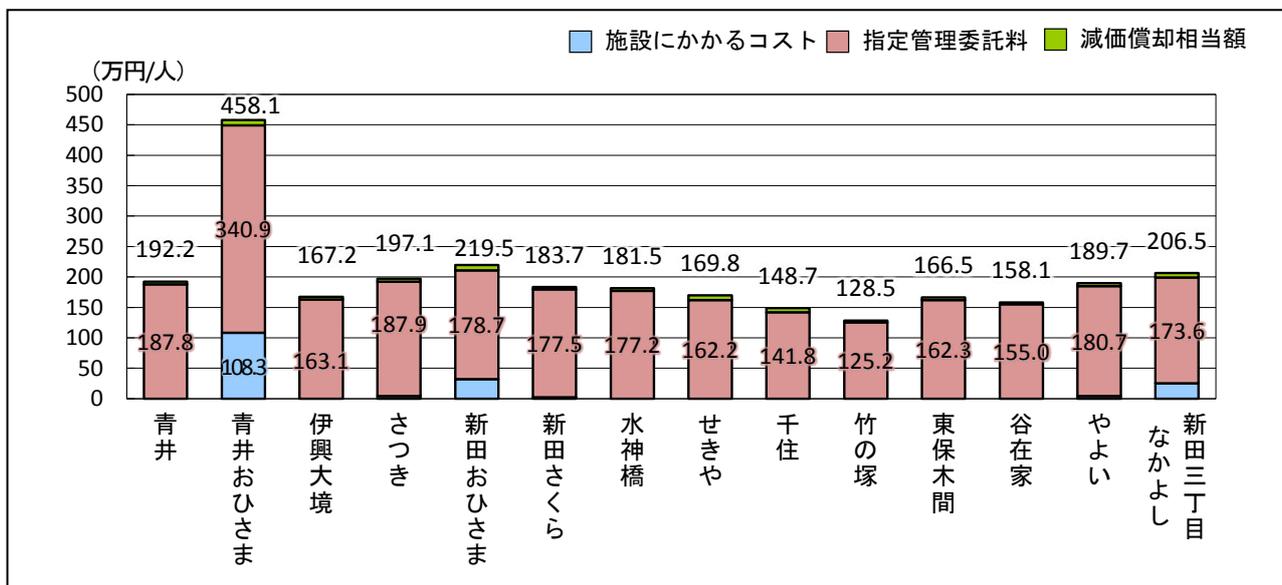
※園児1人当たりにかかるコストは入所園児数により試算しています。

(5) ア 保育園・こども園

■ 園児 1 人当たりにかかるコスト（公設民営保育園）

公設民営保育園の園児 1 人当たりにかかるコストを算出すると、竹の塚保育園の 128.5 万円/人から青井おひさま保育園の 458.1 万円/人となっています。

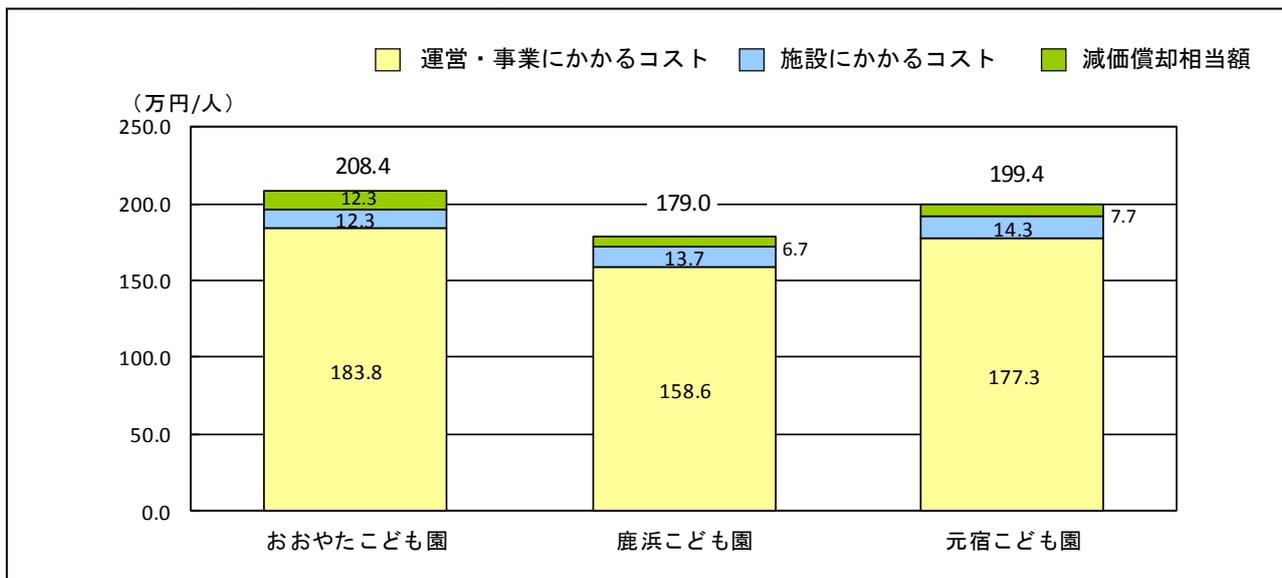
図 公設民営保育園 園児 1 人当たりにかかるコスト



■ 園児 1 人当たりにかかるコスト（こども園）

こども園の園児数とトータルコストから園児 1 人当たりにかかるコストは、おおやたこども園 208.4 万円/人、鹿浜こども園 179.0 万円/人、元宿こども園 199.4 万円/人となっています。

図 こども園 園児 1 人当たりにかかるコスト

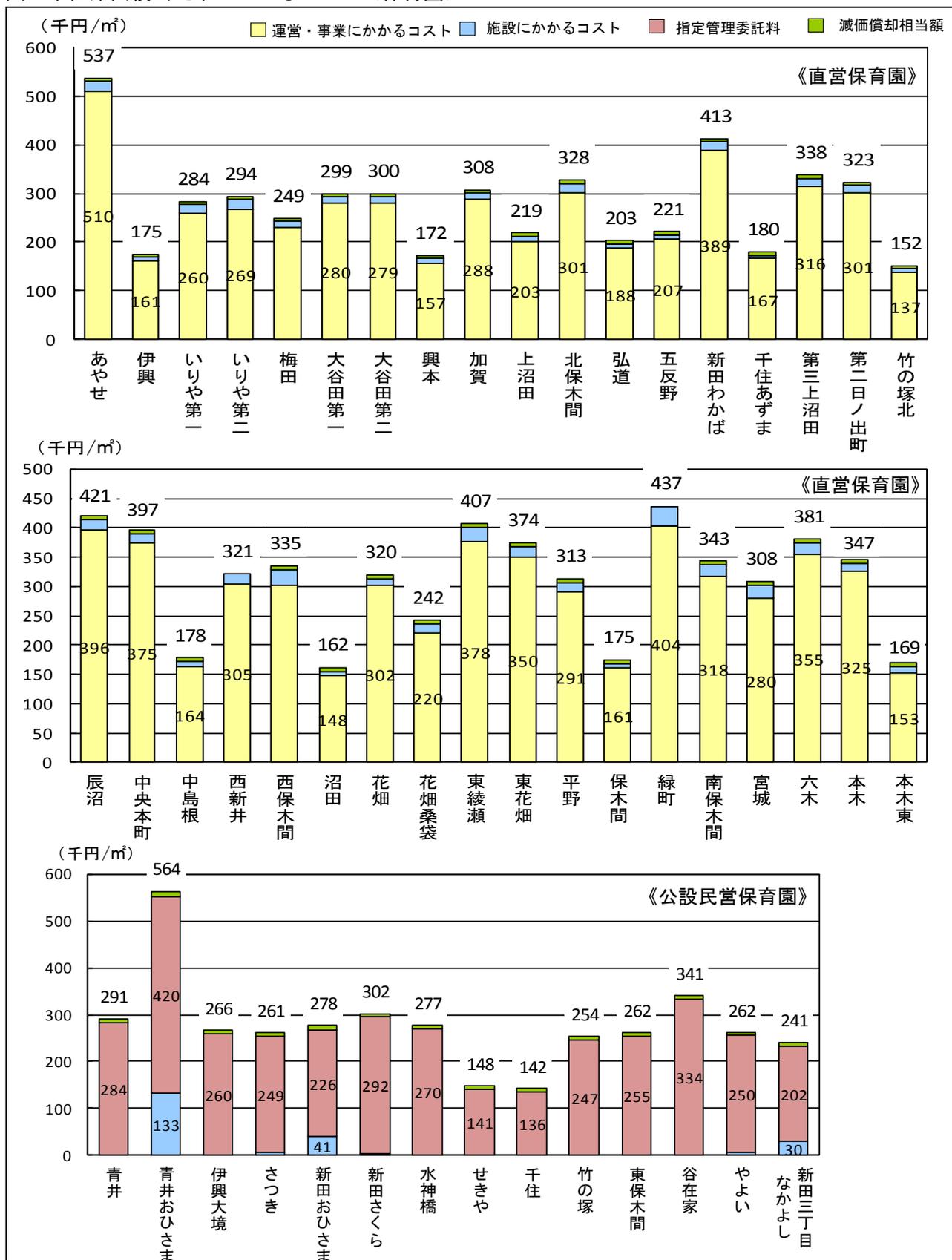


■ 単位床面積当たりにかかるコスト

【保育園】

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、以下のとおりです。

図 単位床面積当たりにかかるコスト<保育園>



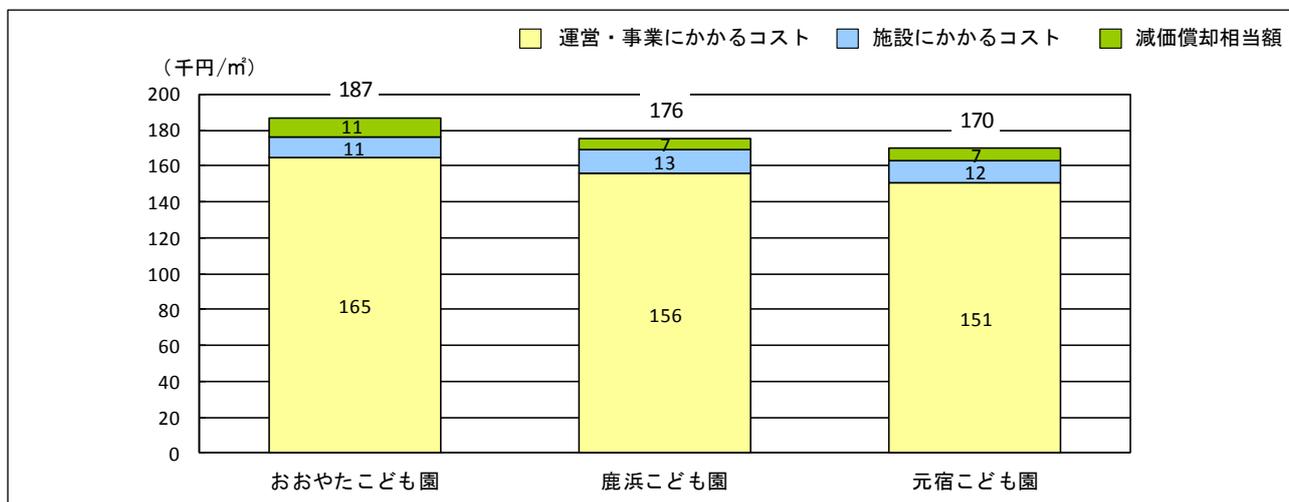
(5) ア 保育園・こども園

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

【こども園】

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、以下のとおりです。

図 単位床面積当たりにかかるコスト<こども園>



③ 利用状況

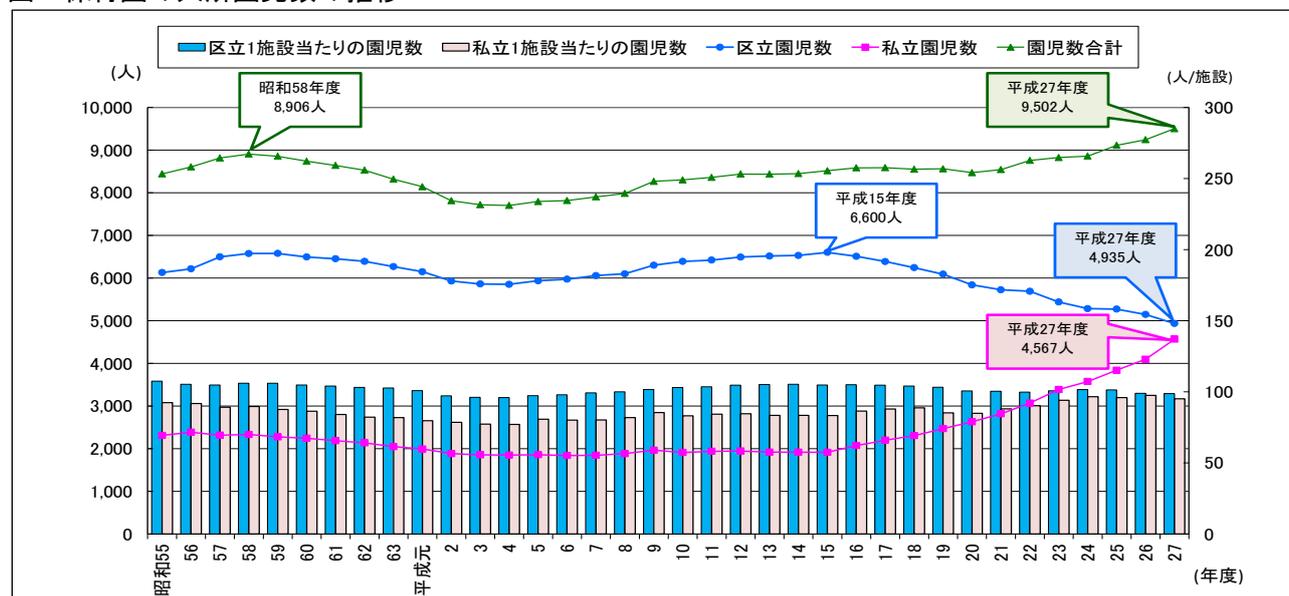
■ 入所園児数の推移

【保育園】

区立保育園の過去 30 年間の園児数推移をみると、園児数合計は昭和 58 年度をピークに区立保育園の民営化推進に伴い、減少傾向にありましたが、平成 5 年度頃から増加に転じ、平成 25 年度には昭和 58 年度を上回る園児数となりました。

区立・私立別でみると、区立保育園の園児数は民営化により減少傾向にある一方、私立保育園の園児数は平成 16 年度頃から増加傾向にあり、平成 27 年度の私立保育園園児数は平成 15 年度約 2 倍となっています。区では保育園の計画的な民営化を進めており、引き続き民営化を継続していきます。

図 保育園の入所園児数の推移



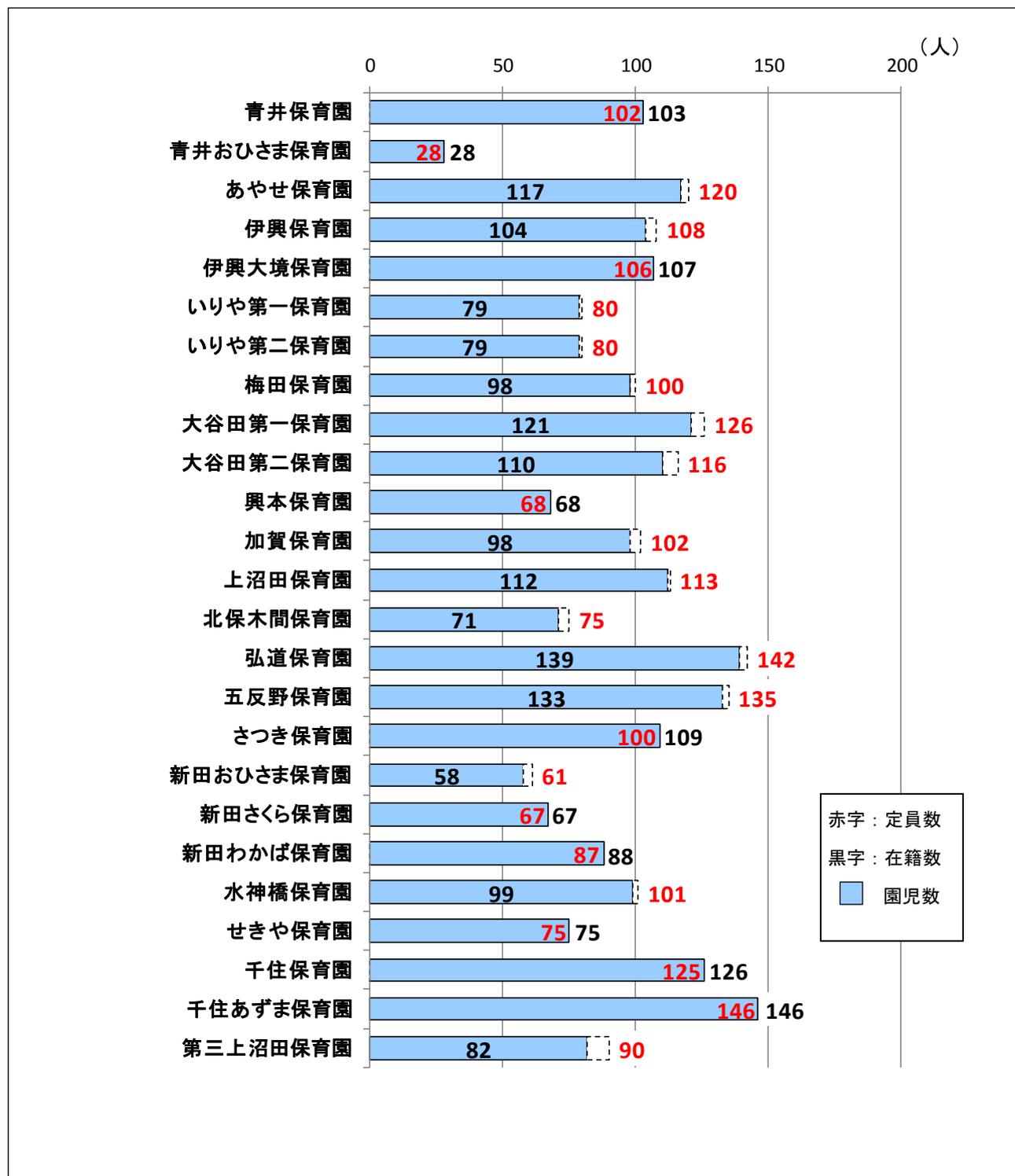
(出典：数字で見る足立)

■ 施設別の入園状況

【保育園】

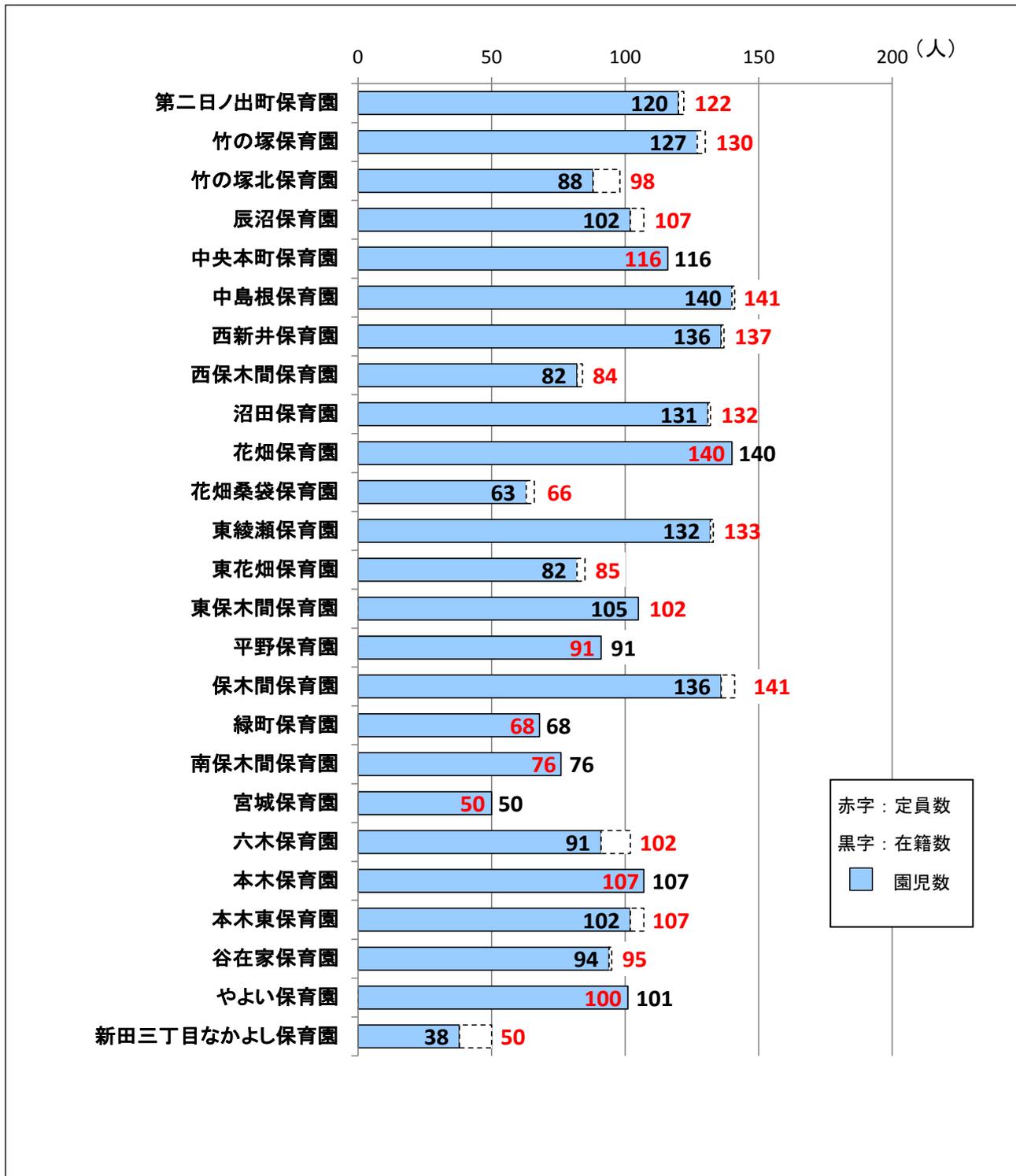
区立及び公設民営保育園の施設別の定員数と園児数より入園率をみると、新田三丁目なかよし保育園の76%からさつき保育園の109%となっています。

図 保育園の定員及び園児数（平成27年度）



(5) ア 保育園・こども園

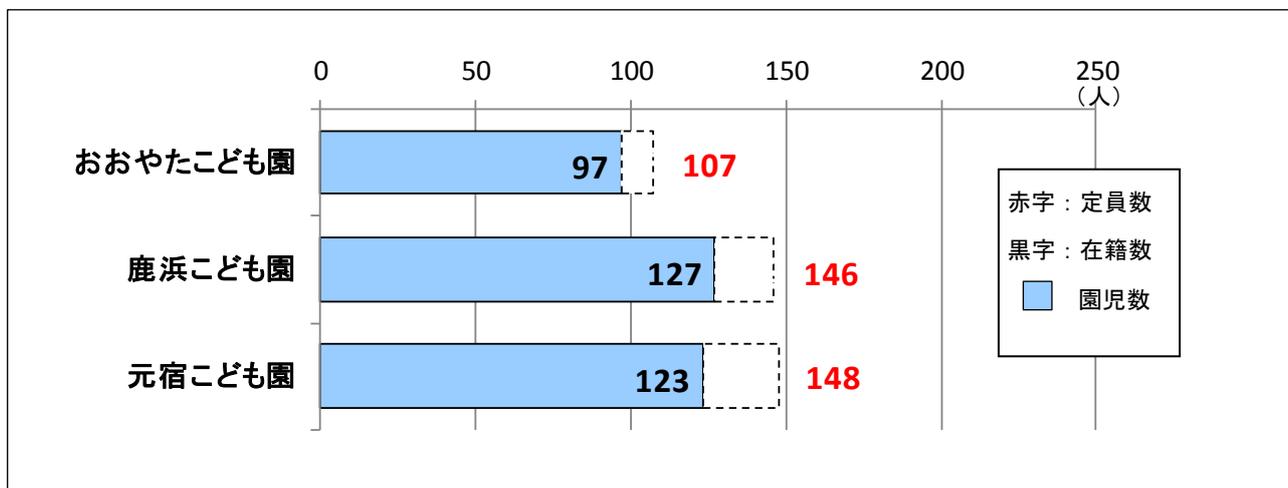
図 保育園の定員及び園児数（平成 27 年度）



## 【こども園】

平成 27 年 4 月 1 日時点のこども園の入園率は 87%です。

図 こども園の定員及び園児数（平成 27 年度）



## ④ 設置目的

施設名	設置目的
保育園	児童福祉法第 24 条第 1 項に基づく保育が必要な児童等に対し、保育所における保育その他適切な保育を行うことを目的とします。
こども園	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の規定に基づき、小学校就学前の幼児に対して一貫した保育及び教育を実施することを目的とします。

## ⑤ 運営時間

施設名	開館時間
保育園	月曜から土曜日の午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分 (午後 8 時 30 分まで延長保育を行っている施設もあります。また、保育時間及び延長保育の有無は施設により異なります。)
こども園	月曜から土曜日の午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分 (4・5 歳児を対象とした短時間利用は、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 2 時までで、預かり保育(午後 2 時から午後 5 時まで)も行っています。)

(5) ア 保育園・こども園

⑥ 配置状況

図 保育園位置図

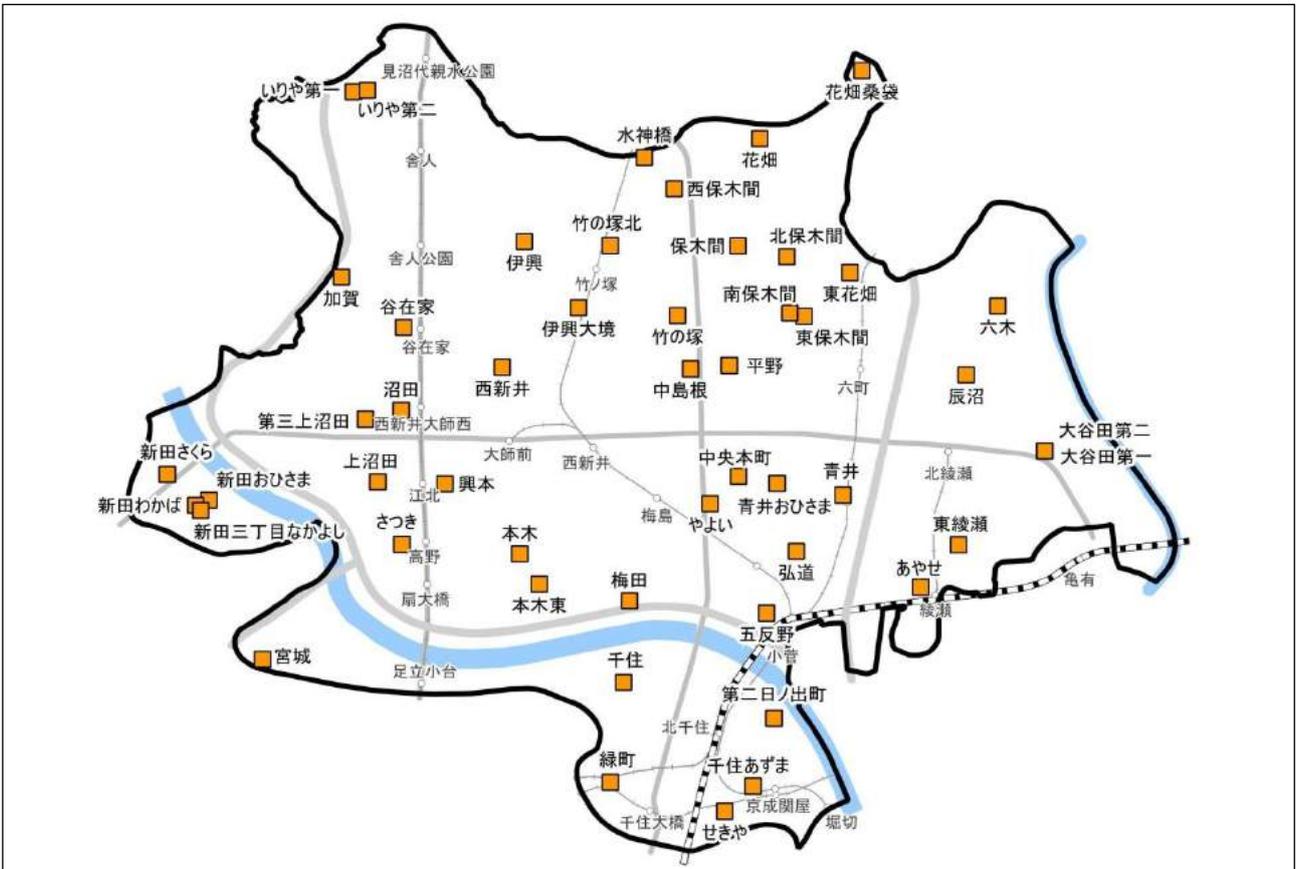


図 こども園位置図



## ⑦ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)【保育園】

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	入所園児数(H27.4.1現在)						計 A	認可 定員 (人) B	備考
						0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳			
1 青井	青井3丁目24-2-101	680.12	昭和61	29	RC	10	13	20	20	20	20	103	102	(都)[公設民営]
2 青井おひさま	青井1丁目7-6	227.49	平成24	3	軽S	6	10	12	0	0	0	28	28	[認可外公設民営]
3 あやせ	東綾瀬1丁目5-17	511.13	昭和42	48	RC	15	18	20	22	20	22	117	120	(区)
4 伊興	伊興4丁目11-25	1,140.66	昭和44	46	RC	9	11	13	21	24	26	104	108	
5 伊興大境	西竹の塚1丁目10-5-101	672.41	昭和57	33	RC	10	17	18	20	21	21	107	106	(都)[公設民営]
6 いりや第一	舎人6丁目12-5-101	500.00	昭和51	39	RC	0	10	14	18	18	19	79	80	(都)
7 いりや第二	舎人6丁目11-2-101	500.00	昭和51	39	RC	0	10	14	18	18	19	79	80	(都)
8 梅田	梅田4丁目2-19	722.15	昭和49	41	RC	0	15	19	22	22	20	98	100	
9 大谷田第一	大谷田1丁目1-5-101	748.10	昭和51	39	RC	10	17	20	24	24	26	121	126	(UR)
10 大谷田第二	大谷田1丁目1-9-101	725.61	昭和51	39	RC	7	14	19	23	23	24	110	116	(UR)
11 興本	扇3丁目24-14	810.51	平成27	0	RC	0	8	12	16	16	16	68	68	(都)
12 加賀	加賀2丁目31-5-101	667.22	昭和56	34	RC	9	14	18	19	19	19	98	102	(都)
13 上沼田	江北4丁目17-20-101	1,188.58	平成22	5	RC	11	15	20	22	22	22	112	113	(都) 子育てサロン併設
14 北保木間	南花畑5丁目15-3-101	407.00	昭和43	47	RC	0	9	12	15	18	17	71	75	(都)
15 弘道	弘道1丁目7-1	1,213.34	昭和46	44	RC	10	18	22	30	30	29	139	142	
16 五反野	足立2丁目26-14	1,110.83	昭和45	45	RC	11	18	23	25	27	29	133	135	(区)職員寮併設
17 さつき	江北1丁目15-3-103	823.70	平成10	17	RC	10	15	18	22	22	22	109	100	(都)[公設民営]
18 新田おひさま	新田3丁目14-3	458.11	平成23	4	軽S	0	9	12	13	13	11	58	61	[認可外公設民営]
19 新田さくら	新田1丁目14-12-101	407.00	昭和44	46	RC	6	10	12	13	13	13	67	67	(都)[公設民営]
20 新田わかば	新田3丁目8-20	447.50	昭和41	49	RC	0	14	16	18	20	20	88	87	
21 水神橋	西保木間4丁目12-4	648.50	昭和51	39	RC	10	15	16	17	20	21	99	101	(公社)[公設民営]
22 せきや	千住関屋町16-1	862.45	昭和46	44	RC	0	15	15	15	15	15	75	75	(区)[公設民営]
23 千住	千住元町16-9	1,318.45	昭和51	39	RC	0	17	28	27	28	26	126	125	(区)[公設民営]
24 千住あずま	千住東2丁目20-17	1,734.77	昭和46	44	RC	10	22	27	28	29	30	146	146	
25 第三上沼田	江北7丁目12-3-101	435.92	昭和45	45	RC	0	9	15	15	21	22	82	90	(都)
26 第二日ノ出町	日ノ出町19-3	747.85	昭和56	34	RC	10	16	22	23	24	25	120	122	
27 竹の塚	竹の塚3丁目7-33-106	643.81	平成3	24	RC	0	15	26	27	29	30	127	130	(UR)[公設民営]
28 竹の塚北	竹の塚6丁目18-2	958.16	平成25	2	SRC	0	10	17	21	22	18	88	98	(都)

※赤字は築30年以上の施設

(都)：都営住宅内併設 (UR)：UR住宅内あるいは同敷地内に併設 (区)：区施設併設

(5) ア 保育園・こども園

表 施設一覧 (50 音順)【保育園】

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	入所園児数 (H.27.4.1現在)						認可定員 (人)		備考
						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計 A	B	
29 辰沼	辰沼1丁目2-7-101	435.90	昭和46	44	RC	0	16	15	24	24	23	102	107	(都)
30 中央本町	中央本町4丁目11-39	558.24	昭和43	47	RC	9	12	21	23	25	26	116	116	
31 中島根	島根2丁目33-2	1,390.73	昭和48	42	RC	10	20	27	26	28	29	140	141	
32 西新井	西新井2丁目21-2	640.00	昭和38	52	RC	0	18	29	30	29	30	136	137	
33 西保木間	西保木間2丁目17-5-101	497.25	昭和48	42	RC	0	10	16	17	20	19	82	84	(都)
34 沼田	江北6丁目29-1	1,456.77	昭和47	43	RC	9	15	25	27	28	27	131	132	(UR)建替え予定あり H28から解体予定
35 花畑	花畑5丁目12-7	808.98	昭和41	49	RC	10	18	26	26	30	30	140	140	(UR)H28解体予定
36 花畑桑袋	花畑8丁目5-15-101	497.25	昭和49	41	RC	0	9	11	13	14	16	63	66	(都)
37 東綾瀬	東綾瀬2丁目12-13	637.88	昭和44	46	RC	12	19	25	25	25	26	132	133	(UR)
38 東花畑	南花畑4丁目11-6-101	435.92	昭和47	43	RC	0	12	15	16	19	20	82	85	(都)
39 東保木間	東保木間1丁目25-2-101	667.23	昭和57	33	RC	12	18	19	19	18	19	105	102	(都)【公設民営】
40 平野	平野3丁目18-1-101	497.25	昭和49	41	RC	0	15	16	20	20	20	91	91	(都)
41 保木間	保木間3丁目25-9	1,397.49	昭和49	41	RC	9	17	20	28	31	31	136	141	
42 緑町	千住緑町2丁目17-11	370.41	昭和38	52	RC	0	12	14	14	14	14	68	68	
43 南保木間	東保木間1丁目5-16-101	407.00	昭和44	46	RC	0	10	15	17	17	17	76	76	(都)
44 宮城	宮城1丁目5-6-101	440.05	昭和46	44	RC	0	10	10	10	10	10	50	50	(都)
45 六木	六木1丁目5-10-101	432.92	昭和46	44	RC	0	15	15	21	18	22	91	102	(都)
46 本木	本木東町18-17	706.60	昭和52	38	RC	10	17	20	20	20	20	107	107	
47 本木東	本木2丁目13-11	1,243.89	昭和50	40	RC	10	14	18	21	20	19	102	107	
48 谷在家	谷在家3丁目22-10-101	435.92	昭和45	45	RC	0	9	15	22	24	24	94	95	(都)【公設民営】
49 やよい	中央本町1丁目9-3-105	730.94	平成9	18	RC	9	13	18	20	22	19	101	100	(都)【公設民営】
50 新田三丁目 なかよし	新田3丁目17-14	326.30	平成25	2	軽S	0	0	0	11	19	8	38	50	【認可外公設民営】 10年リース後解体
合計		36,326.29				254	683	890	1,004	1,053	1,051	4,935	5,033	

※赤字は築30年以上の施設

(都) : 都営住宅内併設 (UR) : UR住宅内あるいは同敷地内に併設 (区) : 区施設併設

## (5) ア 保育園・こども園

表 施設一覧 (50 音順)【こども園】

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る建 物)	入所園児数 (H.27.4.1現在)							認可 定員 (人) B	備考
						0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計 A		
1 おおやたこども園	大谷田2丁目1-9	1,081.00	平成16	11	軽S	0	13	14	15	29	26	97	107	
2 鹿浜こども園 第一園舎	鹿浜5丁目25-11	858.10	昭和53	37	RC	0	0	0	0	14	27	41	146 (都)	
3 鹿浜こども園 第二園舎	鹿浜5丁目24-4-101	435.92	昭和47	43	RC	0	10	13	18	23	22	86		
4 元宿こども園 第一園舎	千住桜木1丁目16-2	1,035.53	昭和44	46	RC	0	0	0	0	13	17	30	148 (都)	
5 元宿こども園 第二園舎	千住元町34-3-101	407.60	昭和46	44	RC	0	13	18	20	22	20	93		
合計		3,818.15				0	36	45	53	101	112	347	401	

※赤字は築30年以上の施設  
(都)：都営住宅内併設

(5) イ 子育てサロン

イ 子育てサロン

区では、子育て支援施設として子育てサロンを63カ所で開催しています。このうち、住区センター児童館等との共用で開催している子育てサロンを除くと、11施設を設置しています。11施設は学校、保育園等に併設された複合施設となっています。

《概要シート》

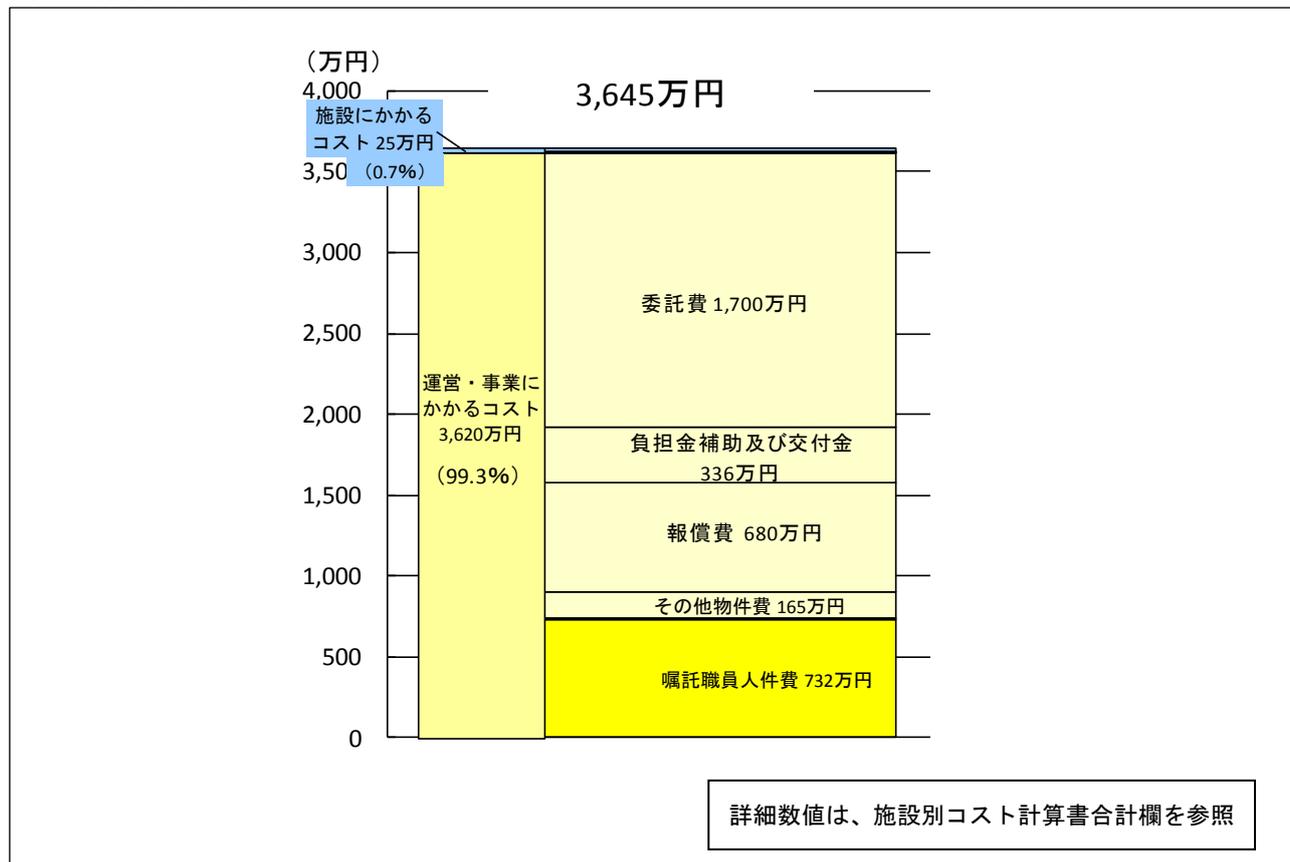
施設概要	施設数	11 施設	管理形態	直営(6)、委託運営(4)、 区の補助金による運営(1)
	主な室名			
	平均開館日数		総延床面積	864.70㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	163,641人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	25万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	3,620万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	0万円		
	⑤ 収入	0万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	3,645万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)	223円/人		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	42,153円/㎡		
備考				

① コスト状況

子育てサロン 11 施設の年間トータルコストは、3,645 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 25 万円 (0.7%) 運営・事業にかかるコストは 3,620 万円 (99%) となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

子育てサロンの運営は、区直営による運営が 6 施設、委託による運営が 4 施設、区からの補助金による運営が 1 施設となっています。

(5) イ 子育てサロン

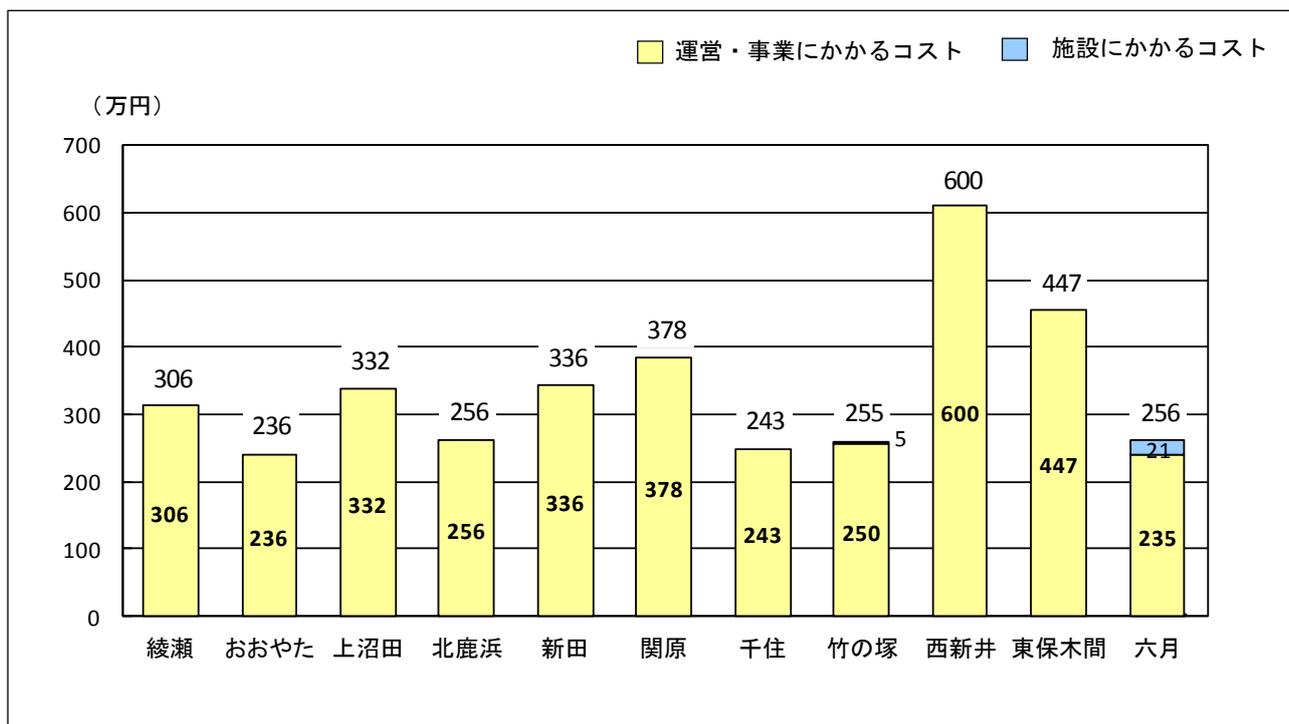
表 施設別コスト計算書 (円)

【費用の部】	綾瀬	おおやた	上沼田	北鹿浜	新田	関原
光熱水費	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	0
嘱託職員人件費	1,734,636	1,416,576	0	1,403,556	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	21,600
委託費	0	0	3,324,000	0	0	3,240,000
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	3,360,000	0
報償費	1,076,600	887,600	0	851,600	0	0
その他物件費	250,100	51,680	0	308,848	0	518,871
運営費	3,061,336	2,355,856	3,324,000	2,564,004	3,360,000	3,780,471
委託費	0	0	0	0	0	0
事業費	0	0	0	0	0	0
② 運営・事業にかかるコスト	3,061,336	2,355,856	3,324,000	2,564,004	3,360,000	3,780,471
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	3,061,336	2,355,856	3,324,000	2,564,004	3,360,000	3,780,471
④ 減価償却相当額	0	0	0	0	0	0
【収入の部】						
⑤ 収入の合計	0	0	0	0	0	0
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	3,061,336	2,355,856	3,324,000	2,564,004	3,360,000	3,780,471
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	3,061,336	2,355,856	3,324,000	2,564,004	3,360,000	3,780,471

表 施設別コスト計算書 (円)

【費用の部】	千住	竹の塚	西新井	東保木間	六月	合計
光熱水費	0	0	0	0	205,638	205,638
使用料及び賃借料	0	48,000	0	0	0	48,000
① 施設にかかるコスト	0	48,000	0	0	205,638	253,638
嘱託職員人件費	1,406,346	1,363,566	0	0	0	7,324,680
修繕費	0	0	0	0	0	21,600
委託費	0	0	6,000,000	4,440,000	0	17,004,000
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	3,360,000
報償費	943,400	880,400	0	0	2,162,000	6,801,600
その他物件費	81,226	258,160	0	29,546	154,706	1,653,137
運営費	2,430,972	2,502,126	6,000,000	4,469,546	2,316,706	36,165,017
委託費	0	0	0	0	35,100	35,100
事業費	0	0	0	0	35,100	35,100
② 運営・事業にかかるコスト	2,430,972	2,502,126	6,000,000	4,469,546	2,351,806	36,200,117
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	2,430,972	2,550,126	6,000,000	4,469,546	2,557,444	36,453,755
④ 減価償却相当額	0	0	0	0	0	0
【収入の部】						
⑤ 収入の合計	0	0	0	0	0	0
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	2,430,972	2,550,126	6,000,000	4,469,546	2,557,444	36,453,755
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	2,430,972	2,550,126	6,000,000	4,469,546	2,557,444	36,453,755

図 施設別トータルコスト

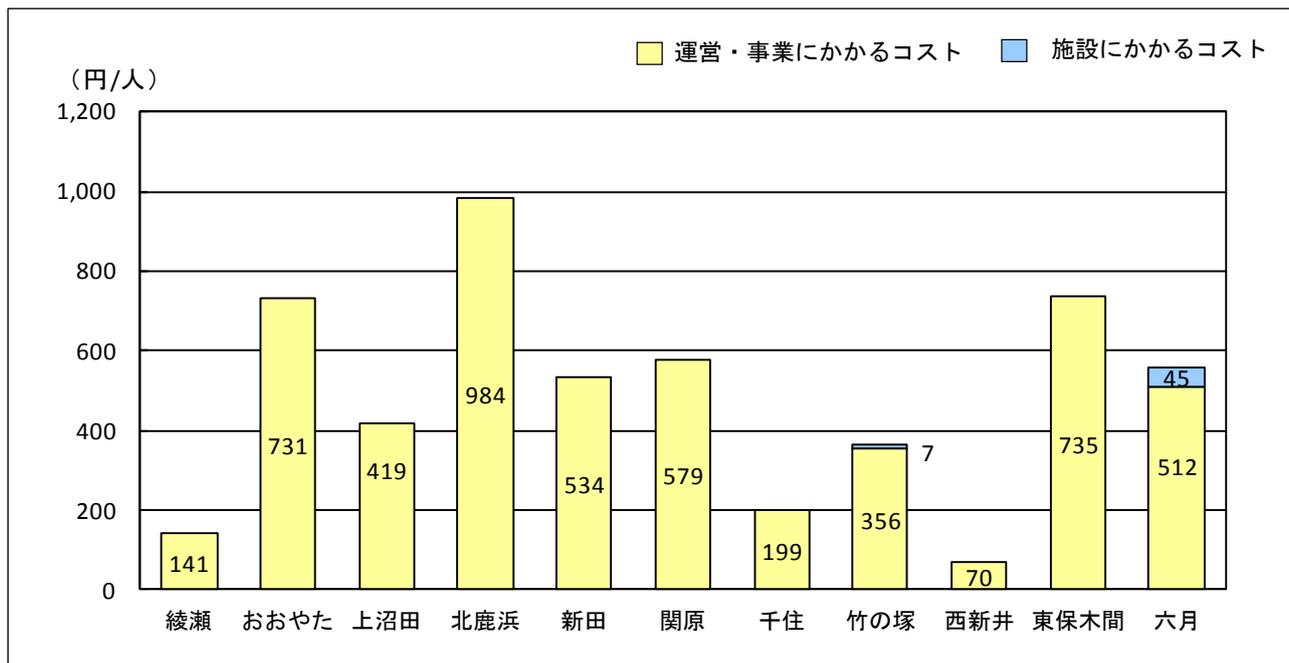


② 評価・分析

■ 利用者1人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者数1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は223円/人です。

図 利用者1人当たりにかかるコスト

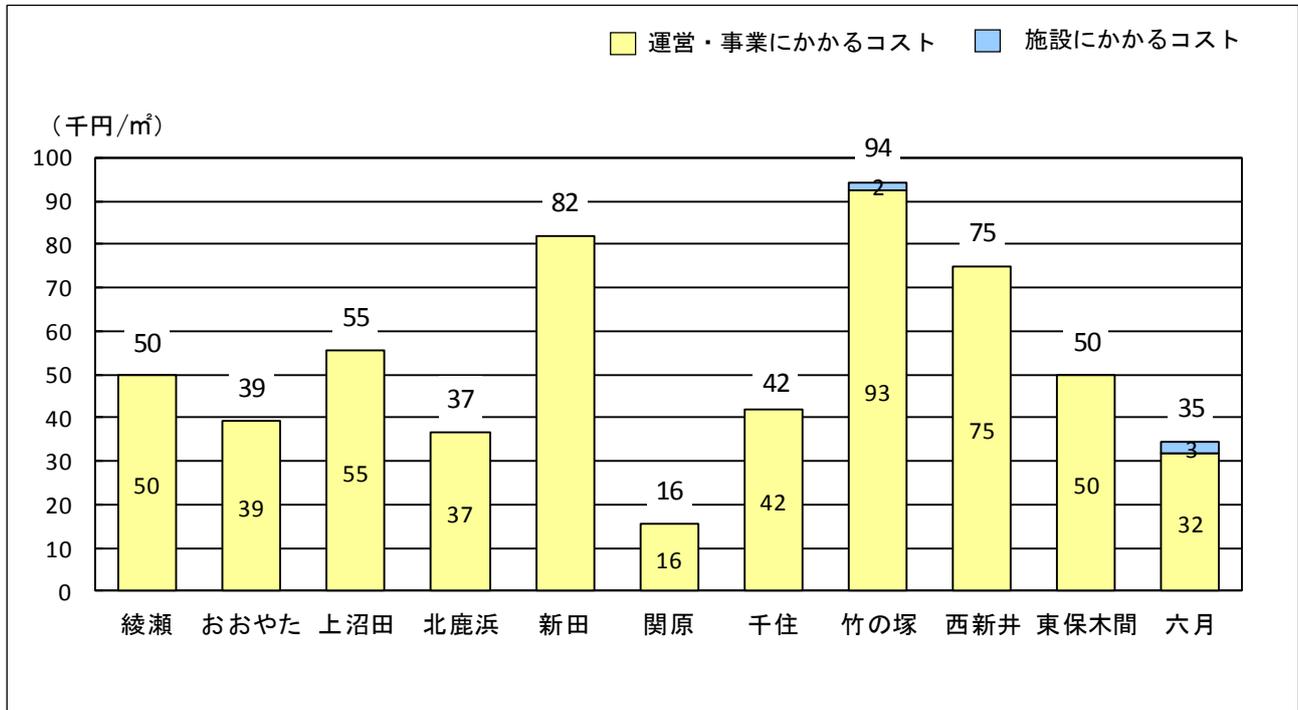


(5) イ 子育てサロン

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 42,153 円/m<sup>2</sup>です。

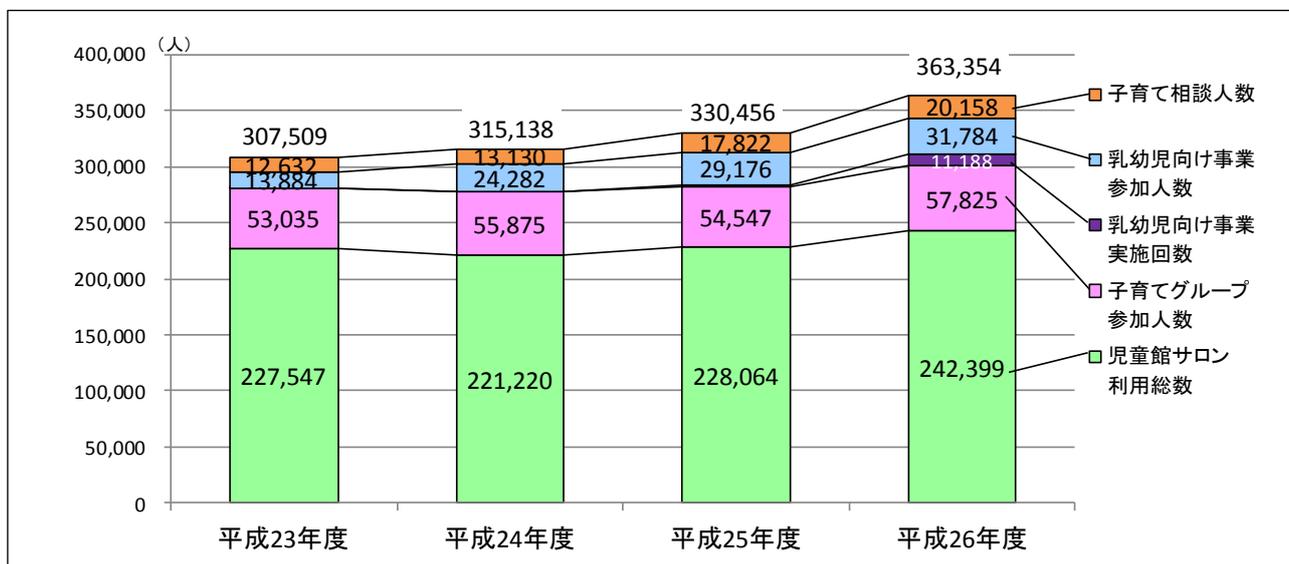
図 単位床面積当たりにかかるコスト



③ 利用状況

直近4年間の子育てサロン全体(63カ所)の利用状況をみると、乳幼児向け事業参加人数及び子育て相談人数が増加傾向にあります。

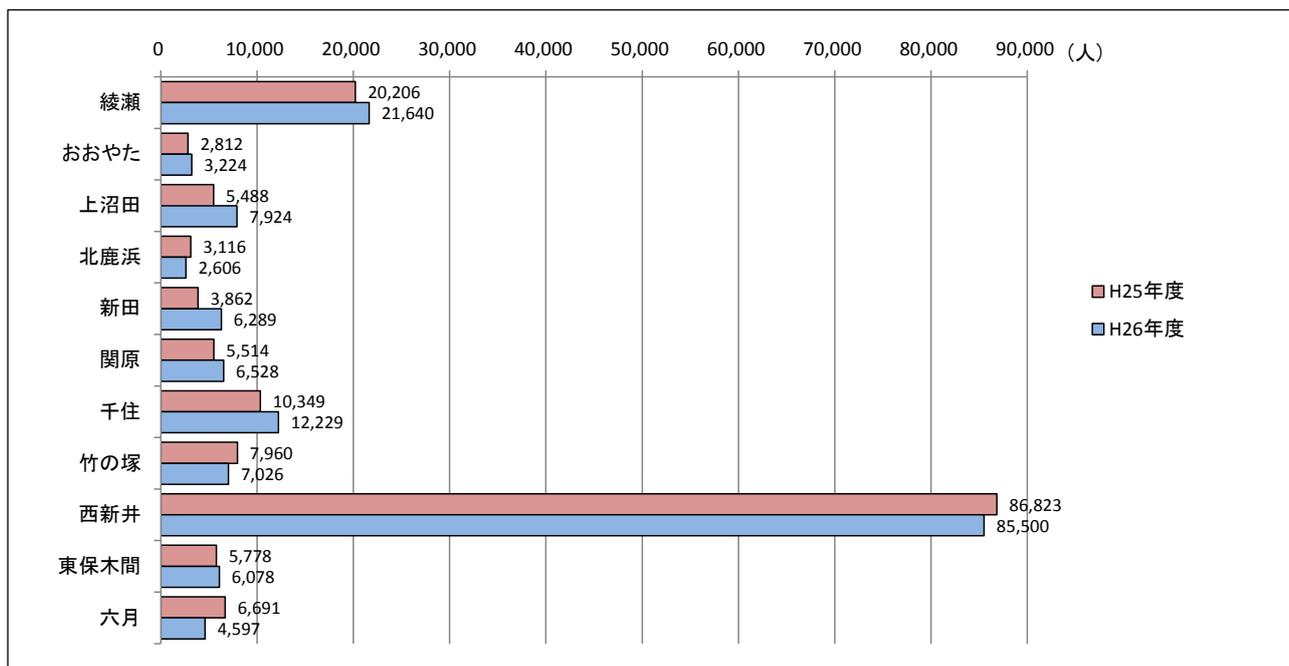
図 子育てサロン事業別年間利用者数の推移



(出典：数字で見る足立)

子育てサロン11施設の利用者数は、ギャラクシティ内に併設されている子育てサロン西新井の利用者数が最も多くなっています。平成25年度から平成26年度の利用者数をみると、多くの施設で利用者数が増加しています。

図 子育てサロン施設別年間利用者数



(5) イ 子育てサロン

④ 設置目的・事業内容

設置目的	事業内容
・0～3 歳児の子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</li> <li>・子育て等に関する相談、援助の実施</li> <li>・地域の子育て関連情報の提供</li> <li>・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施</li> </ul>

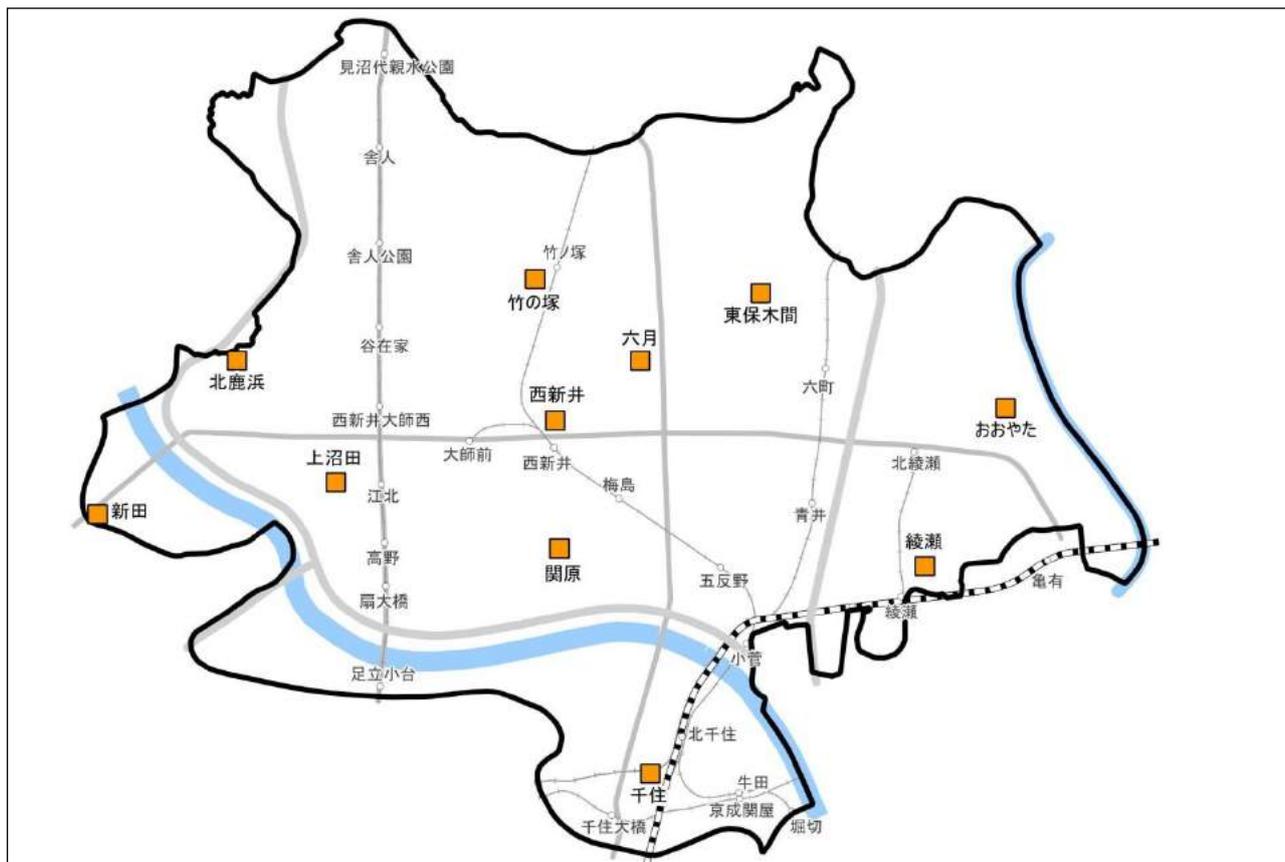
⑤ 開設時間

子育てサロンの開設時間は、午前 10 時から午後 4 時までです。(子育てサロン西新井は午前 9 時から午後 6 時まで) 休館日は施設により異なります。

サロン名	開設時間	休館日
子育てサロン綾瀬	午前 10 時から午後 4 時	日曜・祝日・年末年始
子育てサロンおおやた		土、日曜・祝日・年末年始
子育てサロン上沼田		
子育てサロン北鹿浜		土、日曜・祝日・年末年始 その他北鹿浜小学校休校日
子育てサロン新田		土、日曜・祝日・年末年始
子育てサロン関原		
子育てサロン千住		
子育てサロン竹の塚		
子育てサロン西新井	午前 9 時から午後 6 時	8 月を除く毎月第 2 月曜日 (その日が祝日のときは次の平日) その他ギャラクシティの休館
子育てサロン東保木間	午前 10 時から午後 4 時	毎月第 2 月曜、年末年始 その他総合スポーツセンター休館日
子育てサロン六月		日曜・祝日・年末年始

## ⑥ 配置状況

図 子育てサロン位置図



## ⑦ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる建 築)	複合・併設施設				備考
						学校	保育園	老人 ホーム	その他	
1 子育てサロン綾瀬	東綾瀬1丁目28-7	61.70	昭和63	27	S				●	東綾瀬住区センター内
2 子育てサロンおおやた	大谷田2丁目1-10	60.00	昭和54	36	RC	●				中川東小学校内
3 子育てサロン上沼田	江北4丁目17-20-101	60.00	平成22	5	RC		●			上沼田保育園内
4 子育てサロン北鹿浜	鹿浜5丁目27-1	70.00	昭和47	43	RC	●				北鹿浜小学校内
5 子育てサロン新田	新田2丁目1-10	41.00	平成19	8			●			私立新田保育園内
6 子育てサロン関原	関原2丁目10-10	243.00	昭和41	49	RC				●	中部地域会議室内(地域包括支援センター関原)
7 子育てサロン千住	千住仲町19-3	58.00	平成11	16	S				●	千住庁舎内
8 子育てサロン竹の塚	西竹の塚1丁目11-2	27.00	平成16	11	RC				●	竹の塚保健総合センター内 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所)
9 子育てサロン西新井	栗原1丁目3-1	80.00	平成5	22	SRC				●	ギャラクシティ内 (こども未来創造館)
10 子育てサロン東保木間	東保木間2丁目27-1	90.00	昭和53	37	SRC				●	総合スポーツセンター内
11 子育てサロン六月	六月1丁目6-1	74.00	平成6	21	RC			●		特別養護老人ホーム六月内
合計		864.70								

※赤字は築30年以上の施設

※住区センター児童館等との共用で実施している子育てサロンを除く

(5) ウ こども支援センターげんき

ウ こども支援センターげんき

区では、子育て支援施設として、こども支援センターげんきとげんき別館の2施設を設置しています。

《概要シート》

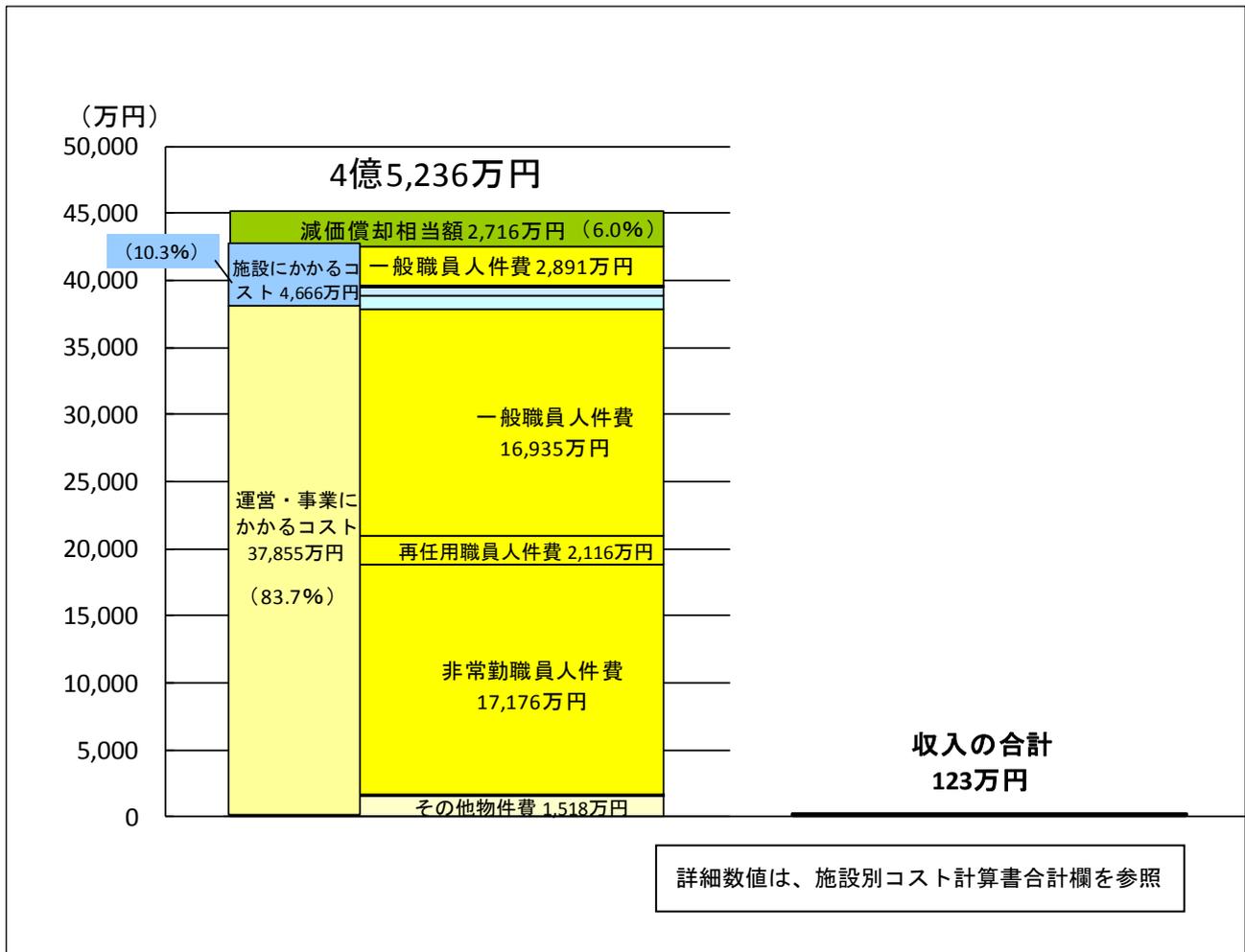
施設概要	施設数	2 施設	管理形態	直営(2)
	主な室名	相談諸室、適応指導教育、研修室、事務室 等		
	平均開館日数	293 日	総延床面積	3,558.41㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	72,161人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	4,666万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	37,855万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	2,716万円		
	⑤ 収入	123万円		
	⑥ トータルコスト(⑥=①+②+③+④)	45,237万円		
	利用者1人当たりのコスト(⑥÷年間利用者数)	6,269円/人		
	単位床面積当たりのコスト(⑥÷総延床面積)	127,127円/㎡		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間利用者数は、各相談件数等の延べ人数で計上している。</li> </ul>			

① コスト状況

こども支援センターげんきの年間トータルコストは、45,236万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは4,666万円（10%）、運営・事業にかかるコストは37,855万円（84%）、減価償却相当額は2,716万円（6%）となっています

図 全施設収支状況



《運営状況》

こども支援センターげんきは直営で運営しています。

(5) ウ こども支援センターげんき

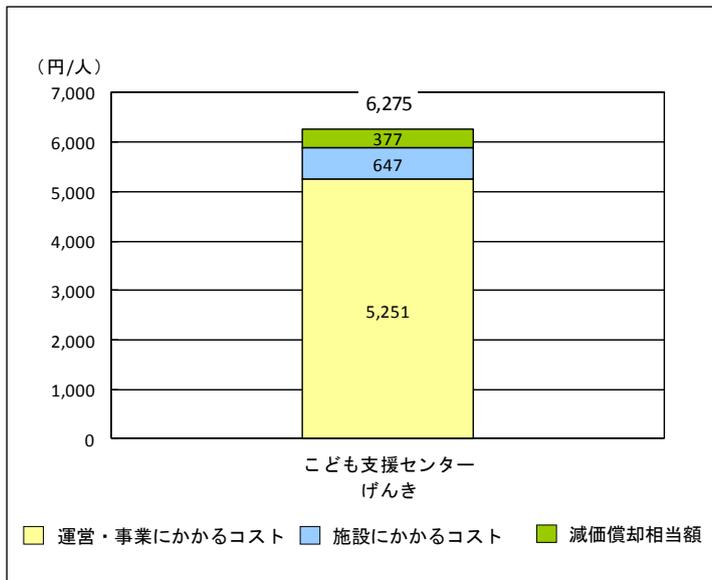
表 施設別コスト計算書

【費用の部】		こども支援センター げんき
一般職員人件費		28,913,500
再任用職員人件費		729,600
修繕費		62,532
光熱水費		6,038,754
委託費		10,911,198
<b>① 施設にかかるコスト</b>		<b>46,655,584</b>
一般職員人件費		169,350,500
再任用職員人件費		21,158,400
非常勤職員人件費		171,756,000
臨時職員人件費		101,370
修繕費		27,972
委託費		21,600
使用料及び賃借料		676,807
車両・備品購入費		93,420
負担金補助及び交付金		180,000
その他物件費		15,181,908
<b>② 運営・事業にかかるコスト</b>		<b>378,547,977</b>
<b>③ 指定管理委託料</b>		<b>0</b>
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		425,203,561
<b>④ 減価償却相当額</b>		<b>27,158,392</b>
<b>【総括】</b>		
使用料収入		595,140
諸収入		636,485
<b>⑤ 収入の合計</b>		<b>1,231,625</b>
<b>Ⅲ.総括</b>		
<b>⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)</b>		<b>452,361,953</b>
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		451,130,328

② 評価・分析

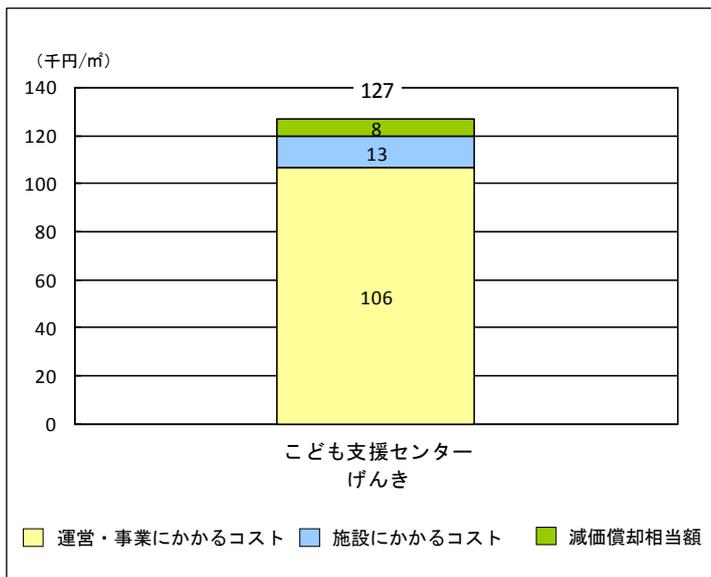
■ 利用者数 1 人当たりにかかるコスト  
年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、6,269 円/人となります。

図 利用者 1 人当たりにかかるコスト



■ 単位床面積当たりにかかるコスト  
延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、127,127 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

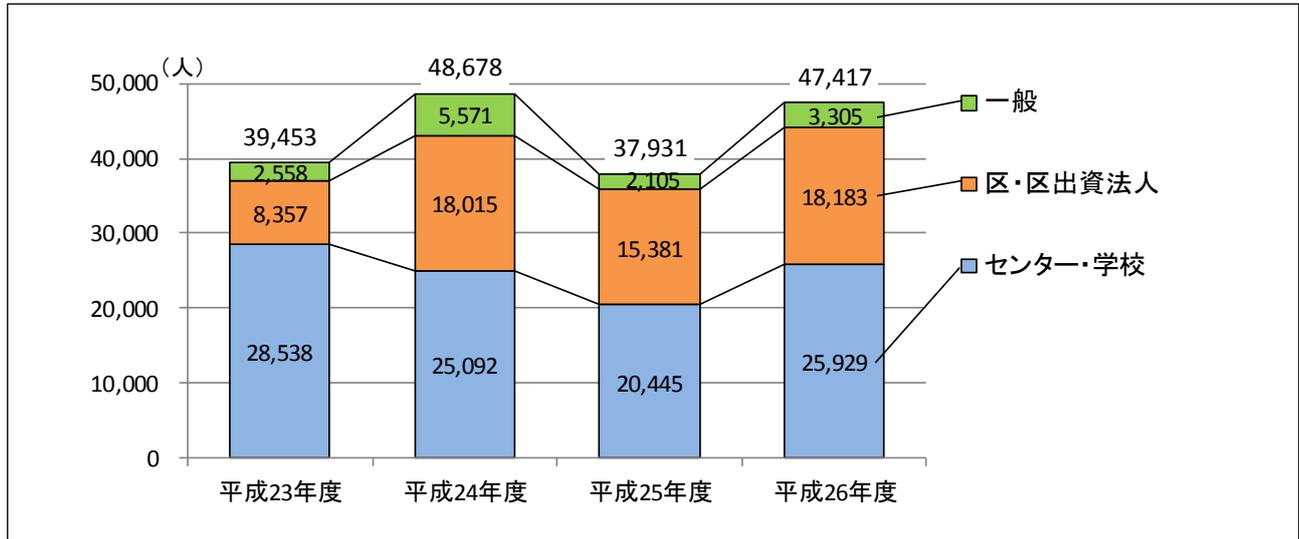


③ 利用状況

■ 年間利用者数推移

こども支援センターげんき研修室の年間利用者数は、約 3.8 万人から約 4.9 万人前後で推移しています。

図 こども支援センターげんき研修室 年間利用者数

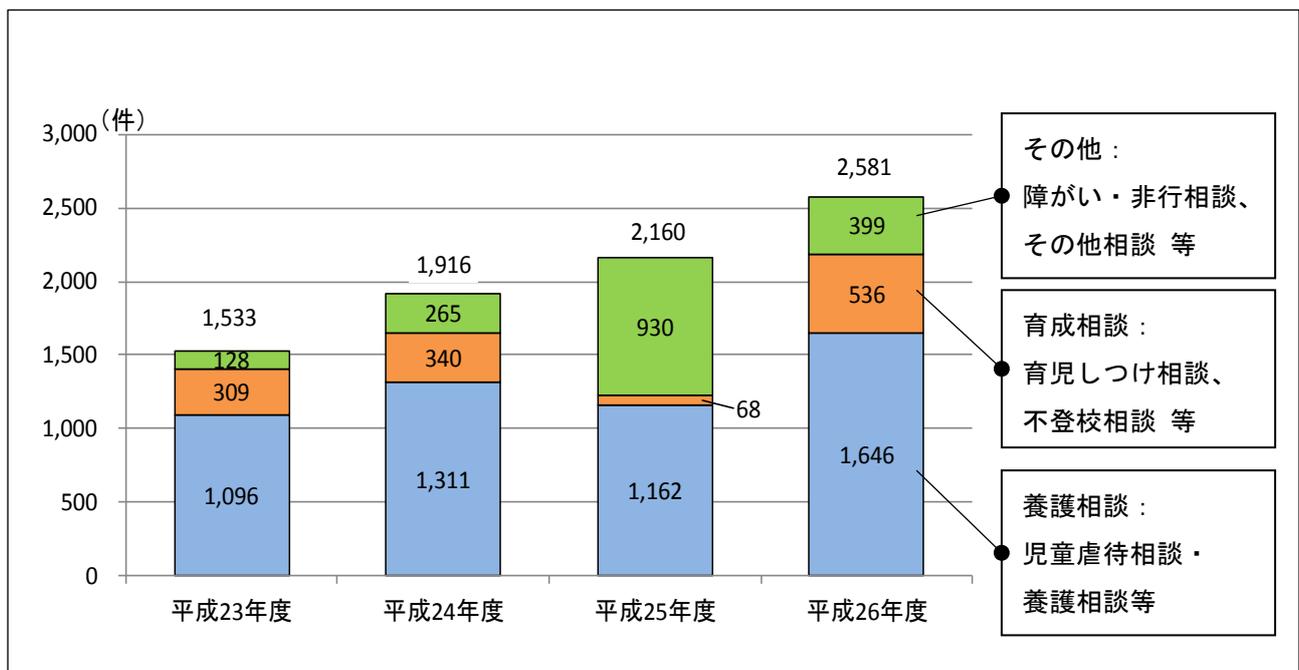


(出典：数字で見る足立)

■ 年間相談件数推移

こどもの総合相談件数は養護相談が最も多く、平成 26 年度は約 1,600 件になっています。また、児童虐待相談、教育相談ともに年々増加しています。

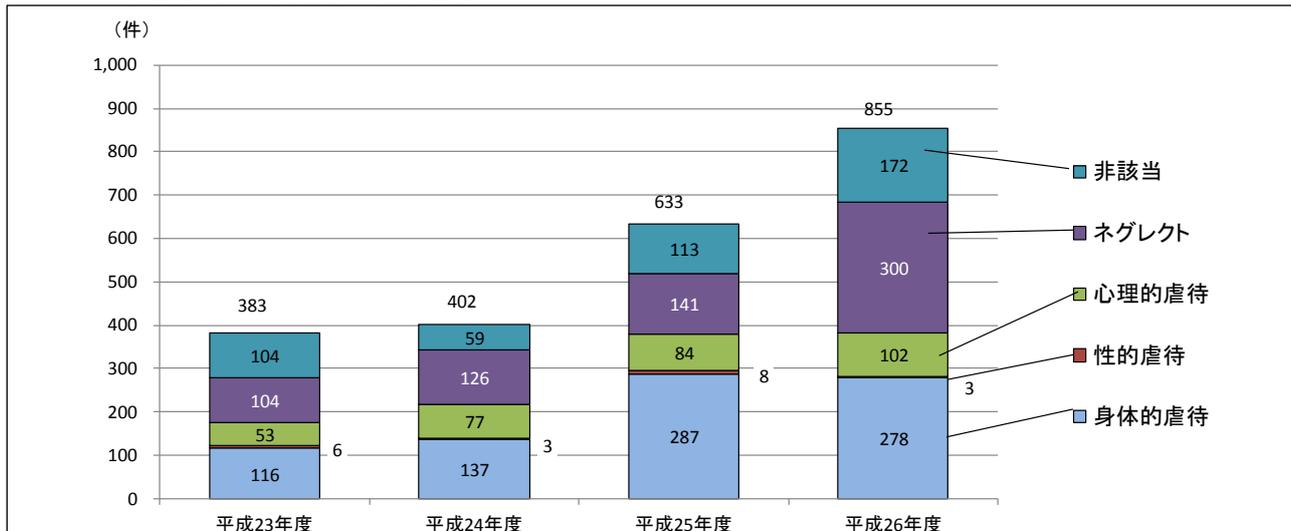
図 こども総合相談 年間件数推移



(出典：数字で見る足立)

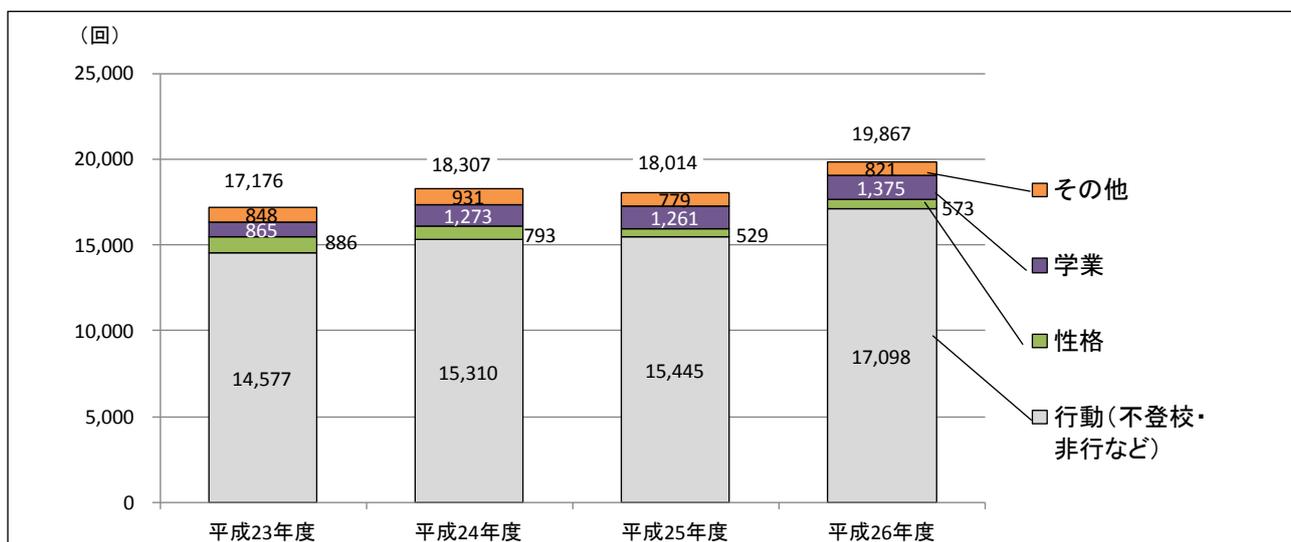
(5) ウ こども支援センターげんき

図 児童虐待相談 年間対応件数推移



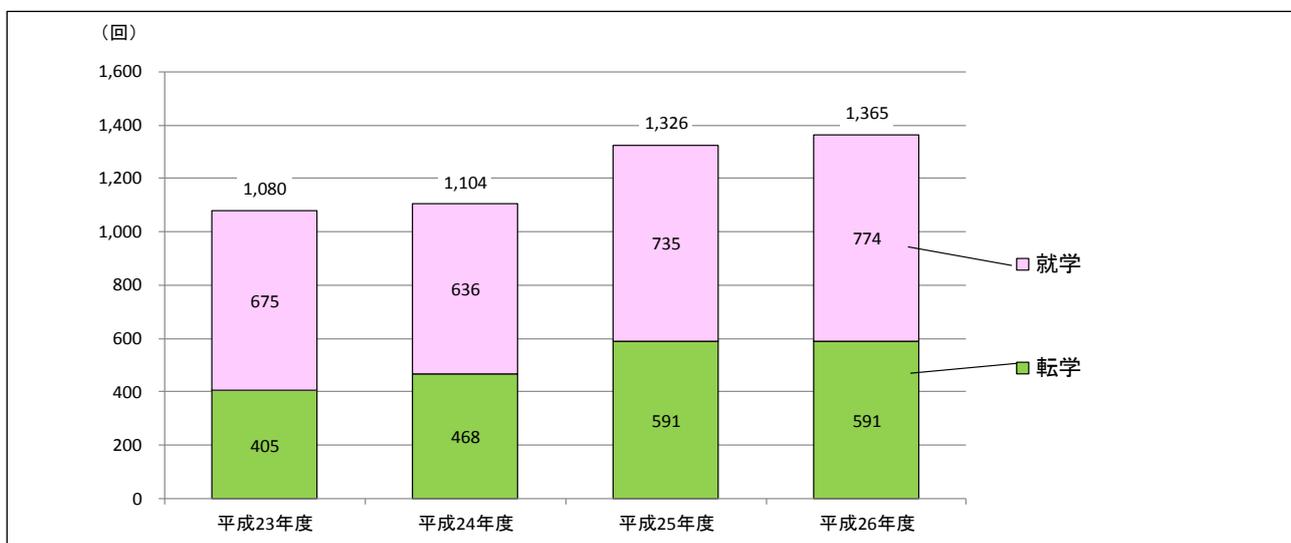
(出典：こども支援センターげんき 平成26年度実績報告書)

図 教育相談 年間相談回数推移



(出典：数字で見る足立)

図 就学・転学相談 年間相談回数推移



(出典：数字で見る足立)

## ④ 設置目的・事業内容

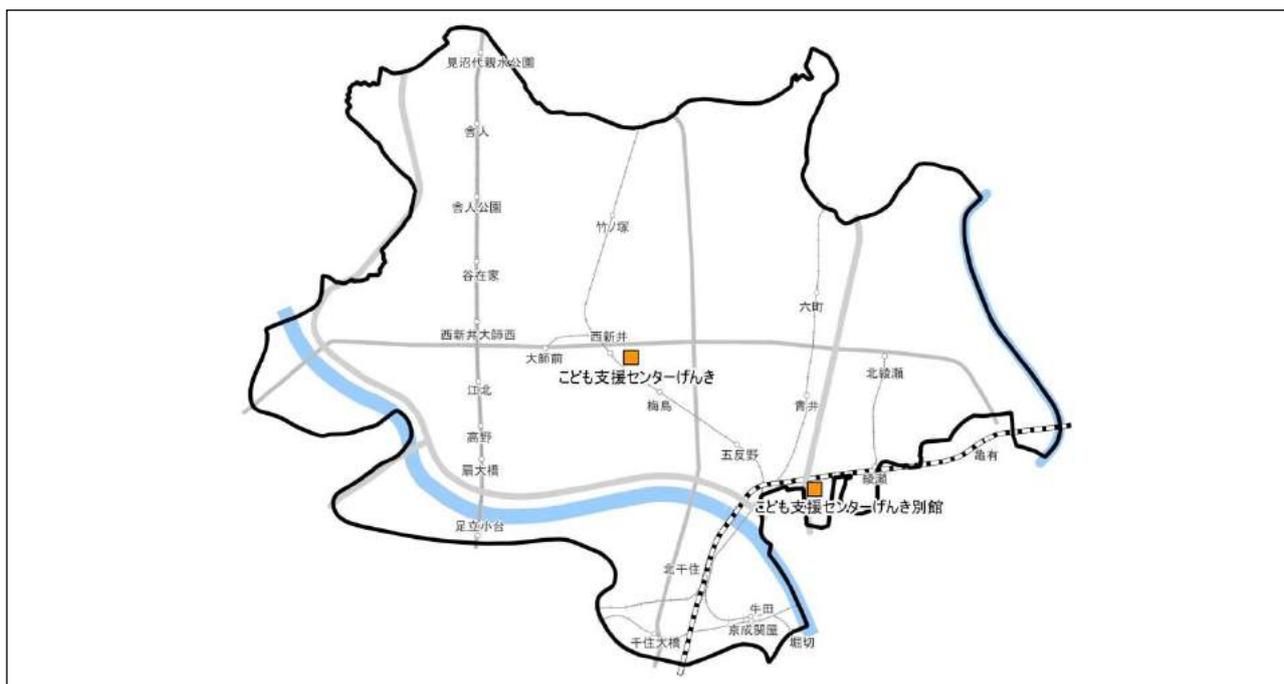
設置目的	子どもの養育及び教育に係る相談・支援を家庭、学校、関係機関と連携して行い、子どもの心身の健やかな成長及び発達に寄与することを目的としています。
事業内容	子ども(18歳未満)とその保護者を対象に子育てや教育に関する相談、問題解決への支援を行っています。(養育や教育に関する相談・アドバイス、いじめや不登校対策、児童虐待対策など)

## ⑤ 利用時間

こども支援センターげんきの利用時間は、月曜日から土曜日の午前8時30分から午後5時15分です。ただし、施設の一部(研修室)を貸出しています。(貸出時間：月曜日から土曜日午後5時30分から午後9時30分及び日曜・祝日午前9時から午後9時30分)

## ⑥ 配置状況

図 こども支援センターげんき 位置図



## ⑦ 施設一覧

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設			備考
						基幹地域 包括支援 センター	勤労福祉 会館	その他	
1 こども支援センターげんき	梅島3丁目28-8	3,127.33	平成21	6	S	●		●	
2 こども支援センターげんき別館 (教育相談東地区担当)	綾瀬1丁目34-7	431.08	昭和61	29	SRC		●	●	勤労福祉会館 (綾瀬ブルミエ内)
合計		3,558.41							

※赤字は築30年以上の施設

(5) エ 学童保育室

エ 学童保育室

区が運営に関与している学童保育室は97施設（110室）あります。そのうち、区が所有または管理運営を委託している施設は84施設（97室）です。この84施設の内訳は、住区センター内が48施設、小学校校舎内が23施設、小学校敷地内別棟が7施設、その他施設内が4施設、公園内が2施設です。また、学童保育室97室の内訳は、住区センターの委託運営が77室、直営が9室、指定管理が11室です。

学童保育室とは、保護者が就労・病気などで、放課後児童の面倒を見ることができない家庭の児童を対象とした、放課後の生活の場です。

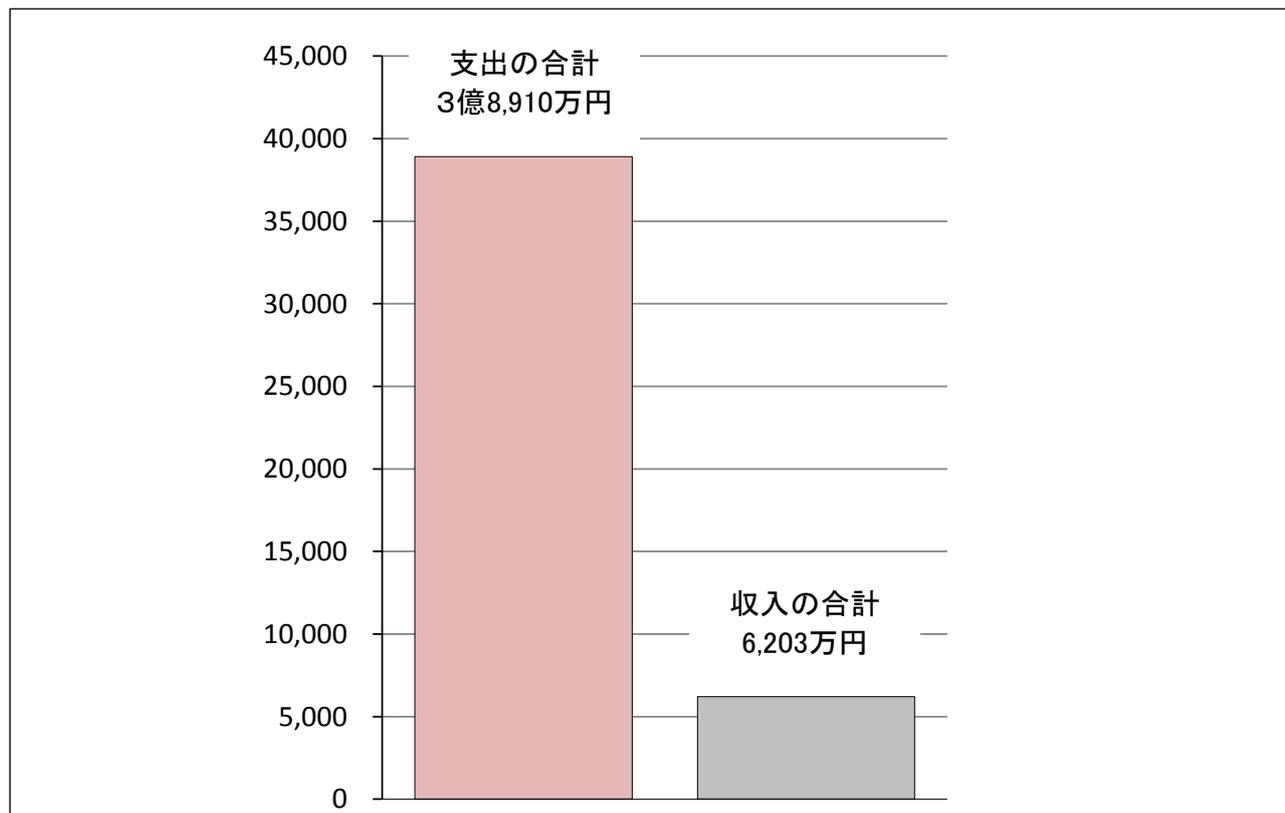
《概要シート》

施設概要	保育室数	97 室	管理形態	直営(9)、委託運営(77)、指定管理者運営(11)
	主な室名	保育・遊戯室 等		
	平均開館日数	294 日	総延床面積	8,519.26㎡
利用状況				施設群合計
	在籍児童数（民間保育室含まず）			3,951人
	定員児童数			3,924人
	在籍率			101%
収支状況	支出			38,910万円
	収入			6,203万円
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 委託運営分は住区センターのコストに含まれるため、直営及び指定管理者運営分を計上している。</li> <li>● 学童保育室の施設数は84施設だが、保育室単位（計97室）で実態把握を行っている。</li> </ul>		

## ① コスト状況

学童保育室の直営及び指定管理者運営分の年間トータルコストは、38,910万円です。  
住区センターが運営している学童保育室のコストは、住区センターに含まれます。

図 全施設収支状況



		1施設当たりの平均 (直営・指定管理)
支出	389,100,000円	19,455,000円
収入	62,030,000円	3,101,500円
利用者1人当たりのコスト	374,000円/人	

※直営9施設、指定管理者運営11施設、住区委託運営77施設。

※1施設当たりの平均は、直営と指定管理者運営の施設数(20)で算出。

## 《運営状況》

住区センター内に併設されている施設は、住区センターでの委託運営となっています。  
その他の施設は、指定管理者による運営となっており、一部直営による運営の施設もあります。

## (5) 工 学童保育室

表 施設別運営人員

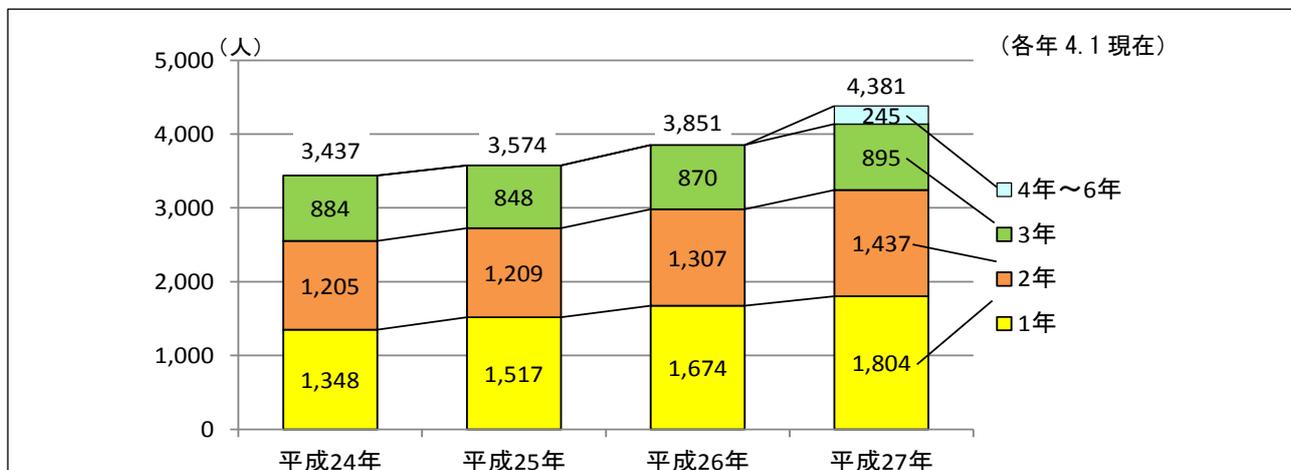
(人)

名称			運営形態	職員数	名称			運営形態	職員数
1	青井学童保育室		住区委託	4	41	千寿常東学童保育室	住区委託	5	
2	あおぞら学童保育室		住区委託	5	42	千住本町学童保育室	住区委託	5	
3	足立学童保育室		直営	4	43	たいよう学童保育室	住区委託	4	
4	綾瀬学童保育室		住区委託	5	44	たけのこ学童保育室	住区委託	4	
5	伊興学童保育室		住区委託	5	45	竹の塚学童保育室	指定管理	6	
6	入谷学童保育室		住区委託	4	46	竹の塚六月学童保育室	住区委託	5	
7	梅島学童保育室		住区委託	3	47	たんぼぼ学童保育室	住区委託	5	
8	梅田学童保育室		住区委託	4	48	中央本町学童保育室	住区委託	4	
9	桜花学童保育室		住区委託	6	49	つくしんぼ学童保育室(1組)	住区委託	4	
10	扇学童保育室		住区委託	4		つくしんぼ学童保育室(2組)	住区委託	4	
11	大谷学童保育室		住区委託	4	50	東和学童保育室	住区委託	6	
12	大谷田谷中学童保育室		住区委託	4	51	東和学童保育室分室	住区委託	4	
13	興本学童保育室		住区委託	5		東和学童保育室第二分室	住区委託	4	
	興本第2学童保育室		住区委託	4	52	舎人学童保育室	住区委託	3	
14	押皿谷学童保育室		住区委託	4	53	とねりこ学童保育室	住区委託	5	
15	加賀学童保育室		住区委託	4	54	中島根学童保育室	指定管理	4	
16	加平学童保育室		住区委託	5	55	長門学童保育室	住区委託	4	
17	亀田学童保育室		指定管理	5	56	なかよし学童保育室	指定管理	5	
	亀田第二学童保育室		指定管理	5	57	西綾瀬学童保育室	住区委託	5	
	亀田第三学童保育室		指定管理	5	58	西新井学童保育室	住区委託	5	
18	くすの木学童保育室		住区委託	6	59	西新井栄町学童保育室	住区委託	6	
19	栗島学童保育室		住区委託	6	60	西新井本町学童保育室	住区委託	4	
20	栗原北学童保育室		住区委託	4	61	西伊興学童保育室	住区委託	5	
	栗原北第2学童保育室		住区委託	4	62	西伊興ほがらか学童保育室	住区委託	5	
21	弘道学童保育室		住区委託	4	63	にじっこ学童保育室	住区委託	5	
22	江南学童保育室		住区委託	4	64	西保木間児童館学童保育室	住区委託	4	
23	江北学童保育室		住区委託	6	65	花畑学童保育室	住区委託	4	
24	五反野学童保育室		住区委託	4	66	花畑第一学童保育室	直営	4	
25	さくら学童保育室		住区委託	5	67	花保学童保育室	住区委託	5	
	さくら第二学童保育室		住区委託	5	68	はやぶさ学童保育室	住区委託	5	
26	さくらっこ学童保育室		住区委託	5	69	ひがし学童保育室	住区委託	5	
27	佐野学童保育室		住区委託	5	70	東綾瀬学童保育室	住区委託	5	
28	鹿浜学童保育室		住区委託	5	71	東綾瀬学童保育室分室	住区委託	5	
29	鹿浜西学童保育室		直営	4	72	東伊興学童保育室	住区委託	5	
30	島根学童保育室		住区委託	5	73	平野学童保育室	住区委託	5	
31	しまねっ子学童保育室		直営	4	74	ふたば学童保育室	住区委託	4	
32	しらさぎ学童保育室		住区委託	4	75	洲江学童保育室	住区委託	4	
33	新田学童保育室		住区委託	5	76	洲江第一学童保育室	直営	4	
34	新田学園学童保育室		住区委託	6		洲江第一ピラープ学童保育室	直営	4	
35	新田学園第二(1組)		指定管理	4	77	保塚学童保育室	住区委託	5	
	新田学園第二(2組)		指定管理	4	78	みどり学童保育室	直営	4	
	新田学園第二(3組)		指定管理	4		みどり第二学童保育室	直営	4	
36	神明学童保育室		住区委託	4	79	南花畑学童保育室	住区委託	5	
37	すばる学童保育室		住区委託	5	80	六木学童保育室	住区委託	5	
38	せきや学童保育室		指定管理	6	81	本木関原学童保育室	住区委託	4	
	せきや学童保育室(2組)		指定管理	5	82	やよい学童保育室	住区委託	6	
39	千住あずま学童保育室		住区委託	4	83	ゆずりは学童保育室	直営	4	
40	千住河原町学童保育室(1組)		住区委託	5	84	レインボー学童保育室	住区委託	3	
	千住河原町学童保育室(2組)		住区委託	5	合計			445	

② 利用状況

学童保育室の在籍児童数は年々増加傾向にあり、平成24年度から平成26年度では約12%の増加となっています。

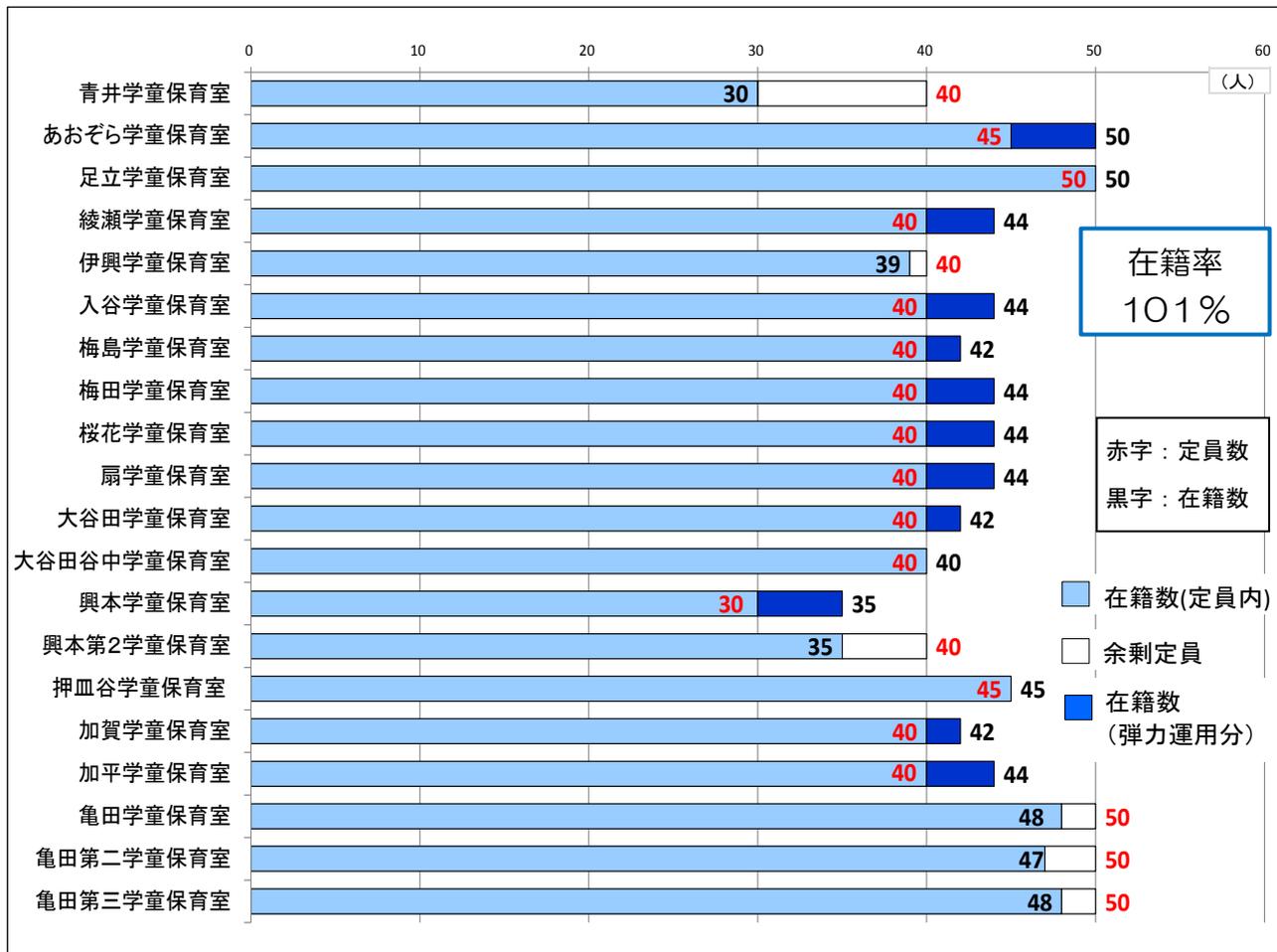
図 学童保育室 在籍児童数推移



※民間保育室を含みます。 (出典 数字で見る足立)  
 ※平成26年度までは小学1年～3年まで受入れ。平成27年度からは小学1年～6年まで受入れ。

学童保育室別の在籍児童数と定員数の関係を見ると、定員に対する在籍児童数は101%です。施設別でみると、97施設中56施設が定員の弾力化運営によって、多くの児童を受け入れています。

図 学童保育室別在籍数



(5) Ⅰ 学童保育室

図 学童保育室別在籍数

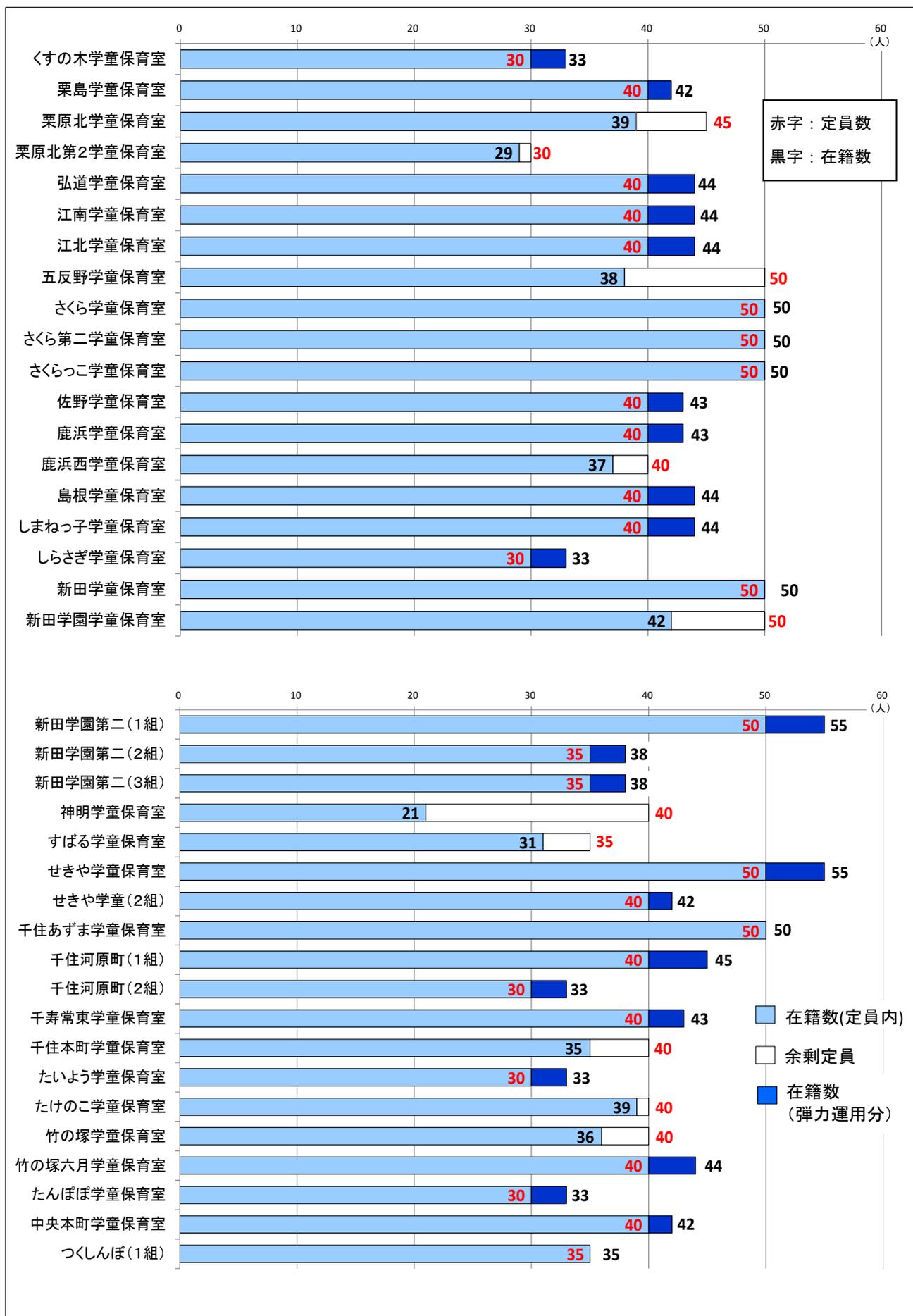
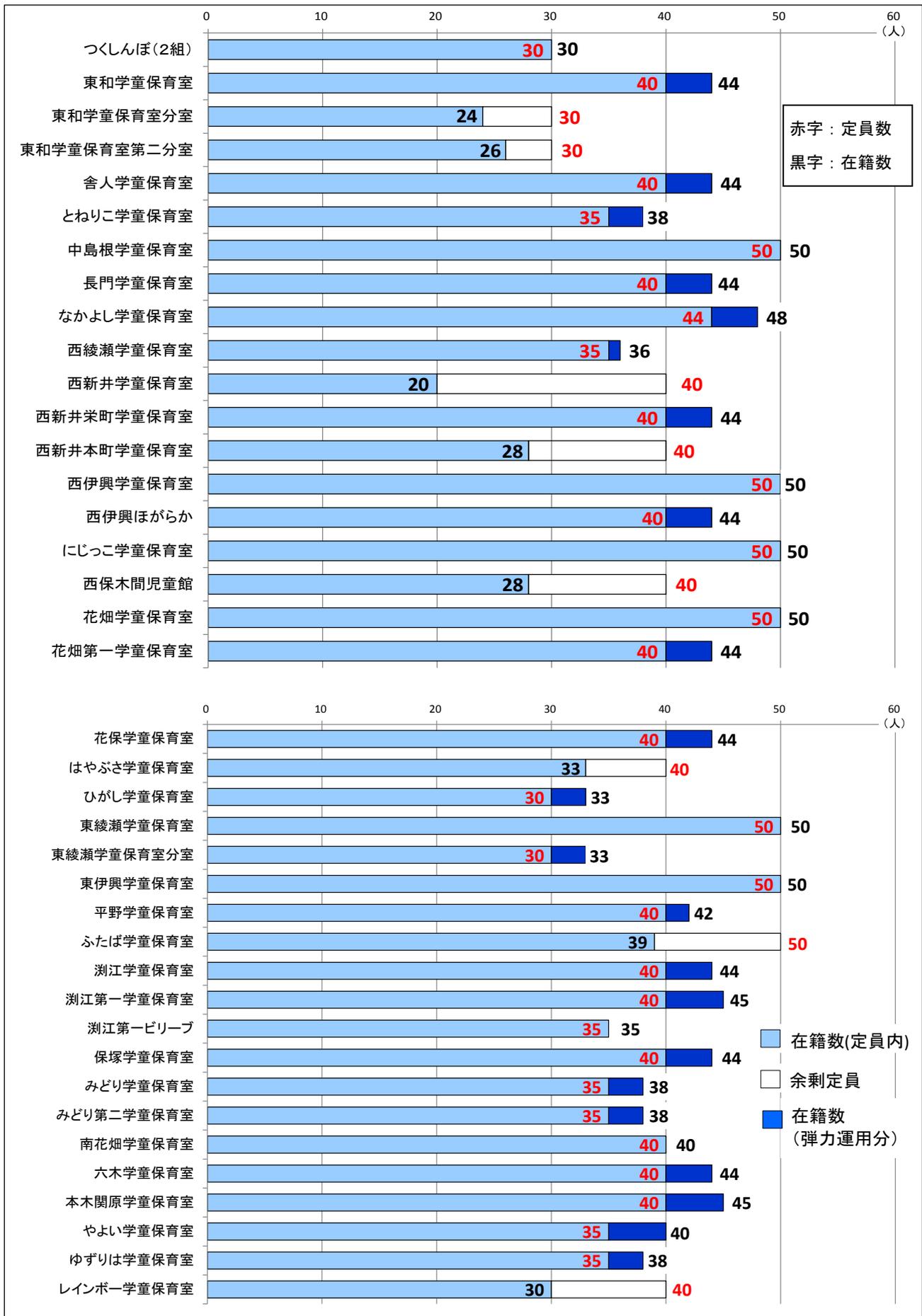


図 学童保育室別在籍数





## ⑥ 学童保育室一覧

表 学童保育室一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設						備考
						住区 センター	老人館	児童館	地域学習 センター	学校	その他	
1 青井学童保育室	青井5丁目11-40-101	59.10	昭和55	35	RC	●	●	●				
2 あおぞら学童保育室 (加平小学校内)	六町3丁目3-11	113.61	平成26	1	RC					●		
3 足立学童保育室 (足立小学校内)	足立3丁目11-5	63.00	平成27	0	RC					●		
4 綾瀬学童保育室	綾瀬3丁目17-9	53.40	昭和61	29	S	●	●	●				
5 伊興学童保育室	伊興5丁目22-13	57.00	昭和60	30	RC	●	●	●				
6 入谷学童保育室	舎人6丁目12-4-101	99.28	昭和51	39	RC	●	●	●				
7 梅島学童保育室	梅島2丁目14-5	58.50	昭和55	35	RC	●	●	●				
8 梅田学童保育室	梅田6丁目26-1	54.00	昭和54	36	RC	●	●	●				
9 桜花学童保育室	花畑6丁目4-16	82.09	平成25	2	S	●	●	●				
10 扇学童保育室	扇1丁目47-38	53.50	昭和58	32	RC	●	●	●				
11 大谷田学童保育室	大谷田1丁目1-2-101	84.80	昭和52	38	SRC	●	●	●				
12 大谷田谷中学童保育室	大谷田4丁目16-6	111.47	平成1	26	S	●	●	●				
13 興本学童保育室	本木東町17-10	109.20	昭和62	28	RC	●	●	●				
14 興本第二学童保育室	同上	51.00	昭和62	28	RC	●	●	●				
15 押皿谷学童保育室	鹿浜8丁目27-15	79.00	平成8	19	RC	●	●	●				
16 加賀学童保育室	加賀2丁目31-6-101	54.20	昭和56	34	SRC	●	●	●				
17 加平学童保育室	加平1丁目10-6	54.50	昭和61	29	RC	●	●	●				
18 亀田学童保育室[1組]	西新井栄町1丁目1-1	63.00	平成16	11	軽S					●		
19 亀田学童保育室[2組]	同上	181.12	平成25	2	軽S					●		
20 亀田学童保育室[3組]	同上	90.56	平成25	2	軽S					●		
21 くすの木学童保育室 (平野小学校内)	平野3丁目6-3	84.00	昭和52	38	RC					●		
22 栗島学童保育室	青井6丁目13-10	97.00	昭和42	48	SRC					●		
23 栗原北学童保育室	栗原4丁目19-15	131.00	昭和53	37	RC	●	●	●				
24 栗原北第二学童保育室	同上	54.00	昭和53	37	RC	●	●	●				
25 弘道学童保育室	弘道2丁目16-1-101	54.20	昭和57	33	SRC	●	●	●				
26 江南学童保育室	小台2丁目45-4	56.60	昭和53	37	RC	●	●	●				
27 江北学童保育室	江北2丁目8-2	50.10	昭和55	35	RC	●	●	●				
28 五反野学童保育室	西綾瀬2丁目1-13	148.25	昭和56	34	RC	●	●	●				
29 さくら学童保育室	東綾瀬1丁目5-17	242.37	平成12	15	RC・SRC							
30 さくら第二学童保育室	東綾瀬1丁目5-18	113.40	平成12	15	RC・SRC							
31 さくらっこ学童保育室 (千寿桜小学校内)	千住桜木1丁目8-15	100.81	平成5	22	RC					●		
32 佐野学童保育室	佐野2丁目43-5	52.10	昭和56	34	S	●	●	●	●			
33 鹿浜学童保育室	鹿浜6丁目8-1	57.90	昭和62	28	SRC	●	●	●	●			

※赤字は築30年以上の施設

(5) Ⅰ 学童保育室

表 学童保育室一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設						備考
						住区 センター	老人館	児童館	地域学習 センター	学校	その他	
34 鹿浜西学童保育室 (鹿浜西小学校内)	鹿浜2丁目24-1	63.00	昭和44	46	RC						●	
35 島根学童保育室	島根4丁目19-1-101	60.80	昭和57	33	SRC	●	●	●				
36 しまねっ子学童保育室 (島根小学校内)	島根3丁目28-11	133.00	平成11	16	軽S						●	
37 しらさぎ学童保育室 (足立入谷小学校内)	足立区入谷3丁目8-1	63.00	昭和49	41	RC						●	
38 新田学童保育室	新田2丁目2-2	105.57	平成9	18	SRC	●	●	●	●			
39 新田学園学童保育室 (新田学園内)	新田3丁目34-2	115.20	平成21	6	RC						●	
40 新田学園第二学童保育室 [1組](新田学園内)	新田3丁目30-16	249.37	平成24	3	RC						●	
41 新田学園第二学童保育室 [2組](新田学園内)	同上	130.40	平成24	3	RC						●	
42 新田学園第二学童保育室 [3組](新田学園内)	同上	130.40	平成24	3	RC						●	
43 神明学童保育室	神明南2丁目6-19	66.37	平成2	25	S	●	●	●				
44 すばる学童保育室	大谷田4丁目16-6	66.00	平成1	26	S	●	●	●				
45 せきや学童保育室[1組] (千寿第八小学校内)	千住閑屋町16-1	165.61	昭和40	50	RC						●	
46 せきや学童保育室[2組] (千寿第八小学校内)	同上	72.00	昭和40	50	RC						●	
47 千住あずま学童保育室	千住東2丁目21-18	98.73	平成28		RC	●	●	●				子育てサ ロン
48 千住河原町学童保育室[1組]	千住河原町5-12	150.00	平成4	23	S	●	●	●				
49 千住河原町学童保育室[2組]	同上	150.00	平成4	23	S	●	●	●				
50 千寿常東学童保育室 (千寿常東小学校内)	千住旭町10-31	90.25	昭和37	53	RC						●	
51 千住本町学童保育室	千住5丁目6-2	49.30	昭和60	30	RC	●	●	●				
52 たいよう学童保育室 (弘道第一小学校内)	弘道1丁目20-8	66.50	昭和40	50	RC						●	
53 たけのこ学童保育室 (竹の塚小学校内)	竹の塚1丁目8-1	114.50	昭和42	48	RC						●	
54 竹の塚学童保育室	竹の塚2丁目25-17	102.54	昭和53	37	SRC				●			
55 竹の塚六月学童保育室	六月2丁目26-3-101	51.00	昭和56	34	SRC	●	●	●				
56 たんぽぽ学童保育室 (辰沼小学校内)	谷中5丁目12-1	84.00	昭和52	38	RC						●	
57 中央本町学童保育室	中央本町3丁目15-1	47.50	昭和55	35	SRC	●	●	●	●			
58 つくしんぼ学童保育室[1組] (梅田図書館内)	梅田7丁目13-1	156.88	昭和43	47	SRC							
59 つくしんぼ学童保育室[2組] (梅田図書館内)	同上	81.28	昭和43	47	SRC							
60 東和学童保育室	東和3丁目12-9	55.90	昭和56	34	SRC	●	●	●	●			
61 東和学童保育室分室[1組] (内谷公園内)	東和3丁目20-22	71.91	平成23	4	S							
62 東和学童保育室分室[2組] (内谷公園内)	東和3丁目20-22	70.53	平成23	4	S							
63 舎人学童保育室	舎人1丁目3-26	55.90	昭和58	32	SRC	●	●	●	●			高齢者作 業所
64 とねりこ学童保育室 (舎人小学校内)	舎人1丁目25-32	99.90	平成14	13	軽S						●	
65 中島根学童保育室 (中島根小学校内)	島根2丁目9-22	95.94	平成15	12	軽S						●	
66 長門学童保育室	中川2丁目24-2-101	50.73	昭和53	37	S	●	●	●				

※赤字は築30年以上の施設

表 学童保育室一覧 (50 音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設					備考	
						住区 センター	老人館	児童館	地域学習 センター	学校		その他
67 なかよし学童保育室 (大谷田小学校内)	中川4丁目41-27	121.44	平成12	15	軽S					●		
68 西綾瀬学童保育室 (弘道小学校内)	西綾瀬4丁目7-27	93.00	昭和41	49	RC					●		
69 西新井学童保育室	西新井7丁目19-6	59.70	昭和56	34	RC	●	●	●				
70 西新井栄町学童保育室	西新井栄町3丁目1-6-101	76.60	平成11	16	RC	●	●	●				
71 西新井本町学童保育室	西新井本町2丁目30-37	52.50	昭和57	33	RC	●	●	●				
72 西伊興学童保育室	西伊興1丁目12-12	94.00	平成4	23	S	●	●	●				
73 西伊興ほがらか学童保育室 (西伊興小学校内)	伊興2丁目6-1	90.25	昭和46	44	RC					●		
74 にじっこ学童保育室 (西新井小学校内)	西新井本町4丁目9-27	89.60	平成23	4	RC					●		
75 西保木間児童館学童保育室	西保木間3丁目14-16-101	90.20	昭和52	38	SRC			●				
76 花畑学童保育室	花畑4丁目16-8	85.48	平成8	19	S	●	●	●	●		高齢者作業所	
77 花畑第一学童保育室 (花畑第一小学校内)	花畑1丁目29-1	113.40	昭和53	37	軽S					●		
78 花保学童保育室	東保木間1丁目25-4-101	59.20	昭和57	33	SRC	●	●	●				
79 はやぶさ学童保育室	伊興4丁目6-7	115.93	平成15	12	軽S							
80 ひがし学童保育室 (中川東小学校内)	大谷田2丁目1-10	64.00	昭和54	36	RC					●		
81 東綾瀬学童保育室	東綾瀬1丁目28-7	80.00	昭和63	27	S	●	●	●				
82 東綾瀬学童保育室分室 (北三谷小学校内)	東和1丁目17-12	99.40	昭和42	48	RC					●		
83 東伊興学童保育室	東伊興1丁目5-22	111.00	平成6	21	S	●	●	●				
84 平野学童保育室	平野2丁目2-14	57.42	昭和62	28	S	●	●	●				
85 ふたば学童保育室 (千寿双葉小学校内)	千住大川町17-1	120.00	平成18	9	RC					●		
86 渚江学童保育室	西保木間1丁目2-1-101	51.00	昭和56	34	SRC	●	●	●				
87 渚江第一学童保育室 (渚江第一小学校内)	保木間3丁目27-1	104.35	昭和53	37	軽S					●		
88 渚江第一ビリープ学童保育室 (渚江第一小学校内)	保木間3丁目27-1	81.00	平成9	18	軽S					●		
89 保塚学童保育室	保塚町7-16	67.00	昭和59	31	RC	●	●	●	●		シルバー人材センター	
90 みどり学童保育室 (興本小学校内)	扇3丁目22-1	63.00	昭和36	54	RC					●		
91 みどり第二学童保育室 (興本小学校内)	扇3丁目22-1	63.00	昭和36	54	RC					●		
92 南花畑学童保育室	南花畑3丁目14-7	52.80	昭和59	31	RC	●	●	●				
93 六木学童保育室	六木3丁目39-5-101	58.10	昭和56	34	SRC	●	●	●				
94 本木関原学童保育室	関原1丁目21-11	87.00	平成5	22	RC	●	●	●				
95 やよい学童保育室 (弥生小学校内)	中央本町2丁目5-1	97.00	昭和40	50	RC					●		
96 ゆずりは学童保育室 (西保木間小学校内)	西保木間4丁目2-1	78.75	昭和43	47	RC					●		
97 レインボー学童保育室 (東伊興生活館内)	東伊興3丁目23-6	80.60	昭和51	39	RC			●				
合計		8,534.79										

※赤字は築30年以上の施設

(6) ア 保健所・保健総合センター

(6) 保健・福祉施設

ア 保健所・保健総合センター

区では、健康診査等のサービスを提供する施設として、保健所・保健総合センターを設置しています。千住保健総合センターは、複合施設の千住庁舎内に設置しています。

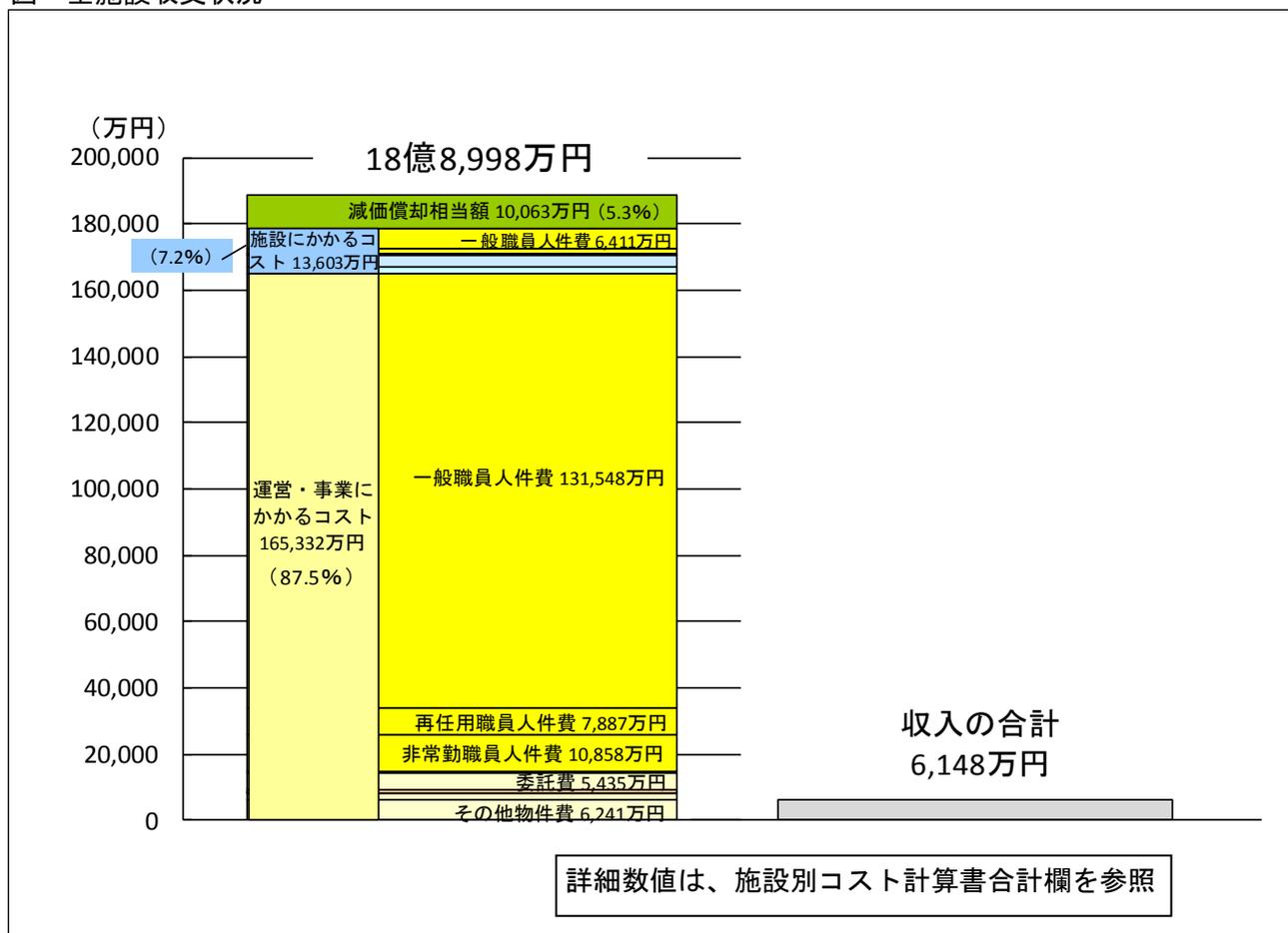
《概要シート》

施設概要	施設数	5 施設	管理形態	直営 (5)
	主な室名	診察室、講堂、事務室 等		
	平均開館日数	242 日	総延床面積	11,087.05㎡
利用状況				施設群合計
	乳幼児健診受診者数			10,780人
収支状況	① 施設にかかるコスト			13,603万円
	② 運営・事業にかかるコスト			165,332万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			10,063万円
	⑤ 収入			6,148万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			188,998万円
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)			170,467円/㎡
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設にかかるコストは、千住庁舎の併設施設分を含む</li> </ul>			

## ① コスト状況

保健所等5施設の年間トータルコストは、188,998万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは13,603万円(7%)、運営・事業にかかるコストは165,332万円(88%)、減価償却相当額は10,063万円(5%)となっています。

図 全施設収支状況



## 《運営状況》

保健所・保健総合センターの運営は、区直営となっています。

表 運営人員

(人)

		足立保健所	江北保健総合センター	千住保健総合センター	竹の塚保健総合センター	東和保健総合センター	合計
運営形態		直営	直営	直営	直営	直営	
施設管理	一般職員	3.76	1.05	1.00	1.90	0.05	7.76
	再任用職員	3.30	0.88	0.00	0.20	0.00	4.38
	計	7.06	1.93	1.00	2.10	0.05	12.14
事業運営	一般職員	67.24	20.95	16.00	34.10	20.95	159.24
	再任用職員	8.70	3.12	3.00	3.80	3.00	21.62
	非常勤職員	5.00	4.00	3.00	4.00	4.00	20.00
	計	80.94	28.07	22.00	41.90	27.95	200.86
合計		88	30	23	44	28	213

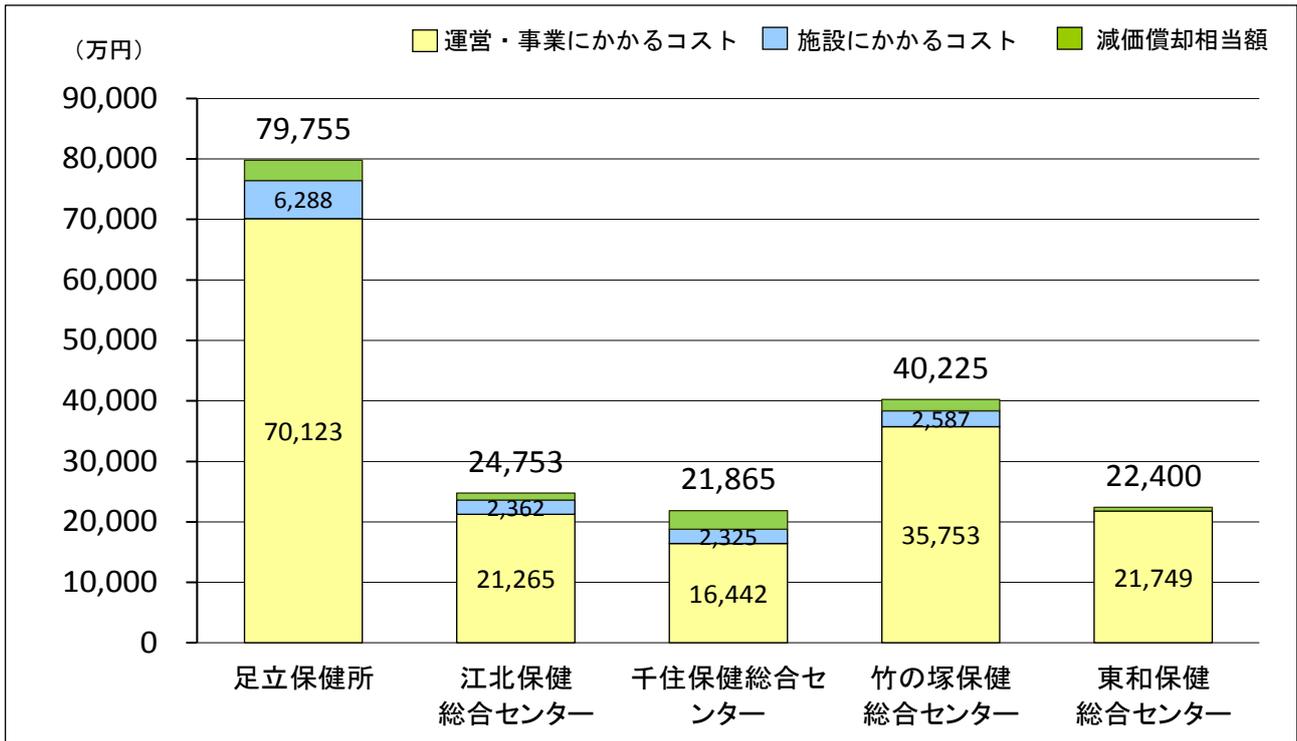
## (6) ア 保健所・保健総合センター

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	足立保健所	江北保健 総合センター	千住 保健総合センター	竹の塚保健 総合センター	東和保健 総合センター	合計
一般職員人件費	31,061,360	8,674,050	8,261,000	15,695,900	413,050	64,105,360
再任用職員人件費	12,038,400	3,210,240	0	729,600	0	15,978,240
改修費	2,354,340	0	0	0	0	2,354,340
光熱水費	13,719,220	5,564,937	8,194,322	9,444,119	0	36,922,598
委託費	3,709,660	6,170,613	6,789,950	0	0	16,670,223
① 施設にかかるコスト	62,882,980	23,619,840	23,245,272	25,869,619	413,050	136,030,761
一般職員人件費	555,469,640	173,067,950	132,176,000	281,700,100	173,067,950	1,315,481,640
再任用職員人件費	31,737,600	11,381,760	10,944,000	13,862,400	10,944,000	78,869,760
非常勤職員人件費	25,643,807	20,614,252	15,040,615	25,225,046	22,054,992	108,578,712
修繕費	3,917,085	779,144	564,845	380,893	37,538	5,679,505
委託費	34,377,278	267,950	107,750	15,044,981	4,555,080	54,353,039
使用料及び賃借料	4,143,515	404,527	696,086	477,751	177,682	5,899,561
車両・備品購入費	3,700,003	90,072	310,618	0	115,020	4,215,713
負担金補助及び交付金	6,066,030	53,480	29,600	11,608,288	75,320	17,832,718
その他物件費	36,173,525	5,993,061	4,551,037	9,233,039	6,459,653	62,410,315
② 運営・事業にかかるコスト	701,228,483	212,652,196	164,420,551	357,532,498	217,487,235	1,653,320,963
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	764,111,463	236,272,036	187,665,823	383,402,117	217,900,285	1,789,351,724
④ 減価償却相当額	33,440,976	11,254,176	30,985,200	18,849,600	6,103,137	100,633,089
【収入の部】						
手数料収入	47,384,540	0	0	0	0	47,384,540
使用料収入	10,009,900	111,840	12,480	47,422	36,960	10,218,602
諸収入	3,390,068	17,710	429,507	27,944	8,690	3,873,919
⑤ 収入の合計	60,784,508	129,550	441,987	75,366	45,650	61,477,061
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	797,552,439	247,526,212	218,651,023	402,251,717	224,003,422	1,889,984,813
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	736,767,931	247,396,662	218,209,036	402,176,351	223,957,772	1,828,507,752

図 施設別トータルコスト

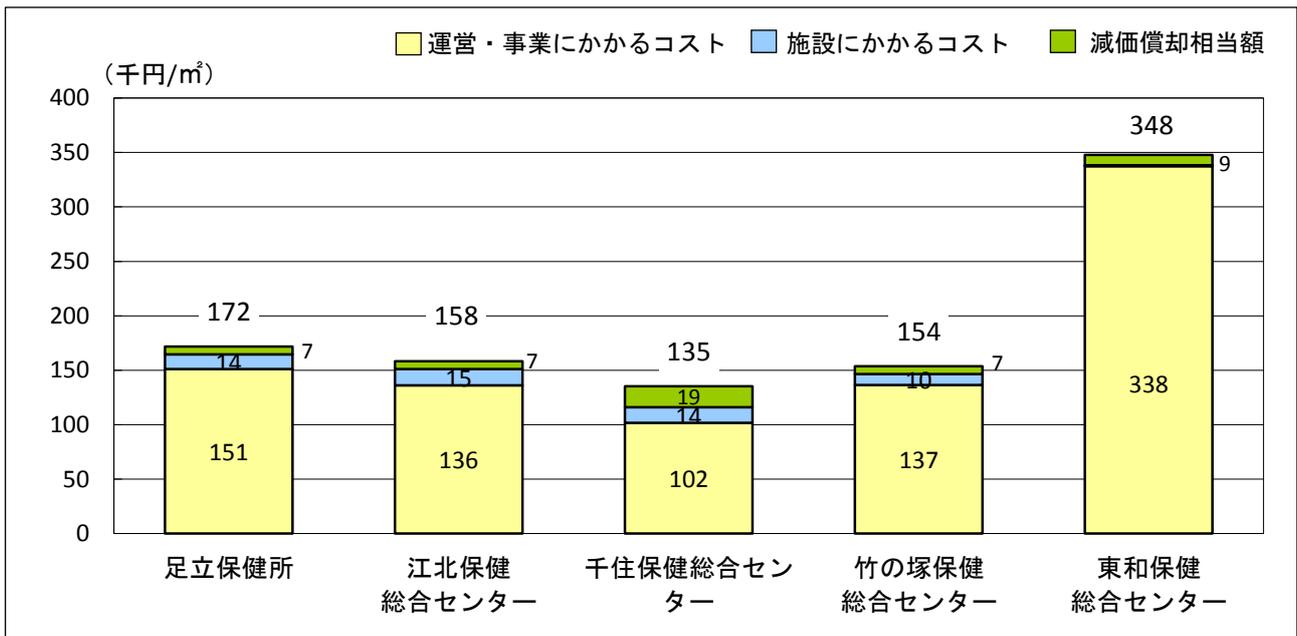


## ② 評価・分析

## ■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 170,467 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

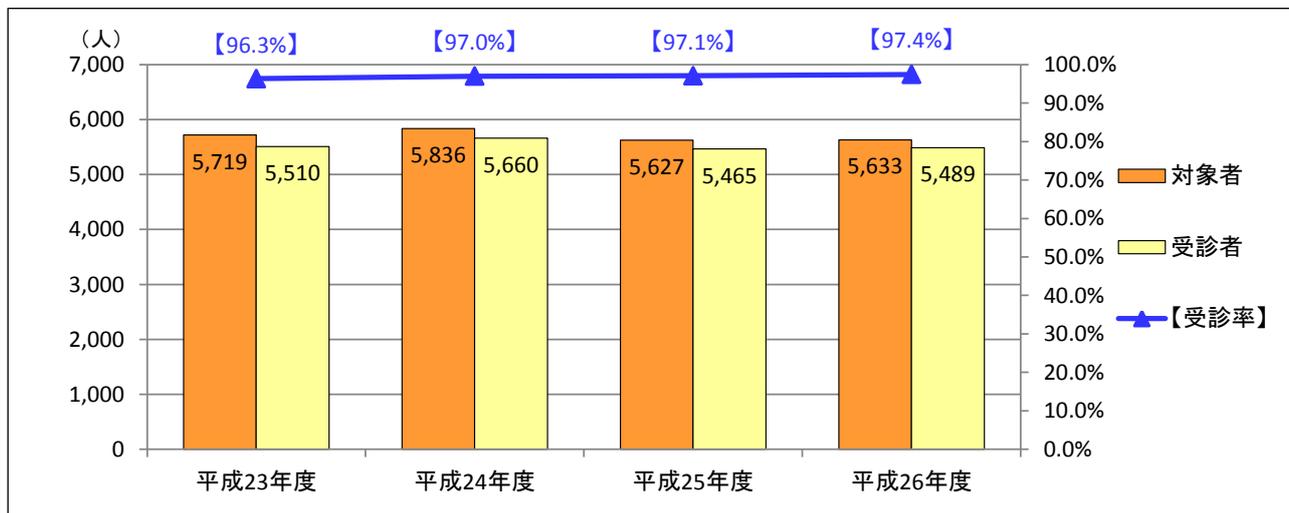


(6) ア 保健所・保健総合センター

③ 利用状況

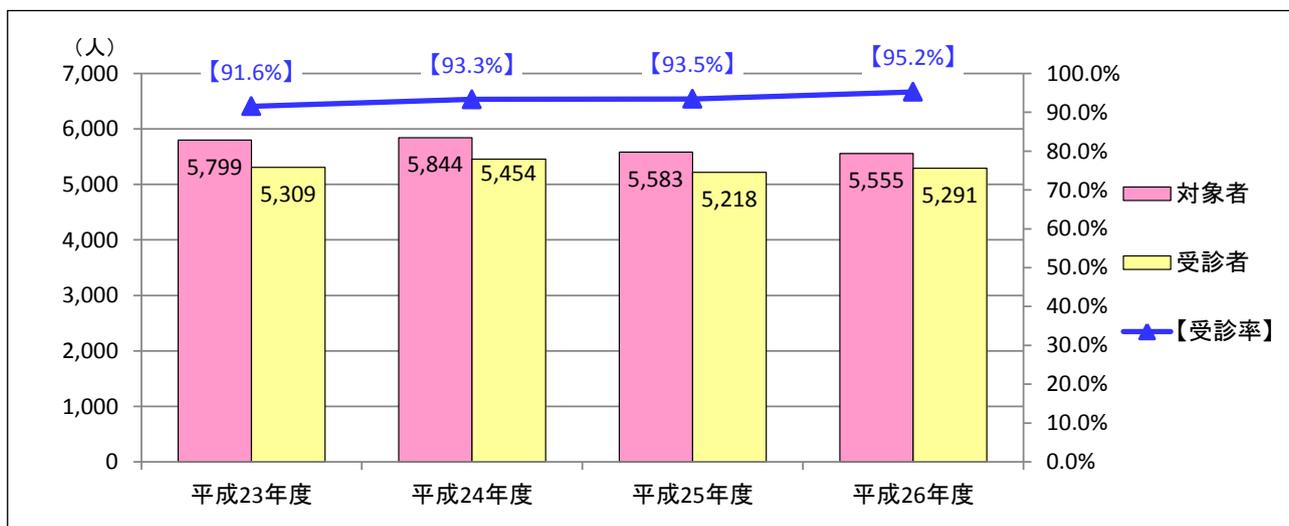
各保健総合センター等では、生後3～4か月の乳児及び3歳に達した幼児を対象に健康診査を実施しています。平成23年度から平成26年度の状況では、年々受診率が向上していることが認められます。

図 乳児（3～4か月児）健康診査受診者推移



(出典：衛生部事業概要)

図 3歳児健康診査受診者推移



(出典：衛生部事業概要)

表 保健総合センター別健診受診者数（平成26年度）

(人)

	乳児（3～4か月児）			3歳児		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
中央本町	1,117	1,084	97.0%	1,099	1,045	95.1%
江北	1,030	1,013	98.3%	1,125	1,072	95.3%
千住	739	726	98.2%	667	632	94.8%
竹の塚	1,659	1,590	95.8%	1,621	1,549	95.6%
東和	1,088	1,076	98.9%	1,043	993	95.2%

(出典：衛生部事業概要)

## ④ 事業内容

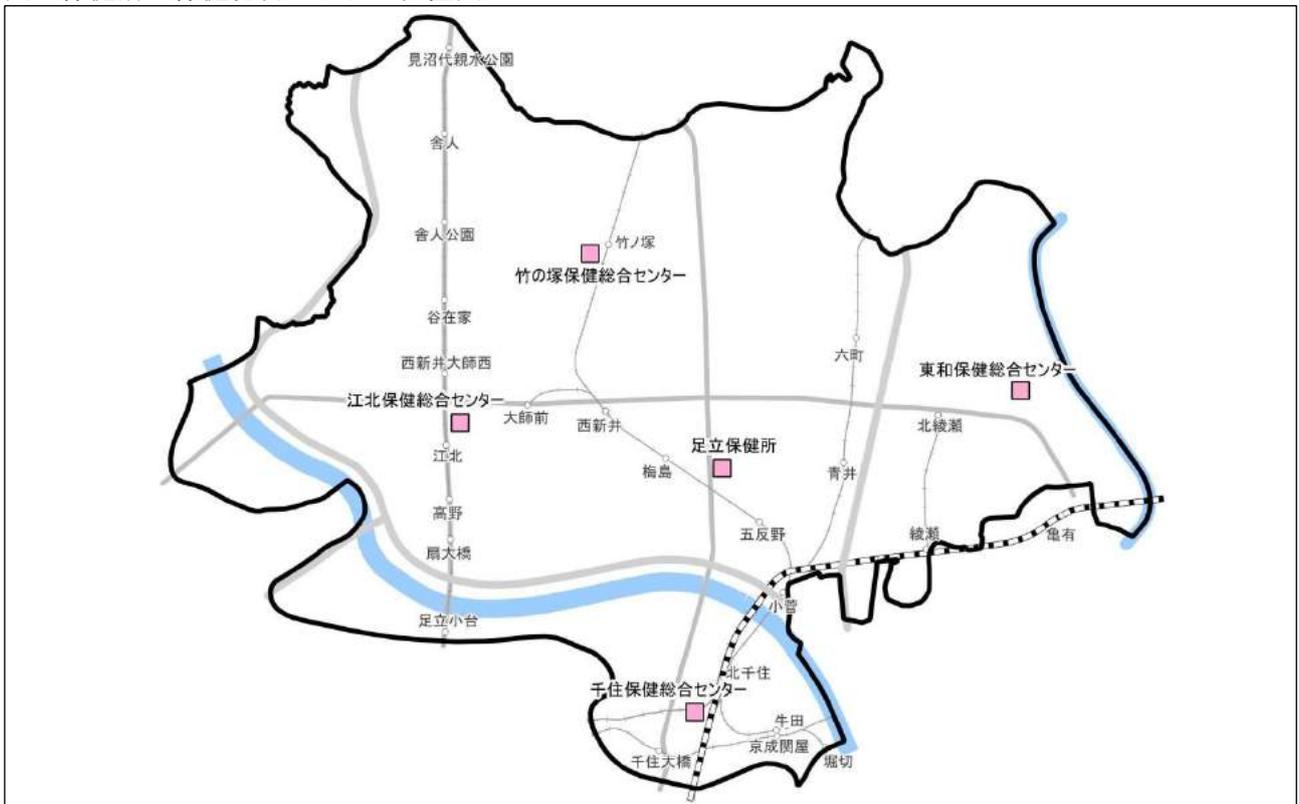
設置目的	事業内容	
・地域に密着した各種保健サービスの提供	・健康診査 ・健康相談	・各種医療費助成の申請 ・環境衛生指導 等、保健衛生に関する業務

## ⑤ 受付時間

開館時間	休館日
午前 8 時 30 分から午後 5 時	土曜日、日曜日、祝日、年末年始

## ⑥ 配置状況

図 保健所・保健総合センター位置図



## ⑦ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

名称	所在地	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	複合・併設施設				備考
						休日診療所	子育てサロン	支所 (行政窓口)	その他	
1 足立保健所	中央本町1丁目5-3	4,644.58	昭和61	29	RC				●	中央本町地域・保健総合支援課
2 江北保健総合センター	西新井本町2丁目30-40	1,563.08	昭和57	33	RC	●				
3 千住保健総合センター	千住仲町19-3	1,617.17	平成11	16	RC		●	●	●	千住庁舎3、4階
4 竹の塚保健総合センター	西竹の塚1丁目11-2	2,618.00	平成16	11	RC	●	●			エミエルタワー竹の塚2階
5 東和保健総合センター	大谷田3丁目11-13	644.22	平成19	8	S	●			●	H27.7.21から一時移転中
合計		11,087.05								

※赤字は築30年以上の施設

(6) イ 高齢者福祉施設

イ 高齢者福祉施設

区では民間事業者の活力を活かした高齢者福祉サービスの提供を行っています。特別養護老人ホームは区内に 24 施設あり全て民間事業者による運営です。そのうち、区所有の建物に入っている特別養護老人ホームが 4 施設あり、区は民間事業者に賃貸をしています。地域包括支援センターは区内に 25 施設あり、区所有建物内に併設されている施設が 2 施設あります。その他、高齢者在宅サービスセンターやシルバー人材センターがあります。

《概要シート》

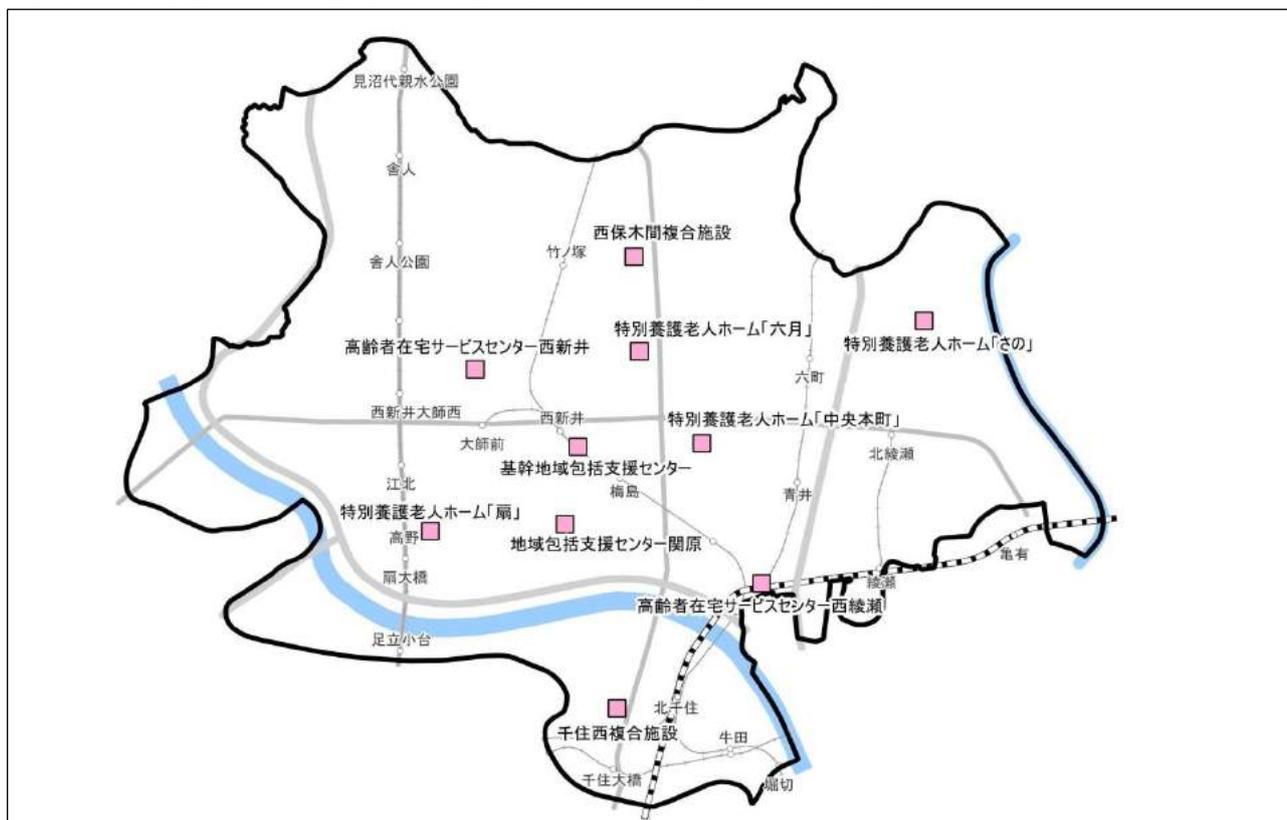
施設概要	施設数	10 施設	管理形態	民営、委託運営、指定管理者運営
	主な室名	—		
	平均開館日数		総延床面積	26,611.03㎡
備考				

① 設置目的・事業内容

施設	設置目的
特別養護老人ホーム	常時の介護を必要とし、かつ、居宅において介護を受けることが困難なものを入所させ、介護を提供することを目的とする。
軽費老人ホーム (ケアハウス)	居宅において生活することが困難な高齢者の健全で安らかな生活の維持を図ることを目的とする。
高齢者在宅サービスセンター	在宅の虚弱高齢者及び介護を要する高齢者並びにその介護者に対して在宅生活を維持するうえで必要なサービスを提供することを目的とする。
シルバー人材センター	企業や家庭、公共団体などからさまざまな仕事を引き受けて、地域の経験豊かな高齢者に仕事を提供することを目的とする。
地域包括支援センター	高齢者やその家族の方の総合的な相談に応じ、支援することを目的とする。

② 配置状況

図 高齢者福祉施設 位置図 (区が建物を所有している施設のみ掲載)



③ 施設一覧

表 区所有建物内的高齢者福祉施設一覧 (50 音順)

施設分類	名称	所在地	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	複合・併設施設			運営方式	備考
							地域包括支援センター	シルバー人材センター	その他		
特別養護老人ホーム	1 特別養護老人ホーム「扇」	扇1丁目52-23	4,318.27	平成4	23	RC	●			民営	
	2 特別養護老人ホーム「さの」	佐野2丁目30-12	5,712.06	平成2	25	RC	●			民営	
	3 特別養護老人ホーム「中央本町」	中央本町4丁目14-20	4,648.45	平成12	15	RC	●			民営	
	4 特別養護老人ホーム「六月」	六月1丁目6-1	8,102.20	平成6	21	RC	●		●	民営	3・4Fにケアハウス「六月」を併設
高齢者在宅サービスセンター	5 高齢者在宅サービスセンター西綾瀬	西綾瀬3丁目2-1	1,023.00	平成8	19	RC	●			民営	
	6 高齢者在宅サービスセンター西新井	西新井2丁目5-5	1,280.88	平成14	13	RC	●			指定管理	
シルバー人材センター	7 千住西複合施設	千住中居町10-10	424.20	昭和58	32	RC	●	●		委託	シルバー人材センター千住支所
	8 西保木間複合施設	西保木間1丁目8-2	614.62	昭和59	31	RC		●		民営	シルバー人材センター本部 シルバー人材センター北部支所
地域包括支援センター	9 基幹地域包括センター	梅島3丁目28-8	128.90	平成21	6	S			●	委託	子ども支援センターげんき1階
	10 地域包括支援センター関原	関原2丁目10-10	358.45	昭和41	49	RC				委託	
合計	合計		26,611.03								

※赤字は築30年以上の建物

※区が建物を所有している施設のみ掲載

(6) ウ 社会事業授産施設

ウ 社会事業授産施設

区では高齢者福祉を目的とし、社会事業授産施設を設置しています

《概要シート》

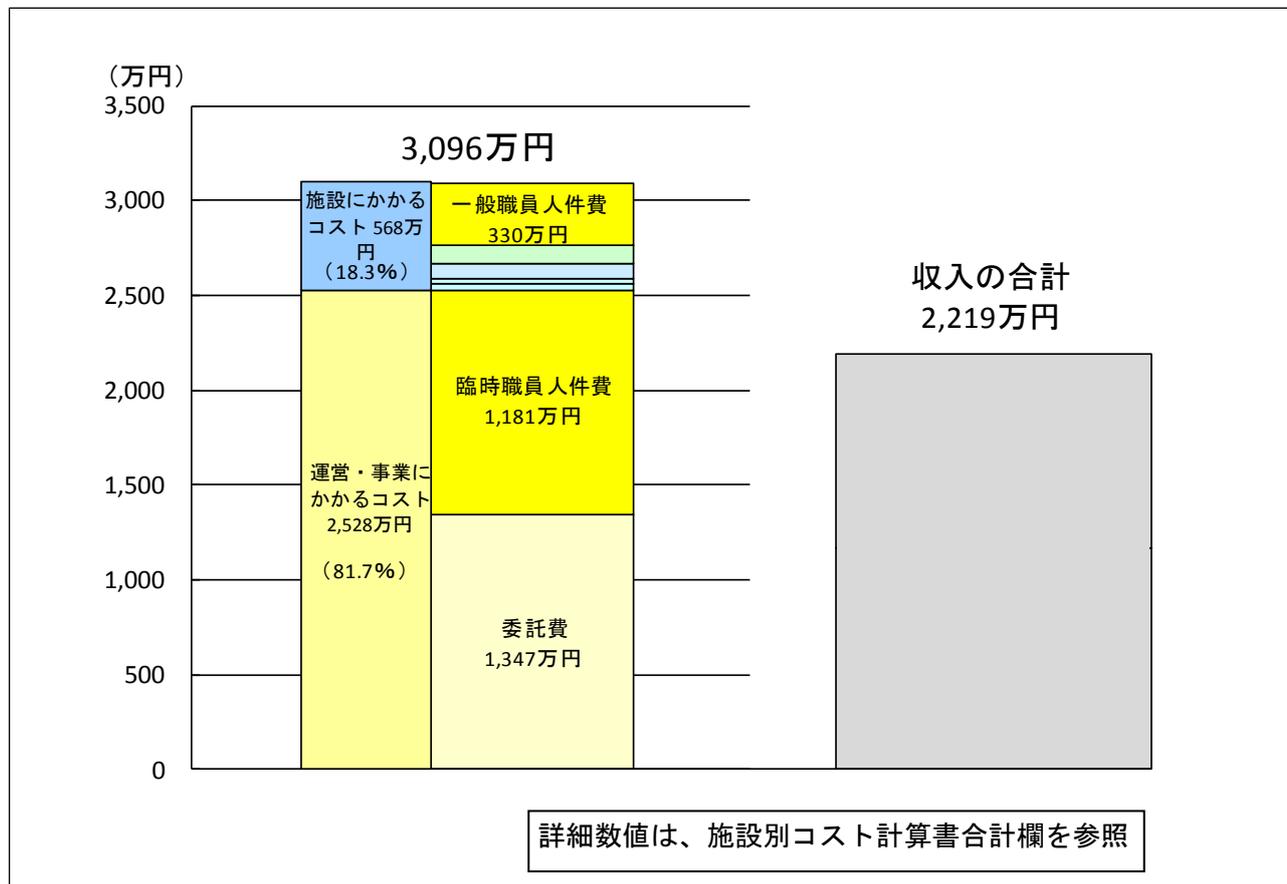
施設概要	施設数	1 施設	管理形態	運営委託
	平均開館日数		総延床面積	236.23㎡
収支状況	① 施設にかかるコスト			568万円
	② 運営・事業にかかるコスト			2,528万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			0万円
	⑤ 収入			2,219万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			3,096万円
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)			131,059円/㎡
備考				

① コスト状況

青井授産場の年間トータルコストは 3,096 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 568 万円（18%）、運営・事業にかかるコストは 2,528 万円（82%）となっています。

図 収支状況



《運営状況》

青井授産場は、区が足立区シルバー人材センターに委託して運営しています。

表 運営人員

(人)

		青井授産場
運営形態		委託
施設管理	一般職員	0.4
	計	0.4

(6) ウ 社会事業授産施設

表 施設別コスト計算書

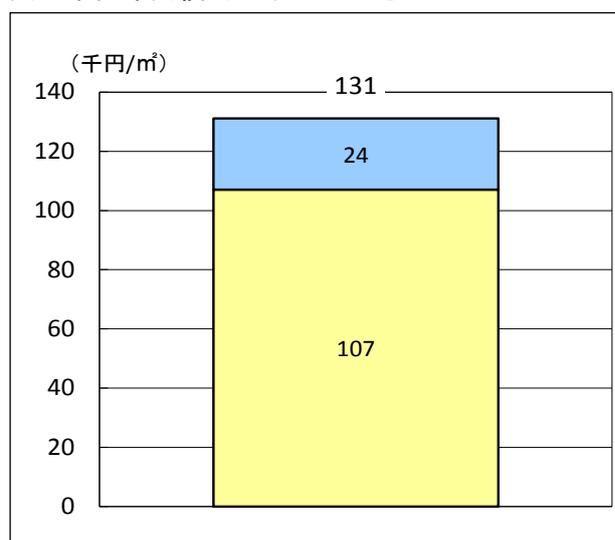
【費用の部】		(円)
		青井授産場
一般職員人件費		3,304,400
修繕費		967,027
光熱水費		790,311
委託費		226,584
その他物件費		391,655
① 施設にかかるコスト		5,679,977
臨時職員人件費		11,809,245
委託費		13,469,372
② 運営・事業にかかるコスト		25,278,617
③ 指定管理委託料		0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		30,958,594
④ 減価償却相当額		0
【収入の部】		
加工賃収入		11,809,257
授産施設事務費		10,380,512
⑤ 収入の合計		22,189,769
【総括】		
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		30,958,594
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		8,768,825

② 評価・分析

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積1㎡当たりにかかるコストを算出すると、131,059円/㎡です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

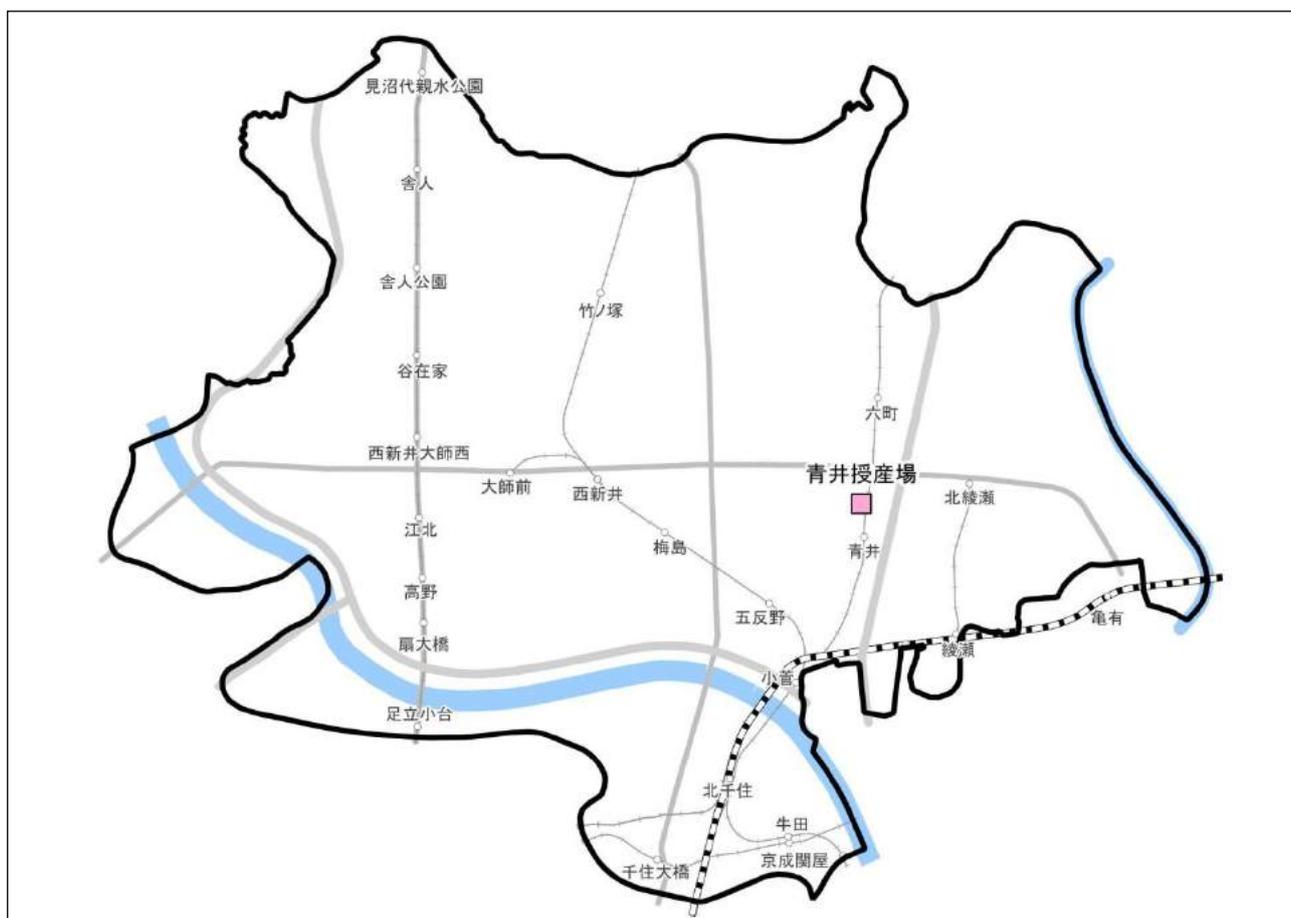


## ③ 設置目的・事業内容

施設名	設置目的	事業内容
青井授産場	・足立区授産場条例に基づき、高齢者等の福祉を目的として設置。	・簡易組立や包装等、内職的な軽作業を行い出来高に応じて工賃を支払う。

## ④ 配置状況

図 社会事業授産施設位置図



## ⑤ 施設一覧

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	備考
1 青井授産場	青井4丁目27-11	236.23	昭和38	52	RC	

※赤字は築30年以上の施設

(6) エ 障がい者福祉施設

エ 障がい者福祉施設

区では、通所支援施設を9施設、また障がい者支援施設として自立支援センター等を設置しています。

《概要シート》

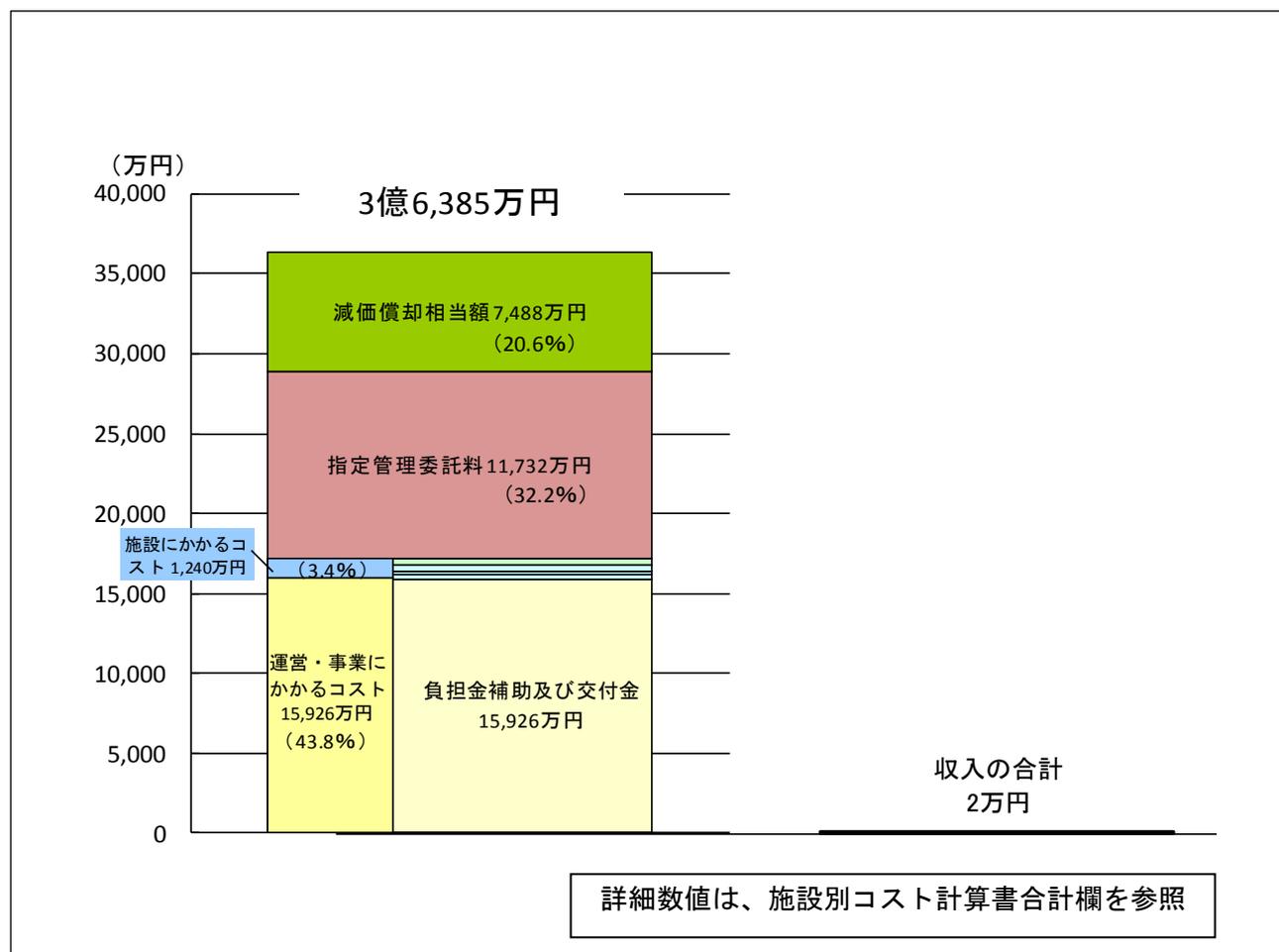
施設概要	施設数	11 施設	管理形態	直営、民営、 指定管理者運営
	主な室名	—		
	平均開館日数		総延床面積	16,461.83㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数			
収支状況	① 施設にかかるコスト	5,078万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	98,438万円		
	③ 指定管理委託料	17,263万円		
	④ 減価償却相当額	11,604万円		
	⑤ 収入	17,877万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	132,382万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	80,418円/㎡		
備考				

① コスト状況

【通所支援施設】

通所支援施設の年間トータルコストは、36,385万円です。施設にかかるコストは1,240万円（3%）、運営・事業にかかるコストは15,926万円（44%）、指定管理委託料は11,732万円（32%）、減価償却相当額は7,488万円（21%）、となっております。

図 通所支援施設 全施設収支状況



《運営状況》

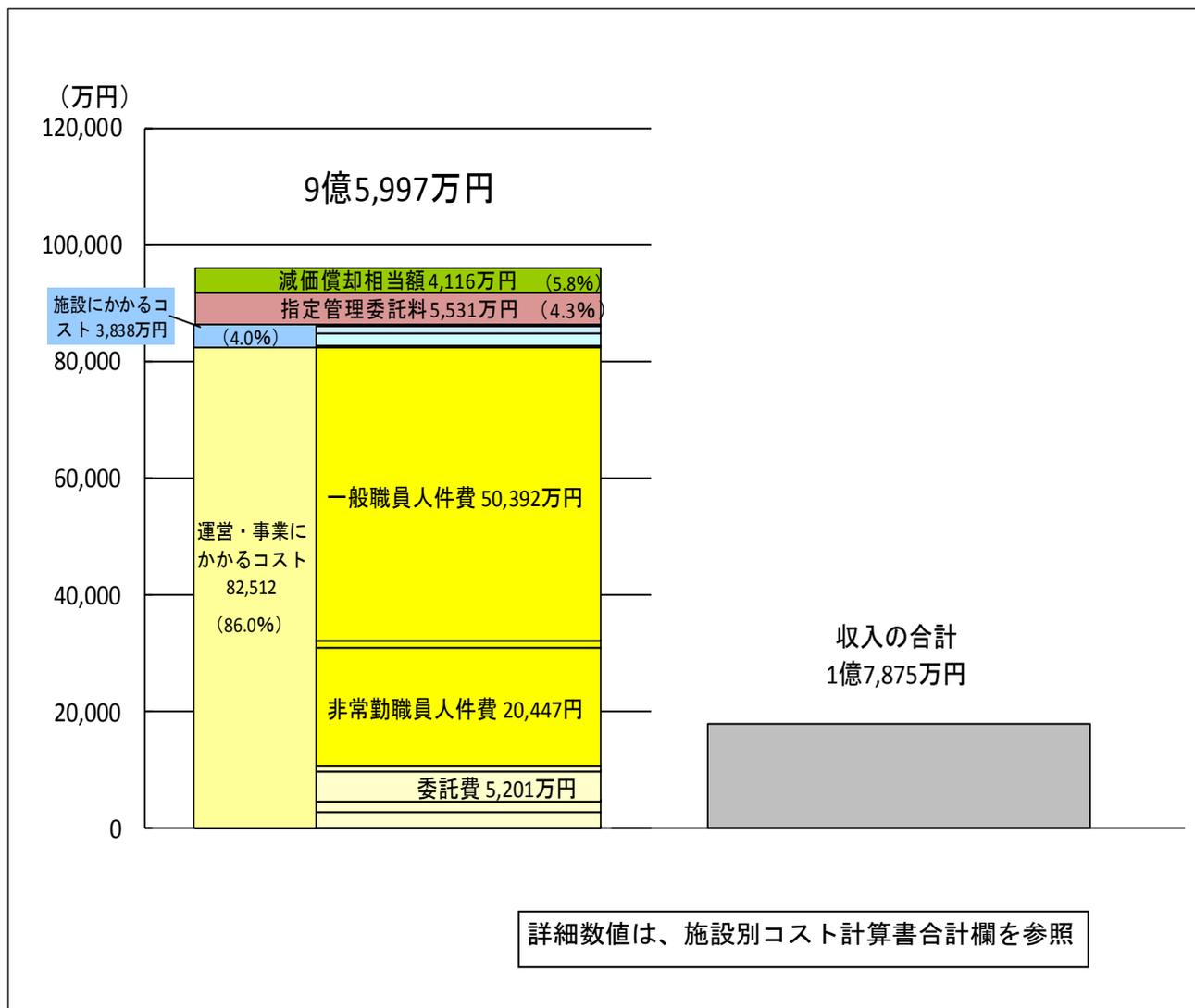
通所支援施設の運営形態は、指定管理者及び民間事業者による運営となっております。

(6) エ 障がい者福祉施設

【その他支援施設】

その他支援施設の年間トータルコストは、95,997万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは3,838万円（4%）、運営・事業にかかるコストは82,512万円（86%）、指定管理委託料は5,531万円（4%）、減価償却相当額は4,116万円（6%）となっております。

図 その他支援施設 全施設収支状況



《運営状況》

障がい福祉センターあしすとは、区の直営です。

精神障がい者自立支援センター「ふれんどりい」は、指定管理者による運営です。

表 施設別コスト計算書&lt;通所支援施設&gt;

(円)

【費用の部】	綾瀬福祉園	大谷田障がい福祉施設	神明障がい福祉施設	谷在家障がい福祉施設	梅田作業所
修繕費	0	0	855,576	909,360	9,180
改修費	0	0	1,225,800	0	518,400
委託費	0	236,520	308,800	335,880	78,120
その他物件費	157,700	0	0	0	164,851
① 施設にかかるコスト	157,700	236,520	2,390,176	1,245,240	770,551
負担金補助及び交付金	0	0	97,239,412	59,880,284	0
② 運営・事業にかかるコスト	0	0	97,239,412	59,880,284	0
③ 指定管理委託料	25,669,499	91,648,568	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	25,827,199	91,885,088	99,629,588	61,125,524	770,551
④ 減価償却相当額	5,716,800	12,450,744	20,081,520	23,096,448	0
【収入の部】					
使用料収入	0	0	24,396	0	0
⑤ 収入の合計	0	0	24,396	0	0
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	31,543,999	104,335,832	119,711,108	84,221,972	770,551
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	31,543,999	104,335,832	119,686,712	84,221,972	770,551

表 施設別コスト計算書&lt;通所支援施設&gt;

(円)

【費用の部】	江北作業所	千住作業所	西新井作業所	東六月町作業所	合計
修繕費	594,324	267,300	1,028,343	193,017	3,857,100
改修費	548,640	0	346,500	1,238,760	3,878,100
委託費	105,840	642,600	214,200	85,680	2,007,640
その他物件費	323,987	543,672	1,047,018	421,200	2,658,428
① 施設にかかるコスト	1,572,791	1,453,572	2,636,061	1,938,657	12,401,268
負担金補助及び交付金	2,136,000	0	0	0	159,255,696
② 運営・事業にかかるコスト	2,136,000	0	0	0	159,255,696
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	117,318,067
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	3,708,791	1,453,572	2,636,061	1,938,657	288,975,031
④ 減価償却相当額	2,493,144	0	6,277,168	4,759,560	74,875,384
【収入の部】					
使用料収入	0	0	0	0	24,396
⑤ 収入の合計	0	0	0	0	24,396
【総括】					
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	6,201,935	1,453,572	8,913,229	6,698,217	363,850,415
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	6,201,935	1,453,572	8,913,229	6,698,217	363,826,019

(6) 工 障がい者福祉施設

表 施設別コスト計算書<その他支援施設> (円)

【費用の部】		障がい福祉センターあしすと	精神障がい者自立支援センター「ふれんどりい」	合計
一般職員人件費		0	1,652,200	1,652,200
光熱水費		12,446,271	0	12,446,271
委託費		22,281,573	214,920	22,496,493
使用料及び賃借料		731,027	1,056,852	1,787,879
① 施設にかかるコスト		35,458,871	2,923,972	38,382,843
一般職員人件費		503,921,000	0	503,921,000
再任用職員人件費		10,944,000	0	10,944,000
非常勤職員人件費		204,469,000	0	204,469,000
臨時勤職員人件費		6,501,510	0	6,501,510
修繕費		174,914	596,376	771,290
委託費		52,012,758	0	52,012,758
使用料及び賃借料		54,000	0	54,000
車両・備品購入費		0	209,000	209,000
負担金補助及び交付金		18,905,706	0	18,905,706
その他物件費		27,186,528	0	27,186,528
運営費		824,169,416	805,376	824,974,792
使用料及び賃借料		500	0	500
車両・備品購入費		142,800	0	142,800
事業費		143,300	0	143,300
② 運営・事業にかかるコスト		824,312,716	805,376	825,118,092
③ 指定管理委託料		0	55,312,274	55,312,274
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		859,771,587	59,041,622	918,813,209
④ 減価償却相当額		41,158,895	0	41,158,895
【収入の部】				
分担金及び負担金(収入)		178,621,853	0	178,621,853
使用料収入		121,206	0	121,206
諸収入		2,870	0	2,870
⑤ 収入の合計		178,745,929	0	178,745,929
【総括】				
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		900,930,482	59,041,622	959,972,104
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)		722,184,553	59,041,622	781,226,175

※障がい福祉センターあしとは、区内の各障がい福祉施設への送迎バス委託費 314,195,630 円を負担していますが、運営費の委託費ではあしすと専用分のバス委託費のみを計上しています。

図 施設別トータルコスト<通所支援施設>

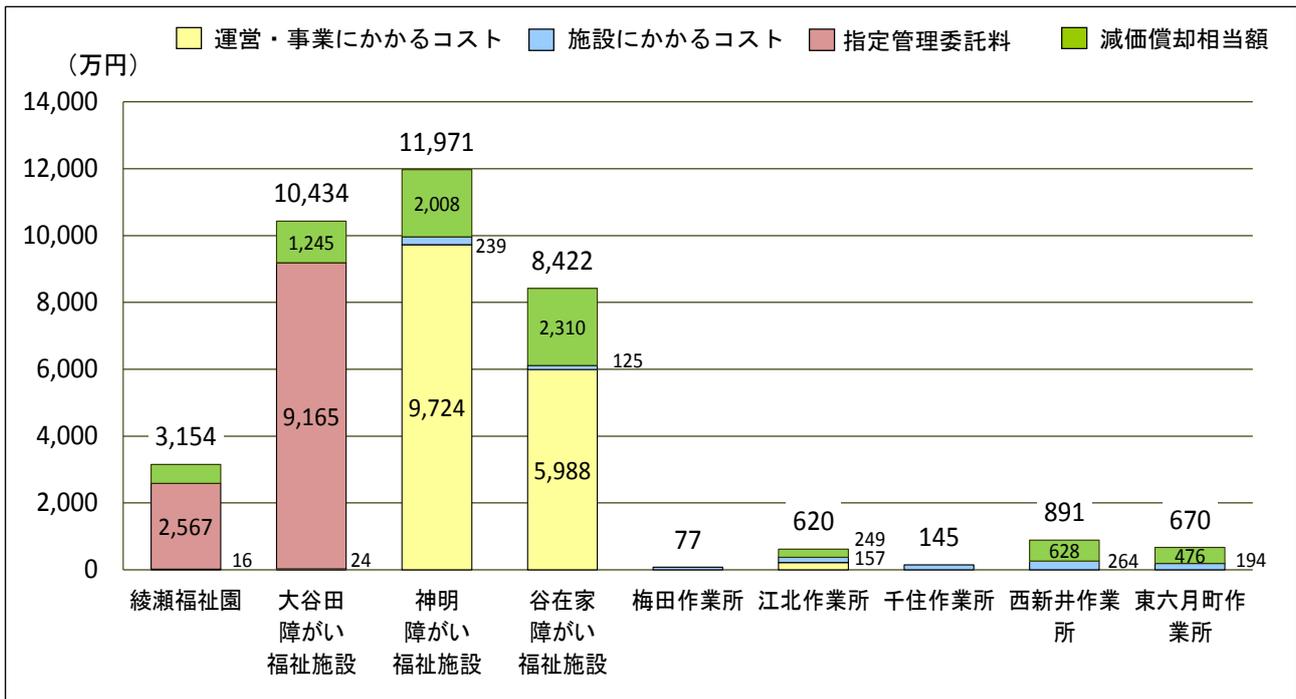
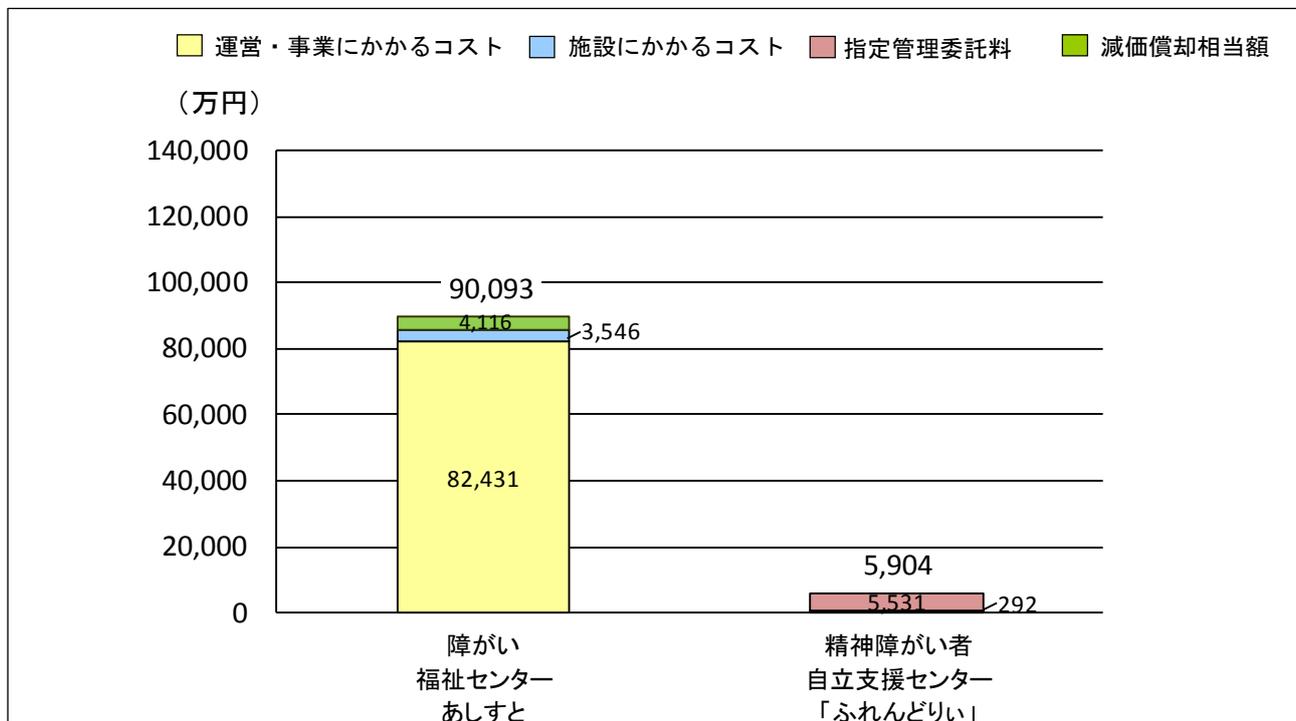


図 施設別トータルコスト<その他支援施設>



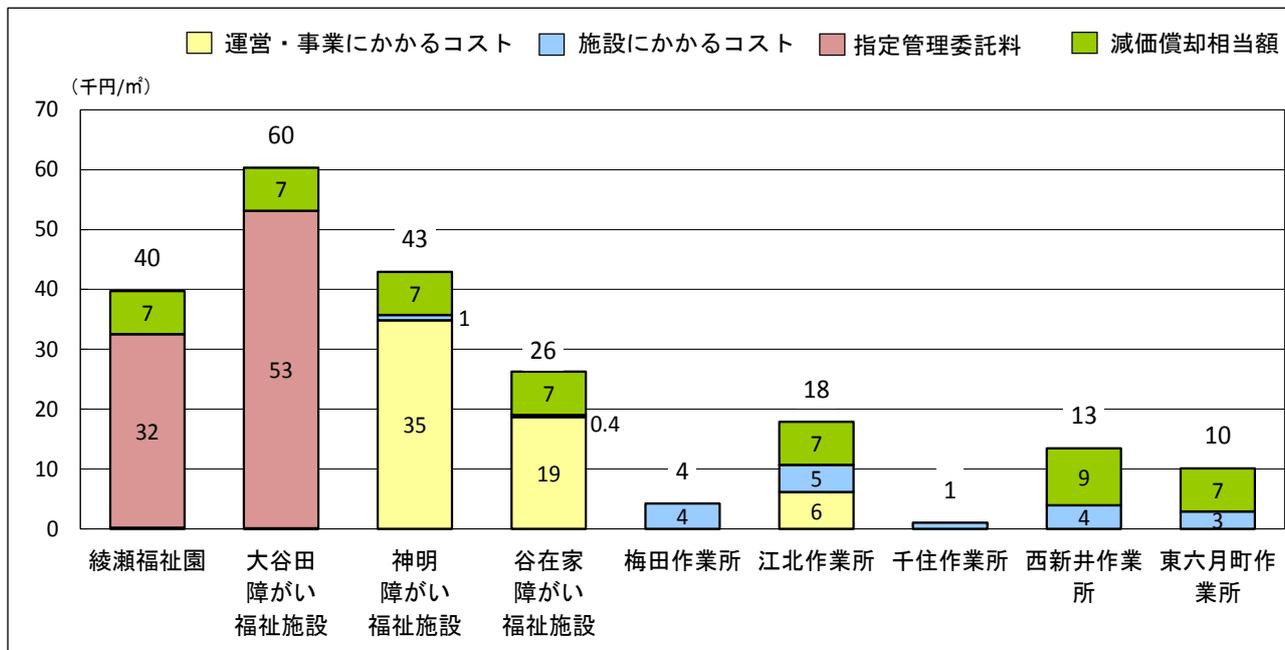
(6) Ⅰ 障がい者福祉施設

② 評価・分析

■ 単位床面積当たりにかかるコスト<通所支援施設>

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 30,948 円/m<sup>2</sup>です。

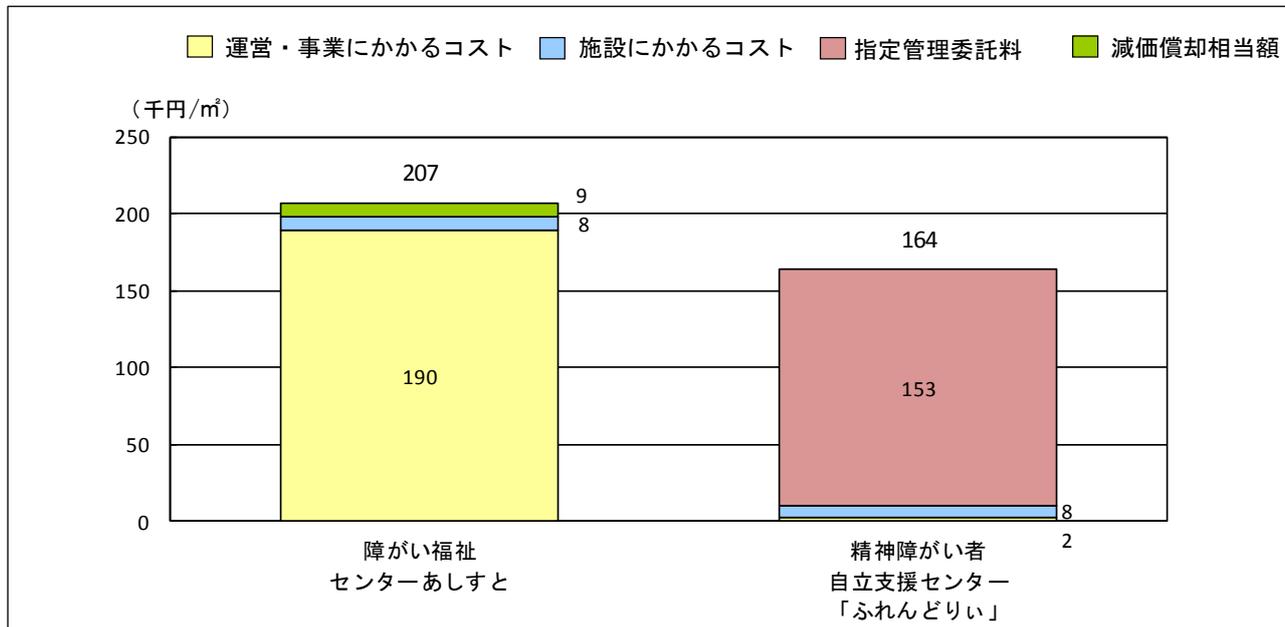
図 単位床面積当たりにかかるコスト<通所施設>



■ 単位床面積当たりにかかるコスト<その他支援施設>

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、障がい福祉センターあしすと 207,370 円/m<sup>2</sup>、精神障がい者自立支援センター「ふれんどりい」は 163,732 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト<その他支援施設>

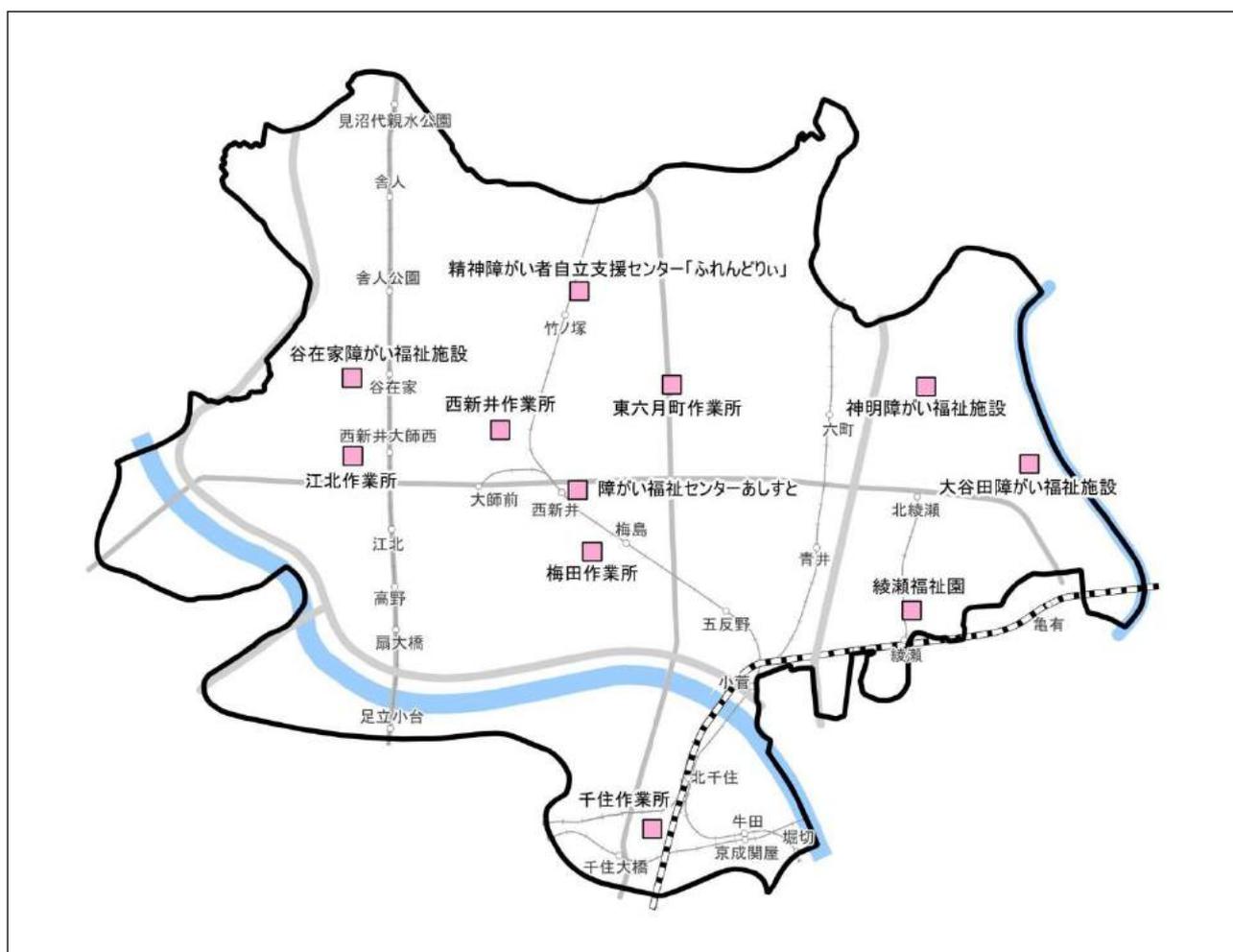


③ 設置目的

施設	設置目的
通所支援施設	障がい者の社会参加及び自立を促進し、障がい者の福祉の向上を図ることを目的とする。
障がい福祉センターあしすと	障がい者に対し、必要な相談、指導及び訓練を行い、社会活動への参加及び自立を促進し、障がい者の福祉の向上を図ることを目的とする。
精神障がい者自立支援センター「ふれんどりい」	精神障がい者の社会復帰及び自立と社会参加を促進するとともに精神障がい者の福祉の向上を図ることを目的とする。

④ 配置状況

図 障がい者福祉施設 位置図



(6) 工 障がい者福祉施設

⑤ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設		備考	
						作業所	支所 (行政窓口)		
通 所 支 援 施 設	1 綾瀬福祉園	東綾瀬1丁目26-2	794.00	平成4	23	RC	●	●	東部福祉課内
	2 大谷田障がい福祉施設	大谷田1丁目44-3	1,729.27	昭和60	30	RC	●		
	3 神明障がい福祉施設	神明南2丁目6-18	2,789.10	平成1	26	RC	●		
	4 谷在家障がい福祉施設	谷在家3丁目13-1	3,207.84	平成3	24	RC	●		
	5 梅田作業所	梅田5丁目27-11	180.51	昭和39	51	RC	●		
	6 江北作業所	江北6丁目16-2-101	346.27	昭和44	46	RC	●		
	7 千住作業所	千住仲町24-2	1,386.05	昭和46	44	S	●		
	8 西新井作業所	西新井2丁目11-4	662.59	平成2	25	S	●		
	9 東六月町作業所	東六月町5-20	661.05	昭和59	31	RC	●		
そ の 他	10 障がい福祉センターあしすと	梅島3丁目31-19	4,344.55	平成14	13	S	●		
	11 精神障がい者自立支援センター「ふれんどりい」	竹の塚6丁目18-12	360.60	昭和45	45	RC	●		都営住宅1、2階 現在建替え中
合計		16,461.83							

※赤字は築 30 以上の施設

## オ 竹の塚障がい福祉館

区では、竹の塚地域学習センター内に障がい福祉館を設置しています。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	1 施設	管理形態	委託運営
	主な室名	—		
	平均開館日数		総延床面積	1, 016. 00㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数			
収支状況	① 施設にかかるコスト	709万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	552万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	0万円		
	⑤ 収入	0万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	1, 261万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	12, 411円/㎡		
備考				

(6) オ 竹の塚障がい福祉館

① コスト状況

竹の塚障がい福祉館の年間トータルコストは、1,261 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 709 万円（56%）、運営・事業にかかるコストは 552 万円（44%）、となっております。

図 収支状況

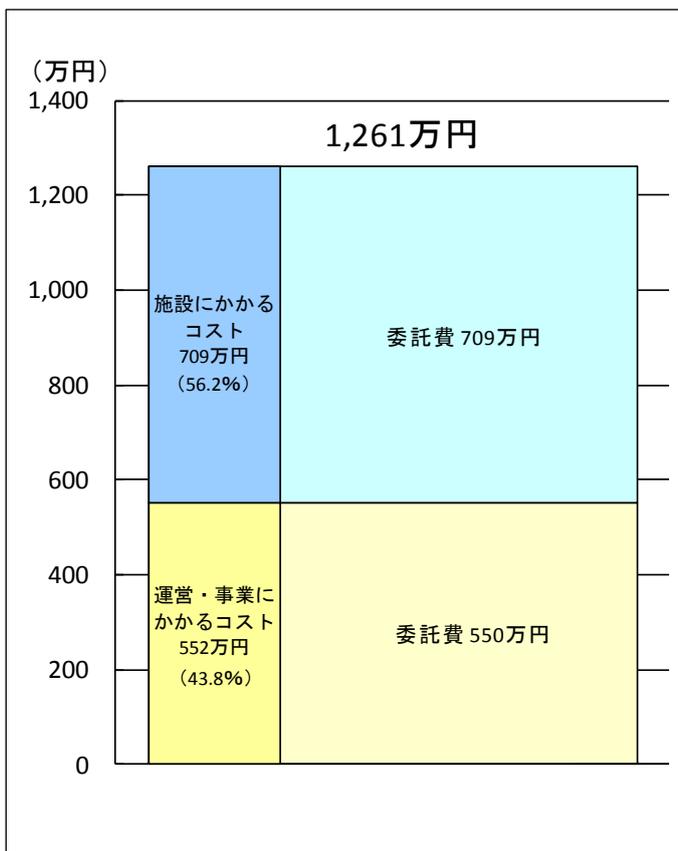


表 施設別コスト計算書 (円)

【費用の部】		竹の塚障がい福祉館
委託費		7,093,293
<b>① 施設にかかるコスト</b>		<b>7,093,293</b>
委託費		5,501,779
その他物件費		19,328
<b>② 運営・事業にかかるコスト</b>		<b>5,521,107</b>
<b>③ 指定管理委託料</b>		<b>0</b>
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		12,614,400
<b>④ 減価償却相当額</b>		<b>0</b>
【収入の部】		
<b>⑤ 収入の合計</b>		<b>0</b>
【総括】		
<b>⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)</b>		<b>12,614,400</b>
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		12,614,400

《運営状況》

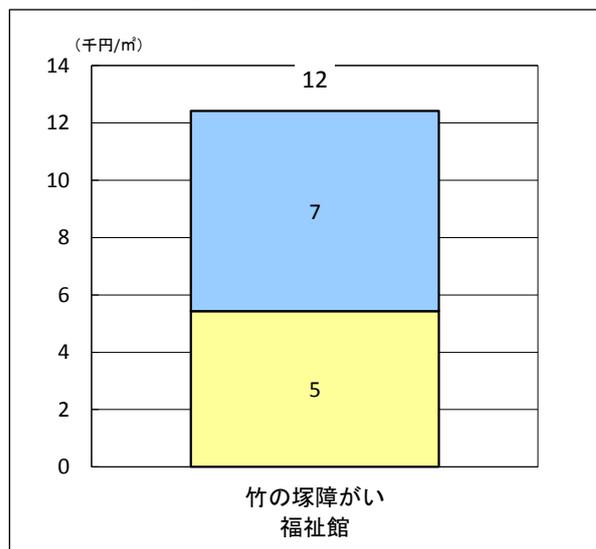
竹の塚障がい福祉館は、管理運営委託となっております。

② 評価・分析

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup> 当たりにかかるコストを算出すると、12,411 円/m<sup>2</sup> です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト

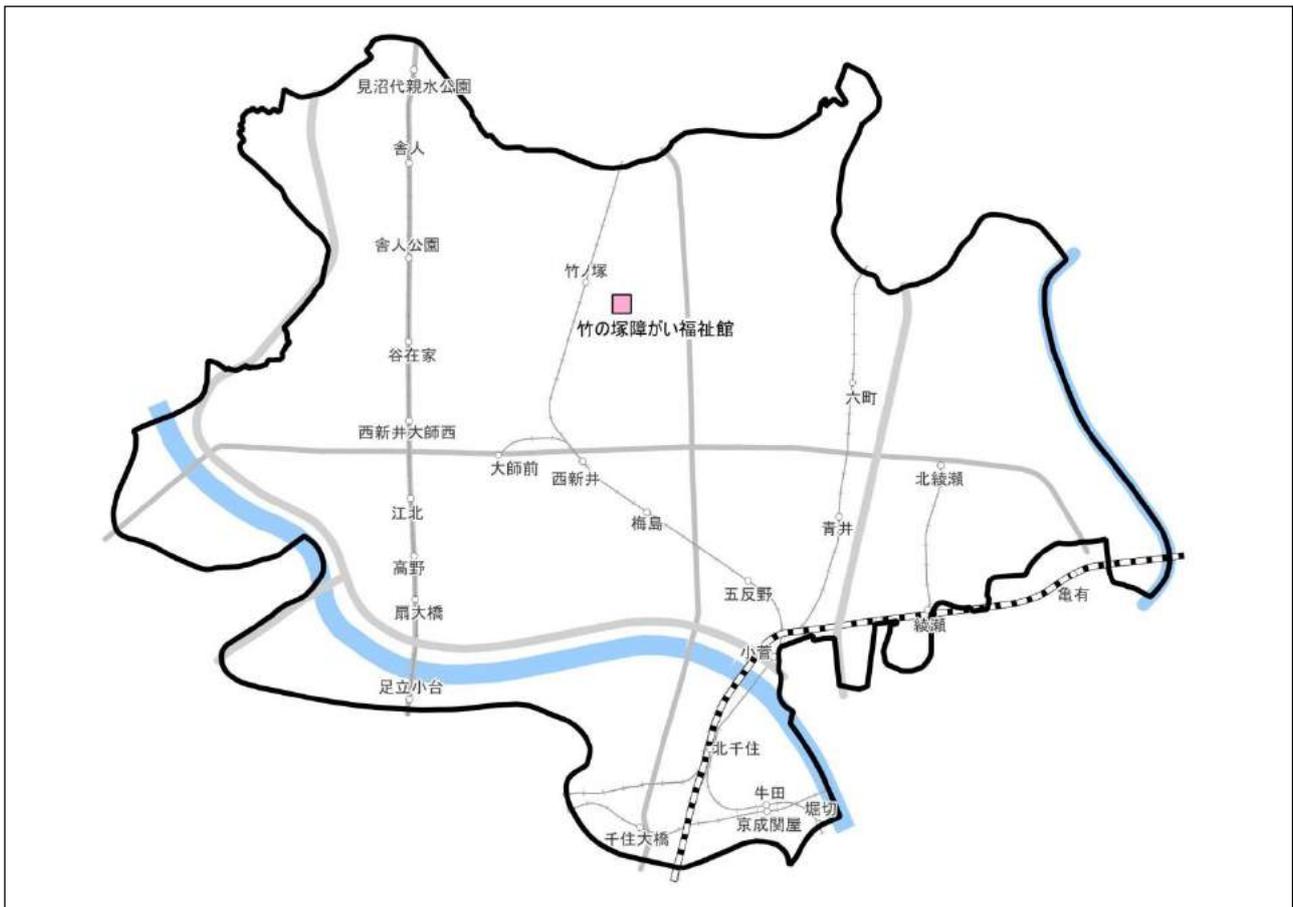


③ 事業目的

施設	事業目的
竹の塚障がい福祉館	障がい者団体・障がい者の家族および関係者団体・ボランティア団体等の学習・活動・交流の場として会議室等の貸出を行う。

④ 配置状況

図 障がい者福祉施設 位置図



⑤ 施設一覧

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)				備考
						地域学習センター	支所 (行政窓口)	その他	
1 竹の塚障がい福祉館	竹の塚2丁目25-17	1,016.00	昭和53	37	SRC	●	●	●	竹の塚地域学習センター内

※赤字は築30以上の施設

(6) カ ボランティアセンター

カ ボランティアセンター

区では、ボランティアセンターを2施設設置しています。

《概要シート》

施設概要	施設数	2 施設	管理形態	委託運営
	主な室名	—		
	平均開館日数		総延床面積	905.40㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数			
収支状況	① 施設にかかるコスト			359万円
	② 運営・事業にかかるコスト			1,527万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			203万円
	⑤ 収入			0万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			2,089万円
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)			23,073円/㎡
備考				

① コスト状況

ボランティアセンターの年間トータルコストは、2,089万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは359万円（17%）、運営・事業にかかるコストは1,527万円（73%）、減価償却相当額は203万円（10%）、となっています。

図 収支状況

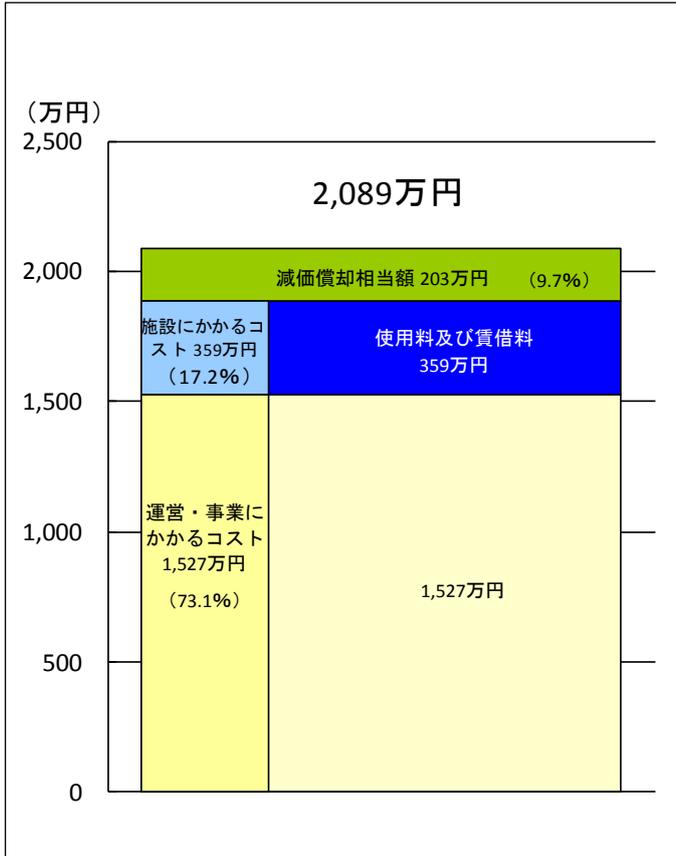


表 施設別コスト計算書

【費用の部】		ボランティアセンター
使用料及び賃借料		3,585,024
① 施設にかかるコスト		3,585,024
委託費		15,272,809
② 運営・事業にかかるコスト		15,272,809
③ 指定管理委託料		0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		18,857,833
④ 減価償却相当額		2,028,312
【収入の部】		
⑤ 収入の合計		0
【総括】		
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		20,886,145
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		20,886,145

《運営状況》

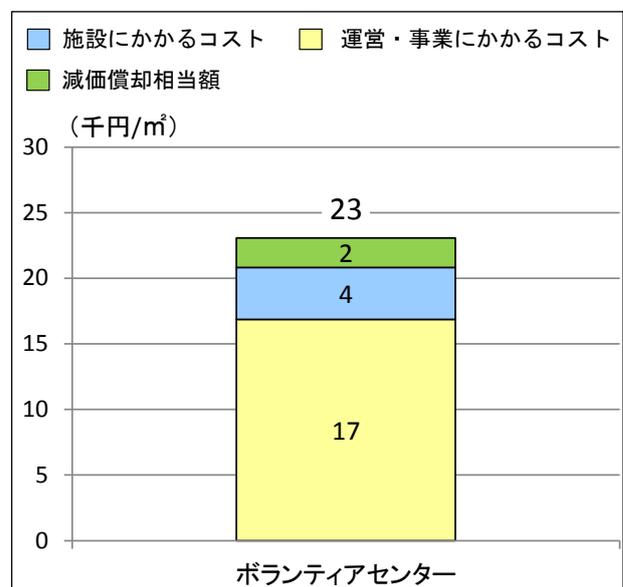
ボランティアセンターは委託運営となっています。

② 評価・分析

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積1㎡当たりにかかるコストを算出すると、23,073円/㎡です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト



(6) カ ボランティアセンター

③ 事業目的

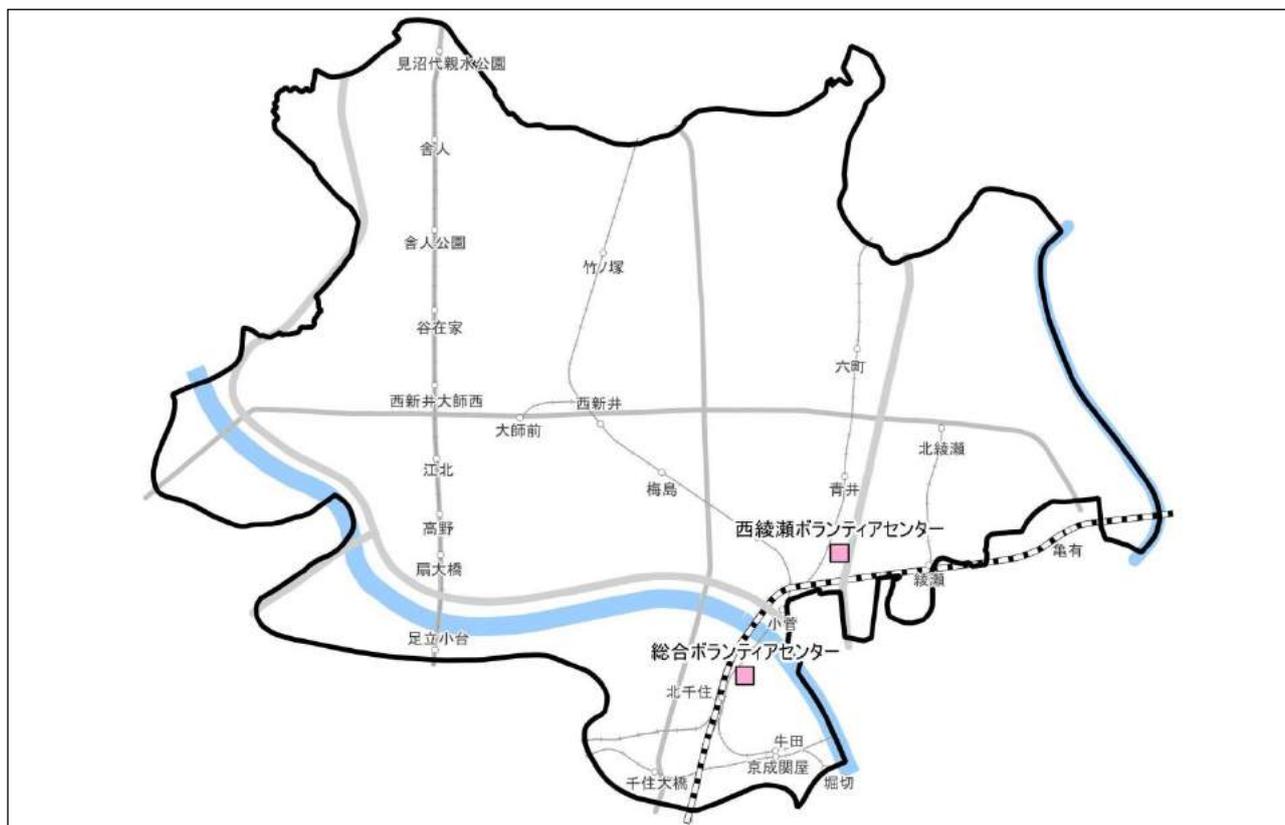
設置目的	事業内容
ボランティアの育成及び活動の場として施設を提供することにより、ボランティア活動による地域福祉の推進を図るため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアに関する様々な相談</li> <li>・ボランティアに関連する講座</li> <li>・講習会の実施</li> <li>・ボランティア活動者への支援等</li> </ul>

④ 運営時間

施設	運営時間	休業日
総合ボランティアセンター	午前9時から午後9時	日曜・祝日の夜間・年末年始
西綾瀬ボランティアセンター	午前8時45分から午後5時15分	土曜・日曜・祝日・年末年始

⑤ 配置状況

図 ボランティアセンター 位置図



⑥ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	備考
1 総合ボランティアセンター	日ノ出町27	623.69	昭和42	48	RC	UR日ノ出町団地3号棟1階平成6年に開設
2 西綾瀬ボランティアセンター	西綾瀬四丁目5-6	281.71	昭和42	48	RC	
合計		905.40				

※赤字は築30年以上

## (7) 産業系施設

## ア 産業系施設

区内産業の振興及び活性化、中小企業の経営者や勤労者の支援を図るため、産業系施設を設置しています。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	5 施設	管理形態	直営、委託運営、指定管理者運営
	主な室名			
	平均開館日数		総延床面積	6,452.39㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数	43,708人		
収支状況	① 施設にかかるコスト	2,729万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	14,888万円		
	③ 指定管理委託料	2,613万円		
	④ 減価償却相当額	4,650万円		
	⑤ 収入	2,746万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	24,880万円		
	⑦ 利用者1人当たりのコスト			
	単位床面積当たりのコスト (4施設分)	38,559円/㎡		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間利用者数は、あだち産業センター、勤労福祉会館、まちづくり工房館3施設分</li> <li>● 利用者1人当たりのコストは、2施設（あだち産業センター、勤労福祉会館）のみ算出 （☒ 利用者1人当たりにかかるコスト参照）</li> <li>● 単位床面積当たりのコストは、まちづくり工房館を除く4施設の平均</li> </ul>		

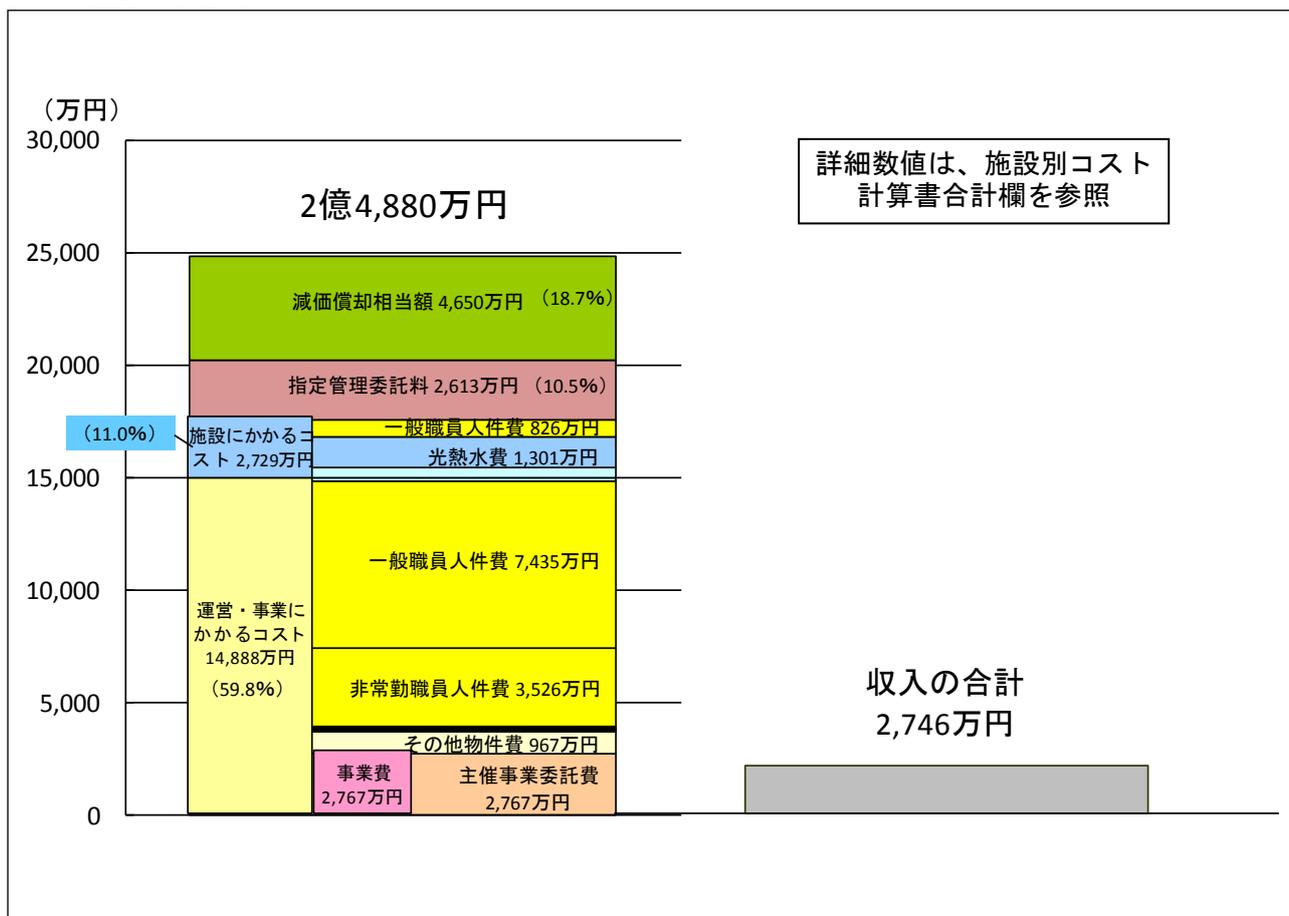
(7) ア 産業系施設

① コスト状況

産業系施設の年間トータルコストは 24,880 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 2,729 万円 (11%)、運営・事業にかかるコストは 14,860 万円 (60%)、指定管理委託料 2,613 万円 (10%)、減価償却相当額 4,650 万円(19%)となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

あだち産業センターは直営ですが、一部 IT 支援室におけるパソコン教室等が委託運営となっています。その他については指定管理者や委託運営となっています。

鹿浜小売市場は、現在閉鎖中です。

表 運営人員

(人)

		あだち産業センター	勤労福祉会館	鹿浜小売市場	千住仲町創業支援館はばたき	まちづくり工房館	合計
運営形態		直営/委託	指定管理者		直営/委託	指定管理者	
施設管理	一般職員	1.0	0.0	-	0.0	-	1.0
	計	1.0	0.0	-	0.0	-	1.0
事業運営	一般職員	9.0	0.0	-	0.0	-	9.0
	非常勤職員	14.0	0.0	-	2.0	-	16.0
	その他職員	0.0	2.8	-	0.0	-	2.8
	計	23.0	2.8	-	2.0	-	27.8
合計		24.0	2.8	-	2.0	-	28.8

表 施設別コスト計算書

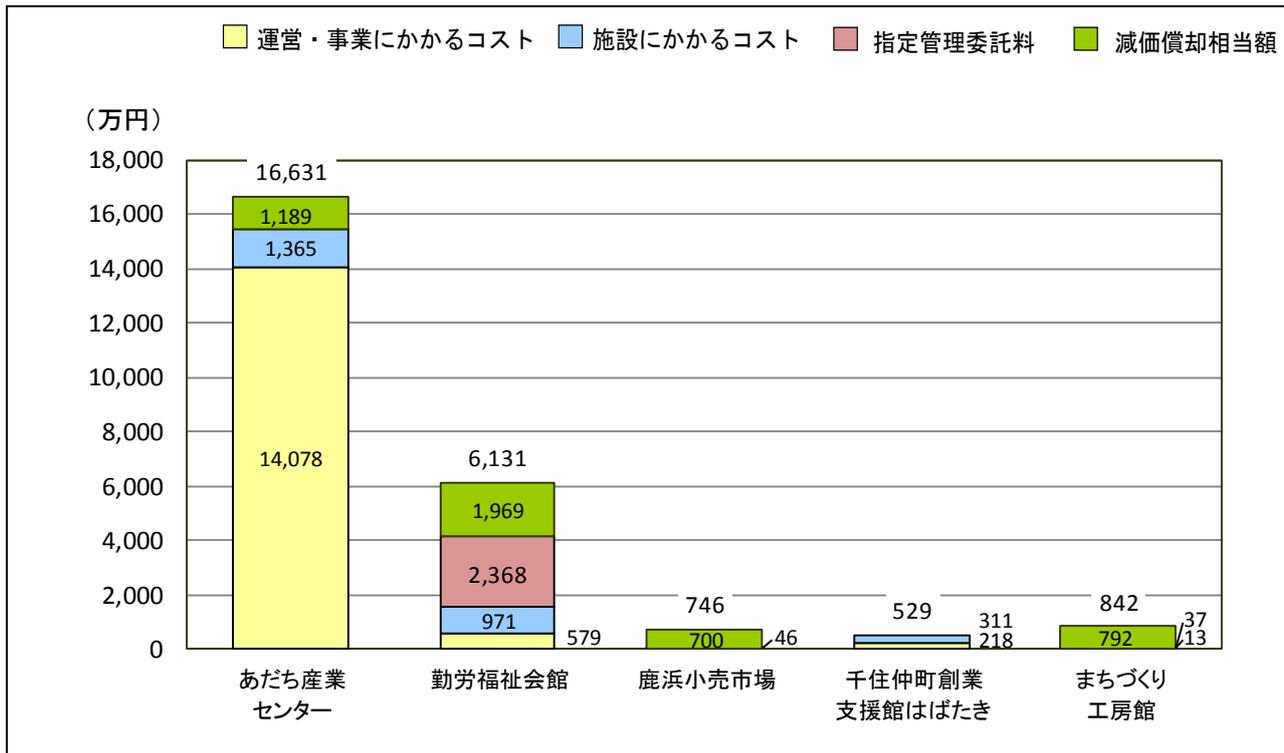
(円)

【費用の部】		あだち産業センター	勤労福祉会館	鹿浜小売市場	千住仲町創業支援館はばたき	まちづくり工房館	合計
① 施設にかかるコスト	一般職員人件費	8,261,000	0	0	0	0	8,261,000
	光熱水費	4,033,639	8,519,815	457,888	0	0	13,011,342
	委託費	1,354,919	0	0	3,109,532	367,200	4,831,651
	その他物件費	0	1,185,840	0	0	0	1,185,840
① 施設にかかるコスト		13,649,558	9,705,655	457,888	3,109,532	367,200	27,289,833
② 運営・事業にかかるコスト	一般職員人件費	74,349,000	0	0	0	0	74,349,000
	非常勤職員人件費	33,597,556	0	0	1,666,000	0	35,263,556
	その他人件費	0	0	0	28,500	0	28,500
	修繕費	604,456	0	0	59,400	129,816	793,672
	委託費	0	387,504	0	0	0	387,504
	使用料及び賃借料	123,120	444,775	0	0	0	567,895
	車両・備品購入費	154,278	0	0	0	0	154,278
	その他物件費	4,278,818	4,956,672	0	430,313	0	9,665,803
	運営費	113,107,228	5,788,951	0	2,184,213	129,816	121,210,208
	主催事業委託費	27,669,600	0	0	0	0	27,669,600
事業費	27,669,600	0	0	0	0	27,669,600	
② 運営・事業にかかるコスト		140,776,828	5,788,951	0	2,184,213	129,816	148,879,808
③ 指定管理委託料		0	26,125,707	0	0	0	26,125,707
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		154,426,386	41,620,313	457,888	5,293,745	497,016	202,295,348
④ 減価償却相当額		11,886,080	19,693,360	7,004,160	0	7,920,640	46,504,240
【収入の部】							
⑤ 収入の合計	使用料収入	5,054,790	16,930,100	0	3,415,568	0	25,400,458
	諸収入	979,234	1,084,006	0	0	0	2,063,240
⑤ 収入の合計		6,034,024	18,014,106	0	3,415,568	0	27,463,698
【総括】							
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		166,312,466	61,313,673	7,462,048	5,293,745	8,417,656	248,799,588
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		160,278,442	43,299,567	7,462,048	1,878,177	8,417,656	221,335,890

※まちづくり工房館の指定管理委託料は、愛恵まちづくり記念館の指定管理委託料に含まれます。

(7) ア 産業系施設

図 施設別トータルコスト

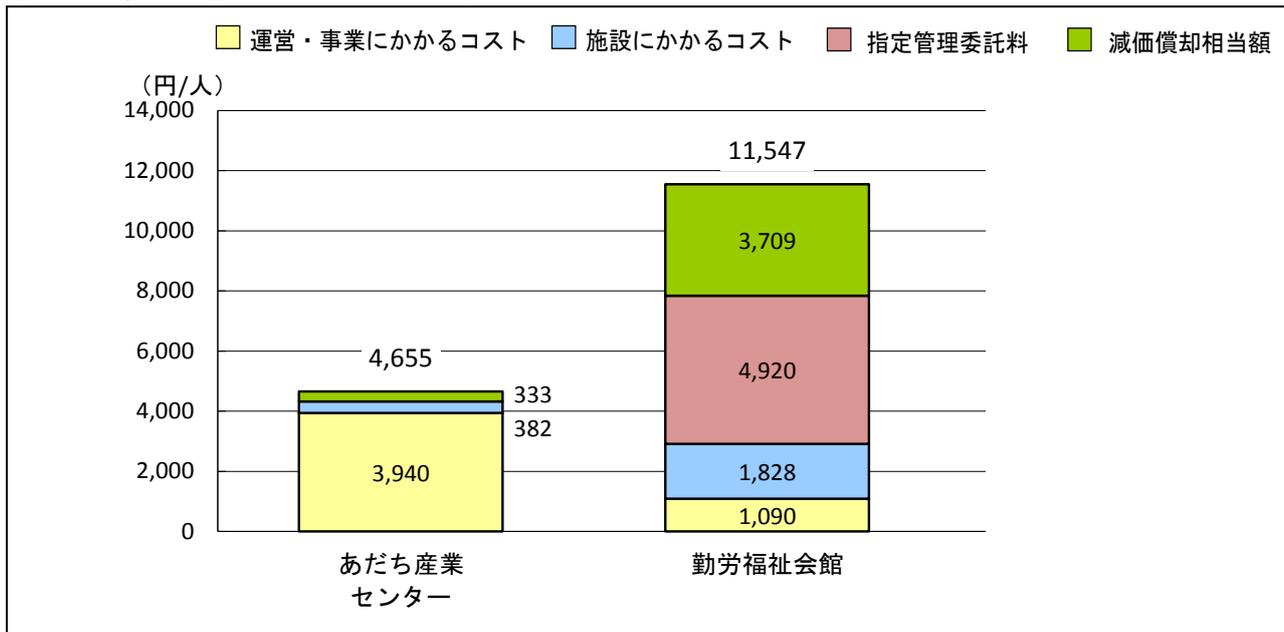


② 評価・分析

■ 利用者 1 人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、あだち産業センターは 4,655 円/人、勤労福祉会館は 11,547 円/人です。

図 利用者 1 人当たりにかかるコスト

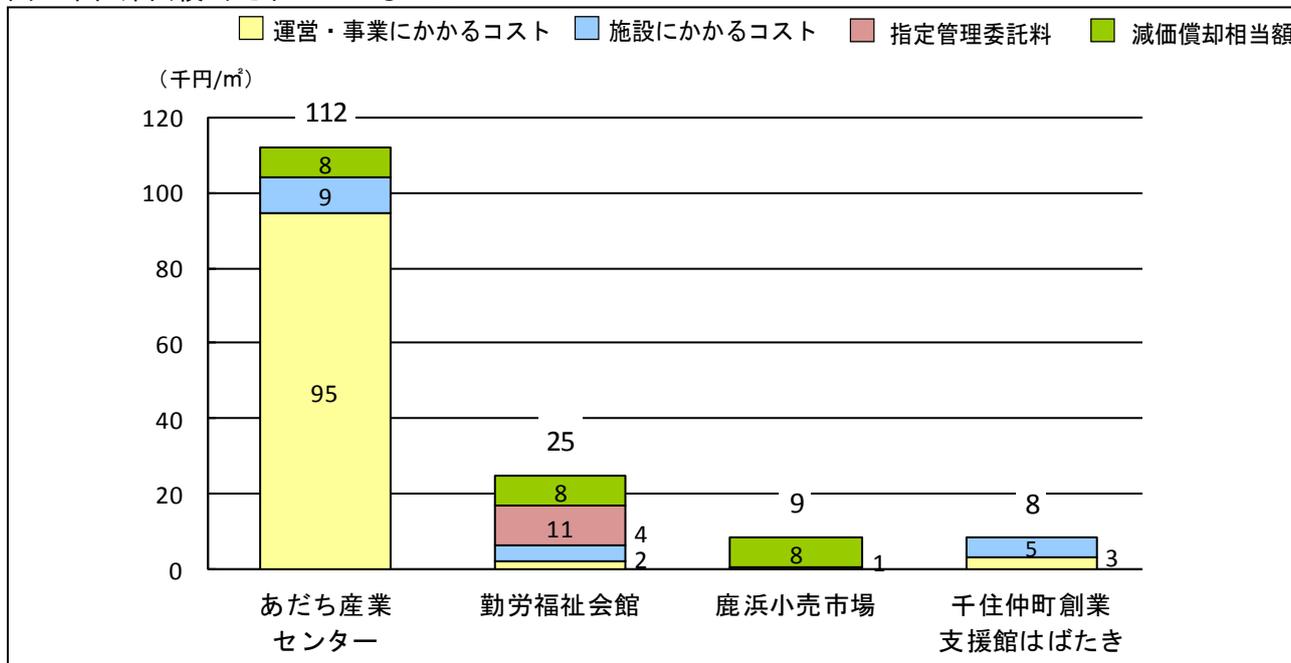


※まちづくり工房館の指定管理委託料は、愛恵まちづくり記念館の指定管理委託料に含まれるため評価対象外とします。

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 38,559 円/m<sup>2</sup>です。

図 単位床面積当たりにかかるコスト



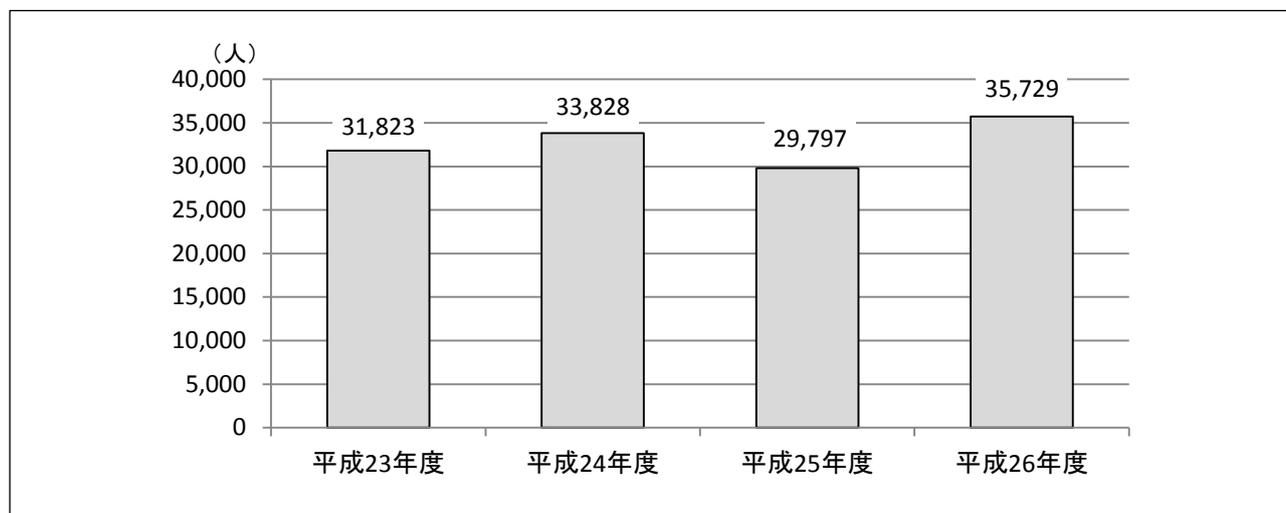
※まちづくり工房館の指定管理委託料は、愛恵まちづくり記念館の指定管理委託料に含まれるため評価対象外とします。

③ 利用状況

■ あだち産業センター 年間来館者数推移

あだち産業センターの年間来館者数は 30,000 人から 35,000 人前後で推移しています。

図 あだち産業センター 年間来館者数推移

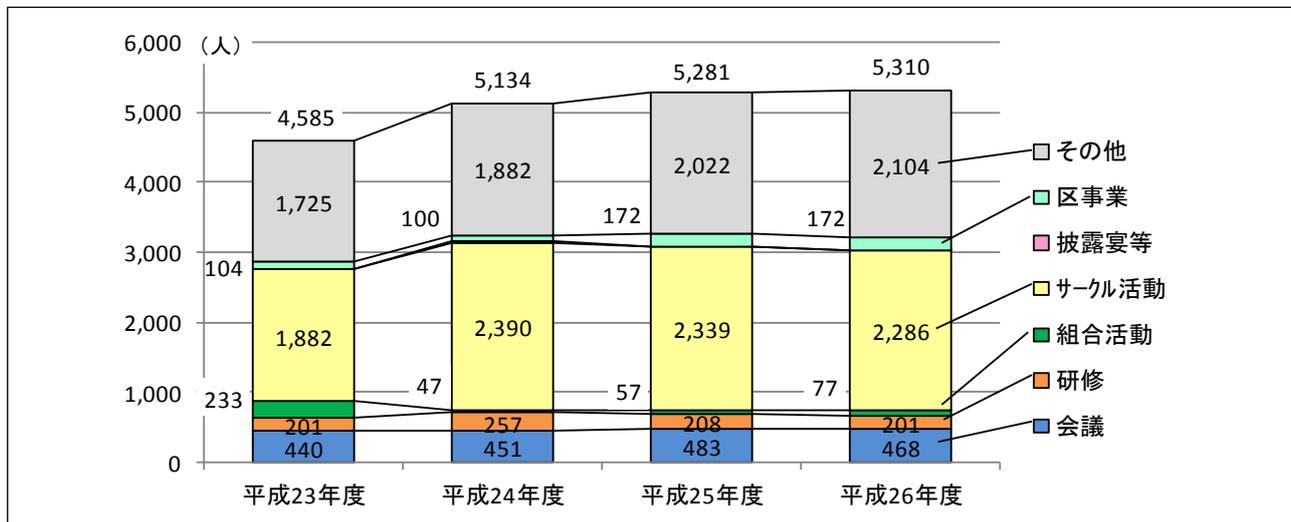


(7) ア 産業系施設

■ 勤労福祉会館 年間利用者数

勤労福祉会館の年間利用者数は 5,000 人前後で推移しています。目的別でみるとサークル活動といった団体利用が最も多くなっています。

図 勤労福祉会館 目的別利用者推移

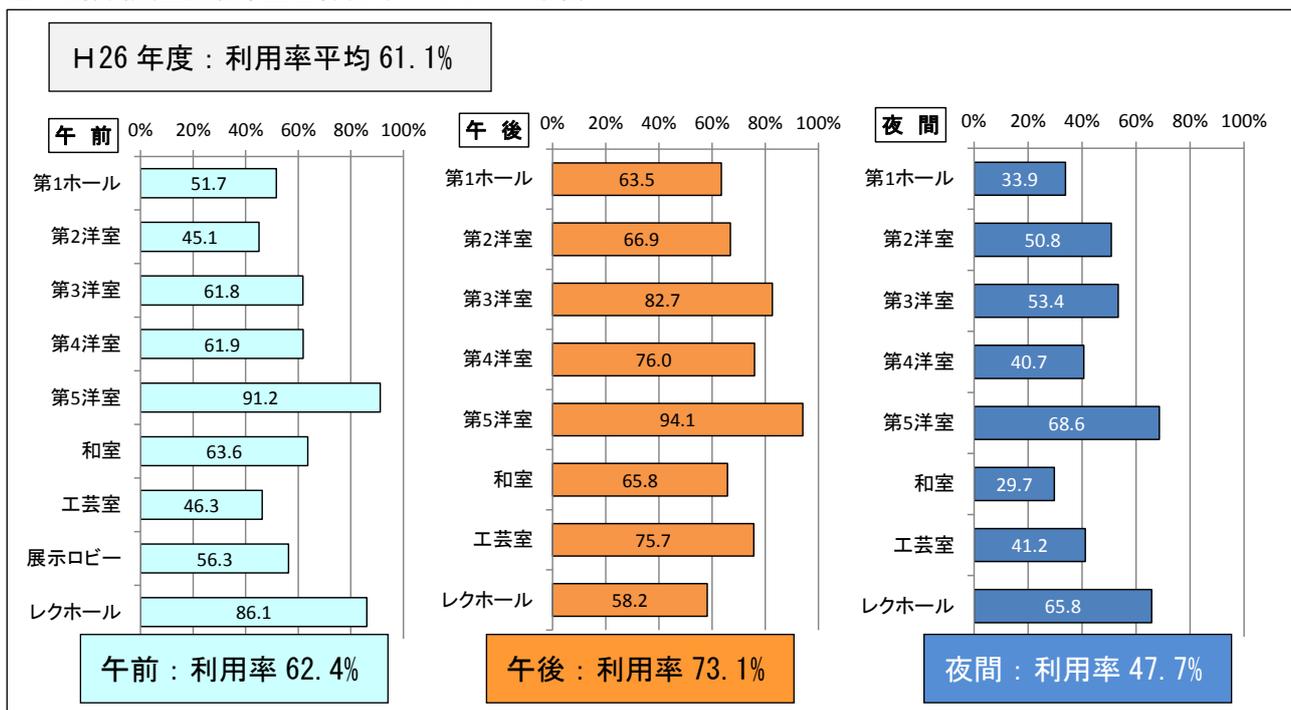


(出典：数字で見る足立)

■ 勤労福祉会館 部屋別稼働率

平成 26 年度の利用率平均は 61.1% で、時間帯では午前・午後の利用率は 60% を超えています。夜間の利用は 50% 以下となっています。部屋別利用率では、時間帯によって 80~90% を超える部屋も見られます。

図 勤労福祉会館部屋別稼働率（平成 26 年度）

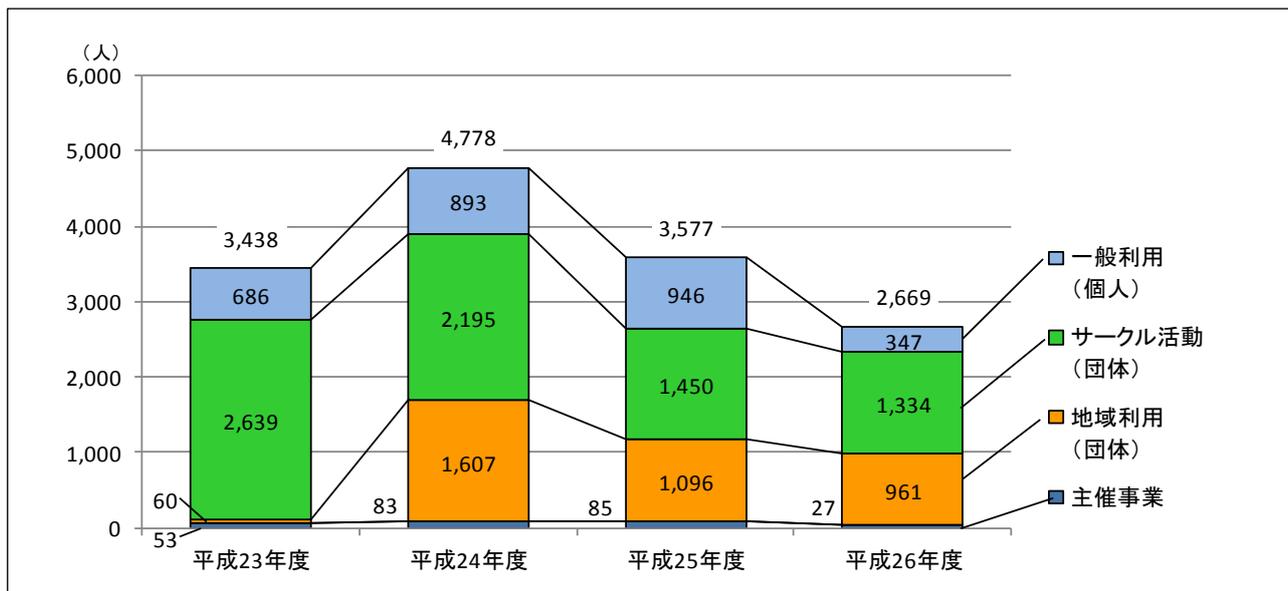


(出典：平成 27 年度事業概要)

### ■ まちづくり工房館会議室 年間利用者数

まちづくり工房館会議室の年間利用者数は平成24年度に約4,800人を記録してから2年連続で減少し、平成26年度は2,669人となっています。目的別の利用をみるとサークル活動及び地域利用といった団体利用が多くなっています。

図 まちづくり工房館会議室 目的別年間利用者数推移



#### ④ 設置目的・事業内容

施設名	設置目的	事業内容
あだち産業センター	足立区の産業拠点として区内の中小企業経営者の方々や、これから創業を志す方々のサポートを目的としています。	融資の斡旋、創業・経営・知的財産権その他相談窓口の運営、産業情報の収集、販路の拡大、ビジネスマッチングサポート、パソコン講座開設等。
勤労福祉会館	おもに中小企業で働く方々の文化・教養・福祉の向上を図ることや、地域のコミュニティ広場として区民の利用を目的としています。	洋室・和室・工芸室・レクリエーションホール、展示ロビーの貸室提供。
鹿浜小売市場	区民の消費生活の利便性を図ることを目的としています。(現在閉鎖中)	—
千住仲町創業支援館はばたき	足立区内で創業予定または創業後3年未満の個人または法人への、事務所提供を目的としています。	インキュベーションマネージャーとの相談、会議室・談話室等の共有設備提供等。
まちづくり工房館	工業を営む者に快適な作業空間を提供するとともに、区民相互の交流の場を目的としています。	作業室、会議室の貸室提供。

(7) ア 産業系施設

⑤ 開館時間

施設名	開館時間	休館日
あだち産業センター	午前9時から午後9時	・1階、3階 年末年始 ・2階、4階 土・日・祝・年末年始 ・5階 年末年始
勤労福祉会館	午前9時から午後9時30分	12月28日～1月4日
千住仲町創業支援館 はばたき	24時間（入居者のみ使用）	年中無休（入居者のみ使用）
まちづくり工房館 （会議室）	午前9時から午後9時30分 （利用時間）	月曜日、12月28日～1月4日

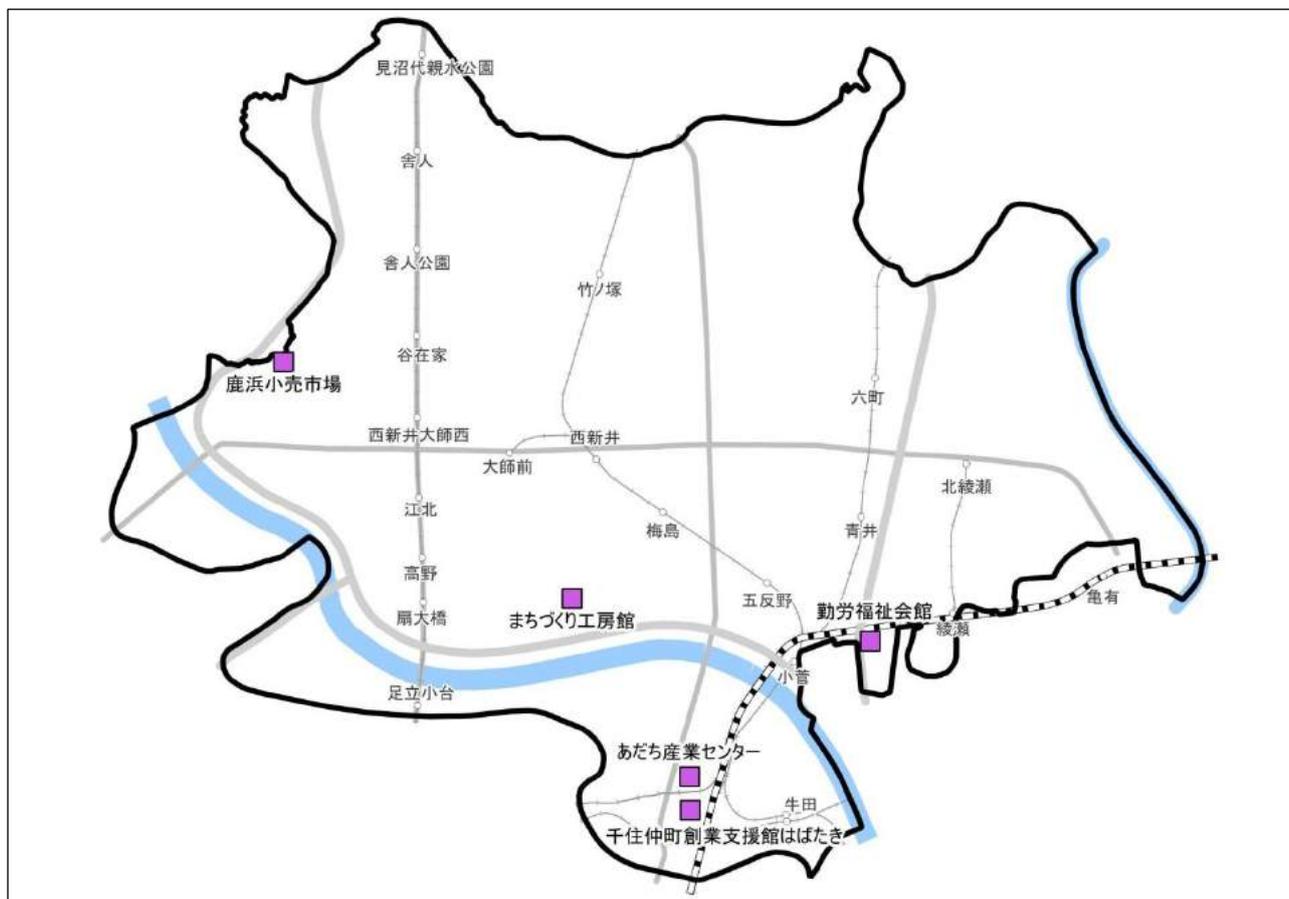
⑥ 使用料

施設の利用にあたっては使用料が必要な施設があります。

施設名	使用料					
		定員	午前	午後	夜間	全日
勤労福祉会館	第1ホール	200名	7,100円	8,800円	10,500円	23,400円
	第2洋室	90名	3,600円	4,500円	5,500円	12,400円
	第3洋室	40名	2,000円	2,300円	2,700円	6,200円
	第4洋室	16名	1,800円	2,300円	2,700円	6,200円
	第5洋室	18名	1,100円	1,400円	1,700円	3,600円
	和室	30名	2,000円	2,300円	2,700円	6,200円
	工芸室	30名	2,100円	2,400円	2,900円	6,400円
	レクリエーションホール	60名	4,400円	5,400円	6,400円	14,600円
	展示ロビー	一日につき6,400円				
千住仲町創業 支援館はばたき	<p>入居対象者：足立区内外を問わず、創業予定または創業後3年未満の方を対象に、低廉な使用料で創業期の経営を支援しています。</p> <p>入居期間：2年間（審査により1年に限り延長可能）                      使用料：21,000円から25,000円                      共益費：15,000円                      保証金：11万円から12万円</p>					
まちづくり 工房館 （会議室）	昼間 午前9時～午後5時30分		夜間 午後5時30分～ 午後9時30分		全日 午前9時～午後9時30分	
	1時間までごとに500円		1時間までごとに1,000円		7,000円	

## ⑦ 配置状況

図 産業系施設位置図



## ⑧ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設			備考
						会議 室	ホール	その他	
1 あだち産業センター	千住1丁目5-7	1,485.76	平成17	10	SRC	●		●	東京商工会議所足立支部、 IT支援室
2 勤労福祉会館	綾瀬1丁目34-7-102	2,461.67	昭和61	29	SRC	●	●	●	子ども支援センターげんき・ 勤労福祉サービスセンター
3 鹿浜小売市場	鹿浜5丁目24-1-106	875.52	昭和53	37	SRC			●	閉鎖中
4 千住仲町創業支援館 はばたき	千住仲町24-2	639.36	昭和46	44	S	●		●	貸事務所
5 まちづくり工房館	関原1丁目21-3	990.08	平成5	22	RC	●		●	作業室
合計		6,452.39							

※赤字は築30年以上の施設

(8) ア 本庁舎

(8) 行政系施設

ア 本庁舎

本庁舎は中央館、北館、南館、別館からなり、各種窓口サービスに対応しています。また、庁舎ホールを併設し、区民の交流の場としています。

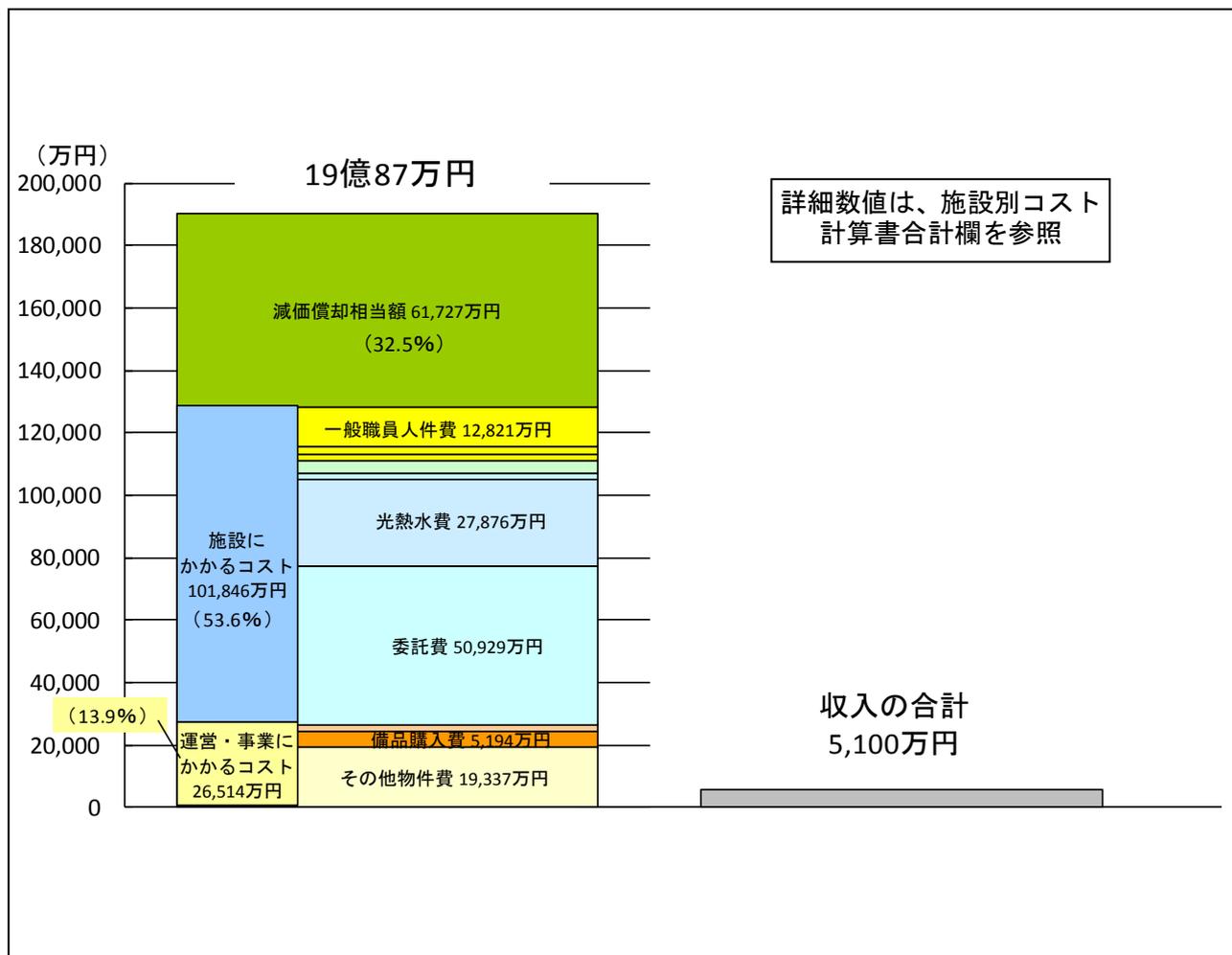
《概要シート》

施設概要	施設数	1 施設	管理形態	直営（一部を除く）
	主な室名			
	平均開館日数	349 日	総延床面積	76,380.64㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数			
収支状況	① 施設にかかるコスト	101,846万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	26,514万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	61,727万円		
	⑤ 収入	5,100万円		
	⑥ トータルコスト（⑥=①+②+③+④）	190,087万円		
	利用者1人当たりのコスト（⑥÷年間利用者数）			
単位床面積当たりのコスト（⑥÷総延床面積）	24,887円/㎡			
備考				

## ① コスト状況

本庁舎の年間トータルコストは、190,087万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは101,846万円(54%)、運営・事業にかかるコストが26,514万円(14%)、減価償却相当額が61,727万円(32%)、となっています。

図 収支状況



## 《運営状況》

本庁舎は清掃、設備管理、駐車場警備、巡回警備の一部を除き直営で運営しています。

表 運営人員数

(人)

		本庁舎
運営形態		直営
施設管理	一般職員	15.5
	再任用職員	5.8
	非常勤職員	8.7
	計	30.1

(8) ア 本庁舎

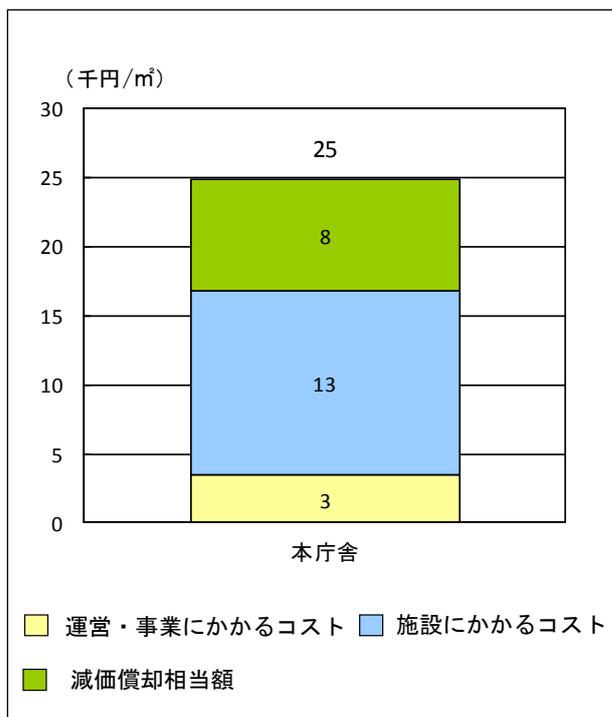
表 施設別コスト計算書

【費用の部】		本庁舎
一般職員人件費		128,210,720
再任用職員人件費		21,231,360
非常勤職員人件費		21,056,760
修繕費		40,812,742
改修費		19,096,136
光熱水費		278,763,415
委託費		509,288,304
① 施設にかかるコスト		1,018,459,437
修繕費		936,748
使用料及び賃借料		18,685,308
備品購入費		51,936,552
負担金補助及び交付金		211,300
その他物件費		193,372,751
② 運営・事業にかかるコスト		265,142,659
③ 指定管理委託料		0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		1,283,602,096
④ 減価償却相当額		617,265,920
【収入の部】		
使用料収入		29,300,241
諸収入		21,695,101
⑤ 収入の合計		50,995,342
【総括】		
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		1,900,868,016
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		1,849,872,674

② 評価・分析

- 単位床面積当たりにかかるコスト  
延床面積とトータルコストから延床面積1㎡当たりにかかるコストを算出すると、24,887円/人となります。

図 単位床面積当たりにかかるコスト



③ 事業内容

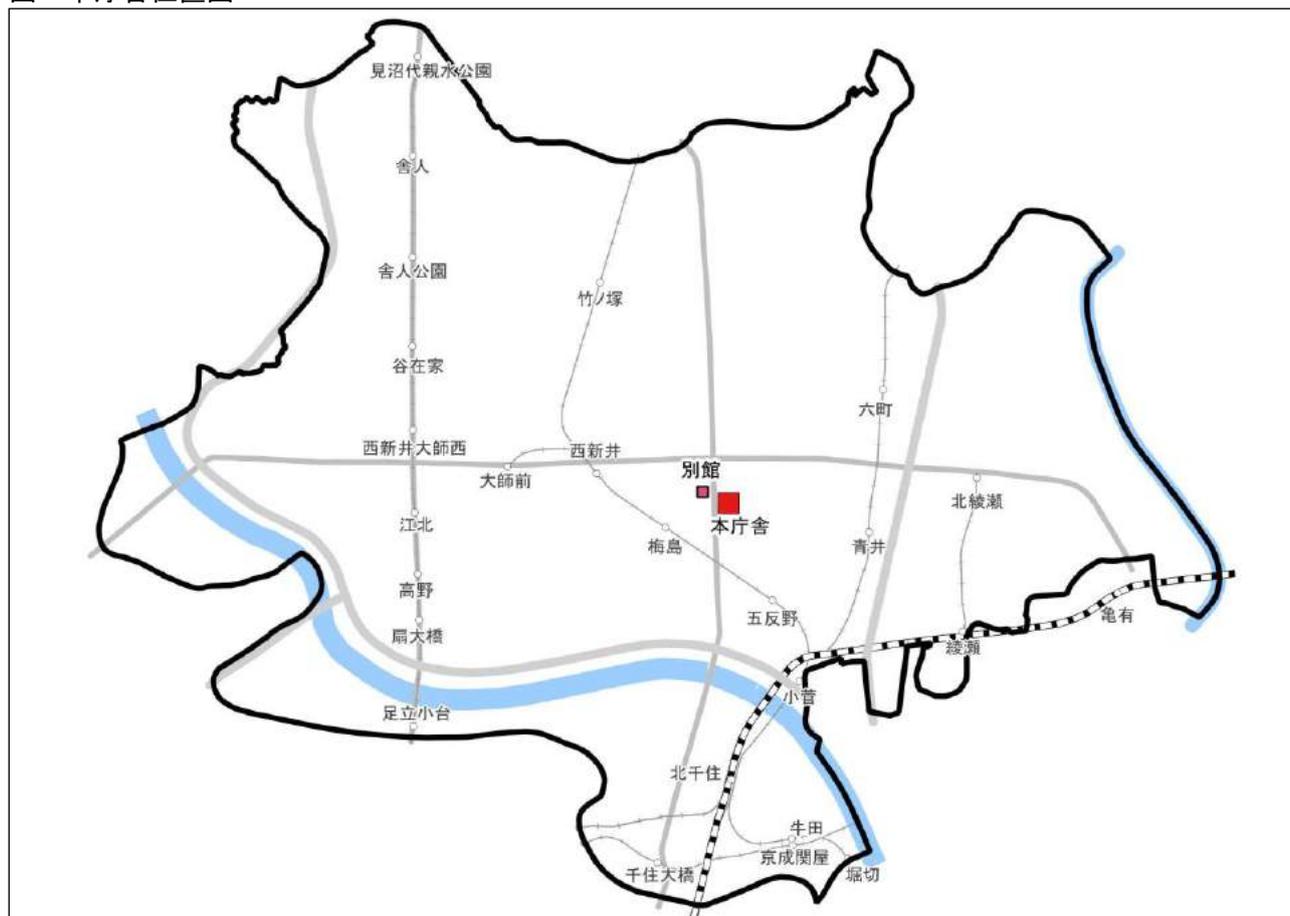
事業内容
・ 各種行政手続 (各種証明書等の交付、異動等の届出受付業務、税金等の収納等及び保育・保健所等の所管事務等)

## ④ 受付時間

受付時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分～ 午後 5 時まで	全館休館日：年末年始、設備点検年 10 日（土日） 休業日：土曜日、日曜日（毎月第四日曜日を除く）、年末年始	349 日

## ⑤ 配置状況

図 本庁舎位置図



## ⑥ 施設一覧

表 施設一覧

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設				備考
							ホー ル	会議 室	行政 窓口	その 他	
本 庁 舎	北館	中央本町1丁目17-1	13,583.91	昭和60	30	RC					職員食堂
	中央館	中央本町1丁目17-1	33,438.27	平成8	19	SRC	●	●	●	●	
	南館	中央本町1丁目17-1	28,192.06	平成8	19	S					レストラン
	別館	梅島2丁目2-2	1,166.40	平成24	3	LGS			●		
合計			76,380.64								

※赤字は築 30 年以上の施設

(8) イ 区民事務所

イ 区民事務所

区では本庁舎のほか、区民事務所を16箇所設置し、各種窓口サービスや町会・自治会をはじめとした地域団体への支援を行っています。

《概要シート》

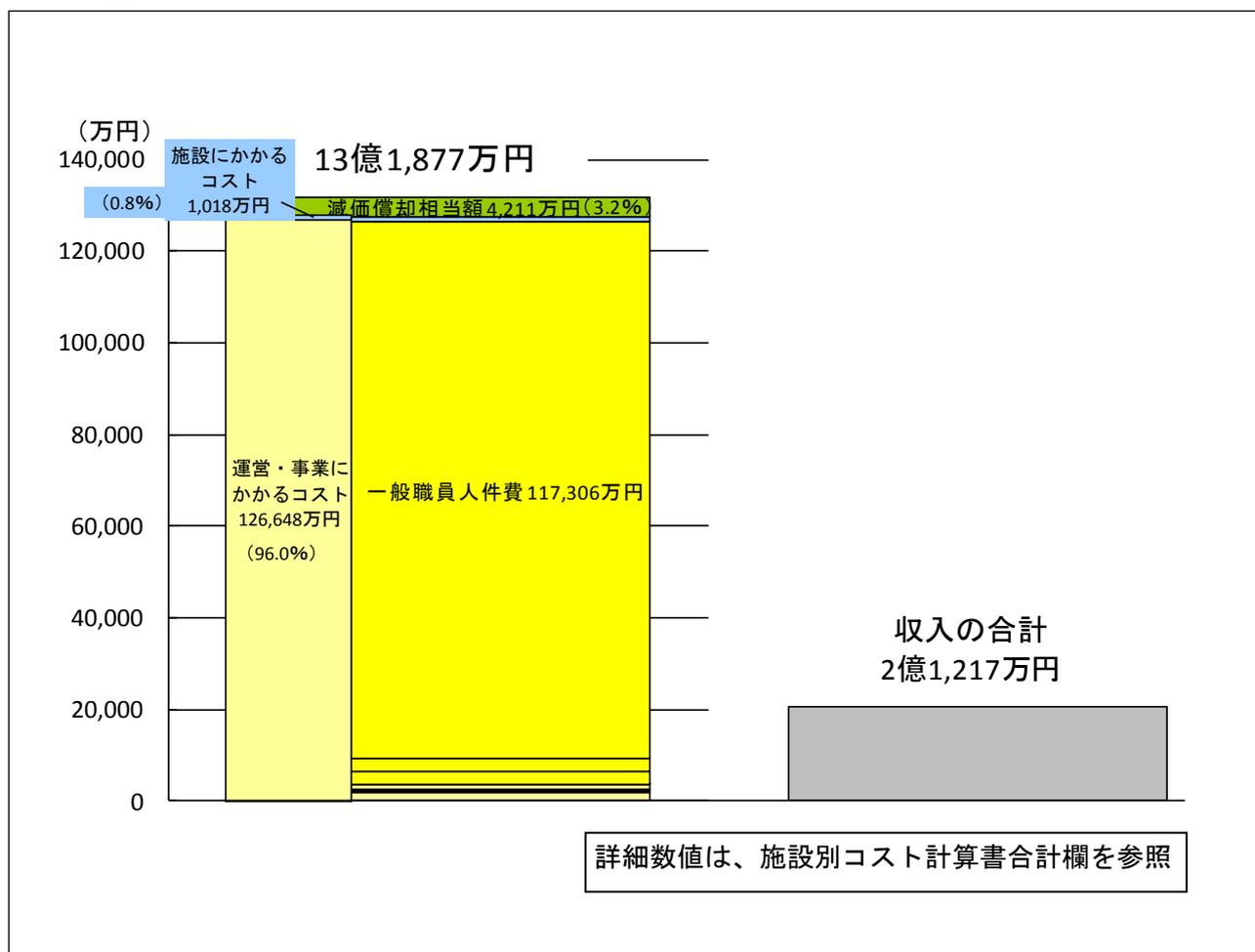
施設概要	施設数	16 施設	管理形態	直営
	主な室名			
	平均開館日数		総延床面積	6,372.28㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用件数	867,483件		
収支状況	① 施設にかかるコスト	1,018万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	126,648万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	4,211万円		
	⑤ 収入	21,217万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	131,877万円		
	利用件数1件当たりのコスト (⑥÷年間利用件数)	1,520円/件		
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	206,954円/㎡		
備考				

## ① コスト状況

区民事務所の年間トータルコストは、131,877万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは1,018万円(1%)、運営・事業にかかるコストが126,648万円(96%)、減価償却相当額が4,211万円(3%)となっています。

図 全施設収支状況



## 《運営状況》

区民事務所は区直営の運営です。

職員数は新田区民事務所の5人から千住区民事務所の28人で、合計163人の職員を配置しています。

表 運営人員数

		伊興	梅田	興本	江南	江北	佐野	鹿浜	新田		
運営形態		直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営		
事業運営	一般職員	8.0	7.0	8.0	4.0	7.0	10.0	9.0	5.0		
	再任用職員	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	非常勤職員	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0		
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0		
	合計	8.0	9.0	8.0	6.0	7.0	11.3	9.0	5.0		

		千住	竹の塚	舎人	中川	西新井	花畑	東綾瀬	保塚	合計
運営形態		直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	
事業運営	一般職員	19.0	12.0	7.0	7.0	11.0	7.0	12.0	9.0	142.0
	再任用職員	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	8.0
	非常勤職員	6.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
	臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0	0.9
	合計	28.0	14.0	8.0	8.0	11.3	7.0	15.4	9.0	163.9

(人)

(8) イ 区民事務所

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】	伊興区民事務所	梅田区民事務所	興本区民事務所	江南区民事務所	江北区民事務所	佐野区民事務所	鹿浜区民事務所	新田区民事務所
修繕費	88,992	0	0	518,918	0	0	0	0
光熱水費	1,116,197	0	0	3,315,204	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	1,205,189	0	0	3,834,122	0	0	0	0
一般職員人件費	66,088,000	57,827,000	66,088,000	33,044,000	57,827,000	82,610,000	74,349,000	41,305,000
再任用職員人件費	0	7,296,000	0	0	0	0	0	0
非常勤職員人件費	0	0	0	4,464,000	0	2,232,000	0	0
臨時職員人件費	0	0	0	0	0	589,710	0	0
修繕費	21,600	6,264	19,764	125,496	10,260	1,100	2,000	0
委託費	761,747	148,308	242,680	2,858,734	136,149	219,791	166,310	99,203
使用料及び賃借料	280,415	155,615	155,615	215,615	155,615	155,615	155,615	155,616
車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	16,000	122,000	59,000	0	24,200	131,000	59,600	13,000
その他物件費	1,159,089	849,015	768,777	1,598,790	714,546	1,184,016	794,894	705,500
② 運営・事業にかかるコスト	68,326,851	66,404,202	67,333,836	42,306,635	58,867,770	87,123,232	75,527,419	42,278,319
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	69,532,040	66,404,202	67,333,836	46,140,757	58,867,770	87,123,232	75,527,419	42,278,319
④ 減価償却相当額	3,104,400	0	1,748,240	4,800,000	0	0	0	0
【収入の部】								
使用料収入	9,098,290	11,335,790	9,384,490	3,733,890	7,664,100	12,403,490	12,722,880	5,309,450
⑤ 収入の合計	9,098,290	11,335,790	9,384,490	3,733,890	7,664,100	12,403,490	12,722,880	5,309,450
【総括】								
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	72,636,440	66,404,202	69,082,076	50,940,757	58,867,770	87,123,232	75,527,419	42,278,319
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	63,538,150	55,068,412	59,697,586	47,206,867	51,203,670	74,719,742	62,804,539	36,968,869

表 施設別コスト計算書

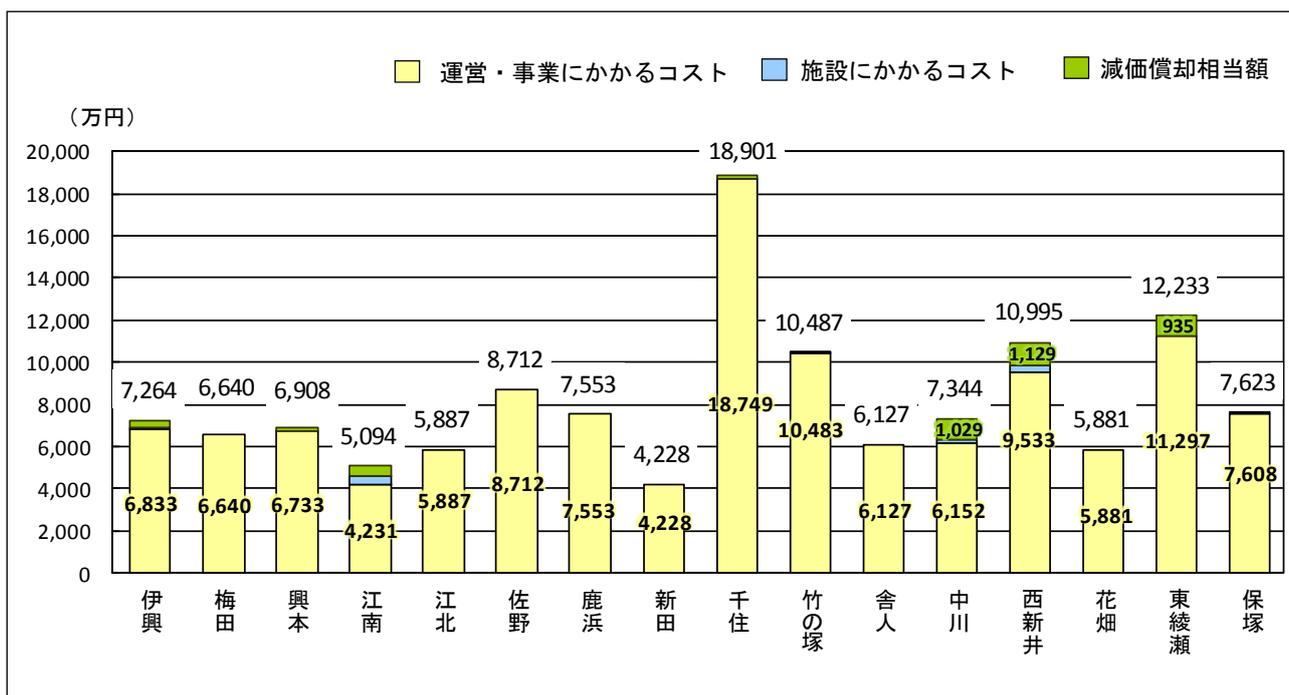
(円)

【費用の部】	千住区民事務所	竹の塚区民事務所	舎人区民事務所	中川区民事務所	西新井区民事務所	花畑区民事務所	東練瀬区民事務所	保塚区民事務所	合計
修繕費	0	42,120	0	304,344	228,420	0	0	143,488	1,326,282
光熱水費	0	0	0	1,326,764	3,097,930	0	0	0	8,856,095
① 施設にかかるコスト	0	42,120	0	1,631,108	3,326,350	0	0	143,488	10,182,377
一般職員人件費	156,959,000	99,132,000	57,827,000	57,827,000	90,871,000	57,827,000	99,132,000	74,349,000	1,173,062,000
再任用職員人件費	10,944,000	0	0	0	0	0	10,944,000	0	29,184,000
非常勤職員人件費	13,392,000	4,464,000	2,232,000	0	0	0	0	0	26,784,000
臨時職員人件費	0	0	0	0	586,920	0	992,150	0	2,168,780
修繕費	79,704	0	0	1,000	100	0	8,960	0	276,248
委託費	472,324	188,439	266,231	1,694,223	1,439,180	104,150	186,000	114,783	9,098,252
使用料及び賃借料	443,230	155,616	155,616	215,616	280,416	155,616	220,416	155,616	3,211,863
車両・備品購入費	927,720	0	0	0	0	0	0	0	927,720
負担金補助及び交付金	138,000	58,000	66,000	171,000	71,500	64,000	52,000	64,000	1,109,300
その他物件費	4,132,744	833,827	719,555	1,611,377	2,084,193	660,744	1,438,936	1,399,820	20,655,823
② 運営・事業にかかるコスト	187,488,722	104,831,882	61,266,402	61,520,216	95,333,309	58,811,510	112,974,462	76,083,219	1,266,477,986
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	187,488,722	104,874,002	61,266,402	63,151,324	98,659,659	58,811,510	112,974,462	76,226,707	1,276,660,363
④ 減価償却相当額	1,523,440	0	0	10,291,579	11,293,440	0	9,350,960	0	42,112,059
【収入の部】									
使用料収入	48,376,700	18,839,000	11,411,890	7,582,190	12,764,890	9,562,600	20,945,180	11,039,690	212,174,520
⑤ 収入の合計	48,376,700	18,839,000	11,411,890	7,582,190	12,764,890	9,562,600	20,945,180	11,039,690	212,174,520
【総括】									
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	189,012,162	104,874,002	61,266,402	73,442,903	109,953,099	58,811,510	122,325,422	76,226,707	1,318,772,422
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	140,635,462	86,035,002	49,854,512	65,860,713	97,188,209	49,248,910	101,380,242	65,187,017	1,106,597,902

※地域学習センターに併設の区民事務所の光熱水費は、地域学習センターに計上

※興本区民事務所の光熱水費は、興本住区センターに計上

図 施設別トータルコスト

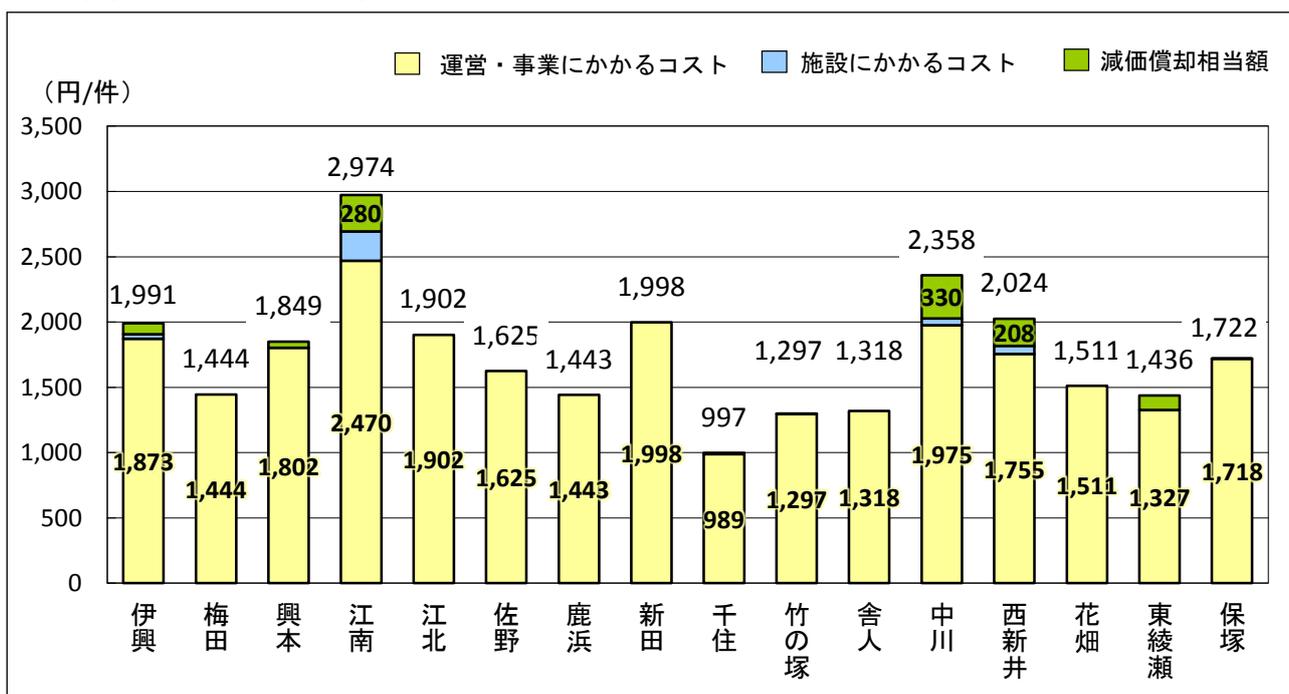


② 評価・分析

■ 利用1件当たりにかかるコスト

施設別の利用1件当たりにかかるコストを算出すると、平均は1,520円/件となっています。

図 利用1件当たりにかかるコスト

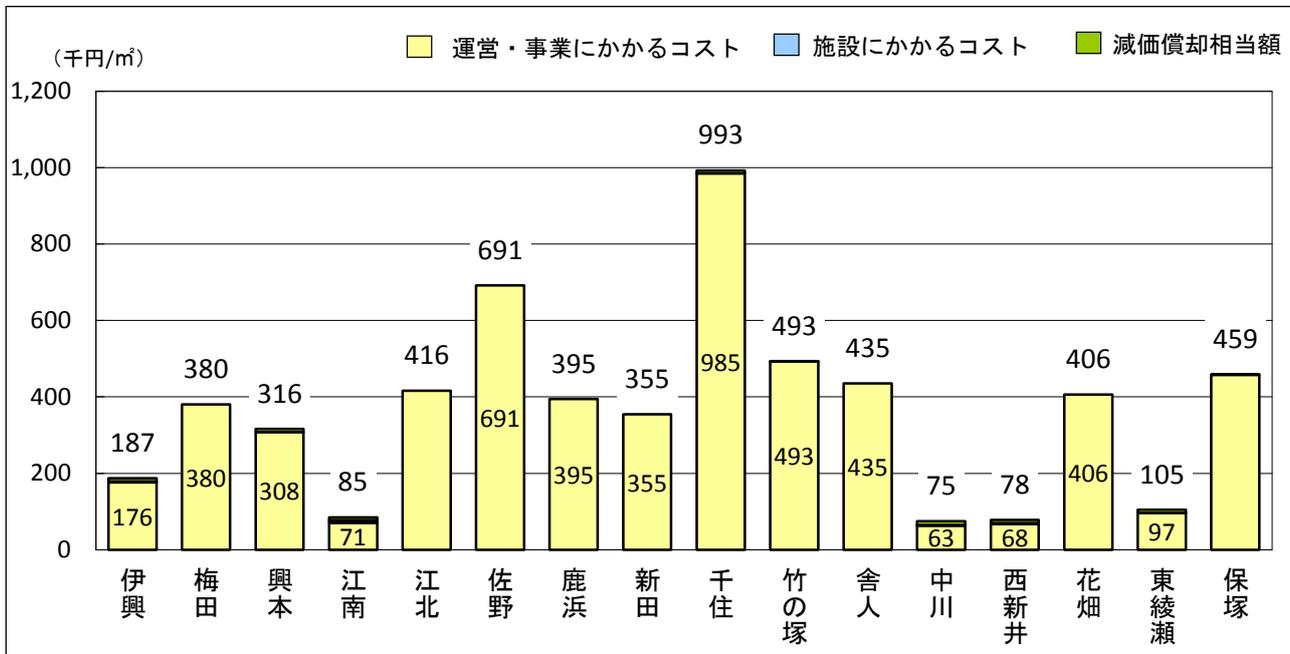


(8) イ 区民事務所

■ 単位床面積当たりにかかるコスト

延床面積とトータルコストから延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりにかかるコストを算出すると、平均は 206,954 円/m<sup>2</sup>です。

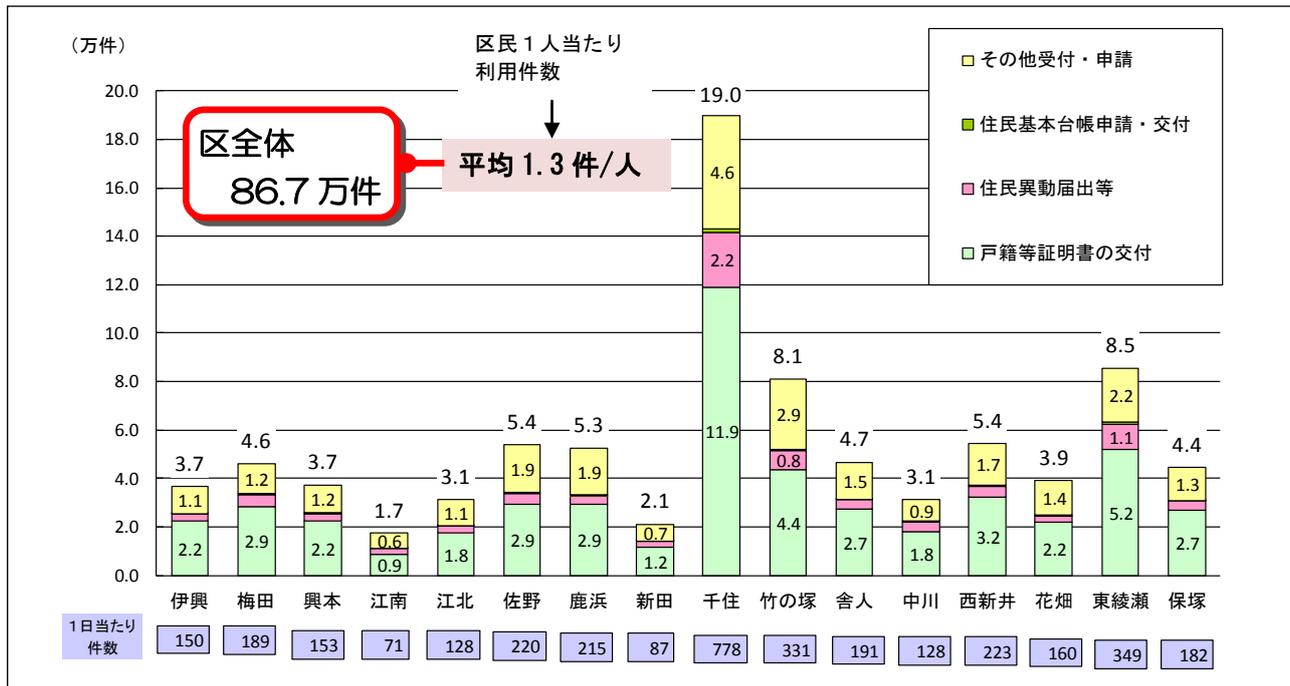
図 単位床面積当たりにかかるコスト



③ 利用状況

平成 26 年度の区民事務所の年間利用件数を施設別にみると、江南区民事務所の 1.7 万件から千住区民事務所の 19 万件となっています。利用目的別では戸籍・住民票等の証明書の交付が過半を占めています。

図 年間利用件数



## ④ 事業内容

事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種証明書等の交付、異動等の届出受付業務、税金等の収納など</li> <li>・町会・自治会、青少年対策地区委員会などの地域団体に対する支援</li> </ul>	

表 施設別業務内容

		本庁舎 (窓口)	伊興	梅田	興本	江南	江北	佐野	鹿浜
証明書 交付	戸籍に関する証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
	住民登録関係証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑登録証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
異動	戸籍関係届出	●	-	-	-	-	-	-	-
	住民登録関係届	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑登録	●	●	●	●	●	●	●	●
収納そ の他業 務	住民基本台帳申請・交付	●	●	●	●	●	●	●	●
	公的個人認証（電子証明書）	●	●	●	●	●	●	●	●
	税証明書発行（区・都民税）	●	●	●	●	●	●	●	●
	軽自動車関係	●	●	●	●	●	●	●	●
	畜犬関係	●	●	●	●	●	●	●	●
	公金収納	●	●	●	●	●	●	●	●
	その他受付業務（国保・年金・児童手当等）	●	●	●	●	●	●	●	●

表 施設別業務内容

		新田	千住	竹の塚	舎人	中川	西新井	花畑	東綾瀬	保塚
証明書 交付	戸籍に関する証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	住民登録関係証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑登録証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●
異動	戸籍関係届出	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	住民登録関係届	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑登録	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収納そ の他業 務	住民基本台帳申請・交付	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	公的個人認証（電子証明書）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	税証明書発行（区・都民税）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	軽自動車関係	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	畜犬関係	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	公金収納	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	その他受付業務（国保・年金・児童手当等）	●	●	●	●	●	●	●	●	●

(8) イ 区民事務所

⑤ 受付時間

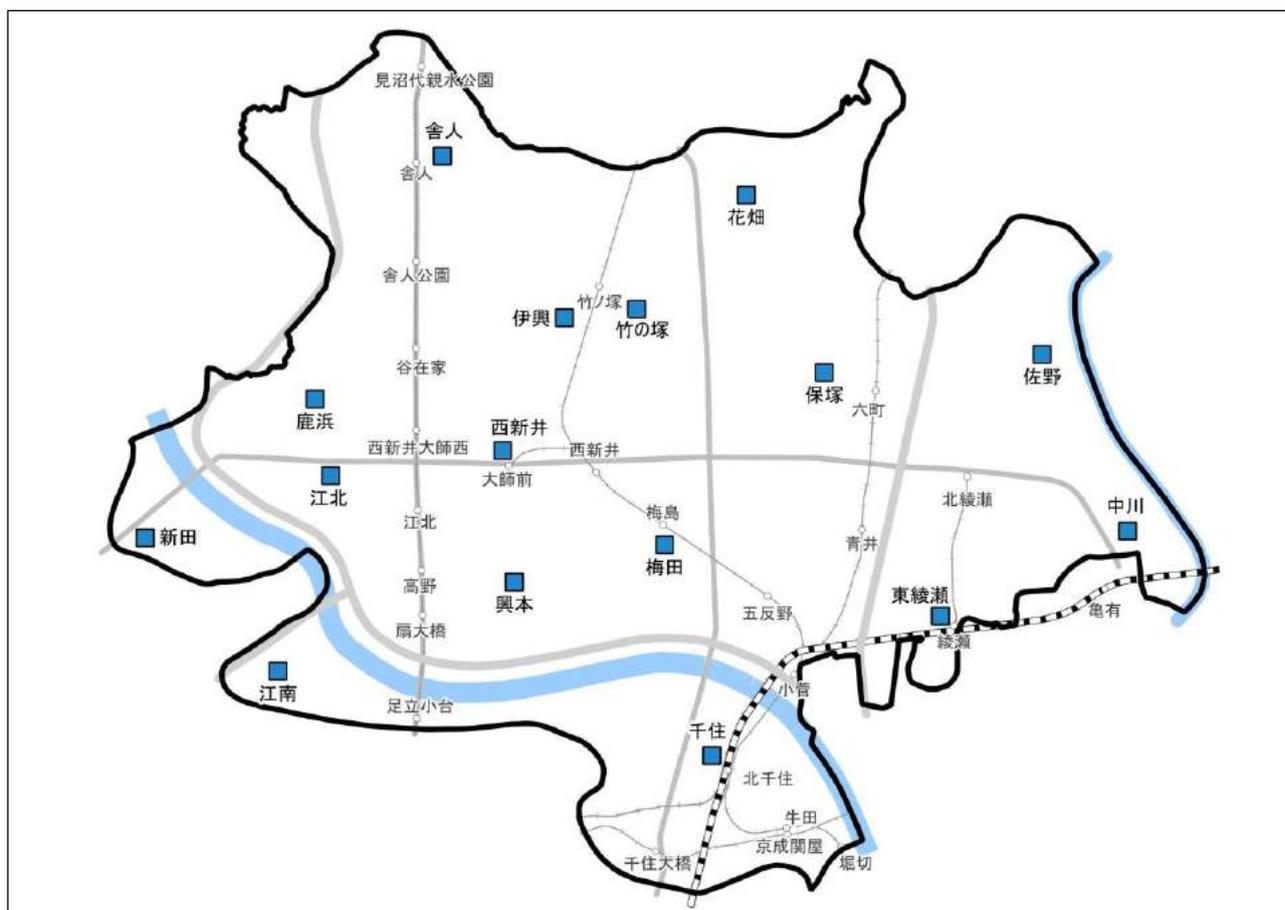
施設名	開館時間	休館日
区民事務所 (千住区民事務所を除く)	午前 8 時 30 分から午後 5 時	土曜、日曜、祝日、年末年始
千住区民事務所	午前 8 時半から午後 7 時 (毎月末日の営業日は午後 5 時まで)	土曜、日曜、祝日、年末年始

窓口サービスの受付時間は、千住区民事務所を除き、午前 8 時半から午後 5 時までとなっています。休館日は土曜・日曜・祝日・年末年始は休館となります。

千住区民事務所の受付時間は、午前 8 時半から午後 7 時までですが、毎月末日の営業日は午後 5 時までとなります。なお、午後 5 時以降は一部取扱いができない業務もあります。休館日は土曜・日曜・祝日・年末年始です。

⑥ 配置状況

図 区民事務所位置図



## ⑦ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る 建物)	複合・併設施設					備考
						地域学 習 センター	図書 室	集会 室	児童 館	悠々 館	
1 伊興区民事務所	伊興1丁目24-12	388.05	昭和60	30	RC			●			
2 梅田区民事務所	梅田7丁目33-1	174.75	昭和62	28	SRC	●		●			エル・ソフィア内
3 興本区民事務所	本木東町17-10	218.53	昭和62	28	RC			●	●	●	興本住区センター内
4 江南区民事務所	宮城1丁目15-14	600.00	昭和55	35	RC		●	●			江北図書館分室 宮城コミュニティ図書館
5 江北区民事務所	江北3丁目39-4	141.34	昭和60	30	SRC	●	●	●			
6 佐野区民事務所	佐野2丁目43-5	126.00	昭和56	34	RC	●	●	●	●	●	
7 鹿浜区民事務所	鹿浜6丁目8-1	191.39	昭和62	28	SRC	●	●	●	●	●	
8 新田区民事務所	新田2丁目2-2	119.23	平成9	18	SRC	●	●	●	●	●	
9 千住区民事務所	千住3丁目92	190.43	平成15	12	SRC						千住ミルディスI番館10階
10 竹の塚区民事務所	竹の塚2丁目25-17	212.57	昭和53	37	SRC	●	●	●			竹の塚障がい福祉館 北部福祉課
11 舎人区民事務所	舎人1丁目3-26	140.87	昭和58	32	RC	●	●	●	●	●	高齢者作業所
12 中川区民事務所	中川4丁目43-4	977.70	平成22	5	S			●			長門住区センター分館
13 西新井区民事務所	西新井1丁目4-17	1,411.68	昭和51	39	RC			●			
14 花畑区民事務所	花畑4丁目16-8	144.77	平成8	19	RC	●	●	●	●	●	高齢者作業所
15 東綾瀬区民事務所	東綾瀬1丁目5-17	1,168.87	昭和40	50	RC・SRC						旧こども家庭支援センター (別館)内
16 保塚区民事務所	保塚町7-16	166.10	昭和59	31	RC	●	●	●	●	●	シルバー人材センター
合計		6,372.28									

※赤字は築30年以上の施設

(8) ウ 福祉事務所

ウ 福祉事務所

心身障がい者、高齢者、児童など多くの福祉サービスの総合相談窓口です。

《概要》

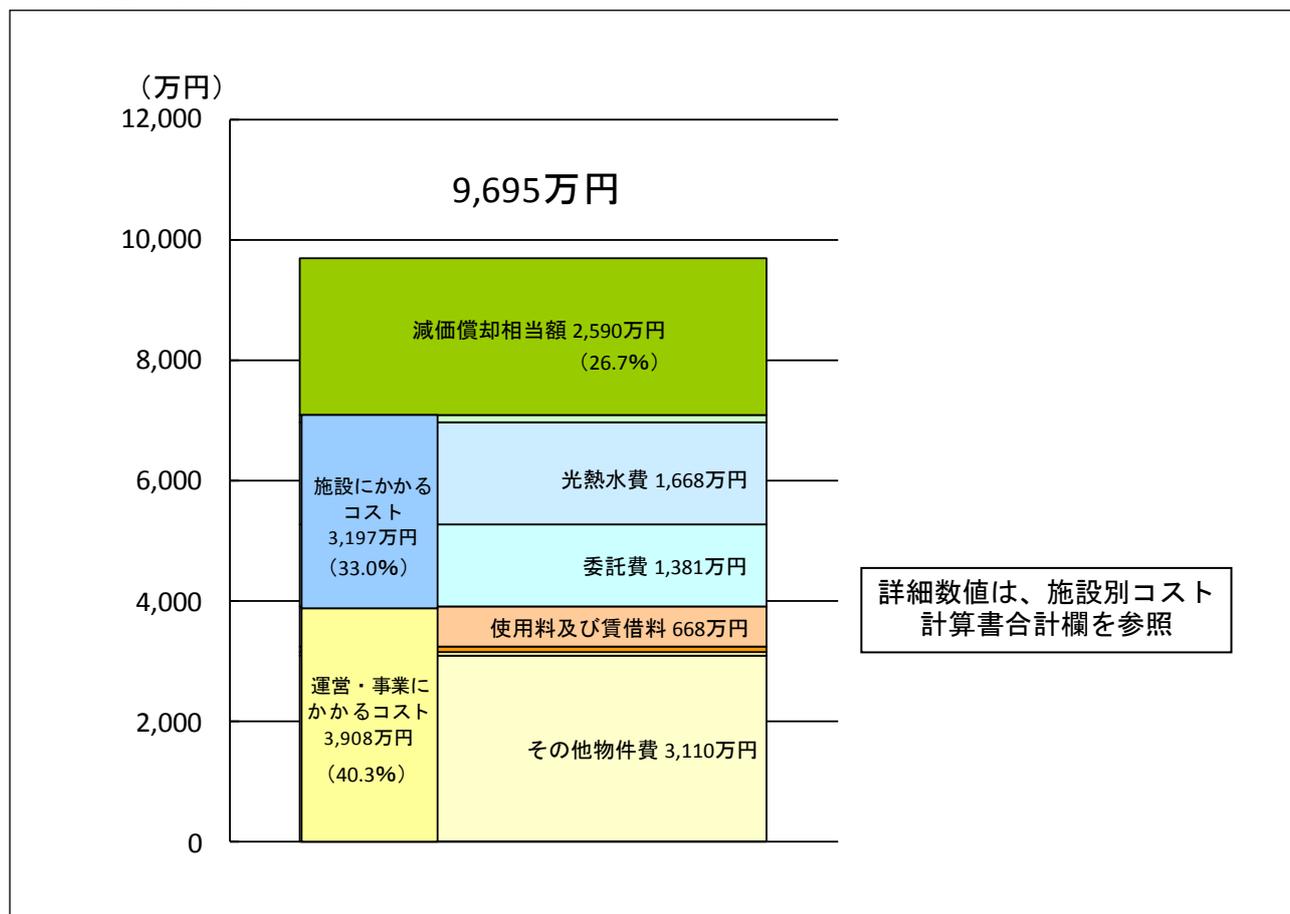
施設概要	施設数	5 施設	管理形態	直営
	平均開館日数		総延床面積	6, 245. 38㎡
収支状況	① 施設にかかるコスト			3, 197万円
	② 運営・事業にかかるコスト			3, 908万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			2, 590万円
	⑤ 収入			0万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			9, 695万円
	⑦ 利用者1人当たりのコスト			
	単位床面積当たりのコスト (4施設分) ※			24, 145円/㎡
備考	※ 千住・東部・西部・北部の面積合計 4,015.32㎡			

① コスト状況

福祉事務所の年間トータルコストは 9,695 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 3,197 万円 (33%)、運営・事業にかかるコストは 3,908 万円 (40%)、減価償却相当額 2,590 万円 (27%) となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

福祉事務所は、直営です。

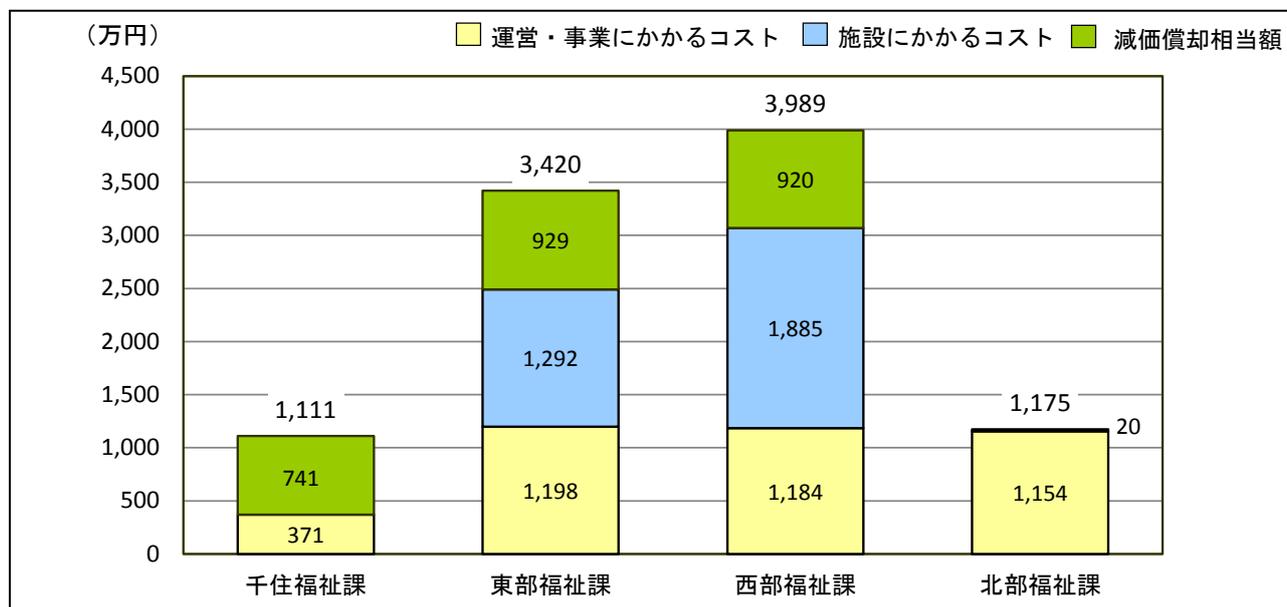
(8) ウ 福祉事務所

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		千住福祉課	東部福祉課	西部福祉課	北部福祉課	合計
修繕費		0	255,420	1,227,031	0	1,482,451
光熱水費		0	7,534,970	9,123,965	23,748	16,682,683
委託費		0	5,133,164	8,496,522	177,552	13,807,238
① 施設にかかるコスト		0	12,923,554	18,847,518	201,300	31,972,372
使用料及び賃借料		345,678	530,853	451,981	5,347,690	6,676,202
車両・備品購入費		0	499,500	0	183,783	683,283
負担金補助及び交付金		137,800		137,800	344,500	620,100
その他物件費		3,226,237	10,954,031	11,248,085	5,667,814	31,096,167
② 運営・事業にかかるコスト		3,709,715	11,984,384	11,837,866	11,543,787	39,075,752
③ 指定管理委託料		0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		3,709,715	24,907,938	30,685,384	11,745,087	71,048,124
④ 減価償却相当額		7,405,200	9,291,384	9,202,968	0	25,899,552
【収入の部】						
⑤ 収入の合計		0	0	0	0	0
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)		11,114,915	34,199,322	39,888,352	11,745,087	96,947,676
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		11,114,915	34,199,322	39,888,352	11,745,087	96,947,676

図 施設別トータルコスト

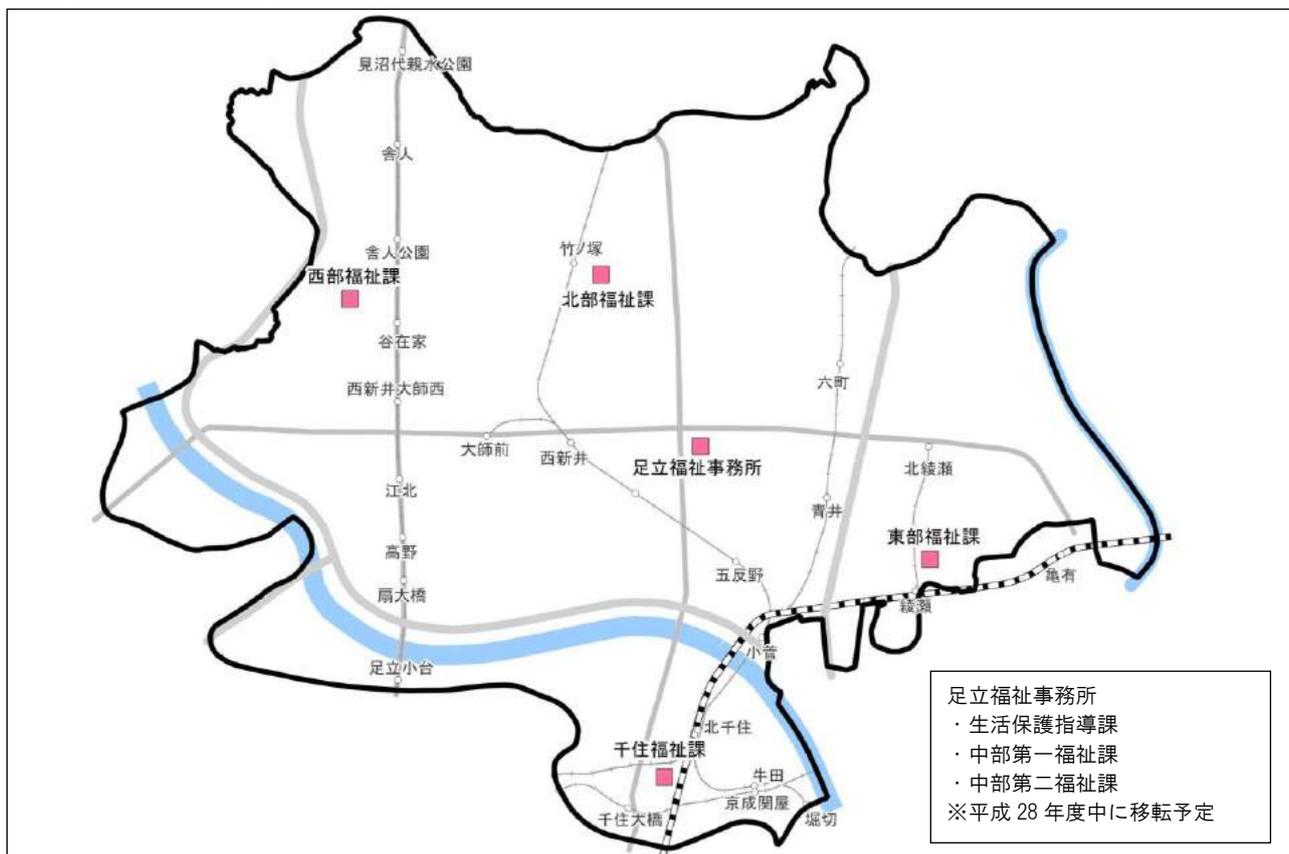


② 事業内容

事業内容
・総合相談窓口を開設しており、心身障がい者・高齢者・児童など多くの福祉サービスの相談申請ができます。

③ 配置状況

図 福祉事務所位置図



④ 施設一覧

表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	複合・併設施設					備考
						地域学習センター	集会室	児童館	悠々館	その他	
1 足立福祉事務所生活保護指導課	中央本町4丁目5-2	2,230.06	平成28		RC		●	●	●	●	区営住宅・栗島住区センター 平成28年度中に移転予定
2 足立福祉事務所中部第一福祉課											
3 足立福祉事務所中部第二福祉課											
4 足立区福祉事務所千住福祉課	千住仲町19-3	781.66	平成11	16	S					●	千住庁舎
5 足立区福祉事務所東部福祉課	東綾瀬1丁目26-2	1,290.47	平成4	23	RC					●	綾瀬福祉園
6 足立区福祉事務所西部福祉課	鹿浜8丁目27-15	1,278.19	平成7	20	RC		●	●	●	●	押皿谷住区センター
7 足立区福祉事務所北部福祉課	竹の塚2丁目25-17	665.00	昭和53	37	SRC	●				●	竹の塚地域学習センター
合計		6,245.38									

※赤字は築30年以上の施設

(9) ア 区営住宅

(9) 区営住宅

ア 区営住宅

区では、住宅に困窮する低額所得者向けに低廉な家賃で提供する区営住宅を 14 施設設置しています。また、事業用住宅として、密集事業に協力したことにより住居の確保が困難となった区民が入居できるコミュニティ住宅を 3 施設設置しています。

《概要シート》

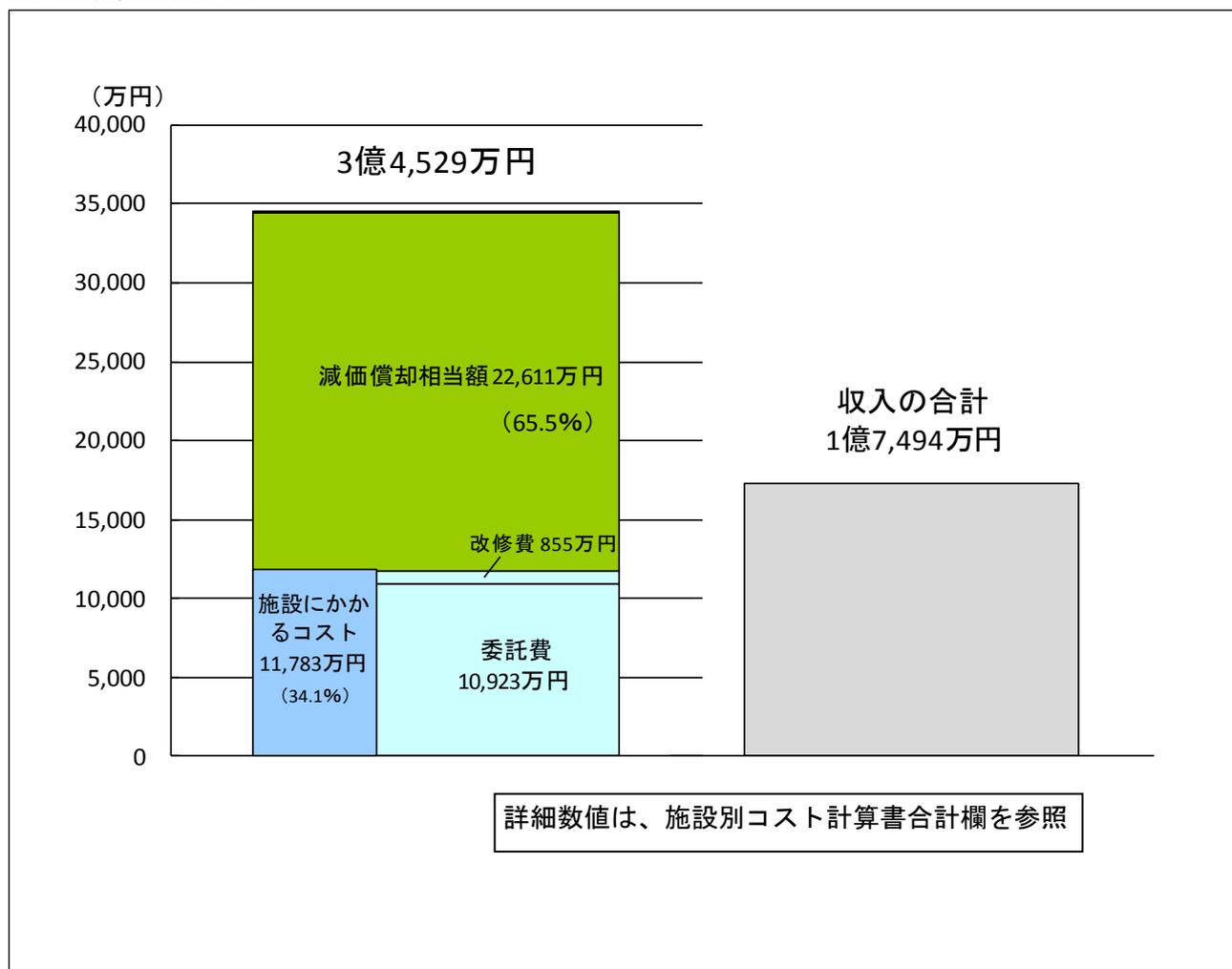
施設概要	施設数	17 施設	管理形態	委託
	主な室名			
	平均開館日数		総延床面積	49,794.46㎡
利用状況				施設群合計
	総戸数		670戸	
	入居数		492戸	
収支状況	① 施設にかかるコスト			11,783万円
	② 運営・事業にかかるコスト			0万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			22,611万円
	⑤ 不納欠損額			135万円
	⑥ 収入			17,494万円
	⑦ トータルコスト (⑦=①+②+③+④+⑤)			34,529万円
	利用者1人当たりのコスト (⑦÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑦÷総延床面積)			6,934円/㎡
備考				

① コスト状況

区営住宅・コミュニティ住宅の年間トータルコストは、34,529万円です。

年間の家賃収入 17,494万円を差し引いたネットコストは 17,035万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 11,783万円（34%）、減価償却相当額が 22,611万円（66%）となっています。

図 全施設収支状況



《運営状況》

区営住宅・コミュニティ住宅は、東京都住宅供給公社に管理を委託しています。

## (9) ア 区営住宅

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		伊興五丁目 アパート	伊興町前沼 アパート	伊興町本町 第2アパート	大谷田一丁目第2 アパート	大谷田一丁目第3 アパート	大谷田二丁目ア パート
① 施設にかかるコスト	その他人件費	5,760	2,880	5,760	2,880	2,880	2,880
	改修費	0	8,548,528	0	0	0	0
	委託費(※)						
① 施設にかかるコスト		5,760	8,551,408	5,760	2,880	2,880	2,880
② 運営・事業にかかるコスト		0	0	0	0	0	0
③ 指定管理委託料		0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		5,760	8,551,408	5,760	2,880	2,880	2,880
④ 減価償却相当額		24,540,320	16,542,400	42,963,200	9,991,576	10,023,888	26,128,592
⑤ 不納欠損額		791,600	0	555,700	0	0	0
【収入の部】							
⑥ 収入の合計	使用料収入	22,736,000	13,839,350	38,215,963	8,572,500	7,787,928	11,962,500
	諸収入	0	0	436,310	0	0	0
⑥ 収入の合計		22,736,000	13,839,350	38,652,273	8,572,500	7,787,928	11,962,500
【総括】							
⑦ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④+⑤)		25,337,680	25,093,808	43,524,660	9,994,456	10,026,768	26,131,472
収支差額(ネットコスト ⑦-⑥)		2,601,680	11,254,458	4,872,387	1,421,956	2,238,840	14,168,972

※委託費は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		大谷田二丁目第2 アパート	弘道一丁目 第2アパート	新田二丁目 アパート	新田三丁目 アパート	関原三丁目 アパート	竹の塚六丁目ア パート
① 施設にかかるコスト	その他人件費	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
	改修費	0	0	0	0	0	0
	委託費(※)						
① 施設にかかるコスト		2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
② 運営・事業にかかるコスト		0	0	0	0	0	0
③ 指定管理委託料		0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
④ 減価償却相当額		5,096,224	15,464,288	14,528,640	6,711,600	3,689,672	18,286,240
⑤ 不納欠損額		0	0	0	0	0	0
【収入の部】							
⑥ 収入の合計	使用料収入	3,113,956	18,463,240	9,832,556	7,428,490	2,525,656	13,162,350
	諸収入	0	192,000	0	0	0	0
⑥ 収入の合計		3,113,956	18,655,240	9,832,556	7,428,490	2,525,656	13,162,350
【総括】							
⑦ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④+⑤)		5,099,104	15,467,168	14,531,520	6,714,480	3,692,552	18,289,120
収支差額(ネットコスト ⑦-⑥)		1,985,148	-3,188,072	4,698,964	-714,010	1,166,896	5,126,770

※委託費は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

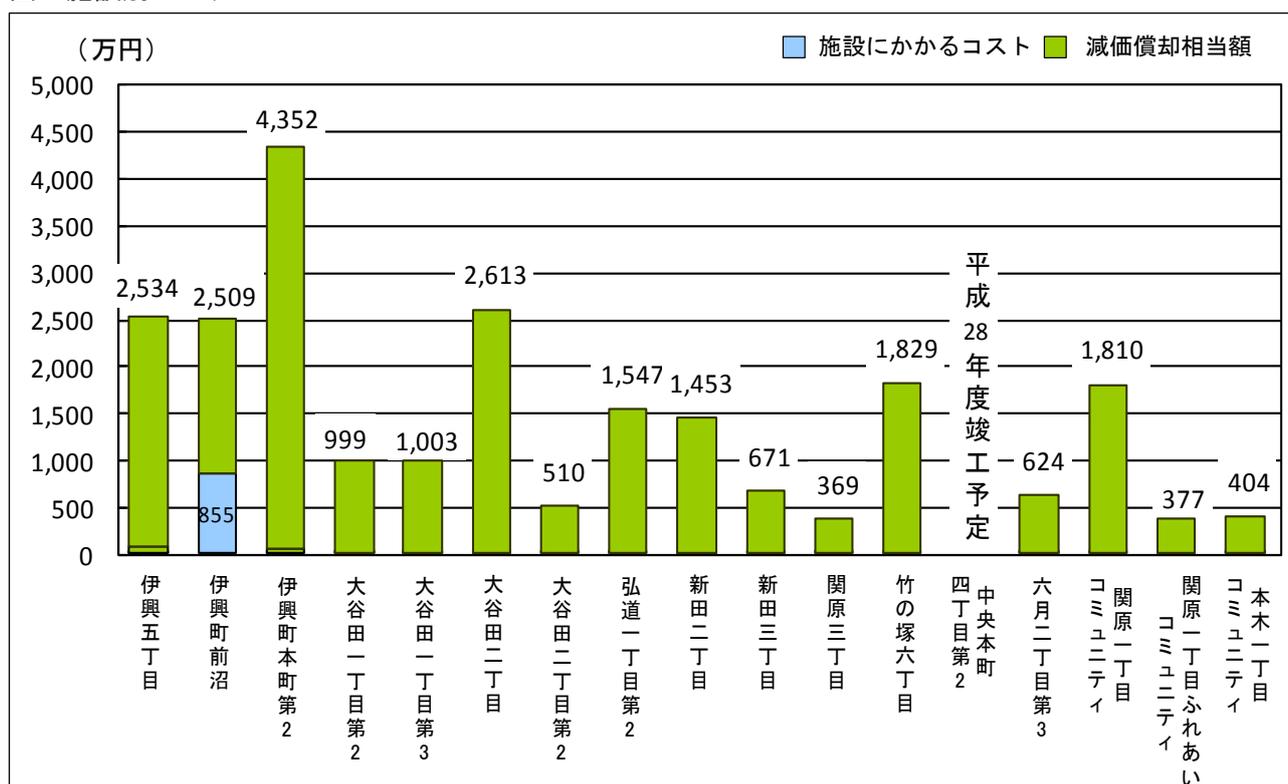
表 施設別コスト計算書

(円)

【費用の部】		中央本町 四丁目第2 アパート	六月二丁目 第3アパート	関原一丁目 コミュニティ 住宅	関原一丁目 ふれあいコミュニ ティ住宅	本木一丁目 コミュニティ 住宅	合計
その他人件費		0	2,880	2,880	2,880	2,880	51,840
改修費		0	0	0	0	0	8,548,528
委託費(※)							109,225,658
① 施設にかかるコスト		0	2,880	2,880	2,880	2,880	117,826,026
② 運営・事業にかかるコスト		0	0	0	0	0	0
③ 指定管理委託料		0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		0	2,880	2,880	2,880	2,880	117,826,026
④ 減価償却相当額		0	6,236,216	18,099,704	3,770,088	4,040,344	226,112,992
⑤ 不納欠損額		0	0	0	0	0	1,347,300
【収入の部】							
使用料収入		0	5,177,096	5,751,800	3,959,720	1,207,350	173,736,455
諸収入		0	0	0	0	579,720	1,208,030
⑥ 収入の合計		0	5,177,096	5,751,800	3,959,720	1,787,070	174,944,485
【総括】							
⑦ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④+⑤)		0	6,239,096	18,102,584	3,772,968	4,043,224	345,286,318
収支差額 (ネットコスト ⑦-⑥)		0	1,062,000	12,350,784	-186,752	2,256,154	170,341,833

※委託費は、施設別の把握が困難なため合計欄に計上しています。

図 施設別トータルコスト

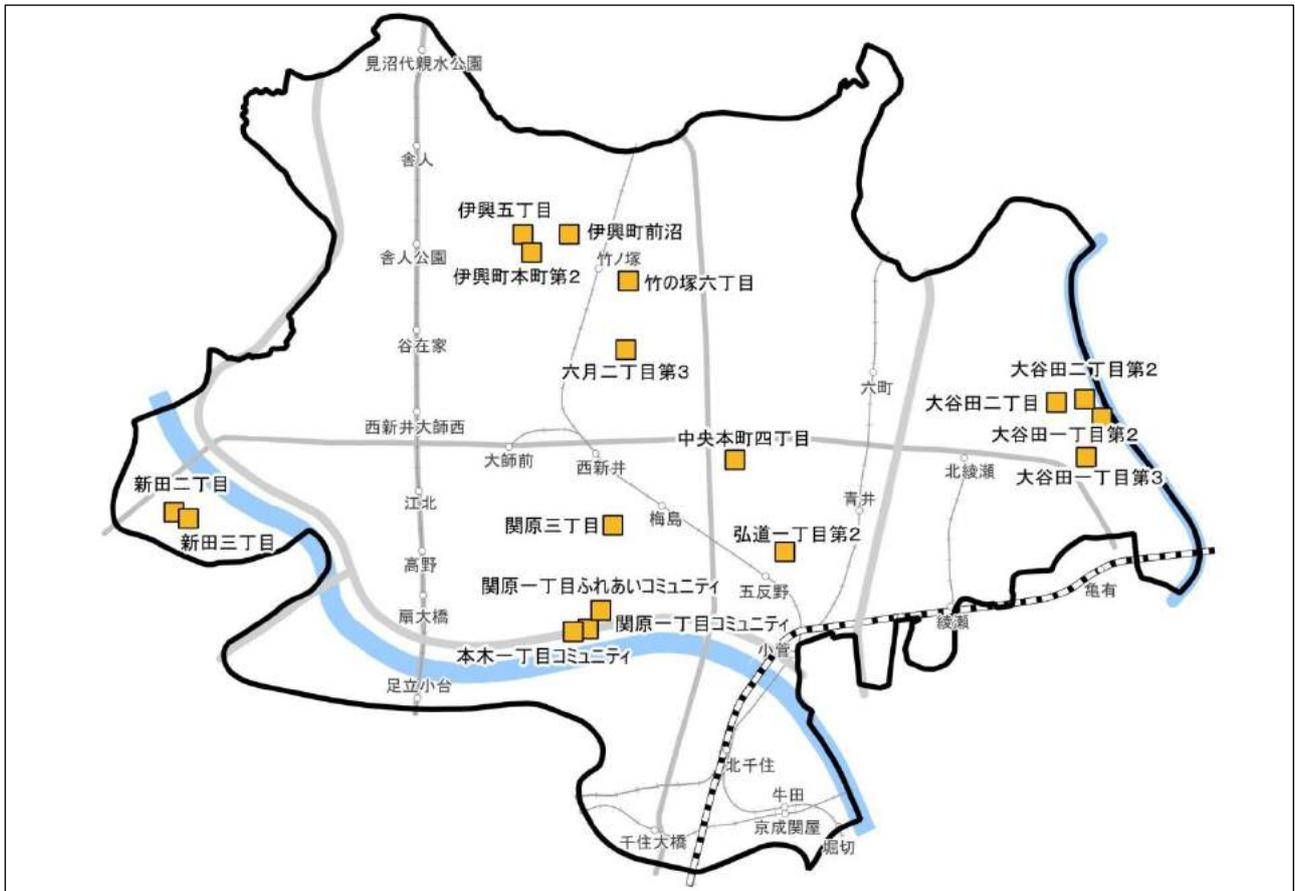


※委託費は、施設別の把握が困難なため施設別トータルコストに計上していません。

(9) ア 区営住宅

② 配置状況

図 区営・コミュニティ住宅位置図



## ③ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

入居状況：平成 27 年 6 月 1 日現在

	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年数	構造 (主たる 建物)	入居状況				複合・併設施設		備考
							総戸 数	入居	入居 率(%)	入居者 数(人)	集会室	その他	
区 営 住 宅	1 伊興五丁目アパート	伊興5丁目10、12	4,382.20	昭和62	28	RC	54	52	96.3%	122	●		1~4号棟
	2 伊興町前沼アパート	伊興本町1丁目7	2,954.00	昭和56	34	RC	44	43	97.7%	90	●		1~2号棟
	3 伊興町本町 第2アパート	伊興4丁目12、14	7,672.00	昭和59	31	RC	97	91	93.8%	213			1~4号棟
	4 大谷田一丁目 第2アパート	大谷田1丁目35	1,784.21	昭和60	30	RC	20	17	85.0%	41	●		
	5 大谷田一丁目 第3アパート	大谷田1丁目6-3	1,789.98	昭和62	28	RC	20	19	95.0%	42	●		
	6 大谷田二丁目アパート	大谷田2丁目9、10	4,665.82	昭和51	39	RC	68	61	89.7%	132	●		3・4・5・6・10号棟
	7 大谷田二丁目 第2アパート	大谷田2丁目5-1	910.04	昭和53	37	RC	12	7	58.3%	16			解体予定
	8 弘道一丁目 第2アパート	弘道1丁目15-1	2,761.48	平成1	26	RC	40	37	92.5%	77	●		
	9 新田二丁目アパート	新田2丁目13	2,594.40	昭和51	39	RC	38	36	94.7%	72	●		1・2号棟
	10 新田三丁目アパート	新田3丁目17-20	1,198.50	昭和50	40	RC	20	20	100.0%	40	●		
	11 関原三丁目アパート	関原3丁目11-12	658.87	昭和52	38	RC	9	8	88.9%	14			解体予定
	12 竹の塚六丁目アパート	竹の塚6丁目1	3,265.40	昭和55	35	RC	45	42	93.3%	93	●		1・2号棟
	13 中央本町四丁目 アパート	中央本町4丁目5	9,417.14	平成26	1	RC	120				●	住区 福祉	H25年度に解体 H28年度に竣工予定
	14 六月二丁目 第3アパート	六月2丁目15-14	1,113.61	昭和52	38	RC	15	6	40.0%	21			解体予定
コ ミ ュ ニ テ ィ 住 宅	15 関原一丁目 コミュニティ住宅	1~3号棟 関原1丁目2-18 4号棟 関原1丁目2-23 5号棟 関原1丁目2-24	3,232.09	※1 平成1 ※2 平成12 ※3 平成14	26 15 13	RC	50	39	78.0%	76			※1 1~3号棟 ※2 4号棟 ※3 5号棟
	16 関原一丁目ふれあい コミュニティ住宅	関原1丁目6-14	673.23	平成4	23	RC	8	8	100.0%	22			
	17 本木一丁目 コミュニティ住宅	本木1丁目1-11	721.49	平成4	23	RC	10	6	60.0%	9			
合計			49,794.46				670	492	73.4%	1,080			

※赤字は築 30 年以上の施設

(10) ア 供給処理施設

(10) その他

ア 供給処理施設

区では、足立区リサイクルセンター「あだち再生館」を設置し、リサイクルに関する講座の開催、情報提供・展示、再活用品の販売などを行っています。また、排水・取水施設を14施設、清掃事務所を4施設設置しています。

《足立区リサイクルセンター「あだち再生館」》

施設概要	施設数	1施設	管理形態	指定管理者運営
	主な室名		リフォーム作業室 図書コーナー リサイクル工房	総延床面積
収支状況	① 施設にかかるコスト			199万円
	② 運営・事業にかかるコスト			0万円
	③ 指定管理委託料			2,331万円
	④ 減価償却相当額			1,146万円
	⑤ 収入			14万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			3,676万円
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)			25,661円/㎡

《排水・取水施設》

施設概要	施設数	14施設	管理形態	直営
	主な室名			総延床面積
収支状況	① 施設にかかるコスト			5,879万円
	② 運営・事業にかかるコスト			3,571万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			902万円
	⑤ 収入			0万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			10,352万円
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)			62,717円/㎡

## 《清掃事務所》

施設概要	施設数	4 施設	管理形態	直営 一部閉鎖管理
	主な室名		総延床面積	7, 687. 64 m <sup>2</sup>
収支状況	① 施設にかかるコスト			10, 227 万円
	② 運営・事業にかかるコスト			347, 634 万円
	③ 指定管理委託料			—
	④ 減価償却相当額			4, 633 万円
	⑤ 収入			347 万円
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)			362, 494 万円

(10) ア 供給処理施設

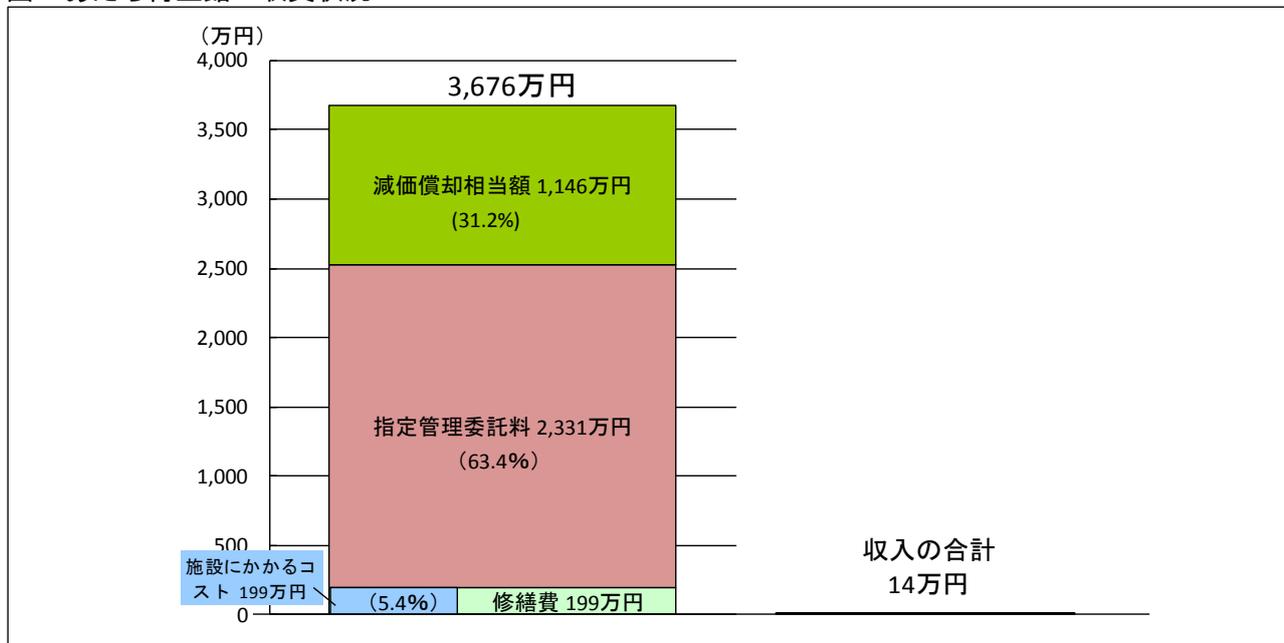
① コスト状況

【あだち再生館】

足立区リサイクルセンターあだち再生館の年間トータルコストは 3,676 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 199 万円 (5%)、指定管理委託料は 2,331 万円 (63%)、減価償却相当額は 1,146 万円 (31%)、となっています。

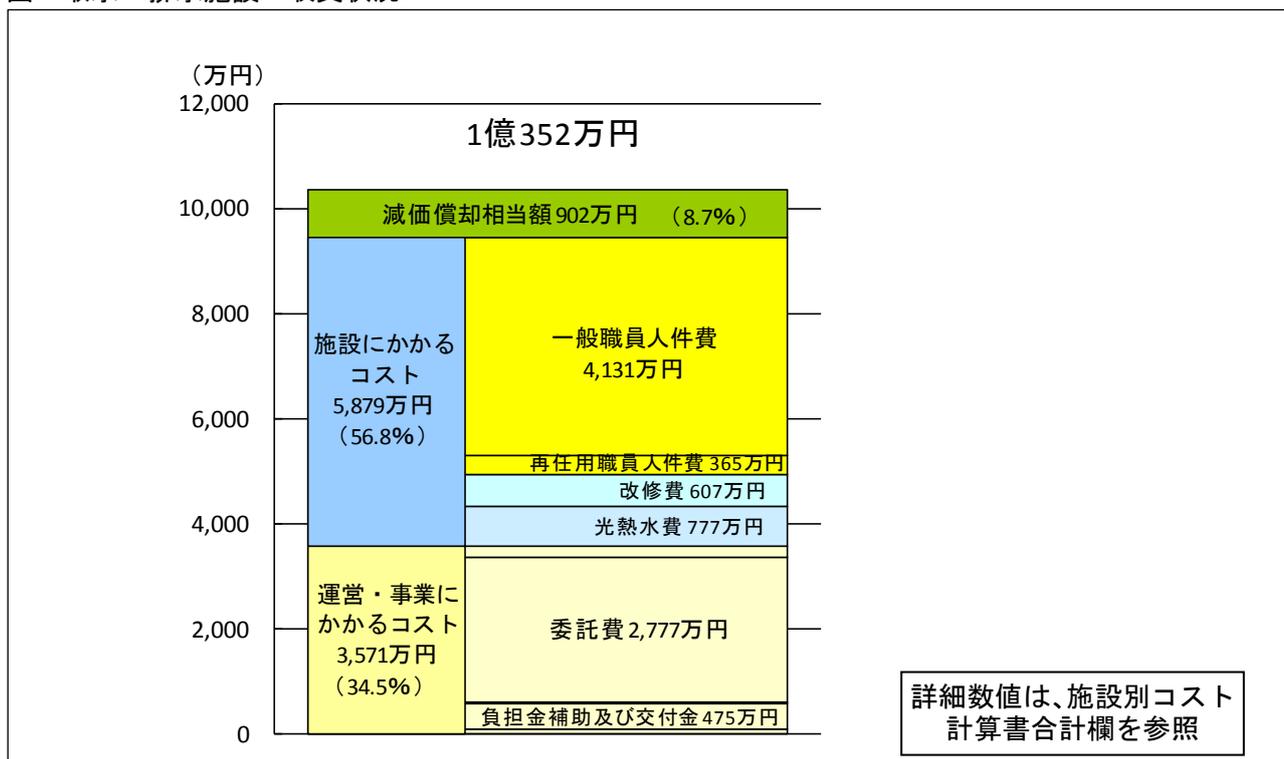
図 あだち再生館 収支状況



【排水・取水施設】

排水・取水施設 14 施設の年間トータルコストは 10,352 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 5,879 万円(57%)、運営・事業にかかるコストは 3,571 万円 (35%)、減価償却相当額は 902 万円 (9%) となっています。

図 取水・排水施設 収支状況



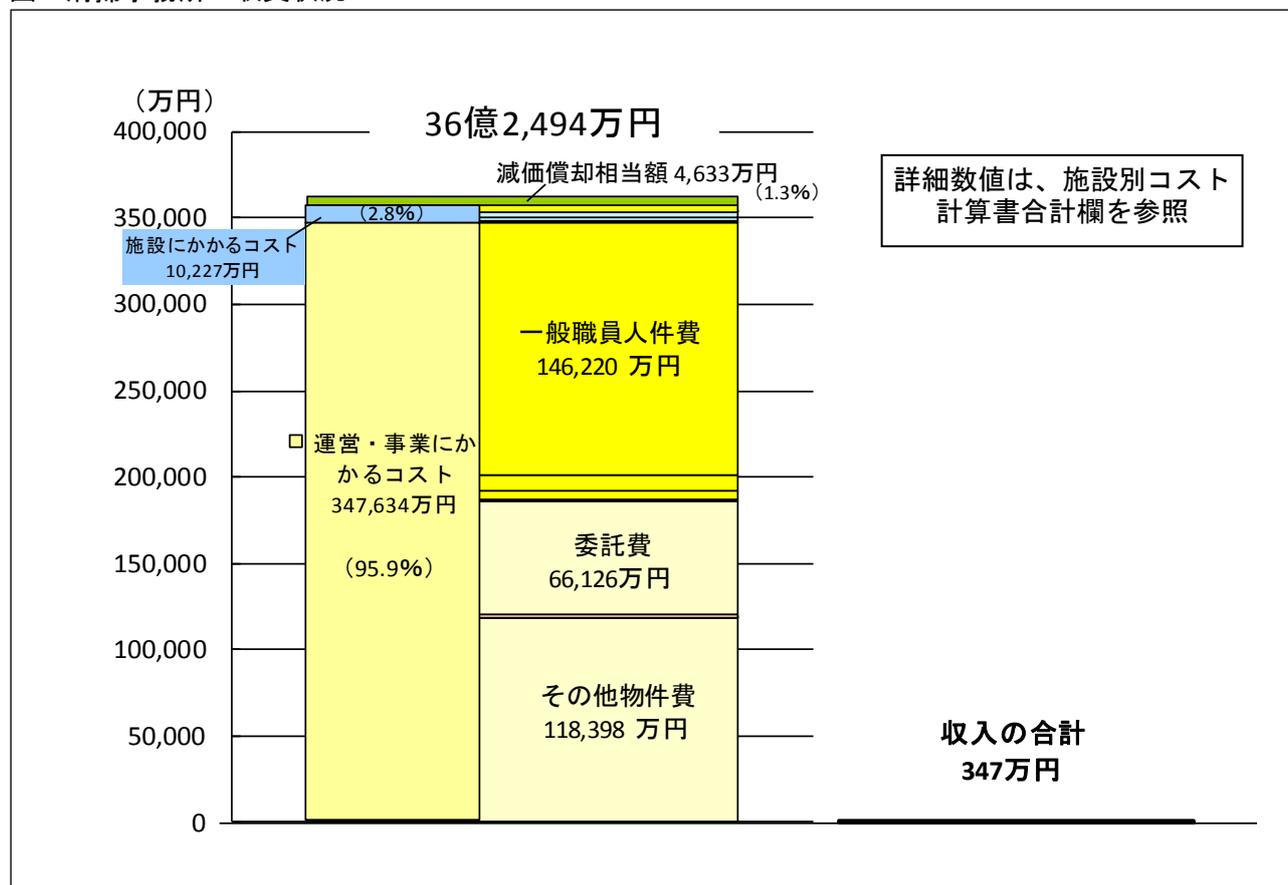
詳細数値は、施設別コスト  
計算書合計欄を参照

## 【清掃事務所】

清掃事務所4施設の年間トータルコストは362,494万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは10,227万円(3%)、運営・事業にかかるコストは347,634万円(96%)、減価償却相当額は4,633万円(1%)となっています。

図 清掃事務所 収支状況



## 《運営状況》

足立区リサイクルセンターあだち再生館は指定管理者による運営となっています。

排水・取水施設は無人施設で自動運転を行っています。情報の収集・機器調整等は、必要に応じて直営で行っています。

清掃事務所の運営は直営となっています。足立清掃事務所伊興分室及び中央本町分室は閉鎖管理しています。

表 施設別 運営人員&lt;清掃事務所&gt;

(人)

		足立清掃事務所	足立清掃事務所 曙分室	足立清掃事務所 伊興分室	足立清掃事務所 中央本町分室	合計
運営形態		直営	直営	直営	直営	
施設管理	一般職員	3.0	1.0	0.5	0.5	5.0
	計	3.0	1.0	0.5	0.5	5.0
事業運営	一般職員	153.0	24.0	0.0	0.0	177.0
	再任用職員	20.0	7.0	0.0	0.0	27.0
	計	173.0	31.0	0.0	0.0	204.0
合計		176.0	32.0	0.5	0.5	209.0

(10) ア 供給処理施設

表 施設別コスト計算書

		(円)
【費用の部】		足立区 リサイクルセンター あだち再生館
	修繕費	1,991,952
①	施設にかかるコスト	1,991,952
②	運営・事業にかかるコスト	0
③	指定管理委託料	23,309,723
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		25,301,675
④ 減価償却相当額		11,460,240
【収入の部】		
	使用料収入	144,720
⑤	収入の合計	144,720
【総括】		
⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	36,761,915
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		36,617,195

表 施設別コスト計算書<排水・取水施設>

		(円)
【費用の部】		合計
	一般職員人件費	41,305,000
	再任用職員人件費	3,648,000
	改修費	6,067,440
	光熱水費	7,773,765
①	施設にかかるコスト	58,794,205
	修繕費	1,900,184
	委託費	27,769,930
	車両・備品購入費	135,000
	負担金補助及び交付金	4,753,176
	その他物件費	1,149,944
②	運営・事業にかかるコスト	35,708,234
③	指定管理委託料	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)		94,502,439
④ 減価償却相当額		9,017,064
【収入の部】		
⑤	収入の合計	0
【総括】		
⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	103,519,503
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)		103,519,503

表 施設別コスト計算書&lt;清掃事務所&gt;

		(円)
【費用の部】		合計
	一般職員人件費	41,305,000
	修繕費	689,589
	改修費	497,880
	光熱水費	34,084,982
	委託費	19,460,688
	使用料及び賃借料	6,236,688
①	施設にかかるコスト	102,274,827
	一般職員人件費	1,462,197,000
	再任用職員人件費	98,496,000
	臨時職員人件費	47,526,559
	修繕費	5,516,763
	委託費	661,257,641
	使用料及び賃借料	17,186,055
	車両・備品購入費	157,140
	負担金補助及び交付金	25,100
	その他物件費	1,183,975,904
②	運営・事業にかかるコスト	3,476,338,162
	現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	3,578,612,989
④	減価償却相当額	46,325,376
【収入の部】		
	使用料収入	3,033,341
	諸収入	440,762
⑤	収入の合計	3,474,103
【総括】		
⑥	トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	3,624,938,365
	収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)	3,621,464,262

(10) ア 供給処理施設

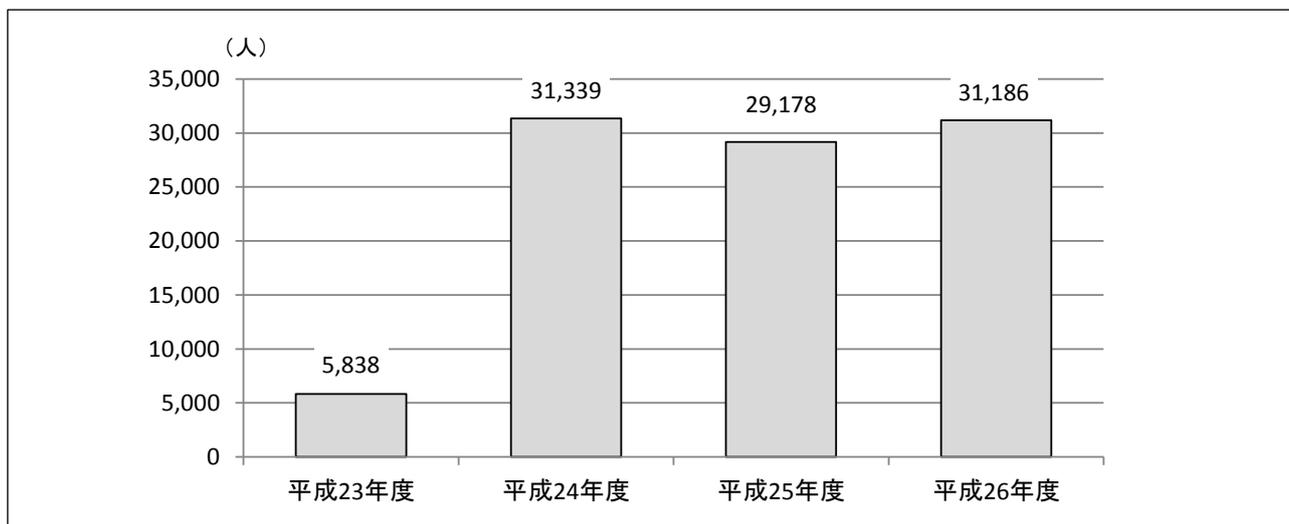
② 利用状況

【あだち再生館】

■ 年間入館者数推移

あだち再生館の年間入館者数は、平成24年度から平成26年度においては約3万人程度で推移しています。

図 年間入館者数推移



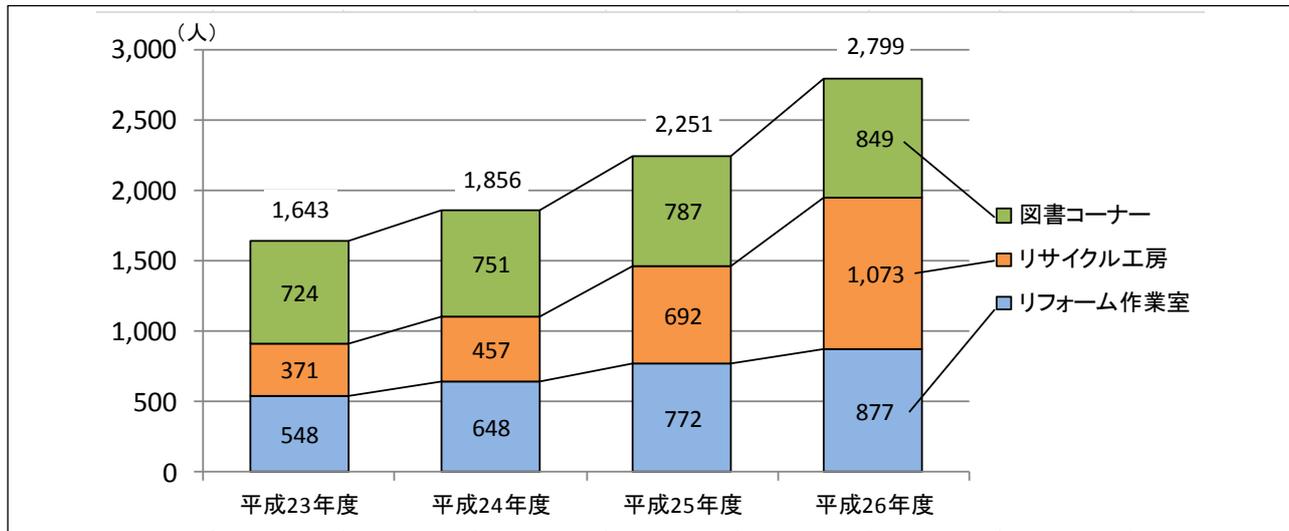
※東日本大震災以降平成23年5月末まで全館閉館。

(出典：数字で見る足立)

■ 目的別利用者数

あだち再生館の利用者数を目的別で見ると、リサイクル工房の利用者数は平成23年度から平成26年度にかけて2.9倍と大幅に増加にしています。また、リフォーム作業室・図書コーナーともに利用状況は増加傾向にあります。

図 目的別利用者数推移



(出典：数字で見る足立)



## (10) ア 供給処理施設

## ⑥ 施設一覧

表 施設一覧 (50 音順)

施設分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主たる 建物)	管理 形態	備考
リサイクル センター	1 足立区リサイクルセンター あだち再生館	中央本町2丁目9-1	1,432.53	平成9	18	SRC	指定 管理	
排水・ 取水施設	2 裏門堰排水場	西綾瀬1丁目8-1	261.88	昭和52	38	CB	自動 運転	
	3 大谷田地下道排水施設	大谷田1-1	-	平成4	23	ボックス カルバート	自動 運転	
	4 川田橋排水場	梅田1丁目24-10	484.06	昭和61	29	SRC	自動 運転	
	5 北千住地下道排水場	千住旭町42内	-	平成2	25	-	自動 運転	
	6 旧小溜井排水場	神明1-12	136.35	昭和46	44	S	自動 運転	
	7 栗原排水場	栗原3丁目16-1	24.40	昭和44	46	RC	自動 運転	
	8 栗原四丁目排水場	栗原4丁目1	36.00	平成1	26	SRC	自動 運転	
	9 桜木橋人道橋排水施設	六木3-1	-	平成16	11	ボックス カルバート	自動 運転	
	10 千住旭町排水場	千住旭町42-10	40.05	平成5	22	RC	自動 運転	
	11 大六天排水場施設	葛飾区小菅3丁目3-2	279.57	昭和62	28	SRC	自動 運転	
	12 中居堀取水施設	神明南1-15	42.00	昭和63	27	RC	自動 運転	
	13 花畑七丁目排水場	花畑7丁目20先	-	平成2	25	-	自動 運転	
	14 花見橋水門管理所	六木3丁目5-18	297.00	昭和55	35	SRC	自動 運転	
	15 谷中排水場	谷中5丁目1-19	49.29	平成20	7	RC	自動 運転	
	清掃 事務所	16 足立清掃事務所	東伊興3丁目23-9	3,574.92	昭和50	40	RC	直営
17 足立清掃事務所曙分室		千住曙町37-28	1,166.75	昭和63	27	SRC	直営	
18 足立清掃事務所伊興分室		東伊興1丁目6-12	1,692.41	昭和49	41	SRC	閉鎖 施設	
19 足立清掃事務所中央本町 分室		中央本町1丁目12-24	1,253.56	昭和40	50	RC	閉鎖 施設	
合計			10,770.77					

※赤字は築30年以上の施設

## イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

区では、駐車場 2 施設、駐輪場 57 施設、自転車移送所 4 施設を設置しています。

## 《概要シート》

施設概要	施設数	63 施設	管理形態	管理協定、委託運営、 指定管理者運営
	主な室名	—		
	平均開館日数		総延床面積	20,887.20㎡
利用状況				施設群合計
	年間利用者数			
収支状況	① 施設にかかるコスト	4,188万円		
	② 運営・事業にかかるコスト	42,347万円		
	③ 指定管理委託料	—		
	④ 減価償却相当額	17,389万円		
	⑤ 収入	55,181万円		
	⑥ トータルコスト (⑥=①+②+③+④)	63,924万円		
	利用者1人当たりのコスト (⑥÷年間利用者数)			
	単位床面積当たりのコスト (⑥÷総延床面積)	30,604円/㎡		
備考				

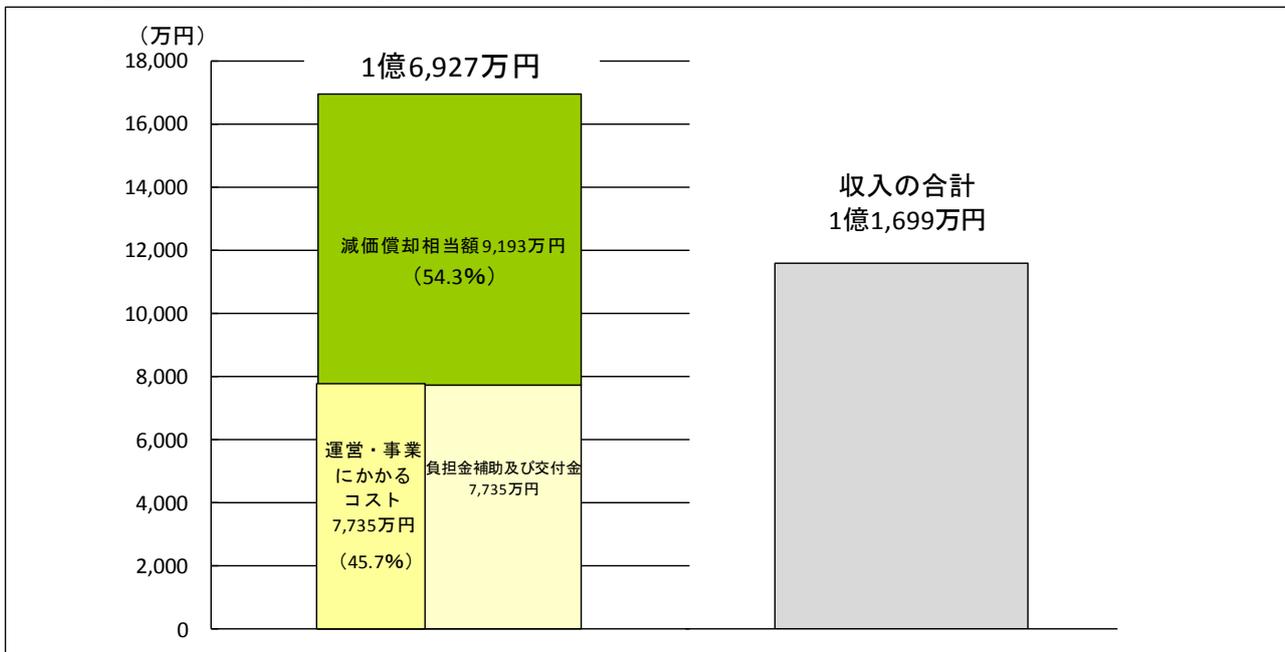
(10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

① コスト状況

【駐車場】

駐車場の年間トータルコストは 16,927 万円です。年間トータルコストのうち、運営・事業にかかるコストは 7,735 万円（46%）、減価償却相当額は 9,193 万円（54%）となっています。

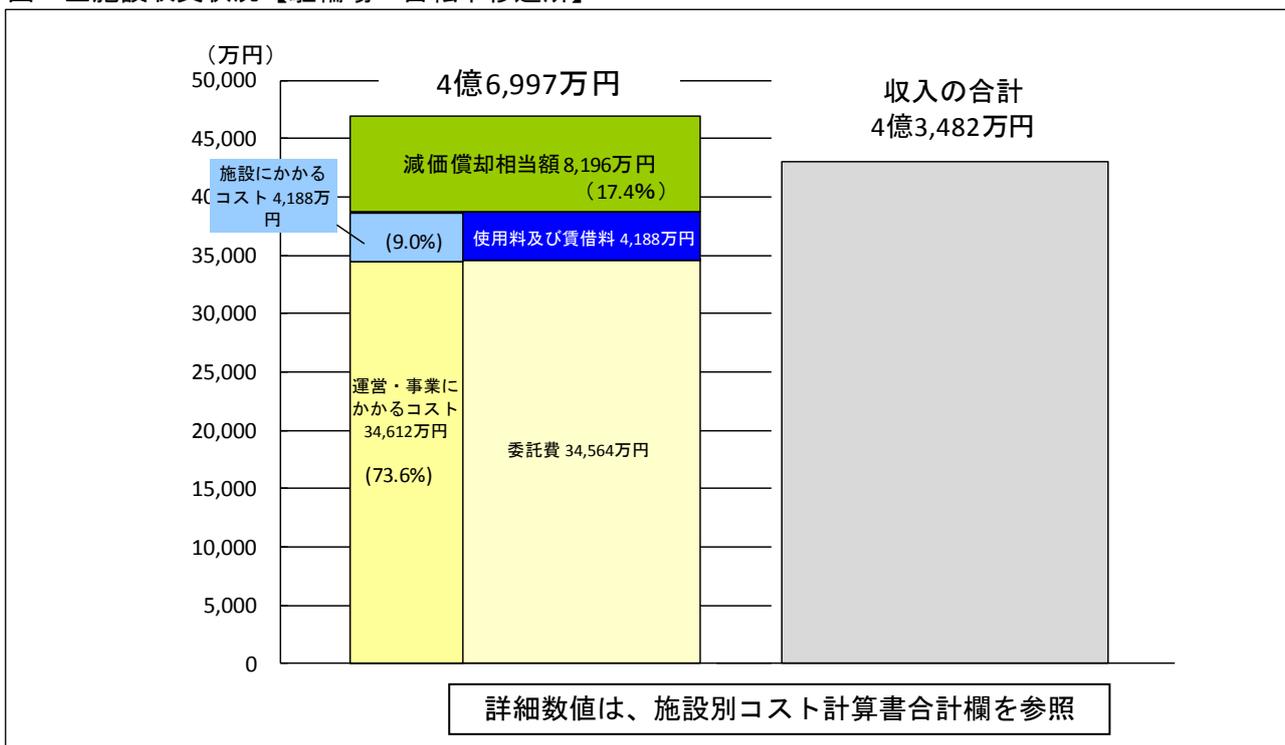
図 全施設収支状況【駐車場】



【駐輪場・自転車移送所】

駐輪場・自転車移送所の年間トータルコストは 46,997 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは 4,188 万円（9%）、運営・事業にかかるコストは 34,612 万円（74%）、減価償却相当額は 8,196 万円（17%）となっています。

図 全施設収支状況【駐輪場・自転車移送所】



### 《運営状況》

北千住駅西口駐車場は管理協定、竹ノ塚駅西口公共駐車場は指定管理者による運営です。  
駐輪場及び自転車移送所の運営は、委託運営となっています。

表 施設別コスト計算書<駐車場>

(円)

【費用の部】	北千住駅西口駐車場 (ルミネ内)	竹ノ塚駅西口公共駐車場 (エミエルタワー内)	合計
① 施設にかかるコスト	0	0	0
負担金補助及び交付金	61,894,250	15,454,800	77,349,050
② 運営・事業にかかるコスト	61,894,250	15,454,800	77,349,050
③ 指定管理委託料	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	61,894,250	15,454,800	77,349,050
④ 減価償却相当額	56,555,716	35,370,216	91,925,932
【収入の部】			
分担金及び負担金(収入)	99,449,987	14,676,566	114,126,553
使用料収入	2,865,180	0	2,865,180
⑤ 収入の合計	102,315,167	14,676,566	116,991,733
【総括】			
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	118,449,966	50,825,016	169,274,982
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	16,134,799	36,148,450	52,283,249

表 施設別コスト計算書<駐輪場・自転車移送所>

(円)

【費用の部】	青井駅 自転車駐車場	足立小台駅 自転車駐車場	綾瀬北 自転車駐車場	綾瀬西 自転車駐車場	綾瀬袋橋暫定第1 自転車駐車場	綾瀬袋橋暫定第2 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	5,967,084	6,978,660	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	5,967,084	6,978,660	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	13,145,760	3,383,884	5,753,970	5,753,970	5,753,970	5,753,970
② 運営・事業にかかるコスト	13,145,760	3,383,884	5,753,970	5,753,970	5,753,970	5,753,970
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	13,145,760	3,383,884	11,721,054	12,732,630	5,753,970	5,753,970
④ 減価償却相当額	19,535,184	72,947	0	0	0	0
【収入の部】						
使用料収入	18,118,550	1,079,240	6,078,300	15,843,250	13,674,560	8,627,200
⑤ 収入の合計	18,118,550	1,079,240	6,078,300	15,843,250	13,674,560	8,627,200
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	32,680,944	3,456,831	11,721,054	12,732,630	5,753,970	5,753,970
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	14,562,394	2,377,591	5,642,754	-3,110,620	-7,920,590	-2,873,230

(10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

表 施設別コスト計算書<駐輪場・自転車移送所>

(円)

【費用の部】	綾瀬袋橋暫定第3 自転車 駐車場	綾瀬ふげんじ自転 車駐車場	扇移送所	扇大橋西 自転車駐車場	扇大橋東 自転車駐車場	北綾瀬移送所
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	10,315,032
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	10,315,032
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	5,753,970	5,753,970	5,814,000	3,383,884	3,383,884	16,585,800
② 運営・事業にかかるコスト	5,753,970	5,753,970	5,814,000	3,383,884	3,383,884	16,585,800
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	5,753,970	5,753,970	5,814,000	3,383,884	3,383,884	26,900,832
④ 減価償却相当額	0	0	143,905	96,632	96,632	0
【収入の部】						
使用料収入	0	4,043,700	0	2,937,360	7,774,470	0
⑤ 収入の合計	0	4,043,700	0	2,937,360	7,774,470	0
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	5,753,970	5,753,970	5,957,905	3,480,516	3,480,516	26,900,832
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	5,753,970	1,710,270	5,957,905	543,156	-4,293,954	26,900,832

表 施設別コスト計算書<駐輪場・自転車移送所>

(円)

【費用の部】	北綾瀬北暫定自転 車駐車場	北綾瀬南 自転車駐車場	北千住北 自転車駐車場	北千住西口 自転車駐車場	北千住南 自転車駐車場	江北駅西第2自転 車駐車場
使用料及び賃借料	2,446,656	3,089,760	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	2,446,656	3,089,760	0	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	5,753,970	5,753,970	34,523,820	34,523,820	5,237,524	3,383,884
② 運営・事業にかかるコスト	5,753,970	5,753,970	34,523,820	34,523,820	5,237,524	3,383,884
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	8,200,626	8,843,730	34,523,820	34,523,820	5,237,524	3,383,884
④ 減価償却相当額	0	0	8,916,336	0	10,256,472	0
【収入の部】						
使用料収入	8,179,000	4,639,660	18,411,850	7,379,700	23,362,950	2,254,880
⑤ 収入の合計	8,179,000	4,639,660	18,411,850	7,379,700	23,362,950	2,254,880
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	8,200,626	8,843,730	43,440,156	34,523,820	15,493,996	3,383,884
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	21,626	4,204,070	25,028,306	27,144,120	-7,868,954	1,129,004

※北千住西口自転車駐車場の減価償却相当額は、北千住北自転車駐車場に含んでいます。

## (10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	江北駅東 自転車駐車場	江北二丁目 自転車駐車場	江北二丁目北自転 車駐車場	江北陸橋下 自転車駐車場	高野駅西 自転車駐車場	高野駅東 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	3,383,884	0	0	0	3,383,884	3,383,884
② 運営・事業にかかるコスト	3,383,884	0	0	0	3,383,884	3,383,884
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	3,383,884	0	0	0	3,383,884	3,383,884
④ 減価償却相当額	49,263	0	0	0	0	96,632
【収入の部】						
使用料収入	2,056,950	0	0	0	2,267,540	5,653,000
⑤ 収入の合計	2,056,950	0	0	0	2,267,540	5,653,000
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	3,433,147	0	0	0	3,383,884	3,480,516
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)	1,376,197	0	0	0	1,116,344	-2,172,484

※コストがゼロの施設は無料駐車場です。

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	五反野北 自転車駐車場	サイクル パーク綾瀬 自転車駐車場	鹿浜二丁目 自転車駐車場	神明一丁目 自転車駐車場	関屋 自転車駐車場	千住大橋 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	1,386,168
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	1,386,168
嘱託職員人件費	0	0	0	240,000	0	0
委託費	5,237,524	5,753,970	0	0	5,237,524	5,237,524
② 運営・事業にかかるコスト	5,237,524	5,753,970	0	240,000	5,237,524	5,237,524
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	5,237,524	5,753,970	0	240,000	5,237,524	6,623,692
④ 減価償却相当額	0	6,086,084	0	0	0	58,320
【収入の部】						
使用料収入	3,380,320	21,209,970	0	0	3,485,940	10,333,750
⑤ 収入の合計	3,380,320	21,209,970	0	0	3,485,940	10,333,750
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	5,237,524	11,840,054	0	240,000	5,237,524	6,682,012
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)	1,857,204	-9,369,916	0	240,000	1,751,584	-3,651,738

※コストがゼロの施設は無料駐車場です。

## (10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	大師前 自転車駐車場	竹の塚移送所	竹の塚西 自転車駐車場	竹の塚東A棟 自転車駐車場	竹の塚東B棟自転 車駐車場	竹の塚南 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	6,614,596	16,522,574	6,614,596	6,614,596	6,614,596	6,614,596
② 運営・事業にかかるコスト	6,614,596	16,522,574	6,614,596	6,614,596	6,614,596	6,614,596
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	6,614,596	16,522,574	6,614,596	6,614,596	6,614,596	6,614,596
④ 減価償却相当額	104,400	0	209,640	15,496,295	13,102,105	7,211,937
【収入の部】						
使用料収入	3,551,090	0	27,351,740	33,475,750	33,742,900	9,875,450
⑤ 収入の合計	3,551,090	0	27,351,740	33,475,750	33,742,900	9,875,450
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	6,718,996	16,522,574	6,824,236	22,110,891	19,716,701	13,826,533
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	3,167,906	16,522,574	-20,527,504	-11,364,859	-14,026,199	3,951,083

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	中央本町 移送所	椿二丁目 自転車駐車場	舎人駅東第1自転 車駐車場	舎人駅東第2自転 車駐車場	舎人公園 自転車駐車場	舎人公園駅下自転 車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	972,000	5,417,856	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	972,000	5,417,856	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	13,676,228	0	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
② 運営・事業にかかるコスト	13,676,228	0	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	13,676,228	0	4,355,884	8,801,740	3,383,884	3,383,884
④ 減価償却相当額	0	0	0	0	0	0
【収入の部】						
使用料収入	0	0	5,751,300	6,143,700	6,947,000	4,622,120
⑤ 収入の合計	0	0	5,751,300	6,143,700	6,947,000	4,622,120
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	13,676,228	0	4,355,884	8,801,740	3,383,884	3,383,884
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	13,676,228	0	-1,395,416	2,658,040	-3,563,116	-1,238,236

※コストがゼロの施設は無料駐車場です。

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	舎人公園東 自転車駐車場	西新井 自転車駐車場	西新井大師 西駅第1 自転車駐車場	西新井大師 西駅第2 自転車駐車場	西新井大師 西駅第3 自転車駐車場	西新井大師 西駅第4 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	3,998,380	748,800	0	0	0
① 施設にかかるコスト	0	3,998,380	748,800	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	0	6,614,596	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
② 運営・事業にかかるコスト	0	6,614,596	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	0	10,612,976	4,132,684	3,383,884	3,383,884	3,383,884
④ 減価償却相当額	0	0	0	0	0	0
【収入の部】						
使用料収入	0	10,708,900	7,357,500	4,958,300	2,251,200	2,606,200
⑤ 収入の合計	0	10,708,900	7,357,500	4,958,300	2,251,200	2,606,200
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	0	10,612,976	4,132,684	3,383,884	3,383,884	3,383,884
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)	0	-95,924	-3,224,816	-1,574,416	1,132,684	777,684

※コストがゼロの施設は無料駐車場です。

※舎人公園東自転車駐車場は平成27年4月より開設のため、平成26年度のコストはありません。

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	西新井大師 西駅東 自転車駐車場	西新井西 自転車駐車場	西新井東 自転車駐車場	西新井南 自転車駐車場	西新井六丁目 自転車駐車場	花畑仲組 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	0	564,090	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	0	564,090	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	240,000
委託費	3,383,884	0	0	6,614,596	0	0
② 運営・事業にかかるコスト	3,383,884	0	0	6,614,596	0	240,000
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計 (①+②+③)	3,383,884	0	0	7,178,686	0	240,000
④ 減価償却相当額	0	0	0	38,880	0	0
【収入の部】						
使用料収入	5,218,300	0	0	4,088,150	0	0
⑤ 収入の合計	5,218,300	0	0	4,088,150	0	0
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	3,383,884	0	0	7,217,566	0	240,000
収支差額 (ネットコスト ⑥-⑤)	-1,834,416	0	0	3,129,416	0	240,000

※コストがゼロの施設は無料駐車場です。

## (10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	東綾瀬公園 自転車駐車場	ベルモント公園自転 車駐車場	見沼代 親水公園駅 自転車駐車場	宮城二丁目 自転車駐車場	谷在家駅西 自転車駐車場	谷在家駅東 自転車駐車場
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0
① 施設にかかるコスト	0	0	0	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
委託費	5,753,970	5,237,524	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
② 運営・事業にかかるコスト	5,753,970	5,237,524	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
③ 指定管理委託料	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	5,753,970	5,237,524	3,383,884	3,383,884	3,383,884	3,383,884
④ 減価償却相当額	0	0	96,632	0	96,537	33,347
【収入の部】						
使用料収入	7,838,900	1,173,500	20,406,920	1,153,650	7,993,800	2,523,000
⑤ 収入の合計	7,838,900	1,173,500	20,406,920	1,153,650	7,993,800	2,523,000
【総括】						
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	5,753,970	5,237,524	3,480,516	3,383,884	3,480,421	3,417,231
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	-2,084,930	4,064,024	-16,926,404	2,230,234	-4,513,379	894,231

※コストがゼロの施設は無料駐車場です。

表 施設別コスト計算書&lt;駐輪場・自転車移送所&gt;

(円)

【費用の部】	六町駅 自転車駐車場	合計
使用料及び賃借料	0	41,884,486
① 施設にかかるコスト	0	41,884,486
嘱託職員人件費	0	480,000
委託費	13,145,760	345,644,934
② 運営・事業にかかるコスト	13,145,760	346,124,934
③ 指定管理委託料	0	0
現金収支を伴うコスト 計(①+②+③)	13,145,760	388,009,420
④ 減価償却相当額	158,880	81,957,060
【収入の部】		
使用料収入	34,285,850	434,817,360
⑤ 収入の合計	34,285,850	434,817,360
【総括】		
⑥ トータルコスト (費用の部合計 ①+②+③+④)	13,304,640	469,966,480
収支差額(ネットコスト ⑥-⑤)	-20,981,210	35,149,120

図 施設別トータルコスト<駐車場>

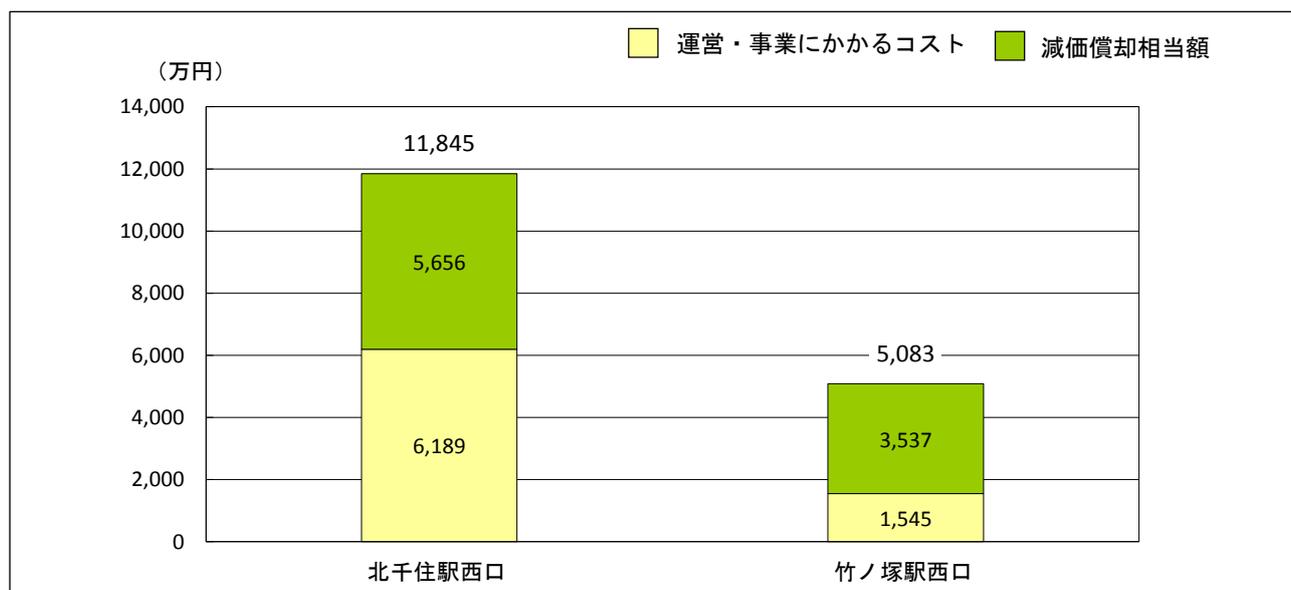
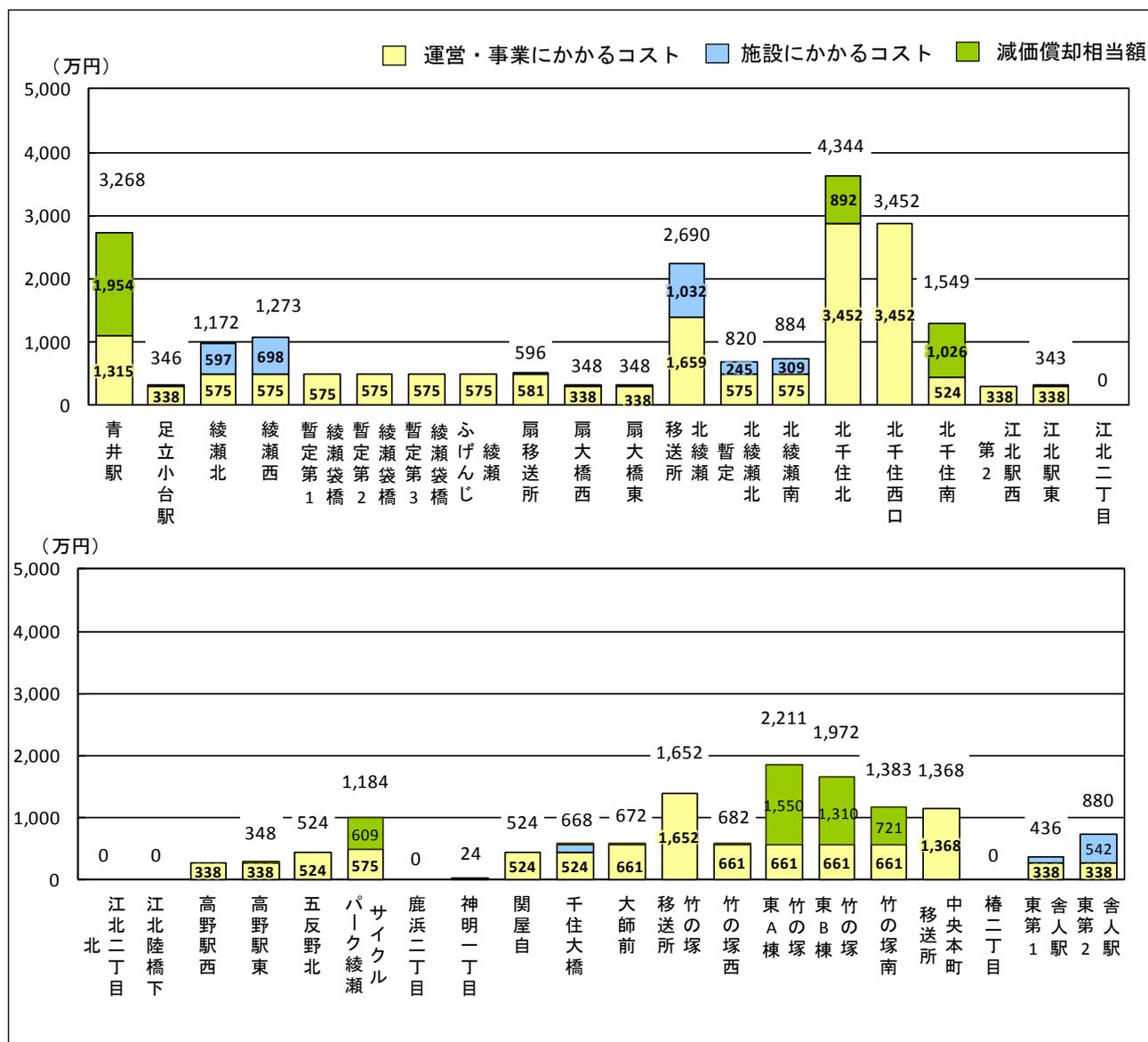
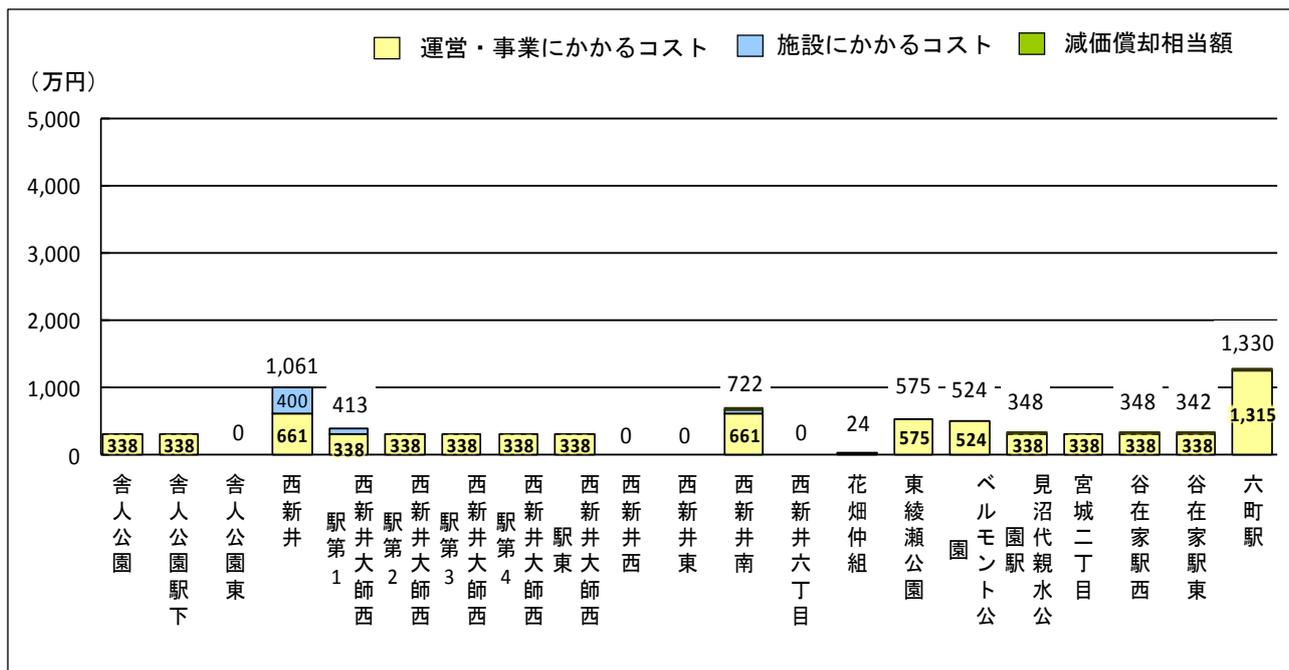


図 施設別トータルコスト<駐輪場・自転車移送所>



(10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

図 施設別トータルコスト<駐輪場・自転車移送所>



② 設置目的

施設分類	設置目的
駐車場	駅周辺の道路の安全かつ円滑な利用を確保し、区民の生活環境の向上に寄与することを目的とする。
駐輪場・移送所	自転車等の放置による環境悪化の防止等を図り、区民の良好な生活環境向上に寄与することを目的とする。

③ 配置状況

駐車場、駐輪場は、駅周辺に設置されています。特に、西新井・竹の塚・綾瀬等の主要駅に複数設置しています。

図 駐車場・駐輪場・自転車移送所施設位置図



④ 施設一覧

表 施設一覧 (50音順)

施設分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	築年数	構造 (主たる建物)	収容台数			備考
							自転車	自動二輪・原付	自動車	
駐車場	1 北千住駅西口駐車場	千住旭町42-2(ルミネ内)	5,969.77	昭和63	27	S		10	386	
	2 竹ノ塚駅西口公共駐車場	西竹の塚1丁目11-2 (エミエルタワー内)	4,912.53	平成16	11	RC	198	9	101	
駐輪場・移送所	3 青井駅自転車駐車場	青井3丁目24-1	2,713.22	平成16	11	RC	1,589			
	4 足立小台駅自転車駐車場	小台1丁目20-1	7.70	平成19	8	S	123	21		
	5 綾瀬北自転車駐車場	綾瀬3丁目22-14	7.25	昭和58	32	軽S	630			
	6 綾瀬西自転車駐車場	綾瀬4丁目1-11	-	-	-	-	946	32		
	7 綾瀬袋橋暫定第1自転車駐車場	綾瀬2丁目18先	-	-	-	-	310			
	8 綾瀬袋橋暫定第2自転車駐車場	綾瀬2丁目18先	-	-	-	-	293			
	9 綾瀬袋橋暫定第3自転車駐車場	綾瀬2丁目18先	-	-	-	-	313			

## (10) イ 駐車場・駐輪場・自転車移送所

表 施設一覧 (50音順)

施設 分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る 建物)	収容台数			備考
							自転車	自動二輪・ 原付	自動車	
駐 輪 場 ・ 移 送 所	10 綾瀬ふげんじ 自転車駐車場	東綾瀬1丁目5-4	-	-	-	-	180			
	11 扇移送所	扇1丁目1先	15.19	平成19	8	S				
	12 扇大橋西 自転車駐車場	扇2丁目26-20	10.20	平成19	8	S	475			
	13 扇大橋東 自転車駐車場	扇1丁目21-11	10.20	平成19	8	S	263			
	14 北綾瀬移送所	谷中1丁目8-10	-	-	-	-				
	15 北綾瀬北暫定 自転車駐車場	谷中4丁目7-5	-	-	-	-	480			27.4.1~ 移設
	16 北綾瀬南 自転車駐車場	谷中2丁目3-7	-	-	-	-	600			
	17 北千住北 自転車駐車場	千住旭町42-2	1,238.38	平成1	26	RC	1,058			
	18 北千住西口 自転車駐車場	千住旭町42-2	-	-	-	SRC	530			延床面積は北千 住北自転車駐車 場を含む
	19 北千住南 自転車駐車場	千住旭町42-3	1,424.51	平成17	10	SRC	1,195			
	20 江北駅西 第2自転車駐車場	江北四丁目30番先	-	-	-	-	108			
	21 江北駅東 自転車駐車場	西新井本町2丁目32	5.20	平成19	8	S	102			
	22 江北二丁目 自転車駐車場	江北2丁目8-17先	-	-	-	-				無料駐輪場
	23 江北二丁目北 自転車駐車場	江北2丁目43-10先	-	-	-	-				無料駐輪場
	24 江北陸橋下 自転車駐車場	江北6丁目1先	-	-	-	-				無料駐輪場
	25 高野駅西 自転車駐車場	扇2丁目38	-	-	-	-	170	15		
	26 高野駅東 自転車駐車場	扇3丁目4-12	10.20	平成19	8	S	206			
	27 五反野北 自転車駐車場	足立4丁目17-25先	-	-	-	-	649			
	28 サイクルパーク 綾瀬	綾瀬3丁目9-6	642.42	平成6	21	S	778			
	29 鹿浜二丁目 自転車駐車場	鹿浜2丁目24-2	-	-	-	-				無料駐輪場
	30 神明一丁目 自転車駐車場	神明1丁目11先	-	-	-	-				無料駐輪場
	31 関屋 自転車駐車場	千住曙町42-1	69.03	昭和58	32	軽S	164			
	32 千住大橋 自転車駐車場	千住橋戸町8-5	4.86	平成18	9	軽S	347			
	33 大師前 自転車駐車場	西新井1丁目16-15	8.70	平成15	12	軽S	260			
	34 竹の塚移送所	東伊興3丁目18-7	-	-	-	-				
	35 竹の塚西 自転車駐車場	西竹の塚2丁目12-2	17.47	平成14	13	軽S	1,266			

※赤字は築30年以上の施設

表 施設一覧 (50音順)

施設 分類	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年 数	構造 (主た る 建物)	収容台数			備考		
							自転車	自動二輪・ 原付	自動 車			
駐 輪 場 ・ 移 送 所	36 竹の塚東A棟 自転車駐車場	竹の塚6丁目16-9	1,635.72	昭和59	31	S	1,949					
	37 竹の塚東B棟 自転車駐車場	竹の塚6丁目16-9先	1,383.00	昭和59	31	S	1,600					
	38 竹の塚南 自転車駐車場	西竹の塚1丁目14-5	761.26	平成11	16	S	619					
	39 中央本町移送所	足立4丁目16-19先	-	-	-	-						
	40 椿二丁目 自転車駐車場	椿2丁目21-1先	-	-	-	-					無料駐輪場	
	41 舎人駅東 第1自転車駐車場	舎人1丁目15-5	-	-	-	-	105					
	42 舎人駅東 第2自転車駐車場	入谷1丁目6-11	-	-	-	-	243	28			コインラック式	
	43 舎人公園 自転車駐車場	皿沼3丁目33-62	-	-	-	-	276				コインラック式	
	44 舎人公園駅下 自転車駐車場	舎人公園1-10	-	-	-	-	272					
	45 舎人公園東 自転車駐車場	古千谷1丁目	-	-	-	-	100				27. 4. 1~開設 コインラック式	
	46 西新井 自転車駐車場	梅田8-14先	-	-	-	-	2,140					
	47 西新井大師西駅 第1自転車駐車場	江北6丁目30-23	-	-	-	-	138				コインラック式	
	48 西新井大師西駅 第2自転車駐車場	江北6丁目30-23	-	-	-	-	70				コインラック式	
	49 西新井大師西駅 第3自転車駐車場	江北6丁目30-24	-	-	-	-	40				コインラック式	
	50 西新井大師西駅 第4自転車駐車場	江北6丁目10	-	-	-	-	130				コインラック式	
	51 西新井大師西駅 東自転車駐車場	西新井7丁目16-11	-	-	-	-	295					
	52 西新井西 自転車駐車場	栗原3丁目1-1	-	-	-	-	644				一時閉鎖	
	53 西新井東 自転車駐車場	栗原1丁目7-5	-	-	-	-	715				一時閉鎖	
	54 西新井南 自転車駐車場	梅島3丁目28-1	3.24	昭和60	30	軽S	206					
	55 西新井六丁目 自転車駐車場	西新井6丁目7-8	-	-	-	-					無料駐輪場	
	56 花畑仲組 自転車駐車場	花畑3丁目38-1先	-	-	-	-					無料駐輪場	
	57 東綾瀬公園 自転車駐車場	綾瀬3丁目9及び14	-	-	-	-	160				コインラック式	
	58 ベルモント公園 自転車駐車場	梅島1丁目33先	-	-	-	-	184				コインラック式	
	59 見沼代親水公園駅 自転車駐車場	舎人5丁目21-16	10.20	平成19	8	S	791	20				
	60 宮城二丁目 自転車駐車場	宮城2-4先	-	-	-	-	64					
	61 谷在家駅西 自転車駐車場	谷在家3丁目20番	10.19	平成19	8	S	313					
	62 谷在家駅東 自転車駐車場	谷在家1丁目21	3.52	平成19	8	S	154					
	63 六町駅 自転車駐車場	六町4丁目1	13.24	平成17	10	軽S	1,330					
	合計			20,887.20								

※赤字は築30年以上の施設

### 3 インフラ施設

### 3 インフラ施設

#### (1) 道路

##### ① 概要

道路は、人の移動や物資の輸送、都市の骨格の形成や沿道への施設立地の促進などの市街地形成、延焼防止等のための防災空間、緑化や景観形成、上下水道や電気等のライフラインの収容空間など公共空間として整備を進めています。

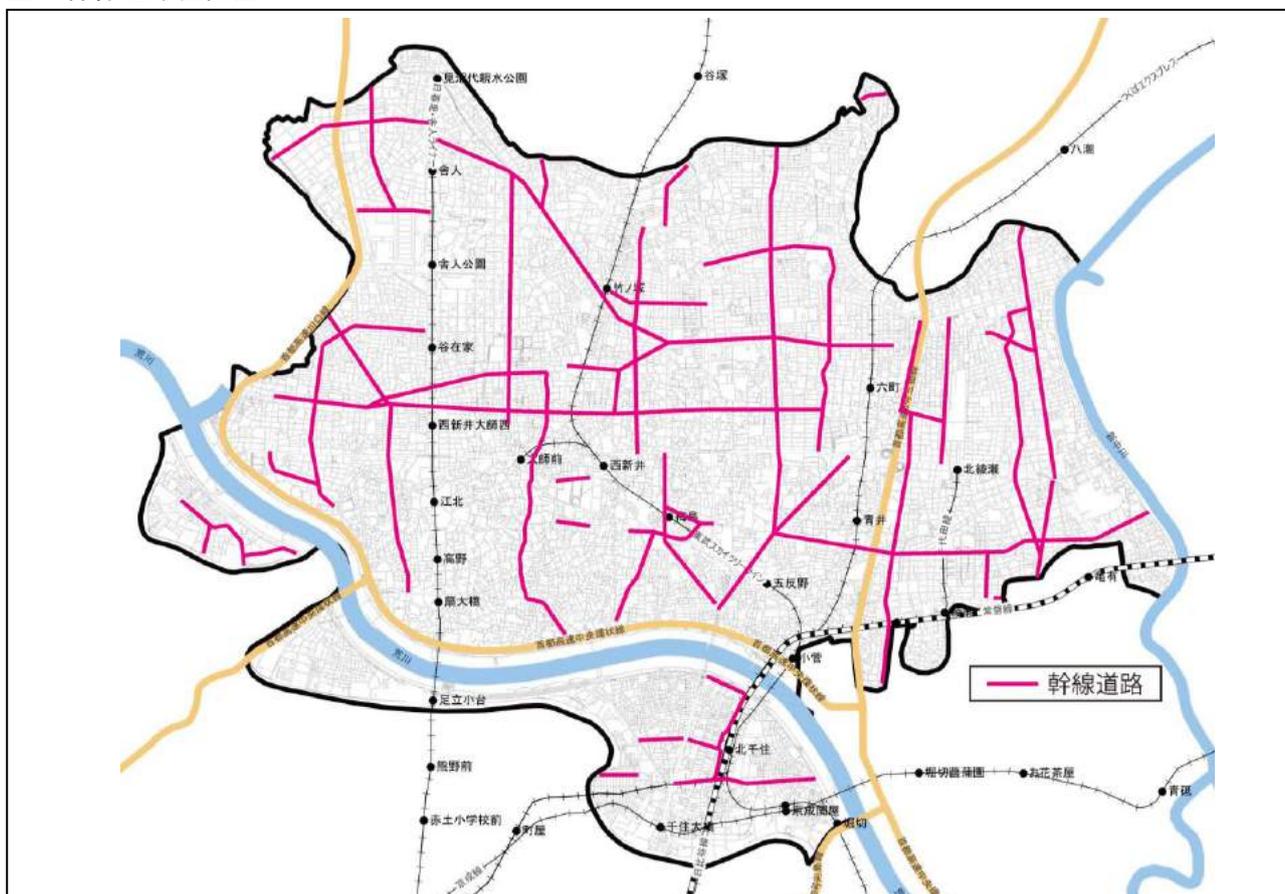
区内の道路（私道を除く）は、一般国道、都道、区道等に区分され、それぞれの管理者及び事業者により管理されています。このうち、足立区が管理者となっている道路（区道）は、実延長約95万m、道路面積約727万㎡となっています。

表 足立区管理道路一覧

種類	実延長 (m)	面積 (㎡)	備考
幹線道路	72,464	1,088,288	環状線や放射線などの主要道路を補完する概ね1km間隔にある幅員15m以上の都市計画道路及び地区内の交通を分担する概ね500m間隔にある幅員8m以上15m未満の都市計画道路
一般道路(生活道路)	876,056	6,155,987	上記幹線道路以外の道路
自転車歩行者道	4,670	29,755	専ら自転車及び歩行者の通行の用に供するために設けられる道路の部分
合計	953,190	7,274,030	

##### ② 位置図

図 幹線道路位置図

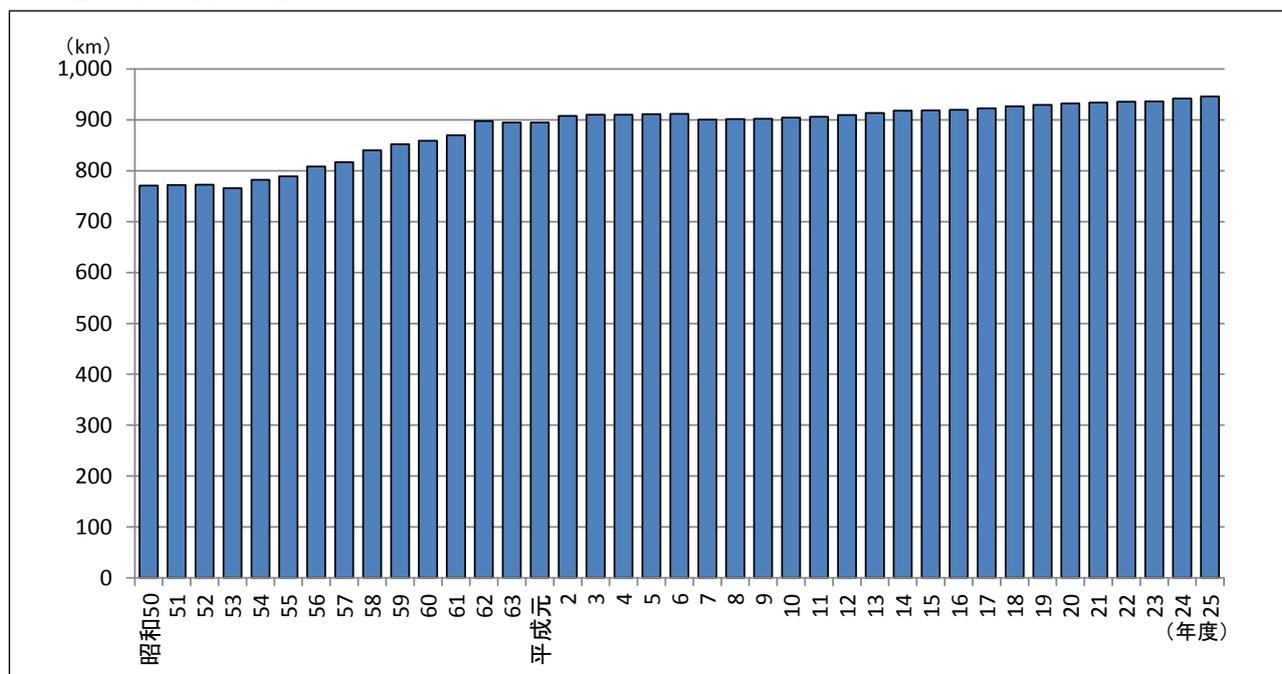


## ③ 整備状況

区道の道路実延長は、増加傾向で推移しています。昭和50年と比較すると、平成25年4月1日現在で、約175km（約1.2倍）増加しています。

また、現在でも、新規整備予定の都市計画道路等が、15路線（81,161㎡）あり、これらの整備費の総額は約538億円と想定されています。

図 道路実延長の推移



(出典：数字で見る足立（経年表）（各年4.1現在）)

### 3 インフラ施設

#### ④ コスト状況

##### <既存道路の維持更新費>

道路維持更新費は、23 億円から 27 億円で推移しています。特に、舗装・補修等に係る維持更新費は、他の費目に比べて年度によりばらつきがみられます。

道路延長 1 km 当たりの道路事業費は、250 万円から 290 万円で推移しています。

なお、足立区が管理する河川・水路流末等の排水場の維持管理業務は、道路維持更新費として計上しています。

表 足立区の道路事業費の推移

(千円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平均
舗装、補修等	964,342	1,050,910	1,170,236	771,819	809,678	953,397
街路灯の維持費等	521,589	573,199	668,724	739,436	804,135	661,417
排水場の維持費等	216,026	190,130	124,739	91,199	108,299	146,079
保守点検、清掃等	737,876	816,918	788,053	727,159	818,739	777,749
計	2,439,833	2,631,157	2,751,752	2,329,613	2,540,851	2,538,641

図 足立区の道路事業費の推移

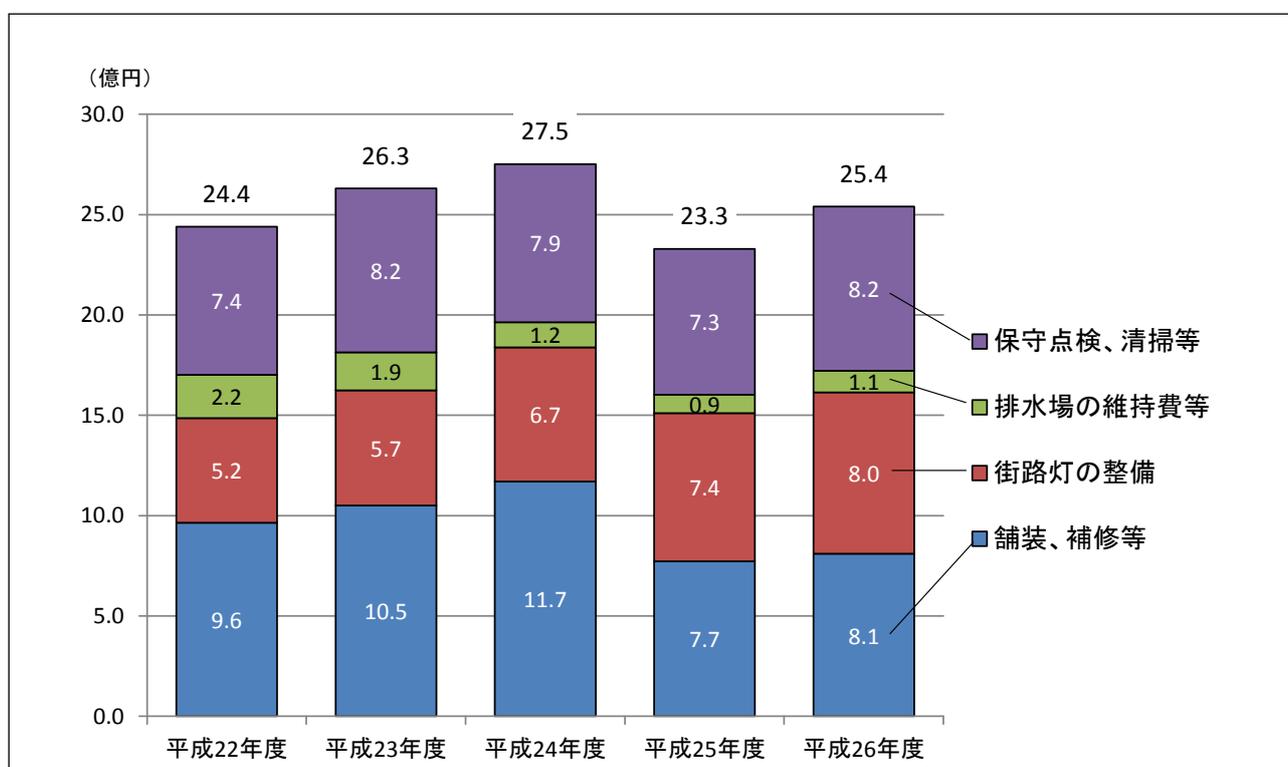
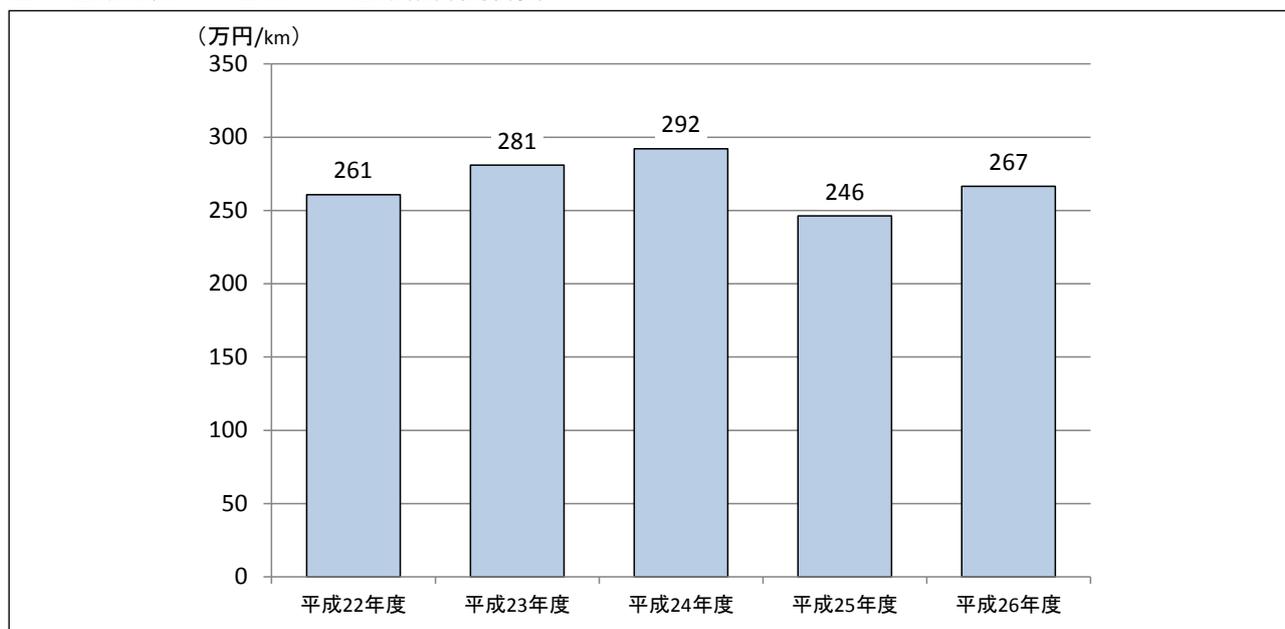


図 道路延長 1km 当たりの道路維持更新費



#### <新規道路の道路整備費及び維持更新費>

新規に整備中の都市計画道路の道路整備費及び整備後の維持更新費についても計上しています。

新規道路については、都市計画道路事業として位置付けられて整備が進められている道路の他、土地区画整理事業により整備され、足立区に移管される道路の維持更新費が含まれます。

### 3 インフラ施設

#### ⑤ 将来維持更新費（現状の維持管理レベルを維持した場合）

##### <算定条件>

既存道路の将来維持更新費算定の単価設定は、平成 22 年～平成 26 年の道路維持更新費の実績額より、景観形成等を目的とした特殊維持更新費を除く、通常、必要となる維持更新費より、単位面積あたりの更新費用を設定します。

新規道路については、新規道路完成後から、維持更新費を追加していきます。

また、道路維持更新の工程毎サイクルは、足立区の「足立区道路維持管理基準～ライフサイクルコストの実践～（平成 14 年 3 月）」により設定した更新サイクルで算定します。

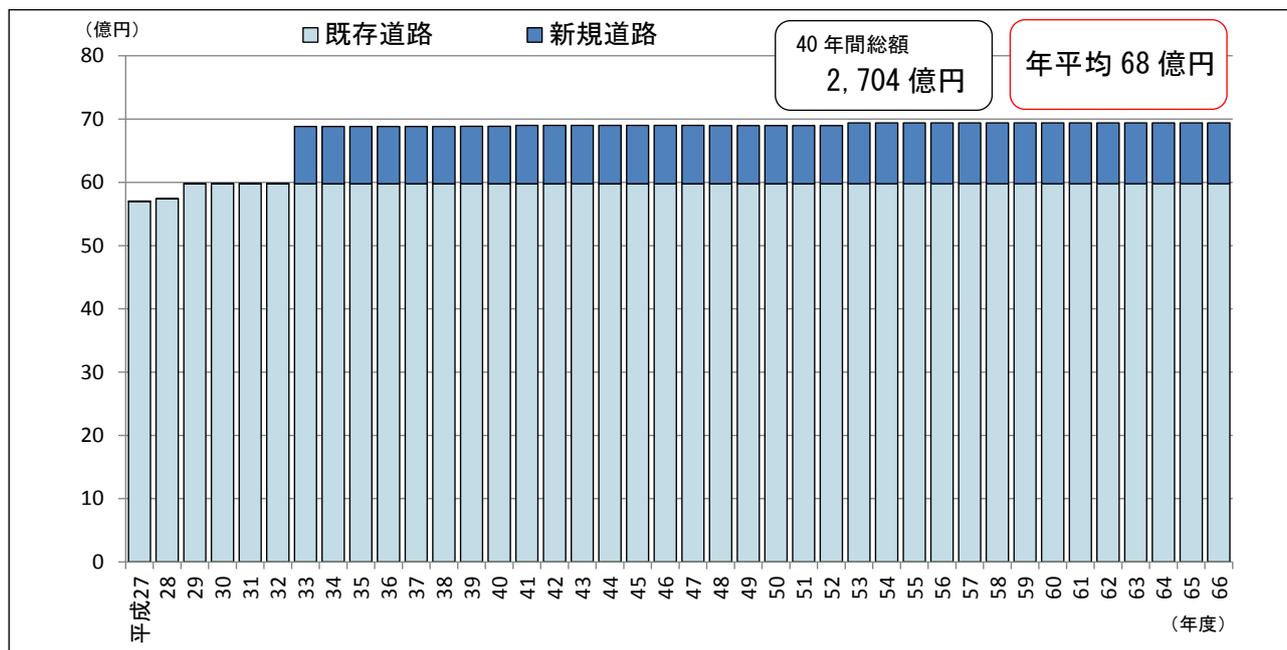
表 将来維持更新費算定条件

工 種	細 別	平均更新単価 (円/m <sup>2</sup> )	更新 サイクル (年)	備 考
舗装・補修等	幹線道路	12,000	20	
	一般道路（生活道路）	13,800	30	
	自転車歩行者道	13,800	30	
	取付け柵取替え	60,700（円/箇所）	50	下水道耐用年数準用
	小規模維持工事	579,965,900（円/年）	1	年平均工事実績より算定
街路灯の維持費等	一般道路・街路灯の 整備、維持費	661,416,625（円/年）	1	年平均工事実績より算定
	幹線道路・大型街路灯 の整備（LED化）	800,000（円/灯）	1	
排水場の維持費等		146,078,786（円/年）	1	年平均工事実績より算定
保守点検・清掃等		777,749,182（円/年）	1	年平均工事実績より算定

##### <算定結果>

この結果、今後必要な道路の詳細維持更新コストは、40年間総額で2,704億円・年平均68億円となります。

図 将来更新費用



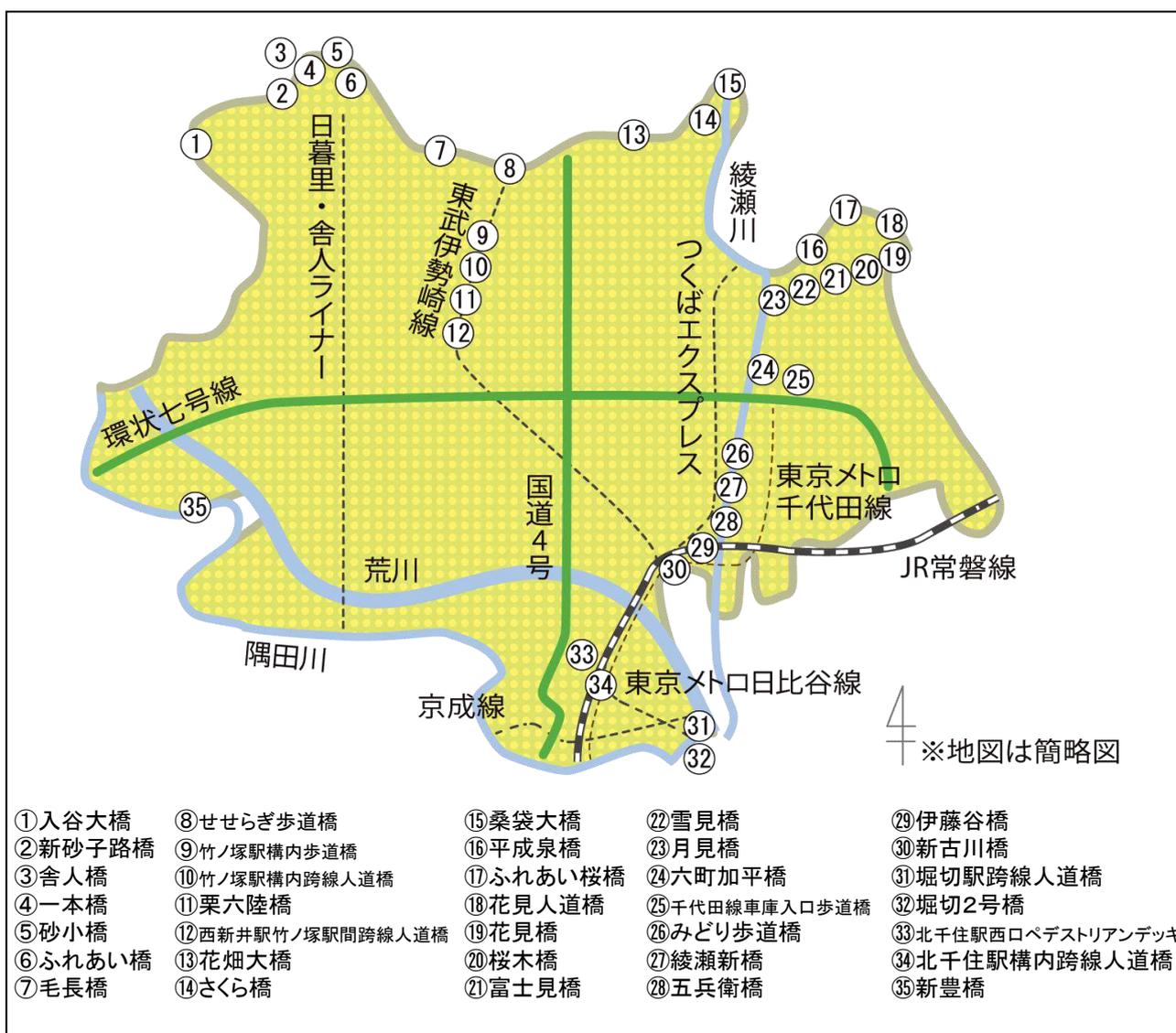
(2) 橋りょう

① 概要

区内にある道路橋・歩道橋等は、83橋（延長 1,751.27m、面積 18,854.62㎡）あります。このうち、「足立区橋梁長寿命化修繕計画（平成 24 年 3 月）」の対象となる橋りょうは 35 橋です。

② 位置図

図 「橋梁長寿命化修繕計画」対象橋りょう位置図



（出典：「足立区橋梁長寿命化修繕計画（平成 24 年 3 月）」）

### 3 インフラ施設

#### ③ 整備状況

歩道橋等を除く 67 橋の年度別長さ区分別本数をみると、昭和 50 年代後半から平成の初期にかけて増加しています。

67 橋の年度別構造区分別面積も、ほぼ、橋りょうの本数と同じ傾向ではありますが、平成 19 年は、隅田川にかかる新豊橋（橋長 105m）の大橋が竣工し、大きく整備面積が増加しています。

図 橋りょうの建設年度別分布<長さ区分別本数>

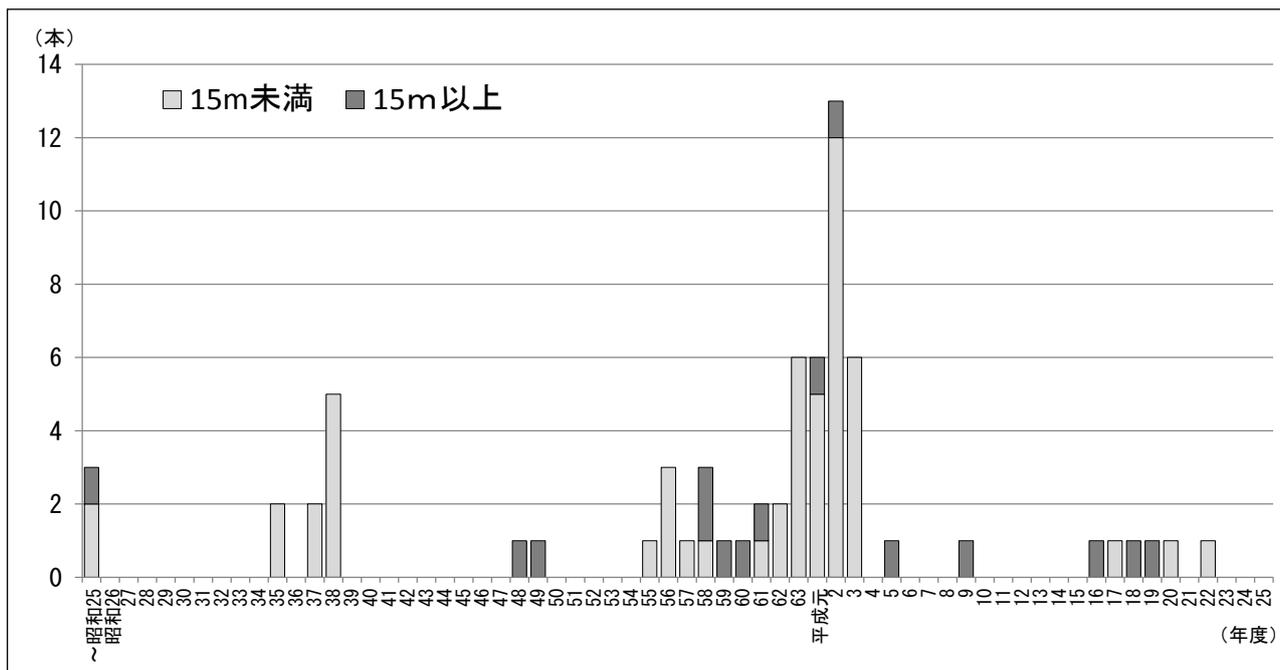
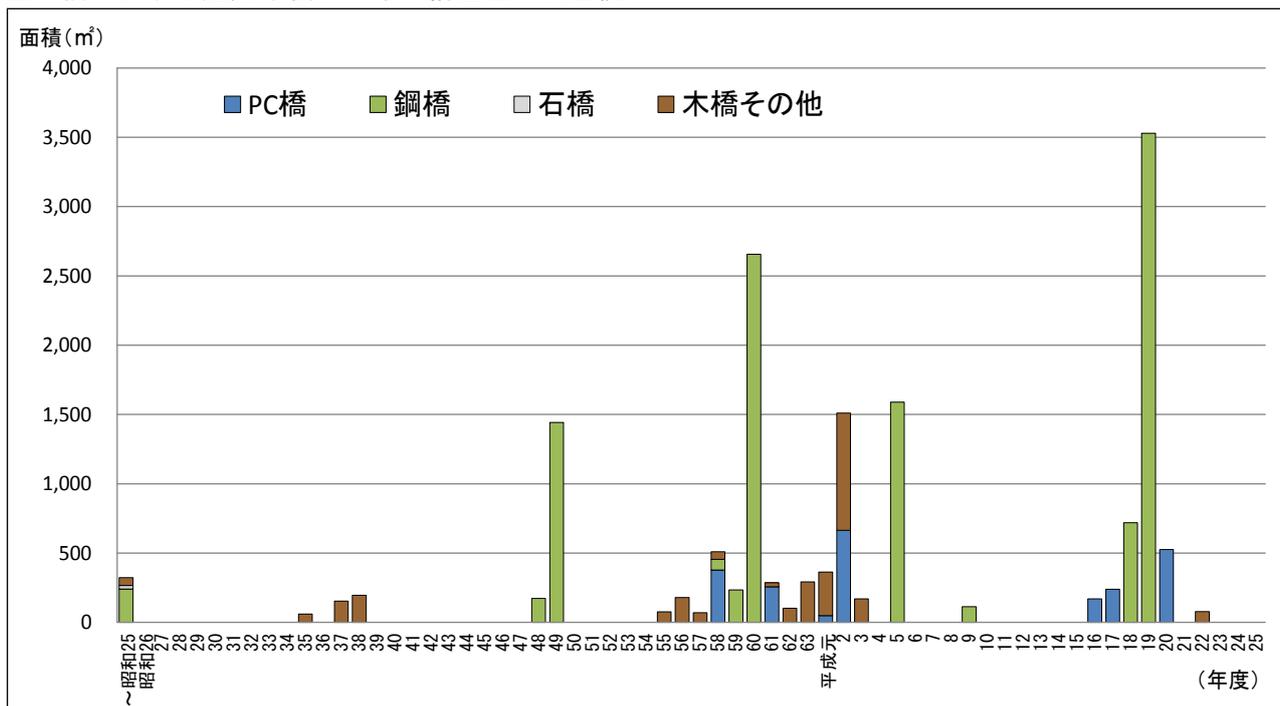


図 橋りょうの建設年度別分布<構造区分別面積>



## ④ コスト状況

橋りょうの維持更新費は、現在まで、道路維持更新費の中で、劣化・損傷が進行した橋りょうを、対処療法的に補修・補強してきました。

現在は、長寿命化対象橋りょうである35橋については、「足立区橋梁長寿命化修繕計画（平成24年3月）」により、予防保全型の長寿命化計画を策定し、各年度別の橋りょう補修・補強工事を計画的に行っています。予防保全型の管理を行うことで、大規模修繕や架替えに係わる事業費の大規模化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ることができます。

## ⑤ 将来維持更新費（現状の維持管理レベルを維持した場合）

## ＜算定条件＞

長寿命化計画が立案されている35橋については、「足立区橋梁長寿命化修繕計画（平成24年3月）」の年度別予算より算定します。

その他の橋りょうについては、「総務省ソフト試算条件」に準拠し、法定耐用年数60年で架替えを行うものとして算定します。

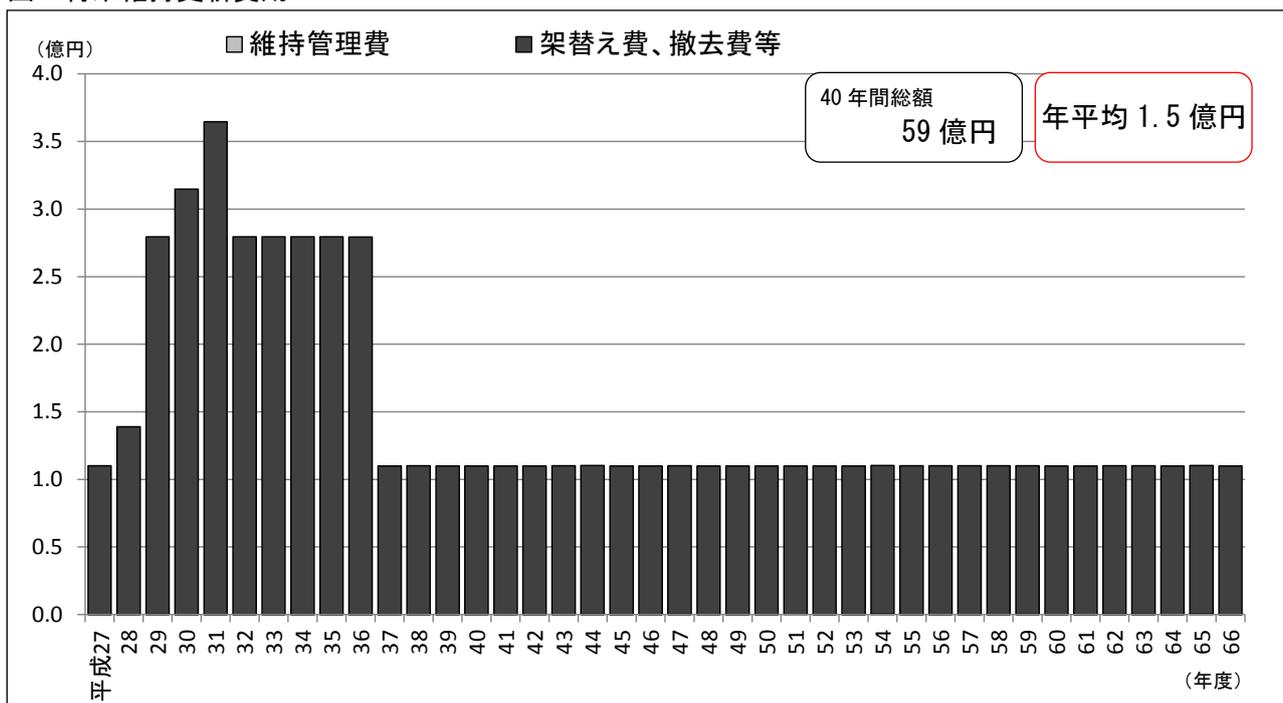
また、撤去を予定している橋りょうや新たに架橋を予定している架設費も計上します。

## ＜算定結果＞

橋りょうの維持更新のために今後必要なコストは、40年間総額で59億円・年平均1.5億円です。

このうち、新田橋や「足立区橋梁長寿命化修繕計画」以外の32橋の架替え費用や竹ノ塚駅構内跨線人道橋・歩道橋の撤去費用等が57.9億円・年平均1.4億円で、約98%を占めています。

図 将来維持更新費用



### 3 インフラ施設

#### (3) 公園

##### ① 概要

区民の憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場だけでなく、避難地・避難路などの防災機能、市街地の景観形成機能、自然環境の保全機能などの確保に向けて都市公園の整備を行っています。

区内には区立公園と児童遊園が、合計 493 か所あり、総面積は約 229.5 万㎡です。このうち、13.7 万㎡の公園を特色ある公園として設置し、管理しています。

表 公園・児童遊園設置状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

種 類	数	面積 (㎡)	備 考
区立公園	335	2,200,767	河川敷緑地含む
児童遊園	158	94,473	
合計	493	2,295,240	

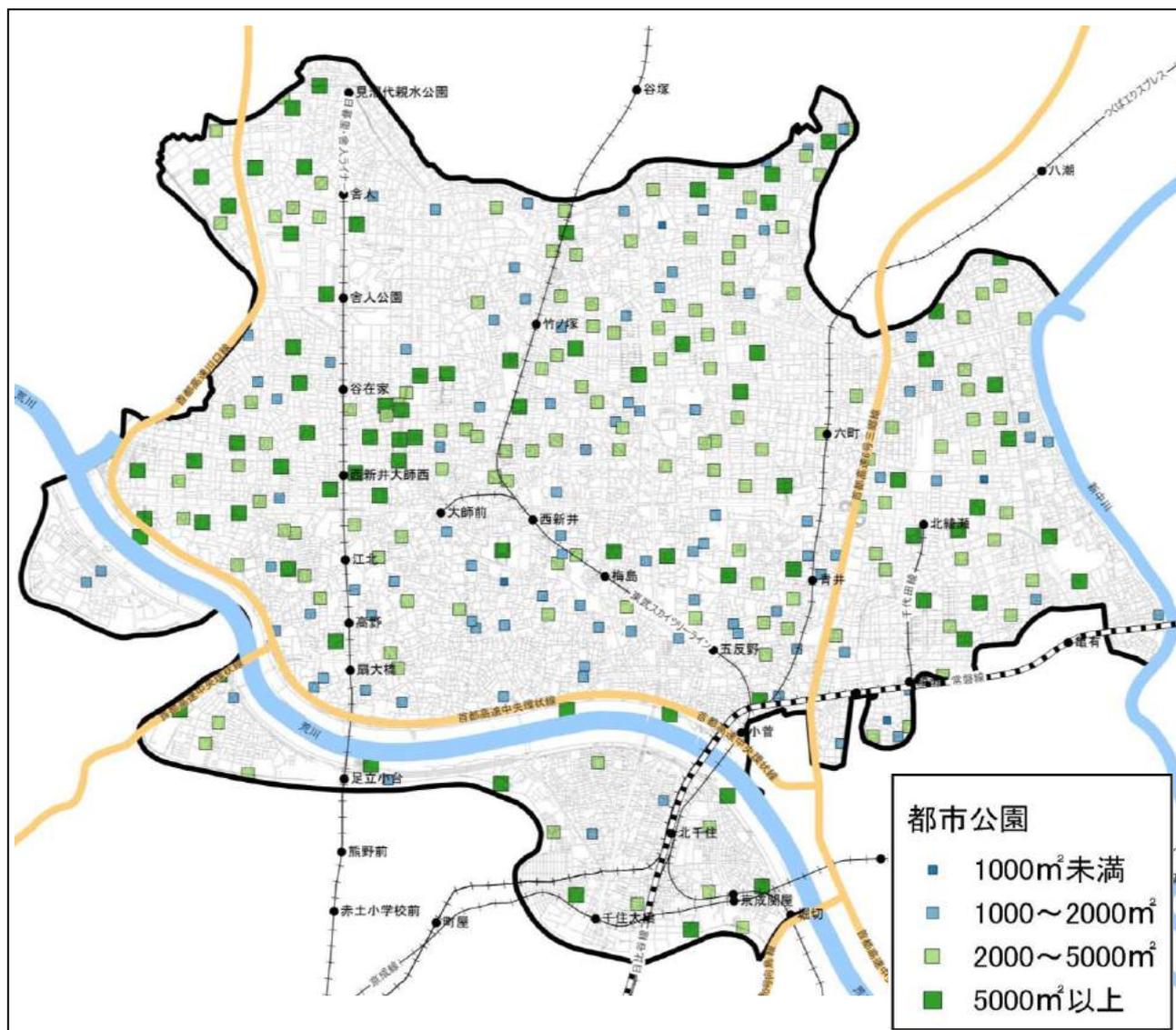
(出典：数字で見る足立)

表 特色ある公園

種 類	面積 (㎡)	備 考
元湊江公園（生物園）	40,444	
都市農業公園	72,617	
花畑庭園（桜花亭）	9,427	
桑袋ビオトープ公園	8,916	
佐野いこいの森緑地	5,951	
合計	137,355	

② 位置図

図 公園規模別位置図



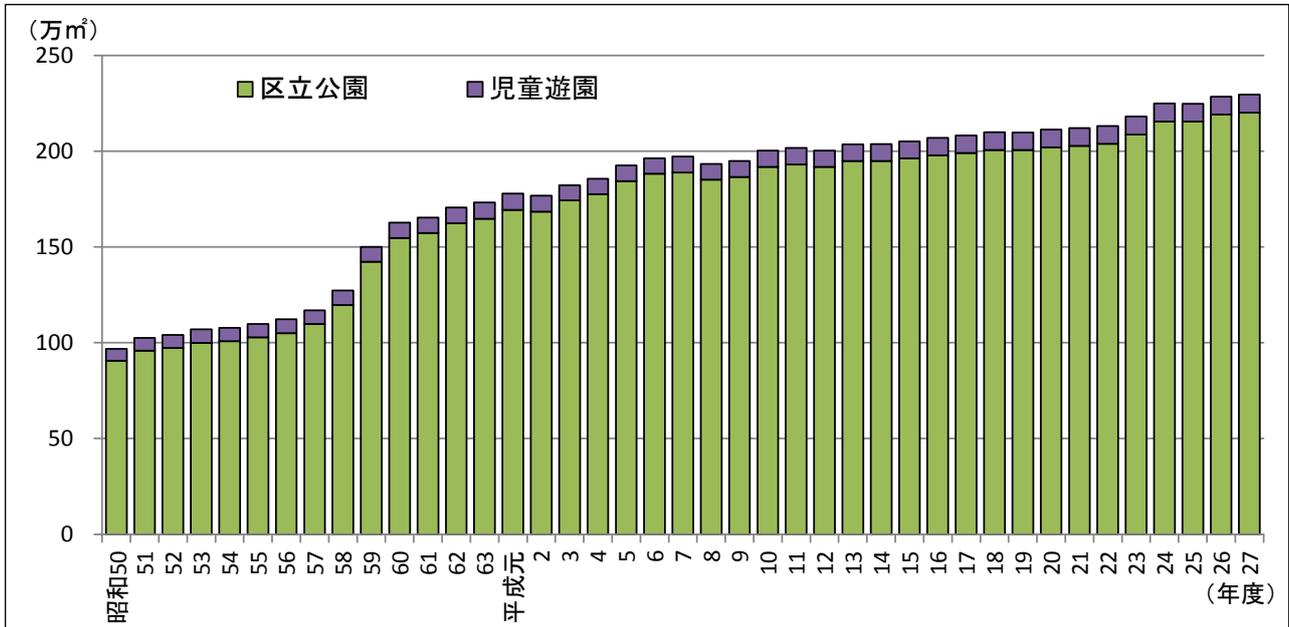
### 3 インフラ施設

#### ③ 整備状況

公園面積は、昭和50年以降、増加傾向で推移しています。

昭和50年と比較すると、平成27年4月1日現在で、約132.7万㎡（約2.4倍）増加しています。

図 公園面積の推移

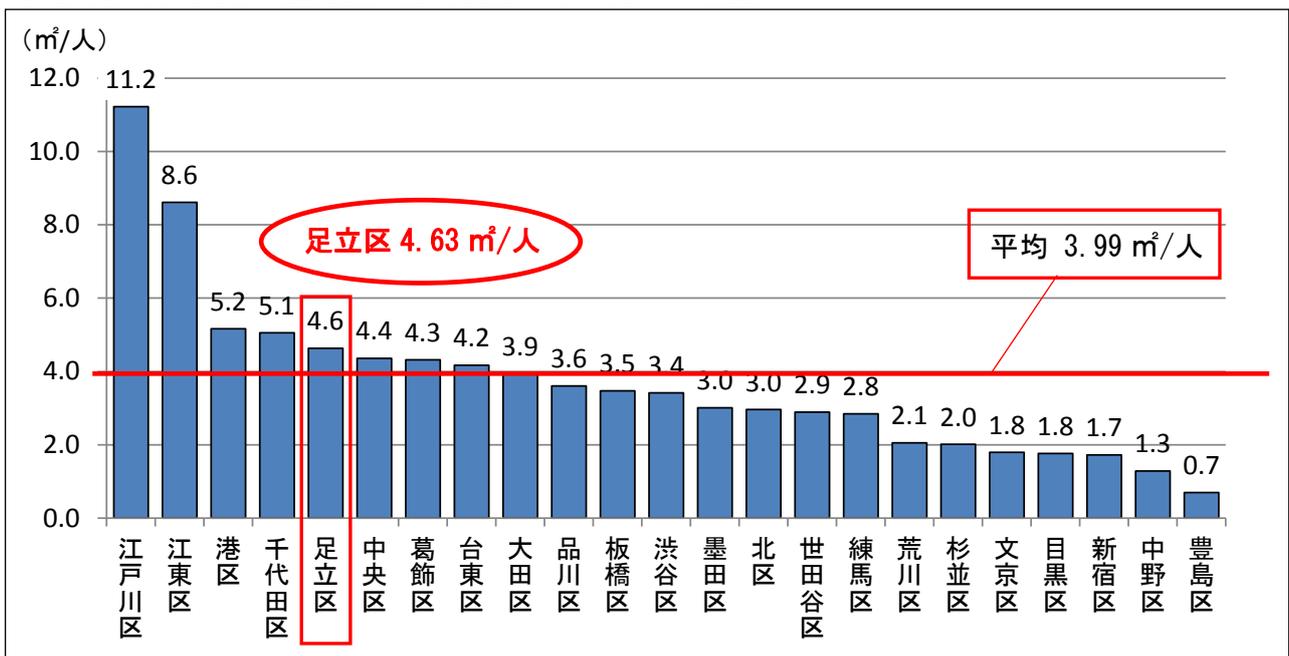


(出典：数字で見る足立(経年表)(各年4.1現在))

#### ④ 区民1人当たり公園面積(23区比較)

23区における区民1人当たりの公立公園面積は平均3.99㎡です。足立区は、4.63㎡と平均より多く、23区内では5番目に多い状況です

図 区民1人当たり公園面積比較(平成27年4月1日時点)



(出典：東京都「公園調書」)

## ⑤ コスト状況

## ＜算定条件＞

公園の日常的な管理・運営費は、平成26年度の実績額より、算定します。

表 平成26年度の公園の日常的な管理・運営費

	対象面積 (㎡)	平均管理費 等単価 (円/㎡)	経常経費の 実績費用 (円)	更新 年数 (年)	年管理費等 (円/年)
	a	b = c/a	c	d	c/d
公園・親水施設等 の維持管理費	2,082,360.87	863	1,797,207,221	1	1,797,207,221
特色ある公園の 運営管理費	137,354.19	3,419	469,653,939	1	469,653,939

足立区では、土地区画整理や開発等により新設され、区に移管される公園が多く、その面積が増大傾向にあります。このため、これらの新規公園の管理運営費についても、上表より900円/㎡/年（特色ある公園は3,400円/㎡/年）として算定します。

## ⑥ 将来維持更新費（現状の維持管理レベルを維持した場合）

## ＜算定条件＞

バリアフリー化や施設の適正配置等の公園改修の費用を過去の工事实績から320,000千円/年と算定しました。

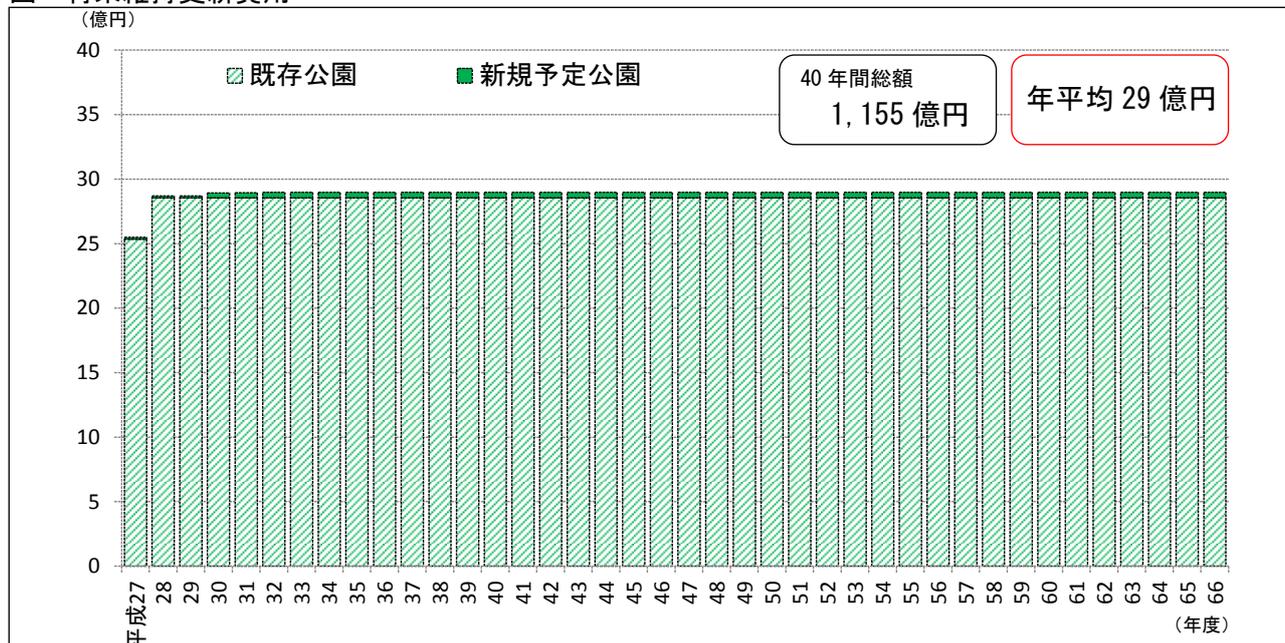
長尺フェンスやテニスコートなどの大型施設の更新費用は、初期建設費と補修工事費を合算したものを使用可能期間で除し、平均費用を270,000千円/年と算定しました。

## ⑦ 算定結果

今後必要なコストは、40年間総額で1,155億円・年平均29億円です。

このうち、既存公園に係る費用が1,138億円・年平均28億円を占めており、うち、日常的な管理運営費が40年間総額で906億円・年平均22億円、施設更新費が40年間総額で232億円・年平均6億円となっています。

図 将来維持更新費用



### 3 インフラ施設

#### ⑧ 新規公園の整備について

⑦の算定結果に加え、新規の公園整備費として、西新井公園の整備費 40～50 億円が必要と見込んでいます。

西新井公園以外の公園については、区画整理事業やまちづくり事業の中で整備していきます。（都の区画整理事業により移管される公園については、公園改修サイクルの中で施設整備を行います。）

表 新規公園

項目	対象面積 (㎡)	平均整備費単価 (円/㎡)	整備費総額 (円)
	A	b	$c = A \times b$
西新井公園	—	—	40～50 億

資料



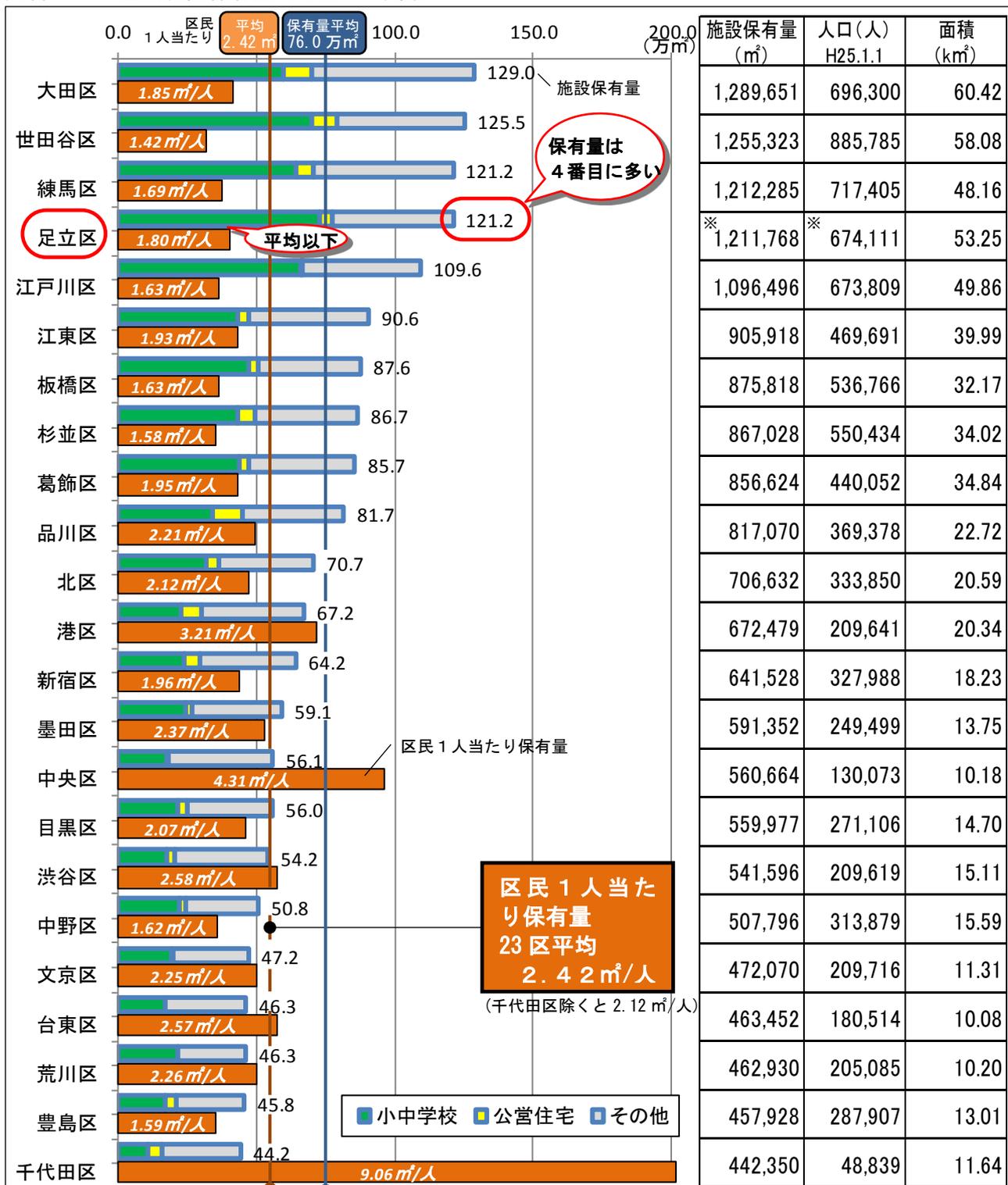
■ 自治体間比較

(1) 23 区別施設保有量

足立区の公共施設の延べ床面積は 121.2 万㎡で、23 区で 4 番目に多い保有量です。

一方で、足立区の区民 1 人当たり保有面積は 1.80 ㎡/人と、23 区平均の 2.42 ㎡/人よりも少ない水準となっています（資料 1）。

資料 1 23 区別施設保有量（平成 25 年度）

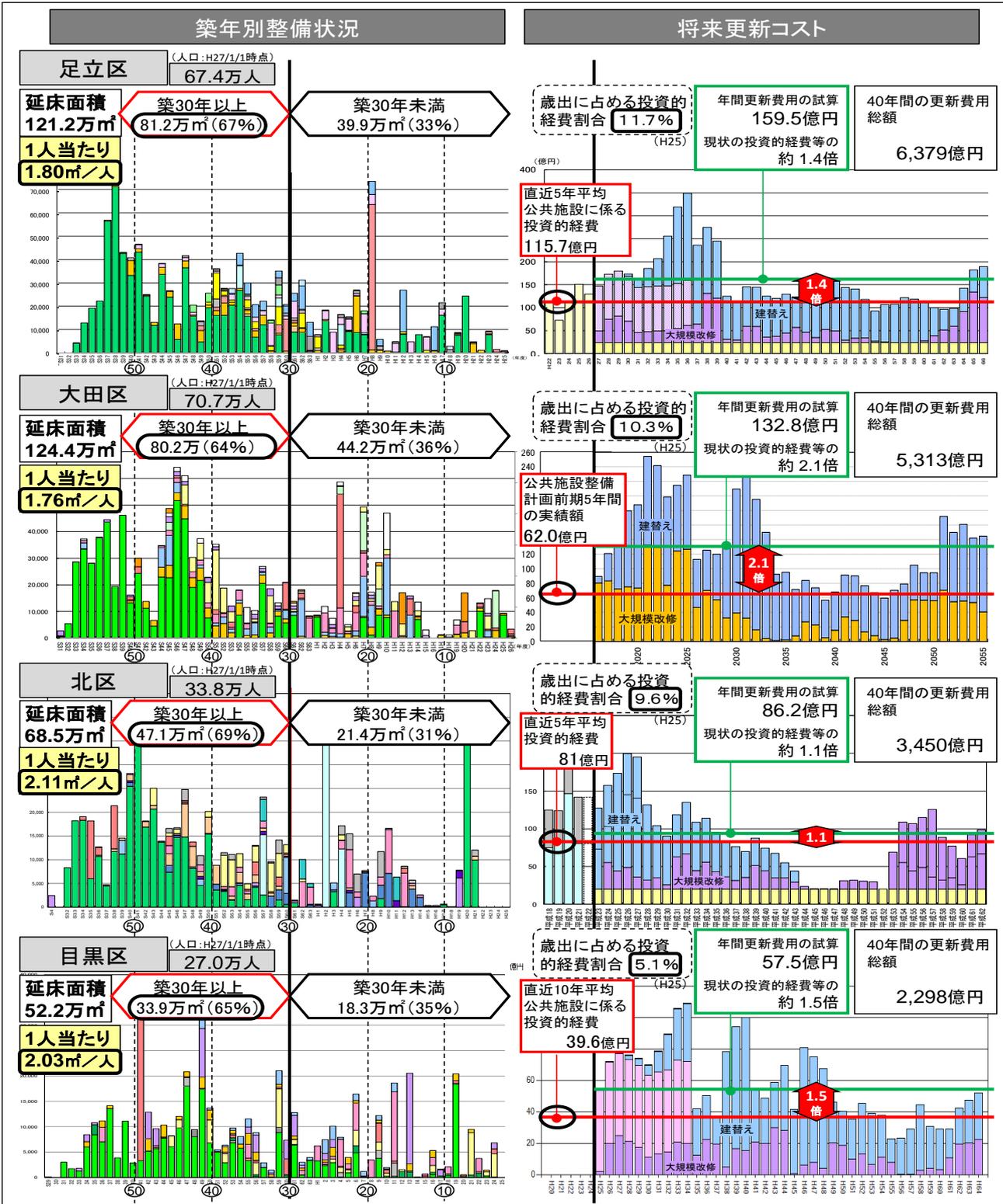


（出典：総務省 公共施設状況調比較表（H18～H25））  
 ※足立区は、施設保有量・人口ともに第 1 章・第 3 章の数値を採用

(2) 築年別整備状況と将来更新コスト

同じ人口規模の大田区と比較すると、区民1人当たりの面積は約1.8㎡と同程度となっており、築30年以上の割合も近似しています。その中で整備時期に着目すると、足立区は特に築50年以上の割合が多くなっていることが分かります(資料2)。

資料2 (※資料2は、資料1と出典が異なります)

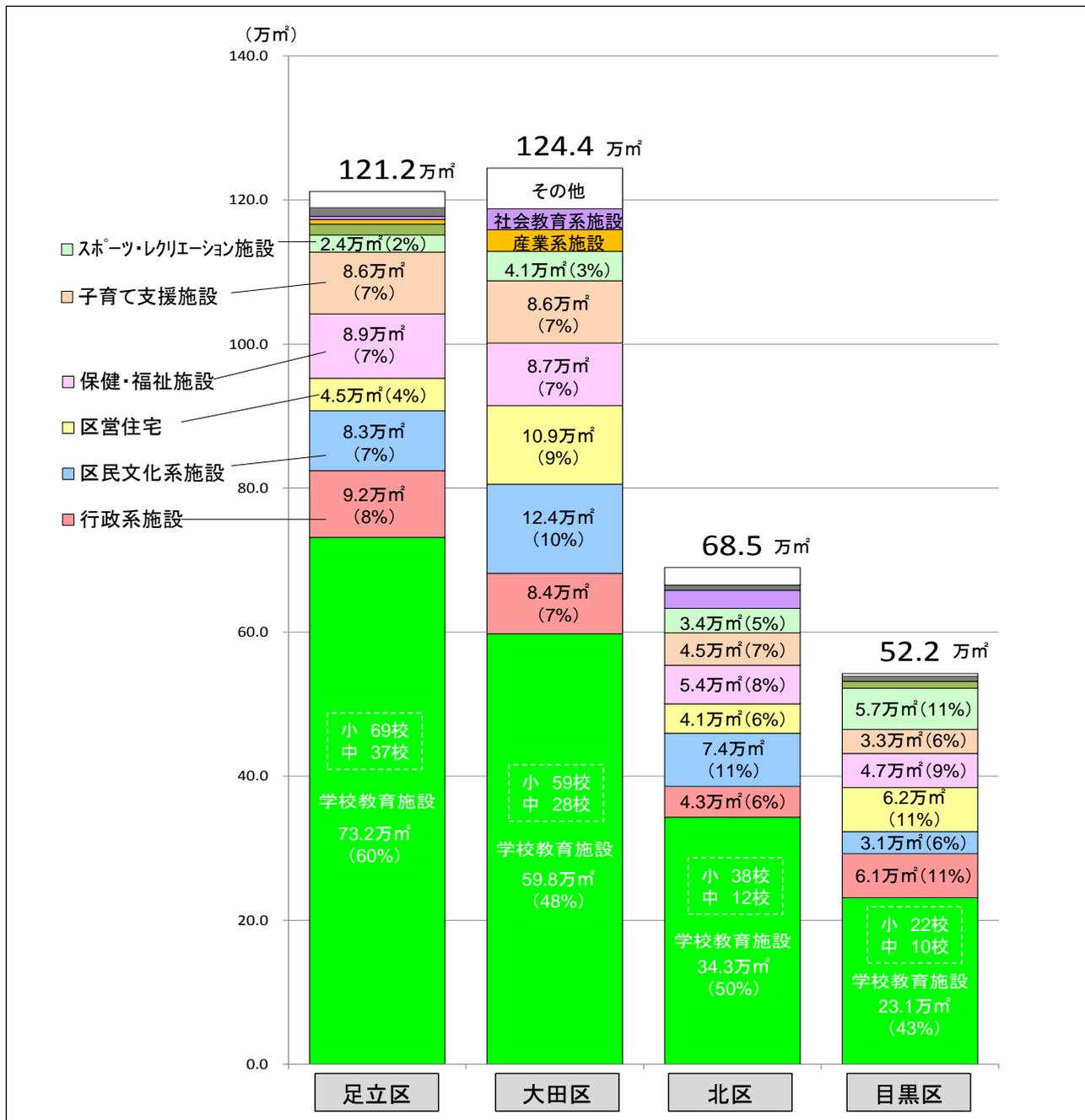


(出典：各区施設白書データ)

(3) 用途別保有状況

用途別保有状況から、本区は他区と比較して、学校施設が保有割合・学校数ともに多いことがわかります。そのほかは、区役所等の行政系施設が多くなっています(資料3)。

資料3 (※資料3は、資料1と出典が異なります)



(出典：各区施設白書データ)



足立区施設白書

発行年月日：平成28年4月

発行：足立区資産管理部施設再編整備計画担当課

足立区中央本町1-17-1

TEL 03-3880-5946

E-mail [shisan@city.adachi.tokyo.jp](mailto:shisan@city.adachi.tokyo.jp)

登録番号：28-2180

印刷：株式会社アクセア